

2019年度

事業実績並びに主要施策成果説明書

須 坂 市

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、2019 年度決算に係る
主要施策成果説明書を次のとおり提出する。

令和 2 年 8 月 25 日

須坂市長 三 木 正 夫

目 次

I 事業の実績並びに主要施策の成果

1	一般会計	款	1	議	会	費	1			
		款	2	総	務	費	7			
		款	3	民	生	費	97			
		款	4	衛	生	費	165			
		款	5	労	働	費	217			
		款	6	農	林	水	産	業	費	227
		款	7	商	工	費	255			
		款	8	土	木	費	279			
		款	9	消	防	費	323			
		款	10	教	育	費	347			
		款	11	公	債	費	461			
		款	12	予	備	費	461			
		款	13	災	害	復	旧	費	463	
2	国民健康保険特別会計	473								
3	井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計	485								
4	介護保険特別会計	487								
5	後期高齢者医療特別会計	507								

II 参考資料

1	一般会計決算の状況	511
2	市債の状況	513
3	基金の運用状況	515
4	貸付金の状況	517
5	負担金及び補助金等に関する調	518
6	統計資料・基本計画等の作成状況	582

I 事業の実績並びに主要施策の成果

1 一般会計

款 1 議 会 費

(款1) 議会費

単位：円

当初 予算額	221,669,000	予算 現額	218,098,000	決算額	217,138,939	前年度 決算対比	99.4%	前年度 決算額	218,491,911
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

1-1-1 (目) 議会費

単位：円

当初 予算額	221,669,000	予算 現額	218,098,000	決算額	217,138,939	前年度 決算対比	99.4%	前年度 決算額	218,491,911
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 議会運営費

単位：円

当初 予算額	21,018,000	予算 現額	18,167,000	決算額	17,375,279	前年度 決算対比	102.2%	前年度 決算額	17,007,042
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

意思決定機関である議会の円滑な運営を支え、団体意思並びに機関意思の決定に寄与する。

II 事業の成果等

本会議、委員会等を開催し、市民の負託に応えるとともに、委員会、全員協議会は原則公開として、開かれた議会、透明性のある議会運営が図られた。

III 事業の実績

1 本会議の開催状況

(1) 定例会

区 分	会期日数	開議日数
6月	24	6
9月	30	6
12月	22	6
3月	25	6
計	101	24

(2) 臨時会

区 分	会期日数	開議日数
1月9日	1	1
計	1	1

2 委員会等の開催状況

※ 現地調査を含む

委員会等の名称	開催日数		
	会期中	閉会中	計
総務文教委員会	10	5	15
福祉環境委員会	13	6	19
経済建設委員会	11	7	18
議会運営委員会	11	4	15
市議会広報特別委員会	4	10	14
予算決算特別委員会	10	1	11
同上 総務文教分科会	11	0	11
同上 福祉環境分科会	12	0	12
同上 経済建設分科会	12	0	12
ｲﾝﾀｰ周辺等開発特別委員会	3	3	6
会派代表者会議	3	2	5
市議会議員選挙の課題等 検討特別委員会	2	7	9
全員協議会	16	5	21
須坂市議会防災委員会	0	1	1

3 議決件数

区 分	提出 件数	原案 可決	原案 認定	原案 承認	原案 同意	原案 否決	修正 案可決	修正 案否決	継続 審査	議 き を 申 答	報 告
市長提出	事件決議	18	18								
	条 例	56	54						2		
	予 算	34	34								
	決 算	8		8							
	専決処分	4			4						
	同 意	7				7					
	諮 問	2								2	
	継続審査 議 案	3	2					1			
	報 告	16									16
	計	148	108	8	4	7		1		2	2
議員提出	条例・規則	2	2								
	意 見 書	9	9								
	決 議	1				1					
	附帯決議	2	2								
	修正動議	4					1	3			
	閉会中の継 続審査申出	2	2								
	計	20	15				1	3			
合 計	168	123	8	4	7	1	2	3	2	2	16

4 特別委員会の設置等

特になし

5 選挙・選任等の件数

- (1) 選挙等 1件 3月定例会（3月13日）須高行政事務組合議会議員の補欠選挙
 (2) 選任等 0件

6 請願・陳情の件数

請 願 2件 採 択 2件
 陳 情 3件 趣旨了承 2件
 聞 置 1件

7 「こんにちは須坂市議会です」の発行 3,083,316円

年4回発行 5月、8月、11月、1月 発行部数 各19,500部
 市内全世帯に配布

8 市議会要覧の作成 200部（事務局で作成）

- 9 修繕料 議場の議員氏名標歪み修繕（20人分） 9,698円
 議員宅ファクシミリ修理 7,150円

10 市議会に関する市民アンケート調査の実施

調査目的 議会や議員の活動などについて市民の皆様の考えをお聞きし、市議会議員のなり手不足解消の方策を探るため
 調査区域 市内全域（一部被災された北相之島町などを除く）
 調査対象 18歳以上80歳台までの1,962人
 回答率 30.3%（594人）
 郵便料 196,114円

11 手数料 カーペットクリーニング（議場・各室・廊下） 128,700円
 カーテンクリーニング（各室） 44,328円
 フロアーマットクリーニング 11,572円

12 委託料 会議録検索システム保守（委託先）(株)会議録研究所 183,120円
 会議録調製事務及び印刷製本 (株)会議録研究所 3,638,367円
 会議録参考資料調製業務 (株)会議録研究所 362,502円
 会議録検索システムデータ作成 (株)会議録研究所 264,471円
 常任委員会等会議録調製事務 (特非)信州SOHO支援協議会 1,140,090円
 議会本会議インターネット録画配信用
 ストリーミング加工 (有)NPウォンツ 219,000円
 データアップロード (有)NPウォンツ 52,800円

13 工事請負費 なし

14 備品購入 図書購入 23冊 76,519円

15 行政視察等の実施

委員会名	視 察 先 ・ 視 察 内 容	実施月日
福祉環境委員会	兵庫県尼崎市 「介護予防に向けた住民参加型事業等について」 福岡県みやま市 「生ごみ減量化及びバイオマス産業都市構想について」 岡山県津山市 「介護予防に向けた住民参加型事業等について」	5月14日～16日
総務文教委員会	熊本県宇土市 「防災対策について」 鹿児島県薩摩川内市 「原発防災対策について」 「原子力施設の概要、災害対策」 東京都品川区立京葉小学校 「プログラミング教育について」	5月15日～17日
経済建設委員会	茨城県桜川市 「桜川市真壁伝統的建造物群保存地区を活かしたまちづくりについて」 栃木県栃木市 「空き家対策事業の取り組みについて～先駆的空き家対策モデル事業～」 栃木県足利市 「農福連携事業～こころみ学園の取り組み～」	5月21日～23日
市議会広報特別委員会	福島県会津若松市 「市議会の広報広聴活動の取り組みについて」 福島県喜多方市 「議会だよりの編集について」	11月7日、8日

16 議員研修

【北信3市議会議員研修会】

日 時 10月1日
会 場 中野市役所、アップルシティーなかの
内 容 ① 講 演 演題 「認知症の理解 ー誰もが住みよいまちづくりへー」
講師 清泉女学院大学 看護学部 助教 大澤 智恵子 氏
② 意見交換会
参加者 北信3市議会議員等63人（須坂市議会議員17人 事務局2人）

【須高市町村議会議員研修交流会】

日 時 11月14日
会 場 小布施町公民館講堂、小布施堂本店
内 容 ① 講 演 演題 「戦後国際秩序の終わりと日本の選択」
講師 産経新聞 客員論説委員 千野 境子 氏
② 意見交換会
参加者 須高市町村議会議員等52人（須坂市議会議員19人 事務局2人）

【第59回東北信9市議会正副委員長研修会】

日 時 11月21日
会 場 東御市 ラ・ヴェリテ
内 容 講 演 演題 「地方創生時代における地方議会の役割とは」
講師 早稲田大学 名誉教授 北川 正恭 氏
参加者 東北信9市議会正副委員長等136人（須坂市議会議員14人 事務局2人）

【須坂市議会議員研修会】

日 時 12月18日
会 場 市役所 第4委員会室
内 容 講 演 演題 「森林経営管理制度と森林環境税及び森林環境譲与税について」
講師 長野県林務部森林政策課 森林経営管理支援センター
企画幹 千代 登 氏
参加者 須坂市議会議員17人

17 須坂市が当番となって開催した会議

【須高市町村議会正副議長会】

日 時 5月21日
会 場 市役所 正副議長室
内 容 当面の課題について 等
参加者 須高市町村議会正副議長等 11人（須坂市正副議長 事務局2人）

【第99回長野県市議会事務局協議会局長会】

日 時 7月12日
会 場 須坂市文化会館メセナホール 小ホール
内 容 ① 各市提出議案について
② 第162回長野県市議会議長会総会について
③ 平成30年度長野県市議会事務局協議会
事業報告及び決算について 等
参加者 長野県市議会事務局協議会局長等 25人（須坂市議長 事務局5人）

【北信3市議会正副議長会】

日 時 8月2日
 会 場 須坂市関谷温泉 湯っ蔵んど
 内 容 各市提出議案について 等
 参加者 北信3市議会正副議長等 12人 (須坂市正副議長 事務局2人)

18 姉妹都市交流

日 時 2月3日、4日
 会 場 神奈川県三浦市 三崎港産直センター魚市場うらり、三崎館本店 等
 内 容 ① 両市議会における取り組み等意見交換
 ② 交流会
 ③ 市内視察
 参加者 両市議会議員等 41人 (須坂市議員16人 事務局3人)

19 行政視察等の来訪

(1) 行政視察

視察日	受け入れ先	人数	視察内容
4月18日	長野県東御市議会	11	予算決算の審査方法について
5月8日	愛媛県西条市議会	9	移住支援～移住支援信州須坂支援モデルへの取り組みについて
5月20日	福島県南相馬市議会	9	須高地域医療ネットワーク推進事業について
7月24日	山口県山口市議会	3	須坂温泉古城荘について
7月26日	茨城県つくばみらい市議会	7	須坂市における保健指導員活動の取り組みについて
8月2日	神奈川県横須賀市議会	3	産後うつ対策(須坂モデル)の概要について
10月2日	静岡県小山町議会	15	ラウンドアバウト環状交差点の設置経緯について
10月4日	青森県弘前市議会	7	須坂フルーツ発泡酒を核とした果樹振興と賑わい創出事業について
合 計	8議会	64	(議員53 随員11)

(2) 全国市議会議長会台風・豪雨被災地視察

視察日 2月19日
 会 場 市役所 第4委員会室
 内 容 ① 令和元年東日本台風・豪雨の被害・復旧の状況と課題等について
 ② 市議会における災害対応について
 参加者 全国市議会議長会会長・役員等 21人 (須坂市正副議長 事務局2人 副市長ほか部課長5人)

20 傍聴者の状況

※マスコミ関係を除く

区 分		人 数
定 例 会	6月	20
	9月	17
	12月	6
	3月	11
	合 計	54

区 分		人 数
臨 時 会	1月9日	0
	合 計	0
常任委員会	総務文教委員会	1
	福祉環境委員会	3
	経済建設委員会	0
	合 計	4
各委員会等	議会運営委員会	0
	市議会広報特別委員会	0
	予算決算特別委員会	0
	ｲﾝﾀｰ周辺等開発特別委員会	4
	市議会議員選挙の課題等 検討特別委員会	0
	全員協議会	0
	合 計	4

■ 議場音響・映像システム整備事業

単位：円

当 初 予算額	3,001,000	予算 現額	3,001,000	決算額	3,000,240	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	3,000,240
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

本会議場音響・映像施設の整備（機器更新）により、円滑な議会運営を行う。

II 事業の成果等

議場マイク 32 本、HDカメラ 3 台等の議場音響・映像システム一式の導入により、議事の円滑な進行が図られ、HDカメラの映像を素材としたインターネットの映像配信もより鮮明となり、市民の視聴環境を改善することができた。

III 事業の実績

議場音響・映像システム構築に係る賃借料 NTTファイナンス(株)長野支店 3,000,240 円
 (賃借期間 平成 28 年 8 月 11 日～令和 3 年 8 月 10 日、賃借料総額 15,001,200 円)

款 2 總 務 費

(款2) 総務費

単位：円

当初 予算額	2,279,486,000	予算 現額	5,063,219,500	決算額	4,951,298,392	前年度 決算対比	166.1%	前年度 決算額	2,980,157,979
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

2-1-1(目) 一般管理費

単位：円

当初 予算額	790,253,000	予算 現額	899,349,500	決算額	858,475,643	前年度 決算対比	96.1%	前年度 決算額	893,081,062
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 職員人件費

単位：円

当初 予算額	640,254,000	予算 現額	728,956,000	決算額	706,593,269	前年度 決算対比	91.0%	前年度 決算額	776,495,242
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

住民の福祉の増進を図るために、適正な職員配置と効率的な行政運営を図る。

II 事業の成果等

事務事業及び職員配置の見直しを行い、効率的な行政運営が図ることができた。

III 事業の実績

1 一般職の職員状況

(1) 職員数

(3月31日現在)

部局	条例 定数 (人)	総数 (人)		一 般 職 員 (人)										技能労務 職員 (人)	
				部長級		課長級		課長補佐級		係長級		その他職員			
		全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計	全 会計	一般 会計
市長 事務局	336	252	223	7	7	25	25	42	39	30	26	146	124	2	2
議事 事務局	5	5	5	1	1	1	1	2	2			1	1		
選挙管 理委員 会事務 局	2	2	2					1	1			1	1		
監査委員 事務局	1	1	1			1	1								
農業委員 会事務 局	4	3	3			1	1	1	1			1	1		
教育委員 会事務 局	155	92	92	1	1	3	3	14	14	15	15	59	59		
消防機 関	93	88	88	1	1	4	4	9	9	14	14	60	60		
水道局 (公営企 業)	44	22		1		1		5		2		12		1	
合 計	640	465	414	11	10	36	35	74	66	61	55	280	246	3	2
前年度合 計	640	470	422	11	10	38	37	70	63	65	61	282	248	4	3

派遣職員等を含める。(外郭団体等からの派遣職員は含めない。)

課長補佐級は職務上の課長補佐等とし、主幹・技幹の係長は係長級に含める。

係長級は職務上の係長、担当係長とする。

(参考) 嘱託・臨時職員数

(3月31日現在)

部 局	総数 (人)		嘱託職員 (人)		臨時職員 (人)	
	全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
市長事務局	242	215	130	116	112	99
議会事務局						
選挙管理委員会事務局						
農業委員会事務局	1	1			1	1
教育委員会事務局	341	341	123	123	218	218
消 防 機 関	3	3	3	3		
水道局 (公営企業)	15		7		8	
合 計	602	560	263	242	339	318

(2) 採用及び退職者数

採用者数 (人)		退職者数 (人)	
全会計	一般会計	全会計	一般会計
22	19	22	20

(3) 男女別職員数

(3月31日現在)

男 (人)		女 (人)		合計 (人)	
全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
303	276	162	138	465	414

(4) 平均給料月額等

(3月31日現在)

給 料 月 額 (円)					
最 高		最 低		平 均	
全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
436,500	436,500	162,200	162,200	325,213	323,980

(5) 男女別平均年齢

(3月31日現在)

男 (歳)		女 (歳)		合計 (歳)	
全会計	一般会計	全会計	一般会計	全会計	一般会計
44.2	44.0	39.7	39.4	43.0	42.6

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	78,988,000	予算 現額	92,363,000	決算額	81,149,476	前年度 決算対比	171.5%	前年度 決算額	47,310,212
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

行政執行の円滑な推進を図る。

II 事業の成果等

条例・事件決議案等の審議のため、年4回の定例市議会と1回の臨時市議会を招集した。

また、特に優れた功績のあった者に対する市表彰式を実施した。

行政不服審査法に基づく、審査請求への対応を適切に行った。行政不服審査会の答申の概要及び審査庁の裁決の概要等を市ホームページに公表した。

2020年4月からの会計年度任用職員制度の施行に向け、システム改修や例規を整備し、円滑な制度施行を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市議会の招集

回数	名 称	会 期	提出議案 等の件数	備 考
1	令和元年6月定例会	6月10日～7月3日	48	外1件(継続審査案件)
2	〃 9月定例会	8月27日～9月25日	30	
3	〃 12月定例会	11月19日～12月10日	32	
4	令和2年第1回臨時会	1月9日	2	外2件(継続審査案件)
5	令和2年3月定例会	2月18日～3月13日	33	

2 表彰

(1) 須坂市表彰規則に基づく表彰

ア 表彰式 11月3日 須坂市文化会館メセナホール

イ 表彰の概要

区 分	表彰の種類	被表彰者数(人・団体)		
		個人(人)	団体(団体)	計
表彰状	消防功労者	4		4
	保健衛生功労者	1		1
	私財寄附者	2	1	3
	善行功労者	1	1	2
	山岳遭難救助功労者	1		1
	地域活性化功労者		1	1
合 計		9	3	12

※ 感謝状については、各課等で随時交付

(2) 須坂市職員表彰要綱に基づく表彰

表彰の概要

区 分	被表彰者数(人)
表彰状(永年勤続表彰)	11
感謝状(精勤表彰)	3

3 行政不服審査制度への対応

審査請求 1件

審査請求書受付 3月23日

裁決書送付 (2020年4月7日(審理手続を経ない却下裁決))

4 公益通報者保護制度への対応

通報件数 0件

広報須坂5月号で広報

5 須坂市特別職報酬等審議会の開催

特別職の報酬等の改定について審議するため、審議会を2回開催した。

第1回 6月6日

第2回 6月28日

答申内容

特別職	報酬・給料（月額：円）		退職手当の支給割合（％）	
	改定後	改定前	改定後	改定前
議長	460,700	456,000	—	—
副議長	391,000	387,000	—	—
議員	358,700	355,000	—	—
市長	861,900	853,000	40.5	42.0
副市長	713,400	706,000	28.3	29.4
教育長	619,400	613,000	20.3	21.0

6 会計年度任用職員制度施行への対応

人事給与システム更改委託料	日本電気株式会社	19,800,000 円
例規整備等支援業務委託料	第一法規株式会社	1,080,000 円

■ 職員研修事業

単位：円

当初 予算額	4,905,000	予算 現額	4,805,000	決算額	2,712,380	前年度 決算対比	45.2%	前年度 決算額	6,004,027
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地方自治体が自らの責任と判断をもって地域社会を形成していくことが、より一層求められることから、それにふさわしい職員を育成するため研修等を行う。

II 事業の成果等

須坂市職員研修基本計画に基づき、組織の活性化及び市民サービスの向上のため、大勢の職員が各種研修に積極的に参加した。

講義方式による座学研修のほか、グループワークなどによる演習等を通じ、職員自らが主体的に考え、既存概念にとらわれず、豊かな発想による課題解決の視点を持つことができた。

「人材育成に関する基本方針」（2000年度策定）改定のため、2017年度に全ての正規職員を対象にしたワークショップを開催。これからの時代に求められる職員像、職員自らが成長するための指針の策定に着手。2018年度からは、職員によるワーキングチームを組織し、ワークショップ等での意見の集約やアンケート調査を実施し、今年度「自分成長基本方針」を策定した。

III 事業の実績

1 職員研修

(1) 職層別研修

研修名	人数	実施期間	実施団体及び場所
新規採用職員(前期)研修	17	4/2～3、5、8、11	市独自(保健センターほか)
新規採用職員(前期)研修	16	4/9～10	県市町村職員研修センター(県自治会館)
中堅職員研修	9	5/29	〃
係長研修	3	7/16～19	〃
新規採用職員(後期)研修	16	9/10	〃
新規採用職員(後期)研修	17	10/7	市独自(防災活動センター)
新規採用職員(後期)研修	15	12/11	市独自(ドリームモータースクール)
一般職員研修	18	10/3～4	県市町村職員研修センター(県自治会館)
部課長研修	6	11/15	〃
新規採用職員によるあいさつ課活動	17	通年	市独自(市役所 305 会議室ほか)

(2) 専門研修

研 修 名	人数	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所 (※研修参加職員 所属名)
監査事務研修	3	4/22	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※監査委員事務局、選挙管理委員会事務局
超入門・情報システムの基礎研修	1	5/9	〃 ※政策推進課
防災と危機管理研修	1	5/16～17	〃 ※総務課
水害に対する危機管理能力向上研修	1	5/19～23	国土交通大学校、砂防会館別館 ※総務課
新任担当者のための財政実務基本講座	1	5/20～21	(一社)日本経営協会 ※財政課
セキュリティ総合研修	1	5/21～22	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※政策推進課
連携中枢都市合同研修(管理職研修)	1	5/28	長野市(職員研修所) ※生涯学習スポーツ課
産後ケアセンター視察研修	2	5/30	産前産後ケアセンター東峯ライ、世田谷区立産後ケアセンター ※健康づくり課
ネットワーク総合研修	1	5/30～31	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※政策推進課
統計実務基礎研修	1	5/30～31	戸山サライズ(全国身体障害者総合福祉センター) ※政策推進課
橋梁 MAE 養成講座(メンテナンス・アシスタント・エンジニア)	2	5/30、6/10～11	長野県(長水建設会館) ※道路河川課
新任期保健師研修会	1	5/16	(公社)長野県看護協会 ※高齢者福祉課
防災・危機管理・Jアラート研修会	1	6/5	消防庁 ※総務課
建築工事管理 I	1	6/17～21	(一財)全国建設研修センター ※まちづくり課
税務職員初任者研修	6	6/18～19	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※税務課
財産管理事務と契約実務研修	1	6/25～26	〃 ※財政課
福祉事務所長研修	1	7/8～10	国立保健医療科学院 ※健康福祉部
地域創業促進支援研修	1	7/17～19	経済産業研修所 ※商業観光課
官民境界確定の実務	1	7/18～19	(一社)日本経営協会 ※道路河川課
指定管理者制度研究会、公民連携セミナー	1	7/22～23	(一財)地域総合整備財団くふるさと財団 ※総務課
空き家対策推進研修	1	7/23～26	国土交通大学校 ※商業観光課
北信三市人事・給与事務研究会	3	8/2	須坂市、中野市、飯山市(当番：飯山市) ※総務課
財政事務研修	1	8/6～7	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※財政課
生活保護担当ケースワーカー全国研修会	1	8/7～9	厚生労働省 ※福祉課
実効性のある空き家対策と処分手続きの実務講座	1	8/21～22	(一社)日本経営協会 ※まちづくり課
実務ですぐに使える滞納整理マスター講座	1	8/22～23	(一社)自治体行政研究所 ※高齢者福祉課
児童虐待防止法と子育てにおける自治体の役割	2	8/29～30	(一社)自治体行政研究所 ※子ども課
人事管理研修会	1	8/30	全国市長会 ※総務課
図書館等職員著作権実務講習会	1	9/10～11	文化庁 ※生涯学習スポーツ課
空き家相談の担い手育成講座	1	9/12～13	(株)LIFULL ※政策推進課
財務諸表研修	10	9/18	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※総務課ほか
人事・給与初任者管理事務研修	2	9/20	〃 ※総務課

研 修 名	人数	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所 (※研修参加職員 所属名)
ダイバーシティワークライフバランス等の時代背景に対応する研修	1	9/24	(一社)日本経営協会 ※総務課
マイナンバーカード交付円滑化計画等に関するブロック会議	2	9/24	総務省 ※総務課、市民課
官民の境界確定をめぐる法律実務と紛争対応のあり方	1	9/24～25	東京本部公務研修グループ ※道路河川課
キャッシュ・フロー計算書入門講座	3	9/24～25	(一社)日本経営協会 ※まちづくり課、道路河川課、産業連携開発課
廃棄物・3R 研究財団&3R 活動推進フォーラム年次報告会	1	10/4	(公財)廃棄物・3R 研究財団 ※生活環境課
監査基準に準拠した監査の仕方と監査報告書の書き方について	2	10/10～11	(一財)全国町村議員会館 ※監査委員事務局
介護保険事務～制度と運用～研修	1	10/28～11/1	全国市町村国際文化研修所 ※高齢者福祉課
住民税事務研修	2	11/6	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※税務課
第 69 回全国英語教育研究大会	1	11/8～9	全国英語教育研究団体連合会(全英連) ※学校教育課
税務管理・徴収事務研修	4	11/12	県市町村職員研修センター(県自治会館) ※税務課
社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	1	11/23～26	(福)全国社会福祉協議会(中央福祉学院) ※福祉課
レファレンスサービスを活性化するために	1	12/12～13	千葉県千葉市生涯学習センター ※図書館
学校 ICT 活用フォーラム	1	1/17	東京都港区 三田共用会議所 ※学校教育課
生活困窮者の自立支援研修	1	2/3～5	全国市町村国際文化研修所 ※福祉課

(3) 特別研修

研 修 名	人数	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会	3	4/23、5/15 7/17～18 1/30～31	早稲田大学マニフェスト研究所
ペーパー・クレーム対応力向上研修	5	5/14, 15	県市町村職員研修センター(県自治会館)
文書作成力向上研修	2	5/21	〃
公務員倫理と使命	26	6/4	〃 (※出前講座)
コーチング研修	2	7/4～5	〃 (県自治会館)
法制執務(基礎)研修	4	7/9～10	〃
公金出納業務研修会	26	8/22	市独自 会計課と共催
政策形成に活かす統計活用研修	1	8/22～23	県市町村職員研修センター(県自治会館)
ポイントを活用した資料づくり 研修	1	8/28	〃
長野広域連合関係市町村職員共 同研修会	3	9/13	長野広域連合(長野市芸術館) 演題:「100人100通りの働き方～幸福度と 生産性の両立～」
連携中枢都市圏構想における合 同職員研修	4	9/20	長野市(職員研修所) 演題:仕事ダイエット講座

研 修 名	人数	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
地域に飛び出す職員支援研修	1	9/24	県市町村職員研修センター(長野県庁)
Simulation伊那2030研修	2	10/10	伊那市役所
折衝力・交渉力研修	2	11/26～27	県市町村職員研修センター(県自治会館)
長野広域連合関係市町村職員共同研修会	9	1/15	長野広域連合(長野市芸術館) 演題:「一步を踏み出す～公務員からサッカーの世界へ～」

(4) 先進地視察研修

研 修 名	人数	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
先進都市行政視察(丹波篠山市)	3	11/26～27	篠山地区、福住地区 ※まちづくり課

(5) 派遣研修

研 修 名	人数	実 施 期 間	実 施 団 体 及 び 場 所
県・市町村職員派遣研修	2	4/1～3/31	長野県観光部観光誘客課 長野県地域振興局企画振興課
海外派遣研修「グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～」	1	8/20～9/2	全国市町村国際文化研修所・アメリカ

■ 防災危機管理事業

単位：円

当初予算額	8,795,000	予算現額	16,770,500	決算額	14,920,323	前年度決算対比	308.6%	前年度決算額	4,834,065
-------	-----------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

市民の生命、財産を守り、安心して日常生活を営むことのできる災害に強いまちづくりの推進を図る。

II 事業の成果等

「令和元年東日本台風(台風第19号)」の大雨を起因とする千曲川の越水及び内水氾濫により、豊洲地区を中心に甚大な被害が発生し、被災者及び復興の対応にあたった。

迅速かつ円滑な避難に資するため、防災訓練や防災講演会を行い、市民一人ひとりの防災意識を高め、共助の大切さの啓発、地域防災力の向上を図った。

総合防災訓練は、「雨が断続的に降る中、震度6強の地震が発生した」との想定により相森中学校にて訓練を開催。応急救護訓練、避難行動要支援者対応訓練など市民、行政、関係機関等が一体となった住民参加型の訓練を実施し、相森中学校生徒も参加するなど、若年層を含めた市民の防災意識の高揚が図られた。令和元年東日本台風の際には、避難所開設で中学生が手伝うなど訓練の成果が発揮された。

防災スペシャリスト養成研修を受講し、担当職員が地域防災マネージャーの資格を取得した。

III 事業の実績

1 須坂市防災会議 須坂市国民保護協議会議

7月25日 消防本部大会議室 出席委員27人(うち委員報酬18人、58,500円)

須坂市地域防災計画及び須坂市国民保護計画の修正

会議後、長野地方気象台による「警戒レベルと防災気象情報」の研修会を実施

2 市総合防災訓練

概要	相森中学校において、住民（相森中学校通学区中心）、関係機関、消防団員、全区長、相森中学校生徒、市議会議員、市職員参加の総合防災訓練
日時	8月25日（日）午前7時～午前9時
内容	参集、現地災害対策本部設置、情報収集・伝達、被害調査報告、災害支援情報端末設備設置、避難所設置運営、応急危険度判定、炊き出し、市民健康相談窓口設置、広報・避難誘導、ボランティア受付窓口設置、避難行動要支援者対応、災害用伝言ダイヤル体験、ガスメーター復旧、応急救護、煙体験、道路測量調査、現場救護所設置、水防、生活物資・資機材輸送、初期消火、倒壊建物救助、火災防御、仮設電源確保工事、エアロシェルター設置、飼育動物同行避難の各訓練のほか、排水ポンプ車、照明車の展示
参加者数	27団体、950人

3 自主防災組織等の活動状況

(1) 土砂災害警戒区域及び浸水想定区域該当区との連絡会議

6月25日 消防本部大会議室 該当区47町

(2) 地域の自主防災組織による防災訓練の実施状況 62町 参加者 3,908人

(3) 各町単位による「防災マップ」の見直し 69町

4 全国瞬時警報システム（J-アラート）緊急地震速報伝達に伴う行動訓練（防災行政無線等による情報伝達訓練）

実施日 6月18日（広報須坂・市HPにより、伝達訓練に合わせて身を守る行動・安全な場所への避難の自主的な訓練実施を呼びかけ）※11月5日予定の訓練は令和元年東日本台風災害の影響を考慮し中止。

5 防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）の取組

職員を対象とした救命講習会の実施 1月28、29、30、31日 実施(44人受講)

6 防火防災訓練災害補償等共済の加入

防災訓練時の不慮の事故等に対する補償として加入 50,000円

7 防災行政無線等の管理運用

(1) 市防災行政無線関係

緊急時等放送回数 1,045回（防災・避難情報関係、特殊詐欺注意喚起、行方不明者搜索、火災予防、献血等）

(2) 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
同報系防災行政無線保守点検委託	(株)富士通ゼネラル情報通信ネットワーク営業部（随意契約）	同報系及びJ-アラート設備保守点検	1,446,212

8 防災設備等の管理運用

(1) 雨量観測計（市内4か所）

雨量計観測設備データ通信料 418,560円

(2) 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
市災害対策本部中継設備保守点検委託	(株)Goolight（随意契約）	災害対策本部中継設備保守点検（年2回）	65,400
須坂市雨量観測設備保守点検委託（4か所）	(株)シーティーエス（随意契約）	雨量観測装置清掃業務（4か所 年2回）	239,800

9 非常用備蓄購入

食料等

備蓄品	数量(食)	金額(円)	
食料(アルファ米)	200	55,080	837,162
食料(缶入りソフトパン)	192	67,392	
食料(クッキー)	400	95,040	
食料(アルファ米・補充分)	2,250	619,650	

(参考) 主な非常用備蓄の状況(年度末)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① サバイバルフーズ 3,600食 | ② 飲料水 5,076リットル |
| ③ 発電機 24台 | ④ アルファ米 2,850食 |
| ⑤ 毛布 3,290枚 | ⑥ 投光器 23台 |

10 防災講演会の開催

「自分の命は自分で守る」が防災の基本であり、市民が常日ごろから災害に対する備えを心がけるとともに私たちは、災害に地域でどう備え対応をすればよいかを学ぶため講演会を開催した。

- (1) 実施日時 1月18日(土) 消防本部大会議室
- (2) 演題 「地域防災の取組と活動 ～災害に備えて～」
- (3) 講師 大内 幸子氏(災害伝承語り部、仙台市地域防災リーダー)
- (4) 参加者 80人(市民ほか)

11 災害等対応

(1) 台風第18号

災害警戒本部設置 10月3日 9:50
 " 廃止 10月4日 17:00

(2) 令和元年東日本台風(台風第19号)

ア 災害警戒本部設置 10月11日 10:00 台風第19号の接近
 イ 災害対策本部設置 10月12日 15:00

台風第19号による避難情報の発令(避難指示等27町7,682世帯20,695人)
 被害の発生(床上浸水191棟・229世帯、床下浸水98棟・107世帯)
 指定避難所等の開設(25か所・避難者1,947人)
 生活再建のための説明会の開催 10月22日(豊洲小学校・230人)

" 廃止 12月9日 9:00
 ウ 災害復興本部設置 11月11日 8:30 須坂市台風第19号復旧・復興計画の策定

エ 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
2019年度(令和元年度) 台風第19号避難行動アンケート入力作業業務委託	株式会社 地域総合計画	2019年度(令和元年度) 台風第19号避難行動アンケートの電子データ化	1,529,000

(3) 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルスの感染拡大により、WHOが「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言し、国内でも感染者が発生したため、政府は、新型コロナウイルスによる肺炎を感染症法上の「指定感染症」とする政令を2月6日に施行した。市では、須坂市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき対策本部を設置し、対応を行った。

須坂市新型コロナウイルス感染症対策本部設置 2月3日
 本部会議6回開催

12 災害時相互応援協定

締 結 日	締 結 先	協定内容
6月7日	中部電力(株)長野営業所	災害時における相互協力に関する協定書
7月1日	長野県	長野県広域防災拠点施設に関する協定

13 地域防災マネージャー資格取得研修

内閣府による防災スペシャリスト養成研修を受講し、担当職員が地域防災マネージャーの資格を取得した。
研修場所 有明の丘基幹的広域防災拠点施設（東京都江東区）

研修コース	実施期間
災害への備え	9月10日(火)～11日(水)
警報避難	9月12日(木)～13日(金)
復旧・復興	9月24日(火)～25日(水)
被災者支援	9月26日(木)～27日(金)
人材育成	10月1日(火)～2日(水)
総合管理	10月3日(木)～4日(金)
応援活動・資源管理	10月8日(火)～9日(水)
対策立案	10月10日(木)～11日(金)
指揮統制	10月17日(木)～18日(金)

■ 防災施設整備事業

単位：円

当初 予算額	1,144,000	予算 現額	674,000	決算額	673,920	前年度 決算対比	25.5%	前年度 決算額	2,646,000
-----------	-----------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市内4か所（市役所、豊丘上町局、仁礼局、峰の原高原局）に設置している雨量計を更新する。

II 事業の成果等

データ通信により職員のパソコンから雨量計のデータを確認することができ、大雨時には時間雨量・累計雨量などのデータを基に、避難情報の発令などの参考になっている。

令和元年東日本台風時には、気象庁から発表される気象情報と併せて雨量計のデータを参考に、避難情報を発令した。

III 事業の実績

事業内容（備品購入）

工事名	設備	工期	施工業者	金額（円）
令和元年度(2019年度) 雨量計機器更新	雨量計	8月5日～ 9月30日	(株)シーティーエス	673,920

■ 庁舎管理事業

単位：円

当初 予算額	54,753,000	予算 現額	54,702,000	決算額	51,453,413	前年度 決算対比	101.1%	前年度 決算額	50,875,863
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

庁舎機能の充実と執務環境の向上を図るとともに、来庁者へ快適かつ効率的な空間の提供を行う。

II 事業の成果等

庁舎の定期的な保守点検及び整備のほか、庁舎前などへの花木の植栽と管理により、一層の行政サービスの向上が図られた。節電の推進に取組み、電気使用量は前年比5.0パーセントの減少となった。

老朽化している庁舎施設・設備について随時修繕等を行い、庁舎が安心・安全・快適な環境となるよう図ることができた。

III 事業の実績

1 庁舎等修繕

(1) 東庁舎地下タンク FRP 内面ライニング工事	1,188,000 円
(2) 本庁舎正面入口自動ドア修繕工事	946,080 円
(3) 東庁舎地下タンク油種変更工事	972,000 円
(4) 本庁舎2階政策推進課スチールドア入替修繕	499,986 円
(5) 本庁舎都市ガス管改修工事	225,500 円
(6) 自動火災報知設備受信機等リニューアル及び配線張替え工事	2,827,000 円
(7) 市役所南側街灯修繕工事	362,846 円
(8) その他29件	1,305,738 円

2 庁舎管理業務の委託

業務名 委託先	内 容	金額 (円)
定期清掃業務委託 (株)日本ビルシステムズ	床清掃 (通路部分毎月、事務用部分年4回) 窓ガラスクリーニング (年2回) ジュウタン清掃 (年3回) 他	979,910
防災活動センター清掃業務委託 須坂市社会福祉協議会	防災活動センター館内及び周辺の清掃 (月2回)	39,780
建築物環境衛生管理業務委託 (株)第一エンジニアリング	建築物の衛生的環境確保のための空気環境測定 (年6回)、防虫防鼠 (年2回) 業務	125,350
電気保安管理業務委託 (財)中部電気保安協会	無停電点検 (年6回)、停電点検 (年1回)、デマンド監視業務 (通年)	486,576
自動扉保守点検業務委託 (株)長野ナブコ	定期点検 (年4回)	436,000
エレベーター保守点検業務委託 フジテック(株)首都圏統括本部	定期点検 (月1回)	719,400
非常用発電設備保守点検委託 ミツワヤンマー(株)	総合点検 (年1回)	334,800
電話交換設備保守点検委託 石田通信機(株)	定期点検 (月1回)	584,676
電話交換業務委託 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	交換取扱者2名による電話交換業務	4,185,600
市庁舎空調設備基本設計業務委託 (株)宮本忠長建築設計事務所	緊急度が高い空調設備の改修を実施するにあたり基本設計を実施	448,200

業務名 委託先	内 容	金額 (円)
庁舎宿日直業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	宿直員9名体制による宿直業務	4,271,616
庁舎暖房運転業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	有資格者1名常駐によるボイラー運転	294,840
清掃業務委託(トイレ等) (公社)須高シルバー人材センター	常駐者1名による清掃(毎日)	1,560,000
廃棄物等運搬業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	収集処理(週2回)	320,720
冷房設備運転保守管理業務委託 (公社)須高シルバー人材センター	有資格者1名常駐による冷房運転	253,800
PCB廃棄物等搬入仕分け及び荷 姿登録作業業務委託 ミヤマ(株)	PCB廃棄物を処分するための仕分け、重量測定他	1,026,000

3 駐車場用地の賃借

区 分	場 所	面積 (㎡)	賃借料 (円)
第2駐車場	須坂市大字小山1282番地1	577.28	460,933
第3駐車場	須坂市大字小山1312番地1	1,031.00	954,445

4 庁舎内設備等賃借・リース

業務名 賃借・リース先	内 容	金額 (円)
庁舎内電話交換設備賃借 日通商事(株)	庁舎内電話交換設備一式 賃貸人 日通商事(株) 供給人 石田通信機(株)	2,444,256
庁舎AED借り上げ セコム上信越(株)	庁舎内AED 1セット	61,476
庁舎LED照明賃借 (株)ネクシィーズ	庁舎内LED照明器具賃借 970本	1,079,568
衛生器具の賃借 日本カルミック(株)	トイレ内のエアフレッシュナー等賃借及び保守点 検業務	495,835

5 広告入り案内板の設置

来庁者への適切な庁舎案内と市政情報提供のため、正面玄関風除室に広告入り案内板を設置している。

(1) 案内板の内容

庁舎案内図・市内地図・デジタルサイネージ(庁舎案内・市政情報を映像で表示したもの)・パンフレット
トラック・企業広告

(2) 案内板設置に伴う収入

広告設置料 242,218円
光熱費 15,136円

6 その他

- (1) 職員による共有スペースの清掃(休日を除き毎日 午後5時00分～午後5時15分)
- (2) 庁舎前花壇の管理(正面ロータリー、駐車場外周)
- (3) 来庁者用雨傘の貸出し
- (4) 小学生の庁舎見学案内(市内2校)

■ 行政改革推進事業

単位：円

当初 予算額	521,000	予算 現額	204,000	決算額	156,750	前年度 決算対比	77.3%	前年度 決算額	202,755
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

年々高まり多様化する市民ニーズを、的確に捉えた行政サービスの向上を図る。

第五次須坂市総合計画に定めた将来像を、市民との「共創」を進めるとともに、積極的な行政運営により実現する。

「最少の経費で最大の効果」をあげることのできる、柔軟で効率的な行財政の推進。

世代間の公平性をふまえた上で、将来世代に負債を負わせない行財政改革の推進。

II 事業の成果等

須坂市行財政改革第四次チャレンジプラン改訂版の初年度であり、全 87 項目の行動計画取組実施率は 97.7 パーセント、2019 年、2020 年度の 2 年間の目標値に対する進捗 40 パーセント以上の取組が 66.3 パーセントとなった。また、行政内部では、改善の意識向上や風土醸成を目的とした取組として、改善（カイゼン）サポーターを選出し、改善の必要性や改善のプロセスについて共有を図り、業務改善の活性化に努めた。

財政運営の面では、滞納整理など収納率向上に厳正に取り組むとともに、積極的に公募型事業など外部資金を獲得し、歳入確保に努めた。また、事業の見直しによる支出額削減では、内部業務及び一般事務事業の見直しを行ったが、より効果的・効率的な事業の見直しを行うために、業務や事業の現状把握と効果を測定できる業務の数値化と目標設定により、進捗管理できる行財政運営の体制が必要である。

III 事業の実績

1 須坂市行財政改革第四次チャレンジプラン改訂版 2 か年の計画の初年度として取組の進捗管理を行った。

(1) 行政改革推進本部会議

チャレンジプラン行動計画の実績確認及び組織の改正等について審議するため、2 回開催した。

第 1 回 5 月 13 日 第四次チャレンジプラン 2018 年度実績報告、公共施設等総合管理計画個別計画案

第 2 回 8 月 23 日 2020 年度組織改正、サマーレビュー結果の確認及び方針決定

※第 3 回会議は新型コロナウイルスの影響で中止。議題については文書による確認とした。

(2) 行政改革推進委員会

「須坂市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂案の検証、地方創生推進交付金事業の効果検証、第四次チャレンジプラン行動計画実績報告、須坂市行財政改革第四次チャレンジプラン改訂版及び行動計画の策定について審議するため、1 回開催した。

第 1 回 5 月 7 日 報酬 22,750 円（7 人）

※第 2 回会議は新型コロナウイルスの影響で中止。議題については次年度第 1 回文面会議（文書通知による諮問、文書回答による答申）として実施

2 公の施設の指定管理者候補団体の選定

(1) 当該年度末で指定期間が終了する公の施設について、来年度以降の指定管理者を選定する手続きを支援した。

公募によらない施設 2 施設

技術情報センター、勤労青少年ホーム創造の家

指定管理者庁内検討委員会

指定管理者候補団体の選定方法と、候補団体の決定のため、3 回開催した。

第 1 回 5 月 27 日

第 2 回 10 月 1 日

第 3 回 10 月 9 日

(2) 指定管理者制度を公募により新規導入するための支援を行った。

公募による指定管理を行った児童センター及び放課後児童クラブ

南部児童センター、東部児童センター、北部児童センター

森上地域児童クラブ、高甫地域児童クラブ、井上地域児童クラブ、豊洲地域児童クラブ

日野地域児童クラブ1、日野地域児童クラブ2、日滝地域児童クラブ、仁礼地域児童クラブ

豊丘地域児童クラブ

指定管理者候補選定審査会

指定管理者候補を選定するための審査会を2回開催した。

第1回 9月12日 報酬13,000円(4人)

第2回 9月24日 報酬13,000円(4人)

3 職員提案の募集

「アイデア提案」13件、「改善報告」22件の計35件が提出され、「アイデア提案」については「日本一の市役所づくり推進委員会」において協議し、「趣旨のみ採用」を含めて10件を採用した。

採用されたアイデア提案(抜粋)

- (1) 嘱託保育士の面接時期の早期化
- (2) 災害情報の共有

4 組織機構の改正

より効率的な行政運営を図るため、各課等から出された改正案について審議し、2020年度組織機構の改正準備を行った。

(1) 組織のあり方についての検討委員会

各課等から出された改正案を審議するため、2回開催した。

(2) 組織機構改正の実施内容

ア 生涯学習推進課の新設

イ 生涯学習スポーツ課を文化スポーツ課に変更

ウ 中央公民館建物の名称を生涯学習センターに変更

エ 中央地域公民館の新設

5 5S運動の実施

5S(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)運動の定着のため、5S運動のチェックポイントに基づき、毎月の実施状況について自己管理をし、庁内で共有した。

また、年2回、部長級職員及び日本一の市役所づくり推進委員による職場巡視を行い、5Sが徹底できていない部分を指摘した。より効果が上がるよう事前に各課等から重点取組項目を提示させ、取組期間を設けた後に結果を巡視で確認した。

6 改善サポーター会議の実施

職員の課題発見や課題解決に向けた改善方法検討のプロセスを助長し、職員が課題について気軽に提案できる組織風土作りを目的として、若手職員を中心とした改善(カイゼン)サポーターによる会議を開催した。

第1回 8月21日 オリエンテーション

※第2回会議は開催せず、課等係で個別に対応

7 公共施設等マネジメント

長野地域連携中枢都市圏連携事業の一つである公共施設等マネジメントスキルアップ事業にて担当者間の情報共有や公共施設等マネジメントスキルアップ研修に参加した。

- 4月25日 事務担当者打合せ
- 9月27日 公共施設等マネジメントスキルアップ研修 参加7人
職員向け簡易劣化診断 実地研修
- 2月3日 事務担当者打合せ

8 その他

(1) 日本一の市役所づくりに向けた取組み

日本一の市役所づくりを実現するために、「日本一の市役所づくり推進委員会」（委員長：総務部長）を計3回開催し、職員提案の採択検討等を行った。クレーム報告は0件であった。

職員同士のコミュニケーションの活性化の一環として、まずは職員同士のあいさつからの取組みを再認識し、毎月1週間「あいさつ・コミュニケーション週間」を設け、あいさつとコミュニケーションの活性化を図った。

(2) 課等の課題の進行管理

「課等の課題セルフマネジメントシート」を用い、各課で年度当初の4月に課題を入力し、随時進ちょく管理を行った。

(3) 「いいね！」カードの取組み

日常の職員に対する「いいね！」と感じた評価や感謝、褒める気持ちなどを「『いいね！』カード」という目に見える形にすることで職員の存在を認め合い、仕事へのモチベーションの向上と職員同士のコミュニケーション拡大を図った。

職員のカード送付数68件、延べ受領人数92人（市民からの受領分を含む）

(4) 職員表彰に係る褒状

職員の業務への意識高揚や、組織活性化、能力向上、サービス向上を図るため、優れた課題解決事例12件に対して表彰を行った。

採用された課題解決賞(抜粋)

ア 圍繞地普通財産の処分（財政課）

イ 妊産婦のメンタルヘルスに関する多職種連携による母子保健システム（健康づくり課）

ウ フルーツ発泡酒の開発と普及（産業連携開発課）

エ 国民健康保険高額療養費の申請簡素化（健康づくり課）

オ 介護保険サービスの周知と保険給付の適正化（高齢者福祉課）

■ 情報公開・個人情報保護事務費

単位：円

当初 予算額	58,000	予算 現額	58,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	--------	----------	--------	-----	---	-------------	------	------------	---

I 事業の目的

個人情報の適正な取扱いについて必要な事項を定めるとともに、市が保有する個人情報の開示及び訂正等を求める権利を明らかにすることにより、個人の権利利益を保護し、もって公正で信頼される市民主体の市政の進展に寄与する。

市民の知る権利を実効的に保障し、公文書の公開を請求する権利につき定めること等により、市の保有する情報の一層の公開を図り、もって市政に関し市民に説明する責務が全うされるようにするとともに、市民参加を推進し、市政に対する理解と信頼の基に公正で開かれた市政の進展に寄与する。

II 事業の成果等

情報公開請求に対して適切な対応により情報をできるだけ開示するとともに、開示請求を待つことなく各種の情報を積極的に公表・提供することにより、市政に関する正確で分かりやすい情報を市民が容易に得られるよう、情報公表や情報提供について職員に周知を図った。

個人情報保護については、職員研修や個人情報に関する情報を随時職員に提供し、個人情報の適正な管理を図ることにより、プライバシーの権利を保護するとともに、市民本人の個人情報の開示及び訂正等を請求する権利保障の推進を図った。

III 事業の実績

1 情報公開条例に基づく公文書の公開

(1) 公開の状況

請求先	請求数 (件)	処 理 状 況 (件)					不服申立 (件)	備考
		公開	一部公開	非公開	文書不存在	請求取 下げ		
市長	18	6	6	1	3	2	0	
教育委員会	17	3	5	4	5	0	0	
議会事務局	2	1	1	0	0	0	0	
選挙管理委員会	1	0	1	0	0	0	0	
消防本部	1	0	0	1	0	0	0	
計	39	10	13	6	8	2	0	

(2) 会議録の公開

情報公表施策及び情報提供施策の拡充を図り、市政に関する正確で分かりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう、情報公開の総合的な推進に努め市の保有する情報の公開性を高めるため、会議録 40 件を公開した。

2 個人情報保護条例に基づく個人情報の保護

(1) 開示の状況

請求先	請求数 (件)	処 理 状 況 (件)					不服申立 (件)	備考
		開示	一部開示	非開示	文書不存在	請求取 下げ		
市長	8	8	0	0	0	0	0	
教育委員会	1	1	0	0	0	0	0	
計	9	9	0	0	0	0	0	

(2) 職員研修会の実施

- ア 新規採用職員を対象に個人情報保護研修会を実施。4月5日開催 受講者 17人
- イ eラーニングを使った個人情報保護に関する職員研修 受講者 530人

3 パブリックコメント

パブリックコメント手続運用指針に基づき、市の計画等の策定過程において、案の段階で広く公表し、市民からの意見・提言を求め、寄せられた意見等に対する市の考え方を明らかにすると共に、有益な意見等を考慮して市の意思決定を行った。

- (1) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画（案）
- (2) 須坂市学校施設長寿命化計画（案）

■ 行政評価推進事業

単位：円

当初 予算額	835,000	予算 現額	817,000	決算額	816,112	前年度 決算対比	114.5%	前年度 決算額	712,668
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

総合計画に掲げた事業の目的、目標、実績を確認し、「何の目的で、何を目標にして、お金をいくら使って、何をするのか」、「成果はどの程度で、改善すべき点はどこなのか」などについて評価分析を行う。

II 事業の成果等

担当課による「事務事業評価」や「サマーレビュー」により実施し、市民福祉の一層の向上、職員の意識改革、政策形成能力の向上及び行政の説明責任の明確化を図った。

2013年度から財務会計システムに行政評価の機能を追加し、「実施計画」「予算」「決算」「評価」を連動させることにより、行政運営の「PDCA サイクル(業務管理手法の一つで、計画→実行→評価→改善という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的に業務改善していく手法)」を機能させ、その事務作業に係る職員の負担軽減も図っている。

また、2015年度から「事務事業評価」の結果を基に、事業担当課と政策推進課、財政課、総務課による「サマーレビュー」を開催し、事業見直し案を検討して行政改革推進本部会議に報告している。

III 事業の実績

1 事務事業評価

予算事業単位を評価単位とし、市が行う事業 248 事業について内部評価した。

評価結果

拡大 (50 事業)	抜本的見直し	9	↑ 拡大傾向が強い
	進め方の改善	15	
	簡易な改善	17	
総合計画にそって継続		191	
縮小 (16 事業)	簡易な改善	4	↓ 縮小傾向が強い
	進め方の改善	4	
	抜本的見直し	3	
統合・終了		5	
合計		248	

2-1-2 (目) 文書費

単位：円

当初 予算額	15,274,000	予算 現額	15,274,000	決算額	14,942,994	前年度 決算対比	126.5%	前年度 決算額	11,815,886
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 文書管理事業

単位：円

当初 予算額	15,274,000	予算 現額	15,274,000	決算額	14,942,994	前年度 決算対比	126.5%	前年度 決算額	11,815,886
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市役所の事務処理の正確性、迅速性の確保を図る。

II 事業の成果等

公文書の收受、配布、保存等適正な文書管理の徹底を図るとともに、条例、規則等の制定、改廃、公布事務等を実施した。

Ⅲ 事業の実績

1 条例等の公布等

区 分	件数 (件)	備 考
条例公布	58	
規則公布	52	
訓令発令	10	
告 示	203	要綱等 45 件、その他 158 件
公 告	134	
計	457	例規関係 計 165 件

2 法規審査委員会

開催回数	審査件数 (件)	備 考
4	168	<ul style="list-style-type: none"> ・うち持回り審査 7 件 ・第 3 回法規審査委員会は令和元年東日本台風のため書類審査により実施

3 市例規集のデータベース維持更新

「総合法令管理システム」データベース維持更新業務委託料 3,146,176 円
 (消費税率変更に伴い 10 月 1 日から変更契約を締結した)

4 法令例規の加除整備

現行法規等の加除整備 20 種 2,331,111 円

5 保存文書の整理

(1) 書庫の整理 9 月 18 日、19 日

(2) 廃棄文書処理量 15,580 キログラム 溶解処理委託料 122,832 円

(3) 保存文書数 (9 月 19 日現在)

区 分	冊 数
第 1 種 (永年保存)	21,608
第 2 種 (10 年保存)	11,729
第 3 種 (5 年保存)	5,666
第 4 種 (3 年保存)	725
第 5 種 (1 年保存)	5
計	39,733

6 その他文書関係

(1) 文書取扱事務担当者打合せ会議 4 月 19 日 62 人出席

(2) 文書配達業務委託

ア 区長あて文書配達業務 (月 2 回配達) 委託料 661,848 円

イ 市施設巡回文書配達業務 (毎日配達) 委託料 1,893,740 円

(3) 機器借上

機器名	数量 (台)	金額 (円)	契約期間
デジタル印刷機	2	434,160	2017 年 8 月 1 日から 5 年間
インクジェットプリンター	1	699,840	2017 年 8 月 1 日から 5 年間
丁合機	1	137,628	2017 年 5 月 1 日から 5 年間
ファクシミリ	1	59,400	2019 年 6 月 1 日から 5 年間
市民ホールコピー機	1	10,890	2020 年 3 月 1 日から 5 年間
カラーコピー機	1	10,252	2020 年 3 月 1 日から 5 年間

2-1-3 (目) 会計管理費

単位：円

当初 予算額	42,723,000	予算 現額	44,540,000	決算額	43,574,191	前年度 決算対比	363.9%	前年度 決算額	11,973,168
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 会計管理事業

単位：円

当初 予算額	12,432,000	予算 現額	12,754,000	決算額	12,047,817	前年度 決算対比	100.6%	前年度 決算額	11,973,168
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

公金の出納について、公正かつ適正な事務処理の執行に努める。

II 事業の成果等

- 1 打合せ会の開催等により、会計事務の適正な執行についての伝達を行った。
- 2 歳計現金の効率的な資金運用を行った。
- 3 不用物品の積極的な売却、用品調達基金、長野県収入証紙及び郵便切手類等購買基金の運用により、歳入確保に努めた。

III 事業の実績

1 打合せ会の開催、検査の実施

(1) 庁内及び現地機関

ア 会計事務打合せ会の開催

(総務課(文書事務)、財政課(契約事務)と共同開催) 4月19日 62人出席

イ 出納員の研修会(総務部総務課と共同開催) 8月22日 26人出席

ウ 備品管理状況等の検査 11月6日～11月29日(うち10日) 22か所

(2) 金融機関

ア 指定金融機関等の検査(水道局と共同実施) 1月14日～1月22日(うち5日) 8店舗

2 歳入の確保

- | | | |
|-----------------------------------|-----|----------|
| (1) 歳計現金の運用による利子収入 | 23件 | 99,789円 |
| (2) インターネット公有財産売却システムを利用した不用物品の売却 | 11件 | 549,793円 |
| (3) 用品調達基金の運用による収入 | | 257,435円 |
| (4) 長野県収入証紙及び郵便切手等購買基金の運用による収入 | | 574,337円 |

3 (株) 郵宣協会から広告入り公用共通封筒の無償提供を受け、希望のある課等に配付

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| (1) 規格と数量 | 長3形 40,000枚 | 角2形 10,000枚 |
|-----------|-------------|-------------|

4 機器の設置及び借上等

- | | |
|--------------------------|------------|
| (1) 予算執行、備品管理支援システム使用料 | 2,463,440円 |
| (2) 振込データ作成、データ伝送システム使用料 | 483,960円 |

5 備品購入状況

品名等	数量	金額(円)
耐火金庫 KC33-2D〈日本アイ・エス・ケイ〉 W:906 D:710 H:1401	1	401,760

■ 総合公金収納システム構築事業

単位：円

当初 予算額	30,291,000	予算 現額	31,786,000	決算額	31,526,374	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

口座振替データの伝送化により情報漏洩等に対する安全性を高めること、及び、帳票（収納済通知書）をデータ（消し込みデータ及び画像データ）化することにより事務効率を高めることができるよう総合公金収納システムの構築を行う。また、現在各課等で使用しているシステムについてはそれに連携するよう改修する。

II 事業の成果等

- 1 次年度からの稼働を目指し、システム関連の業務委託を行った。
- 2 その他必要な準備等を行った。

III 事業の実績

1 システム関連の業務委託

業務名等	委託先	業務内容	委託料（円）
総合公金収納システム構築事業	(株)八十二銀行	総合公金収納システムの構築	17,478,934
財務会計システム総合収納対応業務	(株)電算	財務会計システムを総合公金収納システムと連携可能とするための改修	1,991,000
総合収納サービス導入改修業務	(株)電算	基幹系システムを総合公金収納システムと連携可能とするための改修	10,989,000
総合収納サービス導入に係る追加改修業務	(株)電算	データ伝送の際に一部金融機関のシステムと整合しないことを解消するための基幹系システムの改修	550,000

2 その他の準備業務

(1) 用紙類の準備

ア 各金融機関で納入済通知書の取りまとめの際に必要な専用用紙の作成を依頼しテストの後、増刷した。 6種 各6,100枚 517,440円

2-1-4 (目) 財政管理費

単位：円

当初 予算額	5,556,000	予算 現額	5,556,000	決算額	5,481,057	前年度 決算対比	18.9%	前年度 決算額	28,980,888
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

■ 財政管理事業

単位：円

当初 予算額	5,556,000	予算 現額	5,556,000	決算額	5,481,057	前年度 決算対比	18.9%	前年度 決算額	28,980,888
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

将来にわたって赤字を出さずに、市民が必要とするサービスを提供できるようにすること。

また、積極的に、わかりやすく財政情報を公開することにより、市民が市の財政状況に関心を持ち、理解すること。

II 事業の成果等

中長期的な視点による財政運営を行うことで、赤字を出さずに健全財政を堅持し、必要な事業が実施できた。
令和元年東日本台風災害による避難所運営や復旧・復興のため、迅速に専決予算等を編成し、支障をきたすことなく災害に対応できた。

当初予算・補正予算の概要、決算概要、財政広報誌「見てみよう須坂市の財政」、財務書類4表等について、市ホームページ上で公開したほか、「見てみよう須坂市の財政」のダイジェスト版、中学生向け版の作成や、広報誌等での積極的な広報活動等により、市民に分かりやすく、身近な財政情報の提供を行った。

III 事業の実績

1 2019年度予算の状況

(1) 議決の状況

平成31年3月 市議会定例会	一般会計当初予算〔原案可決〕 国民健康保険特別会計当初予算〔原案可決〕 井上・幸高・九反田・中島財産区特別会計当初予算〔原案可決〕 介護保険特別会計当初予算〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計当初予算〔原案可決〕 水道事業会計当初予算〔原案可決〕 下水道事業会計当初予算〔原案可決〕 宅地造成事業会計当初予算〔原案可決〕
6月市議会定例会	一般会計補正予算第1号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第1号〔原案可決〕
9月市議会定例会	一般会計補正予算第2号〔原案可決〕 国民健康保険特別会計補正予算第1号〔原案可決〕 井上・幸高・九反田・中島財産区特別会計補正予算第1号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第2号〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計補正予算第1号〔原案可決〕 下水道事業会計補正予算第1号〔原案可決〕
12月市議会定例会	一般会計補正予算第3号〔原案承認〕、4・5号〔原案可決〕 国民健康保険特別会計補正予算第2号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第3号〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計補正予算第2号〔原案可決〕 水道事業会計補正予算第1・2号〔原案可決〕 下水道事業会計補正予算第2・3号〔原案可決〕
令和2年第1回 市議会臨時会	一般会計補正予算第6号〔原案承認〕、7号〔原案可決〕
令和2年3月 市議会定例会	一般会計補正予算第8号〔原案可決〕 国民健康保険特別会計補正予算第3号〔原案可決〕 井上・幸高・九反田・中島財産区特別会計補正予算第2号〔原案可決〕 介護保険特別会計補正予算第4号〔原案可決〕 後期高齢者医療特別会計補正予算第3号〔原案可決〕 水道事業会計補正予算第3号〔原案可決〕 下水道事業会計補正予算第4号〔原案可決〕 宅地造成事業会計補正予算第1号〔原案可決〕
6月市議会定例会	一般会計補正予算第9号〔原案承認〕

(2) 補正号数別予算の状況 (○数字は補正号数)

単位：千円

区 分	当初予算	6月定例会	9月定例会	12月定例会
一 般 会 計	21,330,000	① 582,900	② 512,887	③ 880,426 ④ 406,257 ⑤ 3,127
特 別 会 計	10,443,498	3,300	208,724	41,744
国民健康保険	5,326,700		① 3,977	② 31,118
井上ほか財産区	7,811		① 172	
介 護 保 険	4,457,257	① 3,300	② 201,733	③ 10,331
後期高齢者医療	651,730		① 2,842	② 295
企 業 会 計	5,645,867		2,442	△14,666
水 道 事 業	2,052,480			① △727 ② 52
下 水 道 事 業	3,585,881		① 2,442	② △14,023 ③ 32
宅地造成事業	7,506			
全 会 計	37,419,365	586,200	724,053	1,316,888

区 分	第1回臨時会	3月定例会	令和2年6月定例会	予算総額
一 般 会 計	⑥ 6,429 ⑦ 2,514,460	⑧ 567,689	⑨ 580,874	27,385,049
特 別 会 計		△205,284		10,491,982
国民健康保険		③ △80,013		5,281,782
井上ほか財産区		② 134		8,117
介 護 保 険		④ △151,083		4,521,538
後期高齢者医療		③ 25,678		680,545
企 業 会 計		367,542		6,001,185
水 道 事 業		③ △162,224		1,889,581
下 水 道 事 業		④ 534,427		4,108,759
宅地造成事業		① △4,661		2,845
全 会 計	2,520,889	729,947	580,874	43,878,216

2 2020年度当初予算編成の状況

- (1) 10月25日 当初予算編成方針の公表と予算担当者会議の開催
- (2) 11月21日 予算要求期限
- (3) 12月27日 内示
- (4) 1月9日・10日・14日 総務部長査定・復活折衝
- (5) 1月27日・28日・29日 理事者査定
- (6) 2月10日 記者発表
- (7) 2月18日 議会提出
- (8) 3月16日 議決

3 財政情報の公表

(1) 財政事情の作成及び公表に関する条例に基づく財政事情の公表（公告による公表）

- ア 6月18日 平成30年度予算下半期の状況（広報須坂7月号においても要旨掲載）
- イ 12月25日 2019年度予算上半期及び平成30年度決算状況（広報須坂1月号においても要旨掲載）

(2) 市報による予算・決算の公表

- ア 4月号 2019年度当初予算
- イ 8月号 一般会計補正予算第1号
- ウ 10月号 平成30年度決算状況
- エ 11月号 一般会計補正予算第2号
- オ 12月号 一般会計補正予算第3号
- カ 2月号 一般会計補正予算第4号・5号・6号・7号

(3) 市ホームページによる公表

- ア 2019年6月市議会定例会で成立した補正予算の概要
- イ 2019年9月市議会定例会で成立した補正予算の概要
- ウ 2019年10月12日付で専決処分した補正予算の概要
- エ 2019年12月市議会定例会で成立した補正予算の概要
- オ 2019年12月12日付で専決処分した補正予算の概要
- カ 2020年第1回市議会臨時会で成立した補正予算の概要
- キ 2020年3月市議会定例会で成立した補正予算の概要
- ク 2020年度当初予算編成方針
- ケ 2020年度当初予算の概要
- コ 2020年度一般会計・特別会計当初予算書
- サ 平成30年度事業実績並びに主要施策成果説明
- シ 平成30年度健全化判断比率、資金不足比率、財政健全化法の概要
- ス 財政事情の公表（平成30年度下半期・平成30年度決算状況・2019年度上半期）
- セ 平成30年度財務書類4表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）
- ソ 引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）の使途（30年度決算）
- タ 見てみよう「須坂市の財政」～2019年度版 財政広報誌（30年度決算）～
- チ 見てみよう「須坂市の財政」～2019年度版 財政広報誌（30年度決算）～ ダイジェスト版
- ツ 見てみよう「須坂市の財政」～2019年度版 財政広報誌（30年度決算）～ 中学生向け版

4 健全化判断比率等の状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率等を算定し、監査委員の審査に付した上で、議会へ報告するとともに、市報等で市民に公表した。

なお、2019年度決算に基づく健全化判断比率等は、どの項目も財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準を大きく下回っている。

(1) 健全化判断比率

単位：％

	当該年度	前年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	9.5	9.0	25.0	35.0
将来負担比率	20.1	28.6	350.0	
実質赤字比率	—	—	13.05	20.00
連結実質赤字比率	—	—	18.05	30.00

(2) 資金不足比率

単位：％

公営企業会計の名称	当該年度	前年度	経営健全化基準
下水道事業会計	—	—	20.0
水道事業会計	—	—	20.0
宅地造成事業会計	—	—	20.0

5 健全財政堅持の取り組み

- (1) 4月1日 予算執行方針の周知及び予算配当
- (2) 4月10日 予算執行計画の決定
- (3) 4～6月 普通交付税算定
- (4) 5～8月 平成30年度事業実績並びに主要施策成果説明書の作成及び9月市議会定例会への提出
- (5) 6月5日 財政状況（当初予算）ヒアリング
- (6) 6～7月 平成30年度地方財政状況調査及び健全化判断比率の算定
- (7) 8月20・21日 交付税検査
- (8) 8～2月 特別交付税算定
- (9) 9月27日 財政事情（特別交付税）ヒアリング
- (10) 10月2日 19市財政事務研究会（東御市）
- (11) 10月25日 北信3市財政事務研究会（須坂市）※令和元年東日本台風災害のため中止
- (12) 10～3月 翌年度普通交付税算定

6 財務会計システムについて

- (1) 予算編成支援システム使用料 1,283,548円
- (2) 決算統計支援システム使用料 906,548円
- (3) 起債管理支援システム使用料 725,236円

7 公会計システムについて

- (1) 公会計システム使用料 979,776円

2-1-5 (目) 財産管理費

単位：円

当初 予算額	43,333,000	予算 現額	1,777,926,000	決算額	1,770,317,057	前年度 決算対比	263.1%	前年度 決算額	672,769,622
-----------	------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 財産管理事業

単位：円

当初 予算額	31,133,000	予算 現額	1,765,726,000	決算額	1,764,915,593	前年度 決算対比	267.0%	前年度 決算額	661,043,075
-----------	------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

公有財産の適切な維持管理を行うとともに、普通財産の有効活用に努める。

II 事業の成果等

市が所有する財産（建物・自動車）について、災害や不慮の事故に備えるため、（公社）市有物件災害共済会建物総合損害共済及び自動車損害共済に加入し、災害等による損害を災害共済金にててん補した。

また、市主催の行事や、急激かつ偶然な事故に備えるため、全国市長会市民総合賠償補償保険に加入し、市行事等に参加中の偶然な事故により被災した住民に対して、市が支払う補償金等にててん補をした。

市が所有する施設等の瑕疵や、市の行う業務遂行上の過失に起因する事故等について、市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害をてん補した。

公有財産の維持・管理において、活用方法等の確定していない普通財産について、引き続き有償貸付した。また、活用見込のない土地については売却した。

各課より依頼された登記事務について、正確で確実な事務処理を図り迅速に登記が完了した。

公有財産の異動を把握し、固定資産台帳の更新を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 市有建物損害共済加入状況等

(1) 加入状況（共済責任額、件数は3月31日現在）

種 別	共 済 責 任 額 (円)	保 険 料(円)	件 数
公 用 建 物	27,338,950,000	3,040,793	223
学 校	17,648,960,000	966,653	15
市 営 住 宅	6,492,180,000	1,022,865	72
合 計	51,480,090,000	5,030,311	310

(2) 共済金の状況 6件 3,156,728円（市の歳入）

2 市有自動車損害共済加入状況等

(1) 加入状況（委託台数、車両共済は3月31日現在）

保 険 料 (委託料)	3,606,831円	(うち財政課分 2,965,087円)
委託台数	228台	(うち財政課分 177台)
車両共済	5億5,138万円	
対人共済	無制限	
対物共済	無制限	

(2) 共済金の状況

業者へ直接支払 8件 1,268,986円

3 全国市長会市民総合賠償保険加入状況等

(1) 加入状況

保 険 料	885,932円
賠償保険 身体賠償	1名につき 2億円 1事故につき 20億円
財物賠償	1事故につき 2,000万円
補償保険 死亡補償保険金	300万円
後遺障害補償保険金	死亡補償金額の4%から100%
入院補償保険金	入院日数に応じて1万円から15万円
通院補償保険金	通院日数に応じて5千円から6万円

(2) 保険金の状況

賠償保険のうち財物賠償 1件 120,000円（相手方へ直接支払）

4 登記事務等処理状況

(1) 嘱託登記（件数は3月31日現在）

種 別	件 数	うち委託件数
市の所有にするための登記	127	0
土地買収等による分筆登記	60	0
道路敷地等への地目変更登記	123	0
払い下げ等による登記	91	0

種 別	件 数	うち委託件数
合 筆	0	0
相 続 登 記	5	0
国有財産の譲与等による 表示及び所有権保存登記	11	0
地 積 更 正	21	0
そ の 他	29	0
合 計	467	0

(2) その他

境界確認及び分筆登記等 0件

5 不動産鑑定状況

普通財産売払いのため、一般財団法人日本不動産研究所に鑑定を依頼した。 2件 471,860円

6 普通財産売払い状況

(1) 入札による売却

ア 物件所在地 大字須坂 620 番 1、885 番 9

地 目 宅地

売却面積 1,257.60 m²

契 約 日 7月3日

売却価格 21,001,628円

イ 物件所在地 墨坂南二丁目 2065 番 65

地 目 宅地

売却面積 251.58 m²

契 約 日 9月11日

売却価格 7,976,000円

ウ 物件所在地 大字仁礼 91 番 1、92 番 5

地 目 宅地

売却面積 995.78 m²

契 約 日 3月9日

売却価格 755,000円

(2) 随意契約による売却

ア 物件所在地 墨坂南四丁目 1918 番 943

地 目 宅地

売却面積 138.00 m²

契 約 日 11月20日

売却価格 1,300,080円

7 市有財産貸付額（普通財産）

土地貸付 年間収入額 29件 5,187,947円

建物貸付 年間収入額 6件 2,178,955円

■ 契約事業

単位：円

当初 予算額	2,200,000	予算 現額	2,200,000	決算額	2,183,644	前年度 決算対比	105.8%	前年度 決算額	2,064,468
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

透明性、公平性、競争性を確保した、入札、契約事務を行い、適正な公共調達を行う。

II 事業の成果等

市の発注方針に沿い、予定価格 130 万以上の建設工事、50 万以上の建設コンサルタント、30 万以上の物品購入の案件について、入札執行し契約業務を行った。

建設工事については、最低制限価格制度改を改正し、入札・契約制度の適正化を図った。

建設工事、建設コンサルタントについては、入札参加資格の中間審査を行い、適正な評価の見直しや、入札参加資格の認定を行った。

III 事業の実績

1 入札・契約事務の状況

(1) 建設工事の入札・契約状況（設計金額 130 万円を超えるもの・随意契約含む）

建設工事の種類	入札件数	契約件数	予定価格 (円：税抜)	落札額 (円：税抜)	加重平均 落札率(%)	契約金額(円)
土木一式	33	30	399,672,000	362,553,000	90.71	405,740,580
建築一式	3	3	203,400,000	184,130,000	90.53	202,543,000
とび・土工	4	4	114,870,000	102,973,000	89.64	113,270,300
電気	2	2	183,052,000	181,260,000	99.02	199,360,800
管	8	6	392,960,000	377,900,000	96.17	415,690,000
鋼構造物	1	1	7,520,000	7,500,000	99.73	8,250,000
さく井	1	1	45,210,000	43,500,000	96.22	47,850,000
舗装	12	12	100,930,000	88,632,000	87.82	96,883,400
機械器具設置	9	7	74,151,000	72,320,000	97.53	78,833,800
電気通信	2	2	78,440,000	75,600,000	96.38	81,800,000
水道施設	16	16	574,890,000	567,650,000	98.74	624,128,400
合計	91	84	2,175,095,000	2,064,018,000	94.89	2,274,350,280

(2) 建設コンサルタント等の業務の入札・契約状況（設計金額 50 万円を超えるもの・随意契約含む）

建設コンサルタントの種類	入札件数	契約件数	予定価格 (円：税抜)	落札額 (円：税抜)	加重平均 落札率(%)	契約金額(円)
土木関係	31	31	221,457,000	198,993,000	89.86	218,298,760
建築関係	11	10	77,830,000	69,560,000	89.37	84,766,000
その他	1	1	8,160,000	8,160,000	100.00	8,976,000
合計	43	42	307,447,000	276,713,000	90.00	312,040,760

(3) 備品購入の入札・契約状況（設計金額 30 万円以上のもの・随意契約含む）

入札件数	契約件数	予定価格(円)	落札額(円：税抜)	加重平均 落札率(%)	契約金額(円)
38	38	161,877,343	139,301,790	86.05	152,501,213

(4) 契約保証の状況

種別	金銭的保証件数	納付免除件数
建設工事	56	28
建設コンサルタント等	11	31
備品購入等	4	34
合計	71	93

(5) 入札結果及び契約情報の公表

入札・契約を行った建設工事等について、財政課窓口及び市ホームページにて、入札結果（予定価格・最低制限価格・入札金額等）及び契約情報を公表した。

2 入札参加資格者数（2020年3月31日現在）

種 別	市内業者数（支店等含む）	市外業者数	
建設工事等	土木一式	29	131
	建築一式	18	87
	電 気	13	131
	管	15	137
	そ の 他	66	975
建設コンサルタント等	測 量	15	149
	建築関係	13	120
	土木関係	14	170
	地質調査	4	84
	補償関係	10	66
物品購入等	233	807	

3 入札参加資格審査事務の状況

(1) 建設工事

- ア 平成29・30年度変更審査 21件
- イ 令和1・2年度変更審査 59件
- ウ 令和1・2年度中間審査 14件（2020年2月に実施）

(2) 建設コンサルタント等

- ア 平成29・30年度変更審査 18件
- イ 令和1・2年度変更審査 34件
- ウ 令和1・2年度中間審査 4件（2020年2月に実施）

(3) 物品購入等

- ア 平成30～33年度随時審査 90件（新規登録審査）
- イ 平成30～33年度変更審査 131件

4 小規模工事受注希望者登録事務の状況

- (1) 平成29～32年度随時受付 5件（新規登録受付）
- (2) 平成29～32年度変更受付 3件
- (3) 平成29～32年度登録者数 53者（2020年3月31日現在）

5 建設工事等入札審査委員会の開催

設計金額130万円を超える建設工事、設計金額50万円を超える建設コンサルタント等の業務及び設計金額500万円以上の備品購入における契約の方法、入札参加資格要件及び指名業者の選定等を行った。

- (1) 開催回数 26回（うち持ち回り審査 15回）
- (2) 入札参加資格要件の審査及び指名業者等の選定件数 167件（再審査含む）（うち事務局審査 99件）

6 入札・契約制度等調査検討委員会の開催

1回開催し、最低制限価格制度の改正、一抜け方式適用マニュアル、低入札価格調査制度などについて検討した。

7 入札参加停止処分

- (1) 須坂市建設工事等入札参加資格者に係る入札参加停止要綱別表第4（第2関係）その他第1号（国又は長野県が入札参加停止処分を行ったとき）での入札参加停止処分 4件
- (2) 須坂市物品購入等入札参加資格者に係る入札参加停止要綱別表第4（第2関係）その他第1号（国又は長野県が入札参加停止処分を行ったとき）での入札参加停止処分 4件
- (3) 須坂市物品購入等入札参加資格者に係る入札参加停止要綱別表第2（第2関係）贈賄及び不正行為等に基づく措置基準 第10号（不正又は不誠実な行為を行ったとき）での入札参加停止処分 1件
- (4) 須坂市物品購入等入札参加資格者に係る入札参加停止要綱別表第1（第2関係）契約不履行等に基づく措置基準 第1号（契約を締結しないとき）での入札参加停止処分 1件

8 公共工事等発注見通しの公表

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第7条、須坂市入札及び契約に係る情報の公表に関する要領に基づき、予定価格が130万円以上と見込まれる建設工事、予定価格が50万円以上と見込まれる建設コンサルタント等の業務及び予定価格が30万円以上と見込まれる備品購入の発注見通しについて、財政課窓口及び市ホームページにて公表した。

- (1) 4月公表分（2019年度全期）
建設工事 59件 建設コンサルタント等の業務 25件 備品購入 22件
- (2) 7月公表分（第2四半期・第3四半期・第4四半期分で見直し後の件数）
建設工事 41件 建設コンサルタント等の業務 14件 備品購入 5件
- (3) 10月公表分（第3四半期・第4四半期分で見直し後の件数）
建設工事 35件 建設コンサルタント等の業務 7件
- (4) 1月公表分（第4四半期分で見直し後の件数）
建設工事 8件 備品購入 1件

9 工事成績評定の公表

契約金額500万円以上の建設工事について成績評定を行い、財政課窓口にて公表した。 公表件数 22件

10 事後審査型条件付一般競争入札の適用

- (1) 建設工事 46件
- (2) 建設コンサルタント等の業務 6件
- (3) 物品購入等 18件

11 最低制限価格制度の適用

設計金額130万円を超える建設工事及び設計金額50万円を超える建設コンサルタント等の業務の入札に適用した。

- (1) 建設工事（予定価格の87.5%から90%の範囲内で設定） 58件
- (2) 建設コンサルタント等の業務（予定価格の85%から90%の範囲内で設定） 20件

12 主な入札・契約制度の改正事項（2020年4月1日公告、通知から施行）

平成31年4月に国において、建設工事にかかる低入札価格調査基準価格及び最低制限価格の見直しが行われ、長野県においても令和元年8月以降の公告の案件から「失格基準」の見直しを行った。

当市においても、工事の品質の確保及び工事監理体制の充実を図るため、入札・契約制度等調査検討委員会、建設工事等入札審査委員会で検討し、最低制限価格の算定基準の改正を行った。

13 財務会計システムについて

- (1) 業者管理支援システム使用料 543,930 円
- (2) 契約管理支援システム使用料 1,087,860 円
- (3) 検査管理支援システム使用料 453,494 円

■ 施設等修繕事業

単位：円

当初 予算額	10,000,000	予算 現額	10,000,000	決算額	3,217,820	前年度 決算対比	33.3%	前年度 決算額	9,662,079
-----------	------------	----------	------------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

公共施設に緊急的な修繕箇所が生じた場合に、市民サービスの低下を招かないよう迅速に対応する。

II 事業の成果等

各課等の所管施設における緊急修繕について、迅速に対応できた。

III 事業の実績

1 施設等修繕状況

件名	所管課	契約金額 (円：税込)
シルキー2階フロア 展示ケース等修繕工事	商業観光課	496,800
デイサービスすえひろガスヒートポンプエアコン緊急修繕	高齢者福祉課	780,840
プラスチック圧縮機供給コンベヤエプロン板修繕工事	生活環境課	924,000
シルキー2階天井吹出口修繕工事	商業観光課	298,870
須坂市福祉会館階段踊り場排煙窓修繕	福祉課	431,310
須坂市技術情報センター2階部分エアコン室外機修繕工事	産業連携開発課	286,000
6件		3,217,820

2-1-6 (目) 車両管理費

単位：円

当初 予算額	12,142,000	予算 現額	12,142,000	決算額	10,085,951	前年度 決算対比	89.3%	前年度 決算額	11,291,586
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 車両管理事業

単位：円

当初 予算額	12,142,000	予算 現額	12,142,000	決算額	10,085,951	前年度 決算対比	89.3%	前年度 決算額	11,291,586
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

集中管理する公用車の適正な運行管理を通じて、効率的かつ安全で環境に配慮した公務の執行を図る。

II 事業の成果等

公用車を集中管理し、車両の点検整備などの維持管理と、配車計画及び安全運転管理の実施により、市業務の効率的かつ安全な執行を推進した。

Ⅲ 事業の実績

1 集中管理車両台数

(3月31日現在)

普通乗合 自動車 (マイクロバス)	普通乗用車 (乗用車・ワゴン)	軽自動車 (乗用車・バン トラック)	小型貨物 自動車 (バン・トラック)	小型四輪 乗用車 (乗用車・ワゴン)	計
2	6 (5)	8 (1)	—	3 (2)	19 (8)

() 内は低公害車

(参考) 公用車保有台数 (ナンバーがないものは除く) (3月31日現在)

課 等	普通自動車	軽自動車	特殊車両等	バイク	計
総務課集中管理	11	8			19
総務課			1		1
政策推進課	1	1			2
財政課	1				1
税務課		2			2
福祉課	2	4			6
高齢者福祉課	4	14			18
健康づくり課	1	5		1	7
市民課	1	1			2
人権同和政策課		1			1
生涯学習スポーツ課	2	8			10
中央公民館		2			2
生活環境課	2	4	2		8
農林課	2	4	2		8
産業連携開発課		2			2
商業観光課	1	1			2
道路河川課	7	7	15		29
まちづくり課		9			9
消防本部・署			41		41
水道局	4	9	1		14
教育委員会	8	8		2	18
計	47	90	62	3	202

2 所管車両の整備

区 分	台 数	金 額 (円)
3か月点検整備	2	248,803
12か月点検整備	8	217,933
車検	8	914,672
その他(タイヤ交換等)	2	11,000
		1,392,408

3 自動車の購入

なし

4 集中管理車両(庁用バス)への観光画像付広告の設置

広告設置料 53,000円(掲載会社 7社・500円×12月、2社・500円×11月)

5 嘱託、臨時職員向け公用車両安全運転講習

1年以内に任用された嘱託、臨時職員を対象に実施した。5月 受講者 8人

2-1-7 (目) 市有林管理費

単位：円

当初 予算額	416,000	予算 現額	416,000	決算額	414,967	前年度 決算対比	7.4%	前年度 決算額	5,620,044
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	------	------------	-----------

■ 市有林維持管理事業

単位：円

当初 予算額	416,000	予算 現額	416,000	決算額	414,967	前年度 決算対比	7.4%	前年度 決算額	5,620,044
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	------	------------	-----------

I 事業の目的

市有林の搬出間伐と保育間伐（切捨間伐）を実施し、森林の維持管理を行う。

II 事業の成果等

適期に森林整備を行うため、本年度は間伐等を実施しなかった。

市有林に対する火災や気象災害等に備えるため、森林保険の契約を更新した。

III 事業の実績

1 市有林の森林保険契約更新

市有林の所在	高山村 牧 湯沢滝沢 1-32 他	8.67ha	樹種スギ
保険期間	2019年10月9日～2024年10月8日（5年間）		
保険金額	26,166,316円		
保険料	371,777円		

2-1-8 (目) 職員厚生費

単位：円

当初 予算額	15,281,000	予算 現額	15,288,000	決算額	14,002,336	前年度 決算対比	107.4%	前年度 決算額	13,039,304
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 職員厚生事業

単位：円

当初 予算額	13,729,000	予算 現額	13,729,000	決算額	12,443,336	前年度 決算対比	107.7%	前年度 決算額	11,550,304
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

職員の健康管理と福利厚生の充実を図る。

II 事業の成果等

健康診断及び産業医による健康相談を実施し、疾病の早期発見と予防に努めるとともに、外部の産業カウンセラー、保健師などの専門スタッフによる健康相談、ストレスチェックなどを行うことにより、職員の健康相談事業の充実、健康増進を図ることができた。

III 事業の実績

1 職員の健康管理

(1) 衛生委員会の開催 5月23日

(2) 安全衛生推進者会議の開催 2月13日

(3) 予防接種等

ア 破傷風予防接種 延べ25人 43,900円

イ B型肝炎検査及び予防接種 延べ76人（ワクチン接種 延8人） 225,372円

(4) 職員の健康診断

区 分	受診者数 (人)	精検者数 (人)	金額 (円)
胃検診	76	4	398,088
大腸検診	99	8	164,106
定期健康診断	265	48	1,897,873
生活習慣病予防健診	324	79	1,645,017
人間ドック	211	78	3,818,551
子宮ガン検診	113	2	590,425
乳房検診(超音波)	104	4	457,600
〃 (マンモグラフィ)	105	5	687,225
夜勤者定期診断	75	16	490,564

- (5) 職員の健康相談 産業医 … 12月5日 5人
保健師 … 随時

(6) 健康応援セミナー・特定保健指導

特定保健指導該当者(8人)及び生活習慣病予防健診受診者のうち該当者(4人)について、外部の保健師等による面接指導等を行った。

(7) 昼休みBGMの放送

2 職員の心の健康管理

労働安全衛生法及び「須坂市職員ストレスチェック制度実施規程」に基づき、ストレスチェックを実施した。

厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」及び「須坂市こころの健康づくり計画」に基づき実施した。

(1) ストレスチェックの実施

	対象者	受検者	高ストレス者	保健師面談	産業医面談
人数 (人)	877 (A)	862 (B)	83 (C)	13 (D)	0 (E)
率 (%)	—	98.3 (B/A)	9.6 (C/B)	15.7 (D/C)	0.0 (E/D)

(2) 管理監督者等によるケアに関する研修

内 容	人 数	実 施 日
ストレスチェックの職場診断結果説明会	32	12月11日

- (3) 職場のメンタルヘルスラインケア研修会 12月24日 26人
(4) 産業カウンセラーによる面接相談 延べ88人
(5) 総務課保健師に相談 随時

3 職員被服購入貸与

須坂市職員被服貸与規程に基づき、職員に貸与した。

- | | | |
|----------------------|------|-----------|
| (1) 現業職員夏シャツ (半袖・長袖) | 60 着 | 159,624 円 |
| (2) 現業職員作業ズボン | 50 着 | 162,000 円 |
| (3) 現業職員帽子 | 1 個 | 1,566 円 |
| (4) 一般職活動服上衣 | 14 着 | 102,060 円 |
| (5) 一般職活動服ズボン | 14 着 | 92,016 円 |
| (6) 一般職ゴム長靴 | 14 足 | 66,528 円 |

■ 職員互助会助成事業

単位：円

当初 予算額	1,552,000	予算 現額	1,559,000	決算額	1,559,000	前年度 決算対比	104.7%	前年度 決算額	1,489,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

地方公務員法第 42 条による職員の保健、その他厚生に関する事項を実施するため、須坂市職員互助会を設置し、職員の福利厚生等の向上を図る。

II 事業の成果等

負担金を支出し、互助会で職員厚生事業、文化活動事業、体育事業等を行った。

III 事業の実績

職員互助会への助成

区 分	内 容	金額 (円)
負担金	19 市職員体育大会参加負担金 職員体育活動負担金 職員文化活動負担金 職員厚生事業負担金	1,559,000

2-1-9 (目) 企画費

単位：円

当初 予算額	472,026,000	予算 現額	1,403,905,000	決算額	1,400,811,578	前年度 決算対比	235.0%	前年度 決算額	596,048,009
-----------	-------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	414,752,000	予算 現額	1,347,714,000	決算額	1,345,837,778	前年度 決算対比	246.1%	前年度 決算額	546,955,331
-----------	-------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

第五次須坂市総合計画・後期基本計画の各施策の進捗管理を行い、基本構想で示した市の将来像「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」の実現を図る。

また、国や県をはじめとした関係団体等との連絡調整を行うほか、庁内関係部の総合調整を図る。

II 事業の成果等

第五次須坂市総合計画・後期基本計画の各施策及び取組みについて進捗管理を行い、目指す将来像の実現を推進することができた。実施計画では、長期的な財政運営を考慮しながら施設整備事業等を盛り込んだ。

また、庁議を開催し、市政運営の基本方針や重要施策について審議を行った。「市長への手紙」では、多くの市民から意見をいただき、市政への反映に努めた。「信州須坂ふるさと応援寄附金」では、寄附募集サイトを活用し、寄附額を大幅に増やすことができた。

III 事業の実績

1 庁議

(1) 部長会議 16回

第1回部長会議 (4月1日)	2019年度予算執行方針
第2回部長会議 (4月23日)	後期重点プロジェクト推進本部
第3回部長会議 (5月13日)	危機管理マニュアル等

第4回部長会議（5月28日）	6月市議会定例会提出議案
第5回部長会議（6月11日）	6月市議会定例会一般質問
第6回部長会議（7月2日）	地域づくり市民会議
第7回部長会議（7月23日）	市総合防災訓練
第8回部長会議（8月9日）	9月市議会定例会提出議案
第9回部長会議（8月28日）	9月市議会定例会一般質問
第10回部長会議（10月1日）	須坂市の重点課題
第11回部長会議（11月5日）	12月市議会定例会提出議案
第12回部長会議（11月20日）	12月市議会定例会一般質問
第13回部長会議（1月6日）	副市長・総務担当部長会議提出議題
第14回部長会議（2月4日）	3月市議会定例会提出議案
第15回部長会議（2月19日）	3月市議会定例会一般質問
第16回部長会議（3月19日）	人事異動

(2) 部課長会議 8回

第1回部課長会議（4月1日）	人事異動の基本方針、2019年度予算執行方針
第2回部課長会議（7月12日）	職員研修報告、6月市議会定例会における質問事項等
第3回部課長会議（9月17日）	クマ出没情報について等
第4回部課長会議（10月23日）	9月市議会定例会における質問事項等
第5回部課長会議（12月25日）	12月市議会定例会における質問事項等
第6回部課長会議（1月6日）	各部課等連絡事項等
第7回部課長会議（1月21日）	各部課等連絡事項等
第8回部課長会議（3月25日）	3月市議会定例会における質問事項等

2 市長への手紙

(1) 受信件数 161件（前年度152件）

(2) 内容件数 185件（前年度183件）

部等名	件数	主な内容
総務部	20	職員応対、防災、税金
健康福祉部	24	健康増進施策、高齢者への施策
市民環境部	33	交通施策、ごみ処理、騒音、区・自治会
社会共創部	12	体育施設・社会教育施設、スポーツ施策
産業振興部	8	商業の活性化、観光施策
まちづくり推進部	52	道路、空き家、公園、大型商業施設
水道局	6	上下水道
教育委員会	26	学校教育、保育園、子育て支援
消防本部	4	消防団・消防職員規則
議会事務局	0	
選挙管理委員会	0	
計	185	

3 市長と語る虹のテーブル

開催回数 1回（北旭ヶ丘町）

4 陳情

(1) 受理件数 36件（前年度29件）

(2) 内容件数 68件（前年度 67件）

部等名	件数	主な内容
総務部	7	防災、税金、契約
健康福祉部	1	福祉の充実
市民環境部	10	交通政策、不法投棄、騒音対策
社会共創部	4	文化施設等の充実について
産業振興部	19	有害鳥獣対策、農業振興、産業・商業の活性化、災害復旧
まちづくり推進部	25	道路・水路・河川等の改修(災害復旧)、除雪、空き家対策、
水道局	0	
教育委員会	1	学校教育
消防本部	1	消防団員福利厚生施設の建設
選挙管理委員会	0	
計	68	

5 姉妹都市との交流

交流の状況（市が主体的に関わったもの）

区 分	三浦市から須坂市へ	須坂市から三浦市へ
区長会交流		区長ほか 59人 (6/12・13)
児童生徒親善交流	小中学生・引率ほか 33人 (8/9～11)	小中学生・引率ほか 26人 (7/31～8/2)
市議会議員交流		市議会議員ほか 20人 (2/3・4)

※新発田市との交流については実績なし。

6 後期重点プロジェクト（須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の推進

第五次須坂市総合計画・後期基本計画の後期重点プロジェクト（須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の目標を達成するため、後期重点プロジェクト推進本部を設置するとともに、プロジェクトごとに部会を設け、全庁的な連携により推進を図った。（政策推進課は「須坂市への新しい人の流れを創るプロジェクト部会」を主管）

(1) 後期重点プロジェクト項目

プロジェクト名
1 須坂市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2 須坂市への新しい人の流れを創る
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4 安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(2) 本部会議の開催 2回

(3) 行政改革推進委員会での進捗状況等の検証 5月7日

(4) 市議会への進捗状況等の報告 6月14日

7 地方創生関係の交付金申請支援

国の地方創生推進交付金の申請にあたり、実施計画等の作成を支援した。

(1) 健康スミージーを活用したまちなにぎわいづくり（健康づくり課主管）

(2) 「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と賑わい創出事業（産業連携開発課主管）

(3) 「まるごと博物館構想」を核とした「人」「地域資源」で紡ぎだすまちな元氣創出事業（生涯学習スポーツ課主管）

8 実施計画の策定

第五次須坂市総合計画基本構想・後期基本計画に沿った事業を推進するため、2020年度から2022年度までの計画を策定した。3か年の総事業費は12,565,900,000円（一般財源は4,243,400,000円）

9 高速交通関係

北陸新幹線や上信越自動車道の協議会等へ出席した。

総会等の名称	開催日等	開催場所等
北陸新幹線関係都市連絡協議会	5月17日	富山県氷見市
〃	10月11日	新潟県十日町市
上信越自動車道建設促進期成同盟会定期総会（書面開催）	9月19日	新潟県上越市
北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会定期総会（書面開催）	9月11日	長野市

10 行財政情報サービス等の利用

職員の行政経営能力向上等のため、行財政情報サービス等と契約して活用を図った。

- (1) 時事通信社 行財政情報サービス「iJAMP」 委託料 810,960円
- (2) 信濃毎日新聞データベース 使用料 130,800円

11 開発行為等調整委員会の開催

- (1) 委員会開催 0回
- (2) 書面による委員への意見聴取 0件

12 土地利用関係

- (1) 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出書等の受理 4件
- (2) 国土利用計画法に基づく届出書等の受理 6件

13 大学等との連携

大学等との包括的連携協定に基づき連携事業を実施した。

大学等の名称（締結年月）	事業件数	主な事業
信州大学（16年12月）	13	須坂市寄付講義（15回）、蔵の町並みキャンパス、伝統的建造物群保存対策調査など
長野工業高等専門学校（19年5月）	5	東日本台風の避難行動アンケート、防災会議、AI・IoT活用研究会など
長野県工科短期大学校（20年10月）	2	地域ものづくり人材育成ネットワーク、AI・IoT活用研究会
長野県立大学（元年6月）	1	食育推進事業の測定及び解析等

14 信州須坂ふるさと応援寄附金

寄附募集サイトを活用して「ふるさと納税制度」による寄附金を募集した。また、10月に発生した令和元年東日本台風被害に伴う災害復興等に活用するため、災害寄附専用の受付を実施し、寄附を募った。

- (1) 寄附金の受入状況（前年度 38,016件 477,618,000円）

希望する用途及び件数	寄附件数	金額（円）
まちづくり（4,967）	/	68,895,000
産業振興（4,820）		66,741,543
子どもは宝プロジェクトの推進（20,899）		298,280,000
須坂市におまかせ（65,808）		905,839,632
災害支援（4,396）		36,465,360
計	100,890	1,376,221,535

- (2) 寄附金の活用状況

用途区分	金額（円）	備考
まちづくり	48,000,000	基金繰入金
産業振興	25,800,000	〃
子どもは宝プロジェクトの推進	94,000,000	〃
市長におまかせ	197,107,000	〃
災害支援	36,465,360	当該年度寄附
動物園充実	100,000	〃
計	401,472,360	

(3) 活用した寄附募集サイト

ふるさとチョイス、ふるなび、さとふる、楽天ふるさと納税、ふるさとプレミアム、au PAY ふるさと納税、ふるさとプラス、ふるまる

15 辺地対策総合整備計画

辺地に係る公共施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づく須坂市辺地対策総合整備計画による事業の進捗管理を行った。また、除雪機械更新及び上水道整備事業（小規模水道）の計画変更を行った。

(1) 計画期間 28年度～2年度（5年間）

(2) 総事業費 1,574,682,000円（辺地債充当予定額 1,278,000,000円）

■ 広域行政推進事業

単位：円

当初 予算額	27,045,000	予算 現額	26,710,000	決算額	26,710,000	前年度 決算対比	98.0%	前年度 決算額	27,251,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

長野広域連合では、広域的行政需要に適切に対応し、行政サービスの一層の充実と効率的な行財政運営を図り、市町村の枠を超えた地域の一体的な振興・発展を目指す。

長野地域連携中枢都市圏では、長野地域の市町村が地域の課題に対し連携することで、持続可能な地域社会をつくる。

長野地域活性化推進会議では、県と長野地域の市町村が協働して具体的な取組みを行い、地域活性化を図る。

須高行政事務組合では、し尿処理場や火葬場（松川苑）、休日緊急診療室、総合プール（サマーランド）の4施設の経営に関し、地域住民に質の高いサービスを提供する。

II 事業の成果等

長野広域連合では、長野地域の魅力ある資源を県内外に情報発信し、交流人口の増加や周遊促進を図ることができた。また、長野地域の保育園児や小学生等を対象にスポーツ交流を行い、体力向上や情操育成を図ることができた。

長野地域連携中枢都市圏では、「長野地域スクラムビジョン」の進捗管理を行い、圏域内の経済の牽引や生活関連機能サービスの向上等を図ることができた。

長野地域活性化推進会議では、しあわせ信州創造プラン2.0長野地域計画や重点プロジェクト、地域連携プロジェクト等について意見交換を行い、長野地域の目指す姿等を共有することができた。

須高行政事務組合では、組合の事業の総合調整を行うことができた。

III 事業の実績

1 長野広域連合

(1) 広域連合理事会、関係市町村副市町村長・幹事会に出席した。

(2) 魅せますながのプロジェクト事業

ア うみやまマップの改訂版の配布（長野地域振興局商工観光課、長野市観光情報センター等）4,710部

イ 長野地域の観光資源等の映像による情報発信（長野駅から）

(3) 長野地域スポーツ振興事業

ア 出張スポーツ交流

(ア) サッカー（AC長野パルセイロ）

8月26日 豊洲保育園（参加者16人）

10月11日 マリアこども園（参加者39人）

(イ) バスケットボール（信州ブレイブウォリアーズ）

6月24日 日野保育園（参加者36人）

9月2日 上高井保育園（参加者23人）

- (ウ) バレーボール (長野ガロンス)
 - 5月31日 北旭ヶ丘保育園 (参加者 39人)
 - 6月14日 井上保育園 (参加者 54人)
 - 7月11日 相之島保育園 (参加者 24人)
 - 10月9日 須坂保育園 (参加者 32人)
- (エ) フットサル (ボアルース長野)
 - 6月13日 須坂東部保育園 (参加者 35人)

イ スタジアム交流

- (ア) サッカー 10月6日 参加者 45人
- (イ) バスケットボール 11月17日 参加者 140人
- (ウ) バレーボール 12月1日 参加者 26人
- (エ) フットサル 12月22日 参加者 10人

(4) 共同研修 (講演会)

- ア テーマ 「100人100通りの働き方 ～幸福度と生産性の両立～」
 - 講師 青野 慶久 氏 (サイボウズ(株) 代表取締役社長) 9月13日 参加者 3人
- イ テーマ 「一歩踏み出す ～公務員からサッカーの世界へ～」
 - 講師 小湊 隆延 氏 (産業能率大学サッカー部監督) 1月15日 参加者 9人

2 長野地域連携中枢都市圏

- (1) 長野地域連携推進協議会及び幹事会等に出席した。
- (2) 長野地域スクラムビジョン (計画期間は28年度から2年度までの5年間)
- (3) 具体的な取組み

ア 圏域全体の経済成長に係る事業 (15事業)

長野圏域経済成長推進	大学等高等教育機関との連携活用
インキュベーション施設等活用	創業支援
異分野異業種交流	合同プロモーション
産業展示会	地域農産物販路拡大
農業イベント開催	ジビエ振興事業 (新規事業)
外国人観光客誘致促進	広域観光連携
企業誘致連携	就職情報サイト「おしごとながの」活用等地域への就職支援
バイオマス利活用推進に係る調査・研究	

イ 高次の都市機能の集積・強化に係る事業 (2事業)

農業の新たな担い手育成	産業を支える人材育成
-------------	------------

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る事業 (26事業)

病院群輪番制運営	保育の広域利用の拡大
地域移行支援	青少年対策
スクールカウンセラー等の共同活用	文化財保護における学芸員の相互支援
文化芸術情報提供	図書館資料貸出しの広域化
耕作放棄地等の資源作物 (ソルガム) 活用調査事業	買い物連携
アウエイツーリズム活用	災害対策のための相互協力
地域木質バイオマスの利用推進	圏域内の公共交通網構築
公共交通利便性向上	地場産品直売所活用
地産地消商談会開催 (新規参加)	移住・定住促進
結婚支援	職員人材確保 (新規事業)
ながの獅子舞フェスティバル (新規事業)	広報活動連携
公共施設等マネジメントスキルアップ	合同職員研修実施
技術職・専門職交流 (保健師・看護師)	保育士等情報交換研修等

- 3 長野地域活性化推進会議（長野地域振興局が主催）
長野地域活性化推進会議や幹事会に出席した。
- 4 須高行政事務組合
理事者会議や担当課長会議に出席した。

■ 広聴広報事業

単位：円

当初 予算額	21,124,000	予算 現額	21,128,000	決算額	19,985,335	前年度 決算対比	92.3%	前年度 決算額	21,650,525
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

行政やまちづくりに対する市民の率直な意見や提言を聴取し、市政に反映させるとともに、情報の公開と提供を積極的に行い、共創のまちづくりを推進する。また、SNSなどを活用し市内外へ最新情報を発信する。

II 事業の成果等

「広報須坂」やホームページをはじめ、メールマガジン、フェイスブック、ツイッター等、市のあらゆる広報媒体を活用し、市政に関する情報の発信に努め広報を充実することができた。また、イベント情報をまとめた季刊発行イベント情報チラシを年3回発行したほか、関係機関と連携したインターネットサイトのイベントカレンダーを活用し、各種イベント情報を市内外に発信した。

地域づくり市民会議を開催し、市政の現状を市民に伝えるとともに、市政に対する市民の意見を聴き意見交換することで市政に反映することができた。

III 事業の実績

1 「広報須坂」の発行など

(1) 発行概要等

- ア 毎月1回発行（19,700部） 印刷費 8,764,950円
- イ 編集専用パソコン2台及び専用ソフト「インデザイン」をリースし編集 リース料 135,432円
- ウ 有料広告の掲載 広告料収入 305,454円（55枠）
- エ 広報須坂かわら版の発行 毎月1回発行（B2版49部、B3版4部、A3版54部）

(2) 広報モニターを設置

広報須坂モニターに9人を委嘱し、アンケートを毎月実施した。

- ア 広報モニター会議の開催 4月23日
- イ 謝礼 27,000円（年間 3,000円×9人）

2 季刊イベント情報チラシの発行

季節ごとのイベント情報を集約したチラシを作成し、イベントのPRを行った。

(1) 発行号

- ア 夏～初秋号（6月発行） A4版・両面カラー（16,000部）
- イ 秋～冬号（10月発行） A4版・両面カラー（18,000部）
- ウ 春号（2月発行） A3版（二つ折り）・両面カラー（32,000部）

(2) 印刷費 493,944円

3 須坂市ホームページの管理

(1) ホームページの保守及びデータ更新業務を委託した。

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
ホームページ保守委託	(有)NPウォンツ	ホームページ及び関連するシステムの保守	3,371,520
	特定非営利活動法人信州SOHO 支援協議会	イベントカレンダーウェブサイト保守	
ホームページ掲載データ作成委託	(有)NPウォンツ	ホームページ内容の更新作業	167,340

(2) ホームページ有料広告の掲載 広告料収入 248,640 円 (57 枠)

4 メール配信システムの運用

災害時等に防災防犯メールを確実に迅速に配信できるようにした。

- (1) 業務名 メール配信システム運用委託
- (2) 委託先 バイザー(株)
- (3) 業務内容 メール配信システムの運用
- (4) 委託料 915,600 円

5 須坂市フェイスブック・ツイッターの管理

市公式のフェイスブックやツイッターなどを活用し、イベント等の情報発信を行った。

6 定例記者会見の実施

報道機関を活用して須坂市の様々な情報を市内外に発信するため、毎月1回定例記者会見を行った。また、「公認ポータルサイト・いけいけすざか」によるインターネットライブ配信に協力した。

7 市長メールマガジン「虹のほほえメール」の発行

市長のコラム、市役所からのお知らせ、イベント情報を電子メールにより登録者に発信した。

- (1) 毎週木曜日発行
- (2) 発行号数 50号(761号～810号)

8 放送媒体の活用による広報

- (1) 株Goolight 地域情報チャンネルを活用した情報提供 随時
- (2) NHK長野放送局 地デジ・データ放送を活用した文字放送 放送件数15本
- (3) FMぜんこうじの放送委託 委託先 (株)ながのコミュニティ放送

業務名	業務内容	委託料(円)	放送数
市政等ラジオ広告の放送に関する制作業務委託	FMぜんこうじでスポットCMを放送	2,485,200	2,555件
耳を澄まして金曜3時武田徹のラジオ団塊倶楽部「我がまち須坂～もっと知ろう須坂の歴史～」	市の様々な歴史や文化を放送	145,000	6回

(4) 須坂市プロモーション映像中国語制作業務委託

業務名	業務内容	委託先	委託料(円)
須坂市プロモーション映像中国語制作業務委託	中国吉林省四平市との友好都市締結25周年を記念し須坂市PR用として制作	(株)Goolight	55,000

9 「新型コロナウイルス感染症予防の広報」の実施

新聞紙面(広告扱い)を活用し感染予防を啓発した。

- (1) 須坂新聞 120,000円(1枠1回)

10 報道機関・マスコミ関係者との懇談会

須坂市の様々な魅力を市内外にPRするため、報道機関・マスコミ関係者との懇談会を開催した。

- (1) 日時 4月22日
- (2) 場所 シルキーホール(第2ホール)
- (3) 参加者 報道機関・関係者等 65人
- (4) 会費 180,000円(3,000円×60人)
- (5) 市負担分 41,043円

11 広報推進幹及び広報担当者の配置

広報事務を効果的に行うため、各課等に広報推進幹と広報担当者を配置した。

- (1) 広報推進幹の委嘱 38人
- (2) 広報担当者の選任（兼地域ブランド推進員） 31人
- (3) チラシ等作成検討会の開催
 - ア 日時 4月26日
 - イ 場所 305会議室
 - ウ 内容 チラシのサイズや内容、デザイン等の検討
 - エ 参加者 30人

12 地域づくり市民会議

区長会ブロック別等で開催し、「地域からの今後の地域づくりの提案」をテーマに意見交換を行った。また、市から「行財政改革」「総合計画」「災害への備えと対策」「須坂長野東インター周辺地区開発」「須坂温泉古城荘に関するお知らせ」「市街地活性化に係る課題」「放課後児童クラブ等における指定管理者制度の導入」を説明したほか、関係するブロックに「臥竜山の松くい虫防除対策」「重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた事業」「須坂市ふれあい館しらふじの新たな活用を行う民間事業者を募集します」について説明した。

(1) 開催内容

- ア 第1・2ブロック（上部・東部） 8月2日 中央公民館（出席者38人）
テーマ 「中心市街地の再開発と町おこし」
- イ 第3ブロック（西部） 8月5日 横町公会堂（出席者31人）
テーマ 書面での提案はなし。当日会場にて「シルキーとショッピングセンターの今後」
- ウ 第4ブロック（南部） 7月24日 南部地域公民館（出席者29人）
テーマ 「市道臥竜線の改修整備について」「百々川緑地一体の公園化」
- エ 第5ブロック（日滝） 7月31日 日滝地域公民館（出席者43人）
テーマ 「市道路面劣悪による交通等障害の改良」「東部保育園周辺環境整備」
- オ 第6ブロック（豊洲） 8月7日 豊洲地域公民館（出席者56人）
テーマ 「北相之島団地県住空き家対策、後利用」
- カ 第7ブロック（旭ヶ丘） 8月9日 旭ヶ丘ふれあいプラザ（出席者43人）
テーマ 「超高齢化への対応」「安心・安全な地域づくり」「大規模災害対策」
- キ 第8ブロック（日野） 7月18日 日野地域公民館別館（出席者39人）
テーマ 「インター周辺大型商業施設計画が日野地区に及ぼす影響」「交通安全と通学路の安全確保（長野電鉄日野踏切工事）」「配布物の削減」
- ク 第9ブロック（井上） 7月26日 井上地域公民館（出席者37人）
テーマ 「インター周辺の開発並びに生活改善」「須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発計画に伴う地域の変革等」
- ケ 第10ブロック（高甫） 7月7日 高甫地域公民館（出席者30人）
テーマ 「JA高甫アグリサポートセンター前の横断歩道の事故防止策を講じて欲しい」「防災無線が聞こえにくい所の是正をお願いしたい」「三角公園への水道設置の要望」「国道406号村石バイパス建設」
- コ 第11ブロック（仁礼） 8月23日 仁礼コミュニティセンター（出席者50人）
テーマ 「11ブロック内地域活性化手段としての待居橋架け替え」「空き家の持ち主への連絡をつけたい」
- サ 第11ブロック（峰の原高原） 7月12日 こもればいホール（出席者43人）
テーマ 「避難場所としてのこもればいホールの増設」「AEDの設置」

シ 第12ブロック（豊丘） 8月20日 豊丘地域公民館（出席者74人）

テーマ 「前年度(平成30年)テーマの経過報告」「有害鳥獣対策(1)」「有害鳥獣対策(2)」

13 東サテライト局管理道の整備

- (1) 業務名 東サテライト局管理道整備業務委託
- (2) 委託先 長野森林組合
- (3) 業務内容 東サテライト局管理道の刈払い及び枝払い等
- (4) 委託料 64,800円

14 無人航空機ドローンの活用

災害関連にドローンを活用した。

- (1) 市総合防災訓練の中でドローンを活用した訓練の実施
- (2) 令和元年東日本台風の災害廃棄物搬出所(日滝原産業団地)の廃棄面積や廃棄量等を計測する映像撮影
- (3) 講習会 10月7日 参加者 9人(市職員)
- (4) 保険料 45,540円

■ 国際交流等事業

単位：円

当初 予算額	1,820,000	予算 現額	1,040,000	決算額	1,039,185	前年度 決算対比	543.6%	前年度 決算額	191,153
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

国際化の進展に伴い友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。

II 事業の成果等

国際友好都市の締結（平成6年）をしている中国吉林省四平市との親善交流事業は、両市の友好と交流に寄与している。

8月に（2020東京オリパラホストタウン関連事業）須坂市・四平市友好都市締結25周年記念友好訪問団を派遣、両市の友好関係を再確認するとともに、更なる交流を深めた。

平成28年12月に政府登録された長野県と県内6市町との合同による、中国を相手国とした「2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン」における県主催の中核事業では、長野市においてホストタウン指導者養成講座、松本市において共催イベントへのブース出展を行ったほか、須坂市自主事業では、公民館活動の一環として太極拳講座や水墨画教室等を開催し、中国に対する市民の理解を深める学習会等を行った。

III 事業の実績

1 友好都市四平市との交流事業

交流内容	四平市から須坂市へ	須坂市から四平市へ
(2020東京オリパラホストタウン関連事業)須坂市・四平市友好都市締結25周年記念友好訪問団の派遣		8月10日～13日 市長、議長、教育長、校長、中学生8人、日中友好協会関係者等市民9人(私費)、通訳、政策推進課長 四平市人民政府・対外友好協会との交流、四平市第三中学校生徒との交流、四平市内視察等

- 2 須坂市日中友好協会定期総会への出席
5月26日（須坂迎賓館）
- 3 長野県日中友好都市交流会議への出席
3月18日（長野市）⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 4 2020年東京オリンピック・パラリンピック長野県実行委員会による中核事業の開催
 - (1) 9月29日 ホストタウン指導者養成講座（長野市柳原交流センター）
内容 長野県日中友好協会女性委員会が主催する「漢字文化と薬膳料理を学ぶ会」に共催として協力、ホストタウンの取組みについて参加者に紹介
参加者 32人
 - (2) 10月5・6日 日本生命主催「みんなの2020 全国キャラバン in 長野」
内容 東京2020オリパラ大会のゴールドパートナーである日本生命が主催する「みんなの2020 全国キャラバン in 長野」に中国文化を紹介するホストタウンブースを出展、長野県立大学の学生3名がブース運営補助のボランティアとして協力
参加者 200人

■ 第六次須坂市総合計画策定事業

単位：円

当初 予算額	7,285,000	予算 現額	7,313,000	決算額	7,239,280	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

総合計画（基本構想・基本計画）は、須坂市の将来目標と、その実現のための施策の基本方針を明らかにするものであり、須坂市の総合的、計画的なまちづくりの指針として、最上位計画に位置づけられるものである。

第五次須坂市総合計画・後期基本計画が令和2年度で計画期間終了となることから、令和3年度を初年度とする第六次須坂市総合計画・前期基本計画を策定し、須坂市の現状を踏まえ、今後10年間に目指すべき姿を定め、それに向けて実施する政策の方向性を明らかにする。

II 事業の成果等

2か年の計画策定期間のうち、1年目の当該年度は市民総合意識調査や関連基礎調査を行い、審議会や策定委員会で議論し、今後10年間のまちづくりの方向性や基本構想について検討することができた。

III 事業の実績

1 総合計画審議会の開催

- (1) 第1回審議会 8月29日 市役所305会議室
 - ア 委嘱状交付（16人）
 - イ 委員、幹事の紹介
 - ウ 会長選出（遠藤守信信州大学特別特任教授）
 - エ 第六次総合計画策定の諮問
 - オ 第六次総合計画・前期基本計画策定について
- (2) 第2回審議会 12月9日 消防本部大会議室
 - ア 基本構想策定の進め方について
 - イ 各種調査結果等の報告について
 - ウ 基本構想原案の検討について
- (3) 第3回審議会 2月13日 市役所305会議室
 - ア 基本構想原案の検討について
- (4) 第4回審議会 3月24日 市役所305会議室
 - ア 基本構想案の検討について

2 総合計画策定庁内委員会

- (1) 第1回 6月5日 市役所理事者控室
 - ア 第六次総合計画・前期基本計画策定委員会について
 - イ 第六次総合計画・前期基本計画策定要領について
 - ウ 策定スケジュールについて
 - エ 総合計画策定ワーキンググループについて
- (2) 第2回 11月11日 市役所 305 会議室
 - ア 各種調査結果等の報告について
 - イ 今後の対応について
- (3) 第3回 2月7日 市役所理事者控室
 - ア 基本構想原案の検討について
 - イ 今後のスケジュールについて
- (4) 第4回 3月19日 市役所理事者控室
 - ア 基本構想原案の検討について
 - イ 今後のスケジュールについて

3 庁内策定ワーキンググループ

- (1) 第1回 7月9日 保健センターリハビリルーム
市を取り巻く外部要因分析
- (2) 第2回 8月5日 市役所 305 会議室
市の「強み・弱み」の整理、各分野への影響分析等
- (3) 第3回 2月7日 消防本部大会議室
最良シナリオ実現のための分野別政策案の検討等
- (4) 第4回 10月29日 防災活動センター 活動室1
市財政構造及び将来の見通しの共有、自治体経営シミュレーションゲーム (SIM2030)
- (5) 第5回 11月19日 市役所 305 会議室
調査結果に基づく地域ビジョン、重点施策、行政経営の在り方検討

4 市民総合意識調査の実施

調査対象 市内に住む18歳以上の男女3,000人
抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法 調査票郵送による記載方式
調査期間 7月11日～8月9日
回答者数 1,400人 (回答率43.7%)
調査項目 属性、市の施策に対する評価・重要度、市民の自主的な取り組みと現状と今後の関与の意向、まちづくりの総合評価、将来都市像、これからのまちづくりの考え方

5 総合計画策定支援業務の委託

業務名	委託先	業務内容	委託料
第六次須坂市総合計画策定支援業務	(特非) SCOP	関連基礎調査等の実施・分析、前総合計画における施策の評価・検証、基本構想及び基本計画の骨子及び素案の作成支援、総合計画冊子データの作成	8,924,000円 (債務負担行為契約による元年度の支払額は6,319,000円)

2-1-10(目)公平委員会費

単位：円

当初 予算額	339,000	予算 現額	284,000	決算額	215,570	前年度 決算対比	63.2%	前年度 決算額	340,832
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

■ 公平委員会運営事業

単位：円

当初 予算額	339,000	予算 現額	284,000	決算額	215,570	前年度 決算対比	63.2%	前年度 決算額	340,832
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

市職員からの勤務条件に関する審査請求や不利益処分に関する不服申立を公平な立場で必要な措置を講ずる。

II 事業の成果等

職員団体登録申請書記載事項変更届出書の提出等に基づき委員会を開催し、職員団体登録簿に登録した。
4月1日、6月26日、2月25日

III 事業の実績

1 公平委員の人事

以下のとおり委員が就退任した。

就任委員 藤澤 袈裟一 (任期 平成31年4月1日～令和5年3月31日)

退任委員 堀内 裕明 (任期 平成28年4月1日～令和2年3月31日)

2 市職員からの申立等の状況

該当なし

2-1-11(目)交通防犯費

単位：円

当初 予算額	95,804,000	予算 現額	87,830,000	決算額	86,469,073	前年度 決算対比	98.2%	前年度 決算額	88,088,591
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 交通安全対策事業

単位：円

当初 予算額	4,532,000	予算 現額	4,437,000	決算額	4,258,332	前年度 決算対比	75.8%	前年度 決算額	5,619,048
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図り、交通安全意識の高揚及び交通安全対策を推進する。

II 事業の成果等

高齢者が関与する交通事故割合が多いため、市内事故多発地域を高齢者交通安全モデル地区に指定し、高齢者世帯交通安全訪問、交通安全運動期間中のパトロールを実施。また、市開催の健康教室等での交通安全啓発により交通安全意識の啓発を図った。

III 事業の実績

1 交通安全対策事業

市民の交通安全意識の高揚及び交通安全を確保するため、交通指導員及びLPS隊員等の協力を得て指導啓発を行った。

(1) 交通安全運動期間中の活動

ア 春の全国交通安全運動	5月11日～20日
イ 夏の交通安全やまびこ運動	7月22日～31日
ウ 秋の全国交通安全運動	9月21日～30日
エ 年末の交通安全運動	12月1日～31日
オ 人波作戦	5月13日、7月22日、9月24日、12月2日
カ 街頭指導	運動期間中の小・中学生登校日
キ 広報車による広報活動	運動期間中の小・中学生登校日
ク 広報須坂、隣組回覧による広報活動	
ケ 立看板、ポスターの掲出	
コ 高齢者世帯交通安全訪問	5月20日 福島町、60世帯、85人 7月24日 福島町、59世帯、83人 9月22日 中島町、48世帯、67人 12月8日 中島町、48世帯、65人

(2) 交通安全教室

ア 幼稚園、保育園等の交通安全教室（L P S 隊員を派遣）	7回	参加者	428人
イ 小学校の交通安全教室（交通指導員を派遣）	13回	〃	3,194人
ウ すぎの子安全クラブリーダー研修会 10月7日 日野保育園		〃	56人

(3) シートベルト着用推進活動

県内一斉シートベルト着用率調査

実施場所 サマーランド前交差点、八幡町東交差点

実施日	調査人数	着用者数	着用率 (%)	県平均 (%)	時間
5月14日	229	224	97.8	99.0	13:55-14:13
9月24日	231	230	99.6	99.3	14:03-14:51

(4) 交通指導員・L P S 隊員の活動

ア 交通指導員委嘱式及び退任式の開催	4月4日	委嘱者15人	任期2年
イ 街頭指導の実施	毎月5日、20日の交通安全の日及び交通安全運動期間中の早朝に通学路で実施		
ウ 会議の開催	4月4日、11月19日、3月4日		
エ 運転適性診断の受講	7月17日	5名参加	長野県交通安全活動センター
オ 各種行事等での交通指導	7月20日	須坂カッタカタまつり	
	7月21日	須坂みんなの花火大会	

(5) 市内交通事故発生状況（31年1月1日～12月31日）

年	件数	死者（人）	負傷者（人）
27	165	0	183
28	186	1	216
29	157	0	180
30	141	2	157
31	116	0	135

(6) 「ゾーン30」の導入

ア 導入済み箇所	5か所
イ 新規設置箇所	豊洲小学校周辺区域

(7) 交通安全対策工事

路面標示設置工事	市道園芸高校井上線外路面標示設置	183,600円
----------	------------------	----------

(8) 出前講座

開催日	講座名	受講団体等	参加者数 (人)
5月 1日	高齢者の交通安全	大谷町ふれあいサロン	17
5月 17日	高齢者の交通安全	須坂市民生児童委員第3ブロック協議会	38
9月 1日	高齢者の交通安全	福島町区	33
12月 16日	高齢者の交通安全	シルバー人材センター日野班	27
1月 10日	高齢者の交通安全	シルバー人材センター坂田・南原班	17
2月 6日	高齢者の交通安全	須坂シニアクラブ連合会	33
3月 18日	高齢者の交通安全	幸高幸生会	26
計			191

(9) 須坂市シニアクラブ連合会 第45回健康体育祭でのサポートカー・シニアカー体験

10月4日に市民体育館で行われたシニアクラブ連合会体育祭で、休憩時間や競技の合間の時間を利用して、体育館前ロータリーにおいてサポートカー・シニアカー体験会を実施し、30名が参加した。

(10) 市開催の健康教室等での交通安全啓発

健康教室、介護保険制度説明会 計21回

2 長野県民交通災害共済組合事務取扱状況 (県内15市の共済組合)

県民交通災害共済の加入及び見舞金請求事務を実施した。

(1) 会費 一般会員 年額400円、団体会員 (学童等) 年額100円

(2) 加入会員数 29,569人

(3) 加入率 59.2%

(4) 会費収入額 10,200,100円

(5) 見舞金額 傷害の程度により20,000円～110,000円

死亡時 1,000,000円または500,000円

障害見舞金 100,000円～400,000円

遺児見舞金 300,000円

(6) 見舞金支払件数及び支払額

	件数	金額 (円)
共済見舞金 (傷害)	92	4,965,000
共済見舞金 (死亡)	2	2,000,000
障がい見舞金	0	0
遺児見舞金	0	0
合計	94	6,965,000

■ 公共交通対策事業

単位：円

当初 予算額	80,790,000	予算 現額	73,003,000	決算額	72,035,153	前年度 決算対比	98.1%	前年度 決算額	73,446,818
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

須坂市地域公共交通総合連携計画に基づき、地域にふさわしい公共交通を確保維持する。

II 事業の成果等

国の地域公共交通確保維持改善事業補助金を受け、「すざか市民バス」「すざか乗合タクシー」の運行を継続した。

バス共通ICカード「くるる」の乗合タクシー導入拡大にむけ、3月に利用者アンケートを実施した。

ICカード「くるる」の普及促進を図るため、カードを利用したイベントや高齢者を対象に郊外から市街地へのバスの乗り方教室を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 「すざか市民バス」「すざか乗合タクシー」を運行する須坂市地域公共交通会議が実施する事業の推進

(1) 地域公共交通会議の開催

ア 第1回 6月25日、出席委員17人

2018年度事業報告及び決算、2019年度事業計画及び予算について

イ 第2回 11月1日、出席委員18人

すざか乗合タクシーへのICカード「くるる」の導入について

ICカード「くるる」普及イベントについて

ウ 第3回 3月30日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催とした。

(2) すざか市民バスの運行

ア ICカード「くるる」利用促進イベント（山田温泉線） 4月20日 参加者11人

イ ICカード「くるる」利用促進イベント（郊外から市街地へ） 12月4日 参加者15人

ウ 出前講座「バスの乗り方教室」（仁礼ブロックシニアクラブ） 2月7日 参加者23人

エ 利用状況（仙仁線、米子線、明徳団地線、北相之島線）

月	当該年度利用者数 (人)	前年度利用者数 (人)	対前年比(人)
4月	9,614	9,328	286
5月	8,243	8,558	△315
6月	8,370	8,762	△392
7月	8,130	8,368	△238
8月	8,209	8,015	194
9月	7,453	7,664	△211
10月	7,726	8,273	△547
11月	7,918	8,124	△206
12月	7,951	8,830	△879
1月	7,411	8,281	△870
2月	7,201	8,082	△881
3月	6,138	8,365	△2,227
合計	94,364	100,650	△6,286

(3) すざか乗合タクシーの運行

ア 運行区域へ、町別の時刻表を掲載した利用促進チラシを全戸配布し、利用促進を図った。

イ 利用状況の確認と事業改善に資するため、利用者アンケートを実施した。

ウ 利用状況（日野・豊洲地区、福島町・中島町、松川町）

月	当該年度利用者数 (人)	前年度利用者数 (人)	対前年比(人)
4月	263	188	75
5月	205	189	16
6月	244	179	65
7月	300	184	116
8月	256	193	63
9月	276	180	96
10月	241	219	22
11月	203	224	△21
12月	233	220	13
1月	215	184	31
2月	209	226	△17
3月	201	259	△58
合計	2,846	2,445	401

2 屋代線代替バスへの支援

(1) 長野電鉄屋代線代替バス運行への助成

長電バス(株)が運行する「屋代須坂線」運行に関して生じる経常損失を沿線3市で助成した。

(2) 利用状況 (2019年4月～2020年3月 ICカード「くるる」利用者数) 129,106人

3 長野電鉄長野線沿線地域活性化の取り組み

(1) 地域連携長野電鉄長野線沿線活性化協議会への参加 4月22日 出席委員11人

2018年度事業報告・決算について

2019年度活動方針・予算について

2019年度鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画について

(2) 長野電鉄(株)が実施する鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に要する費用の一部を、国・県と沿線自治体で助成した。

■ 防犯対策事業

単位：円

当初 予算額	10,482,000	予算 現額	10,390,000	決算額	10,175,588	前年度 決算対比	112.8%	前年度 決算額	9,022,725
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

「犯罪のない、安全安心なまちづくり」を目指して関係機関と連携し、各種防犯活動を実施する。

II 事業の成果等

日頃の散歩を通じたまちの見守り活動が定着し、あいさつも自然に交わされ、防犯パトロールや防犯指導が効果的に行われる等、地域の中で自主防犯意識が高まっている。

III 事業の実績

1 市内刑法犯発生状況 (31年1月1日～12月31日)

単位：件

罪種別	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計
当該年度発生件数	1	10	112	10	3	24	160
前年度発生件数	0	15	122	19	5	31	192
比較	1	△5	△10	△9	△2	△7	△32

※窃盗犯(自転車盗、万引き、車上ねらい等)が全体の70%を占めている。

2 防犯対策事業

(1) 須坂市防犯協会総会及び研修会 2月5日 出席者 210人

(2) 須坂市防犯協会女性部会総会 2月5日 " 44人

(3) 夏の防犯運動 8月10日～17日

ア 支部単位にパトロール等を実施した。

イ 駅周辺金融機関で街頭啓発活動を実施した。 8月15日

(4) 全国地域安全運動 10月11日～20日

ア 支部単位にパトロール等を実施した。

イ 全国地域安全運動に伴う一斉啓発活動 10月11日

(5) 年末特別警戒活動 12月13日～31日

ア 支部単位にパトロール等を実施した。

イ 八十二銀行須坂支店前でATM警戒活動を実施した。 12月13日

ウ シルキーホールで出発式を行い、駅前市街地を中心に特別夜間パトロールを実施した。 12月13日

(6) 広報・啓発活動

ア 各運動期間中に立看板、ポスターを掲出し、防犯意識の啓発を図った。

イ 広報須坂、セーフティー須高の隣組回覧、須坂警察署から配信される「須坂警察署管内の犯罪発生状況」を市ホームページへ随時掲載するなど、犯罪の発生状況の周知と防犯対策の徹底を図った。

(7) 市防犯灯のLED化 69灯 1,988,760円

(8) 区が行う防犯灯設置事業に要する経費を助成した。 沼目町外57町 224灯 2,983,000円

(9) 「ちかんに注意」警告看板を北部体育館付近の道路に設置した。(3か所)

(10) 須坂駅前防犯カメラの更新

設備の老朽化により、須坂駅前防犯カメラ1台をデジタルカメラに更新した。(モニターは須坂警察署)
工事名：須坂駅前防犯カメラ設備更新工事 1,155,000円

3 地域安全安心市民活動

(1) パトロール団体 43団体 1,522人

日頃の散歩等を通じ、地域安全サポーターによる、自分のまちや通学路を見守る活動を支援し、犯罪抑止を図った。

(2) 地域安全サポーター代表者会議の開催 5月27日 出席者25団体

(3) 青色防犯パトロール講習会の開催 5月27日 受講者31人

受講者に地域安全サポート隊員を委嘱し、青色防犯パトロールカーを利用した自主パトロールを実施

2-1-12(目)消費者行政費

単位：円

当初 予算額	6,364,000	予算 現額	6,202,000	決算額	6,111,551	前年度 決算対比	167.7%	前年度 決算額	3,643,785
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 消費者保護啓発事業

単位：円

当初 予算額	6,364,000	予算 現額	6,202,000	決算額	6,111,551	前年度 決算対比	167.7%	前年度 決算額	3,643,785
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

消費生活相談窓口での消費者相談と合わせ、巧妙化する悪質商法や特殊詐欺に対して、被害の未然防止を図り、被害を発見した際の迅速な対応に繋がるよう広報・啓発を行う。

消費生活講座等を通じて消費者が安全・安心な消費生活を営むために必要な知識・情報を提供し、消費生活について再考する機会を提供する。

家庭において不用となった日用品を譲り合い、ごみ減量化と再利用についての啓発を行う。

II 事業の成果等

消費生活・特殊詐欺被害防止センターの周知と併せ、消費生活問題や特殊詐欺被害防止について広報・啓発の強化と相談員の資質向上のための研修へ参加し、相談に対し適切に対応することができた。

毎月実施される高齢者向け各種健康教室及び高齢者世帯交通安全訪問で啓発を行ったことで、被害者となり易い高齢者に向けた意識強化を図ることができた。

不用品登録制度(リサイクル情報)を継続し消費生活の改善とともに、適正な廃棄処分方法の案内を行い、製品事故の未然防止が図られた。

III 事業の実績

1 消費生活・特殊詐欺被害防止センター

相談受付体制 相談員2名

相談用電話2台(専用1、兼用1)

2 消費生活相談受付状況

項	目	件数	備 考
苦情 (販売購入形態)	店舗購入	30	店舗で購入、消費者が出向いた場所で契約
	訪問販売	24	営業所等以外の場所で申込み・契約
	通信販売	65	通信手段（郵便、電話、インターネット等）を用いた契約
	マルチ商法・マルチまがい	0	連鎖販売取引（契約が多層でピラミッド状に連鎖）
	電話勧誘販売	18	業者が消費者に電話をかけ契約を締結
	送りつけ商法（ネガティブオプション）	5	消費者から申込みもなく業者が商品を送付
	訪問購入	4	消費者の自宅など営業所等以外の場所で業者が物品を購入（買い取り）
	その他無店舗販売	1	店舗でないところ
	不明・無関係	99	不審なはがき・メール・電話等
		計	246
（うちワンクリック請求3件、架空請求31件、還付金詐欺2件）			
問 合 せ		9	
合 計		255	

3 消費者教育及び特殊詐欺被害防止注意喚起

(1) 消費生活講座

ア はじめようエシカル消費（第1部）、楽しく食べて健康に！（第2部）

第1部講師 北條浩之 氏（北信消費生活センター 次長）

第2部講師 飛田昌男 氏（キューピー株式会社）

開催日 5月21日

場所 中央公民館2階教室

参加者数 20人

イ 将来に備える！ライフプランとお金のはなし（第1部）、キャッシュレス使い方講座（第2部）

第1部講師 山木戸啓司 氏（日本証券業協会 金融・証券インストラクター）

第2部講師 渋谷邦夫 氏（ポイント還元事務局 説明員）

開催日 2月22日

場所 中央公民館2階教室

参加者数 22人

(2) 出前講座

開催日	講座名	受講団体等	参加者数（人）
5月26日	賢い消費者はダマされません	夏端町防犯部	29
5月30日	賢い消費者はダマされません	新田町公民分館	30
7月20日	賢い消費者はダマされません	米持町ふれあいサロン	18
10月26日	賢い消費者はダマされません	福島町公民分館	27
11月21日	賢い消費者はダマされません	日滝公民館 ひまわり学級	13
2月13日	賢い消費者はダマされません	小山町友和会	36
		計	153

(3) 高齢者向けの啓発活動

70歳・75歳健康教室 11回

介護保険制度説明会 10回

高齢者世帯訪問 4回（福島町、中島町）

(4) 街頭啓発活動

年金支給日に金融機関で県・警察署・消費者の会等と合同による啓発資料配布、被害防止の声掛け
6月14日（2か所）、2月14日（1か所）

4 啓発、情報提供等

- (1) 広報須坂（5・6・9・3月号）に「消費生活情報」を連載し、悪質商法、特殊詐欺被害防止などを注意喚起
- (2) 啓発用チラシ（4・6・8・10・1月）、「くらしまる得情報」、「ながの金融広報だより」等の隣組回覧、中央公民館及び地域公民館にポスターの掲示、リーフレット、チラシ配布等による周知、ホームページ掲載
- (3) 特殊詐欺被害防止のため、防災行政無線、ツイッター、メールマガジンによる情報発信
- (4) ブログ「知って得するくらしの知恵」による情報発信
- (5) 消費者行政活性化事業により啓発用品を作製した。悪質商法お断りメモ帳は、全戸配布し各種事例を紹介した。若年層向け啓発カード（STOP消費者トラブル）は、市内3高校を通じて生徒・教職員へ配布し、契約等消費生活に関する知識を深めることやトラブル防止への協力を依頼した。

5 研修会等への参加

消費生活相談に従事する職員の資質向上のため研修会等に参加した。

名称	開催日	主催者
ながの消費者支援ネットワーク 勉強会	4月24日 9月27日 12月17日	(特非)ながの消費者支援ネットワーク
市町村消費者行政担当者基礎研修	5月9日 5月22日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
個人情報情報に関する消費者懇談会	10月4日	CRIN協議会
消費者教育中核的人材育成研修	10月16日 10月30日 11月13日 11月27日 12月11日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
多重債務者無料相談会実務研修	10月25日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
市町村行政窓口と消費者団体、消費生活サポーター及び地域福祉関係者との懇談会	10月29日	長野県消費者団体連絡協議会
消費生活相談員研修 消費生活相談員専門・事例講座 特定商取引法関連の高齢者に多くみられる消費者トラブル ー訪問販売、電話勧誘販売、訪問購入を中心にー	11月11日～ 11月13日	独立行政法人国民生活センター
長野県消費生活相談員等学習会 仮想通貨（暗号資産）に関連する相談に対する必要な聞き取りと事業者との交渉方法	1月27日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
LPガスに関する学習会	2月10日	長野県消費者団体連絡協議会
講演会 ふくしまの今を語る人	2月10日	長野県県民文化部くらし安全・消費生活課
2019年度 D-ラーニング(遠隔研修)	通年	国民生活センター 配信

6 不用品交換（リサイクル情報）の取り組み

毎月広報須坂へ掲載し、情報提供者と希望者との連絡調整等を行った。

- (1) 差し上げます 提供者 62件（うち成立 31件）
- (2) 譲ってください 希望者 15件（うち成立 7件）
（成立した主なもの）卓球台、杵・臼、チャイルドシート、ベッド 等

2-1-13(目)市民生活支援費

単位：円

当初 予算額	62,172,000	予算 現額	68,917,000	決算額	66,375,466	前年度 決算対比	112.7%	前年度 決算額	58,917,955
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	4,074,000	予算 現額	4,119,000	決算額	4,095,981	前年度 決算対比	102.7%	前年度 決算額	3,989,461
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

寄附募集に関し審査等を行い、公正を図る。

市庁舎内の窓口案内業務を行い、来庁者サービスに努める。

行政相談委員の活動を側面から支援し、国の行政機関等の業務に対する苦情や意見・要望などを聞き、制度及び運営の改善を目指す。

新生活運動の推進で、無駄な出費をなくし合理的生活を旨とする。

II 事業の成果等

市庁舎内の窓口案内業務の民間委託を継続し、市役所を訪れるお客様に対し庁内の案内をはじめ、市内の観光名所など幅広い要望にも親切丁寧な対応で、行政サービスの向上を図ることができた。

III 事業の実績

1 金銭物品等寄附募集許可申請及び届出状況 (50万円未満 届出 50万円以上 許可)

	募集行為の名称	申請金額(円)	許可・届出の別
1	31年「第32回須坂みんなの花火大会」	6,850,000	許可
2	第69回社会を明るくする運動募金	900,000	許可
3	「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金	100,000	届出
4	高仁神社夏祭り寄附	490,000	届出
5	複十字シール運動に係わる郵送募金	35,000	届出
6	元年度 えびす講行事資金	1,500,000	許可
7	信州須坂大菊花展寄付金	30,000	届出
8	1年度 須坂市障害児者愛の募金	990,000	許可
9	2019年度 複十字シール募金	480,000	届出
10	台風19号災害義援金	100,000	届出
11	台風19号義援金	30,000	届出
12	台風19号災害義援金	10,000	届出
13	令和元年台風19号豪雨災害義援募金	300,000	届出

2 新生活運動推進委員会

(1) 新生活運動推進委員会役員会の開催

ア 日時 6月5日

イ 内容 2018年度事業報告及び収入支出決算書の承認

2019年度事業計画案・予算案及び新生活運動申し合わせ事項について

(2) 新生活運動申し合わせ事項について、広報須坂8月号、企業振興ニュース7月号、ホームページでの啓発や、区長会の会議等で周知に努めた。

3 市庁舎内の総合案内

- (1) 委託料 長期継続契約 29年10月1日から令和2年9月30日まで

業務名	委託先	業務内容	年間委託料(円)
市庁舎窓口案内業務委託	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	窓口案内、施設案内等	2,315,160

- (2) 業務実績 案内件数 23,725件(1日平均 98.9件)

4 行政相談支援

- (1) 総務大臣より委嘱されている行政相談委員の支援を行った。

ア 行政相談委員2名(委嘱期間)31年4月1日から令和3年3月31日まで

イ 行政相談委員が偶数月第1木曜日午後に行っている行政相談について、5月の隣組回覧、広報須坂10月号での周知や会場の提供など側面からの支援を行った。

- (2) 行政相談週間イベント

行政相談のPRを予定していた「ふれあい広場」が中止となったが、出張相談のみ実施した。

ア 期日 10月19日

イ 場所 須坂市文化会館メセナホール

- (3) 行政相談委員北信地区ブロック会議 9月2日 長野市生涯学習センター

5 自衛官募集事務

自衛官募集に係る広報や住民の自衛隊に対する理解と認識を深めるための啓発を行った。

- (1) 自衛官募集案内や音楽隊コンサート開催の記事を広報須坂へ掲載し周知した。

掲載月 7・11月号

- (2) 市民課窓口ポスター、機関紙、パンフレット、自衛官募集の名入れをしたポケットティッシュを配置した。(通年)

- (3) 自衛官募集相談員連名委嘱式 5月27日、7月25日

- (4) 自衛官募集事務担当課長会議 8月26日 松本駐屯地

■ 市民支援事業

単位：円

当初 予算額	58,098,000	予算 現額	64,798,000	決算額	62,279,485	前年度 決算対比	113.4%	前年度 決算額	54,928,494
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

行政と市民のパイプ役である区長活動を支援する。また、コミュニティ活動の拠点である公会堂の建設、備品整備等に対する区民の負担の軽減を図るため補助金等の交付を行うとともに、広報等の配布業務など区行政における住民相互の連絡・情報共有等の活動に対して区長会・自治会活動交付金を交付し、地域コミュニティ活動を支援する。

II 事業の成果等

区長会組織を通じ、行政との連携を円滑にするとともに、住民の福祉と自治会活動の支援が図られた。また、一般コミュニティ助成事業の採択を受け、2町に公会堂備品等の整備ができた。

III 事業の実績

1 区長会活動への支援等

総会(初・春季・秋季)3回、正副会長会9回、役員会5回を開催した。また、区運営の参考とするため、互いの意見交換・交流を目的に懇談会を行った。

(1) 県外視察研修

ア 期日、参加者数 6月12日～13日、59人

イ 視察先

東京都東久留米市 「氷川台自治会」(講演)

埼玉県和光市 「和光市社会福祉協議会」(施設見学)

神奈川県三浦市 「三浦市区長会との意見交換会」

東京都江東区 「東京臨海広域防災公園 そなエリア東京 防災体験学習施設」

(2) 「共創のまちづくり」を一層進めるため、区長会と市長の意見交換会(懇談会)を開催した。

ア 期日、場所 7月20日、須坂市文化会館メセナホール小ホール

イ 参加者数 96人(副区長等含む)

ウ 懇談テーマ 「区役員選出の困難さ」、「育成会活動交付金の減額」、「空き家対策」、「高齢者の移動手段」、「熊出没時の対応」、「地震情報の発信」

(3) 区長会研修会 地域の防災力をアップしよう「HUG(ハグ)避難所運営ゲーム」

ア 期日、場所 7月20日、須坂市文化会館メセナホール小ホール

イ 参加者数 99人(副区長等含む)

ウ 講師 長野県危機管理部危機管理防災課 宮本 将司氏

(4) 31年区長退任にあたり、市長から感謝状を贈呈した。 12月11日

(5) 転入者に、区(自治会)加入を呼びかけるチラシを配布した。

2 公会堂建設事業補助等

(1) 事務機器等補助額 9町 9件 669,000円 単位:円

区分	町名	補助額	区分	町名	補助額
複写機	塩川町	100,000	エアコン	大谷町	30,000
〃	新町	12,000	〃	米子町	42,000
パソコン	八幡町	61,000	〃	小山町	112,000
〃	新田町	66,000	〃	村山町	200,000
			〃	東横町	46,000

補助率 1/3(複写機、印刷機、パソコン、情報連絡用機器)、1/5(パソコン)

(2) 公会堂建設事業補助額 11町 11件 17,978,000円

単位:円

区分	町名	事業名	補助率	補助額
新築・改築	西町	公会堂新築	1/2	7,500,000
補強・改装 下水道接続	村石町	公会堂女子トイレ新設及び下水道接続工事外1工事	2/10 1/3	431,000
補強・改装	米持町	公会堂エアコン設置工事	2/10	578,000
〃	田の神町	公会堂屋根塗装工事	2/10	272,000
〃	相之島町	第二公会堂屋根塗装工事	2/10	97,000
〃	小島町	公会堂床等工事及び障子張替工事 (東日本台風災害復旧)	10/10	2,116,000
〃	馬場町	公会堂埋込エアコン取替工事	2/10	286,000
〃	相森町	公民分館窓サッシ化・玄関ホール床修繕工事	2/10	241,000
下水道接続	横町	公会堂トイレ水洗化工事	1/3	500,000
敷地購入	屋部町	公会堂敷地購入	3/10	2,357,000
〃	上町	〃	3/10	3,600,000

(3) コミュニティ助成事業補助額(補助率 10/10) 2町 4,700,000円

単位:円

区分	町名	助成物品等	補助額
一般コミュニティ助成事業 (公財)長野県市町村振興協会	高梨町	材木、音響備品用台、アルミポール、祭り用具(童子)用正絹着物、笠鉾、神楽鈴	2,500,000
	南原町	デジタル印刷機、ノートパソコン、プロジェクター、インクジェットプリンタ、会議テーブル長机	2,200,000

3 地縁団体認可の状況

認可地縁団体の数 56 団体（2年3月31日現在）

認可処理件数 1件 幸高町区 認可日 元年12月25日

4 ボランティア団体等の支援

NPO法人、ボランティア活動等の問合せに対し情報を提供した。

2-1-14(目)地域振興費

単位：円

当初 予算額	45,370,000	予算 現額	36,128,000	決算額	31,237,780	前年度 決算対比	89.5%	前年度 決算額	34,906,114
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 地域活性化事業

単位：円

当初 予算額	12,412,000	予算 現額	9,956,000	決算額	8,051,168	前年度 決算対比	72.0%	前年度 決算額	11,189,108
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

須坂の自然や文化、産業等の地域資源を活用した交流人口増の取組み、市民の誇りや地元愛の醸成、若い世代の結婚支援による人口減少抑制などにより、持続可能で魅力ある地域づくりを推進する。

II 事業の成果等

地域情報チャンネル番組の制作及び放送や元気づくり支援金の活用により、共創のまちづくりを推進することができた。

「結婚支援事業」では、意識改革セミナーや交流会、結婚相談所の運営等を実施し、結婚を希望する独身者を支援することができた。

III 事業の実績

1 地域発・元気づくり支援金の申請支援

地域活性化を図るため、県への申請を支援した。

区分	事業名	担当課及び団体名等	交付確定額（円）
市	須坂市結婚支援事業「みんなで結婚応援プロジェクト」	政策推進課	825,000
〃	みんなと ZOO っとわくわくわんパーク	臥竜公園管理事務所	3,095,000
〃	フレイル予防を含めた健康づくり推進	健康づくり課	467,000
〃	須坂暮らしのありのまま農泊推進	農林課	751,000
〃	スザッピーが歩むまちづくり探検隊 ～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～	生涯学習推進センター	472,000
団体等	須坂☆キッズシアタープロジェクト	ドリーム・コンシェル	1,672,000
〃	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会	358,000
〃	懐かしくて新しい「紙芝居のさと」づくりⅢ	信州須坂紙芝居のさとプロジェクト	2,337,000
〃	長野ガロンズ 中学生向けトレーニング講習会	(株)信州スポーツプロモーション	311,000

2 地域づくり団体等活動支援貸付金の貸付

地域づくり団体等が国県等の補助金等を活用して実施する市の活性化に資する事業に関し、補助金等が支払われるまでの間、無利子資金の貸付を行った。

貸付件数 2件 貸付金額 2,700,000円

3 地域情報チャンネル番組の制作及び放送

市民団体等や区、市の施策等を紹介するテレビ番組を制作し、地域情報チャンネルで放送した。

(1) 委託先 (株)Goolight

(2) 委託料 1,306,000円

(3) 業務内容

ア 広報番組「共創 皆でつくろう元気なすざか」制作及び放送業務委託

番組名
旭ヶ丘地域づくりふれあいプロジェクトの取り組み(9月)
須坂市動物園の取り組み(2月)
台風19号 令和元年東日本台風 自助共助の大切さ(3月)

イ (株)Goolight が制作するニュースウォーカーから市に該当する映像を編集し、市ホームページやSNSで動画を公開した。

4 結婚希望者の支援

県の地域発・元気づくり支援金を活用し、結婚を希望する独身者の支援を行った。

事業開始(26年10月)から当該年度までの婚姻数は13件。

なお、婚活セミナー及び交流会等については、4事業を実施する予定だったが、令和元年東日本台風災害により1事業、新型コロナウイルス感染拡大により1事業の計2事業を中止した。

(1) 業務名 結婚支援事業委託

(2) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(3) 委託料 1,503,536円

(4) 委託期間 4月1日～3月31日

(5) 業務内容 結婚相談所の運営、婚活セミナー及び交流会の開催

ア 結婚相談所の運営 登録者94人(男性50人、女性44人) 延べ相談者140人

イ お見合いの調整 実施数12回 カップル成立数4組

ウ 婚活セミナー及び交流会等の開催

(ア) 「結婚の応援をしてくださる方」「お子さんに結婚してほしい親」のためのセミナー

5月26日 シルキー第2ホール 参加者33人

演題 「わが地域子どもたち・わが子の結婚のため、みんなが知っておきたいこと、できること」

講師 若井 順子 氏(若井結婚センター所長)

(イ) すざか婚活2019「すざかがつなぐ赤い糸」

a 事前セミナー(男性対象)

6月9日 市社会福祉協議会会議室 参加者5人

演題 「好感度アップ!メンズヘアスタイリング講座」

講師 亀原 正裕 氏(kiitos hair design+ TOPスタイリスト)

b セミナー&交流会

6月23日 ホテル国際21 スカイレストランブーランジェ

演題 「嘘のない婚活マニュアル」

講師 くじら 氏(恋愛マスター)

参加者31人(男性23人、女性8人) カップル成立数7組

(ウ) すざか婚活 2019「ヨガ&バーベキュー婚」&須坂エクササイズ
 8月25日 創造の家、勤労青少年体育センター
 参加者 44人（男性 22人、女性 22人） カップル成立数 7組

5 長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業

長野圏域への移住を考える独身女性と地元男性との交流機会を提供するツアーを開催した。また、ツアーの効果を高めるため、事前セミナーを開催した。

(1) 事前セミナー（男性対象）

9月11日 喫茶 CHOU CHOU（長野市役所 1階）

演題 「婚活カフェ 選ばれる自分になる」

講師 婚活 de 八ヶ岳推進委員会（多賀 純夫 氏、五味 愛美 氏、佐野 美涼 氏）

参加者 14人

(2) 日帰りツアー（令和元年東日本台風の影響により 1泊 2日から日帰りに変更して実施）

2月8日 善光寺及び善光寺門前

参加者 21人（男性 13人、女性 8人） カップル成立数 5組

6 結婚新生活支援補助事業の実施

少子化対策を推進するため、国の結婚新生活支援事業費補助金を活用し、新婚世帯（世帯の所得が 340 万円未満）を対象に住居の賃料等を補助した。

補助申請数 8件 補助額 1,835,000 円（合計）

■ 移住交流支援事業

単位：円

当初 予算額	32,958,000	予算 現額	26,172,000	決算額	23,186,612	前年度 決算対比	97.8%	前年度 決算額	23,717,006
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

移住定住先として須坂市を選んでいただくため、首都圏をはじめ県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、移住先としての知名度向上に関する事業や移住希望者の積極的受入れに関する事業、移住相談体制の充実に関する事業を充実させることで、更なる移住定住者が増えるまちを目指す。

II 事業の成果等

移住先としての知名度向上に関する事業では、移住支援サイト「スザカでくらす」やメルマガ、ブログ等に加えフェイスブックやインスタグラム、ツイッターなど SNS による情報発信や首都圏等での移住相談会の開催を通じ須坂市の知名度向上を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2・3月に中止された相談会に代わり電話相談を行い、次年度以降の事業継続を図ることができた。

移住希望者の積極的受入れに関する事業では、空き家バンクの充実や移住者協力求人企業の紹介、移住体験ツアーの実施、移住体験ハウスの整備、地域おこし協力隊の活用等を通じ、本年度 33 人が信州須坂移住新チームサポートにより移住してきており、積極的に移住者を受け入れることができた。

III 事業の実績

1 移住支援サイト等での情報提供

- (1) 仕事、空き家、子育て情報など一元的に情報を提供
- (2) 移住相談会の開催、移住体験ツアー、空き家バンク情報を提供
- (3) 移住者の生の声や移住者協力求人企業の情報をインタビュー形式で提供

2 ふるさと応援団メルマガの発行

- (1) 発行回数 24回（毎月5日・25日発行）
- (2) 会員数 1,199人
- (3) 発行内容 移住相談会情報、移住体験ツアー情報、移住者インタビュー等

3 個別相談会・移住セミナー等で情報提供

東京、大阪、名古屋で開催する移住セミナーへ積極的に参加するとともに銀座NAGANOでの個別相談会で、須坂市へ移住を検討する方に対し積極的に相談に応じることができた。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け3月は電話による個別相談会を実施した。

(1) 移住相談会開催状況

- | | |
|-------------------|-----|
| ア 須坂市個別相談会 | 13回 |
| イ 連携中枢都市圏による移住相談会 | 6回 |
| ウ 県主催による移住相談会 | 7回 |
| エ 全国の移住フェア等への参加 | 4回 |
| オ 市役所・電話等による相談会 | 10回 |

(2) 相談者数 相談者数138人（93組）

4 空き家バンクの充実

納税通知や広報須坂、隣組回覧等での広報により、空き家バンクへの登録物件を増やすとともに、ホームページ等により情報提供を行った。

- (1) 新規登録件数 13件
- (2) 成約件数 15件

5 移住体験ツアーの実施

移住希望者や空き家バンク希望者に対する移住体験ツアー等を実施した。

- (1) 移住体験ツアー開催数 13回
- (2) 参加者数 28人（13組）

6 移住体験ハウスの活用

旧教員住宅を体験ハウスとして活用し、移住体験ツアーや新規就農体験ツアーの参加者等が利用した。

- (1) 利用回数 48泊
- (2) 利用者人数 95人

7 ふるさと信州須坂のつどいの開催

須坂市出身（縁故者含む）で東京周辺において活躍されている方々と、市内各種団体等の方々との交流を深め、情報発信等を目的に運営委託により開催した。

今回は10回記念として第一部で遠藤守信先生（信州大学特別特任教授・須坂市名誉市民）の基調講演を行い、第二部で交流パーティーを行い郷土に対する愛着を深めるきっかけとした。

- (1) 業務名 ふるさと信州須坂のつどい運営委託
- (2) 委託先 (株)Goolight
- (3) 業務内容 ふるさと信州須坂のつどい運営、バス手配、会場借上げ、記念品等
- (4) 委託料 550,000円
- (5) 開催日 2月8日
- (6) 会場 都市センターホテル（東京都千代田区）
- (7) 参加者数 81人（在京者等43人、須坂市から38人）

8 峰の原高原集落“再熱”実施モデル地区支援事業の実施

ペンションオーナーの高齢化に伴い、後継者探しや空きペンションの活用などが大きな課題となっている峰の原高原の持続可能なペンション村づくりに向けて、峰の原高原集落再熱実施モデル地区支援事業実行委員会（峰の原高原区、峰の原高原観光協会、峰の原高原旅館組合、須坂市）を26年度より立ち上げ、以下の事業を実施した。

(1) 長野大学との連携事業

ア 環境ツーリズム学部の授業、演習、ゼミによる実習場所として提供

(2) インターンシップ事業

ア 期間 8月

イ 受入大学 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部観光デザイン学科

ウ 受入ペンション 3ペンション

エ 参加学生数 6人

(3) 地域おこし協力隊活用事業

ア 人数 2人

イ 活動内容 持続可能なペンション村づくりに向けた峰の原高原の地域活性化等

9 地域おこし協力隊の活用

26年4月から順次、地域おこし協力隊を委嘱し、都会からの人材を積極的に受け入れ、移住支援や観光誘致等に繋げる取組みを実施した。

委嘱状況	活動内容
商業観光課 (1人)	市街地を中心とした地区における人口減少や高齢化、商業の衰退等の地域課題に対し、地域おこし協力隊による新たな視点や能力、マンパワーを有効活用し、空き店舗の活用や町の魅力の掘り起しを目的として冊子作成、まちづくり団体の活動への参加等課題の発見と解決に向けて活動を進めた。
豊洲地域公民館 (1人)	生産農家の高齢化及び後継者不足が深刻な問題となっている状況を踏まえ、豊洲地域の果実を活用した摘果りんごのジュース作りなど新規事業の立上げや若い人の地域での活躍の場づくりの支援を行った。摘果りんごのジュースは、イベントでの試飲会を行い今後の活用方法等について地元農家へのきっかけづくりをした。
峰の原高原観光協会 (2人)	SNSを活用した情報発信やオリジナルイベントを実施した。また、地域のPRになる商品開発や映像を活用した魅力発信を行うとともに、写真集やポスター等地域イベント撮影協力を行った。また、任期終了後を見据え、ペンション後継者としての業務研修も受講し、持続可能なペンション村づくりに向けて活動した。 長野大学在学中での任務だったが、地元をはじめ多くの方の協力を得ながら長野大学と連携し開催したイベントではスキー場だけでなく新たな峰の原高原の冬の魅力を掘り起こすことができた。
須坂温泉 (1人)	須坂温泉古城荘の利用促進並びに地域に愛される温泉施設として、農家チャレンジショップの企画・運営や健康長寿食の開発、有害鳥獣の駆除活動など地域住民と連携した活動を通じて、地域の振興や観光の振興に結びつく活動を進めた。また、任期終了後も踏まえ遊休地を活用したソルガムの栽培や自伐型林業への取組を継続的に実施した。

10 長野地域連携中枢都市圏移住促進事業

三大都市圏等からの人口流入を目的としたUJIターン及び定住に向けた取組みを、連携中枢都市（長野市）と連携市町村とともに実施。圏域パンフレットの作成、移住相談会の開催、移住体験ツアー等を実施した。

(1) 圏域市町村の取組情報を集約した情報提供

ア パンフレットの作成

(2) 移住相談会の開催

- ア 4月20日・21日 移住・交流ガーデン（東京）
- イ 9月8日 ふるさと回帰支援センター（東京）
- ウ 12月1日 ふるさと回帰支援センター（東京）

(3) 移住体験ツアーの開催

- ア 9月28日・29日 長野市、飯綱町、小川村
- イ 11月16日・17日 須坂市、信濃町
- ウ 2月15日・16日 千曲市、坂城市、高山村

2-1-15 (目) 情報化推進費

単位：円

当初 予算額	127,677,000	予算 現額	124,993,000	決算額	124,575,835	前年度 決算対比	135.4%	前年度 決算額	92,006,415
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

■ 住民基本台帳等電算業務委託事業

単位：円

当初 予算額	69,787,000	予算 現額	69,223,000	決算額	69,096,701	前年度 決算対比	196.5%	前年度 決算額	35,156,099
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

住民基本台帳を基に構成される電算システムの活用により、住民サービスの向上を図る。

II 事業の成果等

住民基本台帳等基幹系システムの活用により、正確で迅速な処理を行うことができた。

事務の簡素化のため、契約については一括契約とし、共通システム以外の各個別業務分の支出については所管課対応とした。

III 事業の実績

1 システム利用料

基幹系システムクラウドサービス利用料 85,715,352円

2 委託料

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
基幹系システム運用サポート・アウトソーシング業務委託	(株)電算	システム運用サポート及び用紙代、帳票作成処理、封入封緘処理、データパンチ等	33,726,780

■ 情報システム管理事業

単位：円

当初 予算額	57,890,000	予算 現額	55,770,000	決算額	55,479,134	前年度 決算対比	97.6%	前年度 決算額	56,850,316
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

庁内（現地機関含む）の情報通信システムの適正な運用を図るとともに、総合行政ネットワーク（LGWAN）等の広域ネットワークの活用により、事務の効率化と各種情報施策の実現を図る。

II 事業の成果等

情報通信システムの適正な運用、情報ネットワークの活用及び情報の共有により、効率的に事務を執行することができた。

Ⅲ 事業の実績

1 ノートパソコン、サーバーのリース配備等

(1) 庁内LANの適正管理、老朽化したパソコン、プリンター、サーバーの更新等

項目	数量等	金額 (円)	更新時期	備考
政策推進課カラー複合機	1台	95,040	6月	5年リース (月額 9,504円)
保育園用カラー複合機	10台	112,320	8月	5年リース (月額 14,040円)
庁内用パソコン	261台	3,935,520	8月	5年リース (月額 491,940円)
IT資産管理システム	1式	217,580	2月	5年リース (月額 108,790円)

(2) パソコン・サーバー等リース継続分 23,687,429円

2 庁内LANサーバー機器等保守委託

庁内LANシステムのサーバー機器等の保守を委託した。

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
地理情報システム (GIS) 保守委託	HARVEY (株) 長野支店	地理情報システム保守	1,072,560
庁内LANプリンター保守委託	(資) カミヤ長張商店	庁内LANプリンター保守	29,376
	(一括契約額 58,536円)		
大判プリンター保守委託	(資) カミヤ長張商店	大判プリンター保守	45,360
ネットワーク機器等保守業務委託	NEC フィールドイング (株) 北関東支社長野支店	ネットワーク機器等保守	1,018,138
IT資産管理システム保守委託	(株) 電算	IT資産管理システム保守	410,176

3 情報セキュリティ研修

適正な庁内LAN運用と個人情報保護の徹底を図るため実施した。

- (1) 新規採用職員研修会 4月3日
- (2) eラーニング形式研修 10月7日～12月27日 (受講者 536人)

4 電子申請・届出システムの運用

- (1) ながの電子申請サービスへの参加 (県内 78団体)
- (2) オンライン行政手続き等の内容 (内部事務用を除く)

公文書公開請求	母子家庭証明書発行申請
各種健康診査申込み	犬の死亡届
犬の登録事項の変更届	上下水道名義変更届
上下水道開栓届	上下水道閉栓届
児童手当等の受給資格認定請求	第六次須崎市総合計画策定に伴う市民アンケート
須崎市議会に関するアンケート	須崎市オープンデータ 作成提案
須崎市動物園代表動物選挙 2020	アカカンガルーの赤ちゃんの愛称を募集します
八町きゅうり苗購入予約申込	

(3) 申請件数

年度	行政手続等	内部事務用	合計
当該年度	441件	304件	745件
前年度	一件	一件	一件

※前年度は年度途中で電子申請システムの更新があったため集計不可

5 オープンデータ及び ICT 等の推進

市が所有する情報のうち、二次利用が可能と判断したものを順次オープンデータ化し、市民の利便性向上等につなげる。

(1) 須坂市オープンデータ推進会議

市が所有する様々な電子データに関し、より活用し易い状態で市民に提供するために必要な事項について検討及び実施。(26年度から設置)

開催回数 3回

(2) 各種外部会議等

各機関等からの依頼を受け、会議等に参加した。

月日	会議名等
8月22日	長野県ビッグデータ活用検討会
12月7日	LOD チャレンジ2019 授賞式 (公共 LOD 賞：名古屋大学大学院、長野県情報政策課、須坂市政策推進課共同受賞)
12月20日	オープンデータ化支援研修 (小諸市、軽井沢町、御代田町 共同事業)
1月21日	長野県ビッグデータ活用検討会

6 AI-OCR・RPA 実証実験

自治体業務効率化の手法の一つとして注目されている RPA (システム入力作業、操作等の自動化) の導入を見据え、基幹機能である AI-OCR (書類や帳票の読み取りを行い、データ化する処理) の評価をするため、市のシステム環境により手書き書類の電子データ化の精度や有用性について実証実験を行った。

(1) 使用した製品 WingArc SPA

(2) 期間 12月1日～1月31日

(3) 検証結果

AI-OCR が業務効率化に寄与する可能性は認められたが、手書き文字の認識精度が不足しているため、システム導入には業務フローや各種帳票を見直すなどの業務改革が必要と判断した。

2-1-16 (目) 男女共同参画推進費

単位：円

当初予算額	3,273,000	予算現額	2,693,000	決算額	2,559,342	前年度決算対比	97.8%	前年度決算額	2,616,932
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

■ 男女共同参画社会づくり事業

単位：円

当初予算額	3,273,000	予算現額	2,693,000	決算額	2,559,342	前年度決算対比	97.8%	前年度決算額	2,616,932
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

家庭・学校・職場や地域において、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会づくり」を推進する。

II 事業の成果等

2018年度からスタートした「第五次須坂市男女共同参画計画」のダイジェスト版を学習会や講座等で活用し、意識啓発を行い、男女共同参画意識の向上を図ることができた。

男女共同参画推進市民会議が主体の「男女共同参画いきいきフォーラム」では、男女共同参画社会の形成に関して、チャレンジし活躍する身近なロールモデルの事例紹介や講演会を通して、家庭や地域にある身近なできごとから男女共同参画を考え理解を深めることができた。

女性の活躍推進と子育てしやすい地域づくりを進めるために、「スマイル・ママ・フェスタ in 須坂」を開催した。実行委員会には、子育て中の母親を中心に13名が参加し、実行委員が自ら企画運営をすることや、参加者が自らの経験や活動を活かした発表をすることで、女性活躍の場や参加者の交流を広げることができた。

過去3回開催の経験や成果、ネットワークを活かし、組織体制や財源確保など自主運営による今後の開催に繋げることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市男女共同参画推進委員会

第五次須坂市男女共同参画計画の推進と男女共同参画社会づくりに向けた推進方法について協議した。

- (1) 委員数 10人 (男性5人、女性5人) 任期2年
 (2) 会議の開催

回	開催日 (出席委員)	内 容
1	6月6日 (9人)	2018年度事業報告、2019年度事業計画、男女共同参画計画の取組み、女性の参画状況

2 須坂市男女共同参画推進市民会議

「輝く女(ひと)と男(ひと)セミナー」や「男女共同参画いきいきフォーラム」を開催し、意識啓発を行った。

団体会員数22人 個人会員数14人 (男性5人、女性31人)

(1) 会議の開催

回	開催日 (出席会員)	内 容
1	7月5日 (17人)	2018年度事業報告、2019年度事業計画、フォーラム、輝く女と男セミナーについて
2	10月28日 (12人)	フォーラムの内容、いきいき通信の内容について
3	12月18日 (18人)	輝く女と男セミナーの報告と反省、フォーラムの内容、スケジュール、係分担等について
4	2月19日 (16人)	フォーラムの報告と反省、来年度の予定について

(2) 輝く女と男セミナーの開催

ア 期日 10月28日 午後3時00分～4時30分

イ 会場 旧上高井郡役所 2階

ウ 参加者 23人 (男9人、女14人)

エ 内容 講演会

「子どもの生きる力を育むために周りのおとなができること」

講師 (特非)子ども・人権・エンパワメント CAPながの のみなさん

(3) 男女共同参画いきいきフォーラムの開催

ア 期日 2月1日

イ 会場 須坂市文化会館メセナホール (小ホール)

ウ 参加者 253人

エ 内容

(ア) 事例紹介

須坂市消防団音楽隊の活動発表・演奏

(イ) 講演会

「ジェンダー平等は世界の潮流 ～地域・家庭で出来る取り組みを知る」

講師 フリージャーナリスト・東京大学大学院情報学環客員研究員 治部れんげ氏

(4) 男女共同参画いきいき通信第15号の発行

ア 掲載内容 推進市民会議や推進市民会議会員の活動など、男女がともに参画している地域活動のようすを紹介

イ 全戸へ配布 12月27日

3 須坂市男女共同参画推進庁内連絡会

10月31日 文書開催とし、第五次計画の取組み、女性の参画について、庁内関係部門で効果的な推進ができるよう状況を報告し、取組みの依頼をした。委員数29人

4 男女共同参画地域学習会

家庭や地域での身近な問題から、男女の役割について考え、慣習や固定的な役割分担意識の見直しを図るため、学習会を開催した。

(1) 「安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点から～」(出前講座)

町・団体名	開催日	参加者
旭ヶ丘地区	11月6日	48人(男39人、女9人)
南小河原町	11月7日	31人(男21人、女10人)
下八町	11月20日	28人(男23人、女5人)
高甫地域公民館	2月21日	16人(男12人、女4人)

(2) 「安心して暮らせる社会をめざして～DVを知っていますか?～」(出前講座)

団体名	開催日	参加者
すこやかふれあい広場	10月29日	11人(女11人)

5 仕事と生活の両立ができる環境整備の推進

仕事と生活の両立ができる環境整備のために、企業と連携した「ワーク・ライフ・バランス推進研修会」の開催及び周知啓発を行った。

(1) 出前講座

- ア 期日 8月30日
- イ 会場 長野県建設業協会須坂支部 会議室
- ウ 参加者 長野県土木施工管理技士会須坂支部 31人
- エ 内容 「職場のハラスメントをなくそう」

(2) 講演会(一般市民向け)

- ア 期日 9月27日
- イ 会場 旧上高井郡役所 2階
- ウ 参加者 23人(男9人、女14人)
- エ 内容 講演会
「地域で暮らす働く ワークライフバランスの本質と現実」
講師 イーキュア(株) ワークライフバランスコンサルタント 福盛二郎氏

6 講座等事業

男女がともに学習し、自ら力をつけ積極的に社会参画ができるよう講座を開催した。

講座名	開催日	内容等
チャレンジ講座 プチ起業・SNS活用セミナー【活用編】	6月29日	パソコンを利用したFacebookの実践的な活用方法、効果的な情報発信、情報収集の方法などを学ぶ 参加者8人(女8人) 講師 (特非)信州SOHO支援協議会理事 寺島広美氏
チャレンジ講座 はじめてのSNS活用セミナー【デビュー編】	12月21日	Facebookの基本的な使い方から情報発信、情報収集の活用方法などを学ぶ 参加者12人(男5人、女7人) 講師 (特非)信州SOHO支援協議会理事 寺島広美氏

7 研修事業

男女共同参画社会実現のために研修事業に参加し、推進方法の学習や意識の向上を図った。

- (1) 男女共同参画推進県民大会（宮田村） 11月16日 参加者1人（市民会議会員）
この大会において、須坂市の「須坂市消防団音楽隊 隊長 徳武洋子 氏」が、長野県男女共同参画推進県民会議表彰を受賞した。
- (2) 共同参画のまちづくりフォーラム（岡谷市）11月30日 参加者3人（市民会議会員）
- (3) 長野県女性活躍推進トップセミナー（長野市）12月11日 参加者1人（市民会議会員）
- (4) 男女で考える地域づくりミーティング（長野市）2月20日 参加者2人（市民会議会員）

8 女性の参画状況調査（4月1日現在）

女性の社会参画促進と政策決定過程への参画を推進するため、参画状況等を調査した。

内 容	当該年度	前年度
須坂市審議会委員等における女性委員の割合	34.4%	35.2%
女性比率40%未満の審議会・委員会等への委員の選出に関する調査	56 審議会等 36 審議会等	—
各町（69町）の女性役員について		
1 女性役員がいると回答した町	49町	41町
2 女性委員の割合	16.7%	14.7%
市職員の女性管理職の割合	8.5%	6.1%

9 審議会委員等への女性委員推薦

推薦依頼のあった審議会等委員について、5の審議会等へ8人を推薦した。

10 啓発事業

- (1) 広報須坂による啓発
 - ア ワーク・ライフ・バランスの推進 9月
 - イ DV（ドメスティック・バイオレンス）防止について 11月
- (2) 審議会・委員会等に占める女性委員の状況をホームページに一覧として掲載 11月
- (3) 男女共同参画週間啓発パネル・ポスター掲示 中央公民館2階 6月24日～7月31日
- (4) 区・自治会役員への女性登用の啓発
7月31日 区・自治会における女性役員の調査結果報告と併せ、区長あて登用依頼文書送付
- (5) デートDVリーフレットの作成、配布
新成人 12月

11 相談事業

女性が抱える諸問題に対する相談を行った。

	DV	育児	仕事	夫婦	親子	友人	介護	健康	その他	計
相談件数（件）	5			8	17	2			4	36
内 訳	来庁（件）	5		1	16					22
	電話（件）			7	1	2			4	14

12 各種団体育成支援

女性の社会参画に向けた取組みのための支援を行った。

- (1) 須坂市女性団体連絡協議会（事務局）
市内の女性団体・グループ相互の連絡調整を図り、女性の社会参画や環境保護活動について、研究協議し取り組んだ。

ア 会議の開催

回	開催日 (出席委員)	内 容
1	4月9日 (8人)	2018年度事業報告及び会計報告、2019年度事業計画及び予算、もったいない市、市の審議会等委員の推薦について
2	6月11日 (7人)	もったいない市の反省、熊本地震義援金の寄付、エコルーム衣替え、エコ探検隊、研修視察について
3	1月23日 (7人)	エコ探検隊の反省、研修視察の報告、レジ袋削減啓発活動、2020年度の役員及びエコサポートすざかの運営、もったいない市、市の審議会等委員の推薦について

イ 視察研修

10月23日 ながの環境エネルギーセンター、リサイクルプラザ（長野市）視察 参加者21人

ウ 環境保護に関する活動

(ア) エコサポートすざかの運営

a 毎週土・日開館 延べ日数94日 入館者数 7,114人（うち資源物持込者6,106人）

b 4月27日 「もったいない市」の開催 来場者400人

リサイクルバザーや生ごみ堆肥化講習会、フードドライブやレジ袋削減啓発、また各種団体によるおやきやお菓子の販売、フリーマーケットなどの出店

集まった協力金の一部(50,000円)を震災義援金（平成28年熊本地震）として、日本赤十字社長野県支部に寄付

(イ) 環境学習への取組み

小学生の環境学習「エコ探検隊」開催（協力：須坂東高等学校生徒会）

第1回 8月7日 ごみの分別・スタンプラリー 参加小学生24人、高校生5人

第2回 8月8日 ダンボールオープンのクッキング、エコ工作 参加小学生26人、高校生10人

(2) スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会（事務局）

子育て世代の女性が、自らの経験や活動を活かした発表の場を作り、親子でいっしょに楽しみ、交流のできるイベントを開催した。

ア 会議の開催

※実行委員会は、1月より継続。（実行委員13名）

回	開催日 (出席委員)	内 容
5	4月19日 (8人)	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂の出展状況と配置、協賛金、景品提供状況、当日の業務と役割分担、チラシ・ポスターの配布について
6	5月16日 (7人)	係分担の確認、出展状況の最終確認、会場レイアウト、当日配布資料について
7	7月10日 (7人)	開催報告及び反省、来年度の開催について

イ スマイル・ママ・フェスタ in 須坂の開催（地域発元気づくり支援金活用事業）

(ア) 期日 6月1日

(イ) 会場 須坂市文化会館メセナホール

(ウ) 参加者 1,500人

(エ) 内容 体験やフリーマーケットなどの出展が35件、フードショップ14店、ステージ発表6団体、親子で一緒に参加できる親子ピクスや消防士体験、幅広い世代で参加できる紙芝居の企画イベント、子育てセミナーやパパも一緒に遊べるプラレール広場や手作りおもちゃなどの各コーナーや子育てや女性の活躍を応援して下さるたくさんの企業から協賛をいただき、お楽しみ抽選会を開催した。

ウ 次回開催のための会議の開催

第4回目の開催に向けて、12月に実行委員を募集し、実行委員会を開催した。
(実行委員8名)

回	開催日 (出席委員)	内 容
1	1月24日 (6人)	スマイル・ママ・フェスタの内容、組織について
2	2月17日 (7人)	内容、出展者・協賛金募集、後援依頼について
3	3月9日 (三役)	出展申込状況、ステージ発表タイムテーブル、当日学生スタッフ募集について
4	3月26日 (5人)	開催の中止、来年度に向けた運営組織体制について

2-2-1 (目) 税務総務費

単位：円

当初 予算額	155,945,000	予算 現額	167,864,000	決算額	166,684,139	前年度 決算対比	113.7%	前年度 決算額	146,597,083
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	1,180,000	予算 現額	1,460,000	決算額	1,099,369	前年度 決算対比	93.4%	前年度 決算額	1,177,510
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

公正で適正な税務行政を推進する。

II 事業の成果等

固定資産評価員会議を開催し、固定資産の公正な評価を行い、適正な課税を行うことができた。

また、投票年齢の引下げ等により主権者教育としての租税教育の充実が求められており、市内小学6年生を対象に長野税務署管内租税教育推進協議会との共催による租税教室を開催し、次代を担う児童に租税の意義や役割を正しく理解する機会を提供し、税の役割から納税の大切さを学ぶ機会とすることができた。

III 事業の実績

1 固定資産評価員会議

(1) 会議の開催状況 年2回開催（8月7日、3月23日）

(2) 主な会議事項

- ア 令和2年度固定資産評価調書について
- イ 住家の被害認定調査について
- ウ 池沼調査について

2 租税教育の推進

(1) 租税教室の開催状況（長野税務署管内租税教育推進協議会と共催）

ア	旭ヶ丘小学校6年生	(1クラス)	29人	6月6日	(木)	税務署
イ	仁礼小学校6年生	(1クラス)	35人	8月29日	(木)	市
ウ	森上小学校6年生	(2クラス)	62人	10月4日	(金)	県税事務所

エ	高甫小学校6年生	(1クラス)	32人	11月19日	(火)	市
オ	日野小学校6年生	(2クラス)	64人	1月21日	(火)	県税事務所
カ	豊洲小学校6年生	(1クラス)	31人	1月22日	(水)	市
キ	須坂小学校6年生	(2クラス)	44人	1月22日	(水)	市
ク	小山小学校6年生	(2クラス)	72人	1月30日	(木)	市
ケ	豊丘小学校6年生	(2クラス)	49人	2月3日	(月)	市
コ	井上小学校6年生	(2クラス)	47人	2月18日	(火)	県税事務所
サ	墨坂中学校3年生	(4クラス)	144人	7月9日	(火)	税務署
シ	相森中学校3年生	(3クラス)	97人	12月9日	(月)	税理士会
ス	須坂創成高校3年生	(3クラス)	120人	7月23日	(火)	税務署
計		(26クラス)	826人			

■ 固定資産評価審査委員会運営事業

単位：円

当初 予算額	50,000	予算 現額	20,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	9,750
-----------	--------	----------	--------	-----	---	-------------	------	------------	-------

I 事業の目的

納税者から固定資産課税台帳に登録された価格に対する不服があった際に、中立公正な立場で審査決定する。

II 事業の実績

固定資産評価審査委員の人事

以下のとおり委員が再任した。

再任委員 樋口 恵子 (任期 令和元年6月11日～令和4年6月10日)

2-2-2(目) 賦課徴収費

単位：円

当初 予算額	157,141,000	予算 現額	156,712,000	決算額	140,091,135	前年度 決算対比	113.8%	前年度 決算額	123,143,914
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 賦課徴収事務費

単位：円

当初 予算額	157,141,000	予算 現額	156,712,000	決算額	140,091,135	前年度 決算対比	113.8%	前年度 決算額	123,143,914
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

適正・適切な賦課・徴収を行い、公平な税負担の実現と税収の確保に努めた。

II 事業の成果等

市民税等の課税においては、市・県民税未申告者の解消に努め、適正な申告課税による市県民税の課税を行い、適正な申告を支援し、また、更正等にも対応しながら、公平公正に課税することができた。

固定資産税では、課税客体把握に努めると共に、評価替えに向け、標準宅地304地点の鑑定と時点修正、1,046本の路線価の下落修正及び新規路線9本の付設を行った。

滞納整理については、「第二次滞納整理対策チャレンジプラン(2017年度～2019年度)」に基づき滞納整理を推進し、収入未済額の削減と新規の滞納者を発生させない取組みを推進した。また、徴収困難な滞納事案を長野県地方税滞納整理機構に移管し取組んだ。これらの取組みにより、市税の収納率は、現年度分と滞納繰越分の合計で前年度を上回り、チャレンジプランの2019年度収入未済額目標値を達成することができた。

Ⅲ 事業の実績

1 市民税の課税状況

(1) 個人市民税（現年課税分） 特別徴収義務者数 3,526 人

区 分	普 通 徴 収		給与に係る特別徴収		退 職 所 得	
	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)
所得割	5,044	582,726,100	15,083	1,715,955,500	137	17,527,500
均等割	6,849	23,432,500	15,922	55,727,000		
計	実人数 6,849	606,158,600	実人数 15,922	1,771,682,500	137	17,527,500
区 分	年 金 特 徴		計		前年比(%)	
	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額
所得割	2,696	110,447,100	22,960	2,426,656,200	99.66	107.95
均等割	3,732	13,062,000	26,503	92,221,500	100.66	100.92
計	実人数 3,732	123,509,100	実人数 26,503	2,518,877,700	実人数 100.66	107.68

(2) 法人市民税（現年課税分）

区 分	法 人 数	税 額(円)	前年比(増減)	
			法 人 数	税 額(円)
法人税割	433	361,662,500	△82	△107,821,900
均等割	1,255	149,358,200	7	1,714,400
計	実法人数 1,255	511,020,700	実法人数 7	△106,107,500

2 固定資産税・都市計画税の課税状況

(1) 土地・家屋別内訳（2019年度概要調書より、免税点以上のもの）

土 地				家 屋			
地 目	筆 数	地 目	筆 数	区 分	在来分(棟)	新增築分(棟)	計(棟)
宅 地	33,469	池 沼	5	木 造	21,792	230	22,022
田	4,727	鉱泉地	4	非木造	6,605	32	6,637
畑	25,958	雑種地	5,000				
山 林	6,745						
原 野	2,086	計	77,994	計	28,397	262	28,659

(2) 固定資産税・都市計画税（現年課税分）

区 分	固定資産税		都市計画税		計	
	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)	納税義務者数	税 額(円)
土 地	16,335	823,189,300	10,545	119,606,500	16,335	942,795,800
家 屋	17,172	1,255,942,900	10,781	124,688,900	17,172	1,380,628,800
償 却	702	505,663,500			702	505,663,500
計	実人数 21,725	2,584,795,700		244,292,400	実人数 21,725	2,829,088,100

* 実人数は、同一人が土地、家屋、償却資産を納税する場合1人とする。

(3) 固定資産の主な業務状況

業 務 名	業務件数等
新增築家屋評価	262 棟
土地異動（所有権移転、分筆、地目変更等）	5,018 筆
家屋異動（所有権移転、表示等）	1,096 棟
土地家屋等縦覧帳簿縦覧者	3 人
縦覧期間中の課税台帳閲覧者	264 人

業 務 名	業務件数等
地方税法第 422 条の 3 評価通知書発行	1,258 件
相続財産管理人申立	0 件

3 国有資産等所在市町村交付金及び納付金

交付等機関名	交付等金額(円)	備 考
長野県総務部	3,661,300	職員宿舎(教員、警察、農業試験場等)
〃 建設部	11,848,800	県営住宅(六角堂、旭ヶ丘、相之島等)
関東財務局	405,100	刑務所職員宿舎等
中部森林管理局	457,500	国有林(米子不動付近 1,788.04ha)
計	16,372,700	

4 軽自動車税の課税状況

(1) 軽自動車税(種別割)(現年課税分)

車 種	台 数					前年比 (台)	税 額(円)
	旧税率	新税率	重課	軽課	計		
原動機付自転車							
50cc 以下	—	1,974	—	—	1,974	△164	3,948,000
90cc 以下	—	191	—	—	191	△9	382,000
125cc 以下	—	294	—	—	294	20	705,600
ミニカー	—	37	—	—	37	△2	136,900
計	—	2,496	—	—	2,496	△155	5,172,500
軽自動車							
二輪 125cc 超~250cc	—	632	—	—	632	13	2,275,200
三輪	0	0	5	0	5	0	23,000
ボートトレーラー	15	0	0	0	15	△1	54,000
四輪乗用(自家用)	7,601	3,122	3,105	610	14,438	241	133,132,500
貨物(営業用)	78	51	37	7	173	8	614,600
〃(自家用)	2,596	1,186	2,425	18	6,225	△32	30,932,400
計	10,290	4,991	5,572	635	21,488	229	167,031,700
小型特殊自動車							
農耕用	—	2,133	—	—	2,133	△8	5,119,200
その他	—	319	—	—	319	△1	1,882,100
計	—	2,452	—	—	2,452	△9	7,001,300
二輪小型自動車 250cc 超	—	756	—	—	756	△11	4,536,000
過年度分							
四輪乗用(自家用)	4	2	11	0	17	17	125,100
貨物(自家用)	0	0	0	0	0	△4	0
小型特殊自動車農耕用	0	1	0	0	1	1	2,400
計	4	3	11	0	18	14	127,500
全計	10,290	10,698	5,583	635	27,210	68	183,869,000

(2) 軽自動車税(環境性能割)(現年課税分)

税 額(円)	備 考
2,477,000	市税だが、当分の間は県が賦課徴収を行う。

5 市たばこ税の課税状況

特別徴収義務者数	税 額(円)	数 量(本)	前年比(%)	
			税 額	数 量
4	284,034,776	50,159,718	101.76	96.92

6 入湯税の課税状況

特別徴収義務者数	税 額(円)	延利用人数	前年比(%)	
			税 額	延利用人数
4	8,617,000	395,413	107.26	106.57

7 滞納整理の実施

(1) 滞納整理の強化

ア 財産調査と滞納処分を主体とする取り組みを行い、4件の捜索を実施したほか、預貯金や生命保険等の債権を中心に差押を執行し、46,816,485円の換価・取立を行った。また、差押した財産の公売について、動産の公売を2回実施した。

イ 5・8・12月に、現年課税分を対象に税務課職員による一斉滞納整理を実施し、現年課税分の滞納抑制に取り組んだ。

ウ 徴収困難な滞納事案20件について、長野県地方税滞納整理機構へ移管し、専門的・集中的に滞納整理を実施した。

長野県地方税滞納整理機構への移管に係る収納状況

	滞納繰越分	現年課税分	計
本税	20,466,635	1,666,200	22,132,835
延滞金等	6,022,246	2,200	6,024,446
計	26,488,881	1,668,400	28,157,281

また、令和2年度長野県地方税滞納整理機構移管のため、41人へ移管予告書を発送(12月25日)。

予告書の送付により、22人から7,581,236円が納付された。

エ 市税・国民健康保険税について、「広報 須坂」8月号・2月号に滞納整理方針や徴収状況等について掲載し、滞納整理への理解と協力を図った。

(2) 市税等滞納整理推進本部と連携した取り組み

全庁的な収入未済額解消の推進と収納率の向上を図るため、「市税等滞納整理推進本部会議」を開催し、市税・国保税以外の各債権についても「第二次滞納整理対策チャレンジプラン」に基づき滞納整理を進めた。

(3) 財産等の差押状況

区 分	前年度 (件)	当該年度中			3月31日現在 差押(件)
		差押(件)	解除(件)	公売・換価(件)	
不 動 産	46	1	10	0	37
無体財産権	1	6	1	0	6
債 権	34	723	45	631	81
動 産	2	0	0	0	2
計	83	730	56	631	126

(4) 滞納処分の執行停止状況

区 分	前年度中		当該年度末 累計	
	件 数	税 額(円)	件 数	税 額(円)
市 県 民 税	706	8,978,401	937	17,941,416
法 人 市 民 税	10	572,600	31	1,676,796
固 定 資 産 税	467	9,507,073	581	11,126,677
都 市 計 画 税				
軽 自 動 車 税	198	1,123,566	296	1,724,475
計	1,381	21,181,640	1,845	32,469,364

(5) 不納欠損処分状況

区 分	地方税法第15条の7		地方税法第18条		計	
	件 数	税 額(円)	件 数	税 額(円)	件 数	税 額(円)
市 県 民 税	281	6,122,647	174	3,626,400	455	9,749,047
法 人 市 民 税	20	2,121,556	4	180,000	24	2,301,556
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	351	94,851,772	135	1,992,900	486	96,844,672
軽 自 動 車 税	50	248,700	40	168,200	90	416,900
計	702	103,344,675	353	5,967,500	1,055	109,312,175

8 収納率向上に向けた取組み

(1) 口座振替の推進

口座振替の利用を推進するため、市報への掲載、窓口や家屋評価などの際に利用を勧めるとともに、指定金融機関、収納代理金融機関へも推進協力を依頼した。

ア 口座振替の利用実績（当初課税時）

税 目	口 座 振 替			現 金 納 付			計	
	件 数	前年比 (%)	構成比 (%)	件 数	前年比 (%)	構成比 (%)	件 数	前年比 (%)
市県民税（普徴）	4,147	95.88	59.5	2,820	70.66	40.5	6,967	83.78
固定資産税・都市計画税	16,596	100.58	76.1	5,225	103.86	23.9	21,821	101.34
軽自動車税	13,442	102.61	48.8	14,099	100.53	51.2	27,541	101.53
国民健康保険税（普徴）	4,023	93.32	72.6	1,520	67.77	27.4	5,543	84.56
計	38,208	99.92	61.8	23,664	93.57	38.2	61,872	97.39

(2) コンビニ収納

ア コンビニ収納状況（年間実績）※滞納繰越分含む

税 目	前年度実績		当該年度実績		前年比(%)	
	件 数	徴収税額(円)	件 数	徴収税額(円)	件 数	徴収税額
市県民税（普徴）	7,753	134,449,249	6,749	132,270,321	87.05	98.38
固定資産税・都市計画税	9,479	146,084,433	9,974	163,244,904	105.22	111.75
軽自動車税	8,489	61,416,602	8,903	67,269,200	104.88	109.53
国民健康保険税（普徴）	8,413	102,241,579	7,381	107,749,403	87.73	105.39
計	34,134	444,191,863	33,007	470,533,828	96.70	105.93

(3) クレジット収納

ア クレジット収納状況（年間実績）

税 目	前年度実績		当該年度実績		前年比(%)	
	件 数	徴収税額(円)	件 数	徴収税額(円)	件 数	徴収税額
市県民税（普徴）	141	3,870,300	248	7,986,900	175.89	206.36
固定資産税・都市計画税	379	6,698,400	452	8,475,200	119.26	126.53
軽自動車税	116	890,600	154	1,172,100	132.76	131.61
国民健康保険税（普徴）	93	2,279,400	121	3,007,500	130.11	131.94
計	729	13,738,700	975	20,641,700	133.74	150.24

(4) 地方税共通納税

ア 地方税共通納税による収納状況（年間実績）

税 目	前年度実績		当該年度実績		前年比(%)	
	件 数	徴収税額(円)	件 数	徴収税額(円)	件 数	徴収税額
市県民税（特徴）	—	—	89	3,273,300	—	—
法人市民税	—	—	11	2,797,700	—	—
計	—	—	100	6,071,000	—	—

(5) 納税計画表の配布

納税計画表を市報・市ホームページへ掲載、税務課窓口や地域公民館で配布し、納期限内納付の推進に努めた。

9 過誤納還付金

区 分	件 数	金 額 (円)
還 付 金	569	16,241,715
還付加算金	54	317,300
計	623	16,559,015

10 市税の減免状況

区 分	件 数	金 額 (円)
個 人 市 民 税	197	7,647,100
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	298	21,493,800
軽自動車税 (種別割)	394	3,193,400
計	889	32,334,300

11 委託料

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委 託 料 (円)
市税計算業務委託料	(株)電算	基幹系システムの業務委託、業務に関する印刷製本	17,145,264
申告相談支援システム業務委託	(株)BSNアイネット	申告相談システムの業務委託	2,905,760
地番図更新業務委託	HARVEY (株)	地番図の更新業務委託	440,000
固定資産税課税基礎資料整備委託料	(株)パスコ 長野支店	地理情報システムへの地番現況図データの更新・修正業務委託	2,805,000
土地鑑定委託料 (時点修正)	(社)長野県不動産鑑定士協会	標準宅地の価格の時点修正業務委託	1,100,000
固定資産 (土地) 標準宅地鑑定評価業務委託	(社)長野県不動産鑑定士協会	標準宅地の鑑定評価業務委託	21,331,200
固定資産税土地評価鑑定基礎資料整備事業 (路線価システム) 委託料	(一財)日本不動産研究所	土地価格の設定・路線価の付設及び基礎資料整備業務委託	9,240,000
固定資産税家屋評価技術支援業務委託	(株)四門	家屋評価の技術支援業務委託	215,930
地方税電子申告支援サービス委託料	(株)TKC	電子申告データの審査受付及び連携業務委託	4,107,120
		国税連携システム及び審査システム更改造業	972,000
		地方税共通納税サービス導入に係る業務委託	810,000
		地方税共通納税サービス利用料	498,300
軽自動車税申告書電子データ化業務委託	長野県市長会	軽自動車税申告書電子データ化委託料	1,020,176
計			62,590,750

12 証明書等交付状況 (公用・無料含む)

区 分	件 数	区 分	件 数
所 得 ・ 課 税 証 明	4,498	納 税 義 務 者 証 明	0
納 税 証 明	952	営 業 証 明	39
住 宅 用 家 屋 証 明	234	軽 自 動 車 税 納 税 証 明	2,845

区 分	件 数	区 分	件 数
資 産 証 明	51	固定資産税課税（課税）台帳写	446
評 価 証 明	303	土 地 図 面 （ 公 図 ） 写	263
公 課 証 明	266	固定資産税課税台帳記載事項証明書	14
		計	9,911

13 電話予約による所得・課税証明書発行の実施 64件

14 税目別収納実績

税 目	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	還 付 未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)	前年度 収納率 (%)	
個人市民税	現年課税分	2,518,877,700	2,500,468,680	3,310	105,700	18,511,410	99.27	99.07
	滞納繰越分	64,386,299	28,313,199	5,863,668	0	30,209,432	43.97	38.11
	計	2,583,263,999	2,528,781,879	5,866,978	105,700	48,720,842	97.89	96.95
法人市民税	現年課税分	511,020,700	509,734,600	0	0	1,286,100	99.75	99.79
	滞納繰越分	8,297,752	1,287,500	2,301,556	0	4,708,696	15.52	13.30
	計	519,318,452	511,022,100	2,301,556	0	5,994,796	98.40	98.46
固定資産税	現年課税分	2,584,795,700	2,563,171,522	1,217,300	0	20,406,878	99.16	99.11
	滞納繰越分	174,988,461	20,480,585	87,110,415	0	67,397,461	11.70	13.20
	計	2,759,784,161	2,583,652,107	88,327,715	0	87,804,339	93.62	92.23
国有資産等 所在市町村 交 付 金	現年課税分	16,372,700	16,372,700	0	0	0	100	100
軽自動車税 種 別 割	現年課税分	183,869,000	181,562,800	7,900	0	2,298,300	98.75	98.56
	滞納繰越分	5,589,509	2,104,274	409,000	0	3,076,235	37.65	31.00
	計	189,458,509	183,667,074	416,900	0	5,374,535	96.94	96.59
軽自動車税 環境性能割	現年課税分	2,477,000	2,477,000	0	0	0	100	-
市たばこ税	現年課税分	284,034,776	284,034,776	0	0	0	100	100
入 湯 税	現年課税分	8,617,000	8,617,000	0	0	0	100	100
都市計画税	現年課税分	244,292,400	242,259,863	175,200	0	1,857,337	99.17	99.11
	滞納繰越分	16,756,991	1,961,236	8,341,757	0	6,453,998	11.70	13.20
	計	261,049,391	244,221,099	8,516,957	0	8,311,335	93.55	92.14
合 計	現年課税分	6,354,356,976	6,308,698,941	1,403,710	105,700	44,360,025	99.28	99.19
	滞納繰越分	270,019,012	54,146,794	104,026,396	0	111,845,822	20.05	19.61
	計	6,624,375,988	6,362,845,735	105,430,106	105,700	156,205,847	96.05	95.04

2-3-1 (目) 戸籍住民基本台帳費

単位：円

当初 予算額	127,651,000	予算 現額	127,813,000	決算額	120,653,658	前年度 決算対比	105.0%	前年度 決算額	114,938,115
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 戸籍住民基本台帳整備事業

単位：円

当初 予算額	36,048,000	予算 現額	39,033,000	決算額	32,720,118	前年度 決算対比	108.1%	前年度 決算額	30,275,681
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

適正な行政を行うための基礎資料として活用される戸籍・住民基本台帳の整備事務を迅速、かつ正確な処理により行い、住民サービスの向上を図る。

II 事業の成果等

住民基本台帳システム及び戸籍システムの適正な運用を図ることで、各種証明書の発行や届出書処理に際して、迅速かつ正確な事務処理が図られた。

III 事業の実績

1 戸籍

(1) 戸籍情報システム委託

ア 戸籍システム保守委託料	(株)電算	5,420,352 円
イ 戸籍副本データ管理システム保守委託料	(株)電算	130,800 円
ウ 戸籍副本データ管理システムネットワーク機器保守委託料	NTT東日本(株)長野支店	130,800 円
エ レジスター保守委託料	カミヤ長張商店	21,600 円
オ 戸籍システム機器賃借料	NTTファイナンス(株)長野支店	4,941,648 円
カ 戸籍副本データ管理システムネットワーク機器賃借料	NTTファイナンス(株)長野支店	194,400 円
キ レジスター賃借料	日立キャピタル(株)	7,763 円
ク 給茶機賃借料	富士通リース(株)	102,384 円

(2) 本籍数と本籍人口（2年3月31日現在）

本籍数 22,604 戸籍（前年比 11 戸籍の減）

本籍人口 55,653 人（前年比 324 人の減）

(3) 戸籍事務の処理件数

種 別	本籍人届出件数	非本籍人届出件数	計	種 別	件 数
出 生	340	155	495	新 戸 籍 編 製	410
死 亡	606	88	694	戸 籍 全 部 消 除	421
婚 姻	615	23	638	戸 籍 の 再 製 ・ 補 完	0
離 婚	121	7	128	その他	0
転 籍	260	1	261		
そ の 他	249	10	259		
合 計	2,191	284	2,475	合 計	831

(4) 戸籍謄本・抄本及び証明書の交付状況

種 別	件 数	金 額 (円)
有 料 交 付	14,176	7,647,000
公 用 交 付	4,324	

(5) 相続税法第 58 条の規定による税務署への報告

死亡・失踪届出による報告件数 694 件

(6) 埋火葬許可件数

種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数	0	593	0	9	0	602

2 住民基本台帳

(1) 住民基本台帳世帯数及び人口（2年3月31日現在）

世帯数 20,113 世帯（前年比 123 世帯増）

人 口 50,431 人（前年比 300 人減） 男 24,502 人 女 25,929 人

(2) 住民基本台帳関係届出処理件数

種 別		件 数	種 別		件 数
出 生		338	通 知 発 送	本籍通知	1,855
死 亡		578		旧住所	935
転 入		1,089		附票記載	802
転 出		1,225	通 知 受 領	住所修正	1,179
転 居		702		附票修正	1,713
職 権	記 載	23	附 票	記 載	698
	消 除	36		消 除	1,236
	更 正	629		公 用	2,284
世帯変更		481	郵便請求 住民票・附票	私 用	1,781
合 計					17,584

(3) 住民票等の写し及び証明書の交付状況等

種 別	件 数	金 額 (円)
有 料 交 付	19,906	5,971,800
公 用 交 付	1,108	
有 料 閲 覧	124	37,200
無 料 閲 覧	9,482	

(4) 電話予約等証明書の時間外交付等件数 ()前年

	住民票	印鑑登録 証明書	計
宿 直 扱 い	333 (328)	209 (204)	542 (532)

※シルキープラザでの交付は、利用者が少ないため2018年度で終了

(5) 年度末の土日窓口開設業務状況 ()前年

種別	転入 転出	戸籍 届書	証明書交付			印鑑 登録	自動車 臨時 ナンバー	相談 電話 等	マイパ ーカード 交付	合計
			戸籍 証明	住民 票	印鑑登 録証明					
件数	3 (6)	3 (3)	1 (5)	9 (10)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	8 (3)	26 (32)

実施日・・・3月28日（土）、3月29日（日） 午前8時30分～正午まで

(6) 住民記録電算処理委託

ア 年間異動届の件数 8,693 件

イ 基幹系システム運用サポート・アウトソーシング業務委託料 (株)電算 274,680 円

ウ 基幹系システムクラウドサービス利用料 (株)電算 1,360,800 円

エ 全国町・字ファイル保守業務委託料 地方公共団体情報システム機構 209,000 円

オ 顔認証システム及び裏書印字システム機器賃借料 日通商事(株) 180,144 円

カ 本人確認書類裏書印字システム保守委託料 (株)電算 78,480 円

3 外国人住民数（2年3月31日現在）696人（前年比49人増、中長期滞在者684人、特別永住者12人）

国 別	人 数	国 別	人 数	国 別	人 数
ベトナム	182 (149)	中国	160 (164)	タイ	148 (143)
ブラジル	52 (51)	パキスタン	40 (36)	フィリピン	23 (25)
韓国	22 (22)	インドネシア	15 (12)	米国	11 (10)
モンゴル	11 (4)	台湾	5 (4)	英国	4 (2)
マレーシア	3 (3)	インド	3 (2)	イラン	2 (3)
カンボジア	2 (6)	ドイツ	2 (2)	オーストラリア	2 (1)
朝鮮	1 (1)	ペルー	1 (0)	アルゼンチン	1 (1)
カナダ	1 (1)	スリランカ	1 (1)	フィンランド	1 (1)
チュニジア	1 (1)	ボリビア	1 (1)	スペイン	1 (0)
ルーマニア	0 (1)			合 計	696 (647)

() 前年

4 印鑑登録状況及び証明書交付状況

(1) 印鑑登録者数（2年3月31日現在） 33,990人

(2) 印鑑登録証明書交付状況

種 別	件 数	金 額 (円)
有 料 交 付	13,797	4,139,100
公 用 交 付	43	
新規・再登録・再交付	1,535	514,800
印 鑑 手 帳 継 続	115	

5 その他諸証明交付事務等の状況

種 別	件 数	金 額 (円)
臨時運行許可証等（原付含）	543	407,250
そ の 他 手 数 料	1	300
住居表示・変更証明	62	無料

6 会議及び研修会への参加

(1) 長野地方法務局直轄管内月例研究会	月1回	法務局
(2) 戸籍事務主管課長研究会	4月24日	信濃町
(3) 戸籍事務従事者導入研修会	4月24日	信濃町
(4) 長野地方法務局直轄管内戸籍住民基本台帳事務協議会総会	5月13日	小布施町
(5) 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会総会	7月3日	伊那市
(6) 渉外戸籍研修会	7月25日	長野市
(7) 市町村戸籍事務従事職員中級者研修会	9月3、12日、10月8日	長野市
(8) 長野地方法務局直轄管内市町村戸籍事務専門研修会	11月26日	法務局
(9) 市町村在留関連事務研修会	11月20日	中野市
(10) 市民係研修会	随時	

■ 住民基本台帳ネットワーク事業

単位：円

当 初 予算額	2,816,000	予 算 現 額	4,345,000	決 算 額	3,703,411	前 年 度 決算対比	177.2%	前 年 度 決算額	2,090,123
------------	-----------	------------	-----------	-------	-----------	---------------	--------	--------------	-----------

I 事業の目的

住民基本台帳ネットワークシステムを利用し、広域事務の処理や公的個人認証サービスを行い、事務の効率化及び住民への各種サービスの向上を図る。

II 事業の成果等

基準やセキュリティポリシーを遵守し、住民基本台帳ネットワークシステムの適正な運用を行った。

自己点検を実施し、須崎市住民基本台帳ネットワークシステムセキュリティ対策規程に沿って適正に事務処理が行われているか運用状況を確認した。

マイナンバーカードの申請交付件数の増大に対応するため、2年1月より職員の増員や端末の増設等によって体制を強化し、交付及び運用事務等を遅滞なく行った。

III 事業の実績

1 住民基本台帳ネットワークシステム

(1) 住基ネットCS・統合端末等機器保守業務委託料	(株)電算	1,046,400 円
(2) 住基ネットCSオペレーション業務委託料	(株)電算	457,800 円
(3) 住基ネットCSハウジングサービス利用料	(株)電算	1,194,204 円
(4) 住基ネット統合端末等サービス利用料(3月から)	(株)電算	27,676 円

2 住民票コード付番件数

406 件

3 広域交付住民票交付件数

28 件 8,400 円

4 マイナンバーカードについて

(1) マイナンバーカード

ア 総申請件数 6,111 件 (前年比 1,220 件増)

イ 総交付件数 4,897 件 (前年比 858 件増)

(2) 再交付手数料等

ア 通知カード再交付 185 枚 92,500 円

イ マイナンバーカード再交付 11 枚 8,800 円

ウ 電子証明書再発行 10 件 2,000 円 (地方公共団体情報システム機構へ納入)

5 会議及び研修会への参加

(1) 社会保障・税番号制度担当者説明会及び住民基本台帳ネットワークシステム担当者研修会

6月5日 安曇野市

2-4-1(目)選挙管理委員会費

単位：円

当初 予算額	19,571,000	予算 現額	18,771,000	決算額	18,627,082	前年度 決算対比	94.1%	前年度 決算額	19,788,962
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 選挙管理委員会運営費

単位：円

当初 予算額	3,108,000	予算 現額	3,104,000	決算額	3,074,033	前年度 決算対比	87.7%	前年度 決算額	3,505,763
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

選挙管理委員会の運営を図る。

II 事業の成果等

定例委員会及び臨時委員会を開催し、選挙事務の管理運営を行うことができた。

Ⅲ 事業の実績

1 委員会の開催状況

定例委員会 12回（毎月1回 選挙人名簿抹消者の決定等）

臨時委員会 7回（長野県議会議員一般選挙、豊丘財産区議会議員一般選挙、参議院議員通常選挙、須坂市長選挙）

2 選挙人名簿定時登録の状況

期 日	男 (人)	女 (人)	計 (人)
令和元年6月1日現在	20,440	22,049	42,489
9月1日現在	20,431	21,969	42,400
12月1日現在	20,424	21,977	42,401
令和2年3月1日現在	20,398	21,940	42,338

3 在外選挙人名簿登録の状況

3月1日現在 男 11人 女 18人 計29人

4 検察審査員候補者予定者名簿の調製

9月11日選定 候補者割り当て員数 36人

5 裁判員候補者予定者名簿の調製

9月11日選定 候補者割り当て員数 68人

6 選挙人名簿閲覧状況

世論調査関係 4件

■ 選挙啓発事業

単位：円

当初 予算額	279,000	予算 現額	279,000	決算額	167,279	前年度 決算対比	70.7%	前年度 決算額	236,610
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

選挙人の政治意識の高揚、投票参加と明るいきれいな選挙の実現を図る。

II 事業の成果等

啓発活動の推進により政治意識の高揚と明るい選挙の趣旨の浸透を図ったが、投票率への反映について検証することは難しく、また即効的な選挙啓発も困難であるため、他自治体の事例を参考にするなど随時改善、効率化の検討を進めながら、今後も継続して実施する。

Ⅲ 事業の実績

1 明るい選挙推進協議会

(1) 役員会の開催

期 日 6月17日

場 所 市役所 302 会議室

参加人数 11人

(2) 総会の開催

期 日 6月17日

場 所 市役所 305 会議室

参加人数 40人

2 各種大会、研修会への出席

大会・研修会名	参加人数	開催期日	開催場所
長野県選挙管理委員会連合会総会・明るい選挙推進長野県大会	5	11月20日	塩尻市文化会館（レザンホール）
明るい選挙推進フォーラム	7	2月12日	東御市文化会館（サンテラスホール）

3 街頭啓発の実施

選挙名	期日	場所	参加人数
長野県議会議員 一般選挙	4月3日	市内スーパーマーケット3か所	22
	4月5日	須坂駅前	5
参議院議員 通常選挙	7月16日	市内スーパーマーケット3か所	23
	7月19日	須坂駅前	5
須坂市長選挙	1月13日～15日	防災無線 10:00/14:00/18:00	/
	1月16日～17日	防災無線 10:00	
	1月18日	防災無線 10:00/18:00	
	1月19日	防災無線 10:00/14:00/18:00	

4 啓発物品の提供

選挙啓発用クリアファイル（新成人用）	560枚
明るい選挙啓発ポスター出品者記念品	84セット（クリアファイル・ハンカチタオル）

5 新有権者（18・19歳）等への啓発

各種選挙において新有権者となる18・19歳に、投票参加を呼びかけるグリーティングカード一体型の投票所入場券を発送したほか、期日前投票期間中に、こども投票として投票箱を使用した模擬投票と開票を行い、子育て世代が選挙に親しみを持てるようイベントを開催した。

6 選挙啓発ポスター等の公募

有権者が選挙を身近なものとして捉え、選挙意識の向上へ繋げることを目的に、須坂市長選挙に係る期日前投票事務従事者及び啓発ポスターを公募し、それぞれ1名の応募があった。

7 明るい選挙啓発ポスターの募集

小学校	6校	18点
中学校	3校	66点

8 明るい選挙啓発ポスター展示

12月23日～1月24日 市役所本庁舎3階廊下

9 その他

啓発幕の掲示（市内3か所）のほか、防災行政無線による投票日の周知、投票参加呼びかけを実施し、(株)Goolightの協力で、投票日告知に係る放送を行い啓発した。また、各種選挙の執行にあたり、啓発チラシを発行して全戸配布した。

2-4-2 (目) 選挙執行費

単位：円

当初 予算額	53,211,000	予算 現額	63,463,000	決算額	43,477,009	前年度 決算対比	166.3%	前年度 決算額	26,139,287
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 県議会議員選挙執行経費

単位：円

当初 予算額	10,081,000	予算 現額	10,081,000	決算額	8,173,077	前年度 決算対比	206.2%	前年度 決算額	3,963,673
-----------	------------	----------	------------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

長野県議会議員一般選挙に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

長野県議会議員一般選挙について、投・開票事務を迅速かつ正確に執行できた。(3月29日告示・4月7日執行)

III 事業の実績

1 当日の有権者数等

有権者数 (人)			投票者数 (人)			投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	平均
20,154	21,773	41,927	8,465	8,691	17,156	42.00	39.92	40.92

2 開票の結果

有効投票数 16,896 票
無効投票数 260 票

候補者別得票数等 (得票数順)

候補者氏名	党派	得票数(票)	得票率(%)	備考
小林 きみお	無所属	6,450	38.17	当選
堀内 孝人	自由民主党	5,729	33.91	当選
関野よしひで	無所属	4,717	27.92	

3 備品購入の状況

品名	数量(台)	金額(円)
投票用紙自動交付機	4	1,188,000

■ 豊丘財産区議会議員選挙執行経費

単位：円

当初 予算額	1,356,000	予算 現額	237,000	決算額	235,762	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	---------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

須坂市豊丘財産区議会議員一般選挙に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

須坂市豊丘財産区議会議員一般選挙の準備、立候補届出事務、選挙会事務を迅速かつ正確に執行できた。(5月14日告示・5月19日執行・無投票)

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市豊丘財産区議会議員一般選挙

(1) 選挙人名簿登録者数

男 798人 女 854人 計 1,652人

(2) 当選人(8人)(届出順)

候補者氏名	党派	候補者氏名	党派	候補者氏名	党派
山岸今朝茂	無所属	市川 公夫	無所属	湯本 留男	無所属
山岸 守	無所属	坂田 秀明	無所属	黒岩 一司	無所属
黒岩 一善	無所属	坂田 和昭	無所属		

■ 参議院議員通常選挙執行経費

単位：円

当初 予算額	21,562,000	予算 現額	26,450,000	決算額	20,065,522	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

参議院議員通常選挙に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

参議院議員通常選挙について、投・開票事務を執行できた。(7月4日公示・7月21日執行)

Ⅲ 事業の実績

1 参議院議員通常選挙

(1) 長野県選挙区選出議員選挙

ア 当日の有権者数等

有権者数 (人)			投票者数 (人)			投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	平均
20,417 (10)	22,002 (15)	42,419 (25)	10,435 (3)	10,664 (3)	21,099 (6)	51.11 (30.00)	48.47 (20.00)	49.74 (24.00)

※ () 内は、内数で在外選挙人

イ 開票の結果

有効投票数 20,779票

無効投票数 320票

候補者別得票数等 (得票数順)

候補者氏名	党派	得票数(票)	得票率(%)	備考
羽田 雄一郎	国民民主党	10,732	51.65	当選
小松 ゆたか	自由民主党	8,942	43.03	
古谷 孝	NHKから国民を守る党	629	3.03	
斉藤 よしあき	労働の解放をめざす労働者党	476	2.29	

(2) 比例代表選出議員選挙

ア 当日の有権者数等

有権者数 (人)			投票者数 (人)			投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	平均
20,417 (10)	22,002 (15)	42,419 (25)	10,435 (3)	10,662 (3)	21,097 (6)	51.11 (30.00)	48.46 (20.00)	49.73 (24.00)

※ () 内は、内数で在外選挙人

イ 開票の結果

有効投票数 20,374 票

無効投票数 723 票

名簿届出政党等の得票数 (得票数順)

名簿届出政党等の名称	得票総数 (票)	政党等の得票総数 (票)	特定枠を除く名簿登載者の得票総数 (票)
自由民主党	6,833.999	5,374.000	1,459.999
立憲民主党	3,932.944	3,515.000	417.944
国民民主党	2,796.000	2,359.000	437.000
日本共産党	1,978.000	1,833.000	145.000
公明党	1,783.000	1,348.000	435.000
日本維新の会	1,040.000	954.000	86.000
れいわ新選組	754.000	417.000	337.000
社会民主党	537.000	442.000	95.000
NHKから国民を守る党	412.000	358.000	54.000
安楽死制度を考える会	106.000	98.000	8.000
幸福実現党	95.000	75.000	20.000
労働の解放をめざす労働者党	58.000	51.000	7.000
オリーブの木	48.055	44.000	4.055

2 備品購入の状況

品名	数量	金額 (円)
投票用紙自動交付機	4台	1,188,000
投票用紙自動分類機	1式	4,428,000

■ 市長選挙執行経費

単位：円

当初 予算額	20,212,000	予算 現額	20,266,000	決算額	13,842,368	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

須坂市長選挙に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

須坂市長選挙について、投・開票事務、選挙会事務が迅速かつ正確に執行できた。(1月12日告示・1月19日執行)

III 事業の実績

1 当日の有権者数等

有権者数 (人)			投票者数 (人)			投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	平均
20,232	21,795	42,027	9,327	9,914	19,241	46.10	45.49	45.78

2 開票の結果

有効投票数 19,072 票
無効投票数 169 票

候補者別得票数等 (得票数順)

候補者氏名	党派	得票数(票)	得票率(%)	備考
三木正夫	無所属	12,459	65.33	当選
岩田修二	無所属	6,613	34.67	

■ 市議会議員選挙執行経費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	6,429,000	決算額	1,160,280	前年度 決算対比	12.3%	前年度 決算額	9,447,058
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

須坂市議会議員補欠選挙に係る事務を執行する。

II 事業の成果等

須坂市議会議員補欠選挙の選挙執行に係る準備事務を行った。

III 事業の実績

現職議員が在職のまま立候補したため選挙執行はなかったが、ポスター掲示板設置撤去及び投票用紙印刷に係る事務を執行した。

2-5-1 (目) 統計調査総務費

単位：円

当初 予算額	8,772,000	予算 現額	8,018,000	決算額	7,987,547	前年度 決算対比	93.3%	前年度 決算額	8,559,036
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

2-5-2 (目) 基幹統計調査費

単位：円

当初 予算額	6,889,000	予算 現額	6,877,000	決算額	6,060,612	前年度 決算対比	162.9%	前年度 決算額	3,720,280
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 基幹統計調査費

単位：円

当初 予算額	6,889,000	予算 現額	6,877,000	決算額	6,060,612	前年度 決算対比	162.9%	前年度 決算額	3,720,280
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

総務大臣が指定した基幹統計調査を円滑、かつ正確に実施する。

調査によって収集した情報を整理し、行政施策立案の資料とする。

また、調査が円滑に実施できるよう、各種統計に対する関心を高めるとともに調査員の確保を図る。

II 事業の成果等

例年実施される学校基本調査及び工業統計調査をはじめ、5年周期の経済センサス - 基礎調査、全国家計構造調査（旧全国消費実態調査）、2020年農林業センサス調査、2020年国勢調査を準備した。集計結果は総務省統計局等から順次公表される。また、統計資料の刊行により、各種調査結果等を広く周知することができた。

III 事業の実績

1 学校基本調査（統計法に基づく基幹統計調査、5月1日現在）

学校教育法に定める学校の調査（県交付金 5,583円）

調査結果概要

	園・学校数	学級数	園児・児童・生徒数	教員数	職員数
幼稚園	5(※)	14	191人	27人	5人
幼保連携型認定こども園	1	7	142人	17人	4人
小学校	11	124	2,632人	184人	55人
中学校	4	50	1,283人	97人	32人
特別支援学校	1	15	29人	22人	6人

※調査上の閉園処理の都合上、閉園した1園を含んでいる。

2 工業統計調査（統計法に基づく基幹統計調査、6月1日現在）

製造業の事業所を対象として、工業の実態を明らかにする。（県交付金 456,271円）

(1) 調査区 89調査区

(2) 調査員 15人

3 経済センサス - 基礎調査（統計法に基づく基幹統計調査、甲調査6～3月、乙調査6月1日現在）

事業所及び企業の活動状態を調査し、従業者規模等の基本的構造及び各種統計調査のための情報を得る。

甲調査については3期に分け、期間内に調査員が順次訪問する方式で実施した。（県交付金 634,642円）

(1) 調査区 89調査区

(2) 調査員 7人（3期延べ人数）

- 4 全国家計構造調査（統計法に基づく基幹統計調査、対象期間 10 月～12 月）
 家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を明らかにする。（県交付金 772,086 円）
- (1) 対象 48 世帯（基本調査 24 世帯、簡易調査 24 世帯）
 (2) 指導員 1 人
 (3) 調査員 2 人
- 5 2020 年農林業センサス調査（統計法に基づく基幹統計調査、2 月 1 日現在）
 農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにする。（県交付金 4,073,173 円）
- (1) 調査区 135 調査区
 (2) 指導員 7 人
 (3) 調査員 124 人
- 6 2020 年国勢調査準備
 2020 年 10 月 1 日現在で実施する 2020 年国勢調査のための実施準備事務。（県交付金 199,828 円）
- 7 統計資料の公表（市ホームページに掲載）
- (1) 須坂市の工業（平成 30 年工業統計調査による） 11 月
 (2) 須坂市の統計 3 月
- 8 統計調査員確保対策事業
 登録統計調査員数が登録基準数（須坂市 45 人）を上回っているため、県委託による本事業は受託しなかった。（当該年度末における登録統計調査員数 57 人）

2-6-1 (目) 監査委員費

単位：円

当初 予算額	12,303,000	予算 現額	12,258,000	決算額	12,066,819	前年度 決算対比	99.5%	前年度 決算額	12,131,109
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 監査事務費

単位：円

当初 予算額	2,309,000	予算 現額	2,305,000	決算額	2,134,806	前年度 決算対比	92.8%	前年度 決算額	2,301,046
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市の行財政運営及び事務事業の執行について監査等を実施する。

II 事業の成果等

地方自治法の規定による現金出納検査、決算審査、定期監査及び財政援助団体等の監査及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率と資金不足比率の審査を実施し、効率的で公正かつ透明性の高い行財政運営の確保を図った。

須坂市議会に出席し、決算審査についての報告を行った。

III 事業の実績

1 地方自治法第 235 条の 2 第 1 項の規定による現金出納検査の実施

例月現金出納検査 12 回

現金出納検査の結果について、市長及び市議会議長に報告した。

- 2 地方自治法第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項、地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定による決算審査及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条、第 22 条の規定による健全化判断比率、資金不足比率とその算定の基礎となる事項を記載した書類の審査の実施

7月2日～7月26日実施

8月19日決算審査の結果及び財政健全化意見書について、市長へ報告した。

健全化判断比率（一般会計等）

区分 \ 年度	30年度	29年度	28年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (%)	—	—	—	13.06 ※1	20.00
連結実質赤字比率 (%)	—	—	—	18.06 ※2	30.00
実質公債費比率 (%)	9.0	8.6	8.0	25.00	35.00
将来負担比率 (%)	28.6	33.1	33.4	350.00	—

※1 平成 29 年度:13.06、28 年度:13.07 $\{(標準財政規模+100 億)/(30 \times 標準財政規模) \times 100 + 20\} / 2$

※2 平成 29 年度:18.06、28 年度:18.07 実質赤字比率の早期健全化基準+5%

それ以外はすべて固定基準

資金不足比率

単位：千円

特別会計名	事業規模 A	資金不足額 B	資金不足比率 B/A	(参考) 経営健全化基準
下水道事業会計	870,180	—	—	20%
水道事業会計	1,057,551	—	—	
宅地造成事業会計	543,116	—	—	

- 3 地方自治法第 199 条第 4 項の規定による定期監査の実施

10月7日～11月11日実施

11月19日定期監査の結果について、意見を付して市長及び市議会議長ほか関係機関へ報告した。

- 4 豊丘財産区の監査の実施

(1) 7月26日決算審査を実施し、その結果について意見を付して財産区管理者及び財産区議会議長に報告した。

(2) 11月8日定期監査を実施し、その結果について財産区管理者及び財産区議会議長へ報告した。

- 5 地方自治法第 199 条第 7 項の規定による財政援助団体等の監査の実施

10月30日に（一社）須坂市スポーツ協会の監査を実施し、その結果について意見を付して市長及び市議会議長へ報告した。

- 6 住民監査請求に対する対応

住民監査請求 1件

住民監査請求書受付日 3月23日

不受理通知書送付日 (2020年5月13日)

請求の要件を欠くものであるため、監査を実施しない却下決定

- 7 代表監査委員として、市議会に出席した。

款 3 民 生 費

(款3) 民生費

単位：円

当初 予算額	6,896,294,000	予算 現額	7,229,157,151	決算額	6,930,059,239	前年度 決算対比	104.0%	前年度 決算額	6,664,694,054
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

3-1-1 (目) 社会福祉総務費

単位：円

当初 予算額	1,233,244,000	予算 現額	1,208,540,000	決算額	1,191,974,348	前年度 決算対比	99.1%	前年度 決算額	1,202,654,809
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	12,611,000	予算 現額	12,889,000	決算額	12,476,707	前年度 決算対比	99.0%	前年度 決算額	12,605,539
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

平和への思いを新たにするため、戦没者追悼式を開催するとともに、(福)須坂市社会福祉協議会へ貸与している建物等の管理を行うこと等により、市民福祉の向上に寄与する。

II 事業の成果等

戦没者追悼式では、広島平和学習へ参加した中学生の発表や参加者全員の献花などにより、若い世代に平和の尊さが引き継がれていくことの大切さを伝えることができた。

III 事業の実績

1 須坂市戦没者追悼式

戦没者に対し、市をあげて哀悼の誠を捧げ、平和への思いを新たにするために開催した。

- (1) 期 日 11月13日
- (2) 場 所 須坂市文化会館メセナホール (小ホール)
- (3) 参加者 146人
- (4) 体験発表 2人 (中学生2人)

2 建物等の借上げの状況

- (1) (福)須坂市社会福祉協議会事務室関係 2,950,384円 (東日本電信電話(株))
- (2) 須坂市福祉ボランティアセンター土地借上料 421,600円 (個人1人)

3 修繕・工事の状況

実績なし

4 法外扶助

実績なし

■ 地域福祉推進事業

単位：円

当初 予算額	89,004,000	予算 現額	98,998,000	決算額	91,728,923	前年度 決算対比	109.4%	前年度 決算額	83,845,470
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

民生児童委員協議会の事務や(福)須坂市社会福祉協議会をはじめとした福祉団体等の活動費を助成することにより、地域福祉の推進を図る。

II 事業の成果等

民生児童委員及び主任児童委員の改選期に当たり、119人が委嘱された。

民生児童委員、主任児童委員及び(福)須坂市社会福祉協議会等の福祉団体との共創により地域福祉の推進が図られた。

III 事業の実績

1 民生児童委員活動関係

- (1) 民生委員推薦会 8月7日
8月23日 書類審査
9月10日 書類審査
10月18日 書類審査
11月5日 書類審査
12月6日 書類審査
- (2) 民生児童委員・主任児童委員退任式 11月22日
- (3) 民生児童委員・主任児童委員就任式 12月1日
- (4) 民生児童委員の状況(3月31日現在)

	男女別	地域担当民生児童委員	主任児童委員	計
委員数	男	44	8	52
	女	62	5	67
	計	106	13	119

(5) 主な活動状況

項目	種別	延件数
分野別相談・支援	高齢者に関すること	1,632
	障がい者に関すること	188
	子どもに関すること	405
	その他	678
	計	2,903
その他の活動	調査・実態把握	1,498
	行事・事業・会議への参加	5,499
	地域福祉活動・自主活動	5,757
	民生児童委員協議会運営・研修	3,212
	証明(調査・確認等)事務	509
	要保護児童の発見の通告・仲介	29
	計	16,504

活動日数 延17,972日 訪問回数 延20,550回

2 災害時要配慮者避難支援計画(新・地域見守り安心ネットワーク)の更新

- (1) 重度障がい者、ねたきり高齢者、一人暮らし高齢者など要配慮者の災害時等における避難をスムーズに行うため、平成19年度に策定した本計画について、(福)須坂市社会福祉協議会、区長会、民生児童委員協議会の協力のもと、計画の更新が行われた。

更新説明会の開催 2月13日・14日 須坂市保健センター 各町区長及び民生委員 162人

新・地域見守り安心ネットワーク名簿を基に、「須坂市災害時避難行動要支援者名簿」を作成した。

- (2) 要配慮者台帳管理システム賃貸借

賃貸借先 (株)電算

要援護者支援業務委託料 119,028円

システム使用料 414,720円

3 福祉企業センター（社会事業授産施設）土地賃借料 1,476,036 円（個人2人）

4 民生児童委員向け世帯異動通知の実施

民生児童委員活動を支援するため、毎月、転入、転出、死亡、出生等の世帯異動通知書を送付した。

5 助け合い推進事業の委託

地域における住民の助け合いによる福祉活動を支援するための事業を委託した。

(1) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(2) 委託料 4,798,000 円

(3) 事業内容 福祉コーディネーターの設置

すざか助け合い推進センターの管理運営

助け合い推進会議の開催 2回 会員 54人

第14回助け合い推進大会の開催 2月8日

6 災害ボランティア派遣事業の委託

東日本大震災等による被災地への災害ボランティア派遣事業を委託した。

(1) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(2) 委託料 388,445 円

(3) 事業内容 被災地においての災害ボランティア活動に必要な旅費等の補助

宮城県南三陸町、千葉県鋸南町、福島県郡山市

活動回数3回 延81人を派遣

7 災害ボランティアセンター運営支援

令和元年東日本台風災害による被災者支援のため、(福)須坂市社会福祉協議会により開設された災害ボランティアセンターの運営に関し、支援を行った。

(1) 開設期間 10月15日から11月4日

(2) 開設場所 日野地域公民館体育館、旧相之島保育園（サテライト）

(3) 活動人数 延べ2,157人

(4) 活動件数 539件

■ 中国残留邦人生活支援事業

単位：円

当初 予算額	10,000,000	予算 現額	8,000,000	決算額	6,082,976	前年度 決算対比	77.7%	前年度 決算額	7,830,001
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

中国残留邦人に対して「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」により、老後の生活の安定のための支援を講じる。

II 事業の成果等

被支援世帯に対して、高齢基礎年金を補完する生活支援給付等を行うとともに、必要に応じて県の相談員と連携し支援を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 支援給付の状況（2年3月）

世帯種別支援世帯数		人員
残留邦人夫婦世帯	その他世帯	5
2	1	

2 支援給付の実施状況

区 分	延世帯数	延人員	給付費(円)	構成比率(%)
生活支援給付費	36	60	2,575,600	42.34
住宅支援給付費	36	60	536,400	8.82
介護支援給付費	2	4	3,000	0.05
医療支援給付費	36	60	2,447,920	40.24
配偶者支援金	12	12	520,056	8.55
計	122	196	6,082,976	100.00

3 家庭訪問の実施

被支援3世帯について家庭訪問実施 7月10日、7月30日
長野県長野保健福祉事務所職員同行

■ 福祉ボランティアセンター管理事業

単位：円

当初 予算額	212,000	予算 現額	212,000	決算額	211,992	前年度 決算対比	100.2%	前年度 決算額	211,660
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

地域福祉の推進にボランティアの果たす役割の重要性が増している中、福祉ボランティアセンターの管理を(福)須坂市社会福祉協議会に委託し、各種ボランティア団体の育成、連絡調整を図る。

II 事業の成果等

福祉ボランティアセンターの管理運営は、指定管理者の(福)須坂市社会福祉協議会が行い、各種福祉団体に利用された。

Ⅲ 事業の実績

1 指定管理の状況

指定管理者 (福)須坂市社会福祉協議会
指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
管理経費 186,000円(2019年度分)

2 利用状況 登録29団体

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用団体数	34	28	32	38	25	28	35	31	24	22	30	28	355
延べ利用人員	263	225	209	284	197	201	255	187	148	163	211	188	2,531

3 機器賃借

印刷機リース 平成30年10月1日から令和元年9月30日まで(再リース) 年額 18,216円
コピー機リース 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで(再リース) 年額 7,776円

■ 国民健康保険事業

単位：円

当初 予算額	299,821,000	予算 現額	277,955,000	決算額	275,635,273	前年度 決算対比	100.4%	前年度 決算額	274,503,937
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

一般会計より国民健康保険特別会計に繰出金を繰出し、国民健康保険財政の健全化を図る。

II 事業の成果等

国民健康保険事業実施のため、保険基盤安定事業繰出金、財政安定化支援事業繰出金、出産育児一時金繰出金、事務費繰出金等を国民健康保険特別会計へ繰り出した。

III 事業の実績

国民健康保険特別会計への繰出金 275,635,273 円

■ 介護保険事業

単位：円

当初 予算額	609,942,000	予算 現額	605,334,000	決算額	605,334,000	前年度 決算対比	95.9%	前年度 決算額	631,381,268
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

一般会計より介護保険特別会計に繰出金を繰出し、介護保険財政の健全化を図る。

II 事業の成果等

介護保険事業実施のため、介護給付費繰出金、地域支援事業費繰出金、事務費繰出金、保険料公費軽減繰出金等を介護保険特別会計へ繰出を行い、介護保険の運営健全化を図った。

III 事業の実績

介護保険特別会計への繰出金 605,329,470 円

■ 生活困窮者自立支援事業

単位：円

当初 予算額	19,392,000	予算 現額	19,262,000	決算額	15,409,201	前年度 決算対比	93.9%	前年度 決算額	16,416,417
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対して、自立の支援に関する措置を講じ、自立の促進を図る。

II 事業の成果等

(福)須坂市社会福祉協議会、長野県及び(株)タベ・インターナショナルへ事業を委託し、須坂市生活就労支援センターまいさぼ須坂、(特非)長野県NPOセンター及び(株)タベ・インターナショナルにおいて、生活困窮者自立支援法に基づく事業を行い、生活困窮者の自立に向けた支援を実施した。

まいさぼ須坂に就労支援員を4名を配置し生活困窮者の支援を行った。就労開始につながったケースが23件あった。また、経済的な事情により学習習慣が身につけていない子どもを対象として、今年度新たに子どもの学習・生活支援事業を開始した。

Ⅲ 事業の実績

1 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者等からの相談に包括的に対応するとともに、自立に向けた支援を行った。

(1) 相談件数等

新規相談者数	80
延べ相談回数	2,545

(2) 相談・支援結果

項目		件数	備考
継続中のもの	相談、支援継続中	169	課題整理、生活安定のため継続支援
終了したもの	生活状況の改善	10	就労定着等による改善
	他機関紹介	3	障害者支援機関等の紹介
	相談・助言	11	相談助言により解決、終了
	中断・終了(死亡含む)	32	連絡の中断等
	生活保護へのつなぎ	4	生活保護の申請
計		229	当該年度の新規相談者80名と前年度からの継続者149名の合計

(3) 支援調整会議の開催

自立支援計画の適切性の協議、自立支援計画最終時の評価等を行った。

- ア 定期会議（偶数月の第3木曜日） 6回
- イ プランに応じての随時会議 4回

(4) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(5) 委託料 12,282,566円

2 生活困窮者住居確保給付金事業

離職により住居を失った、またはそのおそれの高い生活困窮者であって所得等が一定水準以下の者に対して有期で家賃相当額を給付する事業。

1件（6か月分） 190,800円

3 生活困窮者就労準備支援事業

直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、必要な知識取得及び能力向上の支援を行った。

(1) 市単独事業

- ア 就労準備支援プログラム策定者数 3人
- イ 委託先 (株)タベ・インターナショナル
- ウ 委託料 703,042円

(2) 県共同実施事業

- ア 就労準備支援プログラム策定者数 2人
- イ 委託先 (特非)長野県NPOセンター
- ウ 負担金 1,200,000円

4 生活困窮者家計相談支援事業

家計に問題を抱える生活困窮者に対して家計表の作成等の家計に関する相談支援を行った。

(1) 家計再生プラン策定者数及び件数 1人

(2) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会

(3) 委託料 287,892円

5 子どもの学習・生活支援事業

生活困窮世帯の子どもに対して学習・生活支援を行った。

- (1) 学習・生活支援事業参加者数 1人
- (2) 委託先 (株)トライグループ
- (3) 委託料 331,101円

6 須坂市生活困窮者自立支援連携調整会議の開催

生活困窮者を早期に把握し、本人の状況に応じて必要な支援を行うため、市関係課等による情報共有を行った。

- (1) 9月24日 出席者24人
- (2) 実施内容 生活困窮者自立支援制度について
須坂市生活就労支援センター「まいさぼ須坂」について
生活困窮者自立支援連携調整会議について
まいさぼ須坂の平成30年度の実績について
まいさぼ須坂での支援等について
まいさぼ須坂、市関係課による連携における課題等について

7 須坂市自殺予防対策連絡会議ひきこもり対策部会の開催

ひきこもり及び不登校に関する情報の共有、課題の整理等を行うとともに、必要な施策等を行うことについて、市関係課等による協議を行った。

- (1) 7月17日 出席者10人 部会の設置経過、2019年度の取り組みについて
- (2) 12月17日 出席者8人 各課等で把握するひきこもり・不登校に関する情報の共有について
義務教育を修了したケースについて

3-1-2 (目) 障害者福祉費

単位：円

当初 予算額	1,163,221,000	予算 現額	1,199,690,000	決算額	1,131,572,800	前年度 決算対比	104.0%	前年度 決算額	1,087,585,516
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

■ 在宅福祉サービス事業

単位：円

当初 予算額	66,872,000	予算 現額	66,405,000	決算額	61,483,653	前年度 決算対比	105.0%	前年度 決算額	58,569,372
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

障がい者の在宅生活における生活の向上及び介護者の生活の安定を図る。

II 事業の成果等

心身障がい児・者の日常生活を支援するため、障害者手帳の交付など、各種事業を実施し福祉の増進に努めた。

III 事業の実績

1 身体障害者手帳所有者数（3月31日現在）

区分	視覚障害	聴覚障害	ろうあ	音声言語 機能障害	そしゃく 機能障害	心臓 機能障害
人数	105	144	19	27	1	360

じん臓 機能障害	呼吸器 機能障害	膀胱・直腸 機能障害	小腸 機能障害	その他内臓 機能障害	体幹 機能障害	上肢切断
134	56	73	2	27	268	36

上肢 機能障害	下肢切断	下肢 機能障害	計
285	16	567	2,120

2 療育手帳所有者数（3月31日現在）

区分	重度	中度	軽度	計
人数	130	138	168	436

3 精神保健福祉手帳所有者数（3月31日現在）

区分	1級	2級	3級	計
人数	315	246	33	594

4 在宅福祉サービスの状況

在宅心身障がい児・者の福祉向上を図るため、次の事業を実施した。

事業名	事業の概要	事業費(円)
〈慰労金支給の状況〉 重度心身障害者介護慰労金	支給該当者 70人 (3か月以上在宅で重度心身障がい児・者を介護している介護者、月額8,000円)	6,480,000
〈事業委託の状況〉 身体障害者機能訓練事業	(一財)須坂市身体障害者福祉協会へ委託 利用者 1,406人	600,000
〈手当等の状況〉 重度障害児・者理美容料給付費	利用人員 15人 年間8枚交付(訪問理美容含む)	114,000
在宅心身障害児・者保護措置費	タイムケア 利用人員171人(ワークハウスわらしべ 外25法人)	5,284,045
人工透析患者等見舞金	支給対象者 191人 人工透析患者 123人 年額40,000円 人工肛門受術者 68人 年額32,000円	7,096,000
重度障害児・者おむつ給付費	利用人員 26人 年間48枚(上限) 交付枚数 1,304枚	1,007,798
重度心身障害児(者)等 タクシー利用料給付費	利用者 119人 利用枚数 2,069枚 普通車 2,014枚 1,766,910円 福祉車両 55枚 44,450円	1,811,360
重度精神障害者福祉金	支給対象者 540人	24,606,000
特定疾患等患者見舞金	支給対象者 112人	1,120,000

事業名	事業の概要	事業費(円)
(手帳等の交付申請受付の状況)		
身体障害者手帳交付	新規受付 116 件、 程度変更等受付 79 件	
療育手帳交付	新規受付 14 件、 再判定等受付 14 件	
精神障害者保健福祉手帳交付	新規受付 46 件、 再判定等受付 284 件	
自立支援医療(精神通院)受給者証	新規受付 81 件、 再判定等受付 608 件	

5 障害者施設土地借上げ

項目	金額(円)
須坂ひだまり作業所土地借上げ料	973,600 (個人1人)
ワークスペース夢工房土地借上げ料	291,990 (個人1人)
ぶどうの家土地借上げ料	1,000,000 (個人1人)

6 指定管理者の状況

障害者総合支援法の規定に基づき、生産活動、創作活動及びその他の活動の機会を提供し、障害者等の福祉の増進を図るため、障害福祉サービス事業所を設置し、指定管理業務を委託した。

(1) 指定管理施設名 ぶどうの家

指定管理者 (福)須坂市社会福祉協議会

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

管理経費 4,000,000円(2019年度 支援費 10,583,760円)

(2) 指定管理施設名 須坂ひだまり作業所

指定管理者 (福)夢工房福祉会

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

(2019年度 支援費 45,805,000円)

7 スポーツ大会への参加

(1) 長野地区障がい者スポーツ大会

期日：6月1日 場所：長野市運動公園総合運動場 陸上競技場ほか 参加選手46人

(2) 長野県障がい者スポーツ大会

期日：9月8日 場所：松本平広域公園陸上競技場ほか 参加選手28人

8 修繕

実績なし

■ 地域生活支援事業

単位：円

当初予算額	57,627,000	予算現額	56,410,000	決算額	49,666,907	前年度決算対比	98.4%	前年度決算額	50,461,259
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

地域生活支援事業を実施し、障がい者の社会活動の促進を図る。

II 事業の成果等

障がい者の状況に応じ、社会活動促進事業を中心に事業を実施するとともに、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。

Ⅲ 事業の実績

障害者社会活動促進事業

事業名	事業の概要	事業費(円)
スポーツ大会開催事業 (須坂市身体障害者福祉協会へ委託)	マレットゴルフ大会 令和元年東日本台風により中止 卓球大会 コロウイルス感染症防止により中止	12,021
朗読奉仕員養成事業 (須坂あかりの会へ委託)	視覚障がい者等への対面朗読等に従事する 初心者コース 5回9人 中級者コース 17人	80,000
手話奉仕員養成事業 (須坂手話サークルへ委託)	手話表現技術を習得するための奉仕員の養成 24回 受講者 8人	260,000
手話通訳者設置事業	手話通訳者1人(福祉課に配置)	2,539,350
点字広報発行事業 (ありんこの会へ委託)	視覚障がい者用点字版市報作成 4部	—
声の広報発行事業	広報すざか(年12回) 利用人員 8人	—
生活訓練事業	日常生活における一般教養講座の開催 料理教室 2回 参加者延べ29人	43,900
手話通訳者派遣事業	登録手話通訳者数 9人 延べ107人派遣	367,717
要約筆記奉仕員派遣事業	登録要約筆記者数 3人 派遣なし	0
訪問入浴サービス事業 (福)須坂市社会福祉協議会へ委託)	利用人員 3人 175回	2,113,156
障害者等相談支援事業 (特非)須高地域総合支援センターへ委託)	須高地域総合支援センター 相談件数 7,263件	13,876,686
地域活動支援センター事業 (特非)すざかの風へ委託)	地域活動支援センター ピアハウス 利用者 延べ 1,822人	7,500,000
地域活動支援センター事業 (他市町村利用分)	利用人員 3人	126,000
地域生活支援拠点整備事業	さくらの杜育豊・須坂悠生寮・まいぺーすの緊急時受入用の空床確保(1床)	759,322
身体障害者等日常生活用具給付費	身体障害者給付件数 473件 身体障害児給付件数 14件	8,913,286 529,441
移動支援サービス事業	利用者62人 年間利用時間 3249.5時間	6,252,100
日中一時支援サービス事業	利用者5人 年間利用時間 545時間	436,000
長野地域連携中枢都市圏事業	精神障がい者地域生活支援コーディネーターによる相談 利用者 1人	69,203

■ 支援費サービス事業

単位：円

当初 予算額	1,010,681,000	予算 現額	1,051,433,000	決算額	995,292,660	前年度 決算対比	104.3%	前年度 決算額	954,335,017
-----------	---------------	----------	---------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、自立支援サービス事業を実施し、障がい者（児）の自立を図る。

II 事業の成果等

施設サービス及び居宅サービスの活用が図れるよう相談支援を行う中で、各種サービスの利用が図られた。

III 事業の実績

1 施設サービス

(1) 生活介護支援費

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
123	297,922,773	ワークハウスわらしべ外 39 施設

(2) 施設入所支援費

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
56	88,495,940	須坂悠生寮外 19 施設

(3) 自立訓練支援費（機能訓練）

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
4	1,678,726	長野県立総合リハビリテーションセンター

(4) 自立訓練支援費（生活訓練）

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
10	2,226,763	ライフサポートりんどう外 2 施設

(5) 自立訓練支援費（宿泊型）

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
6	1,026,624	メゾン・ド・エスポワール外 1 施設

(6) 就労移行支援費

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
21	9,035,214	LINK 外 7 施設

(7) 就労継続支援費 A 型（雇用型）

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
36	42,386,650	BASIS 外 6 施設

(8) 就労継続支援費 B 型

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名
195	236,509,510	須坂技術学園外 31 施設

(9) 療養介護

年間実利用者数	支 援 費 (円)	施 設 名	
11	福祉部分	34,348,140	東長野病院外 2 施設
	医療部分	9,857,487	

2 居宅サービス

(1) 居宅介護事業

区 分	年間実利用者数	年間総利用時間数	支援費 (円)
居宅介護支援費 (ホームヘルプ)	62	4,694	23,754,268
重度訪問介護支援費	1	2,032	5,632,970
行動援護支援費	5	1,033	5,069,674
同行援護支援費	7	502	1,574,437
計	75	8,261	36,031,349

(2) 短期入所事業

年間実利用者数	年間総利用回数	支援費 (円)
69	1,862	11,430,549

(3) 共同生活介護等支援事業 (共同生活住居)

年間実利用者数	支援費 (円)	施設名
71	92,113,446	しばみや荘外 26 施設

3 障害児通所サービス

区 分	年間実利用者数	年間総利用回数	支援費 (円)
放課後等デイサービス費	80	4,910	44,137,068
児童発達支援費	6	340	3,585,750
保育所等訪問支援費	4	16	245,432
計	90	5,266	47,968,250

4 特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業

新型コロナウイルス感染症対策として、3月に学校等の臨時休業の際に増加した分の放課後等デイサービス事業の利用者負担額相当額を該当する事業所へ補填した。

対象事業所 わたしの一歩外 8 事業所 支払額 34,832 円

5 在宅福祉サービスの状況

事業名	事業の概要	事業費 (円)
身体障害者補装具給付費	交付 43 件 修理 20 件	7,719,349
身体障害児補装具給付費	交付 3 件 修理 1 件	1,079,160
身体障害者更生医療給付費	給付人員 24 人	24,535,240
身体障害児育成医療給付費	給付人員 9 人	545,092

6 高額障害福祉サービス費

同一世帯で、障害福祉サービス利用者が複数いる場合や、障害福祉サービス利用者が介護保険サービスを利用した場合等に、世帯における利用者負担額が月額負担上限額を超えた者に支給した。

対象者 4 人 支払額 349,494 円

7 高額障害児通所サービス費

同一世帯で、障害児通所サービス利用者が複数いる場合や、障害児通所サービス利用者が障害福祉サービスを利用した場合等に、世帯における利用者負担額が月額上限負担額を超えた者に支給した。

対象者 1 人 支払額 74,715 円

8 計画相談支援費

障害福祉サービスを利用する者に必要なサービス等利用計画を作成した事業所に対し支給した。

利用者 延 1,082 人 支援費 15,862,399 円

9 障害児相談支援費

障害児通所支援サービスを利用する者に必要なサービス等利用計画を作成した事業所に対し支給した。

利用者 延 233 人 支援費 3,620,562 円

10 地域移行支援費

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者その他地域生活に移行するために重点的な支援を必要とする者につき、住居の確保その他地域生活に関する相談支援、調整等を行う。

利用者 1 人 支援費 225,901 円

11 障害支援区分認定等

(1) 申請件数等の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
申請件数	11	4	5	9	9	10	9	12	15	14	13	11	122
認定件数	5	6	9	7	8	6	9	10	11	14	11	12	108

(2) 認定者数（3月31日現在）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
人数	17	127	71	51	49	55	370

■ 障害者手当給付事業

単位：円

当初予算額	28,041,000	予算現額	25,442,000	決算額	25,129,580	前年度決算対比	103.8%	前年度決算額	24,219,868
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

特別障害者手当等の給付を行い、障がい者の生活を支援する。

II 事業の成果等

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、各種手当を支給し、障がい者の在宅生活を支援した。

III 事業の実績

障害者社会活動促進事業

事業名	事業の概要	事業費(円)
特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当	支給該当者（3月31日現在） 特別障害者手当 70人（月額 27,200円） 障害児福祉手当 15人（月額 14,790円） 福祉手当 1人（月額 14,790円）	25,061,580

3-1-3 (目) 高齢者対策費

単位：円

当初予算額	92,892,000	予算現額	89,626,840	決算額	84,924,410	前年度決算対比	148.4%	前年度決算額	57,231,193
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初予算額	4,964,000	予算現額	5,094,840	決算額	4,576,688	前年度決算対比	121.4%	前年度決算額	3,770,519
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

高齢者福祉に係る一般管理業務を行うとともに地域福祉の向上を図る。

II 事業の成果等

老人デイサービスセンターすえひろの施設整備を行い、利用改善を図った。

社会福祉法の規定に基づき、社会福祉法人の適正な運営と社会福祉事業の健全な経営の確保を図るため、運営実態の確認と指導を行った。

令和元年東日本台風災害による義援金の受付、配分事務を行い、被災者に配分した。

III 事業の実績

1 須坂市老人デイサービスセンター「すえひろ」の管理運営

(1) 指定管理の状況

指定管理者 (福)須坂市社会福祉協議会

(2) 指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日

(3) 管理経費 無償

(4) 施設の整備状況

修繕内容	金額 (円)
ガスヒートポンプエアコン室外機修繕	313,740
水道混合栓取替	41,040
量水器取替	675,000
特殊浴槽昇降電源修繕	42,735
合 計	1,072,515

2 社会福祉法人への指導監査の実施

実施法人 (福)なずな

実施日 8月21日

3 令和元年東日本台風災害による義援金受付、配分事務

(1) 義援金受付開始日

10月21日

(2) 義援金配分委員会の開催状況

第1回 11月29日 市役所 306会議室

第2回 1月10日 市役所 第3委員会室

第3回 2月27日 書面会議

(3) 義援金の配分状況

単位：円

区 分	1次配分 (須坂市分)	2次配分 (県からの配分)	3次配分 (県からの配分)	合 計
全壊世帯	50,000	240,000	585,000	875,000
半壊世帯	50,000	120,000	292,000	462,000
	(12月25日振込)	(2月5日振込)	(3月5日振込)	

■ 高齢者自立支援事業

単位：円

当初 予算額	7,116,000	予算 現額	6,773,000	決算額	6,309,647	前年度 決算対比	75.6%	前年度 決算額	8,349,215
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

高齢化や核家族化が進み地域での交流の希薄化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯における事故を未然に防ぐため、関係事業所と連携を図り安否確認を行う。

また、家に閉じこもりがちな高齢者及び虚弱な高齢者に対し、仲間づくり等を通じて要介護状態への進行の防止と、在宅での安定した生活の確保を図る。

II 事業の成果等

安否確認、孤立死防止のため「見守り支援事業協力隊」の協力により緊急時の通報等を行うなど、高齢者が在宅で安心して生活できるための支援を行った。

また、介護保険対象外サービスの提供を通じて、高齢者の介護予防、生きがい活動支援事業の推進及びエンディングノート活用講座、「お達者元気塾・名人塾」を開催することにより自立支援を推進した。

III 事業の実績

- 1 生活管理指導短期宿泊事業（(福)睦会 養護老人ホーム寿楽園へ委託） 委託料 59,130 円
 おおむね 65 歳以上で、介護保険法の規定により、要介護又は要支援に該当しないと判定されたひとり暮らし高齢者等のうち基本的な生活習慣が欠如している者で、疾病ではないが体調不良に陥った者を寿楽園で一時的に預り、生活習慣等の指導を実施した。（1日あたり利用者負担 438 円、食費実費）

利用者数 1人 利用日数 15日

- 2 自立生活特別支援事業（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託） 委託料 2,000,000 円
 概ね 65 歳以上の者及びその家族で、自立生活のために特別な生活支援が必要な者に、本人や関係者と調整の上、介護保険給付等では対応できない生活援助、身体介護等について委託した。（1回あたり利用者負担 1時間まで 100 円）

- 3 高齢者に対する「見守り支援事業協力隊」の協力

- (1) 「見守り支援事業協力隊」の協力事業所

協定締結事業所(14 事業所) 新聞販売事業所、牛乳販売事業所、乳飲料宅配事業所、ガス事業所、食材配送事業所、郵便事業所、電気事業所、コンビニエンスストア

- (2) 成果について

安否確認の必要な世帯の通報 4 件

- 4 エンディングノートの活用

エンディングノート活用講座を公民館等と連携して開催した。

	開催日	開催場所	参加人数
第1回	1月27日	旭ヶ丘ふれあいプラザ	11
第2回	2月3日	豊洲地域公民館	7
第3回	2月14日	中央公民館	11

- 5 旭ヶ丘ふれあいプラザを会場に実施した支援事業

内容	開催回数	延参加人数
各種活動支援（体操・脳トレ・歌・健康相談等）	64	752

- 6 後期高齢者健康増進事業（スポーツメディア㈱へ委託） 委託料 755,040 円

後期高齢者を対象に温泉施設を利用して健康の保持増進と介護予防（ロコモティブシンドロームや認知症予防等）の積極的推進及び社会参加の促進を目的に、温泉入浴健康法等の健康講話、筋力トレーニング、音楽療法、脳トレ等を実施した。

事業名	開催場所	実施回数	実人数	延人数
お達者元気塾 (新規参加者)	須坂温泉「古城荘」	9	17	102
お達者名人塾 (再参加者)		12	27	191
合計		21	44	293

■ 高齢者在宅福祉事業

単位：円

当初 予算額	31,372,000	予算 現額	28,676,000	決算額	26,352,471	前年度 決算対比	535.1%	前年度 決算額	4,924,580
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者、認知症高齢者が在宅で安心して生活できるように在宅福祉の充実を図る。

II 事業の成果等

民生児童委員や介護支援専門員等を通じて在宅福祉利用券給付等各種サービスの利用促進を行い、介護世帯の経済的負担の軽減を図った。

寝たきり高齢者等家族介護者の労をねぎらい、家族介護慰労金を支給した。

III 事業の実績

1 家族介護支援事業

介護度3以上で認定された者を3か月以上同居し介護している方、若しくは同居に準ずる方へ月額8,000円を支給した。

	要介護3		要介護4		要介護5	
	人数(人)	給付額(円)	人数(人)	給付額(円)	人数(人)	給付額(円)
3か月	9	216,000	3	72,000	4	96,000
4か月	15	480,000	7	224,000	13	416,000
5か月	20	800,000	9	360,000	6	240,000
6か月	11	528,000	8	384,000	5	240,000
7か月	11	616,000	8	448,000	6	336,000
8か月	12	768,000	8	512,000	0	0
9か月	13	936,000	9	648,000	1	72,000
10か月	5	400,000	10	800,000	5	400,000
11か月	17	1,496,000	12	1,056,000	8	704,000
12か月	34	3,264,000	28	2,688,000	23	2,208,000
合計	147	9,504,000	102	7,192,000	71	4,712,000
対象者数 320人		支給額 21,408,000円				

2 助け合い推進事業関連事業（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託）

委託料 1,130,172円

身近な地域に即した創意と工夫により地域の具体的な課題に対応するとともに、住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支え合う地域づくりを推進するため、ひとり暮らし老人等交流会食会、ふれあいサロン、高校生以上対象、福祉施設、ボランティア団体等でのボランティア活動体験を実施した。

3 高齢者在宅福祉事業

事業名	事業の内容		金額 (円)
	申請者数 (人)	利用数 (枚・回)	
(1) 在宅福祉利用券給付事業 ア 寝具クリーニング利用券 (1枚3,000円・年2枚) 在宅において介護を必要とする方の福祉向上とその世帯の経済的負担の軽減を図るため、寝具クリーニング券を給付する。 【長野県クリーニング生活衛生同業組合須坂支部へ委託】	353	199	597,000

事業名	事業の内容		金額 (円)
	申請者数 (人)	利用数 (枚・回)	
イ タクシー乗車利用券(年間24枚・1か月2枚) (利用券1枚で初乗運賃と迎車回送料金が無料) 利用数内訳:普通タクシー806枚、車イスタクシー401枚、寝台タクシー189枚	349	1,396	1,193,240
ウ 理容・美容利用券 (1枚1,000円・年8枚)	390	1,101	1,101,000
(2) ひとり暮らし安心コール事業 65歳以上のひとり暮らし高齢者に、電話による安否の確認等で孤独感の解消を図る。 【(福)須坂市社会福祉協議会へ委託】	58	2,221	511,240
(3) 高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金交付事業		1件	86,120
(4) 社会福祉法人等による利用者負担軽減に対する助成事業		1事業所	167,478
(5) 日常生活用具給付事業		1件	13,200
(6) 介護保険利用者負担援助事業		0人	0
(7) 特別地域加算に係る訪問介護利用者負担減額に対する助成事業		1事業所	25,696
合計			3,694,974

4 宅老所緊急宿泊支援事業

要介護高齢者が、介護者の急病等緊急な事由により、家庭で介護を受けることができない場合に、宅老所に宿泊した際の費用の一部を補助し、介護者の負担軽減を図った。

利用実人数 3人、 利用回数 8回、 延利用日数 11日

5 暮らしのあんしん板の配布

ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の在宅での安全と安心を守るため、緊急時の連絡先、かかりつけ医、民生児童委員の氏名などが記入でき、地域包括支援センター・警察・消防署の連絡先も記載されているマグネットシート「暮らしのあんしん板」を新規対象者に配布した。

新規対象者 88人 (累計 2,152人)

6 買物困難者の支援

日々の買物に不都合を感じている高齢者世帯に対し、週一回、生鮮食料品などの移動訪問販売を行っている事業者と運行等について連絡・調整を行った。

(1) 運行地区

穀町、北旭ヶ丘町、旭ヶ丘町、豊洲地区(新田・北相之島)、望岳台、豊丘地区、仁礼地区

(2) 稼働回数102回 延利用者数4,529人

7 みまもるくん通信の配布

健康、生活等における情報通信をひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯へ民生児童委員を通じて配布した。

年4回、 延配布世帯数 8,726世帯

■ 高齢者生きがい対策事業

単位：円

当初 予算額	36,318,000	予算 現額	35,961,000	決算額	34,563,604	前年度 決算対比	99.4%	前年度 決算額	34,757,238
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

超高齢社会における高齢者の自立を支援するために、生きがいと健康、社会参加促進及び介護予防等を図る。

II 事業の成果等

高齢者の自立した生活が確保できるよう各種事業を実施し、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を支援することができた。

須坂市屋内ゲートボール場の管理運営は、指定管理者の須坂市シニアクラブ連合会が行い、利用の許可、施設及び備品等の維持管理に関する業務を行った。

III 事業の実績

1 高齢者祝賀行事

(1) 高齢者訪問

期 日 9月7日

区 分	対象人数	内 容	祝品金額(円)
88歳	329	祝品(ギフトカード1,000円)・祝状	511,498
100歳	19	祝品(カタログギフト8,000円)・祝状	
男女最高齢者	2	祝品(カタログギフト15,000円)・祝状	

祝状筆耕業務委託 ((公社)シルバー人材センターへ委託)

委託料 76,896円

祝状印刷代

134,136円

2 生きがい対策事業

(1) 老人クラブ活動助成

須坂市シニアクラブ連合会活動費補助金 745,000円

単位老人クラブ活動費補助金 1,336,000円

単位老人クラブ数 25クラブ、会員数 1,754人

(2) 屋内ゲートボール場「ふれあい」の管理運営

指定管理の状況

指定管理者 須坂市シニアクラブ連合会

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日

管理経費 381,000円

利用者数 10,238人

施設の整備状況

修繕内容	金額 (円)
ストーブ修繕	15,400
網戸張替	63,800
合 計	79,200

(3) 県長寿社会開発センター事業への参加

県シニア大学入学者・進級者 一般コース 1学年 5人、2学年7人

専門コース 0人

(4) 高齢者自動車燃料費補助金

131,000円

対象者 峰の高原在住70才以上高齢者46人、利用者 44人、助成額 年間1人3,000円

(5) 老人福祉センター「永楽荘」運営費補助

16,222,227円

開館日数 290日、利用人員 18,271人(1日平均63人)

(6) (公社)須高広域シルバー人材センター運営費補助

14,408,000 円

<内訳> 均等割 20%、人口割 80%

市町村名	須坂市	小布施町	高山村	合計
負担金額	9,458,000 円	2,799,000 円	2,151,000 円	14,408,000 円
比率	65.64%	19.43%	14.93%	100.00%

■ 広域老人ホーム運営事業

単位：円

当初予算額	13,122,000	予算現額	13,122,000	決算額	13,122,000	前年度決算対比	242.0%	前年度決算額	5,422,000
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

市町村の区域を越えて形成される広域市町村圏「長野広域連合」による生活環境の整備と、市町村の事務処理を広域的で総合的な計画に基づき促進することで市町村の諸課題の解決を図る。

II 事業の成果等

介護保険事業の円滑な運営のため、長野広域連合関係市町村施設管理費及び老人ホーム入所判定委員会費負担金並びに養護老人ホーム松寿荘、はにしな寮運営費、特別養護老人ホーム松寿荘、特別養護老人ホーム小布施荘（施設整備費）負担金を支出した。

3-1-4 (目) 老人措置費

単位：円

当初予算額	80,798,000	予算現額	80,220,000	決算額	69,876,920	前年度決算対比	101.8%	前年度決算額	68,608,914
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 老人ホーム措置事業

単位：円

当初予算額	80,798,000	予算現額	80,220,000	決算額	69,876,920	前年度決算対比	101.8%	前年度決算額	68,608,914
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

老人福祉法第11条により、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム入所者の生活の安定を図る。

II 事業の成果等

居宅において養護を受けることが困難な須坂市内の老人の入所措置を行った。

III 事業の実績

1 老人ホーム入所状況

種別	施設名	措置入所人数	措置費(円)	備考
養護老人ホーム	寿楽園	35	69,259,493	入所人数は 利用実人数
特別養護老人ホーム	須坂荘	1	602,388	
合計		36	69,861,881	

3-1-5 (目) 福社会館費

単位：円

当初 予算額	5,533,000	予算 現額	5,326,000	決算額	5,325,058	前年度 決算対比	147.4%	前年度 決算額	3,612,420
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 福社会館管理事業

単位：円

当初 予算額	3,566,000	予算 現額	3,566,000	決算額	3,565,058	前年度 決算対比	98.7%	前年度 決算額	3,612,420
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

障がい者及び福祉団体の拠点としての施設を適正に管理する。

II 事業の成果等

須坂市福社会館の管理運営は、指定管理者の(公社)須高広域シルバー人材センターが行い、障がい者及び福祉団体の会議等に広く活用された。

III 事業の実績

1 指定管理の状況

指定管理者 (公社)須高広域シルバー人材センター

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

管理経費 3,527,000円(2019年度分)

2 利用状況 登録28団体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ利用回数	115	125	122	115	92	121	116	130	123	92	127	67	1,345
延べ利用人員	1,577	1,990	1,744	1,482	1,313	1,629	1,436	1,704	1,832	1,270	1,649	834	18,460

3 機器賃借

AEDリース 平成30年6月1日から令和5年5月31日まで 月額2,910円(税別)

■ 福社会館整備事業

単位：円

当初 予算額	1,967,000	予算 現額	1,760,000	決算額	1,760,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

須坂市福社会館の老朽化に対応するため、屋根、外壁及びトイレの改修工事、給水管の敷設替工事等を実施する。

II 事業の成果等

改修工事実施のため、設計業務委託を行った。

III 事業の実績

1 福社会館改修工事設計業務委託

委託先 (株)榊坂口建築都市設計

委託期間 7月2日から12月13日まで

委託料 1,760,000円

3-1-6 (目) 国民年金事務費

単位：円

当初 予算額	809,000	予算 現額	1,027,000	決算額	913,769	前年度 決算対比	60.8%	前年度 決算額	1,503,816
-----------	---------	----------	-----------	-----	---------	-------------	-------	------------	-----------

■ 国民年金事業

単位：円

当初 予算額	809,000	予算 現額	1,027,000	決算額	913,769	前年度 決算対比	60.8%	前年度 決算額	1,503,816
-----------	---------	----------	-----------	-----	---------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

法定受託事務として、市と日本年金機構が協力・連携を図りながら、制度の周知と未適用者の解消に努め、市民一人ひとりの受給権確保を図る。

II 事業の成果等

法令または国民年金市町村事務処理基準に基づき事務処理を行い、年金受給権の権利を取得させることができた。

III 事業の実績

1 加入促進及び保険料の納付勧奨等

国民年金強制加入対象者について、国民健康保険の資格取得届と同時に手続きを行い、加入促進を実施するとともに、市報等により学生納付特例申請、免除申請を勧奨することにより保険料未納者の解消を図った。

また、「国民年金保険料の後納制度」の期間の周知、相談業務、納付状況の情報提供を行い被保険者等の受給権の確保を図った。

2 国民年金加入状況

単位：人

第1号被保険者		第3号被保険者	合計
強制加入	任意加入		
5,130	66	2,760	7,956

3 保険料納付状況

対象月数	納付月数	納付率(%)
35,775	28,793	80.5

4 保険料免除者数

法定免除	※申請免除	計	免除率(%)
562	1,512	2,074	40.4

※申請免除内訳（令和元年東日本台風に係る免除申請者を含む）

単位：人

全額 免除	3/4 免除	半額 免除	1/4 免除	学生納付 特例	納付 猶予	計
572	84	45	33	575	203	1,512

5 給付の状況

区 分		受給権者数	総年金額(円)
新 法	老齢基礎年金	15,387	10,742,063,686
	障害基礎年金	1,088	931,690,500
	遺族基礎年金	102	77,438,900
	寡婦年金	5	2,156,855
小 計		16,582	11,753,349,941

区 分		受給権者数	総年金額(円)
旧 法	老齢年金（5年年金含む）	237	107,098,255
	通算老齢年金	213	45,105,270
	障害年金	35	30,033,850
	母子年金	0	0
小 計		485	182,237,375
合 計		17,067	11,935,587,316

6 国民年金基金制度

老後の所得保障の充実を図るため、老齢基礎年金に上乗せ年金を支給する地域型国民年金基金に、当該年度末現在 153 人が加入している。

7 委託料

国民年金基幹系システム運用サポート委託料(株電算)	39,240 円
年金生活者支援給付金システム改修(株電算)	220,000 円

8 年金生活者支援給付金制度

公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給される年金生活者支援給付金制度が 10 月から施行され、当該年度中の認定分では 2,728 人が支給されている。

3-1-7(目)福祉医療費給付金対策費

単位：円

当初 予算額	323,395,000	予算 現額	326,600,000	決算額	324,176,023	前年度 決算対比	97.9%	前年度 決算額	331,144,403
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 福祉医療費給付金事業

単位：円

当初 予算額	323,395,000	予算 現額	326,600,000	決算額	324,176,023	前年度 決算対比	97.9%	前年度 決算額	331,144,403
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

乳幼児・児童、障がい者、母子家庭の母子等、父子家庭の父子を対象に福祉医療費給付金を支給し、医療費の負担軽減と健康増進及び健やかな育成を図る。

II 事業の成果等

乳幼児・児童、障がい者、母子家庭の母子等、父子家庭の父子に対し、医療費の負担軽減と健康増進、健やかな育成を図るため、福祉医療費給付金を支給した。

III 事業の実績

1 福祉医療費給付金支給状況

区 分	年間平均 対象人員	診 療 件 数	支 給 額 (円)	受診率 (100人当 たり件数)	1 件 当 り 支 給 額 (円)	1 人 当 り 支 給 額 (円)
乳 幼 児 等	5,968	68,216	102,560,226	1,143	1,503	17,185
障 害 者	2,245	57,881	179,540,066	2,578	3,102	79,973
母子家庭の母子等	971	10,084	18,588,050	1,039	1,843	19,143
父子家庭の父子	62	493	937,618	795	1,902	15,123
合 計	9,246	136,674	301,625,960	1,478	2,207	32,622

(注:1) 受診率 (100 人当たり件数) = 診療件数 ÷ 年間平均対象人員 × 100

2 福祉医療費給付事業県費補助額（補助率1/2以内） 単位：円

区 分		支 払 額	県 補 助 額
医療費	補 助 対 象	192,804,700	96,399,000
	補 助 対 象 外	108,821,260	
事務費	補 助 対 象	13,417,341	6,707,000
	補 助 対 象 外	5,199,005	
県 費 補 助 額 計			103,106,000

3 福祉医療費資金貸付金貸付状況 単位：円

貸付金額	回収金額	貸付基金年度末現在高
0	0	2,000,000

貸付件数 0件

4 委託料の状況

- (1) 福祉医療給付業務委託料(株電算) 273,372 円
- (2) 自動給付方式事務委託料(長野県国民健康保険団体連合会ほか) 13,981,093 円
- (3) 現物給付方式事務委託料(長野県国民健康保険団体連合会) 606,298 円
- (4) 現物給付方式事務委託料(社会保険診療報酬支払基金長野支部) 4,028,955 円

3-1-8 (目) 地域包括支援センター費

単位：円

当初予算額	79,604,000	予算現額	76,736,000	決算額	76,086,986	前年度決算対比	107.8%	前年度決算額	70,565,901
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 介護予防支援事業

単位：円

当初予算額	13,000,000	予算現額	9,351,000	決算額	8,704,800	前年度決算対比	97.7%	前年度決算額	8,906,200
-------	------------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

高齢者が支援や介護を要する状態になっても、できる限り自宅で自立した生活を営めるように支援し、住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにする。

II 事業の成果等

要支援状態の予防やその重症化の予防、改善を図るために介護予防サービス計画を作成し、自立した生活に向けての支援をした。

III 事業の実績

1 介護予防サービス計画作成

(1) 介護予防サービス計画作成

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括支援センター	136	132	127	126	123	122	133	136	140	151	153	159	1,638
事業者委託	172	182	181	182	181	181	179	188	189	177	169	(※)182	2,163
合計	308	314	308	308	304	303	312	324	329	328	322	341	3,801

※ 事業者委託3月分は4月の国保連合会審査後に5月支払い

(2) 予防給付ケアマネジメント業務

委託料 8,704,800 円

要支援1・2のケアプラン作成業務委託（予防給付利用者）

事業所名	件数	金額(円)
総合福祉施設 須坂やすらぎの園	143	620,510
居宅介護支援事業所 須坂荘	103	450,900
須坂市社会福祉協議会居宅介護支援事業部	136	597,810
須坂市社会福祉協議会ぬくもり園居宅介護支援事業部	155	674,570
ケアネット長野サービスセンター	161	718,070
グリーン在宅介護支援センター	457	1,989,720
轟居宅介護支援事業所	139	603,330
居宅介護支援事業所 たのし家	114	498,240
居宅介護支援事業所 豊洲	229	1,008,190
ケアプランセンター 楽蔵	28	120,550
居宅介護支援事業所 STARS	103	463,390
居宅介護支援事業所 かえですざか	45	196,200
居宅介護支援事業所 しらかば	45	206,210
居宅介護支援事業所 かえで	26	116,940
こもれび指定居宅介護支援事業所	71	313,110
居宅介護支援事業所 リリーフライフ	26	127,060
合計	1,981	8,704,800

(3) 介護予防サービス計画作成手数料収入 15,255,430 円

3-1-9 (目) 老人福祉センター費

単位：円

当初予算額	30,948,000	予算現額	30,948,000	決算額	30,801,424	前年度決算対比	101.5%	前年度決算額	30,360,913
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 老人福祉センター管理事業

単位：円

当初予算額	30,948,000	予算現額	30,948,000	決算額	30,801,424	前年度決算対比	101.5%	前年度決算額	30,360,913
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

教養の向上、レクリエーション、生活・健康相談など高齢者の生きがいや憩いの場を提供する。

II 事業の成果等

老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営は指定管理者の須坂市社会福祉協議会が行い、高齢者の生きがいや、健康、教養、憩いの場を提供した。

III 事業の実績

1 指定管理の状況

指定管理者 (福)須坂市社会福祉協議会

指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

管理経費 29,686,000 円

利用状況 開館日数 290 日、利用人員 34,464 人（1日平均119人）、うち健康相談 180 人

2 施設の整備状況

修繕内容	金額(円)
2階女子トイレ改修工事	386,640
冷温水ポンプ修繕工事	321,840
V C B遮断機修繕工事	406,944
合計	1,115,424

3-1-10(目)後期高齢者医療費

単位：円

当初 予算額	650,750,000	予算 現額	659,205,000	決算額	659,203,909	前年度 決算対比	108.4%	前年度 決算額	608,326,950
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 後期高齢者医療事業

単位：円

当初 予算額	650,750,000	予算 現額	659,205,000	決算額	659,203,909	前年度 決算対比	108.4%	前年度 決算額	608,326,950
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

後期高齢者医療制度の運営のため、市が負担すべき費用を納付し、また後期高齢者医療特別会計に繰出金を繰出す。

II 事業の成果等

後期高齢者医療制度の運営のため、事務費及び療養給付費負担金として、後期高齢者医療広域連合へ納付した。また、保険基盤安定事業繰出金、事務費繰出金を後期高齢者医療特別会計へ繰出し、後期高齢者医療制度の健全な事業運営を図った。

III 事業の実績

- 後期高齢者医療広域連合への負担金 535,483,343 円
- 後期高齢者医療特別会計への繰出金 123,720,566 円

3-1-11(目)地域福祉推進費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	24,110,000	決算額	24,107,600	前年度 決算対比	195.9%	前年度 決算額	12,304,696
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 歩道段差解消事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	24,110,000	決算額	24,107,600	前年度 決算対比	195.9%	前年度 決算額	12,304,696
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

だれもが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりのため道路等のバリアフリー化を一層推進する必要がある。このために市内の幹線道路から生活道路まで計画的・機能的に整備を図る。

II 事業の成果等

高齢者・障がい者・児童等が歩道を支障なく歩行できるよう、段差解消工事を実施した。

III 事業の実績

- 歩道段差解消事業 [社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)]

事業名	施工場所	事業内容	事業費(円)
緑町東高校正門線	常盤町	[社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)] (H30年度繰越明許) 工事 H30 繰越工事 L=225.0m	24,107,600 24,107,600 円

3-2-1 (目) 児童福祉総務費

単位：円

当初 予算額	147,639,000	予算 現額	150,080,000	決算額	142,811,097	前年度 決算対比	78.3%	前年度 決算額	182,283,508
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	8,588,000	予算 現額	18,575,000	決算額	17,885,227	前年度 決算対比	214.3%	前年度 決算額	8,346,979
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

児童福祉に係る一般管理業務を行う。

II 事業の成果等

須坂市子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進した。

「第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画」の策定について、須坂市子ども・子育てアンケート調査、パブリックコメント等を通じて市民からの意見を、計画に反映させることができた。

ブックスタート事業として誕生の記念に絵本をプレゼントし、絵本を通じて親子のふれあいを深める機会を提供した。

子育て支援の情報については、「子育てガイド『S*Kids』」を発行し保育園・幼稚園に通園する全家庭に配布、市公式ホームページ内の「すざか子育てナビ」の運用及び「子育て応援メールマガジン」の発行により、見やすく分かりやすい子育て情報の発信を行った。

また、公立保育園10園を巡回する保育アドバイザーを配置して、保育士の資質向上を図った。

令和元年10月からの幼児教育・保育無償化対応に対応したシステム改修を行った。

III 事業の実績

1 須坂市子ども・子育て会議

子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき、会議を開催した。

(1) 第1回

ア 開催日 6月6日

イ 場所 防災活動センター 活動室1

ウ 出席委員 13人

エ 協議内容 (ア) 須坂市子ども・子育て支援事業計画の進捗について
(イ) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画の策定について
(ウ) その他

(2) 第2回

ア 開催日 8月1日

イ 場所 市役所 305 会議室

ウ 出席委員 9人

エ 協議内容 (ア) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画(案)について
a 施策の体系
b 「量の見込」「確保の内容」「実施時期」
(イ) 幼児教育・保育の無償化について
(ウ) 児童クラブにおける指定管理者制度導入について
(エ) その他

(3) 第3回

- ア 開催日 9月30日
- イ 場所 市役所305会議室
- ウ 出席委員 16人
- エ 協議内容 (ア) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画について(諮問)
(イ) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画(案)について
(ウ) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画策定に係る今後の予定(案)
(エ) パブリックコメントの実施について(案)
(オ) 須坂市子ども・子育て会議委員の任期満了に伴う次期委員について

(4) 第4回

- ア 開催日 1月16日
- イ 場所 消防本部3階 大会議室
- ウ 出席委員 15人
- エ 協議内容 (ア) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画(案)のパブリックコメントの結果について
(イ) 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画の答申(案)について
(ウ) その他

(5) 第5回

- ア 開催日 1月24日
- イ 場所 市役所教育長室
- ウ 出席委員 子ども・子育て会議委員 会長及び副会長
- エ 内容 第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画について(答申)

- 2 「第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画 2020年度(令和2年度)～2024年度(令和6年度)」を策定
印刷製本費 200冊 115,500円

3 ブックスタート事業

絵本配付時に、読み聞かせボランティア団体によるブックスタートの主旨説明や絵本を紹介した。

ブックスタート事業絵本配付状況 (3か月児健診絵本配布対象321人) (冊)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診時 受け取り	30	27	15	22	32	39	35	23	32	29	21	29	334
子ども課 受け取り	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	5
計	30	27	15	23	32	39	35	23	32	29	21	33	339

4 子育てガイドブックの作成

子育て支援サービス等の情報提供のため「須坂市子育てガイドS*Kids」を発行した。

年1回(9月) 5,000部作成 531,900円

5 子育て応援メールマガジンの発行

乳幼児を持つ保護者同士がつながりを持てるイベント情報や子育てのワンポイント情報などを発信した。

発行日 毎週水曜日

発行号数 50号(461号～510号)

6 ながの子育て家庭優待パスポート事業

(1) 子育て世帯へパスポートの配布と事業周知を行った。また市内企業・店舗へ事業について広報した。

協賛店舗数 101 店舗 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

(2) パスポートの更新のため、市内該当世帯へ新パスポートを送付した。

令和 2 年 2 月 4,470 世帯 へ発送 印刷製本費 45,457 円 (子育て家庭優待パスポート 15,200 枚、多
子世帯プレミアムパスポート 3,400 枚、ポスター他) 59,400 円 (封筒)

7 児童遊具整備事業補助金

※該当事業なし

8 施設保有者賠償責任保険加入

児童遊園 30 町、39 か所、10,485 m² 26,860 円

9 幼児教育・保育無償化対応システム改修委託料

委託先 (株)電算

業務内容 幼児教育・保育無償化対応に係る電算システム改修業務

委託金額 9,867,000 円

■ 児童手当等支給事務費

単位：円

当初 予算額	9,088,000	予算 現額	8,951,000	決算額	8,684,639	前年度 決算対比	93.9%	前年度 決算額	9,252,493
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

児童手当等を適正に支給する。

II 事業の成果等

児童手当等の適正な支給事務ができた。

III 事業の実績

1 嘱託職員人件費 5,099,486 円

2 児童扶養手当等支給業務委託料

委託先 (株)電算

業務内容 児童扶養手当等支給に係る電算処理業務

委託金額 715,476 円

3 社会保障・税番号制度対応システム改修委託料

委託先 (株)電算

業務内容 社会保障・税番号制度対応に係る電算システム改修業務

委託金額 293,760 円

■ 私立保育所運営助成事業

単位：円

当初 予算額	60,163,000	予算 現額	57,371,000	決算額	52,111,140	前年度 決算対比	49.4%	前年度 決算額	105,399,750
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

私立保育所の円滑な運営と保育内容の向上を図るため、補助金等を交付する。

II 事業の成果等

市内の5私立保育所と認定こども園が実施する保育士配置基準を緩和するための保育士雇用、特別支援のための加配保育士の雇用、および延長保育事業、一時預かり等に対し補助金を交付し、保育所の運営の安定及び保育内容の充実を図るとともに、児童の福祉の増進を図り、また保護者の多様な保育ニーズへ対応した。

また、保育対策総合支援事業費補助金（国庫補助 10/10）による新型コロナウイルス感染症対策を活用して私立保育所における感染症予防対策を支援した。

III 事業の実績

1 補助金

補助金名	補助額（円）
私立保育所通常保育事業補助金	5,332,500
保育士配置基準緩和補助金	6,804,000
特別支援保育対策事業補助金	9,837,000
私立保育所整備資金利子補給金	209,000
一時預かり事業補助金	10,483,040
子ども・子育て支援補助金	15,152,600
子育て支援総合助成金事業補助金	2,040,000
保育対策総合支援事業費補助金	63,000
計	49,921,140

2 返還金

補助金名	返還額（円）
子ども・子育て支援事業交付金返還金	2,190,000

■ 家庭児童相談事業

単位：円

当初 予算額	7,418,000	予算 現額	7,866,000	決算額	7,523,402	前年度 決算対比	105.3%	前年度 決算額	7,144,452
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上のため、家庭児童相談員による専門的な相談業務を行う。また、増加する児童虐待防止対応及び児童の発達相談のため、家庭児童相談員2名体制で相談対応の充実を図る。

II 事業の成果等

保育園、保健センター（親子教室）、子育て支援センター、児童センターなど、相談しやすい場所に出向いての相談業務を実施し、相談者の支援ができた。

また、須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会の代表者会議及び児童虐待実務担当者会議並びに児童虐待個別ケース検討会議を開催し、要保護児童等の適切な保護及び支援ができた。

家庭児童相談員が研修会等に参加し、適切な支援のスキルアップを図った。

Ⅲ 事業の実績

1 相談内容別件数

(件)

相談内容	養護相談		保健相談	障害相談						非行相談	育成相談				その他	計
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害	重症心身障害	知的障害	発達障害等		性格行動	不登校	適性	育児・しつけ		
継続児童	67	49	1	5	0	2	0	8	50	0	21	3	0	2	1	209
新規児童	35	42	1	2	0	7	1	7	20	3	18	29	0	24	4	193
計	102 (85)	91 (90)	2 (0)	7 (5)	0 (0)	9 (9)	1 (0)	15 (17)	70 (39)	3 (1)	39 (36)	32 (15)	0 (0)	26 (10)	5 (8)	402 (315)

()前年度

2 須坂市虐待被害者等支援対策連絡協議会

要保護児童の早期発見及びその適切な保護のため、情報の収集・意見交換及び具体的な困難事例の研究・対応方法等について検討を行った。

(1) 代表者会議

開催日 6月7日

内容 報告「児童相談業務の状況」(中央児童相談所長)
須坂市における虐待の状況について(担当課より報告)

(2) 児童虐待実務担当者会議

開催日 6月28日、10月18日、2月28日

検討件数 延160件

(3) 児童虐待個別ケース検討会議(随時)

開催回数 126回

対象児童 61人

3 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対し、訪問介護員(ヘルパー等)を派遣し、安定した養育が可能となるよう支援した。

(1) 訪問支援家庭数 1家庭

(2) 育児・家事支援 40回

(3) ヘルパー等派遣委託料 173,430円

4 児童虐待防止対策事業

公立保育園と希望のあった私立園の教職員及び年長児童とその保護者を対象に研修プログラムを導入し、児童虐待防止強化を図る。

(1) CAP教職員ワークショップ 3回開催

4月16日 67人 4月20日 41人 4月23日 55人

(2) CAP保護者(おとな)ワークショップ 3回開催

5月14日 51人 5月21日 56人 5月30日 51人

(3) CAP子どもワークショップ(就学前プログラム)

6月～7月 各園(公立保育園10園、私立保育園3園、認定こども園1園)で開催
児童322人受講

5 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童福祉施設において一定期間、養育を行った。

- (1) 利用児童 3人
- (2) 利用日数 25日
- (3) 子育て短期支援事業委託料 60,500円

■ 福祉金支給費

単位：円

当初 予算額	3,660,000	予算 現額	3,660,000	決算額	3,178,000	前年度 決算対比	102.9%	前年度 決算額	3,088,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

交通災害遺児、重度心身障害児等に福祉金を支給し、福祉の増進を図る。

II 事業の成果等

重度心身障害児福祉金を支給し、児童の福祉の増進を図った。

III 事業の実績

1 重度心身障害児福祉金の支給状況

区 分	対 象 児 童 数	1人当の支給額 (円)	支 給 金 額 (円)
重度心身障害児福祉金	延1,584人	月額 2,000	3,178,000

- 2 交通・災害遺児福祉金 実績なし
- 遺児福祉金 実績なし

■ すこやか相談事業

単位：円

当初 予算額	6,466,000	予算 現額	6,346,000	決算額	6,148,450	前年度 決算対比	108.4%	前年度 決算額	5,672,592
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

5歳時におけるすこやか相談の実施により、3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達状況を早期に把握し、発達障がい疑われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園・認定こども園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行う。

II 事業の成果等

発達障がいや心の問題などの疑われる児童について療育支援を行うとともに、保護者や幼稚園・保育園・認定こども園の職員に対し支援を行った。5歳児すこやか相談における要継続支援児については、6歳時にも継続支援・観察を行い、小学校に入学後も個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、個人票を作成して小学校に送致した。また、本年度小学校へ入学した継続観察の必要な児童について巡回を行い、小学校での支援に繋げるなど、児童一人ひとりに寄り添った支援ができた。

III 事業の実績

1 5歳児すこやか相談

幼稚園・保育園・認定こども園から、保護者及び児童の担任へ事前調査（アンケート）を実施し、その結果をもとに、専門スタッフ（すこやか相談コーディネータ、教育相談員、家庭児童相談員、作業療法士、保健師等）が巡回相談を実施した。

- (1) 対象児童 378人（平成26年4月2日～平成27年4月1日生）
 公立保育園（10園・214人）、私立保育園（4園・61人）、私立幼稚園（2園・21人）、認定こども園（2園・74人）、管外保育園・幼稚園（5園・8人）

- (2) アンケート及び発達相談への対応状況

	アンケート提出数	発達相談記入数	対応方法			
			面談	電話	園対応	計
保護者	377人（99.7%）	81人（21.4%）	1	36	44	81
保育士・教諭	378人（100.0%）	114人（30.2%）	巡回時等対応する 114人			

- (3) 相談内容（複数回答あり）

	項目	件数(件)	比率(%)	備考(主な相談内容)
保護者	1 身体・健康面	9	8.3	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	47	43.5	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知面	23	21.3	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	5	4.6	好き嫌い、偏食、肥満
	5 しつけ	7	6.6	言葉遣い、ほめ方・しかり方
	6 その他	17	15.7	癖など
	計	108	100.0	
保育士 教諭	1 身体・健康面	20	6.7	発育の遅れ、持病
	2 対人・行動面	190	63.3	社会性、友だち関係、遊び
	3 言語・認知面	77	25.7	言語表出、言語理解、手先の巧緻
	4 食事面	0	0	好き嫌い、偏食、肥満
	5 家庭環境	12	4.0	家庭環境、養育面の心配
	6 その他	1	0.3	癖など
	計	300	100.0	

- (4) 巡回観察対象児童 143人（37.8%）

（アンケートの結果による発達指数等から判断する児童、および乳幼児健康診査から継続支援を要する児童としている。）

- (5) 巡回観察状況 54回（18園）

- (6) 個別相談 23人

- (7) 当該年度5歳児から、翌年度6歳児へ継続支援とした児童 53人（14.0%）

主な該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	8	15.1
2 対人・行動	32	60.4
3 言語	4	7.5
4 障がい	9	17.0
5 家庭環境	0	0
計	53	100.0

2 6歳児巡回

- (1) 対象児童 71人

ア 前年度の5歳児すこやか相談等で、当該年度継続支援・観察が必要と判断した6歳児 67人

イ 6歳児巡回を実施する中で支援観察が必要と判断した児童 4人

- (2) 巡回観察状況 54回（18園）

- (3) 個別相談状況

ア 市就学指導教育相談 13人

特別支援学校4人、特別支援学級8人、通級指導教室1人

- (4) 小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な個人票を作成し、学校との連携を図ることが必要とした児童 50人（70.4%）

主な 該当項目	人数(人)	割合(%)
1 理解・認知・操作	8	16.0
2 対人・行動	30	60.0
3 言語	1	2.0
4 障がい	11	22.0
5 家庭環境	0	0
計	50	100.0

3 小学校巡回

小学校入学後、個別配慮・支援、継続観察の必要な児童の個人票を作成し、学校との連携を図った。

- (1) 巡回観察対象児童 35人（前年度6歳児巡回より小学校入学後、継続観察を必要とし、個人票を作成した児童）
- (2) 巡回観察状況 12回（市内小学校11校と須坂支援学校）

4 すこやか教室

5歳児すこやか相談後、継続した支援を必要とする児童と保護者のための療育事業

組名	対象児童	開催期日・回数	対象児童数(人)	延参加人数(人)
ほし組	7歳児(小1)	5月～9月 4回	7	親28 子25
にこにこ組	6歳児(年長)	5月～2月 9回	8	親58 子58
いるか組	5歳児(年中)	11月～2月 4回	4	親14 子14

5 発達障がいに関する講演会

発達障がいの児童に寄り添った保育対応をするため、保育士等の研修会を開催した。

- (1) 開催日 6月25日
- (2) 講演 「乳幼児期の社会性の発達と支援」
- (3) 講師 水口崇氏（信州大学教育学系准教授）
- (4) 場所 保健センター3階リハビリルーム
- (5) 参加者 193人（公立・私立保育園保育士、私立幼稚園教諭、児童センター厚生員、保健師等）

6 特別支援保育研修会

特別支援保育の充実、向上を図るため、主に市内の保育園・幼稚園・認定こども園の園長と園長補佐を対象に、研修会を開催した。

- (1) 開催日 11月7日
- (2) 講演 「気になる子どもの視点から保育を見直してみませんか
ー特別な手立てとともに、いつもの保育の充実を！ー」
- (3) 講師 久保山 茂樹氏（独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究員）
- (4) 場所 シルキーホール3階
- (5) 参加者 54人（公立保育園長・園長補佐、私立保育園保育士、私立幼稚園教諭、小学校教諭、児童センター厚生員等）

7 心理・発達相談

乳幼児健診や親子教室後の継続支援として、発達の遅れや偏りのある保育園児、幼稚園児を対象に心理・発達相談を実施した。

年間26回 延61人

3-2-2(目)児童措置費

単位：円

当初 予算額	1,515,420,000	予算 現額	1,492,864,000	決算額	1,469,229,780	前年度 決算対比	102.1%	前年度 決算額	1,439,590,434
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

■ 保育所運営委託事業

単位：円

当初 予算額	470,000,000	予算 現額	475,444,000	決算額	472,940,050	前年度 決算対比	101.5%	前年度 決算額	465,849,780
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

乳児保育、延長保育などの保育ニーズに対応するため、委託により保育の充実を図る。また、令和元年10月施行された国による幼児教育・保育の無償化により、認可外保育施設に通園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図る。

II 事業の成果等

市内5私立保育園、2認定こども園、市外の公立・私立保育園等11園、に保育実施児童の委託を行い、保護者の勤務地等による保育園の選択や里帰り出産に伴う保育利用や市外の地域型保育施設に通園する児童の施設等利用給付を行うなど多様化する保育ニーズに対応した。また、施設等利用給付費により、市外認可外保育施設1園に通園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図った。

III 事業の実績

1 保育実施児童の委託状況 472,820,050円

委託先	定員 (人)	令和2年3月委託児童数 (人)	延委託児童数 (人)	負担金 (円)
上高井保育園	60	62	700	67,437,810
豊洲保育園	60	39	443	39,301,030
みつばち保育園	80	84	1,015	98,022,100
やすらぎ保育園	30	28	305	59,515,720
さかた山風の子保育園	90	97	1,128	98,000,990
マリアこども園	74	74	857	71,378,100
双葉幼稚園	48	26	291	26,142,050
上田市(公1)		7	84	5,850,720
長野市(私3・認2)		6	71	4,556,190
中野市(公1・認1)		2	15	1,174,910
小布施町(公2)		1	22	1,261,100
塩尻市(公1)		0	5	179,330
計	442	426	4,936	472,820,050

2 施設等利用給付の状況 120,000円

給付先	定員 (人)	令和2年3月給付児童数 (人)	延給付児童数 (人)	給付費 (円)
市外認可外保育園	30	1	6	120,000
計	30	1	6	120,000

■ 児童手当等支給事業

単位：円

当初 予算額	1,045,000,000	予算 現額	1,017,000,000	決算額	996,289,730	前年度 決算対比	102.3%	前年度 決算額	973,740,654
-----------	---------------	----------	---------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

「児童手当法」に基づき、児童手当等を支給する。

II 事業の成果等

子どもを養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することができた。

III 事業の実績

1 児童手当支給状況

(1) 児童手当等支給額（平成31年2月～令和2年1月分）

- 0歳から3歳未満の子ども 月額15,000円を支給
- 3歳以上小学校終了前までの子ども 月額10,000円を支給（第3子以降は15,000円）
- 小学校終了後中学校終了前までの子ども 月額10,000円を支給
- 特例給付 月額5,000円を支給（一律）

(2) 延受給児童数・支給金額

区 分	月 額 区 分 (円)	延 児 童 数 (人)	支 給 金 額 (円)
0 歳 ～ 3 歳 未 満	15,000	10,863	162,945,000
3歳以上小学校修了前（第1・2子） （第3子以降）	10,000	36,794	367,940,000
	15,000	6,014	90,210,000
中 学 校 修 了 前	10,000	13,993	139,930,000
特 例 給 付	5,000	2,944	14,720,000
計	—	70,608	775,745,000

※決算額との70,000円の差は、平成30年度分の過払い分を調整したものです。

2 児童扶養手当の支給状況

- (1) 所得により算定された額
 - 第1子 月額10,120円から月額42,910円（令和2年3月31日現在）
 - 第2子 月額加算5,070円から月額10,140円
 - 第3子以降 月額加算3,040円から月額6,080円

- (2) 延受給者数 5,376人 220,299,730円

- (3) 参考 特別児童扶養手当の支給状況（国委託事業）
受給権者数 138人（令和元年12月31日現在）

3 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金

- (1) 延受給者数 18人 315,000円

■ 助産措置事業

単位：円

当初 予算額	420,000	予算 現額	420,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	---------	----------	---------	-----	---	-------------	------	------------	---

I 事業の目的

健康保険未加入の低所得者世帯に対し、助産費を支出し支援を行う。

II 事業の成果等

実績なし

3-2-3 (目) 保育所費

単位：円

当初 予算額	983,304,000	予算 現額	970,068,000	決算額	929,543,526	前年度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	959,247,301
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 保育所管理事業

単位：円

当初 予算額	50,639,000	予算 現額	51,608,000	決算額	47,496,576	前年度 決算対比	97.7%	前年度 決算額	48,602,926
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

安心・安全な保育の実施のため、保育所施設の維持管理、修繕、保守点検等を行う。

II 事業の成果等

保育所 10 園の施設の適正な維持管理ができた。

井上・相之島・仁礼の 3 保育園において福祉サービスの第三者評価を受審し、長野県へ報告、福祉保健医療情報ネットワーク (WAM NET) に評価結果を公開した。

III 事業の実績

1 主な施設修繕等の状況

高圧気中開閉器修繕 (東部)	298,100 円
屋上西側排水防水修繕 (東部)	206,800 円
高圧受電機器修繕 (東部)	206,800 円
床暖房修繕 (東部)	72,380 円
電話回線通信装置修繕 (東部)	64,800 円
冷凍冷蔵庫修繕 (須坂)	176,000 円
床暖房修繕 (須坂)	121,000 円
トイレ修繕 (日野)	188,060 円
消防設備修繕 (日野)	84,150 円
非常灯修繕 (仁礼)	398,200 円
排煙設備修繕 (仁礼)	121,000 円
アプローチ修繕 (仁礼)	88,000 円

2 主な業務委託等の状況

保育料等業務委託料	
委託先 ㈱電算	336,156 円
電気保安業務委託料 (内容：須坂東部保育園受電設備点検)	
委託先 中部電気保安協会	172,656 円
汚泥収集委託料	
委託先 信濃理化学工業㈱	797,880 円
遊具点検委託料	
委託先 (有)ワールドドリーム	209,000 円
管理業務委託料 (内容：プール組立、除草、筆耕等)	
委託先 (公社)須高シルバー人材センター	413,499 円
消防設備点検	
点検業者 三益消防機材㈱須坂支店、㈱信濃電設	923,400 円

3 土地等借上の状況

井上保育園用地	4,320.00 m ²	2,211,000 円
須坂東部保育園用地	2,594.00 m ²	2,133,000 円
日野保育園用地	2,996.78 m ²	1,508,000 円
高甫保育園用地外3件		1,231,000 円
AED（自動体外式除細動器）の設置(10園)		404,920 円

■ 通常保育事業

単位：円

当初 予算額	410,672,000	予算 現額	443,500,000	決算額	415,630,126	前年度 決算対比	100.9%	前年度 決算額	411,916,931
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。

II 事業の成果等

保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童に対して、豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた信州型自然保育（信州やまほいく）を生かした保育を行った。さらに、市外からの児童を受託し、保護者の勤務地により保育園の選択や里帰り出産に伴う保育利用など多様なニーズに応じた保育を行った。

また、保育の補助的業務と簡単な補修等の施設管理業務を行う保育キーパーを4人配置し、保育園における世代間交流等も行った。

令和元年10月施行された国による幼児教育・保育の無償化により、保護者の経済的負担の軽減を図った。

III 事業の実績

1 公立保育園の入所状況

保 育 所 名	定員 (人)	令和2年3月保育の 実施児童数 (人)	保育の実施 児童延数 (人)	管外受託 児童延数 (人)	私的契約 児童延数 (人)	計 (人)
須坂東部保育園	150	153	1,801	5	0	1,806
須坂保育園	120	127	1,471	16	0	1,487
日野保育園	150	139	1,633	0	0	1,633
高甫保育園	90	74	905	12	0	917
井上保育園	120	119	1,392	5	0	1,397
北旭ヶ丘保育園	90	92	1,073	0	0	1,078
須坂千曲保育園	60	60	684	16	0	700
豊丘保育園	60	41	441	10	0	451
相之島保育園	60	57	684	0	0	684
仁礼保育園	120	90	1,063	24	0	1,087
計	1,020	952	11,147	88	0	11,240

2 市町村別管外受託児童数（私立保育所受託分含む）

市区町村名	令和2年3月の児童数(人)	延児童数(人)
長野市	15	159
中野市	5	49
小布施町	4	40
高山村	8	94
上田市	2	24

市区町村名	令和2年3月の児童数(人)	延児童数(人)
飯 網 町	1	12
渋 谷 区	2	24
目 黒 区	0	2
八王子市	0	8
岡 崎 市	0	4
計	37	416

3 備品購入の状況

NSP プール (豊丘)	2,451,600 円
ミラクル大型プール (須坂)	210,000 円
折りたたみ式おでかけお散歩車 (須坂)	155,000 円
ホワイトボード (北旭ヶ丘)	38,178 円
ビッグスプラッシュプール (東部)	71,280 円
おさんぽスワニー (仁礼)	73,656 円
スタンド扇風機 (井上)	35,640 円
スワニー (井上・豊丘)	129,600 円
洗濯機 (東部)	39,960 円
オルガン (仁礼)	127,440 円
冷蔵庫 (千曲)	158,800 円

4 保育士配置基準の緩和状況

3、4歳児について下記のとおり保育士配置基準の緩和を行った。

また、1歳児については国基準1：6に対して1：4として保育士を配置し通年で緩和を行った。

年 齢	実施園	クラス数	期 間	加配基準等
3歳児	須坂保育園	2	4月～12月	18人以上
	日野保育園	1	4月～12月	18人以上

5 インフルエンザ発生に伴う対応状況

臨時休園・クラス閉鎖の状況

実 施 園 数	臨時休園	クラス閉鎖
公立保育園 1園、私立保育園 0園	0園	2クラス

6 保育園における食育

子ども達が給食を楽しく食べたり、食物の名前や働きを覚えたり、野菜等の栽培や収穫の体験など日々の保育活動を通して、「食」に対する興味を持てるような取り組みを行った。

(1) 栽培・収穫体験活動

保育園敷地内の畑、農業サークルや地元農業者の畑で栽培・収穫体験を行い、収穫した野菜等の食材を給食に活用したり、行事の際に調理した。

(2) 「お楽しみ給食・仲良し給食の日」の実施

野菜の栽培・収穫の喜びを感じ楽しく食べる機会やみんなで一緒に楽しく食べる機会を設け食に関わる関心を高めた。また、農業小学校で栽培した白菜、大根を給食食材として利用した。

お楽しみ給食「すぎかさんさん給食DAY」 8月実施

仲良し給食「すぎかもりもり給食DAY」 11月実施

(3) 調理体験

親子クッキングや給食の手伝い等の調理活動を通じて調理への興味を広げ、祖父母交流活動時には伝統食や郷土料理の調理体験を通じて食文化についての理解を深めた。

7 保育料の収入状況

(1) 保育所保育児童保育料

区 分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	225,365,650	225,077,036	0	288,614	99.87
滞納繰越分	710,060	618,760	0	91,300	87.14
計	226,075,710	225,695,796	0	379,914	99.83

(2) 延長保育児童保育料

区 分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	2,572,750	2,574,050	0	△1,300	100
滞納繰越分	0	0	0	0	-
計	2,572,750	2,574,050	0	△1,300	100

※収入未済額の△1,300円は還付未済額

(3) 保育所給食費(令和元年10月～)

区 分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	14,004,000	13,941,000	0	63,000	99.55

■ 特別保育事業

単位：円

当 初 予算額	84,961,000	予算 現額	67,901,000	決算額	59,788,989	前年度 決算対比	86.1%	前年度 決算額	69,480,843
------------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。

II 事業の成果等

公立保育園全園での3歳以上児の一時的保育の実施など、保護者の多様化する保育ニーズに対応するとともに、障がいのある子どもへの対応などきめ細やかな保育を提供することにより、保育園児の福祉の増進、保護者の負担軽減を図った。

また、さかた山風の子保育園に病後児保育を委託、やすらぎ病児保育園に病児・病後児保育を委託し、保育サービスの拡大と子育て支援の充実を図った。

なお、公立保育園での英語活動を実施し、将来の小学校での英語の教科化に対応した。

III 事業の実績

1 延長保育の状況

平成31年4月1日現在において、延長保育希望児童が5人以上の保育園(全園)で実施した。

(1) 延長保育時間 午前7時30分～午後6時30分(須坂東部・日野保育園は午後7時)

(通常保育 午前8時30分～午後4時30分)

保 育 所 名	令和2年3月の児童数(人)	延児童数(人)
須坂東部保育園	22	350
須坂保育園	15	201
日野保育園	17	283
高甫保育園	8	155
井上保育園	12	171

保 育 所 名	令和2年3月の児童数 (人)	延児童数 (人)
北旭ヶ丘保育園	18	285
須坂千曲保育園	3	92
豊 丘 保 育 園	0	37
相之島保 育 園	5	147
仁 礼 保 育 園	12	194
計	112	1,915

(2) 緊急延長保育

保 育 所 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延児童数 (人)
須坂東部保育園	70	93	130	102	82	135	71	90	62	57	70	53	1,015
須坂保育園	53	88	78	91	42	64	54	58	54	52	57	49	740
日野保育園	97	91	86	97	63	72	76	46	54	46	70	59	857
高甫保育園	13	14	23	10	14	21	10	11	15	12	9	9	161
井上保育園	52	45	55	89	58	42	44	38	51	40	64	30	608
北旭ヶ丘保育園	61	48	49	37	40	67	53	35	44	66	70	48	618
須坂千曲保育園	58	55	65	82	40	72	68	49	42	28	33	40	632
豊 丘 保 育 園	29	18	36	34	20	27	11	13	18	12	12	14	244
相之島保 育 園	27	62	89	52	50	65	30	12	21	15	19	22	464
仁 礼 保 育 園	74	41	41	68	41	53	18	53	41	32	63	24	549
計	534	555	652	662	450	618	435	405	402	360	467	348	5,888

(3) 土曜延長保育

保 育 所 名	児童数 (人)
須坂東部保育園	14
須坂保育園	2
日野保育園	2
高甫保育園	4
井上保育園	12
北旭ヶ丘保育園	3
須坂千曲保育園	2
豊 丘 保 育 園	1
相之島保 育 園	1
仁 礼 保 育 園	0
計	41

2 障がい児保育の状況

心身に障がいのある児童の福祉向上のため、障がい児保育の推進に努めた。

保 育 所 名	児童数 (人)
須坂東部保育園	2
須坂保育園	4
日野保育園	3
高甫保育園	3
井上保育園	3
北旭ヶ丘保育園	5
須坂千曲保育園	1
豊 丘 保 育 園	3
仁 礼 保 育 園	4
計	28

3 一時的保育の状況

保護者の臨時的、緊急的な保育需要等に対応するため、公立保育園全園で実施した。(3歳未満児は須坂千曲保育園で実施)

(1) 年齢区分による利用延べ児童数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
3歳未満児	28	27	31	47	46	34	45	41	39	55	43	33	469
3歳以上児	1	0	8	18	9	14	11	12	5	0	0	5	83
計	29	27	39	65	55	48	56	53	44	55	43	38	552

(2) 理由別児童数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
臨時保育	1	10	0	0	9	14	11	12	5	0	0	0	62
緊急保育	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
私的理由	17	17	39	65	46	34	45	41	39	55	43	38	479
計	29	27	39	65	55	48	56	53	44	55	43	38	552

4 乳児保育の状況

乳児(0歳児)の保育需要に対応するため、公立保育園10園で実施した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
児 童 数	18	20	25	27	30	37	45	48	49	54	54	56	463

5 病児・病後児保育の状況

登録児童数 146人

(1) さかた山風の子保育園における病後児保育の状況(平成23年4月から委託)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
利用延数	10	10	14	8	18	37	8	2	3	1	0	0	111
利用実数	2	4	7	4	8	14	6	1	2	1	0	0	49

※長野市(実数2人、延数5人)、高山村(実数1人、延数1人)の利用を含む

(2) やすらぎ病児保育園における病児・病後児保育の状況(平成31年3月から委託)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (人)
利用延数	5	8	38	7	30	20	8	23	7	3	15	13	177
利用実数	4	5	12	4	13	10	6	6	5	1	7	7	80

※長野市(実数2人、延数4人)、高山村(実数1人、延数1人)、中野市(実数1人、延数4人)及び小学生(実数2人、延数3人)の利用を含む

6 地域活動の状況

保育園児の豊かな心を育むため、ふれあい交流等地域活動事業を実施した。

老人福祉施設訪問等世代間交流事業 10園

地域における異年齢児交流事業 10園

保護者等への育児講座 4園

7 運動保育援助事業（柳沢運動プログラム）の状況

子どもたちの日々の運動遊びを継続することで、身体機能の発育を高め、脳の前頭葉を活性化させ、感情をコントロールする力の働きを促すという理論で実績のある、松本短期大学の柳沢秋孝教授の考案した運動プログラムを実践。

各園で保育活動に組み入れて実施。

体育指導委託料

委託先 (有)長野体育指導センター 192,500 円

8 保育園英語活動の実施

英語指導助手委託料（平成 26 年 5 月から委託）

委託先 (株)RCS コーポレーション 3,924,000 円

3-2-4 (目) 子育て支援センター費

単位：円

当初 予算額	14,089,000	予算 現額	14,305,000	決算額	13,926,852	前年度 決算対比	103.3%	前年度 決算額	13,476,421
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 子育て支援センター管理運営事業

単位：円

当初 予算額	6,673,000	予算 現額	6,835,000	決算額	6,462,775	前年度 決算対比	102.9%	前年度 決算額	6,279,443
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導及び来館者親子のつながりを支援する。また、父親の育児参加の促進事業や、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあいの機会を持たせるなど世代間交流事業を行うことで子育て中の母親・家庭への支援者の拡大を図る。

地域子育て広場の支援や育児サークルの支援を行うことで地域における子育て家庭の支援を行う。

II 事業の成果等

子育て中の保護者に集いの場や情報の提供、育児相談、「子育てミニ講座」「すくすく育児ランド」、「ピアママサロン」「すくすくパパ」等を開催し、子育て中の家庭への支援ができた。

祖父母とともに楽しく子育て孫育てができるように「すくすくホーム」を開催した。

シルバー人材センター会員との交流を通じ、世代間交流を行うことができた。

また、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、地域で子育て家庭を支えあう環境が定着した。

III 事業の実績

1 子育て支援センター事業実施状況

(人)

区分	開所 日数 (日)	親子			そ の 他	子育て広場の支援				場 所
		親	子	計		回 数	親	子	計	
4月	24	540	690	1,230	186	0	0	0	0	
5月	22	547	664	1,211	171	1	3	3	6	高甫地域公民館
6月	25	677	843	1,520	215	0	0	0	0	

区分	開所 日数 (日)	親 子			そ の 他	子育て広場の支援				場 所
		親	子	計		回 数	親	子	計	
7月	26	686	869	1,555	203	2	12	14	26	井上、高甫地域公民館
8月	26	526	689	1,215	153	1	11	14	25	井上地域公民館
9月	23	679	856	1,535	173	2	19	23	42	高甫地域公民館、高橋町公会堂
10月	25	666	823	1,489	136	1	10	10	20	井上地域公民館
11月	24	620	756	1,376	173	1	19	20	39	高橋町公会堂
12月	24	542	689	1,231	115	3	44	50	94	高橋町公会堂、 豊洲、井上地域公民館
1月	23	571	709	1,280	154	0	0	0	0	
2月	23	578	719	1,297	134	0	0	0	0	
3月	25	0	0	0	11	0	0	0	0	
計	290	6,632	8,307	14,939	1,824	11	118	134	252	

※「その他」については、講師、ボランティア、シルバー会員、馬場町卓球クラブ、託児保育士等による利用。

※3月2日から、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため施設を利用休止とした。

2 子育てミニ講座

子育て中の親が子育てに関する負担感・不安感を軽減し、子育てが楽しいと感じることのできる状況を目指すため、子育てミニ講座を開催した。

開催期日	内 容	参加数 (人)
6月24日	赤ちゃんマッサージ	親 10 子 12
7月23日	子どもといっしょにコンサート	親 33 子 40
8月 6日	パネルシアター・歌あそび	親 20 子 32
9月 5日	親子ふれあいコンサート	親 35 子 44
9月13日	親子ビクス	親 25 子 31
10月24日	NPIC親子運動あそび	親 17 子 18
11月25日	赤ちゃんマッサージ	親 18 子 18
12月11日	クリスマスコンサート	親 23 子 27
2月25日	赤ちゃんマッサージ	親 15 子 15
3月 3日	NPIC親子運動あそび	中止※
3月26日	リトミック	中止※
計		親 196 子 237

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止。

3 すくすく育児ランド

親であることの自覚と責任を持ち育児に必要な知識を学ぶため、すくすく育児ランドを開催した。

区分	開催期日	内 容	参加数 親(人)
前期	5月21日	講話「親の心のセルフケア」	20
	5月28日	講話「絵本はこころの栄養」	18
	6月4日	「ママの健康を見直そう」	14
	6月13日	「元気もりもりおいしいご飯のすすめ方」	13
	6月18日	グループワーク「みんなでワイワイ 話そう」	14
	計		79
後期	10月29日	講話「親の心のセルフケア」	12
	11月5日	講話「絵本はこころの栄養」	12
	11月12日	「元気もりもりおいしいご飯のすすめ方」	9
	11月19日	「ママの健康を見直そう」	13
	11月26日	グループワーク「皆でワイワイ 話そう」	11
	計		57

4 父親講座 すくすくパパ

夫婦が共に子育てをする土壌の醸成と、父親の育児力の向上を目指すため、すくすくパパを開催した。

開催日	内 容	参加数(人)
5月11日	親子で臥竜山を散策しよう	父 8 母 8 子 14
6月1日	手作りおもちゃで遊ぼう	父 18 子 26
10月26日	お父さんの料理教室	中止※

※ 令和元年東日本台風災害のため開催中止。

5 ピアママサロン

子育て中の母親たちが、子育てについて共に考え、思いや経験を共有し合うことで、育児の孤立感やストレスの軽減を図り、お互いにサポートしあう関係を作り上げるため、ピアママサロンを開催した。

開催期日	内 容	参加数 親(人)
8月27日	開校式・オリエンテーション・グランドルール	18
9月3日	ピアカウンセリング・話を聞くって?・8つの誓約	19
9月10日	私の4つの窓・傾聴とは?	16
9月17日	私は何の花・あなたは何の花・私の夢を聞いて?	17
9月24日	前回の振り返り・ワイワイ会議・閉校式	18
計		88

6 中高生と赤ちゃんのふれあい事業

次代の親となる中学生・高校生が赤ちゃんと接し、子育て中の母親の話を聞くことで、命の大切さや、妊娠や出産について正しい知識をもち、結婚や親となることについて考えるきっかけをつくる。

また、母親が子育てを振り返り我が子の将来に期待をもつため、ふれあい事業を計画した。

- (1) 事前講習会 3月7日 中止※
- (2) 体験学習(赤ちゃんとのふれあい) 3月23日 中止※

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止。

7 すくすくホーム

親も祖父母もともに楽しく子育て・孫育てができるよう、育児に対する思いを話し、分担して子育てをするコツを学ぶため、講座を開催した。

- (1) 開催日 12月10日
- (2) 内容 講義「おいしい食事とおやつですくすく育てよう」
グループワーク
- (3) 参加者 参加者数 母親 10人 祖父母 13人

8 シルバー人材センター会員との交流

農作業や昔遊びを通してふれあう中で、お年寄りが持つ豊富な経験や知識を参考とし、子育てがより充実したものとなるよう交流を行った。

回	月 日	内 容	参加人数 (人)		
			親	子	シルバー
1	4月15日	じゃが芋・長ネギ植え	15	16	19
2	7月 3日	七夕交流	25	32	15
3	7月30日	じゃが芋の収穫	12	13	23
4	11月13日	大根収穫・すいとん交流	25	31	24
5	1月15日	伝承遊び交流	25	31	17

9 ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を行いたい者と、援助を受けたい者が会員として登録して実施する子育ての相互援助活動を支援した。

- (1) 入会説明・登録 随時 (子育て支援センターにて受付)
- (2) 講習会 提供会員登録のための講習会を実施した。(年2回)

内容	期日	参加数 (人)
乳幼児の救急救命法 (長野県立信州医療センター看護師)	6月12日	1
	11月27日	1
子どもの食事と栄養 (子ども課管理栄養士)	6月17日	2
	11月18日	1
子どもの成長発達 (長野県立信州医療センター小児科医師)	6月27日	1
	11月22日	2
家庭でできる応急処置 (消防署)	6月20日	1
	11月21日	1
家庭看護 (長野県立信州医療センター看護師)	6月21日	2
	11月14日	0
保育のこころと遊び(子育て支援センター所長)	6月17日	2
	11月18日	1

- (3) ファミリー・サポート・センター運営協議会
3月11日 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止。
- (4) 提供会員交流会
提供会員の情報交換と親睦を図るため、提供会員交流会を開催した。
2月26日 参加者8人

(5) レベルアップ講習会

提供会員のスキルアップのため、日頃の活動の様子などから見えてくる課題等の意見交換を行った。

2月26日 参加者8人

(6) 会員登録状況 (2020年3月31日現在) (人)

依頼会員数	提供会員数	両方会員数	計
437	48	17	502

(7) 活動実績

内 容	件数 (件)
1 保育園・幼稚園の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	96
2 保育施設への送迎	40
3 放課後児童クラブ開始前・終了後の子どもの預かり	68
4 放課後児童クラブへの送迎	128
5 学校の放課後の子どもの預かり	0
6 学校・保育所の休み時の預かり	0
7 学習塾や習い事等への送迎	267
8 障がいを持つ子どもの預かり・送迎など	2
9 病後児の預かり	0
10 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	1
11 買い物等の外出の際の子どもの預かり	8
12 保護者の就労（短期・臨時・求職活動）の場合の援助	70
13 保護者の病気・急用等の場合の援助	2
14 早朝・夜間の緊急時の預かり	0
15 産前・産後の育児援助	0
16 保護者のリフレッシュ・習い事等の預かり	1
17 その他（災害時の預かり、母親支援等）	8
計	691

10 おもちゃの図書館

家庭で不用になったおもちゃ等を市が譲り受け、利用希望者に無料で貸出しを行うことで、子育て家庭の経済的負担の軽減とおもちゃ等の有効活用を図った。

(1) 登録者数 595人

(2) 登録物品数及び貸出状況

品 目	登録数 (個)	延貸出数 (個)
おもちゃ類	75	262
チャイルドシート	8	12
ジュニアシート	7	5
その他 (ベビーベッド、歩行器等)	11	16
計	101	295

3-2-5 (目) 児童クラブ費

単位：円

当初 予算額	74,176,000	予算 現額	78,381,499	決算額	77,979,703	前年度 決算対比	105.4%	前年度 決算額	73,988,764
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 児童クラブ運営事業

単位：円

当初 予算額	74,176,000	予算 現額	78,381,499	決算額	77,979,703	前年度 決算対比	105.4%	前年度 決算額	73,988,764
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

保護者が就労等により留守家庭の児童を対象に放課後児童健全育成事業を推進するため、放課後児童クラブの運営を行う。

II 事業の成果等

11 地域児童クラブ（※支援の単位 12）の運営を行い、安心・安全な児童健全育成が図られた。民間の 2 団体に児童クラブの運営を委託し、児童の健全育成を図ることができた。

III 事業の実績

1 運営、管理委託の状況

(1) 放課後児童健全育成事業の委託

保護者が就労等により留守家庭の児童の健全育成を図るため、民間の団体に放課後児童健全育成事業を委託した。

学童保育どんぐりクラブ

登録児童数（4月1日現在） 43 人 開所日数 300 日 延児童数 7,184 人
1日平均 23.9人 委託料 10,381,680 円

やすらぎ児童クラブ

登録児童数（4月1日現在） 66 人 開所日数 298 日 延児童数 8,350 人
1日平均 28.0人 委託料 8,595,903 円

2 児童クラブの状況

(1) 施設修繕の状況（5万円以上）

蛍光灯器具修繕（高甫）	82,080 円
玄関フロアヒンジ修繕（南部）	93,960 円
移設に伴うトイレ修繕（仁礼）	482,008 円
移設に伴う扉・電気・コンセント等修繕（仁礼）	421,200 円
灯具修繕（北部）	69,300 円
網戸修繕（日滝）	99,000 円
渡り廊下防風シート修繕（井上）	146,960 円
F F 式ストーブ修繕（日滝）	70,004 円

(2) 備品購入の状況（5万円以上）

シューズボックス（仁礼）	195,048 円
ロッカー（仁礼）	81,216 円

(3) 利用状況 (※支援の単位ごと 登録児童数は4月1日現在)

曜日	地域児童クラブ名	開所 日数	登 録 児童数(人)		延利用 児童数(人)	1日平均 利用数(人)
			日々	長期		
月から金	豊洲地域児童クラブ	240	49	17	7,309	30.5
	井上地域児童クラブ	240	61	23	7,294	30.4
	高甫地域児童クラブ	240	28	22	5,236	21.8
	仁礼地域児童クラブ	240	36	17	6,112	25.5
	豊丘地域児童クラブ	240	11	5	1,584	6.6
	日滝地域児童クラブ	240	69	18	10,265	42.8
	日野地域児童クラブ1	240	53	7	8,484	35.4
	日野地域児童クラブ2	240	30	23	3,158	13.2
	森上地域児童クラブ	240	67	21	9,617	40.1
	南部地域児童クラブ	243	56	22	9,771	40.2
	東部地域児童クラブ	243	61	28	9,447	38.9
	北部地域児童クラブ	243	43	11	6,451	26.5
	計	2,889	564	214	84,728	29.3
土曜日	豊洲地域児童クラブ	12	49	-	2	0.2
	井上地域児童クラブ	12	61	-	3	0.3
	高甫地域児童クラブ	12	28	-	16	1.3
	仁礼地域児童クラブ	12	36	-	31	2.6
	豊丘地域児童クラブ	12	11	-	0	0
	日滝地域児童クラブ	12	69	-	16	1.3
	日野地域児童クラブ1	12	53	-	20	1.7
	日野地域児童クラブ2	12	30	-	0	0
	森上地域児童クラブ	12	67	-	11	0.9
	南部地域児童クラブ	50	56	-	248	5.0
	東部地域児童クラブ	50	61	-	138	2.8
	北部地域児童クラブ	50	43	-	30	0.6
	計	258	564	-	515	2.0
合計	豊洲地域児童クラブ	252	49	17	7,311	29.0
	井上地域児童クラブ	252	61	23	7,297	29.0
	高甫地域児童クラブ	252	28	22	5,252	20.8
	仁礼地域児童クラブ	252	36	17	6,143	24.4
	豊丘地域児童クラブ	252	11	5	1,584	6.3
	日滝地域児童クラブ	252	69	18	10,281	40.8
	日野地域児童クラブ1	252	53	7	8,504	33.7
	日野地域児童クラブ2	252	30	23	3,158	12.5
	森上地域児童クラブ	252	67	21	9,628	38.2
	南部地域児童クラブ	293	56	22	10,019	34.2
	東部地域児童クラブ	293	61	28	9,585	32.7
	北部地域児童クラブ	293	43	11	6,481	22.1
	計	3,147	564	214	85,243	27.1

※前年度延利用児童数 86,526 人、1日平均利用数 27.3 人

(4) 放課後児童クラブ利用料の収入状況

区分	調定額 (円)	収入済額(円)	不能欠損額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)
現 年 分	17,220,750	17,153,500	0	67,250	99.6
滞 納 繰 越 分	39,750	39,750	0	0	100.0
計	17,260,500	17,193,250	0	67,250	99.6

3 自動体外式除細動器（AED）の機器賃借料

仁礼、日野、豊洲地域児童クラブにAED各1台を配備 111,168円

4 施設借上料

施設の老朽化により、仁礼地域児童クラブを旧福祉企業センターからながの農協旧仁礼支所1階へ移転した。

仁礼地域児童クラブ施設借上料（ながの農協 旧仁礼支所 1階） 1,092,000円

5 スポーツ・文化・交流推進事業実施状況

クラブ名	実施日	開催内容	参加児童数(人)
豊洲地域児童クラブ	11月6日	クラフト	31
井上地域児童クラブ	11月13日	絵手紙	22
高甫地域児童クラブ	10月8日	ニュースポーツ	20
仁礼地域児童クラブ	10月16日	押し花	21
豊丘地域児童クラブ	7月26日	押し花	11
日滝地域児童クラブ	8月20日	エレクトーン演奏	41
日野地域児童クラブ1、2	10月16日	読み聞かせ	25
森上地域児童クラブ	12月10日	エレクトーン演奏	47

講師謝礼 25,920円

3-2-6(目)児童センター費

単位：円

当初予算額	56,644,000	予算現額	61,446,812	決算額	60,584,998	前年度決算対比	108.4%	前年度決算額	55,909,044
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 児童センター管理事業

単位：円

当初予算額	12,794,000	予算現額	13,165,000	決算額	13,003,291	前年度決算対比	403.6%	前年度決算額	3,221,635
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

児童センター施設の維持管理、修繕、保守点検等を行う。

II 事業の成果等

中央、南部、東部、北部児童センターの施設の修繕等を行うことで、適正な維持管理ができた。

III 事業の実績

1 施設修繕等の状況（5万円以上）

波型ラダー等（遊具）修繕（中央）	105,192円
ホールすべり出し窓ロール網戸修繕（中央）	136,080円
消防設備修繕（東部、北部）	333,300円

2 点検業務の状況 遊具保守点検 52,800円

3 自動体外式除細動器（AED）の機器賃借料

中央、南部、東部、北部児童センターにAED各1台を配備 144,384円

4 児童センター用地購入

前年度まで借上を行っていた南部児童センター駐車場用地を購入した。

用地購入費 (234.45 m ²)	8,588,000 円
構造物補償料	223,984 円

5 児童センター備品購入状況 (5万円以上)

エアコン (南部、北部)	579,960 円
洗濯機 (中央)	68,040 円
トランポリンメッシュベッド (中央、南部)	275,740 円

■ 児童センター運営事業

単位：円

当初予算額	37,107,000	予算現額	41,330,812	決算額	40,897,650	前年度決算対比	110.0%	前年度決算額	37,172,389
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

留守家庭児童を対象に、放課後児童健全育成事業を推進するとともに、一般児童に対しても健全な遊びの場を提供し、集団的及び個別的な指導を通じて健康の増進と情操を豊かにするため児童センターの運営を行う。また、児童のいない午前中等を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場としての「遊びの広場」を実施する。

II 事業の成果等

放課後児童健全育成事業の推進と、一般児童に対しても児童センターの運営を行う中で児童の健全育成が図られた。また、午前中についても未就園児とその保護者に「遊びの広場」が定着し利用された。

III 事業の実績

1 利用の状況

曜日	センター名	開所日数(日)	一般児童(人)					遊びの広場			その他(人)		総計(人)	1日平均数(人)
			小学生低学年	小学生高学年	中学生以上	計	1日平均数	親(組数)	幼児(人)	1日平均数(組)	利用者	1日平均数		
月 から 金	中央児童センター	240	2,172	994	166	3,332	13.9	—	—	—	—	—	3,332	13.9
	南部児童センター	240	265	77	92	434	1.8	1,029	1,245	4.3	104	0.4	2,812	11.7
	東部児童センター	240	398	480	140	1,018	4.2	693	746	2.9	60	0.3	2,517	10.5
	北部児童センター	240	591	124	4	719	3.0	428	562	1.8	70	0.3	1,779	7.4
	計	960	3,426	1,675	402	5,503	5.7	2,150	2,553	3.0	234	0.3	10,440	10.9
土	中央児童センター	50	526	305	32	863	17.3	—	—	—	—	—	863	17.3
	南部児童センター	50	84	47	76	207	4.1	31	35	0.6	154	3.1	427	8.5
	東部児童センター	50	99	135	24	258	5.2	98	123	2.0	71	1.4	550	11.0
	北部児童センター	50	97	64	0	161	3.2	176	150	3.5	65	1.3	552	11.0
	計	200	806	551	132	1,489	7.4	305	308	2.0	290	1.9	2,392	12.0
合 計	中央児童センター	290	2,698	1,299	198	4,195	14.5	—	—	—	—	—	4,195	14.5
	南部児童センター	290	349	124	168	641	2.2	1,060	1,280	3.7	258	0.9	3,239	11.2
	東部児童センター	290	497	615	164	1,276	4.4	791	869	2.7	131	0.5	3,067	10.6
	北部児童センター	290	688	188	4	880	3	604	712	2.1	135	0.5	2,331	8.0
	計	1,160	4,232	2,226	534	6,992	6.0	2,455	2,861	2.8	524	0.6	12,832	11.1

※前年度総計 12,956 人、1日平均数 11.1 人

※その他の利用者は保育園児の遠足、地域のボランティア等

2 児童センター・児童クラブ合同事業

レッツプレイ！レクゲーム 6月29日 市民体育館 90人参加

3 スポーツ・文化交流活動推進事業実施状況

センター名	実施日	開催内容	参加児童数(人)
東部児童センター	12月18日	マジック	61
南部児童センター	12月18日	エレクトーン演奏	48
北部児童センター	7月26日	マジック	35

講師謝礼 7,560円

3-2-7(目)母子・父子福祉費

単位：円

当初予算額	11,359,000	予算現額	10,316,000	決算額	9,048,928	前年度決算対比	53.5%	前年度決算額	16,922,776
-------	------------	------	------------	-----	-----------	---------	-------	--------	------------

■ 母子・父子家庭支援事業

単位：円

当初予算額	11,359,000	予算現額	10,316,000	決算額	9,048,928	前年度決算対比	53.5%	前年度決算額	16,922,776
-------	------------	------	------------	-----	-----------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

母子・父子自立支援員を設置し、母子・父子家庭や寡婦家庭の相談・助言を行うとともに、各種事業を通じて家庭の自立と生活基盤の安定を図る。

II 事業の成果等

母子・父子家庭の相談業務を希望者に積極的に行い、資格取得等修業支援や資金貸付等生活支援を行うことができた。

III 事業の実績

1 母子家庭の状況

(1) 母子家庭数 535世帯(8月1日現在)

(2) 母の年齢別母子家庭数

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
家庭数	0	32	148	283	67	5	535

※調査基準日の満年齢により区分

(3) 児童数別母子家庭数

区分	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	計
家庭数	320	179	30	5	1	0	535

(4) 母子家庭の年齢別児童数

区分	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	不明	計
児童数	92	223	131	198	149	0	793

2 父子家庭の状況

(1) 父子家庭数 53世帯(8月1日現在)

(2) 父の年齢別父子家庭数

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
家庭数	0	2	12	29	6	4	53

※調査基準日の満年齢により区分

(3) 児童数別父子家庭数

区 分	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明	計
家庭数	26	20	6	1	0	0	53

(4) 父子家庭の年齢別児童数

区 分	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	不明	計
児童数	3	21	17	29	18	0	88

3 母子・父子相談状況

区 分	相談件数	延相談回数
生活一般（医療、就労、住宅等）	322	360
児童（養育、教育等）	67	69
生活援護（福祉資金、手当等）	225	227
その他	3	7
計	617	663

4 母子家庭等日常生活支援事業

実績なし

5 母子生活支援施設入所者の状況

実績なし

6 母子・父子家庭親子の集い

(福)須坂市社会福祉協議会との共催により事業を実施した。

期日 11月16日～17日 行き先 東京ディズニーリゾート 参加者 65人

7 村石母子、父子家庭特別奨学金の給付

対象者 1人 給付金額 500,000円

8 母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金の給付

実績なし

9 母子・父子家庭高等技能訓練促進費の給付

対象者 3人 給付金額 3,680,000円

10 母子・父子家庭高等技能訓練促進費修了一時金の給付

実績なし

11 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の給付

実績なし

12 母子及び寡婦福祉資金の貸付状況（貸付主体：長野県）（3月31日現在）

区 分	貸付件数		金額（円）
	新 規	継 続	
母子福祉資金	1	1	1,530,000
寡婦福祉資金	0	0	0
計	1	1	1,530,000

3-2-8 (目) 親子通園施設費

単位：円

当初 予算額	5,448,000	予算 現額	5,757,000	決算額	5,333,930	前年度 決算対比	102.2%	前年度 決算額	5,217,037
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 親子通園施設管理事業

単位：円

当初 予算額	265,000	予算 現額	599,000	決算額	494,659	前年度 決算対比	259.0%	前年度 決算額	191,015
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

親子通園施設「くれよん」の維持管理、修繕等を行う。

II 事業の成果等

施設の適正な維持管理ができた。

III 事業の実績

1 施設管理の状況

保育室・訓練室カーペットクリーニング他 35,676 円

防火カーペット交換(消防法第4条の規定に基づく立ち入り検査の指摘事項) 291,816 円

■ 親子通園事業

単位：円

当初 予算額	5,183,000	予算 現額	5,158,000	決算額	4,839,271	前年度 決算対比	96.3%	前年度 決算額	5,026,022
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

就学前の身体に障がいのある児童、知的障がいのある児童及び発達に支援を必要とする児童が保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。

施設の名称を「親子通園施設くれよん」とし(平成26年4月1日より)、今まで障がい児に限定していた入園の対象を、発達障がい疑われるなど発達に支援を必要とする子どもとその保護者まで拡大した。

II 事業の成果等

心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い、育成を促すことができた。

III 事業の実績

1 利用状況

(人)

児童数	年齢区分	
	3歳未満	3歳以上
在籍人数	5	0
利用延べ人数	306	22

2 訓練の状況 作業療法 11回延 19人

音楽療法 10回延 43人 ※ 10月は令和元年東日本台風災害のため中止。

3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

3-2-9 (目) 児童福祉災害対策費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,337,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	---	-------------	------	------------	---

■ 保育所災害対策事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	797,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	---------	-----	---	-------------	------	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により指定避難所を開設するとともに、被災した世帯の保育に係る負担軽減を図るため、保育園に入所している保護者の保育料（利用者負担等）等の減免や、認定こども園等へ入所した保護者の保育料（利用者負担等）を減免した施設に対して補助により被災者を支援する。

II 事業の成果等

指定避難所の開設による被災者の支援、保育園の入所している保護者の保育料等の減免をすることで被災者支援ができた。

III 事業の実績

1 令和元年東日本台風による指定避難所の開設

- (1) 開設期間 10月12日（土）～13日（日）
- (2) 開設場所及び避難者数 井上保育園 60人
北旭ヶ丘保育園 20人

2 保育園入所者における令和元年東日本台風被害による保育料の減免状況

- (1) 保育料（利用者負担額）
対象児童 1人 108,000円
- (2) 一時的保育料
対象児童 2人 17,600円
- (3) 保育所給食費（副食費）
対象児童 5人 135,000円

3 認定こども園等へ入所者における令和元年東日本台風被害による保育料の減免状況

減免に該当する被災者はいなかった。

3-3-1 (目) 生活保護総務費

単位：円

当初 予算額	60,132,000	予算 現額	65,390,000	決算額	64,663,260	前年度 決算対比	109.5%	前年度 決算額	59,059,373
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	9,297,000	予算 現額	14,781,000	決算額	14,066,429	前年度 決算対比	148.5%	前年度 決算額	9,472,482
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

医療扶助の適正な運営の確保及び民生児童委員、主任児童委員の活動支援に努める。

II 事業の成果等

嘱託医による医療要否意見書等の審査及び精神科医療検討会の開催、主治医面接により、医療扶助の適正な運営の確保に努めた。

生活保護の適正実施のため、生活保護システム改修業務及び生活保護レセプト点検業務等を委託した。また、平成30年10月1日の改正生活保護法の施行により創設された健康管理支援事業が、令和3年1月1日から必須事業となるため、実施のための準備業務としてレセプトデータ分析業務を委託した。

また、地域福祉の担い手である民生児童委員、主任児童委員及び須坂市福祉委員の活動支援のため、研修会を開催した。

III 事業の実績

1 嘱託医審査件数等

(1) 審査件数

医療要否意見書 (入院)	医療要否意見書 (入院外)	訪問看護要否意見書	給付等要否意見書	その他	合計
精神 17 一般 101	精神 97 一般 550	2	治療材料 12 施術 4 移送 52	検診命令 6 訪問看護 0	841

(2) 嘱託医報酬 一般 765,000円 精神 34,000円

2 精神科医療検討会の開催

期日 8月29日、2月13日 参加者 精神科医師1人 市職員6人 (各回)

3 生活保護業務データシステム等の運用

生活保護業務データシステム並びに、レセプト管理システムを利用し、生活保護の適正実施に努めた。また、制度改修に伴うシステム改修、生活保護訪問支援システム導入業務を委託した。

(1) 生活保護データシステム保守点検業務委託

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 287,760円

(2) 生活保護システム改修業務委託 (制度改正等対応)

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 1,232,000円

(3) 生活保護レセプト点検業務委託

ア 委託先 (株)ニチイ学館
イ 委託料 178,542円

(4) 生活保護健康管理支援事業準備業務委託料

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 3,685,000円

(5) 生活保護訪問支援システム導入業務委託

ア 委託先 (株)電算
イ 委託料 583,200円

4 医療費等審査支払事務委託

診療報酬明細書、介護報酬請求書の審査事務、介護扶助費及び介護支給給付の実施のための要介護状態等の審査判定を委託した。

(1) 医療費審査支払事務委託

ア 委託先 長野県社会保険診療報酬支払基金
イ 委託料 182,918円

- (2) 介護給付費審査支払事務委託
 - ア 委託先 長野県国民健康保険団体連合会
 - イ 委託料 22,175 円
- (3) 介護扶助等の実施のための要介護状態等審査判定事務委託
 - ア 委託先 長野広域連合
 - イ 委託料 4,000 円

5 被保護者就労支援事業

被保護者からの相談に応じ、就労に関し必要な情報の提供及び助言を行った。

- (1) 新規就労支援対象者 2 人
- (2) 委託先 (福)須坂市社会福祉協議会
- (3) 委託料 3,531,034 円

6 研修会の開催

総合相談推進セミナー

- (1) 期 日 2月12日
- (2) 場 所 須坂市中央公民館3階ホール
- (3) 内 容
 - ア 講演会
 - 演題 生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金等について
 - 講師 長野県社会福祉協議会相談事業部あんしん創造グループ 吉田 真 氏
 - イ 活動報告 米持町 久保田 純子民生委員
 - ウ 生活就労支援センターまいさぼ須坂の取り組みについて
- (4) 参加者数 108 人 (民生児童委員)

3-3-2 (目) 扶助費

単位：円

当初 予算額	329,950,000	予算 現額	380,063,000	決算額	378,639,016	前年度 決算対比	107.2%	前年度 決算額	353,337,019
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 生活保護費

単位：円

当初 予算額	329,950,000	予算 現額	380,063,000	決算額	378,639,016	前年度 決算対比	107.2%	前年度 決算額	353,337,019
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

生活に困窮する者に対し困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。

II 事業の成果等

昨今の社会情勢、経済・雇用状況等を反映し、生活に関する相談が増加する中、当市の生活保護の状況は、令和2年3月現在、被保護世帯169世帯、被保護人員219人、保護率4.4%（パーミル）で前年度より減少した。被保護世帯は、様々な問題を抱えており、援助困難なケースや早期自立が難しいケースが多く、特に、高齢、傷病、障害世帯は保護が長期化する傾向にある。

福祉事務所では、生活保護制度の適正実施のため、面接相談、ケース診断の実施による保護開始決定、ケースワーカーによる生活保護世帯の家庭訪問、収入申告、資産申告の指導等を行った。

また、須坂市生活就労支援センター（まいさぼ須坂）、須坂公共職業安定所（ハローワーク須坂）等の関係部署・機関との連携を一層図りながら、世帯の自立に向けて組織を挙げて指導援助に努めた。

なお、生活保護申請をした世帯が、当面の生活のための所持金がない、あるいはライフラインが止まってしまふなど、窮迫の状態にある場合などに対応するため、生活支援金貸付制度を設け、支援金の貸付けを行うことで、保護決定までの間の生活を支援することができた。

III 事業の実績

1 生活保護の状況

年 月	世帯類型別保護世帯数					人員	保護率(%)
	高齢	母子	傷病・障害	その他	計		
令和2年3月	86	7	42	34	169	219	4.4
平成31年3月	83	11	50	30	174	234	4.7

2 生活保護の実施状況

区 分	延世帯数	延人員	扶助費(円)	構成比率(%)
生活扶助	1,797	2,368	92,714,237	28.69
住宅扶助	1,683	2,249	38,550,182	11.93
教育扶助	113	182	1,375,562	0.43
介護扶助	334	340	6,697,493	2.07
医療扶助	1,906	2,327	162,731,406	50.35
出産扶助	0	0	0	0.00
生業扶助	69	77	1,152,760	0.36
葬祭扶助	4	4	973,205	0.30
保護施設事務費	147	147	18,975,752	5.87
就労自立給付金	0	0	0	0.00
計	6,053	7,694	323,170,597	100.00

3 保護の開始及び廃止状況

保護の開始理由 (世帯)					保護の廃止理由 (世帯)					
主の疾病	収入の減少等	就労困難 (高齢者・障害者)	その他	計	稼働収入の増加	他法活用	転出	死亡	その他	計
8	7	5	1	21	3	9	5	4	8	29

4 生活保護法による救護・授産施設入所、通所状況

施設名	年間実入所者数	事務費(円)
清和寮	2	4,494,416
旭寮	2	3,999,500
共和寮	1	2,133,130
阿南富草寮	1	2,093,526
福祉企業センター(授産)	8	6,255,180
計	14	18,975,752

5 生活支援金貸付状況

件数 17件 貸付金額 513,492円

6 面接件数等

- (1) 面接相談 相談者数 84人 延相談回数 93回
 (2) ケース検討会 開催回数 34回 検討件数 93件
 (3) 被保護世帯家庭訪問件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	26	55	59	43	31	41	33	59	43	35	44	39	508

3-4-1 (目) 人権同和政策総務費

単位：円

当初 予算額	14,749,000	予算 現額	14,663,000	決算額	13,926,359	前年度 決算対比	98.5%	前年度 決算額	14,144,373
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 人権政策事業

単位：円

当初 予算額	2,717,000	予算 現額	2,687,000	決算額	2,558,824	前年度 決算対比	108.8%	前年度 決算額	2,351,433
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

須坂市人権政策推進基本方針及び須坂市人権政策実施方針に基づき、人権が尊重され、差別のない明るい社会の実現のため、あらゆる差別をなくす事業をすすめる、また人権啓発事業により市民意識を向上させる。

II 事業の成果等

同和問題をはじめとしてさまざまな人権課題の解決に向けて人権政策・人権教育を一層進めるために、部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会の開催や須坂市人権政策推進基本方針推進本部員会議並びに幹事会議を開催して、須坂市人権政策推進基本方針に沿った施策について協議を行ない、具体的施策の達成に向けて各課が取り組んだ結果、人権意識向上のための啓発活動を推進することができた。

福島人権ふれあいセンター、二睦学習センターを指定管理者制度により部落解放同盟須坂市協議会が円滑な管理運営を行った。本郷学習センター、本郷人権ふれあいセンター、本郷卓球場、本郷児童遊園地、本郷駐車場は部落解放同盟須坂市協議会に管理を委託し、円滑な管理運営を行った。

III 事業の実績

1 部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会

開催日	出席委員	審 議 会 内 容
5月30日	委員15人中 12人	(1) 須坂市人権政策推進基本方針に基づく市行政の取組み実績について (具体的な取組み 人権教育講座、児童虐待防止研修会など 講座や研修会の開催、広報須坂を利用した啓発活動 等) (2) その他

2 人権政策推進基本方針の取組み

(1) 人権政策推進基本方針推進本部員会議（市長、副市長、教育長、全部局の長、人権同和政策課、人権同和教育課）

開催日	出席者	会 議 内 容
4月23日	17人	(1) 須坂市人権政策推進基本方針に関する各課の取組みについて (2) その他

(2) 人権政策推進基本方針推進本部幹事会議

(社会共創部長、関係課長、人権同和政策課、人権同和教育課)

開催日	出席者	会 議 内 容
5月16日	26人	(1) 須坂市人権政策推進基本方針に関する各課の取組みについて (2) その他

3 指定管理等の状況

(1) 福島人権ふれあいセンター

指定管理者 部落解放同盟須坂市協議会
 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
 管理経費 142,000円(2019年度)

(2) 二睦学習センター

指定管理者 部落解放同盟須坂市協議会
 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
 管理経費 216,000円(2019年度)

4 本郷地区地域人権交流施設等の管理委託

委託先 部落解放同盟須坂市協議会
 委託期間 4月1日～3月31日
 委託料 50,000円
 委託内容 本郷学習センター、本郷人権ふれあいセンター、本郷卓球場等施設の貸出管理、
 本郷児童遊園地、本郷駐車場の除草、除雪等周辺環境の整備

5 地域人権交流施設の工事及び修繕

施設名	工事名	請負先	金額
本郷学習センター	棟板金修繕工事	協建匠須高	14,040円
本郷格納庫	シャッター修繕工事	小林表具店	188,100円
福島児童遊園地	ベンチ補修工事	須高建設産業労働組合	6,771円

6 土地借上げ

二睦児童遊園地(大字井上2082番地2 250.7㎡のうち216.7㎡) 年額 62,060円

7 第56回長野県部落解放研究集会への参加

第56回 長野県部落解放研究集会に、部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護審議会委員が研修の機会として大会に参加した。

12月25日 須坂市文化会館メセナホール 参加委員 3人

8 部落差別の解消の推進に関する法律の周知

部落差別の解消の推進に関する法律(平成28年12月16日法律第109号)の施行に伴い、人権交流センター事業や、町別人権問題学習会等で周知を行い、部落差別解消の意識啓発を行った。

■ 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす活動助成事業

単位：円

当初 予算額	2,300,000	予算 現額	2,300,000	決算額	1,737,000	前年度 決算対比	80.3%	前年度 決算額	2,164,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

部落差別をはじめあらゆる差別の早期解消をめざし活動する団体が行う事業を支援し、人権が尊重され、差別のない明るい社会の実現を図る。

II 事業の成果等

部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟須高地区協議会が行った部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための事業に要した経費に対し補助金を交付して、運動団体の指導的な人材が育成され資質向上が図られた。

部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟長野県連合会との行政懇談会を行い、差別解消に向けた意見交換を行い、課題を共有することができた。

部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会に対して負担金を交付し、人権侵害救済法の早期制定に向けた須高地区大会を支援し、参加した住民の意識向上が図られた。

III 事業の実績

1 行政懇談会

(1) 部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟長野県連合会

2019 部落解放・人権政策確立要求長野県内行動【統一要求書】(部落解放同盟長野県連合会)及び部落解放・人権政策確立独自要求書(部落解放同盟須坂市協議会)に基づき懇談を行なった。

出席者 運動団体 部落解放同盟長野県連合会執行委員長、部落解放同盟須坂市協議会会長、同支部長他

須坂市 市長、教育長、社会共創部長、教育次長、人権同和政策・教育課長他

月 日	主 な 懇 談 内 容
11 月 19 日	ア 「部落差別の解消の推進に関する法律」の理念の「須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例」への反映に関する基本姿勢について イ インターネット上の差別解消のための、須高3市町村による「モニタリング事業」の取組み状況について ウ 「部落差別の解消の推進に関する法律」の周知・啓発について エ 「須坂市部落差別をはじめあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例」の見直し・改正について オ 部落差別解消のための施策立案について カ 部落差別解消の取組み計画(教育・啓発計画)について キ 部落差別を解消するための住民への教育・啓発等について ク 教育・啓発推進のための人材育成の仕組みづくりについて ケ 部落差別の実態に係る調査について コ 部落差別に関する相談体制の充実・強化について サ インターネット上の差別解消に向けたモニタリングの実施と法規制について シ 部落差別解消のための協力団体との連携について

2 部落解放・人権政策確立要求須高地区大会

期 日 6月26日

場 所 須坂市文化会館メセナホール

参加者 550人

内 容 演題 「部落差別解消推進法と差別を許さない社会づくり」

講師 部落解放同盟東京都連合会 近藤 登志一氏

3 部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための活動事業

部落解放同盟須坂市協議会及び部落解放同盟須高地区協議会が行う活動に対し、補助金を交付した。

事業の種類	交付団体	補助金額(円)
市民人権教育・研修事業	部落解放同盟須坂市協議会	201,000
市民人権教育・研修指導者養成事業	部落解放同盟須坂市協議会	1,020,000
	部落解放同盟須高地区協議会	416,000

■ 人権擁護事業

単位：円

当初 予算額	332,000	予算 現額	332,000	決算額	329,093	前年度 決算対比	104.5%	前年度 決算額	315,029
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

憲法で国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図る取り組みをしている人権擁護委員の活動を支援し、人権擁護活動について広く市民へ周知を図る。

II 事業の成果等

人権擁護委員の活動を支援することで、人権啓発活動等が進展する一助となった。

特に、特設人権相談所（よろずなんでも相談）の開設について隣組回覧等で広報したことにより、周知が図れ、相談者の人権問題解決の第一歩につなげることができた。

III 事業の実績

1 人権擁護委員の啓発活動

11月16日「第47回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」に合わせ、須崎市文化会館メセナホールホワイエで人権啓発資料等を配布し人権擁護活動の周知に努めた。

2 長野人権擁護委員協議会須高部会の活動

(1) 須高部会研修会

10月25日 人権交流センター 内容 人権侵犯事件と人権擁護委員のかかわり

(2) 須高部会打合せ

6月4日、7月18日、9月10日、1月29日 人権交流センター
内容 長野人権擁護委員協議会須高部会事業計画等について

(3) 企業等への人権啓発活動

12月4日 JAながの がりゅうの里

(4) 子ども人権教室

9月25日 高山村児童クラブ

(5) 須高部会総会

2月14日 人権交流センター

3 人権擁護委員の相談活動

(1) 長野地方法務局における日常相談活動

(2) 特設人権相談所開設（よろずなんでも相談）

月 日	相 談 時 間	場 所	相談件数
4月16日	午前10時～正午	人権交流センター	1
5月21日	午前10時～正午	人権交流センター	1
6月14日	午前10時～午後3時	シルキーホール	3
7月16日	午前10時～正午	人権交流センター	1
8月20日	午前10時～正午	人権交流センター	0
9月17日	午前10時～正午	人権交流センター	0
10月15日	午前10時～正午	人権交流センター	0
11月19日	午前10時～正午	人権交流センター	0
12月13日	午前10時～午後3時	シルキーホール	5
1月21日	午前10時～正午	人権交流センター	2
2月18日	午前10時～正午	人権交流センター	1
3月17日	午前10時～正午	人権交流センター	0
	計		14

■ 住宅新築資金等貸付金回収事業

単位：円

当初 予算額	60,000	予算 現額	60,000	決算額	37,435	前年度 決算対比	94.8%	前年度 決算額	39,508
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	-------	------------	--------

I 事業の目的

同和問題の速やかな解決を図るために貸付けた、住宅新築資金等貸付金を回収する。

II 事業の成果等

債務者及び連帯保証人との分納誓約に基づく償還により債権回収に努めている。また、償還が滞った際には催告を行い早めの徴収に結びつけた。

III 事業の実績

1 貸付の状況

区分	貸付累計		回収済額		貸付残高		令和2年以 降回収予定 額 (再掲)
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	
住宅新築資金	元金	205,300,000	28	194,466,105	3	10,833,895	1,216,222
	利息	51,900,761		48,419,514		3,481,247	72,229
	計	257,200,761		242,885,619		14,315,142	1,288,451
住宅改修資金	元金	191,562,000	113	189,357,545	1	2,204,455	
	利息	31,692,572		31,434,067		258,505	
	計	223,254,572		220,791,612		2,462,960	
宅地取得資金	元金	61,200,000	20	61,200,000	0	0	
	利息	13,979,521		13,979,521		0	
	計	75,179,521		75,179,521		0	
合計	元金	458,062,000	165	445,023,650	4	13,038,350	1,216,222
	利息	97,572,854		93,833,102		3,739,752	72,229
	計	555,634,854		538,856,752		16,778,102	1,288,451

令和5年度までの償還金額も含む

2 現年度償還分回収の状況

区分	現年度償還分回収予定額 ①		本年度回収済額②		未回収額 (滞納額)	
	実件数	貸付金 (円)	件数	貸付金 (円)	件数	貸付金 (円)
住宅新築資金	元金	347,311	1	31,963	1	315,348
	利息	49,181		9,037		40,144
	計	396,492		41,000		355,492

3 過年度滞納分回収の状況

区分	過年度滞納分累計 (年度当初) ③		本年度回収済額④		未回収額 (滞納額)	
	実件数	貸付金 (円)	件数	貸付金 (円)	件数	貸付金 (円)
住宅新築資金	元金	9,414,635	3	112,310	3	9,302,325
	利息	3,436,564		67,690		3,368,874
	計	12,851,199		180,000		12,671,199
住宅改修資金	元金	2,414,737	2	210,282	1	2,204,455
	利息	287,353		28,848		258,505
	計	2,702,090		239,130		2,462,960
宅地取得資金	元金	0	0	0	0	0
	利息	0		0		0
	計	0		0		0
合計	元金	11,829,372	5	322,592	4	11,506,780
	利息	3,723,917		96,538		3,627,379
	計	15,553,289		419,130		15,134,159

4 本年度回収率 2.9%

(現年度分償還予定額と過年度滞納分累計の合計に対する本年度回収済額の割合 (②+④) / (①+③) ×100)

3-4-2 (目) 人権交流センター費

単位：円

当初 予算額	17,190,000	予算 現額	17,007,000	決算額	16,793,470	前年度 決算対比	115.6%	前年度 決算額	14,530,473
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 人権交流センター運営事業

単位：円

当初 予算額	8,976,000	予算 現額	8,796,000	決算額	8,583,996	前年度 決算対比	135.1%	前年度 決算額	6,355,032
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。

II 事業の成果等

各種相談事業・人権交流講座・地域福祉事業や市民への広報活動として広報須坂への記事掲載を実施し、全学的な人権問題の啓発や地域の実態に即した相談活動を行うことができた。

III 事業の実績

1 人権交流センター運営審議会 委員7人中7人出席

開催日	審議会内容
5月24日	(1) 須坂市人権交流センター運営審議会の役割等について (2) 須坂市人権交流センター事業の実施状況について (3) 須坂市人権交流センター事業の計画について (4) 須坂市人権交流センター事業への要望・意見等について

2 人権交流センター運営懇談会 参加対象者23人

参加範囲：福島・二陸・本郷・新田・屋部町区長、同町公民分館長、同地区民生児童委員、部落解放同盟須坂市協議会役員

開催日	懇談会内容
3月18日 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	(1) 須坂市人権交流センター事業の目的等について (2) 須坂市人権交流センター事業の実施状況について (3) 須坂市人権交流センター事業の計画について (4) 須坂市人権交流センター事業への要望・意見等について

3 人権交流講座

対象地域住民と周辺地域住民・PTA会員等が参加して人権交流講座を実施した。

開催日	演題	講師	参加人数 (人)
5月28日	学校と家庭における子どもの人権	篠原 康広 氏	97
6月18日	高齢者介護支援から人権を考える	徳竹 順一 氏	96
7月23日	子どもの人権について考える	宮寄 貞子 氏	84
計			277

4 相談事業

(1) 総合相談窓口として随時、人権交流センターで相談に応じる「日常相談」

相談内容	相談件数 (件)
1 同和問題の相談	0
2 就労就職の相談	0
3 職場の相談	0
4 近隣所の相談	4
5 家族の相談	1
6 教育の相談	0
7 健康・介護の相談	0
8 暮らし (生活、収入等の相談)	1
9 町別等人権問題学習会	23
10 その他 (金銭問題など)	6
計	35

(2) 人権交流センター指導員が対象地域の家庭を戸別訪問する「ふれあい相談」
訪問件数 延べ 33 軒

5 生活相談事業委託 委託先 部落解放同盟須坂市協議会 委託料 324,000 円
対象地域での生活相談員 3 人に「生活相談事業」を委託した。

相談内容	相談件数 (件)
1 同和問題の相談	0
2 就労就職の相談	0
3 職場の相談	0
4 近隣所の相談	0
5 家族の相談	4
6 教育の相談	0
7 健康・介護の相談	1
8 暮らし (生活、収入等の相談)	1
9 その他 (土地の管理、区役員についてなど)	25
計	31

6 広報啓発事業

(1) 広報活動

広報須坂掲載(5、6、7、8、9、10、11、12、1、2月 人権教育啓発標語は毎月)

(2) 各町「人権問題学習会」への協力

町の人権問題学習会担当者との企画の相談や、学習会での助言等の支援をした。

69 町中 68 町 延べ 131 回

(3) 「人権教育リーダー研修会」「人権教育講座」「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」「人権を考える市民のつどい」で、事務局と一体となって準備・運営等を行った。

(4) 人権教育関係のビデオと図書等の貸出

DVD及びビデオ 124 回 図書 50 冊 プロジェクター 20 回 スクリーン 3 回
ビデオデッキ 15 回

DVD及びビデオの貸出状況

題名	購入年度	回数	題名	購入年度	回数
あなたに伝えたいこと～ネット時代の同和問題 (36分)	2019	2	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権II (25分)	27	1
虐待防止 一児童虐待・高齢者虐待・DVー (47分)	平成 30	8	同和問題 ー未来に向けてー (19分, 61分)	26	1

題名	購入年度	回数	題名	購入年度	回数
誰もがその人らしく -LGBT- (20分)	30	11	あなたがあなたらしく 生きるために (30分)	26	4
コール&レスポンス -ハラスメン ト- (24分)	30	13	カラフルー家庭の中の人権- (31分)	26	4
障がいのある人と人権 (33分)	30	6	Imagination 想うつながる一步ふみだす (34分)	26	4
原田要 平和への祈り 元ゼロ戦パ イロットの100年 (86分)	30	1	日常の人権I (女性・子ども・高齢者) (23分)	25	4
わかかカフェへようこそ (32分)	29	6	日常の人権II (外国人・障がい者・同 和問題・インターネット) (23分)	25	2
ケータイ・ネットここが心配(23分)	29	7	桃香の自由帳 ～共生社会と人権～ (36分)	24	2
夫婦で差別と闘います～結婚問題～ (30分)	29	7	インターネットと人権 ～凶器となるネット～ (22分)	23	2
フェアな会社で働きたい (25分)	29	2	心のケアと人権(職場) (22分)	23	1
インターネットと人権 ～SNSの 被害者・加害者～ (30分)	28	1	幼児・児童虐待 (25分)	23	3
外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～(33分)	28	1	人権のヒント・地域編 (22分)	22	2
未来への虹 ～僕のおじさんは ハンセン病～ (30分)	28	2	私の中の差別意識 ～部落差別問題から～(24分)	22	1
コミュニケーションと 職場の人権2 (23分)	28	1	部落の歴史 (中世～江戸時代) (27分)	20	2
東山文化を支えた 「差別された人々」(18分)	28	1	今日もよか天気たい～視覚障がい者 ～ (35分)	20	1
明治維新と賤民廃止令 (18分)	28	2	えっ!これも人権 (30分)	19	1
光射す空へ (32分)	28	5	老いを生きる ～今日もどこかでサ インが～ (35分)	19	8
聲(こえ)の形 (30分)	27	2	一枚の絵手紙 (43分)	14	1
ヒューマン博士と考えよう (28分)	27	2	赤の他人はなかりけり (31分)	07	1
多様性を尊重した職場の コミュニケーションと人権I (25分)	27	1	新ちゃんが泣いた (37分)	元	1

(5) 人権交流センター啓発チラシ

人権交流センターの事業について、市民へ啓発するため、チラシを作成し各種講座及び運営懇談会等で配布した。(約350枚)

(6) 人権啓発パネルによる啓発

シルキーホールでの展示 6月1日～14日、12月1日～13日
各地域公民館で巡回展示 年間

(7) DVD上映(視聴)会

町別学習会や児童生徒・教職員・PTA研修、企業人権研修に活用している人権啓発DVDを、より多くの市民に利用していただくため実施した。

5月21日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日、11月21日、1月21日、
計7回 延べ参加者数 48人

(8) 教職員、PTA役員等を対象に「人権教室」を実施

8月8日 参加者数 3人

7 地域福祉事業

料理交流会

対象地域住民と周辺地域住民を中心に料理交流会を開催し、参加者の親睦・交流を図りながら人権について理解を深める機会とした。

開催日	講習内容	講師	参加人数(人)
8月27日	クリームパン、韓国風サラダ、冷やし黒ごましるこ	坂口 恵美子 氏	18
12月17日	手打ちそば、かき揚げ天ぷら	中尾 照美 氏 涌井 美代 氏	15
2月25日	白菜のクリーム煮、白菜ごはん、具だくさんの粕入りきのこ汁、コーヒールんごのヨーグルト添え	浜岡 一美 氏	20
計			53

8 人権交流センター利用回数等

利用回数 288回 利用者数 4,396人

会議室等	相談室	1階会議室	2階会議室	1・2階 会議室	料理実習室・ 1階会議室	合計
利用者数(人)	27	370	3,701	106	192	4,396
前年度利用者数	41	256	4,003	265	329	4,894

冷暖房使用料 10,400円

9 人権交流センターの施設工事及び修繕

- | | | |
|--------------------|---------------|--------------|
| (1) 印刷機修繕 | 請負先 (資) カミヤ長張 | 請負金額 19,440円 |
| (2) 事務室照明器具修繕工事 | 請負先 川上電器 | 請負金額 29,150円 |
| (3) 男子トイレ洗面台排水修繕工事 | 請負先 (協) 建匠須高 | 請負金額 8,800円 |

10 土地借上げ

駐車場土地借上料 (大字小山 1262 - 1 1,172㎡のうち 431.72㎡分) 年 298,765円

3-5-1 (目) 災害救助費

単位：円

当初 予算額	5,000,000	予算 現額	265,450,000	決算額	148,615,073	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

■ 災害弔慰金等支給事業

単位：円

当初 予算額	5,000,000	予算 現額	155,555,000	決算額	95,393,500	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、自然災害により被災した方に弔慰金等を支給する。

II 事業の成果等

- 1 災害弔慰金 実績なし
- 2 被災者生活再建支援金 204件 95,375,000円 (令和元年東日本台風災害)
- 3 災害援護資金貸付金 実績なし

■ 災害救助事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	15,759,000	決算額	12,306,514	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風による被害に対応するため、避難所等での生活支援に係る経費の支払い事務を実施。

II 事業の成果等

令和元年東日本台風による被害対応のため、避難所などの運営経費、被災者の生活支援に係る経費、及びボランティアに係る経費等の支払いを迅速に行った。

III 事業の実績

次の科目について支出事務を行った。

支出科目等	主な内容等	支出額 (円)
需用費 消耗品費	避難所で必要な生活用品・衛生用品、被服類、復旧作業に必要な物品等の代金の支出	4,798,187
需用費 燃料費	車両用燃料・暖房用燃料の代金の支出	400,619
需用費 食糧費	避難所での避難者の食事(弁当等)の代金の支出	2,609,041
需用費 光熱水費 電気料	避難所の電気料の支出	79,632
需用費 光熱水費 水道料	避難所の水道料の支出	35,010
需用費 光熱水費 下水道使用料	避難所の下水道使用料の支出	38,710
需用費 医薬材料費	被災者宅消毒薬・消石灰、避難所用医薬品(湿布薬・鎮痛解熱剤・絆創膏等)等の代金の支出	589,948
役務費 通信運搬費 電話料	ボランティアセンター用電話代の支出	60,063
役務費 手数料	仮設掲示板設置、北相之島町公会堂洗濯機設置、仮設トイレ汲み取りの各手数料の支出	262,944
委託料 シルバー人材センター委託料 災害支援物資配達業務委託料	災害支援物資配達業務の委託料の支出	27,760
使用料及び賃借料 借上料	仮設トイレ・ボランティア送迎用車両の借上料の支出	481,800
備品購入費	避難所用加湿器3台(購入)の代金の支出	521,400
負担金補助及び交付金 負担金 被災者無料入浴負担金	須坂温泉及び湯っ蔵んどへの避難者及びボランティアの入浴分の負担金の支出	2,401,400

■ 福祉避難所運営事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	2,583,000	決算額	1,888,008	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

指定避難所での生活に支障がある方のために福祉避難所を設置し運営を行う。

II 事業の成果等

令和元年東日本台風による避難者を受け入れるため福祉避難所を開設した。

1 設置状況

福祉避難所名	開設日	閉鎖日	開設日数	利用実人員	運営費用 (円)
総合福祉施設須坂やすらぎの園	10月12日	11月10日	30	22	1,236,650
グリーンアルム複合施設	10月13日	10月13日	1	2	20,715
特別養護老人ホーム須坂荘	10月13日	11月10日	29	10	153,117
特別養護老人ホームぬくもり園	10月12日	10月13日	2	5	0
ケアネット長野サービスセンター	10月13日	11月10日	29	13	328,306
障がい者支援施設さくらの杜育豊	10月13日	12月24日	73	2	147,420
須坂悠生寮	10月12日	10月13日	2	3	1,800

■ 住環境改善事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	924,000	決算額	216,800	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	---------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

県と県ホテル旅館生活衛生同業組合との協定に基づき、高齢者や乳幼児等の災害時要援護者に対し、宿泊施設を一時的に提供する。

II 事業の成果等

市と市内宿泊施設が協定を締結し、高齢者や乳幼児等の要援護者に対し、令和元年東日本台風による一時的な避難場所として、市内宿泊施設を提供した。

1 提供状況

施設名	協定締結日	利用人数	利用述べ日数	借上料(円)
四明館	10月21日	7	21	107,800
須坂温泉古城荘	10月27日	7	21	109,000

■ 被災住宅応急修理事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	90,629,000	決算額	38,810,251	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により住宅が一部損壊（準半壊）以上の被害を受け、自ら修理する資力のない世帯に対し、災害救助法に基づき被災した住宅の居間、台所、トイレ等日常生活に必要な最低限度の部分の応急修理を実施する。

II 事業の成果、実績等

1 住宅の応急修理にかかる費用の限度額	大規模半壊及び半壊	1世帯あたり	595,000円
	一部損壊（準半壊）	1世帯あたり	300,000円

2 応急修理実施状況

(1) 当該年度中の受付件数	90件
(2) 応急修理費用支出額	38,810,251円（71件）

款 4 衛 生 費

(款4) 衛生費

単位：円

当初 予算額	1,634,162,000	予算 現額	2,162,697,280	決算額	1,610,215,263	前年度 決算対比	112.5%	前年度 決算額	1,431,548,705
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

4-1-1 (目) 保健衛生総務費

単位：円

当初 予算額	153,469,000	予算 現額	138,776,000	決算額	137,805,320	前年度 決算対比	108.2%	前年度 決算額	127,414,936
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	406,000	予算 現額	387,000	決算額	333,300	前年度 決算対比	24.7%	前年度 決算額	1,347,254
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

保健予防事業に関し、関係機関との連携を深め総合的な保健対策を推進する。

II 事業の成果等

保健予防事業に関する関係機関との連携を深め、市民の健康の保持及び増進を図るとともに、総合的な保健対策を推進した。

III 事業の実績

1 健康づくり推進協議会の開催

市民の疾病予防及び保健事業の総合的な事業の計画・推進について協議するため、健康づくり推進協議会を開催した。

(1) 第1回 7月29日 出席委員11人

- ア 平成30年度保健予防事業及び介護予防事業の報告について
- イ 令和元年度保健予防事業及び介護予防事業の計画について
- ウ 福祉医療費給付金制度及び福祉医療費資金貸付金制度の概要
- エ 第2期須坂市母子保健計画策定に向けたこれまでの取組みについて
- オ その他

(2) 第2回 1月27日 出席委員11人

- ア 第2期須坂市母子保健計画について
- イ その他

2 須高医師会等との連絡調整会議の開催等

(1) 須高医師会と3市町村担当者連絡会 11月18日

- ア 令和元年度予防接種、各種健康診査事業等について

(2) 三師会との健康管理及び健康増進打合せ会議 2月10日

3 熱中症対策

市民の健康保持のため、熱中症の時期に広報須坂への掲載及び市民への啓発を行った。
暑さ指数が一定数値以上の場合、屋外放送による注意喚起を実施した。

■ 地域医療対策事業

単位：円

当初 予算額	9,933,000	予算 現額	9,738,000	決算額	9,236,910	前年度 決算対比	108.8%	前年度 決算額	8,486,234
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

緊急医療など地域医療の確保を図る。

II 事業の成果等

県立信州医療センター内の須高休日緊急診療室による緊急医療の充実など、関係機関と連携し、地域医療の確保が図れた。

III 事業の実績

地域の緊急医療を確保するため、須高行政事務組合診療所費負担金、日赤長野県支部須坂地区負担金、長野県包括医療協議会須高地区協議会負担金、病院群輪番制病院運営事業負担金、峰の原高原住民医療負担金を支出した。

また、医師確保のため、医師就労支援事業補助金制度により医師の就労と家庭生活の両立を支援を図る。

1 医師就労支援事業

医師の就労等社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援するため、ベビーシッターサービス等の利用に要した経費を補助

(1) 利用者 0名 (申請件数 0件)

2 その他

地域医療の役割分担(須高地域3病院の紹介)を広報須坂により周知 12月

■ 地域医療福祉ネットワーク推進事業

単位：円

当初 予算額	1,408,000	予算 現額	1,233,000	決算額	1,072,236	前年度 決算対比	74.1%	前年度 決算額	1,447,587
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるために、地域の医療体制整備や感染症対策、関係機関とのネットワーク構築を推進する。

II 事業の成果等

感染症対策として、新たに須高地域の高齢者福祉施設等におけるインフルエンザ罹患者発生時の把握を行い、早期の感染予防・感染対策を図った。また、2月に第1専門委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症について情報共有し、感染拡大防止の対応を進めることができた。

地域医療福祉ネットワーク推進事業は、2010年度に発足してから10年の節目を迎え、三市町村の関係機関等の協力により、地域医療福祉の連携体制が強化されている。

III 事業の実績

1 須高地域医療福祉推進協議会の全体運営に関すること

(1) 須高地域医療福祉推進協議会理事会 7月22日 須高医師会館 出席者10人

ア 平成30年度事業報告及び決算報告について

イ 2019年度事業計画案及び予算案について

(2) 須高三市町村連絡会 5月10日 8月26日 11月15日

ア 地域医療福祉ネットワーク推進事業、在宅医療・介護連携推進事業について

- イ 安心して産み育てられる地域づくりの取組について
 - ウ 地域医療福祉ネットワーク推進事業 10年のまとめの冊子発行について
- (3) 冊子「地域医療福祉ネットワーク推進事業 10年のあゆみ」発行 3月
- 2 第1専門委員会（感染症及び災害時の医療体制整備）の随時開催
- 5月29日 第1専門委員会の事業について、前年度開催の医療救護活動訓練報告、須高地域災害時医療救護活動マニュアル修正について
 - 2月27日 新型コロナウイルスについて
- 3 医師・看護師不足の取組
- (1) 安心して産み育てられる地域づくりの取組
- ア 須高地域における妊娠から出産に関わる担当者交流会の開催
 - 2月20日 県立信州医療センター講堂 出席者34人
 - 参集機関 県立信州医療センター、須坂市、小布施町、高山村、（北信総合病院）
 - 内容 須高地域の現状報告
 - 研修 演題「妊産婦のメンタルヘルスの支援 ～気づいて・つないで・支える～」
 - 講師 国立成育医療研究センター こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科 診療部長 立花良之氏
 - イ 須高三市町村広報誌への須高三病院の看護職員募集に関する記事掲載 4月
- 4 感染症対策事業
- (1) 感染症予防研修会の開催
- 11月19日 県立信州医療センター講堂 出席者25人（須高地域の施設、通所事業所職員対象）
 - 講演 「施設・通所事業所におけるインフルエンザ対策について」
 - 講師 県立信州医療センター 院長補佐 感染症疾患センター長 山崎善隆氏
- (2) 須高地域高齢者福祉施設等におけるインフルエンザ罹患患者発生時の把握
- 期 間 インフルエンザシーズンの第1報<第36週>から翌年5月中旬<第20週>頃まで
 - ※2019年度は12月19日から
 - 方 法 各施設等において新たな罹患患者が発生したときのみ、入所者・職員に分けて発生状況を報告
 - 集計結果を県立信州医療センター、報告対象施設へ情報提供
 - 県立信州医療センターは、感染拡大防止のための助言や院内の面会制限等の情報提供を行う。
 - 集計結果 25人（上記期間内の報告合計）
- (3) 感染症情報の提供
- 須高地域感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集と情報発信
 - ア インフルエンザ等の感染症情報を市ホームページや地元ケーブルテレビで発信（毎日更新）
 - イ 欠席者情報を集積し、幼稚園、保育園、学校等へ配信（毎日）
 - ウ 感染症情報を必要に応じて須高医師会、入力施設等へ提供（第1～2号）
 - エ 感染症の統計資料作成
- (4) 手洗いチェッカーの貸出し
- インフルエンザ等の感染予防対策として、須高地域の幼稚園、保育園、小・中学校、福祉施設等へ手洗いチェッカーの貸出しを行った。 貸出し数 延31台
- 5 大規模災害時の医療体制整備
- (1) 須高地域災害時医療救護活動マニュアルの整備
- 前年度に行った医療救護活動（エマルゴ）訓練でのマニュアル検証・講師助言を基に7ページ「指揮命令系統の体系及び情報伝達手段」を一部修正 6月

6 その他

- (1) 「地域医療福祉ネットワークの窓」掲載
 広報須坂に「地域医療福祉ネットワークの窓」を掲載し、感染症対策情報等を紹介（4.9.12.3月）
- (2) 発電機の貸出し
 人工呼吸器使用者2人に貸出し
- (3) 骨密度測定器の貸出し
 各町の健康講座、文化祭等へ 32回貸出し

4-1-2 (目) 予防費

単位：円

当初 予算額	304,100,000	予算 現額	291,674,000	決算額	250,841,105	前年度 決算対比	99.5%	前年度 決算額	252,175,213
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 予防接種事業

単位：円

当初 予算額	133,152,000	予算 現額	133,161,000	決算額	114,156,021	前年度 決算対比	91.6%	前年度 決算額	124,648,667
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

「予防接種法」等に基づき、乳幼児、児童、高齢者を対象に予防接種を実施し、感染症予防を図り、公衆衛生の向上に努める。

II 事業の成果等

「予防接種法」に基づき、各種予防接種を実施し、感染症予防に努めた。また、65歳以上の高齢者を対象にしたインフルエンザに加え、高齢者用肺炎球菌予防接種を実施し、肺炎を併発して重症化しやすい高齢者の罹患防止に努めた。

III 事業の実績

1 法定予防接種

個別接種については、須高医師会及び長野県医師会と契約して通年実施した。

子宮頸がん予防ワクチンについては、平成25年6月14日厚生労働省の積極的勧奨の差し控えにより、今年度も集団予防接種を見合わせた。

日本脳炎については、平成17年5月30日厚生労働省の中止勧告により、その後の実施は特別な事情を除き中止していたが、平成22年度から厚生労働省通知に基づき接種勧奨を順次再開している。

種 別	接種者数 (人)	委託単価 (円)		委託料 (円)
		4月～9月	10月～3月	
A 類	二種混合 (ジフテリア・破傷風)	382	4,489 4,320	4,515 4,346
	日本脳炎	1,822	6,595 6,426	6,660 6,491
	麻しん	0	6,058 5,889	6,113 5,944
	風しん	0	6,091 5,922	6,146 5,977
	麻しん風しん混合	699	9,619 9,450	9,740 9,571
	四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ)	1,325	10,105 9,936	10,235 10,066
	不活化ポリオ	1	9,003 8,834	9,113 8,944
				74,459,971 (通年実施)

種 別	接種者数 (人)	委託単価 (円)		委託料 (円)
		4月～9月	10月～3月	
A 類	B C G	329	6,455 6,286	6,517 6,348
	子宮頸がん予防ワクチン	10	16,205 16,036	16,448 16,279
	ヒブワクチン	1,232	7,556 7,387	7,639 7,470
	小児用肺炎球菌	1,233	10,861 10,692	11,005 10,836
	水痘	631	8,053 7,884	8,145 7,976
	B型肝炎	973	5,410 5,241	5,453 5,284
	予診のみ	6	2,530 2,530	2,530 2,530
B 類	高齢者用肺炎球菌	583	8,042 8,042	8,134 8,134
	予診のみ	1	1,933 1,933	1,933 1,933

注) 単価欄の上段は、県立信州医療センター以外、下段は、県立信州医療センターの単価を示す。

B 類	高齢者インフルエンザ	9,041	4,100	4,100	37,125,500 (10～1月)
	予診のみ	1	1,933	1,933	

2 予防接種健康被害救済給付

予防接種法に基づき、予防接種健康被害救済給付制度により医療費・医療手当の給付を行った。

給付者数 1名
 医療を受けた日数 入院外診療 5日
 医療費・医療手当額 139,200円

■ 予防接種事業（市単独実施）

単位：円

当初 予算額	8,357,000	予算 現額	9,357,000	決算額	8,752,943	前年度 決算対比	108.2%	前年度 決算額	8,093,005
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

集団生活等での感染症を予防し、重症化を防ぐため、乳幼児、児童を対象に予防接種費用の助成を実施し、公衆衛生の向上に努める。

II 事業の成果等

任意予防接種として、生後6か月から中学校3年生を対象にインフルエンザ予防接種費用の一部助成を10月から1月まで実施し、インフルエンザ感染による重症化予防ができた。

III 事業の実績

1 子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成

子どもは、保育園、小中学校等、集団生活の場が多くあり、蔓延を防止する目的でインフルエンザ接種費用の助成を行った。

対象者 生後6か月～中学校3年生 助成額 1回1,200円

市民税非課税世帯・生活保護世帯等のワクチン接種者に対し、負担軽減を図るため全額助成した。

接種者延人数 6,780人 助成額 8,415,400円

■ 結核健康診断事業

単位：円

当初 予算額	6,394,000	予算 現額	5,370,000	決算額	5,293,854	前年度 決算対比	92.0%	前年度 決算額	5,756,866
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、レントゲン撮影による結核健康診断を実施し、結核予防に努める。

II 事業の成果等

65歳以上の方を対象に、各町公会堂等を巡回し結核健診を行った。また、公会堂等での受診が困難な方を対象にデイサービスセンターを巡回し、ストレッチャー健診を行い、結核感染予防ができた。

III 事業の実績

1 レントゲン撮影

長野県健康づくり事業団に委託し、公会堂や保健センター等で結核健診（間接撮影）を実施した。

通常の結核健診の受診が困難な方を対象に、長野県健康づくり事業団に委託し、ストレッチャー対応の検診車による直接撮影をデイサービスセンター6か所で実施した。

種 別	受診者数	要精検者	結核患者	委託料(円)
レントゲン(間接)	3,567	137	0	4,275,666
レントゲン(直接)	309	11	0	

■ 健康診査事業

単位：円

当初 予算額	135,332,000	予算 現額	122,921,000	決算額	115,710,569	前年度 決算対比	101.8%	前年度 決算額	113,676,675
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

後期高齢者健診、肝炎ウイルス検診、各種がん検診を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。

II 事業の成果等

75歳以上の市民が対象となる後期高齢者健診については、受診場所を、公会堂等での集団健診と指定医療機関での個別健診との選択制とし、希望者に実施することで、病気になるリスク発見ができた。

国によるがん検診推進事業に基づき、一定の年齢の女性に対して無料クーポン券、検診手帳を配付し子宮頸がん検診、乳がん検診の受診促進を図った。また県の子宮がん検診及び乳がん検診に係る市町村間相互乗入れ制度を活用し、受診機会の確保に努めた。

各種がん検診については、胃がん検診8人(内視鏡6人、X線2人)、大腸検診で7人、前立腺がん検診で9人のがんを発見した。要精検者には訪問や電話により、精密検査の受診勧奨を行った。

健診(検診)の理解を高め、より多くの方に受診してもらうため、がん検診の検査方法などを説明した「健診申込みガイド」を作成し配布することで、関心を高め受診のきっかけとした。

III 事業の実績

1 若年者健診

受診場所については、個別健診と集団健診の選択制とした。

個別健診は、須高医師会の協力を得て医療機関で、集団健診は、長野県厚生農業協同組合連合会へ委託し地域公民館等10会場(9日間)で実施した。

(1) 対象者 20歳～39歳の市民(勤務先や加入している健康保険では健診を受ける機会が無い者)

(2) 実施期間 6月～1月

- (3) 受診内容 【基本健診】 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、聴打診
 【詳細健診】 心電図検査、眼底検査
 (当日の検査値および医師の判断により実施)
- (4) 受診者
 受診者数 342 人
 受診者の内訳 ア 個別健診 267 人 イ 集団健診 65 人 ウ 人間ドック 10 人
- (5) 詳細健診受診者数
 ア 心電図検査 117 人
 イ 眼底検査 33 人
- (6) 委託料 3,116,873 円

2 後期高齢者健診

受診場所については、個別健診と集団健診の選択制とした。

個別健診は、須高医師会の協力を得て医療機関で、集団健診は、長野県厚生農業協同組合連合会へ委託し地域公民館等 10 会場（9 日間）で実施した。

- (1) 対象者 75 歳以上の市民
- (2) 実施期間 6 月～1 月
- (3) 受診内容 【基本健診】 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、聴打診
 【詳細健診】 心電図検査、眼底検査
 (前年度の検査結果、当日の検査値および医師の判断により実施)
- (4) 受診者・受診率
 対象者数 (75 歳以上) 8,371 人 受診者数 2,692 人 受診率 32.2%
 受診者の内訳 ア 個別健診 1,970 人 イ 集団健診 269 人 ウ 人間ドック 453 人
- (5) 詳細健診受診者数
 ア 心電図検査 1,299 人
 イ 眼底検査 343 人
- (6) 委託料 21,911,589 円

3 肝炎ウイルス検診

特定健診・後期高齢者健診と同時に実施した。

- (1) 対象者 40 歳以上の市民で、次のいずれかに該当する方

ア 今年度 40 歳になる者

イ 41 歳以上で肝炎検診未受診者のうち検診を希望する者

- (2) 実施期間 6 月～1 月

- (3) 受診内容 B 型肝炎ウイルス検診・C 型肝炎ウイルス検診

- (4) 受診者・受診率

ア 40 歳以上対象者数 14,177 人 受診者数 585 人 受診率 4.1%

うち国の健康増進法に基づく肝炎ウイルス検診実施要領の一部改正により、40 歳から 75 歳までの 5 歳刻みの年齢の者に無料受診の個別勧奨を実施した者は、3,674 人である。

区分	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳以上	合計
男 (人)	80	52	68	68	268
割合 (%)	29.8	19.4	25.4	25.4	100.0
女 (人)	126	56	66	69	317
割合 (%)	39.7	17.7	20.8	21.8	100.0
計 (人)	206	108	134	137	585
割合 (%)	35.2	18.5	22.9	23.4	100.0

イ 委託料 2,782,519 円

4 各種がん検診

長野県健康づくり事業団、須高医師会（子宮がん施設検診）に委託し実施した。

(1) 胃検診（消化器検診として、胃X線・大腸検診をセットで実施）

ア 40歳以上対象者数 20,460人 受診者数 993人 受診率 4.9%

要精検者数 71人 精検受診者数 67人 がん発見 2人

区分	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
男（人）	61	36	87	256	440
女（人）	155	82	136	180	553
計（人）	216	118	223	436	993
割合（%）	21.7	11.9	22.5	43.9	100.0

イ 委託料 5,577,892円

(2) 胃検診（内視鏡検診）

ア 50歳以上偶数年齢対象者数 8,066人 受診者数 622人 受診率 7.7%

要精検者数 46人 精検受診者数 43人 がん発見(早期がん) 6人(5人)

区分	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
男（人）	41	66	127	234
女（人）	101	125	162	388
計（人）	142	191	289	622
割合（%）	22.8	30.7	46.5	100.0

イ 委託料 10,278,210円

ウ 内視鏡検診に際し、須高三市町村胃がん内視鏡検診運営委員会を4回開催した。

(3) 大腸検診

ア 40歳以上対象者数 20,460人 受診者数 3,033人 受診率 14.8%

要精検者数 185人 精検受診者数 154人 がん発見 7人

区分	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
男（人）	101	110	257	741	1,209
女（人）	274	253	477	820	1,824
計（人）	375	363	734	1,561	3,033
割合（%）	12.3	12.0	24.2	51.5	100.0

イ 委託料 5,940,225円

(4) 子宮がん検診

ア 20歳以上偶数年齢女性 対象者数 6,857人 受診者数 1,169人（うち体部検診81人）

受診率 17.0% 要精検者数 25人（うち体部検診0人） 精検受診者数 21人 がん発見 0人

区分	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
受診者(人)	30	119	310	264	251	195	1,169
割合（%）	2.6	10.2	26.5	22.6	21.4	16.7	100.0

イ 委託料 8,424,663円

ウ 受診機会確保のため市町村間相互乗入れ制度を活用し、実施医療機関を拡大した。

(5) 乳房検診（超音波）

ア 30歳以上女性 対象者数 12,382人 受診者数 2,207人 受診率 17.8%

要精検者数 35人 精検受診者数 27人 がん発見 2人

区分	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
受診者(人)	390	432	330	477	578	2,207
割合（%）	17.7	19.6	14.9	21.6	26.2	100.0

イ 委託料 10,547,390円

(6) マンモグラフィ検診

ア 40歳～74歳偶数年齢女性 対象者数 3,952人 受診者数 1,119人 受診率 28.3%
要精検者数 75人 精検受診者数 72人 がん発見 2人

区分	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
受診者(人)	316	293	309	201	1,119
割合(%)	28.2	26.2	27.6	18.0	100.0

イ 委託料 7,608,487円

(7) 肺がん検診(らせんCT検診)

ア 40歳以上偶数年齢 対象者数 10,299人 受診者数 1,375人 受診率 13.4%
要精検者数 81人 精検受診者数 64人 がん発見 2人

区分	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
男(人)	81	90	130	282	583
女(人)	201	181	193	217	792
計(人)	282	271	323	499	1,375
割合(%)	20.5	19.7	23.5	36.3	100.0

イ 委託料 13,012,075円

(8) 前立腺がん検診

ア 50歳以上男性 対象者数 7,304人 受診者 1,124人 受診率 15.4%
要精検者数 66人 精検受診者数 55人 がん発見 9人

区分	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	合計
受診者(人)	128	289	707	1,124
割合(%)	11.4	25.7	62.9	100.0

イ 委託料 2,893,138円

(9) がん検診推進事業

ア 子宮頸がん検診

(ア) 20歳の女性(平成31年4月20日時点) 対象者数 231人 受診者数 15人
受診率 6.5% 要精検者数 0人 がん発見 0人

(イ) 委託料 162,774円

イ 乳がん検診

(ア) 40歳の女性(平成31年4月20日時点) 対象者数 327人 受診者数 73人
受診率 22.3% 要精検者数 6人 がん発見 0人

(イ) 委託料 739,144円

5 人間ドック受診補助

75歳以上の方の健康増進のため、人間ドックを受診した方に対し受診補助を行った。

対象人間ドック	上限補助額(円)	人数(人)	補助額総計(円)
半日又は1日	15,000	386	5,790,000
1泊2日又は2日間通院	30,000	67	2,010,000
計		453	7,800,000

6 「健康カレンダー」の作成・配布

がん検診の検査方法などをイラスト入りで説明した冊子「健康カレンダー」を作成し、全戸に配布した。

21,000部作成 489,500円

■ 風しん対策事業

単位：円

当初 予算額	20,865,000	予算 現額	20,865,000	決算額	6,927,718	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

風しんのまん延防止をするため、抗体保有率が低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性を対象に、対象者を3年に分け、風しんの抗体検査を行い、抗体価が基準値に満たない者に定期予防接種を行い抗体保有率を上げる。

II 事業の成果等

無料クーポン券を当該年度の対象者に迅速に送付することと合わせ、当該年度対象外の方も随時で対応し、個別の抗体検査や健康診断時に合わせて抗体検査を実施し、基準値に満たない者への予防接種で抗体保有率を上げた。

III 事業の実績

1 風しんの抗体検査

事業に参加している全国の医療機関、もしくは勤務先企業の健診で受診が可能

- (1) 対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性
- (2) 実施期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日
- (3) 受診者
受診者数 711人
受診者の内訳 ア 健診等の機会に行う場合 239人
イ 医療機関を受診して行う場合 472人
- (4) 委託料 3,837,998円
- (5) 事務委託手数料 213,300円

2 風しんの予防接種

- (1) 対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、抗体検査の結果が基準値に満たない者
- (2) 実施期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日
- (3) 受診者数 145人
- (4) 委託料 1,405,613円
- (5) 事務委託手数料 43,500円

4-1-3(目)健康づくり推進費

単位：円

当初 予算額	98,120,000	予算 現額	100,411,000	決算額	89,933,153	前年度 決算対比	97.8%	前年度 決算額	91,976,732
-----------	------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 母子保健事業

単位：円

当初 予算額	73,423,000	予算 現額	74,041,000	決算額	65,529,447	前年度 決算対比	97.9%	前年度 決算額	66,936,039
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図るため、妊娠出産包括支援事業、健康教育、健康診査、健康相談、訪問指導事業等を実施し、母子保健の向上を推進する。

II 事業の成果等

「すべての親と子が健やかに、こころ豊かに育つまちすぎか」を基本理念とする須坂市母子保健計画に基づき、妊娠出産包括支援事業、健康教育、健康診査、健康相談及び家庭訪問を行い乳幼児の健やかな成長・発達を促し、両親がいきいきと子育てができるよう支援した。また、妊婦健康診査と里帰り等出産への助成をし、安心、安全な出産を支援した。

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、子育て世代包括支援センター妊娠・子育てなんでも相談『おひさま』により、相談支援等を実施し、子育て支援機関と連携して切れ目のない支援を行った。

また、産後うつや新生児期の虐待予防として、医療機関と連携しエジンバラ産後うつ病質問票等の活用により、妊娠期から産後の育児不安の早期支援を行った。

「すべての親と子が健やかに、こころ豊かに育つまちすぎか」を基本理念とする須坂市母子保健計画の評価を踏まえ第2期須坂市母子保健計画を策定した。

III 事業の実績

1 須坂市子育て世代包括支援センター 妊娠・子育てなんでも相談『おひさま』

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため健康づくり課、保健センター、子ども課を窓口とした総合相談支援を提供する。

相談対応者数（健康づくり課、保健センター、子ども課の合計数）

区分	妊婦	産婦	乳幼児	保護者	その他	合計
件数 (件)	461	87	1,473	402	202	2,625

相談専用電話による電話相談件数 51 件（再掲）

区分	妊婦	産婦	乳児	幼児	その他	合計
件数 (件)	1	2	27	19	2	51

相談内容（重複あり）

相談内容	育児相談	栄養相談	発達相談	歯科相談	その他
件数 (件)	30	3	11	2	8

2 母子健康手帳の交付及び面接

母子の健康管理及び健診等の状況を記録するための母子健康手帳を交付し、全妊婦を対象に母子保健コーディネーター（保健師）による面接を行った。

交付件数 315 件

面接 330 人 電話 13 人（転入した妊婦も含む）

3 産前・産後サポート事業

妊娠中の心身の不安や出産後の育児不安に対し、保健師・助産師が保健指導を行った。

訪問 延 30 件 面接 延 26 件 電話 延 144 件

4 産後ケア事業の実施

産後も安心して子育てができるよう、出産から生後3か月の間に保健指導を必要とする母子が助産所または医療機関でデイケアや宿泊により母子へのケアや授乳指導・育児指導等のサービスを提供する産後ケア事業を実施した。平成31年4月からは、市外の産科医療機関へ委託先を拡大し、出産した医療機関で利用できるよう整備した。

利用者数 実 21 人 利用延日数 88 日（デイケア 7 日、宿泊 81 日）

5 周産期メンタルヘルス実務検討会の実施

県立信州医療センターと須高三市町村の連携により、妊娠・出産・育児を支える体制構築のため、実務検討会を実施した。

開催回数 6回 参加者数 91人 検討ケース 43件

6 子育てセミナーの実施（男女共同参画課と連携事業）

内容	日程	会場	参加者数
「子どもとの向き合い方！～親も子も自分らしくあるために～」 講師：コミュニケーション・オフィス代表 阿部 優美子 氏	6月1日	須崎市文化会館 メセナホール	20人

7 健康教育の実施

母性並びに乳幼児の健康の保持、妊娠、出産、育児に関し健康教育を実施した。

区分	実施回数(回)	参加者数(人)
マタニティセミナー	7	妊婦 実人員 45 延人員 65 配偶者延 31 (3月15日は新型コロナウイルスの影響で中止した)
もぐもぐ離乳食講座	12	238
かみかみ離乳食講座	12	195
子育て広場	36	保健補導員会と協力し、延 342 組参加
思春期セミナー	3	360

8 健康診査及び訪問指導の実施

須高医師会、須高歯科医師会の協力を得て、乳幼児健診等を実施した。

区分	実施回数(回)	該当者(人)	受診者等(人)	受診率(%)
乳児(新生児)訪問	通年	336	実人員 327	97.3
		里帰り出産	実人員 29	
幼児訪問	通年		延 26 (実人員 22)	
3か月児健康診査	12	336	336	100.0
1歳児健康相談	12	307	291	94.8
1歳6か月児健康診査	12	333	320	96.1
2歳児健康相談	12	354	335	94.6
3歳児健康診査	12	353	339	96.0
心理相談	15	相談者延べ	50 (実人員 38)	
親子教室(療育)	71	参加者延べ	225 (実人員 12)	
乳児健康診査		医療機関等へ委託 委託料 1,837,440円	320	
妊婦健康診査		医療機関等へ委託 委託料 36,714,784円	延 6,584	-
里帰り出産妊婦健診の助成		健診に対する助成 459,738円	延 111	-
産婦健康診査		医療機関へ委託 委託料 3,112,640円	延 620	
里帰り出産産婦健診の助成		健診に対する助成 79,000円	延 16	

9 未熟児養育医療給付事業の実施

母子保健法が改正(平成25年4月1日)され、県から市へ移譲された、①低出生体重児(2,500g以下)の届出受理、②未熟児の訪問指導、③医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行った。また、必要に応じて保健師により未熟児の保護者に対して訪問指導を行った。

低出生体重児数の届出受理数 29人
 養育医療券交付 7件
 医療の給付 延23件
 未熟児の訪問指導件数 6人

10 不妊・不育症治療補助事業の実施

少子化対策のひとつとして、安心して妊娠できる環境を整えるため、不妊治療・不育症治療を行っている夫婦に対して、その費用を助成し、経済的負担を軽減した。

不妊治療補助対象者 20組 1,144,568円
 不育症補助対象者 0組 0円

11 マタニティマークの普及

母子手帳交付時に、マタニティマークのストラップやシール等を配布した。

12 須坂市子育て応援アプリ「すまいるナビ」の配信

平成30年10月から、妊娠・出産・子育てに関する情報配信及び予防接種のスケジュールや成長記録の管理、子育て関連施設や医療機関の検索等ができるスマートフォン用アプリケーションを配信した。

ダウンロード数 累計458

■ 健康増進事業

単位：円

当初予算額	23,893,000	予算現額	25,566,000	決算額	23,720,362	前年度決算対比	97.1%	前年度決算額	24,436,869
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

「自分の健康は自分でつくり守る」を基本に、生活習慣病等を改善し、「はつらつ」「いきいき」「のびのび」過ごせる市民生活の実現に向け、全市民の取り組みを総合的に支援する。

II 事業の成果等

健康増進法に基づく健康教育、健康相談等、年齢に相応した健康増進の指導を行った。須坂市健康づくり計画「第2次健康須坂ときめき21」、第3期須坂市食育推進基本計画「須坂市 食で健やか計画」に基づき、各世代への食育推進事業に取り組み、全ての市民が自ら健康づくりが実践できるよう支援した。

III 事業の実績

1 健康教育、生活習慣改善事業の実施

(1) 市民健康づくり講座

講座内容	講師	開催日	会場	参加者数(人)
「ポールウォーキング」	長電スイミングスクールエフバイエー-Light 健康運動指導士 松川 敬子先生	5月19日	北部体育館	34人

(2) その他健康教育

区分	開催回数(回)	参加者延人数(人)	備考
減塩運動(尿中塩分測定) 国の塩分摂取目標量 男性8g未満・女性7g未満	4月から3月の 随時	556	保健指導員(244)及び保健指導対象者(44)、希望する市民(268) ※健康増進費実施分 尿中塩分平均値 9.7g 男性9.9g・女性9.5g
減塩教室	3	41	① 実験で「見る」血圧教室 ② 食べた「わかる」減塩教室 ③ 調理で「学ぶ」減塩教室

区 分	開催回数 (回)	参加者延人数 (人)	備 考
糖尿病予防教室	3	168 (公開講演会のみ参加者も含む)	対象者：令和元年度特定健康診査受診者のうち、未治療で糖尿病境界域の腎障害を示唆する一定基準を満たす方、糖尿病領域の方
地域で実施した健康教育	128	3,201	

2 健康相談事業の実施

(1) 常設健康相談の利用状況

保健センターに開設した常設健康相談において相談事業を実施した。

相談総数 1,578 件

保健センター来所相談 1,221 件

区 分	成 人	高 齢 者	母 子	そ の 他
件数 (件)	175	183	862	1

保健センター電話相談 357 件

区 分	成 人	高 齢 者	母 子	そ の 他
件数 (件)	209	107	57	2

(2) 地域等での健康相談

区 分	開催回数 (回)	参加者 (人)
高血圧健康相談	2	46
総合健康相談等	11	236

3 健康体操「須坂エクササイズ」の普及事業

(1) 体操ユニット 30 人

(2) 出前講座 29 回

出前先	回数(回)	人数(人)
65 歳健康教室	10	192
JR ながの友の会	1	23
須高安楽院感謝祭	1	30
介護予防教室(ケアネット)	1	49
みんなの花火大会	1	5,000
峰の原親子遊学	1	7
長野県退職公務員連盟須高支部	1	60
市マレットボール協会	1	50
長野県健康づくり・食育フォーラム	1	180
老人福祉施設	11	56
合 計	29	5,647

(3) 須坂エクササイズ普及のためのTシャツを作成 146 枚 販売枚数 15 枚

(4) 須坂エクササイズ普及のためポロシャツを販売 販売枚数 16 枚

4 第 26 回 須坂健康まつり

多くの市民が楽しみながら健康づくり意識を高めることができるよう、12 団体で実行委員会を組織して、県立信州医療センター病院祭と同日開催した。

(1) 実行委員会 6月13日、8月7日、9月18日、1月15日

(2) 開催日時 10月5日(土)午前9時から午後3時

(3) 会 場 県立信州医療センター、医療法人公仁会轟病院

(4) 来場者数 2,600 人

5 健康増進事業

(1) We can 元気! (児童体力づくり事業)

学校の授業以外で1日20分以上身体を動かし、その日数を記録し規定日数達成者を表彰し、運動習慣の定着や生活習慣の見直し等を図った。

規定の日数(日)	表彰者(人)	累計(人)
100	236	1,767
200	160	1,177
300	83	863

(2) 働きざかりの健康づくり研究会への支援

事業所に勤める30代から50代の働きざかり世代の内、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の解消に焦点をあて、従業員の健康づくりをすすめるカリキュラム等の検討・実施を支援した。

ア 働きざかりの健康づくり研究会構成事業所 14事業所(12企業 2事業所)

イ 働きざかりの健康づくり研究会 5月27日 9人出席

2月17日 11人出席

ウ 「第17回 働きざかりいきいきセミナー」 11事業所 30人参加

エ その他の研修等

働きざかりの健康づくり研究会研修会(市のこころの「こころの健康づくり講座」と共催)

講座 「心を元気にする4つのステップ」

社団法人 認知症行動療法研修開発センター 理事長 大野 裕 氏

11月9日 190人 参加

(3) 健康カレンダー配布

「自分の健康は自分でつくり守る」市民の健康づくり意識啓発を図るため、簡単な運動や食の知識、予防接種・乳幼児健康診査・各種健康診査の日程・場所を掲載し、全戸に配布した。(転入者には随時配布)

21,000部作成 489,500円

(4) 須坂健康チャレンジによる健康づくりの推進

誰にでもできる体重測定や血圧測定、ウォーキングという簡単な健康づくりの取り組みを応援し、健康習慣のきっかけづくりとして実施

体重測定の部 19人

血圧測定の部 22人

ウォーキングの部 8人

(5) ウォーキングによる健康づくりの推進(フレイル予防を含めた健康づくり推進事業)

疾病の予防等のため、若い頃からの運動習慣の定着を図り、加齢に伴う身体機能の衰えを防ぎ、フレイル予防と健康増進を図ることを目的に、地域発元気づくり支援金を活用し事業を実施した。

ア ニューススポーツ&ウォーキングイベントを実施した。(生涯学習スポーツ課と共催)

5月19日(日) 北部体育館・北部運動広場

歩行姿勢測定(128人)・骨密度測定(97人)・体組成測定(85人)・ポールウォーキング(※34人)

スムージーの提供(250杯) 他

イ ウォーキングマップ (全26コース)

ウォーキングマップの見直し、3コースについて一部修正をした。

ウ ウォーキング教室の開催 6教室 6回 延べ参加者 144人

地区名	開催日	参加者数(人)
坂田町	5月26日(日)	15
馬場町	5月26日(日)	12
田の神町	6月2日(日)	24
南横町	6月9日(日)	18
村石町	10月27日(日)	40
太子町	10月27日(日)	25

エ 歩行姿勢測定機器を活用した教室等(※再掲)

活用場面	開催回数	参加者数(人)
町区主催の教室での活用	7(※6)	148(※134)
地域公民館主催での活用	2	37
社会福祉協議会主催サロン代表者会議での活用	1	39
働きざかり世代を対象にしたセミナーでの活用	3	44
保健補導員会主催の教室での活用	2	55
元気高齢者の介護予防教室での活用	3	50
運動の自主グループ(高齢者)での活用	1	8
市主催の健康イベント等での活用	2	350
合計	21	731

オ 地域のスポーツクラブの協力で、歩行姿勢測定結果を基に活用できる運動資料の作成ができた。

カ 備品購入

生活習慣病のため歩行姿勢測定システムを導入し運動習慣のきっかけづくりにつなげた。

備品購入費 453,600円

(6) 市内全小学校 11校の3学年親子を対象に、「食ですこやか親子でクッキング」を開催した。

6月～11月 19回 延べ参加者 839人(児童・保護者)

(7) 小中学校連携保健事業

ア 小中学校連携保健事業打ち合わせ会議

11月11日 出席者 19人

会議内容 児童・生徒の健康課題について

令和元年度の事業報告及び次年度の取組みについて

イ 小児生活習慣病予防啓発リーフレットを作成し、小中学校を通じ配布

(8) 食で健やか応援隊の活動支援

食育について学び、学習したことを家庭や学校、地域で普及する食育サポーターの活動支援を行った。

食育事業「食ですこやか親子でクッキング」の協力 19回 延べ出席者 74人

日曜健康応援教室 1回 出席者 3人

こどもおやき作り教室(日滝地域公民館) 1回 出席者 6人

子育て広場でのおやつ作り(豊洲地域公民館) 1回 出席者 3人

学習会 3回 延べ出席者 44人

会議 3回 延べ出席者 26人

(9) 次世代食文化伝承人材養成事業

須坂市の食文化や伝統野菜、郷土食、行事食などを大切にしながら「家族で食べる大切さ」「命をいただく大切さ」「地域に伝わる食べごと文化」を次世代を担う子どもや親子に伝えていく活動を支援した。

ア 食の匠の活動支援

地域での普及活動 箱膳体験 4回 延べ出席者 23人

郷土料理 7回 延べ出席者 21人

会議の開催 2回 延べ出席者 20人

イ 食の匠養成講座 4回 延べ出席者 30人 修了者 8人

(10) 8020運動推進事業

歯科衛生士が市内の私立保育園、幼稚園、市立保育園、小学校、中学校、子育て支援センター等へ訪問し、「歯の健康教室」を開催。生涯を通じて歯の健康に関心が深まるよう意識啓発を行った。

4月～11月 62回 参加者 4,182人

6 組織育成

(1) 須坂市保健補導員会（須坂市国民健康保険保健事業と連携）

ア 地域保健活動の向上と健康づくり推進のために健康に関する研修と家庭や地域での実践活動の支援を行った。

ブロック別研修会の開催	80回	延べ参加者	1,757人
全体研修会	1回	延べ参加者	220人

(2) 須坂市食生活改善推進協議会

ア 食を通じた健康づくりを推進するため、食育ボランティアとして健康づくりに関係した食事や郷土食、地産地消の普及等を図るため研修会の開催を支援した。

研修会・伝達講習会の開催 10回 延べ参加者 193人

7 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクト

須坂市に潜在する健康づくりを基軸に、今ある健康長寿の取り組みをさらに進め、地域資源（住民力・匠・農業・商業・工業・観光など）を活用した新たなネットワークで、須坂の発展性を見出していくことを目標に実施した。

(1) 須坂エクササイズの普及活動（3 に掲載）

(2) 健康を意識したメニューを販売する飲食店を増やす

県がおこなっている「信州ACEプロジェクト」の基準に準じて、飲食店と市が連携し、健康を意識したメニューを開発・提供した。

(3) 健康スムージー事業

ア 平成28年度に開発した、須坂産食材等を使った健康スムージーについて、地方創生推進交付金を活用し、「信州須坂健康スムージー推進協議会」を結成し、市民への普及、飲食店等への普及を図った。

(ア) 信州須坂健康スムージー推進協議会の開催 2回

(イ) 健康スムージー試飲実施回数 20回

(ウ) 提供飲食店等 28事業所

(エ) スムージーコンテストの開催 10月5日 応募数7

(オ) 信州須坂健康スムージーフェスの開催 9月7日～11月10日 スタンプラリー参加者404名
参加店舗21店舗

(カ) スムージードレッシングの開発・販売

販売日9月20日

商品名「信州須坂のりんごとくるみとたまねぎのスムージードレッシング」他2種類

(4) 観光商品開発による交流人口促進策

ア 健康おすそ分けツアー「おやこ遊学 in 信州須坂」7月27日・28日 会場 峰の原高原「時空の杜」
ほか 参加者7名

イ 観光協会を通じての自治体視察 3団体

(5) 健康長寿をキーワードとした情報発信

ア レシピ投稿サイト「クックパッド」の須坂市公式ページ「信州須坂の台所」にて情報発信
アクセス数 407,826件（2016年1月からの累計）

イ 長野県首都圏総合活動拠点「銀座NAGANO」にて、農・工・健康連携による情報発信

「須坂の家庭を再現！須坂の朝ごはん」参加者28名、「須坂発！健康スムージーと鎧塚俊彦氏考案の伝統野菜を使用したスイーツ」参加者22名

※その他須坂創成高校、農林課、産業連携開発課イベントを実施。

(6) 健康応援教室の開催

ア 平成29年1月より、毎月最終日曜日午前、市民の健康増進を目的とした「日曜須坂の健康応援教室」を蔵のまち観光交流センターで実施し、あわせて同センターの活性化を図った。

日時	イベント名	参加者数(人)
4月28日	いきいきヨガ教室	28
5月19日	ニュースポーツ&ウォーキング(ポールウォーキング)	34
6月30日	牛乳パックでパパっとおにぎり!	29
7月14日	ワッハッハ! 笑いヨガ	30
8月25日	スロージョギング教室	18
9月29日	季節のフルーツをたっぷり使って楽しくクッキング	18
10月27日	ケールを使った料理教室	10
11月24日	「運動×食事」の健康習慣づくり教室! ～インターバル速歩×マッスルギョーザ～	14
12月15日	薬膳で温活用 ～体の奥から温める～	19
1月26日	やしょうま作り教室	28
2月23日	ポールウォーキング教室	17
合計		245

イ 蔵のまち観光交流センター内で健康に関連ある商品をまとめた「健康ブース」を設定し、合わせてポスター等を掲示した。

■ 精神保健事業

単位：円

当初予算額	804,000	予算現額	804,000	決算額	683,344	前年度決算対比	113.2%	前年度決算額	603,824
-------	---------	------	---------	-----	---------	---------	--------	--------	---------

I 事業の目的

市民一人ひとりが自殺予防の主役となり、自殺を考えている人をひとりでも多く救えることができる、「みんなが助け合い、健康に暮らせるまちづくり」を目指し、市関係部署や地域関係機関が連携し、総合的な自殺予防対策を推進する。

II 事業の成果等

心の健康づくりに対する意識を高めるために、こころの健康づくり講座を開催した。

自殺予防対策連絡会議に設置した「ひきこもり対策部会」で、市関係課と連携し市内のひきこもりや不登校に関する情報把握等に取組んだ。また、関係機関と連携して支援できるよう自殺未遂者支援の実務検討会を開催した。気軽に相談できるよう無料通話の「悩み無料ダイヤル」を常時設置し、保健センターの開所時間に合わせ相談対応した。

III 事業の実績

1 須坂市自殺予防対策連絡会議の開催

各行政相談窓口の担当者が、自殺に関する理解を深め相談者の抱える問題に早期に気づき、適切な相談窓口につなげられるネットワークの構築並びに自殺予防を総合的に推進するため、地域関係者も含め、情報交換や須坂市自殺予防対策計画の評価及び第3期計画策定に向け、意見交換等を実施した。

(1) 自殺予防対策担当者部会

7月5日 出席者19人

実施内容 各課で対応する相談情報の連携について検討

(2) ひきこもり対策部会

7月17日 出席者10人 12月17日 出席者8人

(3) 自殺未遂者支援に関する実務検討会

1月30日 出席者 16人

実施内容 ア 須高地区各機関の取組について共有

イ フローチャートの作成について

ウ 連携事例紹介

2 自殺対策関連の講座開催

こころの健康づくり講座

11月9日 参加者 190人

講演：「心を元気にする4つのステップ」

講師：(一社)認知行動療法研修開発センター 理事長 大野 裕氏

3 相談事業

(1) 悩み無料電話相談の設置

実施期間：4月1日～3月31日 (土日、祝日、年末年始を除く) 8:30～17:15

電話対応者：保健師

専門相談員の委嘱：医師2名、弁護士1名、職業相談員1名

相談件数：電話相談延べ 111件 うち専門相談2件

相談内容 (重複有)	本人の 健康問題	人間関係 (職場)	人間関係 (近所)	家族関係	人間関係 (学校)	生活関係	就労関係	その他
件数	30	21	8	29	2	31	2	12

周知用カードの作成 3,000枚

(2) うつ病の方の家族教室

ア 定例会 毎月1回 11回 出席者 延べ47人 (実人員 11人)

イ 学習会

10月18日 参加者 7人

講演：「うつ病について 障がいのある方が利用できる法律・制度について」

講師：須高地域総合支援センター 所長 関谷 真氏

3月24日の学習会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(3) いのちと暮らしの総合相談会 (須高精神保健福祉連絡協議会が開催)

生活や健康の不安、悩みについて相談できる窓口を設置。法律、医療等の専門相談員が連携し総合的な支援を行う。

8月2日 相談者 30人 (内、須坂市民 16人)

(4) 被災者のための総合相談会 (県と共催)

令和元年東日本台風による被災地の生活再建への悩み、被災にともなう精神的なストレスなど様々な課題に専門相談員が連携し、総合的な支援を行う。

1月25日 相談者 5人 (内、須坂市民 2人)

4 広報活動

(1) 自殺予防週間における、横断幕等の掲示ならびに、啓発ティッシュ・悩み無料ダイヤル周知カード配布 (9月)

(2) 自殺対策強化月間における、横断幕ならびにポスター等の掲示、市立図書館にて「こころの健康」に関する書物の特集コーナーの設置、市ホームページに掲載、市内企業等に啓発ティッシュ・悩み無料ダイヤル周知カード配布 (3月)

(3) 広報須坂にこころの健康に関する記事掲載 9月・12月・3月

5 精神障害者家族会への支援

- (1) 家族会定例会 8回 (4/21・6/24・7/22・9/29・10/30・11/18・12/16・2/25)
出席者 70人
- (2) 会議・研修会等 15回 参加者 37人
- (3) 総会 1回 5月13日 参加者 16人

6 精神保健福祉に関する相談 (延件数)

面接相談 (件)	訪問指導 (件)	計 (件)	保健師による電話相談/電子メール相談 (件)	常設健康相談電話相談 (件)	計 (件)
461	245	706	1,209	115	2,030

4-1-4 (目) 保健センター費

単位：円

当初予算額	4,254,000	予算現額	4,254,000	決算額	3,887,113	前年度決算対比	102.6%	前年度決算額	3,789,071
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

■ 保健センター管理事業

単位：円

当初予算額	4,254,000	予算現額	4,254,000	決算額	3,887,113	前年度決算対比	102.6%	前年度決算額	3,789,071
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

保健センターの維持管理を図るとともに施設を利用しての各種保健サービス事業を総合的に行い、市民の健康増進を図る。

II 事業の成果等

健康相談、健康教育、健康診査、検診等の各種保健サービス事業を総合的に行い、市民の健康増進を図った。

III 事業の実績

1 保健センター利用状況 開所日数 265日

種 別		回数 (回)	延人数 (人)	種 別		回数 (回)	延人数 (人)	
母子保健	マタニティーセミナー	8	149	特定保健指導事業・国保保健指導事業	糖尿病セミナー	3	187	
	離乳食講座	24	722		個別相談	149	394	
	3か月健康診査	12	546		集団運動実践 (フレンズ)	45	501	
	1歳6か月児健康診査	12	628		個別支援担当者会議	14	132	
	3歳児健康診査	12	677					
	1歳児健康相談	12	550					
	2歳児健康相談	12	611					
	乳幼児心理相談	30	362					
	親子教室	41	651					
	すこやか教室	10	516					
	ブックスタート事業	12	367					
	小 計	185	5,779		小 計	211	1,214	

種 別		回数 (回)	延人数 (人)	種 別		回数 (回)	延人数 (人)
健康増進・成人保健・高齢者保健	特定健診・後期高齢者健診	4	338	常設健康相談・精神保健・その他	常設健康相談	240	1,954
	消化器検診	14	1,717		精神保健・その他来所相談	115	164
	乳房検診	24	2,239		保健指導員会議・研修会	81	1,695
	マンモグラフィ検診	29	1,211		食生活改善推進協議会会議	17	135
	肺がん検診	17	1,417		会議・研修会等	171	1,460
	前立腺がん検診	5	1,262		市職員等健診	9	750
	結核健診	19	1,062		市職員水曜エクササイズ	43	797
	働きざかりいきいきセミナー	16	241		視察対応等	1	5
	市民健康づくり講座	3	205		学生実習	18	89
	高齢者健康教室	12	491		食育関係事業	25	197
	介護保険制度説明会	10	303				
	尿中塩分測定結果説明会	4	59				
	小 計	157	10,545		小 計	720	7,246
合 計					1,273	24,784	

2 保守管理、修繕等の状況

(1) 清掃業務委託	年間委託	954,720円
(2) 電気保安業務委託(デマンド監視含む)	隔月1回の定期点検	183,120円
(3) 自動扉保守点検委託	年3回の定期点検	40,330円
(4) エレベーター保守点検委託	月1回の定期点検	706,320円
(5) 消防設備点検手数料	年2回の定期点検	70,800円
(6) 自動体外除細動器(AED)の借上げ		104,411円
(7) 掃除機修繕		8,532円
(8) 自転車修繕 2台		15,462円

4-1-5(目)環境衛生費

単位：円

当初 予算額	515,384,000	予算 現額	548,752,600	決算額	540,678,700	前年度 決算対比	104.8%	前年度 決算額	515,716,902
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	2,723,000	予算 現額	2,413,000	決算額	2,303,931	前年度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	2,225,735
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

地球環境問題への積極的な取組みが求められるなか、須坂市環境基本計画に基づき具体的な環境関連施策を推進し、環境に負荷をかけない、地球にやさしい生活様式の普及に努める。

II 事業の成果等

衛生部長会議及び環境衛生推進協議会の活動を通じて環境衛生意識の向上を図り、地域の清掃及び防疫事業等を実施し、快適な生活環境の維持促進を図った。

ドッグラン利用者会と連携し、ドッグランの運営及び各種イベントを実施し、動物愛護及び飼い主の意識啓発とマナー向上を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市環境審議会の開催（委員数 17 人委嘱）

(1) 第 1 回環境審議会

ア 開催日 5 月 30 日 出席委員 12 人

イ 内容

(ア) 役員の選出

(イ) 須坂市の環境行政について

(ウ) 須坂市環境行動計画の進捗管理について

ウ その他

(ア) 須坂市地下水資源保全・活用計画検討業務について

2 衛生部長会議兼廃棄物減量等推進員研修会の開催

3 月 4 日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症に対する市の対策に基づき開催中止

3 環境衛生推進協議会の活動

(1) 町並みクリーン&ウォーク作戦

ア 実施日 5 月 26 日 参加者 409 人 収集量 可燃ごみ 200kg 不燃ごみ 160kg

イ 内容 県下一斉行動の「ごみゼロの日」に合わせ、市街地、高速道路側道等で実施

(2) 視察研修の実施

10 月 16 日開催予定であったが令和元年東日本台風の災害発生により開催中止

(3) 理事会の開催

ア 開催日 2 月 12 日 出席者 11 人

イ 内容 令和 2 年役員の選出、総会議案及び表彰者・表彰団体の選考について審議

(4) 総会の開催

3 月 4 日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症に対する市の対策に基づき開催中止

4 環境保全及び清掃の実施状況

(1) 動物適正飼育

ア 犬のフン害防止看板の配布 10 町 12 枚

イ 愛犬のしつけ方教室 1 回開催（2 回目以降は令和元年東日本台風のため中止）

ウ 小動物死体処理件数

	犬	猫	たぬき	きつね	ワビシ	鳥	その他	計
当該年度（件）	1	53	14	7	31	9	7	122
前年度（件）	1	77	15	10	27	18	6	154

エ 迷い犬対応 飼主若しくは長野保健福祉事務所への引渡し 24 件

(2) 水路、側溝の土砂上げ及び消毒

町別の年間計画に基づき、日曜日（12 月～3 月を除く）に実施した。

消毒用消石灰 29 袋（1 袋 20 kg）を 10 町に配布した。

(3) 市民一斉清掃

主に 11 月 10 日に 67 町が実施し、19 町が可燃ごみ 4,030kg、不燃ごみ 440kg、土砂等 4,480kg を清掃センターへ搬入した。

5 市職員の県職員併任制度の継続

産業廃棄物の不適正処理・不法投棄を防止するため、「長野県市町村職員の産業廃棄物に係る立入検査等の実施に関する要綱」に基づき、県職員の併任辞令を受けた市職員(廃棄物検査員)が県の立入指導に同行した。

- (1) 併任職員数 生活環境課課長及び職員 3人
- (2) 立入調査 県担当職員に同行し市内の産業廃棄物処理施設(2業者2施設)へ立入

6 ドッグラン利用者会の運営支援及びドッグランの維持管理

ドッグラン利用者会による運営支援を実施するとともに、ドッグランの維持管理を行った。

- (1) ドッグラン運営委員会
ドッグランイベントや懸案事項について協議した。 2回開催
- (2) ドッグランイベント
イベントを通じた会員相互の交流、飼い主の意識啓発とマナー向上を図った。
ア 4月21日 ゴミ0ワン隊 in 須坂 49人参加
イ 10月27日 ドッグフェス感謝祭 令和元年東日本台風の為中止
ウ 定期イベント 4~11月 毎月1回開催 延べ68人参加
- (3) 利用者会総会
利用者会の決算、予算等を審議した。 4月21日開催
- (4) 会員数
3月31日現在 173人 70世帯 87頭
- (5) 維持管理
ドッグラン内の草刈りを会員とともに6回実施する等、施設の維持管理を行った。

■ ごみ減量・再資源化事業

単位：円

当初 予算額	53,976,000	予算 現額	57,832,000	決算額	53,333,895	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	52,820,126
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

ごみ分別の細分化を進め、再資源化を促進することによりごみの減量化を図り、更に各種団体による集団資源回収の促進やダンボールのできる生ごみ堆肥化の普及促進などにより、資源循環型社会の構築を目指すとともに、不法投棄防止の啓発等に努め、清潔で美しいまちづくりの推進を図る。

II 事業の成果等

ごみの減量を目的に、家庭ごみの有料化を継続した。可燃ごみ、不燃ごみは1円/ℓ、粗大ごみは1点につき50円の手数料を徴収している。また、ごみ分別の徹底による減量化、生ごみの各家庭での堆肥化の推進、古布類、陶磁器類、硬質プラスチック製品、小型家電の拠点回収を年に4回実施し、不法投棄防止を目的にタイヤや家電リサイクル法の対象品の回収を有料で行った。

2019年度は、可燃ごみ排出量は10,554tで前年度対比0.3%減、不燃ごみは414tで0.3%減、粗大ごみは95tで3.2%増となっている。

もったいないの情報発信、資源物の土曜・日曜日収集などの拠点となる「エコサポートすざか」の運営を須坂市女性団体連絡協議会に依頼し、古着等のリユース、ダンボールのできる生ごみ堆肥化の講習会などを行うとともに、日野地域公民館にて、資源物の拠点回収(火曜・木曜日)を実施した。

平成25年度より実施の「生ごみ出しません袋」の交付を引き続き行うなど、ごみの減量、リサイクルの一層の推進が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 ごみ減量化、分別推進に関する事業

(1) 環境衛生ブロック別会議の開催 5月28日～6月6日 開催数12回
 ごみの分別方法、粗大ごみの収集、今後の減量施策などを議題とし、区長、衛生部長、廃棄物減量等推進員合同会議を区長会ブロックごとに開催した。

(2) ごみ有料化制度に関する事業

ア 証紙売りさばき人の指定

新規の売りさばき人 2人

イ 証紙の販売（売りさばき人と直接販売分）

種 類		サイズ	単価(円)	販売数(枚)	前年度比(%)	金額 (円)
指定袋	可燃ごみ	大	30	1,341,000	107.4	40,230,000
		小	15	463,500	107.7	6,952,500
	不燃ごみ	大	30	64,500	137.8	1,935,000
		小	15	38,100	138.0	571,500
シール	粗大ごみ		50	13,211	93.1	660,550
	可燃・不燃	大	30	49,356	91.1	1,480,680
		小	15	2,200	74.3	33,000
	事業所用	大	70	7,810	114.7	546,700
		小	35	100	200.0	3,500
合計				1,979,777	108.1	52,413,430

ウ 有料化に伴う減免措置

可燃ごみ 指定袋 865件 (大)52,859枚 (小)262枚 (乳幼児、生活保護世帯、介護老人等)

不燃ごみ 指定袋 98件 (大) 478枚 (小) 0枚

エ 不法投棄されたごみ等の対応のため環境美化袋を配付

各区への配付 69町 13,370枚

(3) ごみ分別細分化の事業

ア ごみ分別細分化事業の物品整備

缶・びん用コンテナ、ペットボトル用ネット、カラス除けネット等 21町

イ ごみ分別等に係る学習会、出前講座（堆肥化講習含む）等

学習会 開催区 1町、出前講座 1回

ウ ごみ収集カレンダー、分別早見表等により、ごみ分別方法の徹底と補助金制度の利用促進を図った。

エ ごみステーションの新設・移動・廃止届

新設7か所、移動8か所、廃止2か所

2 資源物集団回収報償金

(1) 交付団体数 26団体

(2) 交付金額 3,972,580円

(3) 種類別回収量

種 類	回収量 (kg)	
	当該年度	前年度
ダンボール	336,131	301,194
新聞紙	182,810	238,432
雑誌・雑紙	206,595	258,218
牛乳パック	51,832	58,315
鉄・非鉄金属類	7,390	8,584
サイダーびん等	130	128
ビール大びん	6,373	8,641
1.8リットルびん	13,513	16,681
繊維類	1,180	1,190
計	805,954	891,383

3 生ごみ減量及び資源化促進事業

(1) 生ごみ堆肥化基材の販売

ダンボールでできる生ごみ堆肥化基材を生活環境課、エコサポートすざかで販売し、生ごみの堆肥化を推進した。

基材販売数 640 セット

(2) 「生ごみ出しません袋」の実施

可燃ごみの減量を図るため、生ごみを堆肥化等の方法により自家処理し、可燃ごみとして排出しない世帯に対し、啓発文の入った専用の袋を無料で交付した。

申請・交付期間 5月7日～9月29日

交付枚数 34,970 枚

交付世帯数 623 世帯

4 資源物回収状況

(1) 分別収集された資源物の回収状況

ア 古紙、缶類、びん類

種 類	回収量 (kg)	
	当該年度	前年度
ダンボール	105,910	104,882
新聞紙	199,325	217,730
雑誌・雑紙	464,838	504,224
牛乳パック	5,374	5,778
缶 類	58,170	61,490
びん類	260,790	251,980
計	1,094,407	1,146,084

イ 市役所前の拠点回収

ごみの減量を目的に古布、陶磁器(食器)、硬質プラスチック製品、小型家電の拠点回収を市役所前で行った。また、不法投棄防止、市民の利便性の向上を目的に、タイヤと家電リサイクル法の対象品目であるテレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の回収を有料で行った。なお、家電リサイクル法対象品目については、長野県電機商業組合須高支部の協力により、受付・運搬を行った。

(ア) 拠点回収日 5月18日、7月27日、11月16日、3月21日 計4回

(イ) 回収量、個数

種 類	回収量 (kg)	
	当該年度	前年度
古布類	8,585	7,255
陶磁器類	9,921	10,853
硬質プラスチック製品	8,630	7,610
小型家電	22,580	17,940
計	49,716	43,658

種 類	本数・台数	
	当該年度	前年度
タイヤ	335 本	292 本
家電リサイクル法対象品	318 台	328 台

(ウ) 直接搬入分手数料収入(タイヤ) 168,740 円

ウ 日野地域公民館での拠点回収

ごみ減量のため、資源物の回収機会を増やすことで、リサイクルの推進を図った。(毎週火・木曜日)

(ア) 利用者 1,540 人

(イ) 回収量

種 類	回収量 (kg)	
	当該年度	前年度
ダンボール	1,560	1,440
新聞紙	1,090	1,510
雑誌・雑紙	6,250	6,300
牛乳パック	20	0
缶 類	600	410
計	9,520	9,660

- (2) 資源物の売払い収入 15,863,841 円 (古紙類、缶類、古布類、小型家電等)
- (3) 資源物の処理委託料 (びん類) 218,592 円 ((公財)日本容器包装リサイクル協会)
- (4) 資源物の収集委託料 古紙類、びん類、缶類 23,936,400 円 (株環境クリエーション)
- 陶磁器 392,400 円 (株タケモト)
- 小型家電 688,500 円 (株しんえこ)
- (5) 家庭用剪定枝資源化委託料 剪定枝 306,510 kg 5,937,543 円 (岡田産業株)
- 公園等の草・葉等 8,920 kg 144,504 円 (株神山緑地産業)
- (6) 蛍光管リサイクル処理委託料 3,630 kg 494,425 円 (林金属工業株)
- (7) 陶磁器粉碎処理業務委託料 9,921 kg 209,531 円 (神明リフラックス株)
- (8) 廃タイヤ処理委託料 3,150 kg 162,888 円 (株タケモト)
- (9) 資源物拠点収集立会委託料 670,180 円 ((公社)須高広域シルバー人材センター)

5 エコサポートすぎかの運営

須坂市女性団体連絡協議会のボランティア運営により、もったいないの情報発信、資源物の土・日収集、リユースの推進などの拠点として利用が図られた。

(1) 運営状況

- ア 開館日数 94 日
- イ 入館者数 7,114 人

(2) 生ごみ堆肥化講習会の開催

ダンボールでできる生ごみ堆肥化の普及を図るため、各種団体と連携し講習会を1回開催した。
参加者 30 人

(3) エコ探検隊の開催

小学生に体験を通してごみ問題や環境問題への関心を高めてもらい、ごみの削減につなげることを目的に、夏休み期間を利用して2日間開催した。(対象：小学3年生～6年生)

須坂市女性団体連絡協議会の会員が長年培った知識や経験を活かし先生となり、食品ロスやごみ分別方法の学習、ごみを活用した工作、エコクッキングを行った。高校生にもお手伝いをいただき、異年齢の交流も図られた。

開催日及び参加者数

開催日	小学生参加者(人)	女団連会員(人)	高校生(人)
8月7日	24	9	5
8月8日	26	9	10
計	50	18	15

6 一般廃棄物処理許可申請等

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第1項(収集・運搬の許可)による許可申請件数更新 26 件
- (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条の2第3項(変更の許可等)による変更届出件数 役員等の変更 6 件、車両の変更 38 件
- (3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第6項(処分の許可)による許可更新件数 0 件

7 不法投棄防止に関する事業

(1) 不法投棄防止啓発活動

チラシによる啓発 4月26日、10月31日の2回、隣組回覧を実施した。

(2) 不法投棄防止等環境パトロールの実施

ア 環境指導員によるパトロール、不法投棄物の回収の実施

環境指導員2人を(公社)須高広域シルバー人材センターに委託し、啓発活動及び不法投棄物の回収撤去作業、不法投棄物の調査活動を実施した。

委託期間 4月～12月 週3日

回収量 可燃ごみ 2,070kg 不燃ごみ 1,620kg 委託料 1,980,960円

イ 職員による不法投棄パトロールの実施

年間を通じて随時、不法投棄のパトロール及び回収、不法投棄防止看板の設置などを行った。

回収量 可燃ごみ 250kg 不燃ごみ 290kg

ウ ボランティア不法投棄監視パトロール員の募集

3月市報等で募集し、4月16日打ち合わせ会開催。以降自宅周辺を中心に自主的にパトロールを実施。22町 31人(うち前年度からの継続者29人)

エ ボランティアパトロール員と生活環境課職員合同一斉回収作業の実施

10月25日開催予定であったが令和元年東日本台風による災害発生により開催中止

(3) 不法投棄件数(県報告分) 22町 39件(警察通報件数3件)

不法投棄物の種類	当該年度(件)	前年度(件)
家電リサイクル法(テレビ)	3	1
家電リサイクル法(エアコン)	0	0
家電リサイクル法(冷蔵庫)	1	1
家電リサイクル法(洗濯機)	3	0
その他家電	9	5
空き缶・空き瓶	3	0
タイヤ	9	7
自動車	0	0
自転車・バイク	0	0
その他家庭ごみ	26	30
産業廃棄物	2	0

(4) 不法投棄防止看板の配布 9町 14枚

(5) 監視カメラ設置 延べ設置箇所数12か所(録画式監視カメラ3か所 ダミーカメラ9か所)

8 高山村からのごみ処理受託事業

種別	当該年度		前年度	
	搬入量(kg)	負担金額(円)	搬入量(kg)	負担金額(円)
可燃ごみ	0	0	598,453	12,751,900
	可燃ごみ処理広域化により平成30年10月より受入していない			
ペットボトル	7,830	673,410	8,330	710,710
廃プラスチック類容器	39,440	3,653,096	39,640	3,638,952
びん類	39,340	642,764	40,490	655,938
計	86,610	4,969,270	686,913	17,757,500

■ 廃プラスチック再資源化事業

単位：円

当初 予算額	55,230,000	予算 現額	53,035,000	決算額	51,306,527	前年度 決算対比	106.1%	前年度 決算額	48,362,612
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

容器包装リサイクル法に基づき、一般家庭から排出されるペットボトル及び廃プラスチック類容器を分別収集し、選別・圧縮梱包処理して資源化し、ごみの減量化を図る。

II 事業の成果等

ペットボトル 51,520kg と廃プラスチック類容器 403,460kg を回収処理し、再資源化した。

ストックヤードの維持管理について、引き続き民間事業者へ業務委託をし、機械管理の専門化と経費の節減が図られた。

III 事業の実績

1 ペットボトル等の処理状況

(1) ペットボトル等の処理状況

種 類	処 理 量 (kg)			
	当該年度		前年度	
	須坂市	高山村	須坂市	高山村
ペットボトル	51,520	8,340	51,830	7,820
廃プラスチック類容器	403,460	39,440	411,060	39,640

- (2) ペットボトル収集業務委託料 7,194,000 円 (株環境クリエーション)
- (3) 廃プラスチック類容器収集業務委託料 15,273,700 円 (須坂市委託清掃協同組合)
- (4) スtockヤード管理業務委託料 21,961,320 円 (株環境クリエーション)
- (5) 廃プラスチック類容器等処理委託料 221,879 円 ((公財)日本容器包装リサイクル協会)
- (6) 硬質プラスチック製品の拠点収集

可燃ごみや粗大ごみとして収集し焼却処理していたものの再資源化を図るため、市役所前で4回拠点収集を実施した。

回収量 8,630 kg 収集運搬委託料 371,200 円 処理委託料 94,210 円 (飯山陸送株)

(7) スtockヤード施設見学

施設の現状、ごみの分別、資源物のリサイクル等の理解や啓発を図った。

市外1団体

- (8) 廃プラスチック類容器等直接搬入分手数料収入 99,130 円

2 スtockヤード設備の修繕状況

ストックヤード照明設備修理	351,864 円
プラスチック圧縮機主押しシリンダー修繕	1,328,400 円
プラスチック圧縮機作動油タンクストレーナー修理	392,040 円
プラスチック圧縮梱包機・ペットボトル圧縮梱包機定期補修	3,575,000 円
プラスチック圧縮機分電盤修理	56,100 円
計	5,703,404 円

■ 公衆トイレ管理事業

単位：円

当初 予算額	1,571,000	予算 現額	1,571,000	決算額	1,259,774	前年度 決算対比	86.3%	前年度 決算額	1,459,471
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

居住環境の向上並びに観光客等に気持ち良く公衆トイレを利用してもらうため、施設の維持管理に努める。

II 事業の成果等

穀町、新町、太子町、北横町、芝宮神社、村山駅の公衆トイレの清掃等を実施し、維持管理に努め適正な管理が図られた。

III 事業の実績

1 清掃業務委託

穀町の公衆トイレの清掃は田中本家博物館で行い、新町及び太子町の公衆トイレの清掃はぶどうの家に委託し、その他の公衆トイレの清掃は（公社）須高広域シルバー人材センターに委託した。

公衆トイレ清掃業務委託

（福）須坂市社会福祉協議会 指定障害福祉サービス事業所ぶどうの家	200,256 円
（公社）須高広域シルバー人材センター	468,828 円

2 施設修繕の状況

芝宮公衆トイレの外側照明器具交換、破損した窓ガラスの交換を行った。

修繕料 25,380 円

■ 狂犬病予防対策事業

単位：円

当初 予算額	492,000	予算 現額	454,000	決算額	451,154	前年度 決算対比	104.0%	前年度 決算額	433,768
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

狂犬病予防のため、予防注射を実施する。

II 事業の成果等

飼犬に狂犬病予防注射を実施し、狂犬病対策が図られた。

III 事業の実績

1 犬の登録、狂犬病予防接種などの業務を（一社）長野県獣医師会へ委託した。

委託料 339,742 円

2 狂犬病予防注射の実施

（一社）長野県獣医師会須高支部と共に犬の登録及び予防注射を実施した。

予防未注射犬対策として、督促状の発行、電話による催促、市報等を使用した啓発などを実施した。

(1) 登録頭数（3月31日現在）	2,224 頭（内新規登録132頭）
(2) 注射済票交付頭数	2,207 頭
(3) 未注射頭数	46 頭
(4) 巡回による集合注射の実施	
7日間（4月～6月）、延べ48会場	1,431 頭
(5) 動物病院での実施	776 頭

■ 温暖化防止推進事業

単位：円

当初 予算額	2,659,000	予算 現額	2,550,000	決算額	2,508,925	前年度 決算対比	106.3%	前年度 決算額	2,360,650
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

地球温暖化防止など多様化する環境問題に対応するため、新エネルギー導入やCO₂削減の取組みが必要である。このため、太陽光発電、太陽熱利用及びペレットストーブ等の設置費用に対し補助金を交付し、新エネルギーの普及促進を図るとともに、節電など省エネ対策の啓発を行うことにより市民の意識改革を図る。また、須坂市地域新エネルギービジョンに基づき、更なる新エネルギーの導入普及について研究、検討する。

II 事業の成果等

太陽光発電設置補助金交付件数は、前年度対比で 10.2 パーセント増加した。2019 年度末における太陽光発電による中部電力(株)との売電契約件数が 2,098 件となり、第五次須坂市総合計画の平成 32 年度までの目標値である 2,000 件を達成することができた。

III 事業の実績

1 新エネルギー導入設備設置支援

個人住宅の太陽光発電システム・太陽熱利用システムの導入普及を図るため、補助金交付した。

(1) 太陽光発電システム設置支援

年度	交付件数	交付確定額 (円)	出力合計 (kW)	年間発電量 kWh/年(推計)	-CO ₂ t/年 (推計)
平成 21 年度	56	2,183,000	226.739	272,087	149.6
平成 22 年度	99	3,780,000	408.684	490,421	269.7
平成 23 年度	150	6,129,000	663.298	795,958	437.8
平成 24 年度	181	7,729,000	844.547	1,013,456	557.4
平成 25 年度	169	7,434,000	835.031	1,002,037	551.1
平成 26 年度	145	6,391,000	699.239	839,087	461.5
平成 27 年度	82	3,571,000	407.490	488,988	268.9
平成 28 年度	60	1,783,000	308.875	370,650	203.9
平成 29 年度	46	1,350,000	211.560	253,872	139.6
平成 30 年度	44	1,319,000	237.091	284,509	156.4
2019 年度	49	1,440,000	256.090	307,308	169.0

※平成 28 年度から太陽光発電システムの補助金交付限度額を 5 万円から 3 万円に減額した。

(2) 太陽熱利用システム設置支援

年度	交付件数	交付確定額 (円)	集熱器合計 (枚)	-CO ₂ t/年 (推計)
平成 27 年度	5	150,000	14	5.8
平成 28 年度	10	300,000	29	11.3
平成 29 年度	4	120,000	11	4.3
平成 30 年度	6	180,000	16	6.2
2019 年度	1	30,000	3	1.2

(3) ペレットストーブ等設備導入支援

県補助事業「信州産ペレット消費拡大事業」を活用し、個人住宅への導入を支援した。

年度	交付件数	交付確定額 (円)	ペレット年間 使用料 (kg)	-CO ₂ t/年 (推計)
平成 22 年度	1	100,000	800	0.8
平成 23 年度	0	0	0	0
平成 24 年度	2	200,000	1,600	1.6
平成 25 年度	3	300,000	2,400	2.4
平成 26 年度	0	0	0	0
平成 27 年度	0	0	0	0
平成 28 年度	0	0	0	0
平成 29 年度	1	100,000	800	0.8
平成 30 年度	0	0	0	0
2019 年度	1	100,000	800	0.8

2 再生可能エネルギー導入モデル事業の推進及び啓発

(1) 環境融和型ナノ水力発電事業 (有害鳥獣対策)

平成 19 年 3 月に米子地区に設置した小水力発電設備を活用して、有害鳥獣対策用の電気柵へ電力供給を行った。

(2) 米子地区小水力発電事業 (長野県GND基金採択事業) により設置した発電設備の維持管理を実施した。

ア 売電量 11,922 kWh

イ 売電収入 80,613 円 (新エネルギー発電事業基金へ積立)

ウ 管理業務委託

水力発電設備の安定した稼働を図るため、設備のごみ取りや清掃等を委託した。

委託先 米子区 委託料 240,000 円

エ 修繕工事

米子地区小水力発電設備修繕工事 中越工業㈱ 274,320 円

(3) 相森中学校太陽光発電事業 (学校発電所モデル事業)

ア 発電設備認定日及び事業開始日

認定日：平成 24 年 7 月 10 日 開始日：平成 24 年 10 月 25 日

イ 事業者：太陽エネルギー推進協議会 (会長 株式会社サンジュニア代表取締役)

ウ 発電所の概要

(ア) 太陽光発電面積 (パネル) 720 m²

(イ) 発電出力：127.6 kW (パネル)、100 kW (パワーコンディショナ)

(ウ) 年間発電量 (2019 年度実績) 153,039 kWh

(エ) CO₂削減推計値 (2019 年度実績) 84.2 tCO₂

(4) 太陽光発電に係る公共施設の屋根貸し事業

ア 2019 年度発電実績

施設名	屋根貸し開始年月日	発電出力 (kW)	発電量 (kWh)	CO ₂ 削減推計値 (tCO ₂)	備考
東中学校体育館	平成 25 年 7 月 29 日	67.50	83,373	45.9	
墨坂中学校体育館	平成 25 年 7 月 29 日	67.50	83,103	45.7	
北部体育館	平成 25 年 7 月 30 日	67.50	89,776	49.4	
須坂市消防本部	平成 26 年 9 月 1 日	42.14	47,123	25.9	
塩野浄水場	平成 26 年 9 月 1 日	27.00	32,533	17.9	

施設名	屋根貸し開始年月日	発電出力 (kW)	発電量 (kWh)	CO ₂ 削減推計値 (tCO ₂)	備考
高甫小学校体育館	平成27年6月1日	40.50	46,037	25.3	
須坂市文化会館 メセナホール	平成27年6月1日	54.00	67,442	37.1	
くつろぎ荘	平成28年12月8日	29.12	31,628	17.4	
日野地域児童クラブ	平成29年4月1日	31.20	36,502	20.1	
旭ヶ丘市営住宅	平成29年11月15日	79.04	101,066	55.6	

(5) 先進地視察の受入れ

小水力発電事業の行政視察として、県外から2団体を受け入れた。

3 省エネルギー・CO₂削減啓発事業

(1) ノーマイカーデー

毎月第2、第4水曜日に市職員を対象としたノーマイカーデーを実施した。

(2) グリーンカーテン事業

グリーンカーテンを啓発するためゴーヤ苗を配布した。

ア 実施日 6月1日 (於:スマイル・ママ・フェスタ in 須坂)

イ 場所 須坂市文化会館メセナホール

ウ 本数 200株

(3) 広報等による啓発

広報須坂7月号で、クールチョイス (クールビズ) について掲載し啓発を行った。

4 売電収入の基金への積立について

長野県GND基金事業の採択を得て整備した発電所が発電した余剰電力の売電収入については、実施要領において設備の維持管理、更新のための費用とするものとし、基金を設置し管理することとしている。2019年度に売電した余剰電力の収入を新エネルギー発電事業基金に積み立てた。

(1) 売電収入の内訳

発電所名	売電量 (kWh)	単価 (円)	売電額 (円)
米子小水力発電所	11,922	6.22 (H29.4以降)	80,613
防災活動センター太陽光発電所	13,792	6.80 (H29.4以降)	100,818
多目的 (防災) 広場備蓄倉庫太陽光発電所	8,846		65,243
合計	34,560	—	246,674

(2) 新エネルギー発電事業基金積立額 246,674 (内利子79円)

■ し尿処理施設運営事業

単位: 円

当初 予算額	74,254,000	予算 現額	66,879,000	決算額	66,879,000	前年度 決算対比	86.9%	前年度 決算額	76,936,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

須高行政事務組合で運営する、し尿処理施設 (須高衛生センター) の維持管理費用を負担する。

II 事業の成果等

平成28年度より施設の運転管理業務について、民間業者に委託された。

し尿及び浄化槽汚泥の処理について、公共下水道放流方式 (平成23年度より) により、適正に処理された。

また、し尿等の処理方法変更に伴い不要となった焼却設備等を撤去し、防災施設として被災者の避難場所及び備蓄倉庫を平成26年度に整備、その備蓄倉庫の有効活用を進めた。

Ⅲ 事業の実績

- 1 し尿処理量 4,449kℓ (前年度 4,811kℓ)
- 2 浄化槽汚泥処理量 682kℓ (前年度 644kℓ)

■ 火葬場施設運営事業

単位：円

当初 予算額	16,452,000	予算 現額	14,446,000	決算額	14,446,000	前年度 決算対比	121.6%	前年度 決算額	11,878,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

須高行政事務組合が運営する火葬場（松川苑）の維持管理経費を負担する。

II 事業の成果等

適正な管理運営が図られた。

Ⅲ 事業の実績

火葬数 須坂市分 592 体（前年度 637 体）、施設合計 846 体（前年度 875 体）

■ 広域ごみ処理推進事業

単位：円

当初 予算額	217,920,000	予算 現額	208,920,000	決算額	207,955,435	前年度 決算対比	90.1%	前年度 決算額	230,877,749
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

衛生的な市民生活を維持するため、長野広域連合による「長野地域ごみ処理広域化基本計画」を推進し、確実に安定的な処理体制を構築する。

II 事業の成果等

長野広域連合一般廃棄物最終処分場建設工事が2年目となり、令和2年10月の供用開始に向けて、区役員及び住民の理解を得ながら長野広域連合と協調し、住民周知を図った。

また、地元区では地域振興に関して積極的な検討が行われた。

Ⅲ 事業の実績

1 運営費の負担

長野広域連合ごみ処理広域化計画推進のため、長野広域連合環境推進費を負担した。

2 長野広域連合ごみ処理施設の必要性和安全性、また、全市民的課題であることの市民理解を深めるための広報活動等をおこなった。

なお、3月に予定していた一般廃棄物最終処分場建設地視察については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため区役員と調整し、次年度へ延期した。

■ 小規模水道施設整備事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	47,973,600	決算額	47,973,600	前年度 決算対比	9,594.7%	前年度 決算額	500,000
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	----------	------------	---------

I 事業の目的

平成31年4月1日より市営化による運営を開始した「須坂市峰の原高原飲料水供給施設」の老朽化した水道施設設備を辺地対策事業債を活用して更新整備を行い、区域内住民への将来に亘る安定給水の維持確保を図る。

II 事業の成果等

小規模水道施設設備更新工事の実施設計業務を行った。

III 事業の実績

1 菅平グリーンダボス別荘地小規模水道施設等実施設計業務委託（辺地対策事業）

新日本設計(株) 47,973,600円（平成30年度繰越事業）

4-1-6 (目) 公害対策費

単位：円

当初 予算額	22,166,000	予算 現額	19,234,000	決算額	18,179,714	前年度 決算対比	91.0%	前年度 決算額	19,983,083
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 環境対策事業

単位：円

当初 予算額	19,017,000	予算 現額	16,469,000	決算額	15,450,981	前年度 決算対比	92.6%	前年度 決算額	16,691,011
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民の健康を守り生活環境を保全するため、河川の水質調査や地域環境保全巡回パトロール等を実施するとともに、地下水資源の保全及び活用の方策について検討する。また、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法などに基づく規制基準の遵守のため指導及び改善勧告等、必要な措置を行うことにより市民等の苦情に対し迅速且つ適切な対応を行い、早期解決に結び付けるとともに公害の防止に努める。

II 事業の成果等

河川の水質調査や河川パトロールを行い、現況の把握や水質汚濁防止等を図った。また、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく指導等により、公害防止を図った。

地下水資源の保全及び活用の方策について検討するため3年間の業務を委託し、最終年度の本年は調査と解析の結果を踏まえて、施策立案と地下水の見える化のための諸検討を行った。

III 事業の実績

1 水質汚濁対策関係事業の実施状況

(1) 河川の水質調査

ア 須坂市河川水質測定業務委託 (株)信濃公害研究所

(ア) 調査日 8月5日、11月7日

(イ) 調査河川等 7河川(灰野川、米子川、宇原川、仙仁川、鮎川、百々川、八木沢川) 12定点

(ウ) 委託料 916,440円

主要河川水質測定結果一覧表

上段：8月5日調査値、下段11月7日調査値

河川名 (地点名)	PH	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	T-N 全窒素 (mg/l)	T-P 全りん (mg/l)	DO 溶存酸素 (mg/l)	大腸菌群 数 (MPN/100ml)
八木沢川 (高山村境)	7.2	0.6	2	1.7	0.021	8.5	4,900
	7.5	0.6	3	2.3	0.023	10.0	3,300
八木沢川 (高橋町)	7.7	0.5	1	1.7	0.028	8.4	24,000
	7.6	0.5	1	2.2	0.018	10.0	11,000
八木沢川 (馬場町)	7.7	0.9	<1	2.6	0.084	8.1	4,900
	7.9	0.8	1	3.8	0.027	10.0	2,400
八木沢川 (相之島機場)	7.4	0.7	1	2.4	0.034	10.0	790
	7.0	0.6	1	2.9	0.019	10.0	920

河川名 (地点名)	PH	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N 全窒素 (mg/ℓ)	T-P 全りん (mg/ℓ)	DO 溶存酸素 (mg/ℓ)	大腸菌群 数 (MPN/100mℓ)
宇原川 (26号床下)	7.4	<0.5	<1	0.51	0.014	8.2	46
	7.3	0.6	1	0.40	0.008	10.0	49
仙仁川 (仙仁橋)	5.6	0.5	2	0.66	0.005	8.3	<2
	6.5	0.6	5	0.63	0.007	10.0	33
鮎川 (落合橋)	6.9	<0.5	3	1.5	0.043	7.8	540
	6.9	0.5	1	1.6	0.017	10.0	3,300
鮎川 (中島町)	6.8	<0.5	4	1.4	0.047	7.8	1,100
	6.6	0.5	5	1.4	0.032	8.2	7,900
灰野川 (大日向1号橋)	7.2	<0.5	3	1.2	0.016	8.2	540
	7.1	0.5	<1	1.0	0.003	10.0	49
米子川 (大日向2号橋)	3.8	<0.5	1	0.51	0.004	7.9	4
	4.2	0.8	8	0.61	0.015	10.0	79
百々川 (百々川橋)	4.1	<0.5	<1	0.60	0.004	7.8	23
	4.7	1.7	3	0.86	0.006	10.0	4
百々川 (新百々川橋)	4.5	0.7	4	0.83	0.011	7.8	4
	5.8	0.7	8	1.2	0.014	10.0	2
環境基準 (河川A類型)	6.5以上 8.5以下	2.0以下	25以下	1.0以下	0.1以下	7.5以上	1,000以下

追加大腸菌群数測定結果一覧表

調査年月日	6月25日	2月13日
測定項目	大腸菌群数	
環境基準	河川A類型参考 (1,000MPN/100ml)	
灰野川砂防ダム直下点	170	540
上部中間地点	350	540
下部中間地点	460	2,400
灰野川最下点	540	700

調査年月日	6月25日	2月13日
測定項目	大腸菌群数	
環境基準	河川A類型参考 (1,000MPN/100ml)	
八木沢川サマーランド地点	350	9,200
温泉橋地点	920	17,000
八木沢橋1号地点	460	5,400
郷原橋地点	540	17,000

PH (水素イオン濃度)

1から6酸性、7中性、8～14アルカリ性
環境基準では6.5以上8.5以下が基準値となっている。

BOD (生物化学的酸素要求量)

河川A類型の環境基準では、2.0mg/ℓ以下
水の中に含まれる有機物が、微生物によって分解されるときに消費される酸素の量をいい、数値が大きければ有機物が多いことを意味し、汚れの程度が大きいことを示す。

SS (浮遊物質)

河川A類型の環境基準では、25mg/ℓ以下
粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質をいい、粘土粒子や有機物、プランクトン、あるいは工場廃水中の懸濁物質などで水のにごりの原因となる。

全窒素

環境基準は設定されていないが、ここでは湖沼の基準 (1.0mg/ℓ 以下) をあてはめた。
水に含まれる無機性及び有機性窒素の総量を示したもの。

窒素は、リンとともに富栄養化の原因物質のひとつとされ、工場や飲食店の排水、家庭の雑排水等が河川に流入することや田畑の肥料成分中の窒素が雨などによって河川に流入すること等が原因と考えられる。

全りん

環境基準は設定されていないが、ここでは湖沼の基準 (0.1mg/ℓ 以下) をあてはめた。
水に含まれるリン酸や動植物性のりん等の総量を示したもの。

りんは窒素とともに富栄養化の原因物質のひとつとされ、自然水中にも広く存在するが、洗剤や肥料中のりんが生活排水や農業排水によって河川に流入するが多い。

DO (溶存酸素量)

河川A類型の環境基準では、7.5mg/ℓ 以上

水中に溶け込んでいる酸素の量をいい、水の自浄作用に係わっている。

きれいな河川水中では普通7から14mg/ℓ 程度であるが、有機物が多くなると値が低下し、水質汚濁の指標となる。

大腸菌群数

河川A類型の環境基準では、1,000MPN/100ml 以下

一般に人間や動物の腸内に生息する細菌だが、草原や畑などの土中にも生存している。これらを一括して大腸菌群として測定する。水温が高いと繁殖しやすく、高い値を示す。

- イ 鮎川合流手前水路水質検査業務委託(5月・2月) (株)信濃公害研究所 委託料 59,400円
ウ 九反田町畑地権者持ち込み水質検査業務委託(6月) (株)信濃公害研究所 委託料 21,600円

(2) 信濃川を守る協議会

ア 千曲川河川一斉パトロールの実施 5月23日

※10月実施分については令和元年東日本台風の影響により中止

(3) せせらぎサイエンス

中央公民館との共催により、鮎川水系に生息する水生生物観察会を行った。

7月27日 講師 杉本淳氏 参加者 18人

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく特定施設等の届出状況

- (1) 騒音に関する届出件数 17件 (特定施設 13件、特定建設作業 4件)
(2) 振動に関する届出件数 13件 (特定施設 13件、特定建設作業 0件)

3 公害苦情等の処理状況

(1) 処理件数等

種 類	受理件数(件)	処理件数(件)	処理不要件数(件)	継続事案件数(件)
大気汚染	13	13	0	0
水質汚濁	4	4	0	0
騒 音	6	6	0	0
悪 臭	3	3	0	1
そ の 他	35	35	0	0
計	61	61	0	1

4 悪臭原因事業所に対する指導等

(1) 立ち入り調査、臭気測定の実施

ア 許可権者である長野県と立ち入り調査、臭気測定の実施

悪臭原因事業所へ、処理業に対する許可権者である長野県と立ち入り調査、臭気測定については長野県が実施。

(ア) 立ち入り調査

- a 実施日 11月27日、12月19日、1月27日
長野県職員8人、市職員2人

(イ) 臭気測定（長野県により実施）

- a 実施日 4月24日、7月23日、11月11日、1月22日
b 測定場所 悪臭原因事業所敷地境界線上及び上八町住宅地
c 調査項目 臭気指数

(2) 悪臭原因事業所へ臭気指数低減の依頼

悪臭原因事業所へ前年度行った調査の報告書に基づき、臭気指数低減依頼通知を交付した。

ア 通知交付日 7月4日

イ 臭気指数低減依頼通知の内容

(ア) 調査業務報告書のまとめの項を参考に臭気指数低減の依頼

- a C/N比の改善
b 適正な好気性発酵処理
c 運用管理方法の見直し
d 脱臭方法の検討

5 地下水の保全に関すること

(1) 須坂市水資源保全条例に基づく申請等の状況

- ア 許可井戸 使用届 1件 承継届 1件 申請 1件 協議書 1件 氏名変更届 1件
イ 届出井戸 届出 4件

(2) 地下水資源保全・活用計画検討業務について

ア 業務委託契約について

須坂市における地下水資源の実態を把握し、今後の保全及び活用のための方策を検討するため、公募型プロポーザルにより地下水資源保全・活用計画検討事業を平成29年度から平成31年度まで3年間業務委託し、3年目の2019年度は、調査と解析の結果を踏まえて、施策立案と見える化のための諸検討を行った。

- 委託業務名 平成29年度須坂市地下水資源保全・活用計画検討業務委託
委託先 八千代エンジニアリング株式会社 長野事務所
委託期間 平成29年6月1日から平成32年3月31日
契約金額 23,976,000円（債務負担行為）（2019年度委託料 7,992,000円）

イ 須坂市地下水資源保全・活用計画検討委員会の開催

7月10日 平成30年度の業務報告

6 自然公園法に関する意見照会等 7件（特別地域内4件、普通地域内2件、財産区内1件）

7 衛生害虫等の対応

アメリカシロヒトリ等の防除機械の自治会等への貸出し状況 0回（申請無し）

8 アレチウリ撲滅作戦

外来植物のアレチウリによる農作物の被害防止や、在来植物など自然環境保護のため、地域自治会、県等関係機関、庁内関係課と連携し次のとおり駆除作業を実施した。

実施場所	実施日	参加人数 (人)	担当課
日野地区	6月30日	25	農林課
井上地区	7月7日	30	道路河川課
豊洲地区	7月7日	90	生活環境課
	9月1日	80	

9 希少生物の保全

長野県絶滅危惧ⅠA類のスギナモ、準絶滅危惧種のチャイロカワモズクの生息地の確認及び保全を行った。

10 株アールエフ須坂工場（旧富士通株須坂工場）の環境情報について

旧富士通株須坂工場敷地内の観測井戸から、ポリ塩化ビフェニル（PCB）が検出されたことに伴い実施していたモニタリング調査の報告が滞っていることから同社に対し提出依頼を行い、9月分より毎月提出されている。

11 空間放射線量の定点測定

須坂市内の小学校校庭及び市役所庁舎等敷地において、偶数月の25日前後に空間放射線量の定点測定を実施した。

なお、測定結果は、いずれも健康に影響のない値であり、市ホームページにおいて公表した。

- (1) 測定方法 シンチレーションサーベイメータによる簡易測定
- (2) 測定箇所 市内6地点（豊丘小学校、仁礼小学校、高甫小学校、豊洲小学校、峰の原高原こもれびホール、市役所）
- (3) 測定機器 ALOKA TCS-172B

12 自動車騒音常時監視及び面的評価業務

騒音規制法に基づき、自動車騒音常時監視及び面的評価業務を専門機関へ委託した。

- (1) 実施日等 12月10日午前6時00分から12月11日午前6時00分までの24時間
- (2) 調査結果

路線名	評価区間	評価区間の延長 (km)	評価区間全体							
			残留騒音※レベル			評価対象 住居数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜も 値下 基準以 下 b (戸)	昼間の 値下 基準以 下 c (戸)	夜間の 値下 基準以 下 d (戸)	昼間・夜も 値下 基準以 上 e (戸)
			設定	昼間 (dB)	夜間 (dB)					
一般国道 406号	村山町信号～高梨町西信号	0.4	2	41	38	16	16	0	0	0
	高梨町西信号～宮下医院地先	0.2	2	41	38	3	3	0	0	0
	宮下医院地先～北横町信号	2.1	2	41	38	435	435	0	0	0
	北横町信号～横町中央信号	0.1	2	41	38	5	5	0	0	0
	横町中央信号～上中町信号	0.6	2	43	42	118	118	0	0	0

路線名	評価区間	評価区間の延長 (km)	評価区間全体							
			残留騒音※レベル			評価対象等 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間 と準 基以 b (戸)	昼間の 準下 基以 c (戸)	夜間の 準下 基以 d (戸)	昼間・夜間 と準 基超 e (戸)
			設定	昼間 (dB)	夜間 (dB)					
長野須坂インター線	屋島橋～ガソリンスタンド宇佐美地先	0.8	2	46	41	5	5	0	0	0
村山小布施停車場線	村山町信号～2区画先地先	0.3	2	43	40	30	30	0	0	0
	2区画先地先～村山町中央信号	0.1	2	43	40	8	8	0	0	0
	村山町中央信号～6区画先地先	0.6	2	43	40	50	50	0	0	0
	6区画先地先～須坂太鼓道場先地先	0.7	2	43	40	1	1	0	0	0
	須坂太鼓道場先地先～相之島町信号	0.7	2	43	40	59	59	0	0	0
	相之島町信号～八木沢橋	0.6	2	43	40	13	12	0	1	0
合計		7.2				743	742	0	1	0

※残留騒音 = 総合騒音 - 特定騒音

総合騒音：ある場所における、ある時刻の総合的な騒音（測定地点における騒音レベル）

特定騒音：総合騒音の中で音響的に明確に識別できる騒音

(3) 委託先 中外テクノス(株)中部支社

(4) 委託料 1,738,000円

13 上信越高原国立公園須坂地域連絡協議会関係

(1) 上信越高原国立公園須坂地域連絡協議会 現地視察会・意見交換会

ア 10月21日実施予定であったが令和元年東日本台風による災害発生により開催中止

■ 生活雑排水対策事業

単位：円

当初予算額	3,149,000	予算現額	2,765,000	決算額	2,728,733	前年度決算対比	82.9%	前年度決算額	3,292,072
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	-----------

I 事業の目的

一般家庭から排出される雑排水が河川の水質汚濁の原因となっていることから排水処理施設の設置を義務付け、この汚泥処理を市が行うことにより、市民と行政が協力して水質浄化に努める。

II 事業の成果等

下水道の普及に伴い汚泥収集量は毎年減少しているが、雑排水汚泥を処理し水質汚濁防止を図った。
また、浄化槽の適正な管理を行い、河川等の水質浄化を図った。

III 事業の実績

1 汚泥処理の状況

収集月	基数 (基)	中間処理業務		運搬業務		最終処分業務	
		処理量(ℓ)	委託料(円)	処理量(ℓ)	委託料(円)	処理量(ℓ)	委託料(円)
4・5	305	47,550	575,164	950	7,181	950	20,520
7・8	287	44,040	532,707	880	6,652	880	19,008
10・11	283	43,910	540,970	880	6,776	880	19,360
1・2	276	42,220	520,150	850	6,545	850	18,700
小計	1,151	177,720	2,168,991	3,560	27,154	3,560	77,588
				委託料合計		2,273,733	

2 浄化槽の設置状況 (届出等受理件数)

- (1) 設置届 (設計概要書) 1件
(2) 廃止報告書 8件

4-1-7 (目) 霊園管理費

単位：円

当初 予算額	12,173,000	予算 現額	11,954,000	決算額	11,483,437	前年度 決算対比	20.0%	前年度 決算額	57,370,685
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 霊園管理事業

単位：円

当初 予算額	9,423,000	予算 現額	9,405,000	決算額	8,934,637	前年度 決算対比	103.7%	前年度 決算額	8,618,405
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

坂田霊園、松川霊園、高梨霊園の適切な管理及び環境整備を行う。

II 事業の成果等

市営3霊園の適切な維持管理を行い、安息の地にふさわしい環境整備及び墓参者の安全を確保した。
また、空き区画について使用者募集を行った。

III 事業の実績

1 施設管理等の状況

(1) 修繕の状況

- ア 坂田霊園女子トイレ便座更新 83,160円
イ 松川霊園通路補修 99,576円
ウ 高梨霊園通路及び駐車場出入口舗装 594,000円

(2) 業務委託の状況

ア 霊園管理業務

霊園管理業務(ごみ収集含む)を(公社)須高広域シルバー人材センターに委託した。 2,501,547円

イ 霊園駐車場整理業務

お盆期間中の駐車場整理をアンゼン産業㈱に委託した。 坂田霊園 429,624円 松川霊園 89,802円
春のお彼岸の駐車場整理をアンゼン産業㈱に委託した。 坂田霊園 44,000円

ウ 支障木伐採業務

坂田霊園および高梨霊園内の生垣の剪定を（公社）須高広域シルバー人材センターに委託した。
216,912 円

坂田霊園内の枯木（桜）の伐採を（有）日新グリーンに委託した。
116,640 円

エ 管理手数料電算業務

管理手数料徴収に係る電算業務を（株）電算に委託した。
512,736 円

(3) 電算システム使用料

（株）電算の霊園管理システム使用料
349,920 円

2 霊園管理手数料等収納状況

霊園管理手数料（1区画 年額3,000円 ※新規使用者は月割額。10月1日より年額3,120円に改定）

霊園名	区画数	貸付数	空区画	調定額(円)	収入済額(円)	未済額(円)	収納率(%)
坂田霊園	1,602	1,505	97	4,501,040	4,471,040	30,000	99.3
松川霊園	1,436	1,305	131	3,911,000	3,905,000	6,000	99.8
高梨霊園	352	345	7	1,041,000	1,041,000	0	100.0
過年度分				105,000	30,000	75,000	28.6
計	3,390	3,155	235	9,558,040	9,447,040	111,000	98.8

3 霊園関係届出状況

霊園管理に係る各種届出等を受理した。

- (1) 墳墓碑石等建設工事施工届 74件
- (2) 墳墓碑石等建設工事完了届 70件
- (3) 霊園使用承継申請 92件
- (4) 霊園埋葬届 152件
- (5) 改葬許可申請 76件
- (6) 霊園使用許可証書替申請 15件
- (7) 霊園返還届 49件
- (8) 合葬式墓地埋葬届 80件
- (9) 管理料免除申請 9件

4 使用者募集

坂田霊園・高梨霊園及び松川霊園並びに合葬式墓地の使用者を募集した。

(1) 坂田霊園

- ア 募集期間及び区画数 10月15日～10月31日 15区画
- イ 応募条件 須坂市内に住所または本籍のある者
- ウ 使用者決定区画数及び永代使用料 2区画 424,000円

(2) 高梨霊園

- ア 募集期間及び区画数 10月15日～10月31日 5区画
- イ 応募条件 須坂市内に住所または本籍のある者
- ウ 使用者決定区画数及び永代使用料 応募者なし

(3) 松川霊園

- ア 募集期間及び区画数 第1回 5月24日
第2回 6月3日～9月27日
南区画 30区画
- イ 応募条件 須坂市内に住所または本籍のある者
- ウ 使用者決定区画数及び永代使用料 16区画 6,080,000円

(4) 松川霊園第一合葬式墓地

ア 応募条件 受入予定数到達のため、第一合葬式墓地に既に親族の申込みがある者のみ受付

イ 申込数及び使用料 合同納骨方式 1体 50,000円

(5) 松川霊園第二合葬式墓地 (平成31年4月1日より募集開始)

ア 応募期間 通年募集

イ 申込数及び使用料 個別納骨方式 126体 17,495,000円

合同納骨方式 146体 5,975,000円

※霊園区画返還者申込み分を含む

■ 霊園施設整備事業

単位：円

当初 予算額	2,750,000	予算 現額	2,549,000	決算額	2,548,800	前年度 決算対比	5.2%	前年度 決算額	48,752,280
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	------	------------	------------

I 事業の目的

適正な霊園墓地区画、合葬式墓地数を確保するとともに施設の適正な維持管理のための整備を行う。

II 事業の成果等

坂田霊園の老朽化した擁壁の崩落防止のため、H30年度より擁壁補修工事を実施中。

III 事業の実績

端地及び信地の擁壁を補修。

- 1 坂田霊園擁壁排水対策工事 (有筑波道路 1,274,400円)
- 2 坂田霊園擁壁補修工事 (有筑波道路 1,274,400円)

4-1-8 (目) 保健衛生災害対策費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	556,278,000	決算額	78,527,987	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

■ 保健衛生災害対策事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	495,000	決算額	311,263	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	---------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風による感染症拡大防止のため。

II 事業の成果等

厚生労働省「令和元年台風第19号に係る避難所におけるインフルエンザの予防接種について」に基づき、インフルエンザ集団予防接種を須高医師会の協力で実施し感染拡大の予防が出来た。

III 事業の実績

1 避難所におけるインフルエンザ集団予防接種

- (1) 実施日 10月25日(土)
- (2) 場所 北部体育館
- (3) 接種者数 72人
- (4) 医師看護師報酬 医師3人 49,500円、看護師3人 15,000円
- (5) 医薬材料費 ワクチン代 119,163円

■ 環境衛生災害対策事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	555,783,000	決算額	78,216,724	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風による被災世帯から排出された災害廃棄物の処理等を行う。

II 事業の成果等

災害等廃棄物処理事業費補助金を活用した災害廃棄物処理を実施。被災地域における災害廃棄物の撤去、災害廃棄物仮置場の設置及び管理、仮置場からの収集運搬及び処分を実施し、仮置場に集積した片付けごみについては令和2年2月で処理が完了した。

また、今後実施する公費解体のための制度設計、周知及び受付を開始した。

III 事業の実績

1 仮置場の設置及び管理

(1) 日滝原産業団地公園内災害廃棄物仮置場

開設日時 10月14日～10月27日 午前9時～午後4時

※ 10月28日以降は電話連絡を受けての随時搬入

搬入車両台数（延べ数） 3,587台

(2) 管理等業務委託

令和元年度台風19号災害廃棄物仮置場管理支援業務 4,042,500円（株タケモト）

〃

2,915,825円（株信東産業）

令和元年度台風19号災害廃棄物仮置場管理運営及び運搬処理業務 19,100,709円（三重中央開発株）

2 災害廃棄物の収集運搬及び処理

(1) 処理実績（量）

ア 可燃ごみ 984.5トン

イ 不燃ごみ 56.7トン

ウ 埋立ごみ 97.8トン

※京都府木津川市 民間企業運営の一般廃棄物最終処分場

エ 家電4品目 36トン

(2) 業務委託等

令和元年度台風19号災害廃棄物収集運搬等業務 125,180円（岡田産業株）

〃

187,066円（株環境クリエーション）

〃

583,000円（株ミノル産業）

〃

919,600円（須坂市委託清掃協同組合）

〃

2,226,400円（株タケモト）

〃

2,711,500円（株タケモト）

〃

2,397,780円（株しんえこ）

令和元年度台風19号災害廃棄物処理業務 105,690円（三益消防機材株）

〃

180,400円（須坂石油商業組合）

〃

1,503,700円（株タケモト）

〃

24,599,000円（長野広域連合）

令和元年度台風19号災害廃棄物仮置場交通誘導警備 459,800円（アンゼン産業株）

(3) 手数料

令和元年度災害廃棄物処理手数料(家電4品目リサイクル料金) 2,627,578円 ((一財)家電製品協会)

(4) 借上料

令和元年度台風19号災害廃棄物仮置場監視カメラ機器借上 36,300円 (協和テクノ(株))

令和元年度台風19号災害廃棄物破砕機等賃貸借 12,925,000円 (三重中央開発(株))

(5) その他

ア 被害が大きかった北相之島町については、既存のごみステーション周辺を災害廃棄物の一時的な集積所とした。また、通常のごみ収集に必要な資源物用コンテナ、ペットボトル用ネットなどが喪失したため、必要な備品について整備した。

イ 被災地域の町を通じて被災者あて環境美化袋(ごみ袋)を配付した。また、市が設置した避難所に環境美化袋を配付した。配付枚数 6,000枚。

ウ 災害廃棄物を直接処理場(ながの環境エネルギーセンター)に搬入する者に対して、ごみ処理手数料減免申請書への証明発行業務を行った。発行件数 117件

エ 千曲川堤外地における農地においてボランティアが集積した災害廃棄物について、収集運搬及び処分を実施した。

オ 仮置場に集積した災害廃棄物を破砕処理する自走式破砕機及び篩機各1台を設置するため、長野県あて非常災害に係る一般廃棄物処理施設の届出を行った。

3 災害応援

被災地域における災害廃棄物の撤去、災害廃棄物置場における積み降しや分別、仮置場からの収集運搬について、須坂市災害ボランティアセンター、長野県塩尻市、法務省矯正局特別機動警備隊、法務省矯正局長野刑務所、自衛隊の協力を得て実施した。

災害ボランティアセンター、塩尻市、矯正局特別機動警備隊、長野刑務所 延べ数 271人

4 協定の締結

(1) 長野広域連合と災害廃棄物処理について協定を締結した。

(2) 長野県建設部及び長野県住宅供給公社と県営住宅で排出された浸水量の処理について協定を締結した。

5 公費解体制度

(1) 制度概要

半壊、全壊の判定を受けた被災家屋等について、市が解体、撤去を行う。

(2) 被災者への周知

半壊判定、全壊判定の罹災証明書が発行された被災者に対して郵送で通知した。

(3) 人員の配置 京都府亀岡市から災害派遣された技師1名を配置。

(4) 受付期間 令和2年2月25日～8月31日

(5) 受付件数(令和2年3月31日現在) 公費解体 8件 自費償還 2件

4-2-1 (目) 清掃総務費

単位：円

当初 予算額	91,850,000	予算 現額	87,850,000	決算額	86,996,511	前年度 決算対比	103.9%	前年度 決算額	83,702,228
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ ごみ収集事業

単位：円

当初 予算額	91,850,000	予算 現額	87,850,000	決算額	86,996,511	前年度 決算対比	103.9%	前年度 決算額	83,702,228
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市内の家庭ごみ及び資源物等の適正な収集業務を管理運営する。

II 事業の成果等

快適な市民生活と環境衛生推進のため、家庭ごみ、資源物及び側溝清掃後の土砂等の適正な収集を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られた。また、各町毎に実施する粗大ごみ等の収集、祝日にごみ収集を行うなど、市民サービスの向上が図られた。

III 事業の実績

1 ごみ収集の状況

須坂市委託清掃協同組合外3社に委託し、市内の家庭ごみ及び資源物等の収集業務を行った。

2 ごみ及び土砂類等収集量

(1) 収集量

単位：kg

区 分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	側溝土砂類	合 計
委託業者	6,651,410	296,830	101,280	88,860	7,138,380
許可業者	3,495,350	14,870	—	—	3,510,220
直接持込	407,170	102,320	—	9,460	518,950
(内訳) 事業系	383,370	41,880	—	—	425,250
家庭系	23,800	60,440	—	9,460	93,700
合 計	10,553,930	414,020	101,280	98,320	11,167,550
前年度	10,580,940	414,670	92,210	98,680	11,186,500
前年度対比	99.7%	99.8%	109.8%	99.6%	99.8%

(2) 委託業者収集日数

単位：日

区 分	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	側溝土砂類
日 数	202	152	22	69

3 町別粗大ごみ等の収集状況

粗大ごみ（一辺50cmを超えるもの）及び蛍光管の収集を、各町毎に収集日を定め実施した。

(1) 実施期間 7月13日～11月30日

(2) 実施日数 20日（69町で各1回実施）

(3) 収集量 ()内は前年度実績及び前年度対比

ア 可燃粗大ごみ	40,090 kg	(35,420 kg	113.2%)
イ 不燃粗大ごみ	61,150 kg	(56,790 kg	107.7%)
ウ 蛍光管	1,600 kg	(1,747 kg	91.6%)

4 ごみ収集業務委託の状況

(1) 可燃ごみ等収集委託料	須坂市委託清掃協同組合	69,062,400円
(2) 不燃ごみ等収集委託料	(株)環境クリエーション	4,708,800円
(3) 粗大ごみ収集委託料	(株)タケモト、(株)ミノル産業	4,226,651円
(4) 側溝清掃土砂収集委託料	(株)環境クリエーション	2,690,900円
(5) 峰の原高原ごみ収集委託料	(株)環境クリエーション	2,943,000円
(6) 廃蛍光管収集委託料	(株)タケモト、(株)ミノル産業	603,900円

(7) 臨時ごみ収集委託料	須坂市委託清掃協同組合	2,218,630 円
(8) 可燃残渣物収集委託料	(株)ミノル産業	536,200 円
合 計		86,990,481 円

4-2-2 (目) 清掃センター費

単位：円

当初 予算額	111,944,000	予算 現額	100,505,680	決算額	92,568,619	前年度 決算対比	41.7%	前年度 決算額	221,893,220
-----------	-------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

■ ごみ処理施設管理事業

単位：円

当初 予算額	3,309,000	予算 現額	3,411,300	決算額	2,666,757	前年度 決算対比	69.4%	前年度 決算額	3,841,093
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

清掃センターの管理業務を行い、適正なごみ処理を図る。

II 事業の成果等

清掃センターを適正に管理し、市民サービスの向上を図った。

III 事業の実績

1 会議等の出席状況

会 議 名	実施団体	開催期日	出席人員(人)
長野地域ごみ処理広域化推進協議会	長野地域ごみ処理広域化推進協議会	5月20日	1
		8月23日	1
		12月20日	1
		2月18日	1
長野県廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックごみ部会総会	長野県廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックごみ部会	7月30日	1
長野地域ごみ処理広域化推進協議会 視察研修	長野地域ごみ処理広域化推進協議会	10月4日	1

2 施設見学受入状況

ごみ処理の現状やごみの分別・リサイクルに関する理解と啓発のため、施設見学の受入れを行ったが、見学者が無かった。

3 修繕の状況 ホイルローダ修繕 59,400 円

4 工事の状況 給湯設備設置工事 (株)エスプラン 498,300 円

5 汚染負荷量賦課金

公害健康被害の補償等に関する法律（第 52 条）に基づくばい煙発生施設に該当するため、独立行政法人環境再生保全機構へ、汚染負荷量賦課金を納付した。 374,600 円

■ ゴミ処理施設運営事業

単位：円

当初 予算額	75,031,000	予算 現額	65,402,380	決算額	58,739,456	前年度 決算対比	33.4%	前年度 決算額	175,791,733
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

清掃センターの粗大ゴミ処理施設及び焼却施設の運転管理を行い、安全かつ安定したゴミ処理に努める。

II 事業の成果等

前年度の3月から、全ての可燃ゴミは長野広域連合の焼却施設での処理となっているが、ゴミピット内に残っている可燃ゴミと、粗大ゴミ処理施設で発生する可燃性残渣物を7月末まで当センターで焼却処理した。また、不燃ゴミ破碎処理後の可燃性残渣物を一時保管するための改造工事を8月末までに完了し、粗大ゴミ処理施設の保全に努めた。

III 事業の実績

1 不燃ゴミの月別搬入状況（粗大ゴミを含む）

月	不燃ゴミ			災害ゴミ	合計
	日数	搬入量 (kg)	1日平均 (kg)	搬入量 (kg)	搬入量 (kg)
4月	25	39,370	1,575		39,370
5月	20	46,430	2,322		46,430
6月	20	33,730	1,687		33,730
7月	25	40,060	1,602		40,060
8月	25	37,970	1,519		37,970
9月	25	40,600	1,624		40,600
10月	28	45,330	1,619	42,760	88,090
11月	25	45,100	1,804	1,020	46,120
12月	21	39,920	1,901	10,710	50,630
1月	19	30,760	1,619	210	30,970
2月	19	21,380	1,125	1,560	22,940
3月	22	34,100	1,550	390	34,490
合計	274	454,750	1,660	56,650	511,400
月平均	22.8	37,896			
前年度	273	452,700	1,658		
前年度対比(%)	100.4	100.5	100.1		

2 可燃ゴミの焼却量及び焼却灰量の状況

区分	焼却日数	焼却量 (kg)	焼却灰量 (kg)
年間合計	21日	105,050	29,530
月平均	10.5日	52,525	7,383

3 粗大ゴミ処理施設における破碎処理の状況（不燃ゴミの処理、資源物の選別状況）

区分	回数	処理量 (kg)	選別状況 (kg)					
			可燃類	鉄類	アルミ類	不燃残渣物	小型家電類	乾電池
年間合計	64回	511,400	66,100	169,760	7,110	200,250	56,620	11,560
月平均	5.3回	42,617	5,508	14,147	593	16,688	4,718	963

4 使用済乾電池の処理の状況 処理量 11,560 kg (前年度実績 11,850 kg 前年度対比 97.6%)

5 粗大ごみ処理施設及びごみ焼却施設等整備の状況

(1) 粗大ごみ処理施設改造工事	(株)中村体育	6,156,000 円
(2) 施設等修繕費		3,748,842 円
ア 粗大ごみ処理施設振動コンベヤインバータ取替修繕		1,155,000 円
イ 粗大ごみ処理施設搬送コンベヤローラー取替修繕		792,000 円
ウ 高圧起動盤修繕		473,000 円
エ アルミ選別機給水管保温修繕		438,460 円
オ その他設備等修繕	11 件	890,382 円

6 委託料の状況

(1) 監理業務委託料	(株)環境技術センター	810,000 円
(2) 埋立地管理委託料	米子区	140,000 円
(3) 埋立地整備委託料	協同組住建匠須高	239,800 円
(4) 自家用電気工作物保管理業務委託料	(財)中部電気保安協会	506,196 円
(5) ばいじん量等測定委託料	環境未来(株)	928,400 円
(6) 焼却灰等処分委託料	飯山陸送(株)	1,989,875 円
(7) 使用済み乾電池運搬処理委託料	JFE 条鋼(株)水島製造所	851,972 円
(8) 小型家電収集運搬委託料	(株)しんえこ	1,619,100 円
(9) 選別整理業務委託料	(公社)須高広域ルバー人材センター	926,550 円
(10) 漏油調査委託料	(株)信東産業	108,000 円
(11) 重油引抜処理委託料	長野喜楽鋳業(株)	5,400 円
(12) 油泥処分委託料	(株)フロンティア・スピリット	138,380 円

合計 8,312,273 円

7 清掃センター等用地借上料

(1) 清掃センター用地(取水槽用地分も含む、米子区外1名)	1,827,508 円
(2) 埋立地用地(米子区外3名)	3,335,286 円
合計	5,162,794 円

8 廃棄物処理手数料等の収入状況

(1) 鉄、アルミ類の売り払い額		
ア 鉄 類	169,760 kg	185,034 円
イ アルミ類	7,110 kg	30,975 円
合計		216,009 円
(2) 直接搬入分処理手数料		
ア 現金取扱	1,164 件	1,301,030 円
イ 口座振替・納付書	92 件	254,190 円
合計	1,256 件	1,555,220 円

4-3-1 (目) 水道費

単位：円

当初 予算額	320,702,000	予算 現額	303,008,000	決算額	299,313,604	前年度 決算対比	520.3%	前年度 決算額	57,526,635
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

■ 小規模水道施設維持管理事業

単位：円

当初 予算額	6,360,000	予算 現額	6,360,000	決算額	4,256,490	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

平成31年4月1日より市営化した「須坂市峰の原高原飲料水供給施設」について、区域内住民へ安心安全な水を安定供給するため、施設の適正な維持管理に努める。

II 事業の成果等

原水・浄水の水質検査、給水末端での残留塩素濃度測定等、施設の適正な維持管理を行い、安心、安全な水の安定供給を図った。また、クラウドシステムを利用し、市役所PCで給水末端の残留塩素濃度測定値を管理することにより、業務の負担軽減を図った。

III 事業の実績

1 施設管理等の状況

(1) 修繕の状況

給水管等修繕 216,640 円

(2) 業務委託の状況

ア 施設管理業務

施設管理業務（水道メーター検針を含む）を(株)日本アフター工業に委託した。 2,502,588 円

イ 水質検査業務

原水・浄水の水質検査業務を(一社)長野市薬剤師会に委託した。 309,780 円

(3) システム使用料

施設の衛生上の措置として給水末端での残留塩素濃度測定及び管理が必要となるため、残留塩素計の計測データを市役所PC及び担当者携帯電話で監視できるクラウドシステムを利用した。

甲信商事(株)長野営業所 WATER BUSINESS CLOUD サービス利用料 115,500 円

2 給水状況

建物数 52 棟（開栓 41 件、閉栓 11 件）

テニスコート 2 区画（開栓 1 件、閉栓 1 件）

開栓の内訳 個人別荘又は専用住宅 25 件、個人別荘又は専用以外（ペンション・法人別荘等） 17 件

※2019 年度中に個人別荘の開栓届を 1 件受理した。

3 水道料金収納状況

	6月請求 (5月検針)	8月請求 (7月検針)	10月請求 (9月検針)	12月請求 (11月検針)	2月請求 (1月認定)	計
使用水量	800 m ³	919 m ³	1,448 m ³	641 m ³	719 m ³	4,527 m ³
調定額	294,980 円	308,960 円	371,270 円	276,220 円	294,340 円	1,545,770 円
収入済額	294,980 円	308,960 円	371,270 円	276,220 円	294,340 円	1,545,770 円
未済額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
収納率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 小規模水道施設整備事業

単位：円

当初 予算額	226,600,000	予算 現額	222,700,000	決算額	222,652,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

峰の原高原で民間事業者が運営する「菅平グリーンダボス別荘地簡易水道」については、昭和48年に給水開始された施設設備で老朽化が激しく、給水人口も減少するなど水道経営の悪化している。簡易水道事業者から小規模水道事業者へ規模縮小するとともに、区域内住民への将来に亘る安定給水の維持確保からも、水道事業の市営化の要請があり、平成31年4月1日より「須坂市峰の原高原飲料水供給施設」として、市営化による運営を開始した。辺地対策事業債を活用し、老朽化した水道施設設備の整備を行う。

II 事業の成果等

運転に異常があった水源取水ポンプを先行して新規更新した。また、給水の残留塩素を計測するため、末端に残留塩素計を設置するとともに、クラウドシステム導入により市役所PC及び担当者携帯電話で数値等を確認できるよう整備した。

令和2年12月には新施設による給水開始ができるよう、債務負担行為による工事発注を行い、須坂市水道局へ工事費積算及び監理業務を依頼した。

III 事業の実績

1 小規模水道施設更新工事（辺地対策事業）

(1) 水源取水ポンプ作製工事	㈱日本アフター工業	1,134,000円	
(2) 水源取水ポンプ設置工事	㈱日本アフター工業	1,242,000円	
(3) 給水末端残留塩素計設置工事	甲信商事㈱長野営業所	12,636,000円	
◎債務負担行為による工事分（工期：R2.6.30）		（契約金額）	出来高払分
(4) 仮配管設置工事	旭日管機㈱	（55,605,000円）	44,000,000円
◎債務負担行為による工事分（工期：R2.10.30）		（契約金額）	前金払分
(5) 送・配水管敷設替工事	㈱信東産業	（132,000,000円）	51,000,000円
(6) 配水支管布設替工事	㈱タマキ	（86,515,000円）	31,000,000円
(7) 高区配水池築造工事	㈱北條組須坂支店	（158,400,000円）	60,000,000円
(8) 水源、原水受水槽及び送水ポンプ室築造工事	須坂土建工業㈱	（37,620,000円）	15,040,000円

2 小規模水道施設更新工事に係る積算監理業務負担金

須坂市水道局 6,600,000円

■ 上水道供給安定化助成事業

単位：円

当初 予算額	29,188,000	予算 現額	29,188,000	決算額	29,187,577	前年度 決算対比	87.8%	前年度 決算額	33,244,218
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の実績

水道事業負担金のうち、百々川総合開発事業豊丘ダム建設に伴う水道事業債の元金及び利子を水道事業会計へ補助した。

借入 年度	利率 (%)	補助額(円)	(内訳)	
			元金(円)	利息(円)
H4	4.400	4,564,980	3,877,777	687,203
H5	3.650	6,230,888	5,247,478	983,410

借入年度	利率 (%)	補助額(円)	(内訳)	
			元金(円)	利息(円)
H6	4.650	3,090,438	2,372,785	717,653
H20	0.900	8,339,167	8,283,069	56,098
H20	0.900	2,492,628	2,453,204	39,424
H21	0.910	4,469,476	4,359,275	110,201

■ 峰の原水道供給安定化助成事業

単位：円

当初予算額	4,574,000	予算現額	4,570,000	決算額	4,569,537	前年度決算対比	112.3%	前年度決算額	4,069,417
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の実績

峰の原水道事業で借り入れた辺地対策事業債について、償還時に地方交付税で措置された額（元利償還金の80%）を水道事業会計へ補助した。

借入年度	起債額 (円)	利率 (%)	償還額 (円)		補助金額 (円)
			元 金	利 息	
25	28,600,000	0.4	3,567,714	68,364	2,908,862
26	7,500,000	0.2	934,683	10,807	756,392
27	5,000,000	0.1	499,249	3,381	402,104
28	5,000,000	0.01	625,000	484	500,387
29	22,200,000	0.01	0	2,220	1,776
30	2,400,000	0.01	0	21	16
計					4,569,537

■ 県事業負担金

単位：円

当初予算額	53,980,000	予算現額	40,190,000	決算額	38,648,000	前年度決算対比	191.2%	前年度決算額	20,213,000
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の実績

県施工の豊丘ダム堰堤改良工事に対して負担金を交付した。

事業名	負担金総額(円)	1期分(円)	2期分(円)
豊丘ダム 堰堤改良事業	38,648,000	20,322,000	18,326,000

款 5 勞 働 費

(款5) 労働費

単位：円

当初 予算額	179,263,000	予算 現額	172,415,000	決算額	167,416,658	前年度 決算対比	95.8%	前年度 決算額	174,684,281
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

5-1-1 (目) 勤労者研修センター費

単位：円

当初 予算額	3,400,000	予算 現額	3,400,000	決算額	3,384,750	前年度 決算対比	96.7%	前年度 決算額	3,498,624
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 勤労者研修センター管理事業

単位：円

当初 予算額	3,400,000	予算 現額	3,400,000	決算額	3,384,750	前年度 決算対比	96.7%	前年度 決算額	3,498,624
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

勤労者に良好な研修活動の場を提供することにより、福祉の向上を図る。

II 事業の成果等

第1 勤労者研修センターの管理運営は、連合長野高水地域協議会須高地区連合会を、第2 勤労者研修センターの管理運営は、(特非) 精神保健福祉会すぎかの風 (ピアハウス) を指定管理者として、管理運営を委託した。

2か所の勤労者研修センターは、堅実で適切に運営されており、勤労者の研修・福祉活動の場として定着している。

III 事業の実績

1 第1 勤労者研修センター

- (1) 指定管理者 連合長野高水地域協議会須高地区連合会
- (2) 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
- (3) 管理経費 1,955,000円
- (4) 修繕関係 男子トイレ壁タイル修繕工事(2月) 189,750円

2 第2 勤労者研修センター

- (1) 指定管理者 (特非) 精神保健福祉会すぎかの風 (ピアハウス)
- (2) 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
- (3) 管理経費 531,000円
- (4) 修繕関係 会議室床修繕工事(3月) 99,000円

3 土地借上

第1 勤労者研修センター駐車場用地として墨坂神社へ賃貸借料支出 610,000円

土地の所在及び地積 墨坂一丁目1592-1 495.00㎡

墨坂一丁目1605-2 99.00㎡

4 施設の使用状況

(1) 使用状況

施設名	区分	当該年度	前年度	前年度対比 (%)
第1 勤労者 研修センター	使用日数 (日)	302	287	105.2
	使用件数 (件)	1,120	1,064	105.3
	使用人員 (人)	11,543	12,167	94.9
	使用料金 (円)	692,200	670,200	103.3

施設名	区 分	当該年度	前年度	前年度対比 (%)
第2勤労者 研修センター	使用日数 (日)	88	101	87.1
	使用件数 (件)	98	116	84.5
	使用人員 (人)	1,260	1,577	79.9
	使用料金 (円)	186,900	234,800	79.6

(2) 使用区分別件数

施設名	区 分	当該年度	前年度	前年度対比 (%)
第1勤労者 研修センター	午 前	255	234	109.0
	午 後	476	443	107.4
	夜 間	389	387	100.5
第2勤労者 研修センター	午 前	8	12	66.7
	午 後	8	11	72.7
	夜 間	82	93	88.2

5-1-2 (目) 労働諸費

単位：円

当 初 予算額	148,683,000	予算 現額	141,677,000	決算額	136,908,565	前年度 決算対比	94.7%	前年度 決算額	144,643,561
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 勤労者福祉事業

単位：円

当 初 予算額	131,020,000	予算 現額	130,469,000	決算額	128,277,089	前年度 決算対比	99.2%	前年度 決算額	129,257,752
------------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

勤労者が生き生きと働き、実りある生活ができるよう、福祉の向上を図る。
労働環境を正しく把握し、勤労者福祉や雇用促進施策に反映させる。

II 事業の成果等

勤労者の生活の安定を目的に、勤労者生活資金の融資あっせん及び利子補給、勤労者住宅建設資金融資利子補給、中小企業退職金共済加入奨励補助等を実施し、労働環境の整備と勤労者福祉の増進を図った。また、自転車駐車場の管理に関する諸問題に対し、各種団体等と連携しながら、課題解決に向けて施策を行った。

III 事業の実績

1 勤労者生活資金融資

(1) 勤労者生活資金融資預託

- ア 預 託 先 長野県労働金庫須坂支店
- イ 預託金額 120,000,000 円
- ウ 融 資 枠 180,000,000 円 (預託金額の1.5倍)

(2) 勤労者生活資金融資の状況 (融資利率 カーローン2.01%、教育ローン2.03%、住宅ローン2.13%、多目的ローン3.88% (保証料込))

当 該 年 度		前 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額
18	27,880,000	27	46,730,000	66.7	59.7

※ 年度末融資貸付高 129件 105,452,620円

(3) 勤労者生活資金融資利子補給金の状況

当 該 年 度		前 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額
21	1,147,309	25	1,601,601	84.0	71.6

(4) 勤労者住宅建設資金融資利子補給金の状況

当 該 年 度		前 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額
46	523,369	37	409,526	124.3	127.8

2 勤労者資金融資保証料補給金の状況

当 該 年 度		前 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額
10	59,589	10	630,868	100.0	9.4

3 中小企業退職金共済加入奨励補助金

市内に事業所を有する中小企業の従業員について退職金制度を確立するために、中小企業退職金共済法又は所得税法施行令第73条に基づいて、勤労者退職金共済機構又は特定退職金共済団体と新たに契約した被共済者の掛金について、事業主に対しその一部を補助した。

当 該 年 度		前 年 度		前 年 度 対 比 (%)	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額
124	1,544,400	141	1,732,000	87.9	89.2

4 自転車駐車場（長野電鉄各駅に設置した自転車駐車場）管理事業

(1) 須坂駅前中央自転車駐車場の清掃及び自転車整理等（通年）

ア 委 託 先 （公社）須高広域シルバー人材センター

イ 委 託 金 額 348,840 円

ウ 委 託 日 数 月 8 日（午前7時～9時）

(2) 放置自転車管理・自転車駐車場清掃等業務委託（通年）

ア 委 託 場 所 長野電鉄各駅設置の自転車駐車場（須坂駅前中央自転車駐車場を除く。）7か所

イ 委 託 先 須坂市勤労者協議会

ウ 委 託 金 額 495,197 円

エ 委 託 日 数 72 日

(3) 須坂、北須坂、日野、村山駅前自転車駐車場における自転車指導

ア 日 時 4月10日、17日 午前7時～8時

イ 参 加 者 市7人、須坂市勤労者協議会2人、須坂警察署1人 計10人

(4) 放置自転車処理

ア 期 日 3月9日

イ 委 託 先 （株）タケモト

ウ 処 理 委 託 料 25,960 円（34台）

(5) 修繕関係

須坂駅西口南自転車駐車場塗装修繕工事（6月） 142,236 円

須坂駅西口北自転車駐車場点灯スイッチ交換（12月） 9,185 円

須坂駅北口自転車駐車場照明器具交換（2月） 10,230 円

5 労働団体との連絡調整

- (1) 須高建設産業労働組合 要望事項に対する回答、市政に関する意見交換
期 日 4月19日
- (2) 第90回長野県メーデー須高地区大会
期 日 4月27日
- (3) (協)建匠須高第17回定期総会
期 日 5月11日
- (4) 第42回住宅デーに伴う公共施設の修繕
ア 主催 須高建設産業労働組合
イ 期 日 6月25日 建設職人の技能を活かした奉仕活動の一環として無料で修繕を実施(27か所)
- (5) 須高地区労働者福祉協議会第32回定期総会
期 日 6月27日
- (6) 須坂市勤労者協議会第52回定期総会
期 日 6月19日
- (7) 労働団体との懇談会
ア 期 日 中止<令和元年東日本台風被災による>
イ 内 容 市政に関する意見交換
ウ 参加者 連合長野高水地域協議会須高地区連合会、須高地区労組会議、須坂市勤労者協議会、須高地区労働者福祉協議会、県教組上高井支部、市内労働組合、連合長野高水地域協議会推薦議員
- (8) 須高地区労働者福祉協議会新春パーティー
期 日 1月16日
- (9) 須高建設産業労働組合第73回定期総会
新型コロナウイルス感染症の影響により中止

■ 雇用促進事業

単位：円

当初 予算額	4,882,000	予算 現額	7,417,000	決算額	5,430,688	前年度 決算対比	123.5%	前年度 決算額	4,396,387
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

充実した生活の実現を目的に、雇用の確保をするとともに、働く意欲を持つ市民が、その知識や経験を活かし自らの希望に応じた職業に就けるよう、きめ細かな就職・就業相談を実施した。

II 事業の成果等

「須坂市就業支援センター(愛称：ゆめわーく須坂)」で、専任相談員による就業相談関連事業、市内高等学校等と連携した職業観の早期醸成支援事業等を行った。

また、須坂公共職業安定所・須坂職業安定協会・須坂市生活就労支援センターまいさぼ須坂等と連絡を密にし、求人情報・社会動向の把握など情報交換をする中で、多様化する相談内容に対応できるよう努めた。

市内の企業等の担い手不足の支援及び移住の促進を図るため、UIJターン就業・創業移住支援金事業を創設した。

III 事業の実績

1 須坂市就業支援センターの事業

(1) 就業相談関連事業

ア 就業相談の利用状況

単位：人

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	男	女	合計	稼働日
新規	0	3	10	7	4	2	14	12	26	241日
延人数	0	8	43	67	9	10	81	56	137	

イ 原則予約制とし、相談者午前2人、午後2人で、相談時間は1人当たり約1時間30分とする。

ウ 利用者のアフターケア

(ア) 就業相談利用者に対して、合同就職面接会や職業訓練機関の講習案内、また、相談者の希望に応じた求人情報を継続的に提供し、求職活動を支援した。

(イ) 就職決定者数（報告があった者のみ。）

単位：人

職種	専門・技術	事務	販売	サービス	運輸	製造	その他	合計
人数	0	1	0	1	0	0	2	4

エ 無料職業紹介事業

(ア) 概要 事業所からの求人の受付

須坂市、長野市、中野市、飯山市、千曲市、小布施町、高山村の事業所を対象に求人を受付

(イ) 求人登録会社数 延98社

オ 緊急雇用対策相談窓口の設置

相談日 随時

(2) 職業観の早期醸成支援事業「市内高等学校2年生の職業現場見学」

職場見学についての意義とマナー事前学習、機械・食品製造業、福祉施設等の職業現場を見学

ア 期日 11月1日

イ 参加者 153人

ウ 受入事業所 市内10事業所

(3) ゆめわーくサポートネットワーク事業

ア ネットワークサポーターの構成

企業の人事担当者6人・高等学校進路指導担当者2人・勤労者代表1人・須坂公共職業安定所1人・須坂市生活就労支援センター1人 計11人

イ ゆめわーくサポートネットワーク会議

(ア) 期日 9月30日

(イ) 参加者 10人

(4) 須坂職業安定協会理事会・第57回定期総会

期日 5月16日

(5) 新規高等学校卒業者就職対策連絡会議

期日 6月26日

(6) 雇用促進・早期就労支援事業「求職者向けセミナー」

ア 日時 6月4日 午後2時～午後4時

イ 参加者 18人

ウ 内容

(ア) 現在の求人の状況と、就職に向けた心がまえ 講師 須坂職業安定所職員

(イ) 会話力アップ コミュニケーションセミナー 講師 キャリアコンサルタント 玉井康子氏

(7) 須坂市生活就労支援センターまいさぼ須坂支援調整会議への参加

期日 4月18日・6月20日・8月28日・11月21日・12月19日・2月20日 計6回

(8) 職業紹介責任者講習

ア 日時 11月14日 午前9時30分～午後5時

イ 内容 民営職業紹介事業制度の概要、職業安定法及び関係法令等の須坂市就業支援センターを運営する上で必要な知識に関する研修

2 企業ガイドブックの作成

新規学卒者の市内企業への就職促進を図るため、企業ガイドブック「2021 企業ガイドながのー北信版ー」を作成し、市内及び近隣の高等学校、県内の大学・短大・専門学校、長野県東京事務所内「I ターン相談室」等へ配布した。

作成部数 3,200部

3 求人情報の提供

須坂公共職業安定所、須坂市就業支援センター発行の「求人情報」を市役所等に掲示し、市民に情報提供した。

(1) 掲示場所 市民ホール、就業支援センター情報コーナー、技術情報センター、中央公民館、第1勤労者研修センター、勤労青少年ホーム創造の家、須坂市ホームページ

(2) 提供枚数 7,400 枚

(内訳 ハローワーク須坂分 3,050 枚 ハローワーク長野分 3,050 枚 就業支援センター分 1,300 枚)

4 就職情報サイト「おしごとながの」の運営

長野地域連携中枢都市圏構想に係る連携協約に基づき、運営する就職情報サイト「おしごとながの」で企業・求人情報など情報発信し、市内企業への就職促進を図った。

登録企業 20 社

5 長野地域U J I ターン就職促進事業

長野地域連携中枢都市圏9市町村が連携し、地域企業の魅力と長野地域で働く魅力を発信し東京圏からU J I ターン就職、長野地域への移住・定住を目的に各種イベントを行った。

(1) インターンシップフェア（長野県事業に共催）

ア 期 日 6月29日

イ 場 所 新宿ミライタワー（東京都）

ウ 参加者 企業74社（うち市内2社）、学生289人

(2) ナガノのシゴト博（社会人向け）

ア 期 日 10月20日

イ 場 所 KITTE（東京都）

ウ 参加者 企業20社（うち市内1社）、82人

(3) インターンシップ・業界研究フェア（長野県事業に共催）

ア 期 日 12月28日

イ 場 所 ホテル国際21（長野市）

ウ 参加者 企業70社（うち市内1社）、学生202人

(4) ナガノのシゴト博

ア 期 日 2月22日

イ 場 所 KITTE（東京都）

ウ 参加者 企業36社（うち市内1社）、学生215人

6 障害者雇用促進奨励金

障がい者の雇用を促進するため、障がい者を常用労働者として新たに雇用した事業所に対し、奨励金の交付を行い支援する。

交付対象者	交付状況
市内に事業所を有する事業主であって、市内に居住する障がい者を公共職業安定所の紹介により常用労働者として雇用し、6月以上継続して雇用した者（1人につき1回限り 20,000円限度）	2事業所（4人） 80,000円

7 U I J ターン就業・創業移住支援金

市内の企業等の担い手不足の支援及び移住の促進を図るため、3大都市圏から移住し、市内企業に就業した者に対し、支援金を交付する。2019年創設。補助事業（国1/2, 県1/4, 市1/4）又は（県1/2, 市1/2）

交付対象者	交付状況
3大都市圏から、市内に移住した方で、長野県が運営するマッチングサイトに掲載する企業等（市内に限定）に就業した方に、交付金（世帯1,000,000円 単身600,000円）を支給	1世帯 1,000,000円

■ 産業人材育成事業

単位：円

当初 予算額	4,502,000	予算 現額	3,791,000	決算額	3,200,788	前年度 決算対比	113.9%	前年度 決算額	2,809,664
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

次世代のものづくり産業を支える人材育成を行うために、各種講座の開催及び補助金等の支援を行う。

II 事業の成果等

産業人材の育成では、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク講座検討委員からニーズをお聞きし、好評の技術者・技能者向け機械加工講座などを継続開催するとともに、品質管理初級講座など要望の多い講座を開催した。

小中学生がものづくりに興味を持つきっかけとし、また市内企業がもつ技術に触れてもらうため、夏休みものづくり体験講座を開催した。

III 事業の実績

1 産業人材育成のための市独自講座の開催

(1) 実践機械製図講座

ア 期 日 6月5日・6日

イ 対 象 新入社員、機械製図初心者、技術・製造に携わる社員等

ウ 参加者 15人

エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク

オ 会 場 ポリテクセンター長野

(2) 品質管理入門講座

ア 期 日 6月11日・18日

イ 対 象 新入社員、新任管理者及び監督者等

ウ 参加者 22人

エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク

オ 会 場 シルキー第2ホール

(3) リーダーシップ研修

ア 期 日 7月17日

イ 対 象 中堅クラス写真、中間管理職者、新任管理職者及び監督者

ウ 参加者 24人

エ 共 催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク

オ 会 場 シルキー第2ホール

(4) 夏休みものづくり体験講座① かんたんなプログラミングと電子工作講座

ア 期 日 7月30日

イ 対 象 小学校4～6年生、中学生

- ウ 参加者 10人
- エ 共催 須坂AI・IoT活用研究会
- オ 会場 技術情報センター
- (5) 夏休みものづくり体験講座② 太陽エネルギーを学んで体験する講座
 - ア 期日 8月7日
 - イ 対象 小学校4～6年生、中学生
 - ウ 参加者 11人
 - エ 共催 須坂経営革新塾
 - オ 会場 シルキー第2ホール
- (6) IoT理解講座
 - ア 期日 9月12日
 - イ 対象 経営者、管理職者、システム技術者、生産管理技術者、生産技術者等
 - ウ 参加者 13人
 - エ 共催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
 - オ 会場 シルキー第2ホール
- (7) 技能検定機械保全機械系1級・2級受験準備講習会
 - ア 期日 10月8日・9日・29日・30日
 - イ 対象 機械保全機械系保全1級・2級受験予定者
 - ウ 参加者 21人
 - エ 共催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
 - オ 会場 ポリテクセンター長野
- (8) 機械加工講座
 - ア 期日 2月5日
 - イ 対象 機械加工関係者
 - ウ 参加者 22人
 - エ 共催 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク
 - オ 会場 市役所305会議室
- (9) 会社の環境活動セミナー
 - ア 期日 3月16日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - イ 対象 企業の環境担当者等
- (10) 家族ラズパイロボット教室
 - ア 期日 3月22日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - イ 対象 小学校4年生～中学校3年生

2 次世代産業人材育成支援事業補助金の状況

次世代の科学やものづくりを支える創造性豊かな子どもや学生を育成するため、「次世代産業人材育成支援事業補助金」を交付した。

当該年度		前年度		前年度対比(%)	
件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
1	200,000	1	200,000	100.0	100.0

3 人材能力開発事業補助金の状況

中小企業事業所が自ら又はその従業員の能力開発のため、「人材能力開発事業補助金」を交付した。

当該年度		前年度		前年度対比(%)	
件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
4	47,000	2	46,000	200.0	102.2

5-1-3 (目) 技術情報センター費

単位：円

当初 予算額	14,833,000	予算 現額	14,833,000	決算額	14,685,516	前年度 決算対比	99.4%	前年度 決算額	14,766,920
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 技術情報センター管理運営事業

単位：円

当初 予算額	14,833,000	予算 現額	14,833,000	決算額	14,685,516	前年度 決算対比	99.4%	前年度 決算額	14,766,920
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民のITスキルアップと企業ニーズに対応した人材育成を図る。

II 事業の成果等

産業支援、人材の育成、行政情報の受発信の機能を有する場として定着している。

須坂市技術情報センターを中心に開催する情報フェスタにより施設の周知を行い、利用拡大を図った。

III 事業の実績

1 技術情報センターの指定管理

- (1) 指定管理者者 (特非)信州SOHO支援協議会
- (2) 指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日
- (3) 管理経費 12,500,000円

2 施設内機器等更新

- (1) PC等更新 5年の長期継続契約
 契約期間 平成27年8月1日～令和2年7月31日
 5年間の総額 8,631,360円 うち当該年度支出分 1,726,272円
- (2) プロジェクタ等更新 5年の長期継続契約
 契約期間 平成27年10月1日～令和2年9月30日
 5年間の総額 1,532,520円 うち当該年度支出分 306,504円

3 施設の使用状況

- (1) 使用状況 (学習コーナー使用件数・使用人員を含む)

区 分	当 該 年 度	前 年 度	前年度対比 (%)
使用日数 (日)	294	292	100.7
使用件数 (件)	1,379	1,306	105.6
使用人員 (人)	8,585	8,843	97.1
使用料金 (円)	1,567,880	1,259,830	124.5

- (2) 使用区分別件数

区 分	当 該 年 度	前 年 度	前年度対比 (%)
午 前	358	450	79.6
午 後	786	610	128.9
夜 間	235	246	95.5

4 施設の修繕等

水道管取替工事(9月)	68,040円
2階部分エアコン室外機修繕工事(2月)	286,000円(※緊急対応工事のため財政課予算対応)
1階男子トイレ換気扇取替工事(2月)	84,700円

5-1-4(目) 勤労青少年ホーム創造の家費

単位：円

当初予算額	12,347,000	予算現額	12,505,000	決算額	12,437,827	前年度決算対比	105.6%	前年度決算額	11,775,176
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 創造の家管理事業

単位：円

当初予算額	12,347,000	予算現額	12,505,000	決算額	12,437,827	前年度決算対比	105.6%	前年度決算額	11,775,176
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

勤労青少年および市民の学習、交流、余暇活動の場を提供することにより、市民福祉の増進を図る。

II 事業の成果等

須坂市勤労青少年ホーム創造の家は、指定管理者の(一社)須坂市スポーツ協会が行い、施設の適切な維持管理を行い、市民福祉の増進、施設機能の維持向上が図れた。

III 事業の実績

1 指定管理者の状況

指定管理者 (一社)須坂市スポーツ協会
 指定の期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日
 指定管理委託料 11,596,851円

2 管理の状況

内容 \ 年度	当該年度	前年度	対前年度比(%)
利用者延べ人数	10,329人	10,423人	99.1
利用料収入	618,130円	519,640円	119.0

3 備品購入

会議用テーブル4台 163,296円

4 修繕関係

(1) 創造の家自動火災報知設備感知器修繕	28,620円
(2) 創造の家窓廻りコーキング打ち直し工事	141,480円
(3) 創造の家ドアクローザー修繕	58,300円

5 登録団体 17団体(有料団体11、無料団体6)

6 業務委託

業務名	委託先	委託内容	金額(円)
創造の家長寿命化基本設計業務委託	(株)幸建築設計	建物を今後も使い続けるために必要となる改修項目を洗い出し、その優先順位と概算費用の算出	449,280

款 6 農林水產業費

(款6) 農林水産業費

単位：円

当初 予算額	549,600,000	予算 現額	575,412,000	決算額	547,151,524	前年度 決算対比	97.4%	前年度 決算額	561,614,914
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

6-1-1 (目) 農業委員会費

単位：円

当初 予算額	41,463,000	予算 現額	40,597,000	決算額	40,375,259	前年度 決算対比	100.2%	前年度 決算額	40,280,991
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	2,078,000	予算 現額	1,983,000	決算額	1,910,517	前年度 決算対比	106.4%	前年度 決算額	1,795,234
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

耕作者の地位の安定と農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図る。

II 事業の成果等

農業生産の基盤となる優良農地を守り有効利用するため、農地の権利移動についての許認可や農地転用事務、農業者年金事務等を実施し、耕作者の地位の安定と農業生産力の増進が図られた。

III 事業の実績

1 農業委員会法令業務の所管事務を実施した。

(1) 農地法関係（議決件数）

法根拠	期別				計 (件) (㎡)
	4月～6月 (件) (㎡)	7月～9月 (件) (㎡)	10月～12月 (件) (㎡)	1月～3月 (件) (㎡)	
法第3条第1項 (所有権移転)	10 112,716.00	6 29,843.00	5 4,256.57	4 432,430.91	25 579,246.48
法第3条第1項 (賃借権・使用貸借権)	2 11,711.00	0 0	5 18,240.09	1 4,390.00	8 34,341.09
法第4条第1項 (転用許可)	1 81	4 1,626.00	1 109	1 301	7 2,117.00
法第4条第1項第8号 (転用届出)	5 1,565.00	4 3,187.17	1 171	1 333	11 5,256.17
法第5条第1項 (権利移転を伴う転用許可)	7 2,921.12	3 874	8 1,967.00	10 15,291.00	28 21,053.12
法第5条第1項第7号 (権利移転を伴う転用届出)	5 3,111.00	7 1,334.36	7 9,850.00	9 9,954.36	28 24,249.72
則第17条第2項(宅地隣接農地 の下限面積引き下げの申請)	1 693	0 0	0 0	0 0	1 693
合 計	31 132,798.12	24 36,864.53	27 34,593.66	26 462,700.27	108 666,956.58

(2) 農地法第3条第2項第5号の規定による下限面積の設定

農地法施行規則第17条第1項の規定による別段の面積

地区名 (旧町村単位)	別段の面積	備考
須坂地区	40アール	農地法施行規則第17条第2項の規定による別段面積の設定区域を除く
井上地区	40アール	
豊洲地区	50アール	
日野地区	40アール	
高甫地区	50アール	
仁礼地区	30アール	
豊丘地区	30アール	

農地法施行規則第17条第2項の規定による別段の面積

設定区域	別段の面積	備考
大字相之島、大字村山、大字福島地籍の農地のうち千曲川堤外地の農地	10アール	

2 各種証明書等交付状況

証明の内容	件数	左のうち手数料を徴収したもの	
		件数	金額 (円)
耕作証明	35	34	10,200
現況・転用確認証明	10	0	0
許可の証明	0	0	0
農業者年金現況証明	55	0	0
引き続き農業経営を行っている旨の証明	6	6	1,800
その他証明	14	14	4,200
計	120	54	16,200

3 国有農地維持管理事務 59筆 40,961㎡

4 農業者年金事務 加入者数 35人
 年金受給者数 161人
 内訳 経営移譲年金受給者 55人
 老齢年金受給者 106人
 現況届取扱件数 55件 (経営移譲年金受給者)

5 農地等相談 農地等相談 随時

6 農地パトロールの実施
 市域を6ブロックに分けて、9～10月に農地パトロール(農地利用状況調査)を実施した。

7 (公財)長野県農業開発公社による農地売買支援事業
 個人から長野県農業開発公社が取得 5件 8,348㎡
 長野県農業開発公社が個人へ売却 6件 6,236㎡

8 農業委員会だよりの発行 第79号、第80号 発行部数各5,000部

■ 農業委員会運営費

単位：円

当初 予算額	2,302,000	予算 現額	1,667,000	決算額	1,605,423	前年度 決算対比	93.4%	前年度 決算額	1,719,217
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農業委員会活動の円滑な運営と体制の整備を図り、地域農業の振興に努める。

II 事業の成果等

- 1 耕作者の地位の安定と農業生産力の増進等を目的に農業委員会の運営を行い、農業振興に努めた。
- 2 各種研修会等に参加し、知識を深めた。
- 3 「農業施策に関する意見書」を市へ提出した。

III 事業の実績

- 1 農地法等の所管事務について、毎月1回総会を開催し審議した。
- 2 農業委員会の当面する課題や活動方針等について、毎月1回協議会を開催し、検討・協議を行った。
- 3 「令和元年度須坂市農業施策に関する意見書」を市に提出した。(11月7日)
また、「令和元年度須坂市農業施策に関する要望書」をながの農業協同組合に提出した。(12月12日)
- 4 令和元年東日本台風により冠水被害のあった農地の復旧及び被災農家に対する支援を要請するため「台風19号に伴う水害に関する要望書」を市に提出した。(10月23日)

5 委員研修事業等

(1) 視察研修の実施

6月 3日	信州花フェスタ2019 (松本市)	参加委員 10人
8月 9日	明科天王原荒廃農地再生圃場 (安曇野市)	参加委員 9人
1月 15日	台北市 第二果菜市场、梅林水果行	参加委員 14人
~17日	台中市 台中区農業改良場、裕毛屋 (台湾)	

(2) 委員研修等の実施

7月 4日	県農業委員会女性協議会長野支部総会、研修会 (小布施町)	女性委員 2人
8月 20日	長野地域農村女性のつどい (長野市)	女性委員 2人
8月 29日	北信五市農業委員研修会 (飯山市)	参加委員 17人
10月 11日	農業分野における外国人材受け入れについての研修 (市内)	参加委員 15人
11月 11日	第4回長野県農業委員会大会 (上田市)	参加委員 15人
12月 17日	長野県農村女性フェスティバル (長野市)	女性委員 2人
1月 21日	須高地区農業委員会協議会女性委員研修会 (安曇野市)	会長・女性委員 1人
1月 21日	長野県農業委員会女性協議会研修会 (安曇野市)	〃
2月 21日	須高地区農業委員会協議会総会・全員研修会 (小布施町)	参加委員 17人

6 部会等の活動状況

農業振興対策部会、農地対策部会、農業後継者対策部会、情報・研修委員会の各部会・委員会において随時、所管する課題の調査・研究を行った。

(1) 農業振興対策部会

6月 28日	ながの農業協同組合の要望書の回答内容に対する対応について
9月 27日	意見書策定に向けた内容の検討

(2) 農地対策部会

- 6月 28日 意見書・要望書の回答内容に対する対応について
- 9月 25日 意見書策定に向けた内容の検討
- 10月 31日 仁礼地区の山林化農地の状況確認

(3) 農業後継者対策部会

- 4月 26日 新規就農者用共同作業場の状況確認
- 5月 30日 意見書の回答内容に対する対応について
- 7月 24日 要望書の回答内容に対する対応について
三浦市三崎港町まつりの農産物販売について
- 9月 12日 意見書策定に向けた内容の検討
三崎港町まつりにおける農産物販売の出品者・数量等について

(4) 情報・研修委員会

- 年2回発行する「農業委員会だより」の編集会議を随時開催
第79号発行(5月1日)、第80号発行(12月1日)

(5) 意見書策定検討委員会

- 10月 11日 意見書の検討、調整について

7 農作業標準労賃等協定会議

新型コロナウイルス感染症対策のため、文書による開催とし、農作業標準労賃等に関する米作農家への意向調査とながの農業協同組合及び各生産者部会等への意見聴取を実施した。

8 姉妹都市との交流

(1) 農産物直売の実施

姉妹都市との交流及び須坂市農産物のPRのため出店を予定していた三浦市三崎港町まつりでの農産物販売について、令和元年東日本台風被害により不参加とした。

9 その他

(1) 遊休農地解消モデル園設置

ブロックごとに遊休農地を選定し、作付けを行った。

ブロック	面積 (㎡)	内 容	参 画 団 体
井 上	1,000	もち米	農業委員1名、推進委員1名、 地域住民19名、井上小5年生36名
高 甫	1,000	大豆	農業委員2名、推進委員1名、 地域住民6名
東	3,200	クローバー、野沢菜の花、 マリーゴールド	農業委員2名、地域住民2名
合 計	5,200		参加人数70名

(2) 遊休農地所有者への利用意向調査の実施

農地利用状況調査により新規に遊休農地と判定された農地について、今後の農地の利用方法について利用意向調査を実施した。対象地172筆、対象者112名。

(3) 平成31年と令和元年に締結された市内の農地の賃借料情報等を公表した。

6-1-2 (目) 農業総務費

単位：円

当初 予算額	203,195,000	予算 現額	203,854,000	決算額	202,407,998	前年度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	208,823,026
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	7,641,000	予算 現額	7,865,000	決算額	7,126,027	前年度 決算対比	63.5%	前年度 決算額	11,214,655
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

農業行政全般の一般管理を行うとともに、農業関係団体との連絡調整及び負担金・補助金を交付し各種団体の育成と支援を図る。

また、総合的に農業の振興を図ることが必要と認められる地域の土地利用について、農業振興地域整備計画により農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与する。

II 事業の成果等

- 1 農業関係団体の育成と支援をするとともに、農業振興地域整備促進協議会を開催して、農振除外など重要事項の調査協議を行った。
- 2 農業振興地域の整備に関する法律に基づく総合見直しを行うため、業務委託により実施した。
(令和2年度までの継続事業)
- 3 農業用水の安定的な確保に対する補助金及び農家組合交付金を交付した。

III 事業の実績

1 農業振興地域整備促進協議会の開催

区分	開催日	出席委員数(人)	審議件数(件)	
			編入	農振除外
第1回	31. 4. 25	10	1	3
第2回	1. 10. 18	10	0	2
第3回	2. 1. 20	12	0	5

2 農振除外面積等

申請 締切日	公告 年月日	区分	面積(m ²)	内 訳	
				田 (m ²)	畑 (m ²)
2. 2. 20	1. 7. 15	編入	(1) 27,170.00	(1) 27,170.00	—
		農振除外	(3) 1,455.00	(1) 1,000.00	(2) 455.00
2. 8. 20	2. 1. 15	農振除外	(2) 612.00	(1) 301.00	(1) 311.00
随時	1. 5. 30	用途区分変更	(1) 124.63	—	(1) 124.63
	1. 8. 2		(1) 199.27	—	(1) 199.27
	1. 11. 8		(1) 199.00	—	(1) 199.00
計		編入	(1) 27,170.00	(1) 27,170.00	—
		用途区分変更	(3) 522.90	—	(3) 522.90
		農振除外	(5) 2,067.00	(2) 1,301.00	(3) 766.00

※ () 内件数

3 補助金及び交付金

- (1) 田の神農用地水利整備組合補助金 739,000 円
- (2) 農家組合交付金 233,500 円

4 その他

- (1) 「凍霜害に関する農作物の管理」注意喚起チラシの発行 2,800枚 52,976円
 (2) 農業振興地域整備計画総合見直し業務委託 2019年度分 1,713,600円 (出来形99.5%)
 委託先 (株)パスコ長野支店

■ 農業制度資金金融対策事業

単位：円

当初 予算額	1,466,000	予算 現額	1,094,000	決算額	859,106	前年度 決算対比	91.0%	前年度 決算額	944,544
-----------	-----------	----------	-----------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

農業制度資金の融資を受けた農業者に対し、借入金の金利助成を行うことにより利子負担を軽減し、農業経営の健全化を図る。

II 事業の成果等

一般金融に比べ、低利かつ償還期限が長期に設定されているため、積極的な農業経営者の利用を促すとともに、金利負担を軽減した。

III 事業の実績

1 新規承認融資

資金名	件数	融資額(円)	利子補給開始年度
農業近代化資金	3	19,500,000	2019年度
令和元年(2019年)災害対策資金	1	1,000,000	2019年度

2 利子補給金

資金名	件数	期末借入残高(円)	利子補給金額(円)
農業近代化資金	14	64,054,000	98,688
認定農業者機械化資金	10	4,391,430	179,758
農業経営基盤強化資金	15	96,810,000	559,915
平成26年雪害対策資金	5	803,570	20,565
令和元年(2019年)災害対策資金	1	1,000,000	180
計	45	167,059,000	859,106

■ 中山間施設管理事業

単位：円

当初 予算額	2,091,000	予算 現額	2,091,000	決算額	1,835,563	前年度 決算対比	72.9%	前年度 決算額	2,518,064
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

東地域において、「中山間地域総合整備事業」で整備された各施設を適正に管理することにより、農業者・地域住民の健康増進と憩いの場として有効活用し、農業・農村の活性化を図る。

II 事業の成果等

各中山間施設の管理運営を指定管理者に委託し、施設を健全に運営した。

III 事業の実績

1 豊丘活性化施設の指定管理の状況

- (1) 指定管理者 豊丘地域づくり推進委員会
 指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
 管理経費 1,100,000円(2019年度分)

(2) 豊丘活性化施設の利用状況

施設名	延べ利用回数	延べ利用人数
多目的ホール	710	5,399
会議室	28	704
農産物加工室	49	549
計	787	6,652

2 塩野ふれあい広場の指定管理の状況

(1) 指定管理者 塩野町区

指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

管理経費 159,000円(2019年度分)

(2) 塩野ふれあい広場の利用状況

施設名	延べ利用回数	延べ利用人数
ソフトボール場	56	1,019
ゲートボール場	0	0
計	56	1,019

3 米子農村公園の指定管理の状況

(1) 指定管理者 米子町区

指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

管理経費 180,000円(2019年度分)

(2) 米子農村公園の利用状況

施設名	延べ利用団体数	延べ利用日数
乾燥室	3	4

4 中山間施設整備作業委託

(1) 委託先 豊丘上町区

(2) 委託内容 離山展望施設の草刈り、枝おろし、落石除去等の作業

(3) 委託料 85,000円

5 施設の修繕等

(1) 塩野ふれあい広場グラウンドトイレ修繕工事 65,491円

(2) 豊丘活性化施設看板修繕工事 58,320円

(3) 米子農村公園除湿乾燥機修理工事 64,800円

■ 中山間施設整備事業

単位：円

当初 予算額	994,000	予算 現額	993,000	決算額	993,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

指定避難所である豊丘活性化施設の整備を行い、利用者の利便性の向上を図る。

II 事業の成果等

和式便器を洋式化し、利用者に使用しやすい施設整備を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 施設の整備

- (1) 豊丘活性化施設和式便器洋式化工事(多目的ホール) 494,040 円
 (2) 豊丘活性化施設和式便器洋式化工事(管理棟) 498,960 円

■ 農業施設整備事業

単位：円

当初 予算額	1,300,000	予算 現額	1,296,000	決算額	1,296,000	前年度 決算対比	49.7%	前年度 決算額	2,609,064
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農業施設を適切に維持管理することで、農業振興に資する。

II 事業の成果等

田の神揚水施設の修繕工事を行い、施設の適正な維持管理が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 農用地水利整備

田の神揚水施設水位計等修繕工事 1,296,000 円

■ 農業集落排水事業

単位：円

当初 予算額	108,500,000	予算 現額	108,500,000	決算額	108,500,000	前年度 決算対比	98.6%	前年度 決算額	110,000,000
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

下水道事業会計における処理施設の維持管理経費の不足分を負担することにより、同会計の健全性を確保し、処理施設の適切な維持管理に資する。

II 事業の成果等

下水道事業会計の健全な運営のため、補助金を支出した。

Ⅲ 事業の実績

下水道事業会計補助金 108,500,000 円

6-1-3 (目) 農業振興費

単位：円

当初 予算額	148,311,000	予算 現額	154,778,000	決算額	146,025,003	前年度 決算対比	107.8%	前年度 決算額	135,402,131
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 農業振興対策事業

単位：円

当初 予算額	58,618,000	予算 現額	54,198,000	決算額	52,629,748	前年度 決算対比	93.6%	前年度 決算額	56,250,050
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

各種農業振興事業を実施し、農業の維持発展を図る。

II 事業の成果等

- 1 地域住民の活動を支援するため、補助金交付等を実施した。
- 2 農業関係機関等と連携する中で、新たな担い手の確保等の事業を推進することができた。

III 事業の実績

1 アレチウリ撲滅作戦

外来植物のアレチウリによる農作物の被害防止や、在来植物などの自然環境保護のため、地域自治会、庁内関係課と連携し駆除作業を実施した。

農林課 日野地区担当 村山地籍の千曲川河川敷 6月30日実施 参加者数 25人

2 そば収穫用コンバイン及びそば製粉機の貸付

地域農業の振興及び遊休農地の解消を図るため、須坂市農業再生協議会へそば収穫用コンバイン及びそば製粉機を貸し付けた。

そば収穫用コンバイン 利用者5人

そば製粉機 利用者3人

3 幹線水路の維持管理補助金

事業主体	事業内容	事業費(円)	補助額(円)
河東土地改良区	水田排水特別事業	3,730,140	1,800,000

4 多面的機能支払交付金

(1) 農業・農村がもつ多面的な機能を維持保全するための活動に対し交付金を交付した。

No.	活動組織名	対象農地 (田) ha	対象農地 (畑) ha	農地維持 円	資源向上(共 同活動) 円	資源向上(長 寿命化) 円	交付金合計 円
1	井上農地保全会	8.43	3.33	319,500	187,704	419,000	926,204
2	ふるさと本郷水と 緑を守る会	4.39	39.7	923,300	506,484	929,660	2,359,444
3	仁礼町区地域資源 保全会	27.72	38.79	1,607,400	917,892	1,904,000	4,429,292
4	米子町地域資源保 全会	16.73	12.18	745,500	432,684	937,000	2,115,184
5	豊丘水とみどりの 会	10.92	62.73	1,582,200	—	—	1,582,200
6	坂田町地域資源保 全会	6.13	16.15	506,900	284,760	562,000	1,353,660
7	塩野町地域資源保 全会	21.29	18.64	1,011,500	584,532	1,252,000	2,848,032
8	塩川町の豊かな地 域資源を守る会	8.71	12.66	410,100	350,736	—	760,836
9	大谷地区水と緑を 守る会	4.11	3.35	190,300	146,880	—	337,180
10	亀倉町資源保全会	2.06	10.79	277,600	204,816	—	482,416
11	日滝原水土里の会	—	392.54	7,850,800	—	7,379,000	15,229,800
12	河東水土里の会	75.12	210.11	6,452,500	—	5,917,480	12,369,980
	計	185.61	820.97	21,877,600	3,616,488	19,300,140	44,794,228

(2) 交付金返還金

活動を終了した組織の事業費確定に伴い、余剰となった交付金の返還を受けた。

1 組織 (村山共有地活動組織) 3,311,944 円 (内、国・県への返還額: 2,483,958 円)

5 環境保全型農業直接支払交付金

自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援した。

2 団体 事業費 335,500 円 交付金 335,500 円 (国、県交付金含む)

6 果樹共済促進事業補助金

農家の果樹共済掛金の負担を軽減し、農家の経営安定に寄与した。

掛金の 20% 事業費 7,555,373 円 補助金 1,510,936 円

7 人・農地プランの推進

平成 24 年度に策定した人・農地プランを変更した。

3 月 19 日 須坂・豊洲・日野・井上・高甫地区のプランを更新 (新たな中心となる担い手の追加)

4 月 1 日、3 月 19 日 仁礼・豊丘地区のプランを更新 (新たな中心となる担い手の追加)

8 須高農業振興会議

須高地区 3 市町村、ながの農業協同組合、長野農業改良普及センター等と協力し、担い手の確保のため、就農相談会への参加、里親農業者の研修会及び意見交換会などを実施した。

(1) 就農相談会 5 月 26 日、6 月 8 日、7 月 6 日、8 月 12 日、9 月 7 日、1 月 25 日 計 6 回 東京都等で開催された就農相談会に参加した。

(2) 就農体験 7 月 27 日～28 日 参加者 12 人

(3) 研修会 1 月 20 日 里親農業者の研修会及び意見交換会

2 月 12 日 果樹の作業改善学習会

(4) 視察 2 月 18 日 担い手の確保について山梨県韮崎市、笛吹市にある農業生産法人を視察

9 須坂市農業再生協議会

米の生産目安値の広報、経営所得安定対策の推進、耕作放棄地解消の推進等を行うために、農業者へ広報、交付金の事務、そば収穫用コンバインの管理などを実施した。

10 長野地域連携推進協議会

(1) 地場産品直売所活用事業 スタンプラリー「おいしい ながの ガイドブック」1,000 部作成

(2) 農業イベント開催事業 10 月 5 日 2019 長野市農業フェアで農産物の販売

出店者: きじまるクラブ、村山早生ごぼう生産組合

(3) 地域農産物販路拡大事業 10 月 19 日 おいでよ信州キャンペーン in 金沢市近江町市場

(令和元年東日本台風の影響により中止)

(4) 地産地消商談会開催事業 2 月 25 日 地産地消ながの情報交換会 ホテルメルパルク長野

(5) 山の恵みジビエ活用プロジェクト 「JAPANESE WINE WEEK2019」10 月 19 日～11 月 2 日

LPWA 捕獲通報システム実証事業 10 月 1 日～1 月 17 日

11 農地荒廃化防止事業補助金

農地の荒廃化の防止を推進し、農業振興を図るため、市が定める作物を栽培し、販売する農業者に補助金を交付した。

そば栽培 (1kg あたり 200 円) 2 件 193,500 円

12 水産多面的機能発揮対策交付金

漁業者等が行う水産業・漁村のもつ多面的機能発揮に資する活動に対し交付金を交付した。
千曲川の自然を守る会活動組織 事業費 55,837 円 交付金 16,752 円

13 果樹セミナー

国の地方創生推進交付金を活用し、スモモの担い手の育成を図るため栽培講習会を開催した。
参加者 9名 年間4回開催 委託先 ながの農業協同組合 委託料 341,880 円

■ 鳥獣被害防止対策事業

単位：円

当初 予算額	20,170,000	予算 現額	20,152,000	決算額	19,110,208	前年度 決算対比	122.7%	前年度 決算額	15,575,377
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

有害鳥獣による農作物の被害を防止する。

II 事業の成果等

- 1 須坂市猟友会に委託し、有害鳥獣を駆除した。
- 2 有害鳥獣用電気柵の設置・更新を行い、被害の拡大を防止した。
- 3 狩猟免許取得にかかる受験料の補助を行い、狩猟従事者の増加を図った。
- 4 関係機関と連携し、有害鳥獣防止対策の推進を図った。

III 事業の実績

1 野ねずみ駆除

事業名	事業内容	事業費（円）
野ねずみ駆除対策事業	市内全域に散布 メリーネコりん化亜鉛 475 kg	430,604

2 有害鳥獣駆除委託

- (1) 委託先 須坂市猟友会
- (2) 委託内容 駆除出動、檻設置後の見回り等
- (3) 委託料 1,468,152 円
- (4) 有害鳥獣駆除実績

鳥類

(羽)

	カラス	スズメ	ムクドリ	ドバト	キジバト	ヒヨドリ	合計
当該年度	16	0	0	0	0	0	16
前年度	17	0	2	0	0	0	19
増減	△1	0	△2	0	0	0	△3

獣類

(頭)

	クマ	タヌキ	ハクビシ	キツネ	アナグマ	ニホンザル	イノシ	ニホンジカ	カモカ	合計
当該年度	9	54	50	60	13	30	84	38	4	342
前年度	5	61	39	47	16	20	96	28	5	317
増減	4	△7	11	13	△3	10	△12	10	△1	25

(5) 捕獲報奨金 3,857,000 円

うち国庫補助事業対象 2,225,000 円 (国交付金額 770,000 円 市費 1,455,000 円)

対象捕獲頭数 ニホンジカ 30 頭 イノシシ 49 頭 ニホンザル 22 頭 ハクビシン 41 頭

3 電気柵等の設置および修繕

科目	事業実施地区	事業内容	事業費 (円)
原材料費	下八町	電気柵原材料	4,417,200
	市内一円	修繕用資材	2,596,296
工事請負費	豊丘町	電気柵修繕工事	803,000
	下八町	電気柵用電源増設工事	29,700
	市内一円	電気柵監視システム設置工事	1,360,800

4 須坂市有害鳥獣駆除対策協議会

ながの農業協同組合、長野農業改良普及センター、長野森林組合、須坂市猟友会、須坂市農業委員会等と協力し、有害鳥獣防止対策のため、電気柵設置に伴う緩衝帯整備、有害鳥獣捕獲用のわな部品購入、カラス防除ワイヤーの設置などを実施した。

5 狩猟免許取得奨励補助金

狩猟免許取得者 2人 補助金 9,100 円

■ 農業後継者対策事業

単位：円

当初 予算額	53,165,000	予算 現額	47,930,000	決算額	45,851,784	前年度 決算対比	95.9%	前年度 決算額	47,794,261
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

農業の担い手となる後継者の育成を図る。

II 事業の成果等

- 1 農地バンク登録制度を活用し、農地を貸したい農家と借りたい農家のマッチングを図り、意欲的な農家に農地を集積した。
- 2 国の農業次世代人材投資事業と連動させた市の新規就農者支援制度により、農家の後継者を含めた新規就農者の技術習得等を支援した。
- 3 新規就農者の会「きじまるクラブ」の活動を支援したほか、研修等を実施し須坂市内の農業研修生及び新規就農者の営農定着に努めた。
- 4 新規就農者の増加に伴い、高甫地区の市所有施設を改修し、新規就農者作業場として貸出を開始した。

III 事業の実績

事業名	事業内容等	事業費等	備考
学校教育との連携事業	学校農園を設置し、農業の体験学習を行った。 9校 120.1a	75,427円	土地借上料
農地下限面積緩和制度	制度を利用し利用権を設定した者(新規就農)	10人	
農地バンク登録制度	当該年度新規登録者数 契約数	53人 20人	
新規就農者支援事業	1 須坂市新規就農研修給付金(新規就農に向けて研修を受けた者) 31人 2 農業次世代人材投資資金(経営開始型) 17組 3 新規就農者支援事業補助金 3人 4 樹園地貸付事業補助金 5人 1.44ha	6,720,000円 30,614,728円 545,200円 7,723,000円	
きじまるクラブの支援	1 研修会の実施 2 販路拡大の支援 イベントへの出店 3 会員数(令和2年1月現在)	4回 2回 29人	
新規就農者用作業場の貸出	1 日滝地区新規就農者用作業場利用者数 2 井上地区新規就農者用作業場利用者数 3 高甫地区新規就農者用作業場利用者数	4人 2人 1人	

■ 農業経営基盤強化対策事業

単位：円

当初予算額	2,145,000	予算現額	17,320,000	決算額	15,515,048	前年度決算対比	679.1%	前年度決算額	2,284,737
-------	-----------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

農業経営基盤強化促進法に基づく諸事業を行うことにより、農業経営の安定と経営基盤の強化を図る。

II 事業の成果等

- 1 農業関係機関と連携し、認定農業者制度を推進することで、担い手農家の育成が図られた。
- 2 利用権設定等促進事業等を行い、農地の流動化等を促進した。
- 3 須坂市農業サポートセンターで、農繁期における農作業の人手不足を補った。
- 4 農業経営の基盤強化を図るため、施設等の整備に対し国の補助制度を活用し、意欲ある農業者を支援した。

III 事業の実績

1 農業経営基盤強化促進対策事業

- (1) 認定農業者数 2019年度再認定者数 11人 新規認定者数 16人 現総数 130人
- (2) 須坂市農業サポートセンター(無料職業紹介所)を運営した。
登録サポーター数 48人 延べ作業日数 1,578日
求人農家数 実数/32戸 延べ/49戸

2 利用権設定等促進事業

担い手への農用地の利用集積を図るため、農地の権利設定・移転を行った。

- (1) 利用権設定 新規 309筆 256,275.27㎡ (うち中間管理事業 67筆 61,300.11㎡)
再設定 146筆 130,312.00㎡ (うち農地利用集積円滑化事業 1筆 1,600.00㎡)
- (2) 所有権移転 71筆 49,209.26㎡

3 認定農業者支援対策事業

認定農業者で組織する「認定農業者の会」の活動を支援した。

- (1) 総会及び講演会 4月23日 参加人数24人
ア 講演内容 「物流の現状と農業総合研究所について」
イ 講師 佐川急便株式会社 千葉春生氏
- (2) 視察 11月5日(火)～6日(水) 参加人数13人
ア 視察先 群馬県、茨城県
イ 視察内容 リンゴの新しい化技術、地球温暖化が果樹栽培に与える影響に関する内容など。

4 担い手確保・経営強化支援事業補助金

国の総合的なTPP関連政策大綱による、農業用機械・施設等の導入のための補助(国費)
2人 14,403,000円(2018年度繰越事業)

■ 遊休農地解消対策事業

単位：円

当初 予算額	7,728,000	予算 現額	7,728,000	決算額	6,181,923	前年度 決算対比	96.9%	前年度 決算額	6,381,724
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

遊休農地の解消並びに拡大防止を図る。

II 事業の成果等

遊休農地を今後継続して耕作できる農地にするための整備に要する経費について補助金を交付し、遊休農地を解消し、耕作できる農地へ復活させることができた。

III 事業の実績

1 遊休農地解消対策事業

地区・場所	件数	面積(㎡)	作付作物	補助額(円)
須坂地区	0	0		0
日滝地区	1	1,062	りんご	84,900
豊洲地区	3	6,991	ぶどう	596,000
日野地区	0	0		0
井上地区	4	9,881	ぶどう、ネギ、タマネギ	627,400
高甫地区	0	0		0
東地区	1	2,279	ぶどう	182,300
合計	9	20,213		1,490,600

※前年度継続事業分の面積は除く。

2 中山間地域直接支払事業

集 落 協 定 名	集落 協定 参加 人数	集落協定面積 (㎡)			交付金 (円)	
		急傾斜	緩傾斜	計	急傾斜	緩傾斜
仁礼 1/2	26	31,581	9,713	41,294	530,560	62,163
米子 2/3	18	37,414		37,414	628,555	
米子 3/3	19	51,839		51,839	870,895	
豊丘 1/3	9	16,309		16,309	342,489	
豊丘 2/3	17	31,253		31,253	525,050	
豊丘 3/3	19	64,789		64,789	1,088,455	
塩野 1/2	10	25,426		25,426	427,156	
合計	118	258,611	9,713	268,324	4,413,160	62,163
				総合計	4,475,323	

- 3 市民農園の整備及び管理のため、地域農政特別対策事業(市民農園整備)負担金を支出した。
200,000円 設置 21か所 353区画 35,720㎡ 利用 223区画 利用率 63.2%

■ 産地ブランド推進事業

単位：円

当 初 予算額	6,485,000	予算 現額	7,450,000	決算額	6,736,292	前年度 決算対比	94.7%	前年度 決算額	7,115,982
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

- 1 安全・安心を基本に地産地消(賞)の推進を図り、果樹をはじめとする基幹作物の振興及び産地化を図る。
- 2 都市・農村交流を促進し、農業の魅力を伝えるとともに交流人口を増やし地域農業の活性化を図る。
- 3 女性が農業経営や農村での暮らし等、地域社会で活躍するため、女性農業団体等を支援する。

II 事業の成果等

- 1 郷土食・伝統食の大切さや食の安全・安心をPRするため「うまいもん祭り」を開催した。また、果樹の振興を図るため園芸作物産地育成振興対策事業により、ぶどうやりんご等の果樹産地の育成に取り組んだ。
- 2 首都圏など県外でのPRイベントに参加することで、産地の認知度向上が図れた。
- 3 都市・農村交流では、須坂グリーンツーリズムや市観光協会等他団体との連携を図り、各種事業により、生産農家との交流を深めた。

III 事業の実績

1 新農業創生活動支援

団体が行う新しい農業への挑戦を支援し、補助金を支出した。

活 動 団 体	活 動 内 容	補助額(円)	補 助 率
沼目越瓜の会 (県伝統野菜認定団体)	「沼目越瓜」を使った料理教室を開催し、素材の良さをPRした。また、規格外品を有効活用するために検討会を実施した。	100,000	10分の10 以内
村山早生ごぼう生産組合 (県伝統野菜認定団体)	「村山早生牛蒡」の安定・継続的な生産体制の構築を図るため、販売イベントへ参加しPRをした。また、台風被害による土壌消毒を実施した。	100,000	
八町きゅうり研究会 (県伝統野菜認定団体)	「八町きゅうり」の安定・継続的な生産体制の構築を図るため、視察研修や収量確保に向けた新たな研究を始めた。	100,000	

2 女性農業団体支援

- (1) JA女性部、農村生活マイスターなどの団体と連携し、各種イベントに参加をした。
- ア 長野地域農村女性のつどい 8月20日
 - イ 長野県農村女性フェスティバル 12月17日

3 販路拡大

(1) 県外イベント等への出展

商業観光課、市観光協会と連携して、各地のイベントに参加し須坂産農産物のPR活動を行った。

- ア 塩竈みなと祭（宮城県）7月14日
- イ みうら夜市（神奈川県）8月14日

(2) 消費宣伝活動等への参加

須坂産農産物の販路拡大のため、販促会等へ参加しPR活動を行った。

- ア 長野地域振興局「ながの果物語り」新幹線マルシェ（東京駅）9月5日～6日、9月19日～20日
- イ JAnagの須高ブロックぶどう祭り2019（北部体育館）9月22日
- ウ JAnagの須高フルーツセンター令和元年度ふじ祭り（アグリズ南側）11月17日
- エ アグリ豊洲（信州豊洲連携協議会）産直市（東京都 豊洲駅前）12月4日
- オ 信州フェア（横浜駅）9月27日～28日

(3) 広報活動

産地及び農産物の旬の情報を広報するため、ブログ「須坂発！おいしい農産物日記」、フェイスブック「信州須坂農ブランド」の活用や報道機関へのプレスリリースを行い情報発信に努めた。

4 園芸作物産地育成振興対策

事業名	事業主体	事業内容	補助額(円)	補助率
園芸作物産地育成振興対策事業	ながの農業協同組合	ぶどう（振興品種の苗木育成） ナガノパープル166本、シャインマスカット851本、ピオーネ31本、クイーンルージュ2,016本 計3,064本	1,500,000	2分の1以内
		りんご（振興品種の苗木育成） 夏明265本、シナノリップ430本、シナノスイート85本、シナノホッペ190本、三島系ふじ611本 計1,581本		
		プルーン（振興品種の苗木育成） アーリーリバー45本、サンタス38本、トレジディー29本、くらしま早生297本、スコウプルーン150本、グランドプライズ60本、シュガー60本、サマーキュート211本、オータムキュート76本 計966本		

5 地産地消(賞)の推進

(1) 学校給食

JAnagの及び学校給食センターと学校給食における地場産物の使用率向上に向けた調整会議を実施した。（3回）

(2) 保育園給食

子ども課や県と連携し、公立保育園（10園）において、地場産農産物をPRしながら地産地消（賞）の推進を図った。

- ア 給食へ地場産農産物（伝統野菜等）の提供 10回
- イ 長野県地産地消キャラクター「旬ちゃん」訪問 2園

6 郷土食・伝統食のPR

- (1) 郷土食・伝統食の大切さ及び食の安全・安心をPRするため、地元農業女性団体が中心となりイベントを開催した。

ア 第16回うまいもん祭り（会場：旧小田切家住宅）11月3日

海苔巻きづくり体験や各種団体による出店のほか「にらせんべい」、「ひんのべ汁」のふるまいを行い、郷土食の良さを市民に伝えた。

イ 箱膳体験教室（会場：ふれあい館しらふじ）4月24日 参加者数 15名

7 地域野菜復活プロジェクトの活動支援

- (1) 「沼目越瓜の会」

伝承地栽培認証を受けた加工品（漬物）を県内の販売イベントや商談会においてPRした。

- (2) 「八町きゅうり研究会」

地域への苗の頒布会を実施した。また、群馬県「高山きゅうり」等を視察し情報交換を行った。

- (3) 「村山早生ごぼう生産組合」

県内外での販売イベントや銀座NAGANOイベントスペースを活用しPRした。

8 グリーンツーリズムの推進

- (1) 「須坂グリーンツーリズム」の活動支援

農業体験を通じた交流活動の充実を図るため検討会議を開催し、会員との調整を図った。（6回）

ア 農業体験の実施 5回 参加者数 530名

イ 東京での交流・販売活動

（ア）「ながの果物語り」新幹線マルシェ（東京駅）9月5日～6日、9月19日～20日

（イ）味噌づくり体験（銀座NAGANO）3月14日（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

ウ 推進活動

団体のホームページを充実させ、会員の情報や活動内容等の情報発信を積極的に行った。また、チラシの配布活動のほかフェイスブック、ブログなどのSNSを活用し、情報発信に努めた。

- (2) 農業宿泊体験事業の推進（地域発元気づくり支援金事業）

農業宿泊体験受入れ体制の構築を図るため、首都圏でのPR活動や市内の農業者を対象とした農泊シンポジウムを開催した。

ア 農泊推進PRイベント（銀座NAGANO）10月2日 参加者 16名

イ 農業宿泊体験モニターツアー 10月12日～13日（令和元年東日本台風の影響により中止）

ウ 信州須坂農泊シンポジウム（須坂市文化会館メセナホール）1月9日 参加者約80名

9 加工品の普及

果物等の加工品の普及を図るため、市内企業から寄附を受けたフード乾燥機（ドライマン）を貸し出した。
利用件数 5件

6-1-4 (目) 畜産振興費

単位：円

当初 予算額	3,946,000	予算 現額	3,946,000	決算額	3,657,153	前年度 決算対比	96.2%	前年度 決算額	3,803,352
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 畜産総合対策事業

単位：円

当初 予算額	3,946,000	予算 現額	3,946,000	決算額	3,657,153	前年度 決算対比	96.2%	前年度 決算額	3,803,352
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

畜産の振興、放牧の推進、畜産疾病の発生防止及び畜産公害の防止を図る。

II 事業の成果等

関係団体と連携し、畜産振興、放牧の推進、畜産疾病の発生及び畜産公害の防止が図られた。

III 事業の実績

1 防疫事業等の実施

関係団体と連携し、家畜の法定伝染病予防及び防疫事業等を実施した。

予防注射 延 7回

放牧牛の衛生検査 延 3回

2 畜産振興事業の実施

関係団体と連携し、公害対策としてハエ等を駆除するため、畜舎消毒を実施した。

実施主体 須坂畜舎消毒実行組合

事業内容 畜舎消毒 14回

3 そのさと有機センターの指定管理の状況

(1) 指定管理の状況

指定管理者 ながの農業協同組合

指定の期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

(2) 利用状況

受入れ 1,039.2トン 製造品の供給(販売量) 665.2トン

4 そのさと有機センター敷地の土地借上げ

土地所有者 7人 借地面積 7,790.93㎡ 土地借上料 457,000円

5 そのさと有機センターの修繕等

(1) ロボットパレタイザー及び袋詰出荷装置点検 378,000円

(2) ホイールローダータイヤ購入 944,453円

6-1-5(目) 農作物等災害対策費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	3,560,000	決算額	313,900	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	---------	-------------	----	------------	---

■ 農作物等災害対策事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	3,560,000	決算額	313,900	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により冠水被害を受けた果樹園地の早期復旧及び次期作に向けた対策を行う。

II 事業の成果等

J Aながの須高営農センターと連携し、薬剤散布に必要な薬剤購入や台風リスクが少ない早生種への改植に係る苗木購入について補助金を交付し、被災農家への支援を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 台風被害農業用薬剤購入費補助金

冠水被害を受けた果樹園地における病害まん延防止の取組みとして、薬剤購入費を補助した。

- (1) 内容 薬剤購入費の補助（2分の1以内）
- (2) 申請数 19 戸
- (3) 対象薬剤 トップジンM水和剤、キンセツ水和剤 80
- (4) 事業費 251,923 円
- (5) 補助額 124,800 円（県補助金含む）

2 台風被害改植等苗木購入費補助金

冠水被害を受けた千曲川流域の堤外地において、台風リスクの少ない早生種への改植及び補植に係る苗木購入費を補助した。

- (1) 内容 苗木購入費の補助（2分の1以内）
- (2) 申請数 15 戸
- (3) 苗木数 199 本
- (4) 事業費 379,817 円
- (5) 補助額 189,100 円（県補助金含む）

6-2-1 (目) 土地改良事業費

単位：円

当初 予算額	80,283,000	予算 現額	99,227,000	決算額	85,843,772	前年度 決算対比	82.6%	前年度 決算額	103,981,519
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 農道改良事業

単位：円

当初 予算額	3,000,000	予算 現額	3,000,000	決算額	2,135,800	前年度 決算対比	72.2%	前年度 決算額	2,959,200
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

農道改良により農業経営の合理化と農業所得の向上を図る。

II 事業の成果等

地域要望箇所の農道の改良により農耕車両の通行環境が改善され、農作業の負担軽減と効率化が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 農道改良事業の実施状況

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
委託	農業基盤整備促進事業 (須坂地区)用地測量業務 委託(沼目町)	長野県土地改良 事業団体連合会	用地測量 一式	378,000
	豊丘町道路法面整備測量業 務委託(豊丘町)	(一社)長野県林 業コンサルタント協会	測量業務 一式	327,800
合計				705,800

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	相之島沼目線農道整備関連工事(沼目町)	土工 一式	1,265,000
	五閑町水門改修工事関連工事(五閑町)	水門修繕 一式	165,000
合計			1,430,000

■ 農道舗装事業

単位：円

当初 予算額	3,000,000	予算 現額	3,000,000	決算額	1,700,600	前年度 決算対比	492.1%	前年度 決算額	345,600
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

農道舗装の推進により農業経営の合理化と農作業の効率化を図る。

II 事業の成果等

地域要望箇所の農道舗装により、農耕車両の走行性能が保たれ農作業の効率化及び農作物の荷傷み防止が図られた。

III 事業の実績

1 農道舗装事業の実施状況

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	千曲川堤外地村山地区東側1舗装修繕工事(村山町)	舗装・路肩修繕工 一式	836,000
	千曲川堤外地村山地区東側2舗装修繕工事(村山町)	舗装・路肩修繕工 一式	864,600
合計			1,700,600

■ 水路改修事業

単位：円

当初 予算額	7,000,000	予算 現額	7,000,000	決算額	6,873,800	前年度 決算対比	89.9%	前年度 決算額	7,646,400
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

排水の悪い水路や老朽化した水路の改修により農作業の効率化を図る。

II 事業の成果等

地域要望箇所の水路の改修により、農作業の軽減と機械化、合理化の促進が図られた。

III 事業の実績

1 水路改修事業の実施状況

事業名		事業内容等	委託先	事業費(円)
測量等 委託	須坂市河川管理台帳(権五郎川浚渫)業務委託(福島町)ほか1件	測量設計業務 一式	(有)須高測量	987,800
工事	境沢水路改修工事(境沢町)ほか5件	水路改修工 一式		5,886,000
合計				6,873,800

■ 農道・水路補修事業

単位：円

当初 予算額	15,821,000	予算 現額	25,745,000	決算額	25,474,300	前年度 決算対比	90.1%	前年度 決算額	28,282,080
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

農道・水路の補修、修繕により農業施設の利用効率の向上を図る。

II 事業の成果等

農道・水路の補修、修繕により地域の要望を実現し、農作業の軽減が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 農道・水路補修事業の実施状況

(1) 測量等委託

事業名		事業内容	委託先	事業費(円)
測量等委託	土地改良施設インフラ長寿命化計画作成業務委託	長寿命化計画作成一式	長野県土地改良事業団体連合会	3,410,000
	土地改良施設維持管理適正化事業 相之島用水ゲート測量設計業務委託	測量設計業務一式	長野県土地改良事業団体連合会	734,400
	須坂市農道台帳補正委託	農道台帳整備	(株)パスコ	30,800
	ため池ハザードマップ作成業務 (H30 繰越)	市内ため池ハザード作成	長野県土地改良事業団体連合会	5,162,400
合計				9,337,600

(2) 工事

事業名	事業場所	事業内容	事業費(円)
旧百々川浚渫工事ほか3件	五閑町ほか	水路浚渫一式	3,740,000
土地改良施設維持管理適正化事業 相之島ゲート改修工事	村山町	ゲート改修工一式	8,272,000
合計			12,012,000

■ 基盤整備促進事業

単位：円

当初予算額	26,125,000	予算現額	24,195,000	決算額	14,162,000	前年度決算対比	148.2%	前年度決算額	9,555,800
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

農作業の合理化・機械化のために農業基盤の整備促進を図る。

II 事業の成果等

沼目地区の農道整備工事を進め、荷傷み防止により営農の改善が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 基盤整備促進事業の実施状況

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
委託	農業基盤整備促進事業(須坂地区)設計業務委託(沼目町)	長野県土地改良事業団体連合会	設計業務一式	484,000
	農地耕作条件改善事業(仁礼地区)測量設計業務委託(仁礼町)	長野県土地改良事業団体連合会	測量設計業務一式	0 (10,010,000 全額R2年度繰越 明許)
合計				484,000

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	農業基盤整備促進事業(須坂地区)相之島沼目線農道整備工事(沼目町)	農道整備工 L=84m 水門1基	13,574,000

■ 県営土地改良事業

単位：円

当初 予算額	16,852,000	予算 現額	26,757,000	決算額	26,502,750	前年度 決算対比	317.7%	前年度 決算額	8,343,070
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

県営一般農道整備事業の須高地区において、農産物輸送の円滑化と、荷傷み防止による品質の向上により、農業経営の合理化と生産性の向上を図る。

県営農村地域防災減災事業により、排水機場の更新整備と機能強化を図り、浸水による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

須高地区農道整備事業を進め、荷傷み防止により営農の合理化と生産性の向上が図られた。

農村地域防災減災事業により、老朽化している排水機場の設備更新が進捗した。

III 事業の実績

1 県営土地改良事業の実施状況

(1) 負担状況

事業名	事業内容	事業費 (円)	負担率 (%)	負担額(円)
一般農道整備事業 (須高地区)	負担金	37,741,000	25.0	9,435,250
県営農村地域防災減災事業負担金 (千曲川沿岸相之島地区)	負担金	200,000,000	7.75	15,500,000
県営農村地域防災減災事業負担金 (野下原2号ため池)	負担金 (H30 繰越明許)	8,000,000	11.0	880,000
県営農村地域防災減災事業負担金 (野下原2号ため池)	負担金	5,000,000	11.0	550,000

事業名	事業内容	事業費 (円)	負担額(円)
県土地改良連合会賦課金	負担金	一般賦課金市町村割 9,500 農道台帳管理事業賦課金 19,000 県営事業割 (須高地区) 19,000 県営事業割 (千曲川沿岸相之島地区) 90,000	137,500

■ 排水機場維持管理事業

単位：円

当初 予算額	7,566,000	予算 現額	8,611,000	決算額	8,124,084	前年度 決算対比	27.4%	前年度 決算額	29,598,931
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

湛水防除施設(排水機場)の維持管理と機能強化を図り、湛水による被害を未然に防止する。

II 事業の成果等

日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行い出水に備えた。

III 事業の実績

1 排水機場の管理業務委託

- (1) 電気保安業務委託 中部電気保安協会 470,442 円
- (2) 保守管理業務委託 富士工機株 385,000 円

2 排水機場の設備点検等手数料

- (1) 排水機場消防用設備点検業務委託 三益消防機材(株)須坂支店 52,800 円
 (2) 排水機場危険物施設点検業務委託 富士工機(株) 518,400 円

3 湛水防除施設（排水機場）の機能強化及び修繕実績

実施機場名	修繕等の内容	事業費（円）
相之島排水機場ほか	福島北機場3号機冷却水用電磁弁工事	367,200
	福島北遊水池樋門修繕工事	1,155,000
	福島排水機場テレビアンテナ交換修理	11,000
	福島北排水機場排水管修繕工事	154,000
	相之島排水機場冷却水漏水修繕工事	308,000
合 計		1,995,200

4 稼働実績

大雨による湛水を防除するため、排水ポンプを運転した。（番号はポンプ番号）

月 日	相之島排水機場	北相之島	福島排水機場	福島北排水機場	中島排水機場
10月12日 令和元年東日本台風	1、2、3、4号 17:16～24:00	1、2号 17:16～24:00	1、2、3号 15:36～24:00	1、2、3号 15:30～24:00	1、2号 16:33～24:00
10月13日 令和元年東日本台風	1、2、3、4号 0:00～0:07	1、2号 0:00～0:07	1、2、3号 7:45～24:00	1、2、3号 0:00～0:15 7:45～24:00	1、2号 0:00～0:18 7:50～24:00
10月14日 令和元年東日本台風			1、2、3号 0:00～0:48	1、2、3号 0:00～3:00	1、2号 0:00～0:35
10月22日	1、2、3、4号 12:54～18:48				

■ 排水機場整備事業

単位：円

当初 予算額	840,000	予算 現額	840,000	決算額	792,000	前年度 決算対比	4.6%	前年度 決算額	17,172,000
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	------	------------	------------

I 事業の目的

湛水防除施設（排水機場）の更新整備と機能強化を図り、湛水による被害を未然に防止する。

II 事業の成果等

排水機場原動機のオーバーホールを、令和2年度に土地事業により経費負担を軽減し実施できる目途が立った。

III 事業の実績

1 湛水防除施設（排水機場）の整備実績

事業名	事業内容等	事業費（円）
土地改良施設維持管理適正化事業費拠出金 （福島排水機場1号原動機整備）	拠出金	792,000

■ 農林漁業資金償還事業

単位：円

当初 予算額	79,000	予算 現額	79,000	決算額	78,438	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	78,438
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	--------	------------	--------

I 事業の目的

過去に実施した土地改良事業に伴う農林漁業資金の借入金を償還する。

II 事業の実績

農林漁業資金償還金額 78,438 円 未償還金額 0 円

6-3-1 (目) 林業振興費

単位：円

当初 予算額	72,402,000	予算 現額	69,450,000	決算額	68,528,439	前年度 決算対比	98.9%	前年度 決算額	69,323,895
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 林業振興対策事業

単位：円

当初 予算額	10,963,000	予算 現額	14,307,000	決算額	14,114,682	前年度 決算対比	234.1%	前年度 決算額	6,028,287
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

森林の持つ公益的機能を維持・強化するため、森林の整備を行う。

II 事業の成果等

- 1 長野県森林づくり県民税（森林税）の「森林づくり推進支援金事業」を活用し、間伐材を利用した木材製品（背もたれ式ベンチ）の作製や、遊歩道の路面流水による流出防止を図るため、間伐材を利用した「路面水切工」を設置した。
- 2 森林環境譲与税を活用し、森林整備の推進による森林の公益的機能の維持・増進を図るため、森林経営管理の意向調査事業業務委託、林地台帳及び森林情報システムの保守業務委託を行った。
- 3 「地域林政アドバイザー制度」による森林経営計画の認定の指導・助言等地域林政支援活動ができた。
- 4 森林環境譲与税の残余金を、後年度の森林整備に関する施策の財源にするため、森林環境譲与税基金を創設し積み立てた。

III 事業の実績

1 森林づくり推進支援金事業

事業名	事業内容	事業費（円）	事業費内訳（円）	
			県補助金	市費
木を活かした力強い 産業づくり	遊歩道路面水切工設置工事 3m 6か所	396,360	580,000	6,440
	間伐材ベンチ購入 8台	190,080		
合計		586,440	580,000	6,440

2 その他業務委託等

事業名	事業内容	委託料 (円)
坂田山共生の森業務委託 (委託先：(特非) 坂田山共生の森を愛する会)	遊歩道・作業道脇の除草と刈り払い、倒木の処理	99,000
坂田山共生の森下刈整備業務委託 (委託先：長野森林組合)	下草刈り整備業務	86,900
臥竜山枯損木伐採処理業務委託 (委託先：長野森林組合)	松くい虫被害木 (枯損木) 伐採業務	442,800
松くい虫枯損木伐倒業務委託 (百々川緑地他) (委託先：長野森林組合)	松くい虫被害木 (枯損木) 伐採業務	270,000
林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 (委託先：HARVEY (株) 長野支店)	林地台帳及び森林情報システムの保守業務	327,000
意向調査事業業務委託 (委託先：長野森林組合)	坂田地区の私有林の人工林に対して、森林経営管理法に基づく森林経営意向調査を実施するための周囲測量、森林状況調査、経営方針 (案) 作成業務	1,059,300
里山整備方針作成基本情報調査業務委託 (委託先：(一社) 長野県林業コンサルタント協会 北信事務所)	里山整備を進めるため、航空レーザ測量等の科学的知見等を用いた現地調査用図面の作成	660,000

3 森林経営計画の認定

(1) 米子団地 (変更)

計画対象森林面積 114.78ha 認定日 2019年5月1日

(2) 亀倉団地

計画対象森林面積 498.93ha 認定日 2019年5月1日

(3) 豊丘団地

計画対象森林面積 1498.32ha 認定日 2019年6月1日

(4) 仙仁山団地

計画対象森林面積 934.84ha 認定日 2019年9月1日

(5) 仁礼山団地 (変更)

計画対象森林面積 842.92ha 認定日 2019年10月1日

(6) 高甫・野辺・村石団地

計画対象森林面積 190.37ha 認定日 2020年2月25日

(7) 坂田団地

計画対象森林面積 127.63ha 認定日 2020年2月25日

4 森林環境譲与税基金への積み立て 5,200,000円

■ 松くい虫防除対策事業

単位：円

当初 予算額	19,756,000	予算 現額	17,020,000	決算額	16,999,300	前年度 決算対比	86.3%	前年度 決算額	19,704,216
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

松くい虫による被害の予防と駆除により、健全な松林を育成する。

II 事業の成果等

松くい虫による被害を抑えるための防除対策として、国や県の補助事業を活用しながら、地上薬剤散布による予防と被害木の伐倒駆除により被害拡大の防止に努めた。しかし、マツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリの発生が広範囲に及ぶため、被害を完全に撲滅させることは難しい状況にある。

III 事業の実績

1 松くい虫防除事業の実施状況

区 分	事業量	事業費 (円)	事業費内訳 (円)		
			国補助金	県補助金	市費
被害木伐倒駆除事業 (井上・八町・日滝・坂田・豊丘ほか)	443.31 m ³ 、524 本	13,022,900	5,990,000	2,396,000	4,636,900
森林づくり推進支援金 事業 (臥竜山・百々川緑地ほか)	41.06 m ³ 、41 本	1,298,000	0	959,000	339,000
地上薬剤散布事業 (臥竜山外4か所)	18.36ha (2回)	2,678,400	883,000	441,500	1,353,900
合 計		16,999,300	6,873,000	3,796,500	6,329,800

■ 市単治山事業

単位：円

当初 予算額	500,000	予算 現額	500,000	決算額	496,650	前年度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	499,932
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

森林がもつ公益的機能を維持するため、自然災害による被災の予防と被災箇所の復旧を図る。

II 事業の成果等

坂田山共生の森において、周辺景観との調和を考慮しつつ、山地災害による被害を防止・軽減する事前防災・減災の考え方に立ち、必要な予防治山として間伐材を利用した落石防止用の丸太柵を設置し、土砂流失、落石防止の措置を図ることができた。

III 事業の実績

1 治山事業の実施状況

事業名	事業費 (円)
坂田山遊歩道丸太柵設置工事 (坂田町) 丸太柵工 3段 L=20m	496,650

■ 間伐対策事業

単位：円

当初 予算額	2,559,000	予算 現額	2,559,000	決算額	2,511,232	前年度 決算対比	152.8%	前年度 決算額	1,643,982
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

間伐を実施し、災害防止や水資源涵養（かんよう）などに向けた森林整備を行い、健全な森林の維持育成を図る。

II 事業の成果等

間伐を実施し、森林の持つ公益的機能の確保と維持育成が図られた。

III 事業の実績

1 間伐対策事業補助金

施業地（施業者）	事業面積（ha）	総事業費（円）	補助金内訳（円）	
			国県補助額	市補助額
塩野・仁礼・豊丘・米子 （長野森林組合）	81.50	51,666,136	32,496,800	2,500,000

■ 林道管理事業

単位：円

当初 予算額	38,624,000	予算 現額	35,064,000	決算額	34,406,575	前年度 決算対比	83.0%	前年度 決算額	41,447,478
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

森林整備の基盤となる林道の維持、管理を図る。

II 事業の成果等

降雨・降雪による被害を早期に復旧し、林道の維持管理が図られた。

III 事業の実績

1 林道管理事業の実施状況

事業名		事業内容	事業費（円）
工事	地方創生道整備推進交付金事業 林道米子不動線法面整備工事（米子町）	法面保護工 L=57m 落石防止工 A=771 m ²	19,140,000
	地方創生道整備推進交付金事業 林道米子不動線法面整備関連工事（米子町）	法面保護工関連工事 一式	1,078,000
	林道米子不動線法面吹付工事（米子町）	法面保護工 一式	1,274,400
	林道米子不動線簡易法枠工事（米子町）	簡易法枠工 A=59 m ²	1,274,400
	林道米子不動線かご枠その他工事（亀倉町）	かご枠工 一式	1,188,000
	林道米子不動線かご枠工事（亀倉町）	かご枠工 一式	1,274,400
	林道米子不動線舗装修繕工事（米子・亀倉町）	舗装工 一式	1,155,600
	林道米子不動線土留擁壁補強工事（米子町）	土留補強工 一式	1,188,000
	林道米子不動線先線崩落土撤去工事（米子町）	落石撤去 一式	496,800
	林道月生線法路肩修繕工事（豊丘上町）	路肩修繕工 一式	604,800
	林道栲平線落石撤去他工事（塩野町）	落石撤去工 一式	561,600

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	林道月生線法面整備工事(豊丘上町)	法面整備繕工 一式	885,600
	林道戸谷沢線落石撤去他工事(米子町)	落石撤去工 一式	648,000
合計			30,769,600

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
草刈等委託	林道月生線草刈等業務委託(豊丘上町)	豊丘上町区	草刈業務 一式	80,000
	林道栃平線草刈等業務委託(塩野町)	塩野町区	草刈業務 一式	100,000
	林道戸谷沢線草刈等業務委託(米子町)	米子町区	草刈業務 一式	100,000
	林道乳山線草刈業務委託(豊丘・塩野町)	長野森林組合	草刈業務 一式	48,600
	林道米子不動線草刈業務委託(亀倉・米子町)	長野森林組合	草刈業務 一式	226,800
	林道米子不動線支障木枝払い業務委託(亀倉・米子町)	長野森林組合	枝払い業務 一式	98,280
	林道大谷不動線草刈業務委託(仁礼町)	(一財)仁礼会	草刈業務 一式	95,040
合計				748,720

事業名		委託先	事業内容	事業費(円)
測量設計委託	林道米子不動線道路法面整備工事に伴う測量設計業務委託(米子町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	測量設計業務 一式	496,800
	林道米子不動線道路法面整備に伴う監督補助業務委託(米子町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	監督補助業務 一式	382,800
	林道米子不動線道路法面整備に伴う変更設計業務委託(米子町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	変更設計書作成 一式	382,800
	林道乳山線朝日トンネル簡易点検業務委託(塩野町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	簡易点検業務 一式	496,800
	須坂市林道施設長寿命化計画作成業務委託	(一社)長野県林業コンサルタント協会	計画作成業務 一式	496,800
	林道台帳作成業務委託(戸谷沢線他1路線)	(有)須高測量	台帳作成 一式	495,000
合計				2,751,000

立木補償料 66,960円 内訳:米子山国有林 立木 60本 $V=24.25\text{ m}^3$

土地借上料 3,000円/年 内訳:米子不動線道路防災施設敷地 $A=1,364\text{ m}^2$

款 7 商 工 費

(款7) 商工費

単位：円

当初 予算額	1,783,365,000	予算 現額	1,795,785,000	決算額	1,635,046,982	前年度 決算対比	100.7%	前年度 決算額	1,623,867,484
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

7-1-1 (目) 商工総務費

単位：円

当初 予算額	103,871,000	予算 現額	95,035,000	決算額	94,769,802	前年度 決算対比	94.0%	前年度 決算額	100,862,036
-----------	-------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

7-1-2 (目) 商工業振興費

単位：円

当初 予算額	1,451,702,000	予算 現額	1,368,746,000	決算額	1,286,928,306	前年度 決算対比	105.6%	前年度 決算額	1,218,521,067
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

■ 工業振興事業

単位：円

当初 予算額	18,603,000	予算 現額	17,717,000	決算額	17,004,695	前年度 決算対比	57.1%	前年度 決算額	29,805,713
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

工業の振興を図るため、工業振興に係る諸調査と企業動向の把握を行うとともに、意欲のある企業の研究開発や販路拡大などの支援を積極的に行うことにより、産業の活性化と雇用の創出を図る。

II 事業の成果等

定期の企業動向調査により市内企業の経済状況等を把握した。

市内企業が産業フェアなどの展示会、見本市に工業製品等の出展に対し支援を行うことで、新たなビジネスチャンスにつながっている。

工業団地等内の緑地・公園等の維持管理（除草、病虫害防除、支障木伐採等業務等）を随時で行い、団地内企業の従業員が働きやすい環境と良好な景観を維持することができた。

III 事業の実績

1 企業動向の把握と施策の周知

(1) 企業動向調査

市内の企業動向を把握、分析するため、年4回動向調査を実施した。

	実施月	企業数 (社)	回答数 (社)	回収率 (%)
製 造 業	4月	104	79	75
	7月	104	85	81
	10月	104	79	75
	1月	104	82	78
建 設 業	4月	47	32	68
	7月	47	29	61
	10月	47	28	59
	1月	47	24	51

(2) 企業訪問

- ア (株)サンジュニア 4月18日、5月31日、6月20日、7月25日、8月23日
インター周辺開発におけるエネルギー需要について
- イ (株)鈴木 5月14日、6月17日、7月30日、11月19日
インター周辺開発について
- ウ オリオン機械(株) 5月31日、7月30日 インター周辺開発について
- エ (株)長野エネルギー開発 (株)新井製作所
6月22日 水力発電の取組みについて
- オ 北村鉄工所 6月26日、7月11日 塩野工業団地権利譲渡について
- カ (株)コヤマ 7月25日 補助金検査ほか
- キ オンキ電機設備(株) 7月29日 新事業についての相談
- ク ディーアイシージャパン(株) 8月26、28日 インターンシップの取組について
- ケ (株)中外製作所 9月6日 工場視察、受発注状況等について
- コ (株)山二 12月5日 開発に関する打合せ
- サ (株)アールエフ 12月17日 操業に関する要望
- シ (株)内田鐵工所 2月6日 事業に関する相談
- (3) 企業情報取得のため、東京商工リサーチ、八十二ビジネススクエアの企業情報サービスを利用
- (4) 各種相談窓口の設置
- ア 新型コロナウイルスに関する中小企業等の相談窓口
(ア) 設置日 3月3日
(イ) 相談日 随時
- (5) 企業振興ニュースの発行 7月1日 (製造業等 543社)、2月1日 (製造業等 540社)

2 工業団地、産業団地の維持管理等

(1) 日滝原産業団地

- ア 雨水排水管理設土地借上料 面積 1,302.8 m² (980.64 m² + 322.16 m²)
面積 1,302.8 m² × 2,115 円 × 6% = 165,325 円
- イ 除草等業務委託
業務名 日滝原産業団地 除草等業務委託 (年2回)
委託先 (公社) 須高広域シルバー人材センター
業務内容 除草作業等
委託料 917,582 円
- ウ 支障木伐採・剪定業務委託
業務名 日滝原産業団地 支障木伐採及び剪定業務委託
委託先 (株)長原電設、長野森林組合
業務内容 景観、交通等の支障になっている樹木の伐採及び剪定業務
委託料 432,000 円
- エ 公園周辺・公衆トイレ清掃業務委託
業務名 日滝原産業団地 公園周辺・公衆トイレ清掃業務委託
委託先 (公社) 須高広域シルバー人材センター
業務内容 公園周辺及び公衆トイレの清掃 (毎月、週1~2回)
委託料 105,300 円
- オ 水道開栓手数料 900 円 (6月)

(2) 塩野工業団地

- ア 用地借上、企業への賃貸 借上面積 42,971.46 m² (12,998.87 坪)
区画数 36 区画 (29 社及び集会場)
- イ 借上料 5,931,330 円 (内訳) 固定額 @87.72/m²×42,971.46 m²≒3,769,460 円
固定資産税相当額 154,418,799 円×1.4%≒2,161,870 円
賦課した土地 大字塩野 1119-2 30,854.63 m²
大字塩野 1119-3 12,116.83 m²
- ウ 土地貸付料収入未済額 203,310 円 (1 社)
- エ 未収金徴収に向けた取組み
日 時 7月12日
会 場 滞納者自宅
内 容 サポート会議開催 (社会福祉協議会、福祉課、地元役員、市議)
滞納者自宅にて就業状況、体調等聞き取り
- オ 除草等業務委託
業務名 塩野工業団地調整池除草等業務委託
委託先 (公社)須高広域シルバー人材センター
業務内容 除草作業等
委託料 50,306 円
- カ 保安林内の危険箇所工事要望
要望先 長野県林務部
立会日 7月11日、7月26日
内 容 法面の土砂せり出しに対する工事施工の要望

(3) 横松原建設工業団地

- ア 用地借上、企業への賃貸 借上面積 5,114.29 m² (1,547.07 坪)
区画数 11 区画 (10 社)
- イ 借上料 891,390 円 (内訳) 固定額 @395/坪×1,547.07 坪≒611,090 円
固定資産税相当額 17,521,373 円×1.6%≒280,300 円
- ウ 通常総会 6月14日 欠席
- エ 横松原防風林組合総会 8月24日 欠席

(4) 松川林間・小島工業団地

- ア 除草等業務委託料
業務名 松川林間・小島工業団地 除草等業務委託 (年2回)
委託先 (公社)須高広域シルバー人材センター
業務内容 除草作業等
委託料 994,820 円
- イ 支障木伐採・剪定業務委託
業務名 松川林間工業団地 松くい虫枯損木伐倒駆除業務委託
委託先 長野森林組合
業務内容 松くい虫枯損木の伐倒駆除
委託料 156,600 円
- ウ 病虫害防除委託料
業務名 松川林間工業団地 マツカレハ防除消毒作業業務委託
委託先 (株)アグロ信州
業務内容 工業団地内の松の防除消毒作業 (7月)
委託料 254,880 円

(5) インター須坂流通産業団地

ア 調整池排水ポンプ保守点検委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 調整池ポンプ保守点検業務委託
委託先 (株)マナテック
業務内容 調整池のポンプ点検 3回/年
委託料 55,000 円

イ 除草等業務委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 緑地公園内除草業務委託
委託先 須坂水の会
業務内容 緑地公園内の除草作業 (4月～9月)
委託料 120,000 円

ウ 公衆トイレ清掃業務委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 緑地公衆トイレ清掃業務委託
委託先 (公社)須高広域シルバー人材センター
業務内容 緑地公衆トイレの清掃 (毎月、週2回)
委託料 115,992 円

エ 遊具点検委託料

業務名 インター須坂流通産業団地 緑地公園内遊具点検 業務委託
委託先 日本体育産業(株)
業務内容 緑地公園内の遊具点検業務
委託料 16,200 円

オ 通常総会に出席 5月30日

カ 緑地公園駐車場使用許可 随時

3 工業団体等との連携

(1) 須坂工業クラブ (会員企業 13社)

ア 通常総会に出席 8月20日

イ 行政懇談会に出席 11月21日

ウ 新春懇談会に出席 2月5日

(2) 旭豊会 (旭ヶ丘工業団地)

ア 定期総会に出席 6月5日

イ 経済懇談会に出席 11月11日

(3) 松川会 (松川林間工業団地・小島工業団地)

ア 通常総会に出席 5月24日

イ 三者懇談会に出席 7月26日

ウ 新春懇談会に出席 2月21日

4 工場立地法に基づく工場の新增設の届出受理

(1) 8月30日 アスザックフーズ(株) 工場棟増設

(2) 11月25日 (株)鈴木 工場棟増設

5 火薬類の譲渡し、譲受及び消費許可等

煙火消費許可 3件

6 電気用品販売業者への立入検査

電気用品安全法に基づきPSEマーク等の表示のない電気用品を販売していないか確認

- (1) 検査日 11月20日
- (2) 検査販売店 デリシア須坂井上店
- (3) 検査重点品目 1品目 リチウムイオン 蓄電池 (モバイルバッテリー)

7 休廃止鉱山跡地周辺の水質調査

米子鉱山跡地周辺から流出する酸性水の水質を把握するため継続して調査を実施

- (1) 調査日 6月4日、9月26日
- (2) 調査結果 (PH)

調査箇所	6月4日	9月26日
大黒抗上	—	4.1
大黒疎水口	—	3.0
5号沢合流前大黒沢	3.0	3.1
大黒沢末 (大黒橋)	3.0	3.2
権現沢末	3.7	3.6
堆積浸透水合流米子川	3.0	3.1
不動沢末	4.0	4.1
不動沢合流点後米子川 (奥萬橋)	3.1	3.3
奇妙滝下流浦の沢末 (熊野権現橋)	5.2	4.0
米子橋下米子川	3.2	3.4

8 SDGsに関するセミナー参加

- (1) 「長野県SDGsシンポジウム」
 - 日時 4月26日
 - 会場 ホクト文化ホール
 - 内容 長野県の中小企業はSDGsにどうかかわっていくのか
長野県SDGs推進企業登録制度について
- (2) 持続可能な開発目標 (SDGs) 推進セミナー
 - 日時 9月27日
 - 会場 諏訪市文化センター
 - 内容 長野県SDGs推進企業登録制度概要及び登録状況について

■ 金融対策事業

単位：円

当初 予算額	1,037,862,000	予算 現額	1,062,885,000	決算額	1,045,198,609	前年度 決算対比	102.1%	前年度 決算額	1,024,103,860
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

I 事業の目的

中小企業者が経営上必要とする資金供給の適正円滑化を期し、資金の融資あっせん保証料・利子補給による事業支援により、中小企業の振興を図る。

II 事業の成果等

融資枠を金融機関の協力を得て45億円(預託金10億円、融資倍率4.5倍)とし、融資枠の範囲内で融資あっせん事業を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 市及び県制度資金に対する利子補給金等の状況

区 分	市	県	計	前年度比(%)	
利子補給金	件数(件)	37	-	37	217.6
	金額(円)	4,224,764	-	4,224,764	653.6
保証料補給金	件数(件)	175	11	186	114.8
	金額(円)	36,272,205	2,001,485	38,273,690	183.2
計	件数(件)	212	11	223	124.5
	金額(円)	40,496,969	2,001,485	42,498,454	197.4

※利子補給金は、市の制度資金が対象

2 中小企業振興資金等の融資あっせん状況

制度資金名	件数(件)	金額(円)	前年度比(%)		
			件数	金額	
市 制 度 資 金	普通資金(運転)	1	10,000,000	11.1	10.0
	普通資金(設備)	2	22,260,000	66.6	57.0
	特別小口資金(運転)	87	270,700,000	96.6	83.6
	特別小口資金(設備)	17	60,614,000	106.2	116.6
	経営安定資金(運転)	13	106,500,000	260.0	143.9
	経営安定資金(設備)	1	16,500,000	皆増	皆増
	独立開業資金(運転)	9	14,200,000	90.0	69.6
	独立開業資金(設備)	5	35,200,000	50.0	69.8
	特別運転対策資金	4	15,000,000	80.0	38.7
	特別借換資金	23	224,930,000	176.9	296.9
	特別災害対策資金(運転)	7	194,000,000	皆増	皆増
	特別災害対策資金(設備)	1	3,000,000	皆増	皆増
	緊急借換資金	5	128,050,000	皆増	皆増
	合 計	175	1,100,954,000	108.6	142.2
県 制 度 資 金	経営健全化支援資金	1	10,000,000	皆増	皆増
	小規模企業発展資金	1	1,800,000	皆増	皆増
	信州創生推進資金	9	103,200,000	900.0	1376
	合 計	11	115,000,000	1100.0	1533.3

3 中小企業振興資金融資等のための預託状況

預託先	預託金額(円)
八十二銀行須坂支店	121,080,000
長野銀行須坂支店	133,440,000
長野信用金庫須坂支店	600,670,000
長野県信用組合須坂支店	121,830,000
商工組合中央金庫長野支店	22,980,000
計	1,000,000,000

4 中小企業振興資金の制度改正

(1) 資金の新設

- ア 特別災害対策資金 限度額5,000万円 利率0.9% 保証料の全額・当初1年間の利子を補給
- イ 緊急借換資金 限度額5,000万円 利率1.4% 保証料の全額・当初1年間の利子を補給

(2) 経営安定資金の特例措置

新型コロナウイルス感染症を事由としたセーフティネット保証4号または危機関連保証の認定を受けた者が経営安定資金（運転）を令和2年6月30日までの期間内に借り入れる場合は利率を0.8%とし、保証料の全額・当初1年間の利子を補給する。

5 中小企業信用保険法第2条第5項（セーフティネット）の認定件数

第4号	21件
第5号	1件

■ 商業振興事業

単位：円

当初予算額	21,772,000	予算現額	22,947,000	決算額	17,875,951	前年度決算対比	84.2%	前年度決算額	21,228,954
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

事業者及び商業団体等が実施する事業を支援するとともに、商業に係る諸調査による現状把握及び課題対応により、商業の振興を図る。

市街地の活性化に向けた、具体的な取り組みの支援を行う。

サービス産業振興につながる商店主、NPO法人、商業団体等の活動に対し、関係機関との連携を図り、相談・支援体制の整備を行うとともに、起業支援や活動支援を通じて商業の振興を図る。

II 事業の成果等

地域おこし協力隊制度の活用などにより、空き店舗の情報収集及び情報提供を行うとともに、創業用店舗、既存店舗の改修費補助、家賃補助を実施することで、空き店舗の解消、賑わいの創出が図られた。

須坂商工会議所による具体的な事業のほか、地域の情報発信や商業団体等が開催するイベント等を支援することにより、賑わいと活力の創出が図られた。

商店街街路灯の維持管理に対し支援することにより、商店街環境の向上が図られた。

特定創業支援事業者等と連携し、創業希望者等の相談・支援を行い、7名の創業につなげた。

III 事業の実績

1 商業振興対策

(1) 商店街環境整備事業

街路灯LED化事業 北原町商盛会 ほか3件 補助額 1,914,000円

(2) 商業団体等への活動支援

ア 街路灯電気料補助事業

No.	団体名	電気料(年額：円)	補助額(円)
1	青木新道商盛会	40,236	8,000
2	須坂駅前末広会	163,744	32,000
3	末広共栄会	107,964	21,000
4	駅前通り竜盛会	37,160	7,000
5	須坂駅前南本通り商店会	75,161	15,000
6	要町新生会	108,610	21,000
7	銀座通り振興会	101,536	20,000
8	須坂劇場通り商店街	70,088	14,000
9	桜木町商盛会	44,015	8,000
10	須坂本町通り商盛会	78,036	15,000
11	宗石会	52,024	10,000
12	中央通り発展街	122,308	24,000

No.	団 体 名	電気料(年額：円)	補助額(円)
13	春木町商工親交会	239,133	47,000
14	八幡商工振興会	330,724	66,000
15	梨ノ木街道管理委員会	81,767	16,000
16	武津美会	109,708	21,000
17	市役所西通り街路灯委員会	115,596	23,000
18	平和会	71,976	14,000
19	蔵の町中央通り商店会	59,456	11,000
20	寿町通り街路灯委員会	26,001	5,000
21	延命町街燈会	40,876	8,000
22	広小路広親会	55,302	11,000
23	北原町商盛会	137,545	27,000
	合 計	2,268,966	444,000

2 調査の実施

商店街等における令和2年度の補助金の要望を把握するため、商店街等を対象に県、市の補助事業導入希望等について調査を行った。

3 企業（商店）訪問の実施 随時

4 商店街の活性化対策

(1) 活性化、賑わい創出のための実践及び支援

3月22日実施予定であった「信州須坂蔵のまち春まつり2020」が、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

事前準備費用の精算に対する補助金140,680円

5 空き店舗対策

(1) 空き店舗情報の提供及び支援 相談件数 39件

(2) わざわざ店等開設支援事業

店 舗 名	補助額 (円)		備 考
	店舗改修費への補助	店舗家賃への補助	
Gemini Fitness :フィットネスクラブ	1,500,000		2019年度新規出店
I.D. :美容室	1,000,000		〃
coeur :美容室		300,000	〃
勝山整骨院 :整骨院		200,000	〃
居酒屋千幸 :飲食店		36,000	〃
Leo Coffee Roasters		480,000	
kitchen futariya		600,000	
T.bridge life hair		600,000	
(有)丸源鋸工場	144,000		既存店改修
みのり	1,000,000		〃
合 計	3,644,000	2,216,000	

6 創業支援事業計画（産業競争力強化法）

- (1) 計画期間：平成26年11月1日から令和6年3月31日
- (2) 変更認定：認定連携創業支援事業者に長野信用金庫を追加し、新規事業として創業カレッジ、創業機運醸成事業を計画（変更認定日：令和元年12月20日）
- (3) 特定創業支援事業者：須坂商工会議所、（特非）信州SOHO支援協議会、長野信用金庫

7 まちの駅活動事業

まちの賑わいを生み出すため、平成29年度「全国まちの駅連絡協議会」の認定を受け、官民連携による須坂市の「まちの駅」活動を展開。

- (1) 参加 商店等民間事業者16か所、公共施設9か所
- (2) 打ち合わせ会議実施 6月25日、7月18日、1月27日
- (3) 活動
 - ア 休憩機能の充実のための椅子提供依頼と設置
 - イ 信州須坂ビアフェスティバルでのビアフェスチケット提示サービス実施 9月7日
 - ウ 須坂市商店会連合会との合同視察 10月4日
 - エ 店舗及び施設見学会 1月27日

8 地域おこし協力隊活動

空き家・空き店舗等の活用や情報発信、関係機関等との連携によるまちの賑わいを生み出すため、地域おこし協力隊1名が平成30年10月1日着任し、活動をすすめている。

- (1) 活動
 - ア 空き家等活用セミナー開催 6月1日 春木町、6月28日 太子町、7月18日 第3ブロック役員会、8月1日 本上町
 - イ 空き家めぐり実施開催 4月14日、7月14日、11月23日
 - ウ 市職員と市民との「ランドバンク勉強会」
- (2) 視察研修
 - ア 10月6日 信州スタートアップセミナー受講
 - イ おぶせスタートアップセミナー受講
 - ウ 1月15日塩尻市等の先進事例視察
- (3) 町の魅力の掘り起しと、積極的な情報発信による町の良さの認識拡大
 - ア ZINE（個人制作のテーマ・体裁は自由な冊子）2～5号の制作発行、Web版制作
 - イ 10月14日 新潟県三条市「三条マルシェ」にて須坂市の魅力発信
 - ウ PRチラシ等作成支援
 - エ 雑誌ラジオ等の取材による須坂市の魅力発信
- (4) その他活動
 - ア 活動拠点開設準備（電気工事、須坂高校生との掃除片付け）
 - イ 空き店舗状況の把握、関係者との情報共有
 - ウ 空き家バンクによる情報集約と情報発信
 - エ 借りたい人と物件所有者とのマッチングに向けた相談

9 商業団体活動への協力

信州須坂みそ料理乃會の活動を支援し、観光イベント時のパンフレット配布や来訪者へ紹介などみそ料理の情報発信を行った。

銀座通り秋まつり（うまいもん市）への出店を支援し、情報発信と販路拡大を図った。

■ 産業連携事業

単位：円

当初 予算額	39,373,000	予算 現額	38,982,000	決算額	33,401,502	前年度 決算対比	98.1%	前年度 決算額	34,034,760
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

産業の連携により意欲のある企業の研究開発や販路拡大などの支援を積極的に行い、産業の活性化を図り、併せて産学官・産学・産産・産学官金の連携による新産業の創出を図る。

II 事業の成果等

須坂市の産業構造を自律発展型産業構造へと変換していくため、意欲のある企業への積極的な支援により、市内の産業の振興を図った。

産業コーディネート・アドバイス事業を実施し、産学官・産学・産産・産学官金の連携による新産業創出や研究開発の推進、既存補助制度を活用した支援を行った。その結果、新技術、新事業の開発及び新製品の開発などの成果が生まれた。

企業や団体が技術開発や設備導入等をするため、国等の提案公募型事業への申請書作成等の導入支援を積極的に行った。

須坂創成高等学校創造工学科デュアルシステムにおける2年生の就業体験、3年生の企業実習の実施にあたり、デュアルシステム受入れ企業と連携し、生徒受入れの支援を行った。

信州須坂フルーツエール推進協議会において、フルーツエール事業の推進を行い、「信州須坂ビアフェスティバル」を初めて実施し、約1,000人の方の来場があった。

令和元年東日本台風で被災した中小企業に対し、長野県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（通称：グループ補助金）等の補助金による支援を受けるための申請書作成支援等の総合的な支援を行った。

III 事業の実績

1 産業連携の推進及び振興

産業コーディネータ1人、産業アドバイザー4人を配置し、産学官金等の連携による産業の活性化を図るため「産業コーディネート・アドバイス事業」を実施した。

(1) 産学官連携のコーディネート案件

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」のコーディネートを行い、39件の申請書作成支援等を行った。

(2) 信州大学、長野県工科短期大学校、長野工業高等専門学校との包括連携協定事業

研究会顧問、講演会等の講師選定及び派遣、技術開発支援に関するアドバイザー依頼（イノベートSUZAKA、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク）

(3) 須坂創成高等学校創造工学科への支援

企業と学校が連携して就業体験や企業実習を通じて地域一体となった人材育成を行う。

デュアルシステム協力企業会の協力を得て、2年生の就業体験、3年生の企業実習を行い、次年度の2年生就業体験、3年生の企業実習に向けての事前説明会、企業との懇談会等を実施した。

また、市職員が創造工学科1年生に対し「出前授業」として「須坂市の工業」の講義を行った。

ア デュアルシステム協力企業会

(ア) 参加企業 54社（市内41社、市外13社）

(イ) 協力団体 須坂商工会議所、須坂工業振興会、須坂工業クラブ、須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク、イノベートSUZAKA

(ウ) 3年生企業実習 5月14日～7月16日の期間中、火曜日10日間
協力企業35社、実施生徒34人

- (エ) 2年生就業体験 1回目 7月29日～8月9日の中で3日または5日間
協力企業34社、実施生徒36人
2回目 10月11日～18日の中で3日または5日間
協力企業37社、実施生徒35人
- (オ) 企業との懇談会・2020年度3年生企業実習の事前説明会 10月1日
- (カ) 幹事会 10月30日
- (キ) 報告会・懇談会 12月3日
- (ク) 生徒向け企業プレゼンテーション 1月20日・21日・27日・28日 実施企業20社
- (ケ) 役員会・講演会 2月14日
- (コ) 総会・2020年度2年生就業体験の事前説明会 3月24日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、書面審議に変更。

2 市内企業等で組織する研究会等への参画、支援

市内企業等で組織する以下の事業や研究会に参画し、支援を行った。

(1) イノベートSUZAKA

- ア 参加企業 27社（市内23社、市外4社）
- イ 特別顧問 信州大学工学部
- ウ 技術顧問 長野工業高等専門学校
- エ 総会 4月23日
- オ 定例会 8月6日、12月4日
- カ 長野しんきんビジネスフェア2019への出展 5月15日
- キ 産業フェア in 信州2019への出展 10月25日・26日

(2) 須坂地域ものづくり人材育成ネットワーク

- ア 参加企業 38社（市内31社、市外7社）
- イ 教育機関 信州大学工学部、長野工業高等専門学校、長野県工科短期大学校、須坂創成高等学校、長野工業高等学校、中野立志館高等学校
- ウ 支援機関 ポリテクセンター長野、長野県工業総合技術センター、長野地域振興局、中野市、（一財）長野経済研究所、須坂商工会議所
- エ 会員企業の連携推進事業 短期インターンシップ 5社 9名（長野工業高等学校8名、中野立志館高等学校1名）
- オ 先進企業視察 7月9日 富山県富山市内の企業
- カ 技術講座検討委員会 1月30日
- キ 総会 3月13日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面決議とした。

(3) 須坂経営革新塾

- ア 参加企業 15社（市内14社、市外1社）
- イ 支援機関 長野県工業総合技術センター、長野地域振興局
- ウ 総会 5月27日
- エ 定例会 6月14日、9月27日、12月26日

(4) 須坂AI・IoT活用研究会

- ア 参加企業 33社（市内17社、市外16社）
- イ 教育機関 信州大学工学部、長野工業高等専門学校、長野県工科短期大学校
- ウ 支援機関 ポリテクセンター長野、長野県工業総合技術センター、
- エ 総会 4月19日
- オ 定例会・分科会 7月26日、11月29日

- (5) 長野県中温高压処理活用研究会
ア 参加企業 3社（市内1社、市外2社）
イ アドバイザー 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
ウ 支援機関 日本貿易振興機構長野貿易情報センター、(一社)長野県農村工業研究所、長野県工業技術総合センター、(公財)長野県中小企業振興センター、長野地域振興局
エ 研究会 9月7日

3 銀座NAGANOでの産業振興事業

- (1) イベント名 「信州須坂 食と農と健幸でおもてなし」
(2) 開催日 10月2日、3日
(3) 内容
ア 須坂産フルーツを使った和菓子作り体験 参加者 15人
イ 健康スムージーと伝統野菜を使用したスイーツ 参加者 22人
ウ 須坂マルシェ 須坂産農産物、加工品等の販売

4 須坂工業ブランド化支援事業

- (1) 産業フェア in 信州 2019 への出展
ア 開催日 10月25日・26日
イ 会場 ビッグハット（長野市）
ウ 来場者数 計12,458人（主催者発表）
エ 出展者数 須坂市・須坂商工会議所共同ブース（市内企業3社、3団体）、1高校、市内企業単独出展7社

5 産業振興に関する支援

- (1) 地域研究開発促進支援事業
ア 中小企業や大学・高等専門学校等の研究テーマに対して、製品化・事業化に向けた本格的な研究開発の前段階としての試作・実験等の可能性を探り、産学官連携促進に寄与する。
イ 案件 (ア)「オゾン水生成装置の開発・評価」
(イ)「IoTを活用した水田環境管理システムの開発」
- (2) 新技術・新製品開発事業
ア 目的 市内中小企業の技術開発を促進し、企業体質の強化を支援
イ 案件 (ア)「スマートフォンバイブレータ感知発呼装置の開発」
(イ)「太陽光発電用蓄放電装置の開発」
ウ 審査日 6月7日、10月29日
エ 審査機関 長野県工業技術総合センター、須坂商工会議所中小企業相談所
- (3) 先端設備等導入計画の認定
生産性向上特別措置法（平成30年6月6日施行）に基づき、市内中小企業者等の生産性向上に向けた設備投資を促進するため、市で導入促進基本計画を策定し、市内中小企業者等が策定する先端設備等導入計画の認定を実施している。
ア 認定件数 22件（うち変更 6件）
- (4) 信州大学のものづくり振興会および食・農産業の先端学際研究会 F A I Dへの参加
地域の科学技術の発展と産業の振興のため、大学、企業、自治体等が一体となって産学官連携を推進する。

(5) 信州須坂フルーツエール推進協議会

- ア 目的 須坂産果物を使用したフルーツ発泡酒の製造販売することによる新規雇用の創出、須坂産の果物のPRによる果実振興、市内飲食店、宿泊施設を中心に販売することによる賑わい創出
- イ 協議会 5月24日
- ウ 商談会 5月15日、8月22日、9月5日、9月26日、2月25日
- エ 新商品発表会 7月8日（パールエール）、9月20日（もも・カシスMIX）
- オ 信州須坂フルーツエール×観光列車「ろくもん」特別列車 7月10日 参加者68人
- カ モニーツアー 6月22日、9月30日、10月7日 参加者42人
- キ 信州須坂ビアフェスティバル2019 市営駐車場 9月7日 来場者約1,000人
- ク 首都圏での販促イベント
日本百貨店しょくひんかん、松屋銀座本店、マックスキャロット（豊島区目白）
- ケ 長野電鉄長野駅コンコースを使った販促イベント 12月20日～23日
- コ 主な出店イベント
善光寺花回廊、須坂カッタカタまつり、須坂みんなの花火大会、松本城クラフトビールフェス、けやきビアフェス、大江戸ビール祭り 等

6 令和元年東日本台風で被災した中小企業に対する総合的な支援

- (1) 長野県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業のグループ組成に向けた申請書作成支援
個別企業訪問による対応 8社
- (2) 小規模事業者持続化補助金申請書作成支援
個別企業訪問による対応 2社
- (3) グループ補助金申請において必須となるBCP（事業継続計画）の策定講座の開催
日時 3月25日
会場 須坂商工会議所2階会議室

■ 企業立地推進事業

単位：円

当初 予算額	91,950,000	予算 現額	75,835,000	決算額	75,799,160	前年度 決算対比	69.3%	前年度 決算額	109,347,780
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

企業誘致を推進し地域経済の活性化や雇用の創出を図ることで、市財政の健全化や定住人口の増加につなげる。

II 事業の成果等

長野県、須坂商工会議所、金融機関等と連携し、工業系用途地域の空き工場や工場立地が可能な未利用地の情報を収集し、希望する企業へ情報提供を行った。

また、須坂市へ立地を希望する企業や企業誘致を推進するための企業立地振興事業補助金を交付すると共に、工業用地確保のため、新産業団地開発に向けて調査を行い、開発手法の研究を行った。

須坂長野東インターチェンジ周辺の開発に関し、地域未来投資促進法を活用して長野県の農政部及び産業労働部の所管課との協議を重ね、農振除外、農地転用等の規制解除に関連した手続きを進めた。

III 事業の実績

1 工業の立地振興

(1) 須坂長野東インターチェンジ周辺開発計画に関する取組み

ア 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発推進プロジェクトチーム会議

(ア) 開催日 4月11日、11月19日、2月21日

(イ) 内容 インターチェンジ周辺地区開発計画進捗状況報告及び今後の予定について

- イ 庁内定例会議及び随時会議
 - (ア) 開催日 原則、毎週水曜日
 - (イ) 出席者 理事者、まちづくり課、農林課、農業委員会、産業連携開発課
- ウ 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発計画に係る地権者説明会
 - (ア) インター周辺地区開発計画の進捗状況に関する説明会
 - a 開催日 11月7日、8日
 - b 場 所 井上保育園
 - c 内 容 開発に関する進捗状況について
 - d 出席者 地権者、各町役員、報道機関等
- エ 「地域未来投資促進法」に係る取組
 - (ア) 土地利用調整計画の県の承認
 - a 承認日 12月22日
 - b 所 管 長野地域振興局商工観光課
 - (イ) 地域経済牽引事業計画の県の承認
 - a 承認日 9月20日（高速道路西側、観光集客施設及び物流関連産業）
12月22日（高速道路東側、ものづくり産業）
 - b 所 管 長野地域振興局商工観光課
 - (ウ) 地域未来投資促進法を活用した開発手法に関する視察受け入れ対応
山梨県中央市（7月22日）、東広島市（12月19日）、静岡県牧之入市（1月19日）
 - (エ) 他市との情報交換
千曲市産業振興課（1月24日） 開発手法について
- (2) 企業誘致に関する研修等
 - ア 県・市町村産業誘致担当職員スキルアップ研修会
 - (ア) 期 日 6月5日
 - (イ) 場 所 長野県安曇野合同庁舎(建設事務所) 講堂
 - (ウ) 内 容 国・県の支援制度説明

■ プレミアム付商品券事業

単位：円

当初 予算額	242,142,000	予算 現額	150,380,000	決算額	97,648,389	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

消費税・地方消費税の10%への引上げに伴う、住民税非課税の方と乳幼児のいる子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として実施。

II 事業の成果等

住民税非課税の方及び乳幼児のいる子育て世帯を対象として、プレミアム付商品券の発行・販売を行い、消費に与える影響緩和とともに、地域において、約8,200万円の消費喚起につなげた。

III 事業の実績

1 須坂市プレミアム付商品券事業

- (1) 名称 須坂市プレミアム付商品券
- (2) 発行主体 須坂市
- (3) 発行方法 商品券1冊（500円×10枚）を4,000円で販売
販売期間：10月1日～2月28日
申込期限：11月29日（一旦区切ったが、12月以降も受付は柔軟に対応）

- (4) 交付者数 住民税非課税 対象人数 8,392 人÷申請者数 3,264 人=申請率 38.9%、子育て世帯 1,223 人
 (5) 利用可能店舗 147 事業所
 (6) 販売総額 65,852,000 円
 (7) 利用期間 10月1日～2月29日
 (8) 換金実績 82,015,500 円

7-1-3 (目) 観光費

単位：円

当初 予算額	216,911,000	予算 現額	218,627,000	決算額	188,876,268	前年度 決算対比	64.2%	前年度 決算額	294,033,414
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 観光施設管理事業

単位：円

当初 予算額	79,061,000	予算 現額	80,780,000	決算額	59,841,586	前年度 決算対比	105.7%	前年度 決算額	56,612,612
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

観光施設の適切な維持管理により施設の機能を維持し、利用者の安全確保を図る。

II 事業の成果等

適切な維持管理を実施した結果、施設の機能維持及び利用者の安全確保が図れた。

III 事業の実績

1 施設等の管理(整備)委託

施設名	委託先	委託料(円)
峰の原高原自然散策遊歩道	峰の原高原区	無 償
峰の原高原スキー場公衆トイレ	(一財)仁礼会	無 償
米子大瀑布公衆トイレ等	(公社)須高広域シルバー人材センター	213,560
前山つつじ山公園	下八町区	50,000
峰の原高原公衆トイレ	峰の原高原区	50,000
五味池破風高原周辺施設	五味池破風高原管理委員会	600,000
林道米子不動線支障枝刈り払い	長野森林組合	108,000
登山道整備	長野森林組合 根子岳周辺登山道整備の会	812,800
米子大瀑布周遊道整備	(公社)須高広域シルバー人材センター	61,236
米子大瀑布駐車場整理	(公社)須高広域シルバー人材センター	220,320
合 計		2,115,916

2 須坂市ふれあい健康センター (湯っ蔵んど)

(1) 保守点検委託

業 務	委託先	委託料(円)
自家用電気工作物保安管理	(一財)中部電気保安協会	629,148
エレベーター保守管理業務委託	(株)日立ビルシステム	706,320
自動ドア保守点検	(株)長野ナブコ	236,160
建築物環境衛生管理	(株)第一エンジニアリング	211,460
空調機・ヒートポンプ冷媒ガス点検	(株)信東産業	118,800
空調機・ヒートポンプ冷媒ガス点検	(株)信東産業	121,000
ヒートポンプ冷房切替	(株)信東産業	451,440
ヒートポンプ暖房切替	(株)信東産業	459,800
ヒートポンプ点検整備	(株)信東産業	498,960

業 務	委 託 先	委託料(円)
ボイラー点検整備	(株)信東産業	222,640
ろ過器装置点検	(株)信東産業	209,330
空調機点検	(株)信東産業	72,050
ポンプ類点検	(株)信東産業	242,660
合 計		4,179,768

(2) 手数料

内 容	実施事業者	金額(円)
高圧機器設備保全手数料	(一財)中部電気保安協会	51,840
法定水質検査	(株)科学技術開発センター	59,400
消防用設備点検	三益消防機材(株)	143,000
建築物調査報告業務	(株)中嶋建築設計事務所	237,600
煤煙測定等	(株)科学技術開発センター	92,400
地下タンク及び埋設配管漏洩検査	(株)科学技術開発センター	46,200
浴槽水等水質検査	(株)科学技術開発センター	102,355
法定水質検査	(株)科学技術開発センター	6,600
消防用設備点検	三益消防機材(株)	129,600
浴槽等水質検査	(株)科学技術開発センター	106,110
煤煙測定	(株)科学技術開発センター	90,720
水道法 水槽点検	(株)科学技術開発センター	14,040
合 計		1,079,865

(3) 備品購入費及び機器貸借料

内 容	事業者	金額(円)
管理室エアコン購入	松本電器(株)	235,980
休憩室エアコン購入	松本電器(株)	169,344
移動式エアコン貸借	信越空調(株)	563,760
合 計		969,084

(4) 設計委託料

委託業	委託先	金額(円)
空調設備調査業務委託	(株)中嶋建築設計事務所	448,800
合 計		448,800

(5) 修繕費

事 業 名	金額 (円)
湯っ蔵んど 滝風呂ろ過ポンプ他修繕	898,560
〃 事務所天井内排水配管修繕工事	43,558
〃 エスカレーター後撤去改修工事	45,360
〃 鎌田の湯 自動ドア修繕	49,680
〃 事務所天井修繕工事	81,702
〃 脱衣場 水栓設備修繕	72,343
〃 臥竜の湯 高温サウナ入り口敷居修繕	33,480
〃 受変電設備劣化に伴う SOG 修繕	766,800
〃 すのこ等修繕	351,253
〃 鎌田の湯 自動ドア修理	43,200
〃 マグナム 1・2 用塩素滅菌機他修理	656,640
〃 鎌田の湯シャワー水栓修繕・鎌田の湯脱衣場排水金具修繕	176,370
〃 吹抜け部 LED 化工事	712,260

事業名	金額 (円)
〃 消防設備修繕	200,340
〃 宴会場ガラス修理	243,320
〃 水栓排水修繕工事	216,150
〃 鎌田の湯 サウナ風呂床板修繕他	189,255
〃 浴室鏡修繕工事	499,488
〃 1F 事務所床修繕工事	30,800
〃 送風機修理	902,000
〃 温水ポンプ PHH-01 他修繕	808,500
〃 冷温水ポンプ他修理	707,300
〃 温水ポンプ PHH-02 他修繕	825,000
〃 遠赤外線サウナヒーター修繕	602,800
〃 自動火災報知設備修繕	151,250
〃 誘導灯設備修繕	105,710
〃 スチームサウナハンガードア修繕	176,110
合計	9,589,229

※自動火災報知設備緊急修繕 修繕費 4,698,000 円 (2018 年度繰越事業)

3 その他観光施設の維持修繕等

事業名	金額 (円)
公用車 (マツダ ボンゴ) ブレーキランプ交換	788
〃 (スズキ キャリーT) 右サイドミラー交換	4,428
峰の原高原 遊歩道東屋階段修繕工事	297,023
〃 こもれび広場遊具修繕工事	103,400
〃 クロスカントリーコース管理棟外壁等塗装工事	499,730
登山道 米子大瀑布小根子岳登山道橋修繕工事	939,600
市営駐車場 市営駐車場ブロック塀改修工事	1,285,200
その他 恋人の聖地モニュメント塗装工事	66,000
合計	3,196,169

4 観光地の安全点検

関係機関と合同で観光地の安全点検を実施した。

観光客安全対策パトロール	実施日	7月2日	場所	米子大瀑布
		7月3日		峰の原高原

5 須坂市ふれあい健康センター (湯つ蔵んど) の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 蔵のさと温泉共同企業体

指定の期間 平成29年(2017年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日

指定管理者委託料 なし

(2) 管理の状況

入館者数 278,971 人 (前年度比 98.1%) うち福祉浴室利用者 3,396 人

利用料(入館料) 103,687,860 円 (前年度比 95.4%)

(3) 施設維持協力金 5,120,000 円

(4) 営業定額納付金 1,200,000 円

(5) 利益配分制納付金 マイナス収支のため納付なし

6 関谷温泉源泉の管理

関谷温泉の源泉湧出量等を調査した。 実施日 1月24日 自噴量 193.3リットル/分、湯温 39.0度

7 須坂市営駐車場の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 一般財団法人 須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成29年(2017年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

指定管理者委託料 791,000円

(2) 管理の状況

総出庫台数 8,010台 (前年度比 114.5%)

利用料 1,550,900円 (前年度比 119.3%)

8 峰の原高原クロスカントリーコースの管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 峰の原高原クロスカントリー場維持管理組合

指定の期間 平成31年(2019年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

指定管理者委託料 5,356,000円

(2) 管理の状況

利用人数 22,935人 (前年度比 100.3%)

利用料 3,062,850円 (前年度比 100.6%)

9 蔵のまち観光交流センターの管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 須坂市観光協会

指定の期間 平成31年(2019年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

指定管理者委託料 8,670,000円

(2) 管理の状況

利用人数 15,941人 (前年度比 126.2%)

ホール利用料 110,500円 (前年度比 102.9%)

10 五味池破風高原のレンゲツツジ保護(笹刈り)

貴重な観光資源であるレンゲツツジの樹勢を確保し保護するため、地元財産区、民間企業等との連携により、笹刈りを行った。 9月28日 参加者25人

11 米子大瀑布シャトルバスの運行

米子大瀑布アクセス路の交通混雑解消と観光客の安全確保のため、紅葉期のマイカー規制を行い、湯っ蔵んどから米子大瀑布駐車場までシャトルバス運行を予定したが、林道米子不動線が令和元年東日本台風災害により路肩崩落した為、計5日間の全日程を中止した。

(1) 委託先 長電バス(株)

(2) 委託料 88,000円 (乗車券印刷費)

12 米子大瀑布駐車場整理業務委託

紅葉期の米子大瀑布駐車場の混雑対策として駐車場整理業務及び駐車協力金收受を行った。林道米子不動線が令和元年東日本台風災害により路肩崩落した為、予定していた計18日間の予定を、計7日間に変更した。

- (1) 期 間 10月5日～11日 計7日間
- (2) 委託先 アンゼン産業(株)
- (3) 委託料 585,200円
- (4) 協力金 69,000円 138台

13 峰の原高原こもれび広场景観支障木伐採業務委託

県の補助金を活用し、峰の原高原こもれび広場見晴らし台からの眺望を阻害する支障木の伐採を行った。

- (1) 委託先 (一財)仁礼会
- (2) 委託料 1,320,000円

14 市民無料入浴券の発行

広報すざか刷込み 4月号・10月号(1世帯2枚)

配布枚数 40,024枚、 使用枚数 湯っ蔵んど 10,873枚
 須坂温泉 2,735枚
 合 計 13,608枚(利用率 34.0%)

15 須坂温泉株式会社との連絡調整

須坂温泉株式会社と随時連絡調整を行い、取締役・監査役合同会議にオブザーバーとして参加した。
 榊古城荘との事業賃貸に係る契約3年目となる。

また、緊急防災・減災事業債を活用した、指定避難所(須坂温泉古城荘)耐震補強等工事に対する負担金を支出した。

貸付金については、元金1,000千円と利子分が収入となった。

須坂温泉古城荘の敷地を賃借している3者と2020年1月1日から20年間の土地賃貸借契約の更新契約を行った。

- (1) 株主総会 5月30日
- (2) 取締役・監査役合同会議 5月8日、5月30日、8月5日、10月28日、2月5日
- (3) 臨時取締役・監査役合同会議 3月30日

■ 観光・誘客宣伝事業

単位：円

当初 予算額	48,410,000	予算 現額	48,403,000	決算額	45,131,102	前年度 決算対比	96.8%	前年度 決算額	46,632,130
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

観光宣伝及びイベント等の開催により観光誘客を図る。

II 事業の成果等

観光宣伝及びイベント等の開催、また、関係団体と連携して観光誘客が図れた。

III 事業の実績

1 宣伝用パンフレット等の作成・配布及び観光広告看板の掲出

市内外の宿泊施設や飲食店・コンビニ等に配布、設置するとともに、観光イベント等において来場者に配布して情報の提供・誘客宣伝を行った。

(1) 宣伝用パンフレット等の作成・配布

ア 総合観光パンフレット	1,007,160円	(40,000部)
イ 米子大瀑布パンフレット	306,120円	(16,000部)
ウ 米子大瀑布駐車券(駐車場協力金)	49,140円	(3,500部)
エ 英語版観光パンフレット	361,260円	(5,000部)
オ クリアファイル	325,600円	(10,000部)
カ アームバッグ	231,000円	(20,000部)
合 計	2,280,280円	

(2) 観光広告看板の掲出		
ア 須坂駅構内「ようこそ信州すざかへ」		29,500円
イ 長野市柳原国道18号「産業遺産蔵の町並み須坂」		29,500円
合計		59,000円

2 誘客イベントの広告宣伝

観光イベント等への効果的な集客を図るため、観光協会等と連携を図りながら新聞及び雑誌広告への掲載や、マスコミ関係者への情報の提供・広報・宣伝を行った。

3 テレビ・雑誌等の取材協力

テレビ、雑誌等マスコミの取材に対し、観光協会等と連携を図りながら協力した。

4 観光情報の提供

観光メールマガジンの発行や「観光だより」ホームページの更新により情報提供を行った。
電話や電子メールでの問い合わせに対し、情報の提供、パンフレット等の送付を行った。

- (1) 観光メールマガジンの発行 8件
- (2) パンフレット等の送付 777件（観光協会対応分含む）

5 観光案内誘客業務委託

観光客の利便を図るとともに、魅力ある観光商品の造成と旅行会社への商談や積極的な誘客宣伝活動により一層の観光振興を図るため、観光案内誘客業務を委託した。

- (1) 委託先 須坂市観光協会
- (2) 委託料 20,000,000円

6 観光PR業務委託（信州須坂プロモーション事業）

県外でのイベントによる情報発信、マスコミを積極的に活用した誘客宣伝を全国に向け行うため、観光PR業務を委託した。

- (1) 委託先 (株)Goolight
- (2) 委託料 7,999,970円

7 第42回須坂カッタカタまつり（実行委員会事務局）

- (1) 期 日 7月20日
- (2) 参加人員 2,901人（47連）

8 第32回信州須坂大菊花展（実行委員会事務局）

- (1) 期 間 10月25日～11月12日
- (2) 会 場 臥竜公園内特設会場
- (3) 出展作品数 221点（600鉢）

9 第14回信州須坂・シルクと蔵のまちツーデーウォーキング（実行委員会）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（3月28～29日）

10 観光年賀はがきデザイン募集

観光宣伝とイメージアップを図るため、年賀はがき用の図案を募集し、ホームページで公開した。

- (1) 応募数 3作品（3名）
- (2) 謝 礼 9,000円（3,000円×3名）

11 観光宣伝、物産販売

観光協会等と共催で、各地で実施される観光PRを兼ねた物産販売等のイベントに参加した。

5月22、25日	信州花フェスタ（松本市）
7月14日	「塩竈みなと祭り」（塩竈市）
9月5～6、19～20日	ながの果物語り新幹線マルシェ
9月7～8日	大阪鶴見区民まつり（大阪市）
10月1～2日	信州長野マルシェ（東京都霞が関）
1月11～12日	日本海高岡なべ祭り（高岡市）
2月2日	清水みなと雪まつり（静岡市）
2月15～16日	宝塚阪急イベント出展（宝塚市）
イベントが中止された	
10月13日	「清水港マグロまつり2019」（静岡県静岡市）
10月19日	「おいでよ信州キャンペーン（連携中枢都市合同会議）」（金沢市近江町市場）

12 広域観光の推進

長野県観光部及び長野県観光機構並びに近隣市町村、関係観光協会等と連携し、広域的な誘客宣伝を行った。

(1) (一社)長野県観光機構

国内ツーリズム推進、インバウンド推進、物産ブランド振興等への取組みとの連携

(2) 北信濃観光連盟

「な・に（ながの・にいがた）うみやま」イラストマップ作成・実施への協力

(3) 新幹線上田駅観光案内所運営委員会

「信州上田周辺ぐるりまっぷ」タイ語 繁体字・簡体字版パンフレット作成・実施への協力

(4) 上信越ふるさと街道協議会

パンフレットの作成協力、観光PR及び情報の提供

(5) 須高地域広域観光協議会

広域観光圏と連携した取り組み

(6) 絹のみち広域連携プロジェクト 絹のみちPRイベント

高速道路を利用して県内を訪れる観光客を誘客するため、高速道路SAで観光PRイベントやスタンプラリーへの協力

(7) 信州シルクロード連携協議会

パンフレットの作成協力、絹のみち広域連携プロジェクトとの連携

(8) 信州フルーツ王国推進会議

くだものまつり パンフレットの作成協力、PR活動協力

(9) その他

JR東日本「駅からハイキング」への参加

13 須坂市観光協会連携事業

須坂市観光協会と連携し事業等を行った。

(1) 臥竜公園さくらまつり

(2) レンゲツツジ in 五味池

(3) 須坂の夏祭り（祇園祭・第42回須坂カッタカタまつり・第32回みんなの花火大会）

(4) フルーツ大国くだものまつり（りんご・ぶどう・さくらんぼ・ももまつり）

(5) 第32回信州須坂大菊花展

(6) 第19回信州須坂「わくわく」おひなめぐり

- (7) 観光キャラバン、観光キャンペーン
- (8) 第14回信州須坂・シルクと蔵の町ツアーウオーキング
- (9) 学習教育旅行の受入れ

14 地域おこし協力隊活動

須坂温泉古城荘を拠点に観光振興、農業振興、地域振興などを通じて地域を盛り上げるため、平成30年8月1日より地域おこし協力隊1名が着任し、活動をすすめている。

■ 観光施設整備事業

単位：円

当初 予算額	89,440,000	予算 現額	89,444,000	決算額	83,903,580	前年度 決算対比	44.0%	前年度 決算額	190,788,672
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

観光地における観光基盤施設の整備を図るとともに、観光案内板・案内標識の整備による観光客の誘導、回遊を促進し、観光振興を図る。

II 事業の成果等

魅力ある観光地づくりと観光振興、また、来訪客の安全確保のため米子大瀑布遊歩道の落石対策工事等を行った。

須坂温泉への支援として、緊急防災・減災事業債を活用した指定避難所（須坂温泉古城荘）の整備を行った。

III 事業の実績

1 須坂温泉古城荘の整備

災害時における指定避難所として、安心安全の確保と機能向上を図るため、国の緊急防災・減災事業債を活用し、須坂温泉古城荘の耐震補強工事、バリアフリー化等の改修を行うための設計、工事及び監理業務を行った。

負担金 設計業務 7,560,000円（繰越事業）

負担金 73,440,000円（前払金）

内訳 建築主体 37,400,000円（当初契約金額：93,500,000円）

電気設備 9,240,000円（当初契約金額：23,100,000円）

機械設備 24,600,000円（当初契約金額：61,600,000円）

管理業務 2,200,000円（当初契約金額：5,500,000円）

2 米子大瀑布遊歩道落石対策工事 2,155,680円

3 米子大瀑布小根子岳登山道迂回路工事 302,400円

4 米子大瀑布災害対応工事 445,500円

7-1-4 (目) シルキーホール費

単位：円

当初 予算額	10,881,000	予算 現額	113,377,000	決算額	64,472,606	前年度 決算対比	616.9%	前年度 決算額	10,450,967
-----------	------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ シルキーホール管理事業

単位：円

当初 予算額	10,881,000	予算 現額	10,877,000	決算額	10,506,606	前年度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	10,450,967
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

シルキーホールを多目的集会施設として広く市民に開放し、利用の推進に努める。
市民プラザにより須坂市の観光、歴史、文化、自然及び蔵の町すざかの情報等の提供を図る。

II 事業の成果等

シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放し、諸会議・各種研修会・サークル活動等の研鑽の場として利用された。

市民プラザを須坂市観光協会に委託し、須坂市の情報提供を行った。なお、市民プラザ内のギャラリー展示は平成30年度で終了したが、市民プラザでは観光情報をはじめ、須坂図書館の「信州須坂どこでも図書館」が設置され、様々な情報提供の場として活用した。

III 事業の実績

1 シルキーホールの管理運営

- (1) 指定管理者 須坂市観光協会
- (2) 指定の期間 平成28年(2016年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日
- (3) 指定管理者委託料 4,673,000円

2 第1、第2ホール利用状況

- (1) 利用料等 1,352,500円 (施設1,244,000円、ピアノ利用料6,000円、冷暖房106,500円)
- (2) 利用者数 11,769人 前年度比46.1% (有料5,200人、無料6,569人)

3 市民プラザの管理運営

(1) 市民ギャラリー展示事業

(株)Goolight への貸付面積拡張のともない、市民プラザでの展示は平成30年度で終了とした。

(2) アートギャラリー展示事業

福井敬一展

- ・ 上信越高原国立公園70周年記念写真展 7月22日～8月9日
- ・ 信州須坂福井敬一絵画展 8月17日～12月15日

常設展示 中国四平市コーナー展示

4 開館日数及び入館者数

- (1) 開館日数 361日
- (2) 入館者数12,586人 (内観光案内2,979人) 前年度比92.5%
- (3) 1日平均入館者数 34.8人

5 観光案内

市外より訪れる観光客に観光案内を実施した。 2,979人

■ シルキーホール整備事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	102,500,000	決算額	53,966,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

多目的集会施設として広く市民に開放し、諸会議・各種研修会・サークル活動等の研鑽の場であるシルキーホール及び、市民文化の向上を図るふれあいの場であるとともに執務エリアであるシルキー2階フロアの整備を行う。

II 事業の成果等

シルキー3階第1ホールの空調設備故障に伴う更新工事及び照明器具老朽化に伴う交換工事により環境整備を行った。

シルキー2階フロアの空調設備及び照明器具老朽化に伴う更新工事を行った。

III 事業の実績

1 設計業務

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
シルキーホール空調換気設備改修工事設計業務委託	(株)中嶋建築設計事務所	シルキー3階第1ホールの設計業務	1,936,000
シルキー2階空調換気設備改修工事設計業務委託	(株)中嶋建築設計事務所	シルキー2階フロアの設計業務	1,529,000
合計			3,465,000

2 工事請負

工事名	工事場所	金額(円)
シルキーホール空調換気設備改修工事	シルキー3階第1ホール	30,261,000
シルキー2階空調換気設備改修工事 (前金払い分、残額は令和2年度へ繰越)	シルキー2階フロア	20,240,000
合計		50,501,000

款 8 土 木 費

(款8) 土木費

単位：円

当初 予算額	2,270,492,000	予算 現額	2,409,722,280	決算額	2,168,573,091	前年度 決算対比	100.7%	前年度 決算額	2,153,015,581
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

8-1-1 (目) 土木総務費

単位：円

当初 予算額	33,126,000	予算 現額	32,226,000	決算額	31,639,779	前年度 決算対比	95.7%	前年度 決算額	33,048,999
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	6,439,000	予算 現額	5,783,000	決算額	5,535,212	前年度 決算対比	96.8%	前年度 決算額	5,715,334
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

土木工事の設計業務を実施し、事業の推進を図る。

II 事業の実績

- 1 補助及び単独土木工事の設計積算を実施し、工事の推進が図られた。
- 2 ラウンドアバウトに関する研修会「ラウンドアバウトサミット in いとまん（沖縄県）が11月21日～22日に開催された。須坂市は不参加。

3 要望の実施状況

月 日	内 容	陳情等先
5月14日	ラウンドアバウトの普及促進について 於：東京都千代田区 [ラウンドアバウト普及促進協議会] 須坂市より1名参加	警察庁、国土交通省

■ 道路整備促進事業

単位：円

当初 予算額	102,000	予算 現額	102,000	決算額	101,400	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	101,400
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

道路整備の要望活動を積極的に行うことにより、整備の促進を図る。

II 事業の成果等

道路の整備促進を図るため、各同盟会等において要望活動等を行った。

III 事業の実績

陳情、要望の実施状況

(1) 道路等整備促進の提言及び要望

月 日	内 容	陳情等先
7月24日	村石バイパス建設促進について [国道406号村石バイパス建設促進期成同盟会] 14名参加	長野県建設部長

月 日	内 容	陳情等先
8月5日	建設事業の早期事業化・事業の促進について [近隣市町村] 5名参加	長野県議会
8月23日	千曲大橋建設に向けての取組み強化について [千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成 同盟会] 参加総数 65名	長野県知事、長野・須坂建設 事務所長、地元選出国會議 員・長野県議會議員
8月29日	道路事業等の整備促進について [市単独] 10名参加	長野県建設部長
12月5日	国県市道に係る事業の予算確保について [市単独] 24名参加	国土交通省
12月24日	令和元年東日本台風に伴う災害対策、IC周辺開発に伴う道路 の整備促進について [市単独] 13名参加	長野県知事

8-1-2(目)地籍調査費

単位：円

当 初 予算額	5,289,000	予算 現額	5,296,000	決算額	4,761,027	前 年 度 決算対比	126.7%	前年度 決算額	3,756,360
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

■ 地籍調査事業

単位：円

当 初 予算額	5,289,000	予算 現額	5,296,000	決算額	4,761,027	前 年 度 決算対比	126.7%	前年度 決算額	3,756,360
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

土地の基礎情報である地籍を調査した結果により、実態を正確に反映した地籍図を作成し法務局に備え付け、登記簿を書き改めることにより、土地に関するあらゆる行為で発生している問題を解消する。

II 事業の成果等

地籍調査は、C工程(地籍図根三角測量)、D工程(地籍図根多角測量)、E工程(一筆地調査)、F I工程(細部図根測量)、F II-1工程(一筆地測量)、F II-2工程(地籍図原図作成)、G工程(地積測定)、H工程(成果の閲覧、地籍図及び地籍簿の作成)があり、日滝5・6区について、F II-2・G・H工程を実施し、地籍図及び地籍簿を作成した。

III 事業の実績

1 事業実施状況

調査区域	実施工程	面積	縮尺
日滝5区	F II-2・G・H工程	0.11 km ²	1/500
日滝6区	F II-2・G・H工程	0.08 km ²	1/500

2 主な事業内容

事業名	事業内容	委託先	事業費(円)
道路後退用地測量業務委託(日滝3区)	道路後退用地の測量業務	黒田整地開発 (株)須坂支社	216,000
地籍調査事業に係る附帯測量業務委託(日滝6区)	宅地造成に伴う未登記道路の座標 値入力・点検作業	(株)協同測量社 須坂営業所	97,200

事業名	事業内容	委託先	事業費 (円)
地籍調査事業 日滝5区 測量業務委託	地籍調査事業 FⅡ-2・G工程	黒田整地開発 (株)須坂支社	357,500
地籍調査事業 日滝6区 測量業務委託	地籍調査事業 FⅡ-2・G工程	(株)協同測量社 須坂営業所	297,000
地籍調査事業 日滝5区 測量業務委託	地籍調査事業 H工程	黒田整地開発 (株)須坂支社	495,000
地籍調査事業 日滝6区 測量業務委託	地籍調査事業 H工程	(株)協同測量社 須坂営業所	462,000
地籍調査事業に係る附帯測量業務委託 (日滝4区)	宅地造成地の座標値入力・点検作業	(株)協同測量社 須坂営業所	121,000
未登記道路地積測量図等作成業務委託 (日滝3区)	未登記道路の地積測量図等作成	黒田整地開発 (株)須坂支社	231,000
地籍調査事務支援システム等保守点検委託	事務支援システム及び成果管理システム保守点検	(株)協同測量社 須坂営業所	327,000
合 計			2,603,700

8-2-1 (目) 道路橋梁総務費

単位：円

当初 予算額	128,903,000	予算 現額	132,041,000	決算額	130,919,452	前年度 決算対比	102.7%	前年度 決算額	127,491,629
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 道路橋梁管理事業

単位：円

当初 予算額	20,270,000	予算 現額	22,773,000	決算額	22,277,690	前年度 決算対比	108.6%	前年度 決算額	20,505,306
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

都市の基本的施設としての道路橋梁等を適切に管理することにより、安全で快適な市民生活を確保する。

II 事業の成果等

事業目的達成のため、道路橋梁施設の管理、道路愛護思想の普及事業、道水路の占用許可に係る調整等を実施した。

III 事業の実績

- 1 官民境界立会申請受理件数 143 件
- 2 道水路占用許可受理件数 240 件 (道路 216 件、準用河川 1 件、普通河川 23 件)
- 3 道路河川占用料収入未済

現年度	0 件	0 円
過年度	0 件	0 円

4 市道の認定・廃止・路線変更数

区分	路線数 (線)	延長 (m)
認定	6	273.1
廃止	0	0
路線変更	1	△52.0
増減	6	221.1

5 測量業務等の委託状況

事業名	事業内容等	委託先	事業費(円)
市道大日向団地3号線復元測量業務委託(大日向町)	調査・測量業務 一式	(有)須高測量	324,000
市道内堀東堀線未登記道路用地測量業務委託(丸岡町)	調査・測量業務 一式	同上	399,600
市道大日向団地3号線用地測量業務委託(大日向町)	調査・測量業務 一式	同上	496,800
寿町線未登記道路用地測量業務委託(東横町)	調査・測量業務 一式	(公)長野県公認 登記士地家屋調査士協会	195,501
市道春木町昭和倉庫線未登記道路用地測量業務委託(春木町)	調査・測量業務 一式	(有)須高測量	432,000
市道臥竜山松尾線未登記道路用地測量業務委託(南原町)	調査・測量業務 一式	同上	334,800
大字須坂490-12道路後退用地測量業務委託(春木町)	調査・測量業務 一式	(公)長野県公認 登記士地家屋調査士協会	318,902
大字井上2279-3土地分筆図面作成業務委託(井上町)	調査・測量業務 一式	同上	215,157
大字八町1622-27未登記道路用地測量業務委託(上八町)	調査・測量業務 一式	同上	275,562
市道間瀬口中灰野線未登記道路用地測量業務委託(豊丘上町)	調査・測量業務 一式	(有)須高測量	330,000
市道相森団地行人塚線未登記道路用地測量業務委託(相森町)	調査・測量業務 一式	同上	495,000
市道小山屋部線用地測量業務委託(小山町)	調査・測量業務 一式	同上	330,000
大字日滝2281-5未登記道路用地測量業務委託(相森町)	調査・測量業務 一式	(公)長野県公認 登記士地家屋調査士協会	254,529
市道井上土栗線用地測量業務委託(井上町)	調査・測量業務 一式	(有)須高測量	495,000
臥竜1丁目577-3道路後退用地測量業務委託(北原町)	調査・測量業務 一式	(公)長野県公認 登記士地家屋調査士協会	200,046
大字福島6-4未登記道路用地測量業務委託(福島町)	調査・測量業務 一式	同上	374,484
大字須坂1673-3道路後退用地測量業務委託(馬場町)	調査・測量業務 一式	同上	92,367
大字八町2056-1未登記道路用地測量業務委託(下八町)	調査・測量業務 一式	同上	272,173
大字小山1754-2道水路交換測量業務委託(境沢町)	調査・測量業務 一式	同上	387,493
市道丹波塚地蔵原線用地測量業務委託(本郷町)	調査・測量業務 一式	(有)須高測量	484,000
市道園芸高校井上線修正用地測量業務委託(井上町)	調査・測量業務 一式	(株)エヌ・テック建設業所	385,000
市道北旭ヶ丘新田線用地測量業務委託(新田町)	調査・測量業務 一式	(有)須高測量	319,000
合計			7,411,414

6 道水路敷地の払下げ等の状況

道路敷地

種別	件数	面積 (㎡)	金額 (円)
交換	0	0	—
払下げ	5	533.06	2,734,864
寄附	37	3471.46	—

水路敷地

種 別	件 数	面 積 (㎡)	金 額 (円)
交換	1	14.60	—
払下げ	1	12.28	115,432
寄付	1	6.99	—

※交換は市が取得した面積

7 道路台帳等補正業務の委託状況

事業名	事業内容	委託先	事業費(円)
道路台帳補正	新設改良補正	2417.2m	(株)パスコ 長野支店
	認定路線変更補正	354.9m	
	廃止路線	52m	
	交差台帳補正	3箇所	
			4,937,037

8 法定外公共物管理システム補正業務等の委託状況

事業名	事業内容	委託先	事業費(円)
法定外公共物管理システム補正	道路台帳平面図・路線網図、地番図のデータセットアップ	HARVEY(株) 長野支店	1,287,000

8-2-2 (目) 道路維持費

単位：円

当初予算額	192,948,000	予算現額	199,368,000	決算額	169,408,350	前年度決算対比	59.8%	前年度決算額	283,375,821
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	-------	--------	-------------

■ 道路管理事業

単位：円

当初予算額	15,503,000	予算現額	15,504,000	決算額	13,420,563	前年度決算対比	95.5%	前年度決算額	14,058,113
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

道路施設等を適切に維持管理することにより、安心安全な道路環境の保全を図る。

II 事業の成果等

道路路側帯等の除草、街路樹の剪定等を行い、通行の安全、環境整備に努めた。

III 事業の実績

1 道路維持工事等の実施状況

(1) 街路樹補植工事

事業名	事業か所	事業内容	事業費(円)
市内街路樹補植工事等	市内一円	街路樹の補植等	0

(2) 道路側溝浚渫工事

事業名	事業か所	事業内容	事業費(円)
市内道路側溝浚渫工事等	市内一円	道路側溝浚渫	456,840

(3) 道路後退舗装工事

事業名	事業か所	事業内容	事業費(円)
市内道路後退舗装工事	市内一円	道路後退舗装工事	990,000

2 道路路側帯の除草等の管理委託状況

(1) 道路路側帯の草刈等委託状況

事業名	事業か所	事業内容	実施時期	委託先	事業費 (円)
街路樹等剪定業務委託	市道夏端北団地1号線外	剪定、伐採等	7月	(有)日新グリーン	270,000
	鎌田山トンネル 蜂の巣駆除		9月	ライフサポート	15,000
	市道須坂駅南原線外		9月	(有)日新グリーン	75,600
	市道高梨小島線外		9月	同 上	64,800
	市道須坂温泉線外		9月	同 上	86,400
	市道宮原滝ノ入線外		9月	同 上	324,000
	市道園芸高校井上線外		9月	同 上	86,400
	市道桜木町線外		9月	同 上	43,200
	市道高梨小島線外		2月	同 上	484,000
	市道緑町坂田線外		2月	同 上	352,000
	市道高甫橋小山小学校線外		2月	同 上	264,000
	市道馬場町沼目線外		2月	同 上	198,000
	市道井上松宮中島線外		2月	同 上	88,000
	市道洞入線外		2月	同 上	77,000
	市道屋部八幡境線外		2月	同 上	220,000
	望岳台市道しだれ桜		2月	同 上	143,000
計					2,791,400

(2) 街路樹管理等 (公社)須高広域シルバー人材センターへの委託状況

事業名	事業か所	事業内容	実施時期	事業費 (円)
市道沿い除草等業務委託	須坂駅跨線橋、幸高福島線周辺、和合橋下河原線、井上松宮中島線、須坂駅旭ヶ丘線、和合橋野下原線、相之島堤防沿線、高甫橋県民運動場線、村山塩川線 延べ31か所	市道沿い草刈り、草取り、清掃、剪定等	4月	1,836
			5月	116,716
			6月	399,241
			7月	425,715
			8月	3,213
			9月	96,442
			10月	443,492
			11月	200,879
			12月	2,754
			1月	4,428
			2月	12,366
			計	

■ 除雪事業

単位：円

当初予算額	58,210,000	予算現額	64,629,000	決算額	37,831,280	前年度決算対比	25.2%	前年度決算額	150,286,623
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	-------------

I 事業の目的

冬季の適切な維持管理により、安全で円滑な道路交通を確保する。

II 事業の成果等

除雪及び凍結防止剤散布を行い、冬期間の安全な交通確保を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 除融雪作業

(1) 除雪業務の状況

地 区		12月	1月	2月	3月	計	委託料 (円)	
		日数	日数	日数	日数	日数		
直営	市街地				1	1	直営	
	東地区							
委託	[交付金] 東地区		1	2	4	7	2,152,753	
	市街地							
	[市単独] 東地区		1	1	3	5		5,911,245
	市街地							
峰の原高原 地 区	4	7	8	8	27	5,036,932		
排 雪			1		1	243,437		
合 計		4	9	12	16	41	13,344,367	

※ [交付金] は社会資本整備総合交付金事業

除雪業務委託先

(株)北條組須坂支店・(有)筑波道路・マツナガ建設(株)・(株)ハヤシコーポレーション・(株)浦野商会・市川建設(株)・相原建設(株)・(有)河東工業・(有)東工務店・(有)アースコン・藤沢電気工業(株) (11社)

排雪業務委託先

(株)北條組須坂支店・(有)筑波道路・マツナガ建設(株)・(株)ハヤシコーポレーション・(株)浦野商会・相原建設(株)・(有)河東工業・(有)東工務店・藤沢電気工業(株)・(有)アースコン・市川建設(株)・(株)旭建設・旭日管機(株)・(有)田中興業・須高建設(株)・水越建設(株)・(株)中沢工務店・宮澤建工・(株)信東産業・(有)明峰・(株)巴工業・(株)井中工業・岡田産業(株)・(株)青葉組・(株)環境クリエーション・陣工建・幸興業・(有)ACEN・(株)MIYABI・西田管業(株)・(有)羽生田建業・(株)タマキ・(株)樋口建設・須坂土建工業(株)・村山建設(株)・(有)二幸商事 (36社)

(2) 凍結防止剤散布

地 区		散布日数	散布延長 (km)	散布量 (kg)	委託料 (円)
峰の原高原地区	委託	73	1,546	46,000	除雪委託に含む
市街地		9	622	9,000	167,168
東地区(峰の原高原地区を除く)		13	720	13,000	791,527
市内	直営	9	234	4,500	直営
計		104	3,122	16,425	市民へ配布

※峰の原高原地区は除雪・凍結防止剤散布を合わせて(一財)仁礼会へ委託

※市街地は、(公社)須高広域シルバー人材センター委託

※東地区は、須坂市建設業協会へ委託

2 備品の購入状況

(1) 除雪機械等の購入

機 種	規格・仕様	数量	金額 (円)	備考
中型除雪機	除雪幅 90 cm	2台	1,145,100	仁礼町、穀町へ譲与
小型除雪機	除雪幅 70 cm	3台	1,039,500	亀倉町、中島町、北横町へ譲与

3 機器賃借

業務内容	委託先	配置場所	事業内容	事業費 (円)
除雪機械 除雪ドーザ 8t級 除雪グレーダー 3.1m級	株前田製作所	(有)筑波道路 相原建設(株)	2台	3,313,888

■ 道路維持補修事業

単位：円

当初 予算額	119,235,000	予算 現額	119,235,000	決算額	118,156,507	前年度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	119,031,085
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

道路施設等を適切に維持管理することで、安心安全な道路環境の保全を図る。

II 事業の成果等

道路、側溝等の維持修繕や道路パトロールによる道路補修を行い、安心安全な住環境整備を図った。

III 事業の実績

1 道路維持・修繕工事等の実施状況

事業名	件 数	事業場所	事業内 容	事業費 (円)
道路修繕工事	小規模工事等 21件	市内一円	路肩・擁壁・土留め修繕等	15,326,700
側溝修繕工事	小規模工事等 25件	市内一円	蓋・側溝・集水桝修繕等	10,136,900
水路修繕工事	小規模工事等 25件	市内一円	水路修繕等	18,014,840
舗装修繕工事	小規模工事等 43件	市内一円	オーバーレイ工、舗装打換工等	71,395,740
計	93件			114,874,180

2 道路舗装・補修の状況

原材料費 2,050,727円

(内訳) 直営等による実施 1,955,489円

手づくり普請による支給実施 95,238円

3 道路パトロールに基づく対応状況

区 分	件数	割合 (%)
側溝・水路補修等	104	15.5
路面・路肩補修等	478	71.5
土砂・ごみ処理等	69	10.3
その他(倒木撤去等)	18	2.7
計	669	100.0

4 路面清掃（直営）

スイーパー（路面清掃車両）による路面清掃 稼働日数 10 日 延長 444 km

5 維持管理に伴う測量調査業務委託状況〔市単独事業〕

業務内容	委託先	事業か所	事業内容	事業費（円）
市道高畑虫送線土質調査業務委託	マツナガ建設(株)	相森町	調査 一式	496,800

8-2-3 (目) 道路新設改良費

単位：円

当初 予算額	276,826,000	予算 現額	392,030,000	決算額	256,677,432	前年度 決算対比	220.6%	前年度 決算額	116,343,196
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 道路改良事業

単位：円

当初 予算額	267,780,000	予算 現額	382,984,000	決算額	247,632,167	前年度 決算対比	214.8%	前年度 決算額	115,282,801
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

道路は地域経済を支え、市民生活を維持するために欠くことのできない施設であるため、幹線道路から生活道路まで計画的・機能的に整備を図る。

II 事業の成果等

事業推進にあたり建設コストの縮減や、円滑な事業執行による遅延コストの縮減に努め、各町からの要望事項や整備か所について限られた事業費の中で計画的に実施した。

III 事業の実績

1 市道の新設改良・側溝改良工事等の実施状況

(1) 道路新設改良

事業名	事業か所	事業内容	事業費（円）
橋梁長寿命化修繕事業	高梨町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 百々川新橋修繕工事 L=52.51m 17,677,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 11,747,000 円	5,930,000
	高梨町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 百々川新橋舗装修繕工事 L=52.51m 13,651,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 8,191,000 円	5,460,000
	市内一円	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 道路施設定期点検（一括発注）業務委託 5,148,000 円 委託先（公財）長野建設技術センター (うち、R2 年度への繰越明許) 5,148,000 円	0
	市内一円	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 相森橋外 6 橋補修設計業務委託 10,162,800 円 委託先 長野技研コンサルタント(株)	10,162,800
	市内一円	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 観音橋外 2 橋補修設計業務委託 5,464,800 円 委託先 (有)光コンサルタント	5,464,800

事業名	事業か所	事業内容	事業費 (円)
橋梁長寿命化修繕事業	市内一円	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 百々川新橋補修設計業務委託 7,938,000 円 委託先 (有)光コンサルタント	7,938,000
高甫南原線	野辺町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 L=120.0m 11,935,000 円	11,935,000
高畑虫送線	相森町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 L=85.0m 7,546,000 円	7,546,000
米持東中学校線	夏端町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 H30 繰越工事 L=136.50m 16,156,400 円 道路改良工事 L=284.01m 62,656,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 40,736,000 円	16,156,400 62,656,000 21,920,000
福島東畑他線 (新アクセス 道路)	福島町 幸高町 中島町	〔市単独事業〕 委 託 4 件 IC 周辺新アクセス道路(その1) 測量業務委託 委託先 (株)地域総合計画 12,397,000 円 IC 周辺新アクセス道路(その2) 測量業務委託 委託先 (株)テクノマップ長野 6,468,000 円 IC 周辺新アクセス道路(その1) 道路詳細設計業務委託 委託先 (株)地域総合計画 15,862,000 円 IC 周辺新アクセス道路(その2) 道路詳細設計業務委託 委託先 (株)テクノマップ長野 13,750,000 円	48,477,000
井上小学校福島 線	幸高町 福島町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 2 件 (その1) 測量設計業務委託 委託先 (株)A.B. d o 須坂営業所 29,315,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 20,315,000 円 (その2) 測量設計業務委託 委託先 (有)須高測量 35,332,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 26,332,000 円	9,000,000 9,000,000
井上駅跨線橋線	幸高町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 3 件 測量・道路詳細設計業務委託 10,910,000 円 委託先 (株)地域総合計画 用地測量業務委託 487,300 円 委託先 (株)地域総合計画 C B R 調査業務委託 489,500 円 委託先 (株)地域総合計画	11,886,800
		〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 1 件 道路改良工事 L=150.0m 3,025,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 1,978,000 円	1,047,000
井上跨線橋電鉄 沿線	幸高町 井上町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 委 託 2 件 測量・道路詳細設計業務委託 10,630,400 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 8,130,400 円 委託先 (株)フジテック C B R 調査業務委託 499,400 円 委託先 (株)フジテック	2,500,000 499,400

事業名	事業か所	事業内容	事業費 (円)
井上跨線橋電鉄沿線	幸高町 井上町	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 1 件 道路改良工事 L=260.0m 18,876,000 円 (うち、R2 年度への繰越明許) 11,968,000 円	6,908,000
八町線	上町・穀町	〔市単独事業〕 委 託 道路修景計画策定業務委託 委託先 (株)KRC	391,600
雀崎横馬場線外	亀倉町	〔市単独事業〕 工 事 雀崎横馬場線道路改良工事外 4 路線	5,400,000
相之島沼目線	沼目町	〔市単独事業〕 用 地 用 地 1 件	23,667
須坂駅南原線	小河原町	〔国土強靱化〕 (H30 年度繰越明許費) 側溝改良工事 L=95.7m 10,000,800 円	10,000,800
御蔵町穀町線	上町	〔国土強靱化〕 (H30 年度繰越明許費) 測量設計業務委託 448,200 円 委託先 (有)須高測量 側溝改良工事 L=242.5m 39,556,000 円	448,200 39,556,000

■ 屋代線跡地活用事業

単位：円

当 初 予算額	500,000	予算 現額	500,000	決算額	499,765	前 年 度 決算対比	102.0%	前年度 決算額	490,155
------------	---------	----------	---------	-----	---------	---------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

長野電鉄旧屋代線跡地活用基本構想に基づき、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。

II 事業の成果等

定期的な草刈により、適正な維持管理ができた。

III 事業の実績

維持管理のため旧屋代線跡地の除草等業務委託 (公社)須高広域シルバー人材センター 499,765 円

■ 県事業負担金

単位：円

当 初 予算額	8,546,000	予算 現額	8,546,000	決算額	8,545,500	前 年 度 決算対比	1,498.6%	前年度 決算額	570,240
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	----------	------------	---------

I 事業の実績

事業名	路線名	事業内容	事業費 (円)
県単道路改築事業	(国)406号(仁礼町)	道路改築	工事費 56,970,000 負担工事費 8,545,500 ※工事費×15%

8-2-4 (目)交通安全施設費

単位：円

当初 予算額	10,123,000	予算 現額	11,723,000	決算額	11,667,005	前年度 決算対比	119.4%	前年度 決算額	9,774,702
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

■ 交通安全施設整備事業

単位：円

当初 予算額	10,123,000	予算 現額	11,723,000	決算額	11,667,005	前年度 決算対比	119.4%	前年度 決算額	9,774,702
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市道に付帯する交通安全施設を整備することにより、安全で円滑な交通の確保を図る。

II 事業の成果等

道路反射鏡、防護柵、視線誘導標、区画線等の交通安全施設の設置整備を行い、道路を通行する人や車両の安全向上を図った。

III 事業の実績

1 交通安全施設の整備状況

区 分	種 別	新設工事		修繕工事	
		数量	事業費 (円)	数量	事業費 (円)
道路反射鏡	カーブミラー	21 基	2,727,427	3 基	282,538
防護柵	ガードレール等			8 m	131,968
	ガードパイプ等			4 か所	222,735
視線誘導標	ポストコーン等	13 か所	564,008	12 か所	667,065
	標識等	6 か所	525,577	5 か所	726,869
区画線	中央線、外側線、 ドットライン			8,869m	2,128,748
その他	路面標示(停止線等)	7 か所	2,062,708	82 か所	662,785
	カラー舗装等			351m	627,754
	標示撤去等			3 か所	148,838
計			5,879,720		5,599,300

8-3-1 (目)河川総務費

単位：円

当初 予算額	28,667,000	予算 現額	24,144,000	決算額	23,827,466	前年度 決算対比	103.9%	前年度 決算額	22,937,055
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 河川管理事業

単位：円

当初 予算額	13,597,000	予算 現額	9,011,000	決算額	8,825,653	前年度 決算対比	102.3%	前年度 決算額	8,628,563
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

河川堤防等の強化改修を期するため、関係機関への陳情の実施により流域の災害を未然に防ぎ、住民の生命財産を洪水等の被害から守り民生の安定を図ると共に河川愛護のための事業推進を図る。

II 事業の成果等

- 1 千曲川堤防対策期成同盟会及び千曲川改修期成同盟会の一員として、千曲川改修事業及び市内河川の内水対策促進のため、関係市町村と共に、国土交通省、地元選出国會議員、県議會議員、建設事務所長へ要望を行い、整備促進が図られた。
- 2 豊丘ダム周辺の公園の清掃草刈等の業務委託を行い環境美化が図られた。
- 3 水路修繕と、住民による清掃が困難な暗渠等の浚渫を行い環境改善が図られた。

III 事業の実績

1 国、県への陳情活動

月 日	内 容	陳情等先
6月6日	千曲川本堤防及び低水護岸の早期強化改修促進について [千曲川堤防対策期成同盟会] 会員42名、来賓13名	千曲川河川事務所長、 (長野及び中野出張所長含む) 地元選出国會議員、県議會議員、 須坂建設事務所長
7月25日	千曲川改修整備の促進について [千曲川改修期成同盟会] 2名	北陸地方整備局、地元選出国 會議員
7月26日	参加中央要望活動 [千曲川改修期成同盟会] 2名	国土交通省、財務省、地元選 出国會議員

2 豊丘ダム周辺の公園の環境美化業務

事業名	事業内容	委託先	事業費(円)
豊丘ダム周辺環境整備委託	豊丘ダム周辺の公園 の清掃・草刈等	豊丘地域づくり 推進委員会	760,000

3 水路浚渫工事の実施状況

事業名	事業か所	事業内容	事業費(円)
本郷町内水路浚渫工事外4件	本郷町外	水路等浚渫4か所	1,856,520

4 河畔林整備工事の実施状況

事業名	事業か所	事業内容	事業費(円)
県単河畔林整備事業 準用河川山崎川河畔林整備工事	穀町	河畔林整備工 L=250m	5,269,000

■ 県事業負担金

単位：円

当初 予算額	750,000	予算 現額	950,000	決算額	862,730	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の実績

事業名	工事個所	事業内容	事業費(円)
急傾斜地崩壊対策 事業	大谷町(古城沢)	急傾斜地崩落防止	工事費 17,254,600 負担工事費 862,730 ※工事費×5%

8-4-1 (目) 都市計画総務費

単位：円

当初 予算額	1,143,695,000	予算 現額	1,135,591,480	決算額	1,134,490,226	前年度 決算対比	104.4%	前年度 決算額	1,086,628,447
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	8,287,000	予算 現額	7,980,000	決算額	7,007,437	前年度 決算対比	119.5%	前年度 決算額	5,865,878
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

- 1 須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた「みんなが快適に生活できるまちづくり」を推進する。
- 2 市建築工事における設計・監督業務を実施する。

II 事業の成果等

- 1 農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保のため、都市計画事務の適切な執行を行った。
- 2 庁内他課等が所管する建築工事の設計・監督業務を行った。

III 事業の実績

1 都市計画審議会の開催

(1) 第66回同審議会

- ア 開催日時 5月31日
- イ 開催場所 消防本部3階大会議室
- ウ 議案 (ア) 須坂市都市計画マスタープラン改定案について
- エ 説明案件 (ア) 須坂長野東IC周辺開発の進捗状況及び地区計画について
(イ) 伝統的建造物群保存地区について

2 都市計画施設の区域内における建築許可（都市計画法第53条第1項）

都市計画施設名	許可件数
3・4・8号 臥竜線	1
3・5・5号 菅平線	
3・4・4号 山田線	1
3・5・7号 屋部線	1
合計	3

3 建築確認申請に伴う道路証明件数

区分	住宅		その他	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
新築	2	246.35	3	951.99
増築	2	698.25	1	15,820.19
(うち増築 部面積)	-	(109.69)	-	(335.51)
改築	0	0.00	1	689.02
用途変更	0	0.00	0	0.00
合計	4	944.60	5	17,461.20

4 東地区における届出件数

- (1) 確認申請件数 2件
- (2) 建築工事届出件数 17件

5 宅地開発計画協議件数 16件

6 開発行為の許可等の件数

- (1) 都市計画法第29条 21件 (うち34-11適用は、10件)
- (2) " 第43条 7件 (うち34-11適用は、5件)
- (3) " 施行規則第60条 40件
- (4) " 第42条 2件

7 市建築工事の設計・監督業務の状況

区分	設計(件)	監督(件)
総務課	3	1
財政課	6	0
福祉課	3	1
高齢者福祉課	3	0
市民課	3	0
健康づくり課	1	0
生涯学習スポーツ課	16	7
中央公民館	3	2
農林課	3	0
商業観光課	26	12
道路河川課	1	1
まちづくり課	1	0
学校教育課	11	11
子ども課	2	0
消防本部	2	1
臥竜公園管理事務所	1	0
合計	85	36

■ 調査・計画策定事業

単位：円

当初 予算額	53,744,000	予算 現額	57,070,480	決算額	56,990,640	前年度 決算対比	19,005.8%	前年度 決算額	299,859
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-----------	------------	---------

I 事業の目的

須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた「みんなが快適に生活できるまちづくり」を推進するため、調査、計画策定を行う。

II 事業の成果等

- 1 須坂市の都市計画の基本的な方針を示すため、都市計画法第18条の2の規定に基づき「須坂市都市計画マスタープラン」の全面改定を行った。
- 2 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の土地利用の変更に向けて、都市計画法第19条第1項の規定に基づき「須坂都市計画地区計画 井上・福島地区地区計画」の策定に向け長野県との協議を進め、計画案を作成した。

- 3 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進するため、「須坂長野東インターチェンジ周辺地区交通処理計画」を策定した。
- 4 都市計画の計画決定や公共公益施設などの新設等に伴い、概ね5年ごと更新している都市計画基本図の修正を行った。
- 5 都市の骨格を形成し、良好な市街地形成を誘導するとともに様々な都市活動を支えている都市計画道路について、時代に即した道路網とするため、都市計画変更に向けた図書の作成、関係機関との協議を行った。
- 6 県が行っている第7回目の区域区分（線引き）の定期見直しに伴い、都市計画法第15条の2第2項の規定に基づき、県に対し関係資料の提出等により協力を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 須坂市都市計画マスタープランの策定

須坂市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき2000年度に策定（2011年度に一部改定）された。社会・経済情勢が大きく変化中、2020年に目標年次を迎えることや、須坂長野東インターチェンジ周辺地区において土地利用の変更が求められていることなどから、時代の変化に対応した、新たな将来都市像を描き、その実現のためのまちづくりの基本的な方針を示すため、2040年を目標年次とする計画の全面改訂を行った。

2017年度から2018年度にかけて検討を進め作成した改定案について、須坂市都市計画審議会に諮り、8月5日付けで新たな須坂市都市計画マスタープランを策定した。

(1) 委託関係

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
平成29年度 須坂市都市計画マスタープラン・土地利用調整計画作成業務委託	国際航業（株） 長野営業所	都市計画マスタープラン・土地利用調整計画作成	24,840,000 （うち、債務負担契約による30年度支払額9,861,480円を、全額31年度へ繰越明許）

(2) 須坂市都市計画審議会幹事会 5月17日

(3) 須坂市都市計画審議会 5月31日

2 「須坂都市計画地区計画 井上・福島地区地区計画」の策定に向けた取組み

須坂長野東インターチェンジ周辺地区の土地利用の変更に向けた取組みとして、開発許可を得るため、都市計画法第19条第1項の規定に基づき「須坂都市計画 地区計画 井上・福島地区地区計画」の策定に向けて長野県との協議を進め計画案を作成した。

(1) 地元説明会 11月7日、8日

(2) 長野県知事事前協議 12月25日

(3) 長野県知事事前協議回答 2月21日

(4) 公聴会開催告示 2月25日（公述申出が無かった為、未開催）

(5) 素案の閲覧（縦覧） 2月25日～3月11日（2週間）

(6) 長野県知事協議 3月24日

(7) 計画案の公告 3月26日

(8) 計画案の縦覧 3月26日～4月10日（2週間）（回答は次年度）

3 「須坂長野東インターチェンジ周辺地区交通処理計画及び道路概略設計」の作成

開発に伴う交通量の増大が周辺交通に及ぼす影響を踏まえた道路整備を進めるため、交通処理計画及び道路概略設計を行った。

(1) 委託関係

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
2019 年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援調査費補助金事業 須坂長野東 IC 周辺地区交通処理計画等検討業務委託	(株)オリエンタル コンサルタンツ 長野事務所	交通量調査並びに交通処理検討及び道路概略設計	9,933,000
須坂長野東 IC 周辺道路整備検討業務委託	(株)オリエンタル コンサルタンツ 長野事務所	交通解析業務	2,024,000

4 都市計画基本図等の修正

都市計画の計画決定や公共公益施設などの新設等に伴い、概ね5年ごと更新している都市計画基本図の修正を行った。

(1) 委託関係

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
須坂市都市計画基本図等修正業務委託	(株)パスコ 長野支店	都市計画基本図修正業務	33,055,000
須坂市地理情報システムデータ更新業務委託	HARVEY(株) 長野支店	地図データ GIS 搭載業務	990,000

5 須坂市都市計画道路網見直し

都市の骨格を形成し、良好な市街地形成を誘導するとともに様々な都市活動を支えている都市計画道路について、時代に即した道路網とするため、都市計画変更に向けた図書の作成、関係機関との協議を行った。

(1) 委託関係

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
須坂市将来交通量推計業務委託	(株)地域総合計画	将来交通量推計業務	495,000
須坂市都市計画道路見直し検討業務委託	(株)地域総合計画	見直し検討業務	495,000

6 第7回区域区分（線引き）の定期見直しに伴う長野県への資料提供

2017 年度から県が行っている第7回目の区域区分（線引き）の定期見直しに伴い、都市計画法第15条の2第2項の規定に基づき、県に対し関係資料の提出等により協力を行った。当該年度は、県が「須坂都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の改定作業に着手したことから、都市計画基礎調査の結果及び須坂市都市計画マスタープランなどを踏まえ、県への資料提供を行った。

■ 蔵の町並みキャンパス運営助成事業

単位：円

当初 予算額	900,000	予算 現額	900,000	決算額	900,000	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	900,000
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物を活用し、須坂市域を大学等のキャンパスとして学生が研究・交流する中で、21世紀を担う知の創出と情報発信を行う。また、文化・産業遺産として次世代へ継承するとともに、新たな研究・教育機能を持った都市づくりを産・学・官・民の協働により行う。

II 事業の成果等

14年目を迎えた蔵の町並みキャンパスは、信州大学工学部・教育学部、長野県立大学・長野県短期大学、清泉女学院大学、長野工業高等専門学校、文化学園大学、東京工科大学、名古屋大学の教員及び学生の参加により、それぞれの特色をいかした取組が行われた。

大学生等の来訪は、延約1,000人と前年と比べ減少したが、賑わい創出の一助となった。

III 事業の実績

1 蔵の町並みキャンパス推進協議会

- (1) 第1回推進協議会 5月20日
- (2) 第2回推進協議会 1月10日

2 蔵の町並みキャンパス作品展

- (1) 日 程 5月8日～5月30日
- (2) 場 所 旧上高井郡役所
- (3) 内 容
 - ア 信州大学工学部3年生 「街区の再生」「民家の再生」「民家と工芸」作品展示
 - イ 信州大学大学院1年生 「地域にかかわるデザイン」
 - ウ 長野工業高等専門学校4年生
「須坂の蔵の町並み景観に配慮した木造住宅の設計」作品展示
 - エ 長野県短期大学多文化コミュニケーション学科日本語日本文化専攻2年生
「ポストカード作品」作品展示

3 信州大学工学部建築学科

(1) 建築設計製図第4

- ア 日 程 9月26日、10月3日・10日、11月14日・21日・28日、12月5日、1月23日
- イ 場 所 旧上高井郡役所及び現地
- ウ テ ー マ 「街区の再生」「民家の再生」「工芸デザイン製図Ⅱ」
「街区の再生」上町周辺の歴史的市街区を題材とする
「民家の再生」旧越家住宅を題材とする
「民家と工芸」旧越家住宅を題材とする
- エ 参 加 者 学生67人 教員5人 アシスタント3人 須坂景観づくりの会2人 計77人

(2) 建築心理学演習

- ア 日 程 6月4日、7月2日、11月19日、12月17日
- イ 場 所 河東線記念公園
- ウ 内 容 地域にかかわるデザイン（公園の利活用に役立つファニチャのデザインと配置計画）
（河東線記念公園に設置するファニチャの制作設計）
- エ 参 加 者 学生3人 教員1人 計4人

4 信州大学教育学部

(1) 山岸研究室

- ア 日 程 12月14日
イ 内 容 須坂市における外国人の居住実態と住環境整備のあり方に関する研究
ゲストハウス蔵におけるインタビュー調査
ウ 参加者 学生2人 教員1人 計3人

5 長野県立大学

(1) 健康発達学部

- ア 日 程 8月5日
イ 内 容 須坂の食材を使った伝統食と健康食 体験学習 (おやきづくり)
施設見学 (塩屋醸造、旧小田切家住宅、蔵の町並み散策)
ウ 参加者 学生23人 教員2人 計25人

6 清泉女学院大学

(1) 「ゆるキャラグランプリ 2019」への参加

- ア 日 程 11月2日
イ 内 容 長野市のエムウエーブで行われた「ゆるキャラグランプリ 2019」の須坂市ブースにおいてかんなちゃんのPRとバルーンアートによる子供向け企画の開催
ウ 参加者 学生6人 教員1人 計7人

(2) わくわく！！はにわクラフト～粘土で作るオリジナルはにわ

- ア 日 程 12月8日
イ 場 所 中央公民館
ウ 内 容 八丁鎧塚古墳から出土したはにわをテーマに、粘土を使ったはにわを制作するワークショップを開催
エ 参加者 学生5人 教員2人 計7人

(3) 須坂市まち歩きフィールドワーク

- ア 日 程 12月8日
イ 場 所 須坂クラシック美術館、ふれあい館まゆぐら、笠鉦会館、旧小田切家住宅、旧越家住宅
ウ 内 容 地域の文化資源を学ぶことを目的としたフィールドワーク
エ 参加者 学生11人 教員1人 計12人

7 長野工業高等専門学校

(1) 建築設計製図(4年生)

- ア 日 程 4月22日
イ 場 所 旧小田切家住宅、須坂クラシック美術館
ウ 内 容 建築設計製図Ⅰ 須坂の蔵の町並み景観に配慮した木造住宅の設計
エ 参加者 学生38人 教員1人 計39人

8 文化学園大学・東京工科大学「古民家再生プロジェクト」

(1) 夏季合宿

- ア 日 程 8月8日～12日
イ 内 容
(ア) 古民家の再生(2階への階段設置・Cafe用の家具の制作)

(イ) ワークショップの開催

- a 開催日時 8月11日
- b 開催場所 仁礼町古民家
- c 開催内容 手製本ポケット付きノート制作と古民家Cafe
- d 参加者 地元住民17人

ウ 参加者 学生12人 卒業生5人 教員10人 研究協力者1人 計28人

9 名古屋大学

- (1) 日程 8月12日及び毎月第4日曜日
- (2) 内容 「ICTの利活用による蔵の町の魅力発信と地域情報化」須坂JAPAN健康応援教室、銀座通りお花市出展
- (3) 参加者 学生2名、教員2名、計4名

10 旧越家住宅ふれあい講座（共催事業）

- (1) 日程 7月23日
- (2) 内容 本事業で調査を行った、旧越家住宅の調査の成果など解説を交えてお話しいただいた。
講師 信州大学工学部建築学科 准教授 梅干野 成央 氏
- (3) 参加者 地元住民40名、学生4名 計44人

11 蔵の町並みキャンパス成果発表会

- (1) 日時 2月8日 午後1時から4時30分
- (2) 場所 中央公民館3階ホール
- (3) 発表内容

ア 清泉女学院大学

- (ア) かなちゃん和ゆるキャラグランプリ
- (イ) 地域・歴史・文化体験型ものづくりワークショップの試み「わくわく！！はにわクラフト—粘土でつくるオリジナルはにわ」を事例として
- (ウ) 「まちづくりを文化の視点で考える」

イ 長野県立大学健康発達学部食健康学科

- (ア) 「伝統のおやきづくりと蔵の町並みや蔵を活かした建物の見学から学んだこと」

ウ 信州大学教育学部

- (ア) 「須坂市における外国人の居住実態と住環境整備のあり方に関する研究」

エ 信州大学工学部建築学科

- (ア) 「街区の再生」
- (イ) 「民家の再生」
- (ウ) 「民家と工芸」
- (エ) 「地域にかかわるデザイン：河東線記念公園」

オ 文化学園大学・東京工科大学

- (ア) 「須坂市古民家再生プロジェクト『2019年度活動報告』」

- (4) 交流会 旧上高井郡役所2階多目的ホール1において立食形式で開催し、交流を図った。
- (5) 参加者数 約150人

12 主な成果物

- (1) 信州大学工学部 建築学科
 - ア 椅子3組、パーゴラー式（河東線記念公園で活用）

■ 公共下水道事業

単位：円

当初 予算額	986,500,000	予算 現額	986,500,000	決算額	986,500,000	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	986,500,000
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

下水道事業会計における処理施設の維持管理経費の不足分を負担することにより、同会計の健全性を確保し、処理施設の適切な維持管理に資する。

II 事業の成果等

下水道事業会計の健全な運営のため、補助金を支出した。

III 事業の実績

下水道事業会計補助金 986,500,000 円

■ 都市下水路維持管理事業

単位：円

当初 予算額	1,002,000	予算 現額	1,002,000	決算額	991,110	前年度 決算対比	99.6%	前年度 決算額	994,710
-----------	-----------	----------	-----------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

管路施設の適正な維持管理を行う。

II 事業の成果等

管路施設の点検、適正な維持管理を実施した。

III 事業の実績

事業名	事業か所	事業内容	事業費(円)
中央都市下水路浚渫工事	馬場町	都市下水路浚渫工 一式	990,000

8-4-2(目)街路事業費

単位：円

当初 予算額	96,030,000	予算 現額	135,338,000	決算額	72,633,971	前年度 決算対比	41.7%	前年度 決算額	174,121,867
-----------	------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 街路整備事業

単位：円

当初 予算額	96,030,000	予算 現額	135,338,000	決算額	72,633,971	前年度 決算対比	138.9%	前年度 決算額	52,292,867
-----------	------------	----------	-------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

幹線道路の役割を果たす街路を整備することにより、中心市街地の活性化、円滑な交通網の形成と安全な交通の確保及び都市防災機能の向上を図る。

II 事業の成果等

八町線(泉小路)について、道路事業用地の買収や道路改良工事を実施し、事業の推進を図った。

III 事業の実績

事業名	事業費及び事業内容	事業費(円)
八町線	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 (H30年度繰越明許費) 工 事 H30 繰越工事 その1 L=193.0m W=16.0m 30,306,000円 その2 L=60.9m W=16.0m 5,995,600円	36,301,600
	〔社会資本整備総合交付金事業(防災・安全交付金)〕 工 事 2019年度道路改良 L=127.1m W=16.0m 95,986,000円 (うち、R2年度への繰越明許) 62,686,000円 補 償 1件 3,022,371円	33,300,000 3,022,371
合 計		72,623,971

8-4-3(目)公園事業費

単位：円

当初 予算額	14,129,000	予算 現額	14,192,000	決算額	13,356,544	前年度 決算対比	90.8%	前年度 決算額	14,717,877
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 公園管理事業

単位：円

当初 予算額	6,106,000	予算 現額	5,831,000	決算額	5,377,415	前年度 決算対比	106.8%	前年度 決算額	5,034,661
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

安心で安全な公共施設として、市民に親しまれる憩いの場となる公園づくりを推進する。

II 事業の成果等

- 1 遊具の管理は、専門技術者による年1回の定期点検や職員による毎月の日常点検を行い、点検結果に基づく修繕等により安全管理を図った。
- 2 公園の施設管理は、施設修繕のほか、樹木枯枝の整枝剪定や草刈り及び清掃等により、誰もが安心して気持ちよく利用できる公園となるよう努めた。

III 事業の実績

1 都市公園等の管理

(1) 修繕関係

件名	内容	修繕費(円)
南小河原公園水栓修繕	不凍栓ハンドル及び手洗い水栓交換	8,802
旭ヶ丘公園4連ブランコ吊り具修繕	ブランコ吊り具4基修繕	188,136
長者公園2連ブランコ吊り具修繕	ブランコ吊り具及び吊りフック2基修繕	141,048
八木沢公園手洗い・立水栓修繕	手洗い水栓交換、立水栓閉栓	17,280
光ヶ丘北公園水飲み・立水栓修繕	立水栓交換	20,196
屋部団地恐竜公園(幼児公園B)遊具修繕	複合遊具滑り面ローラー交換	13,392
森田公園公衆トイレ手洗い及び小便器漏水修繕	手洗い詰まり配管修繕、小便器漏水修繕	20,844
旧東村倉庫シャッター扉倒壊防止修繕	シャッター扉鉄骨溶接修繕	36,300
森田公園公衆トイレ小便器フラッシュ修繕	小便器フラッシュバルブ交換	21,450

件名	内容	修繕費 (円)
屋部団地恐竜公園 (幼児公園B) 遊具修繕	複合遊具落下防止用ネット修繕	12,826
八幡公園公衆トイレ男女入口サッシ戸取付修繕	既設入口枠撤去及びサッシ戸取付	273,900
臥竜山法面修繕	法面修繕	203,500
旭ヶ丘公園公衆トイレ漏水修繕	大便器タンク水栓交換及び保温修繕、小便器フラッシュバルブ交換、外配管及び保温修繕	48,180
合 計		1,005,854

(2) 委託関係

事業名	委託先	事業内容	委託料 (円)
トラックターミナル公園樹木伐採	協同組建匠須高	支障木剪定	85,320
八木沢公園樹木伐採	協同組建匠須高	支障木剪定	137,160
豊島団地公園樹木伐採	協同組建匠須高	支障木剪定	246,240
田の神町ほたる公園欖伐採	協同組建匠須高	支障木剪定	58,300
八木沢公園欖伐採	協同組建匠須高	支障木剪定	93,500
中央公園欖及び桜枝おろし	協同組建匠須高	支障木剪定	149,600
中央公園樹木伐採	協同組建匠須高	支障木剪定	41,250
須坂看護専門学校北側 (臥竜公園多目的広場) 樹木伐採	(株)長原電設	支障木伐採	184,800
旭ヶ丘児童公園樹木剪定	(株)長原電設	支障木剪定	137,500
臥竜公園多目的広場廃棄物処理業務	(株)ミノル産業	廃棄物撤去及び処分	42,075
公園砂場清掃業務	(株)東洋安全防災	砂場清掃 14 公園 (中央、森田、長者、田の神、北山道、蒔田、宮原、塩川上部、旭ヶ丘、光ヶ丘ニュータウン団地、日滝地蔵原団地、サンライズ須坂団地、屋部団地幼児公園A・B)	442,800
公園遊具点検業務	日本体育産業(株)	公園遊具点検 34 公園 (街区公園 14、開発行為公園 16、市営住宅公園他 4)	458,700
公園等管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	草刈り、草取り、樹木剪定及び片付け運搬、巡回見回り清掃	824,647
公園清掃業務	(特非)障がい者サポートクラブゆめ	巡回見回り清掃 (森田公園、八幡公園)	192,636
合 計			3,094,528

(3) 遊具の新設・改修工事

事業名	事業内容	事業費 (円)
八幡公園スプリング遊具新設	スプリング遊具設置 1 基	297,000

(4) 遊具の点検記録、遊具履歴書の作成

点検を行った結果について、点検の状況を記録簿に整理して保管した。

また、点検結果により修繕、交換等の安全対策を行った場合には履歴簿に記入して保管した。

(5) 育成会による街区公園の管理

公園名	育成会	管理業務	謝礼額 (円)
中央公園	春木町	草取り、ごみ拾い	1,500
中央公園	馬場町	〃	1,500
八幡公園	八幡町	〃	1,500
森田公園	高橋町	〃	1,500
塩川上部公園	塩川町	〃	1,500
長者公園			
蒔田公園	高梨町	〃	1,500
田の神公園	田の神町	〃	1,500
旭ヶ丘公園	旭ヶ丘町	〃	1,500
合 計			12,000

(6) 土地貸借料

公園名	面積 (㎡)	賃借料 (円)	土地所有者	契約満了日
中央公園	385.96	90,000	芝宮墨坂神社	2020年3月31日
八幡公園	3,541.00	223,000	墨坂神社	2021年3月31日
百々川緑地公園	1,225.00	無償	中沢忠治	2020年6月25日

2 河東線記念公園

長野電鉄旧屋代線跡地の活用と日常的な管理を行うため、近隣企業、地元自治区、市により設立した河東線記念公園運営協議会と管理運営業務契約を締結した。また、同協議会が主催したイベントに協力した。

(1) 管理業務契約

ア 契約相手 河東線記念公園運営協議会 (事務局(株)サンジュニア)

イ 契約期間 2019年4月1日～2020年3月31日

(2) 公園イベント

ア 青空マルシェ 7月20日 午前10時～11時

イ 河東線記念公園祭 10月19日 (令和元年東日本台風により中止)

■ 花と緑のまちづくり事業

単位：円

当初 予算額	8,023,000	予算 現額	8,361,000	決算額	7,979,129	前年度 決算対比	82.4%	前年度 決算額	9,683,216
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市民参加による花を育て愛する感性ある人づくりにより、快適な生活環境と訪れる人にやさしく温かい魅力のあるまちづくりを推進する。

II 事業の成果等

1 市内の花壇やフラワーロードは、80か所を超えており、この花づくりに対する成果により、これまで「みどりの愛護」功労者表彰 (建設大臣及び国土交通大臣表彰) を18団体が受賞している。

また、11月25日には、須坂市花と緑のまちづくり事業が第39回緑の都市賞において「国土交通大臣賞」を受賞し、対外的にも高い評価を得た。

2 オープンガーデンの取組みには、市街地と峰の原高原で42庭園の参加があった。

各庭園を紹介する「信州須坂オープンガーデン」マップを作成し、市内の公共施設や民間企業等へ設置したほか、市外のオープンガーデン取組み団体等へ送付した。また、オープンガーデンマップのウェブ版を作成し、市ホームページで公開するなど情報発信に努めた。その結果、市内外から多くの来場者があり、花や緑がもたらすやすらぎや魅力を伝えることができた。

- 3 国道403号の幸高町信号から須坂長野東インターチェンジまでの道路沿いの花壇に、ボランティア及び井上小学校児童と保護者との協働でカンナやラベンダーを植栽することにより、地域を美化する心と須坂を訪れる方の心を和ませることができた。また、須坂駅前ロータリー花壇についてもボランティアグループとの協働により、四季の花を植栽して駅前の活性化に努めた。

III 事業の実績

1 花壇等の整備

事業内容	場所	備考
花壇の整備	市役所東交差点花壇	パンジー、ジニア等を植栽
	小山町花壇	シバザクラ等を植栽
	須坂駅前ロータリー花壇	須坂ガーデンプラネットのボランティア活動によりダリア、パンジー等を植栽
	ちょうちん屋南側花壇	パンジー、ピオラ等を植栽
フラワーロードの整備	県道長野須坂インター線（栃倉下橋～新給食センター建設地付近）約500m	須坂建設事務所との協働により、サルビア3,000本を植栽
	国道403号（幸高町信号～須坂長野東インターチェンジ）両側花壇約700m	井上町区、幸高町区、二睦町区、アイフルホーム須坂店、JANAがの井上支所、井上小学校児童及び保護者、ボランティア、須坂建設事務所との協働により、カンナ約2,500株、ラベンダー1,000本を植栽

2 花壇等の管理委託他

事業名	委託先	事業内容	委託料（円）
花壇等の管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	カンナの株分け及び運搬、花壇の耕運及び草取り	465,232
花のまちづくりコンクール	(公社)須高広域シルバー人材センター	表彰状の筆耕業務	6,912

3 資材等の援助

(1) 花苗の資材援助

援助の対象	援助を受けた団体等	援助花苗
花壇関係	小山町友和会ほか36団体	サルビア（赤、青）、マリーゴールド（オレンジ、黄）アゲラタム、ベコニア（赤、白、ピンク）、千日紅（赤、白、ピンク）、ジニア（赤、黄）
プランター関係	望岳台区自治会ほか9団体	
合計 47 団体（重複団体あり）		19,509 本

(2) カンナの球根支援

市内外を含め、48団体・個人に対しカンナの球根の支援を行った。

4 第23回須坂市花のまちづくりコンクール

(1) 応募数・入選数

部門		応募数（点）	入選数（点）
ア	大規模花壇・フラワーロードの部	8	4
イ	中規模花壇の部	6	5
ウ	小規模花壇の部	3	3
エ	プランターの部	3	3
オ	学校の部	6	4
合 計		26	19

(2) 審査会 10月11日

(3) 審査結果

ア 大規模花壇の部

最優秀賞	仁礼宿・花いちもんめの会
優秀賞	邑守の里・花の会
奨励賞	野辺町長寿会
特別賞	南原町区

イ 中規模花壇の部

最優秀賞	仁礼町シニアクラブ
優秀賞	馬場町長寿会
奨励賞	相森町花街道同好会Aグループ
特別賞	米子町老人会 森上小学校PTA八幡町支部

ウ 小規模花壇の部

最優秀賞	田の神町老人クラブ「ほたる会」
優秀賞	南小河原町長生会
奨励賞	小山町友和会

エ プランターの部

最優秀賞	望岳台区自治会
優秀賞	森上小学校PTA東横町支部及び子ども会東横町老人クラブ「東寿会」
奨励賞	太子町清交会

オ 学校の部

最優秀賞	旭ヶ丘小学校
優秀賞	常盤中学校
奨励賞	仁礼小学校 豊丘小学校

(4) 表彰式

12月18日 市役所305会議室

5 コンテナガーデン・ハンギングバスケット作品展

(1) 展示期間・展示場所

11月1日～11月6日 ふれあい館「まゆぐら」

(2) 出展数

ア コンテナガーデニングの部 14点

イ ハンギングバスケットの部 6点

6 信州須坂オープンガーデン

(1) 参加庭園数

42庭園(市街地 31庭園、峰の原高原 11庭園)

(2) オープンガーデン実施期間

通年(各庭園の花等の状況による、峰の原高原は6月1日～9月30日)

(3) オープンガーデンマップの作成

2020信州須坂オープンガーデンマップを3月末に印刷 8,000部 758,560円

(4) オープンガーデン内覧用案内看板更新

内覧用案内看板更新22台 287,520円

(5) 参加者(庭園開放者)間の交流による情報交換及び知識・技術の向上のための研修視察

ア 日程及び参加者 5月13日 11人参加

イ 視察場所 群馬県太田市のオープンガーデン3軒、ガーデンカンパニー(園芸専門店)、ボタニックガーデン(イングリッシュガーデン)

(6) オープンガーデン見学ツアー(峰の原高原)

ア 日程及び参加者 7月18日 21人参加

イ 見学場所 ペンションガーデンストーリー、ペンションのいちご、ペンションマジョリカ、ロジリアボリア

7 ガーデンづくり講習会

- (1) 講師 ガーデンソイル 片岡邦子 氏、田口勇 氏
- (2) 場所 ガーデンソイル庭園
- (3) 参加者 6人
- (4) 日程及び内容
 - ア 4月16日 庭づくりの基本プラン
 - イ 5月14日 宿根草と小低木の選び方と使い方
 - ウ 6月4日 植物の植え方で変わる庭の雰囲気
 - エ 7月2日 最小限の手入れの仕方
 - オ 9月3日 秋の庭の楽しみ方
 - カ 10月1日 アンティークな小物を使ったコーナー作り
 - キ 11月12日 来春に向けての準備

8 善光寺花回廊ながの花フェスタ 2019

会場内で県内の市町村が特徴あるガーデンを設置し、各地の見どころを紹介する「各地からの花たより」のコーナーへ、ボランティアグループ須坂ガーデンプラネットと協働で自然あふれる里山をイメージした花壇を出展した。また、須坂市の観光ポスターの展示やオープンガーデンマップの配布により観光誘客に努めた。

- (1) 出展期間 5月3日～5月5日
- (2) 出展場所 善光寺郵便局前

9 第36回全国都市緑化信州フェア 信州花フェスタ 2019～北アルプスの贈りもの～

長野県初開催となる全国的なイベントの会場内で、県内自治体の魅力を発信する「信州の花模様」のコーナーへ、ボランティアグループ須坂ガーデンプラネットと協働で「信州蔵の町須坂 四季を味わう」と題した花壇を出展した。また、須坂市の観光パンフレットやオープンガーデンマップの配布により観光誘客に努めた。

- (1) 出展期間 4月25日～6月16日
- (2) 出展場所 松本平広域公園（信州スカイパーク）

10 カンナの花による交流

市内の植栽団体の他に長野市、信濃町、小川村などの団体へカンナの球根を提供することにより、各地で平和の花カンナを咲かせるカンナプロジェクトに協力した。

11 マスコットキャラクター「かんなちゃん」の活用

花と緑のまちづくり事業のマスコットキャラクター「かんなちゃん」の着ぐるみを活用し、市内外のイベントへの出演やゆるキャラグランプリへ応募しPRに努めた。

(1) 参加イベント等

須坂市動物園まつり、NBSまつり 2019、NBSふるさとライブ、ゆるキャラグランプリ 2019、信州須坂ふるさとフェア、日野小学校110周年記念行事他 貸出・活用回数 8回

(2) かんなちゃんの着ぐるみメンテナンス

頭部、胴体、手、靴を修繕した。 491,150円

(3) ゆるキャラグランプリ 2019によるPR

ア インターネット投票 8月1日～10月25日

イ ゆるキャラグランプリ 2019in しあわせ信州NAGANO

イベント開催二日間の決戦投票では、須坂市のブースを出展し、ストラップ及びキーホルダーづくり等を開催、また、蔵の町並みキャンパス事業の清泉女学院大学生によるかんなちゃんPRとバルーンアートによる子ども向け企画の開催及び須坂東高校生徒によるかんなちゃんのPRにより投票を呼び掛けた。

(ア) 日程 11月2日～3日

(イ) 場所 長野市エムウェーブ

(ウ) ご当地部門順位 65位/427体中（昨年145位/507体中）

8-4-4 (目) 臥竜公園管理事務所費

単位：円

当初 予算額	168,299,000	予算 現額	179,228,800	決算額	171,714,363	前年度 決算対比	114.0%	前年度 決算額	150,649,170
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 臥竜公園管理事業

単位：円

当初 予算額	34,434,000	予算 現額	49,992,800	決算額	43,930,736	前年度 決算対比	109.4%	前年度 決算額	40,155,659
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市民の憩い、健康づくりの場である臥竜公園、百々川緑地及び望岳公園の適切な維持管理を行い、快適で安全な環境整備に努める。また、市民との協働で臥竜公園の桜の樹勢回復、竜ヶ池の水質浄化及び花の植栽を進める。さらに博物館、南部地域公民館と連携し、臥竜公園の魅力向上を図るイベントを開催する。

II 事業の成果等

- 桜樹勢回復検討会を開催し、専門的見地から樹勢回復事業について実施内容等を決定し、臥竜公園桜守りの会や須坂創成高等学校の協力を得て、病虫害対策、EMボカシ肥の施肥、壺肥による土壌改良、整枝剪定を実施した結果、樹勢回復の傾向が見られた。
- 前年度に引き続き竜ヶ池の水の入れ替えを行った結果、水質の改善が図られた。
- 臥竜公園の更なる活性化や、臥竜公園への愛着心の向上及び愛護精神の高揚、環境意識の向上、地域の交流促進を目的とし、長野県地域発元気づくり支援金を活用し、記念植樹、動物園正面口前公衆トイレの壁や動物園内立入り防護柵の補修、樹木管理についてボランティアと協働事業を実施した。
- 国の先導的官民連携支援事業（補助率 10/10）を活用し、竜ヶ池、臥竜山、動物園、スポーツエリア、百々川緑地の各施設を対象として、民間の独創的なアイデアやノウハウを活用する「先導的な官民連携リノベーションによる活性化事業」の民間活力導入可能性調査を実施した。

III 事業の実績

1 竜ヶ池遊船所ボート貸出し関係

(1) 池開き式 4月3日

(2) 供用期間 4月3日から11月4日

6月～7月及び9月は月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）休み、10月1日～11月4日は、土曜日・日曜日・祭日のみ

(3) ボート使用状況

区分	時間(分)	単価(円)	隻数(隻)	金額(円)
手漕ぎボート	30	250	1,192	298,000
		260	36	9,360
	60	400	16	6,400
		410	3	1,230
ペダルボート	30	500	2,369	1,184,500
		520	221	114,920
	60	800	24	19,200
		830	0	0
合計			3,861	1,633,610

(前年度対比 93.9%)

2 親しまれる公園づくり

- (1) 臥竜公園さくらまつりゴミ拾いたい! 4月14日 160人参加(可燃ごみ約6kg・不燃ごみ3kg回収)
- (2) 第8回臥竜公園フェスティバル 7月28日
実行委員会を、臥竜公園管理事務所、市立博物館、南部地域公民館、須坂市観光協会、博物館ボランティア会、フレンZOOすざか、臥竜公園商店会により組織し、竜ヶ池周辺で様々なイベントを開催した。
 - ア はじご車に乗ってみよう
 - イ ボート無料開放
 - ウ ロバ(アイボン)の竜ヶ池散歩
 - エ かなちゃんとのふれあい
 - オ ワッサーの販売
 - カ 世界の昆虫標本の販売、昆虫の標本作り体験
 - キ 紙芝居、親子灯ろう作り教室、折り紙教室、親子エコ体験教室
 - ク 臥竜公園商店会による割引サービス
- (3) ブログ「臥竜公園の四季」、フェイスブック、ツイッター等による情報発信

3 桜の樹勢回復事業

- (1) 臥竜公園桜守りの会

ア	4月4日~25日	さくらまつり期間中の桜ガイド(2回)	延3人参加
イ	5月21日	コスカシバ防除作業(須坂創成高等学校と合同)	10人参加
ウ	11月15日	EMボカシ肥の作成作業	7人参加
エ	2月21日	EMボカシ肥の施肥作業	7人参加
- (2) 桜樹勢回復検討会

ア	10月2日	現地踏査及び対策検討	10人参加
イ	11月15日	対策について再検討	10人参加
ウ	2月12日	先進地視察(群馬県館林市)	8人参加

4 長野県 地域発 元気づくり支援金を活用した協働事業

- (1) 立入り防護柵の補修協働事業(事業費:23,700円(動物園管理運営事業実施分含む))

ア	11月10日	動物園正面口前公衆トイレ壁のペンキ塗り	30人参加
---	--------	---------------------	-------
- (2) 樹木管理協働事業(事業費:469,040円)

ア	11月17日	墨坂中学校生徒及びボランティアの皆様と現地調査	10人参加
イ	3月14日	樹木看板設置	7人参加
- (3) 記念植樹協働事業(事業費:365,472円)

ア	5月1日	長野地区森林と緑の祭典において、「皇太子陛下御即位記念・動物園入園者600万人達成記念」の桜「雅」を植樹	183人参加
---	------	--	--------

5 先導的官民連携支援事業

- (1) 先導的な官民連携による臥竜公園エリアの機能拡充・転換と再編整備を図り、臥竜公園エリアの価値・魅力向上に向けた一体的な包括管理と民間参画による活性化を実現するため、検討・調査を実施した。
 - ア 県市連携・所管連携によるエリア価値の向上
 - イ 官民連携プロジェクトチームを推進する人材の育成
 - ウ 地方都市における動物園のリニューアル及び魅力向上
- (2) 講演会及び官民連携プロジェクト会議

ア	11月8日	「新しい公園経営の進め方について」講演会	16人参加
イ	11月8日	官民連携プロジェクト会議(第1回)	16人参加
ウ	12月18日	「公民連携で行うまちのリノベーション」講演会	43人参加
エ	12月18日	官民連携プロジェクト会議(第2回)	13人参加
オ	1月26日	「いのちスケッチ」映画上映会	71人参加

カ	1月30日	「これからの動物園」講演会	41人参加
キ	1月31日	官民連携プロジェクト会議(第3回)	11人参加
ク	3月10日	官民連携プロジェクト会議(第4回)	11人参加

(3) 臥竜公園トライアル・サウンディングの実施

6 都市公園等の管理状況

(1) 施設整備

ア 修繕関係

事業名	事業内容	事業費(円)
仮設トイレ設置に伴う給排水設備改修	仮設トイレ設置に伴う給排水設備改修	87,480
博物館横公衆トイレ修繕	トイレ器具の破損に伴う修繕	79,039
臥竜公園スプリング遊具修繕	スプリング遊具の破損に伴う修繕	86,400
臥竜公園アイドリングストップ看板修繕	第2・3駐車場アイドリングストップ看板の修繕	59,840
臥竜公園案内看板修繕	臥竜公園の駐車場案内看板の修繕	170,500
臥竜公園遊船所付近歩道及び法面修繕	遊船所付近の歩道及び法面保護修繕	141,900
臥竜公園昇竜坂法面修繕	昇竜坂付近の法面保護修繕	295,900
臥竜公園ボート修繕	ボート破損による修繕	41,800
動物園排水設備修繕	排水切替装置の破損による修繕	84,700
臥竜公園車両修繕	作業車両のタイヤの修繕	3,270
臥竜公園蛍光水銀ランプ等修繕	水銀灯修繕	10,780
合計		1,061,609

イ 工事関係

事業名	事業内容	事業費(円)
記念植樹記念看板設置工事	記念植樹説明板設置工事	253,000
にぎわい広場階段設置工事	第2駐車場丸太階段設置工事	704,000
合計		957,000

(2) 委託業務

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
旧交通安全教育センター整備業務	望岳台区	旧交通安全教育センターの看守・除草・清掃等	60,000
須坂市先導的官民連携支援事業業務	(株)オリエンタルコンサルタンツ長野事務所	先導的な官民連携リノベーションによる活性化事業の民間活力導入可能性調査	8,976,000
公園遊具点検業務	日本体育産業(株)	臥竜公園、動物園南園、望岳公園の遊具点検	163,900
臥竜公園ごみ運搬処理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	臥竜公園(動物園含む)で発生したゴミの運搬処理(年間)	251,282
臥竜公園内草取り業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	竜ヶ池周辺の草取り	26,817
百々川緑地帯アカシヤ伐採草刈り業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	百々川緑地帯のアカシヤの伐採や除草	108,514
廃棄物等収集運搬処理業務	(株)タケモト	花見期間中のゴミ収集運搬	56,160
臥竜公園清掃業務	(特非)障がい者サポートクラブゆめ	竜ヶ池周辺公衆トイレ(3か所)の清掃(年間)	266,500
百々川緑地清掃業務	(社福)育護会須坂技術学園	百々川緑地の清掃(年間)	360,000
臥竜公園の桜樹勢回復業務	(公財)日本花の会	樹勢回復に向けた肥料作り、技術指導等(年間)	495,800

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
百々川緑地除草業務	協同組住建匠須高	百々川緑地の除草(年5回)	3,132,000
百々川緑地旧交通公園法面除草業務	協同組住建匠須高	旧交通公園法面(4回実施)	151,200
遊船所付近除草等処理業務	長野森林組合	遊船所付近の除草や木の処理業	266,200
臥竜公園内樹種調査業務	(公財)日本花の会	臥竜公園内樹種の調査	22,000
竜ヶ池水質調査業務	南信環境管理センター(株)	竜ヶ池の遊船所前及びあずまや前の水質調査(6項目、年4回)	69,440
事業所排水水質検査	第一公害プラント(株)長野支店	動物園排水対策用水質調査	29,916
事業所排水水質調査	(株)環境クリエイション	動物園排水定期水質検査	23,100
臥竜公園桜土壌改良業務	(有)日新グリーン	壺肥150穴	484,000
臥竜山アカマツ枯損木伐採搬出処理業務	長野森林組合	臥竜公会堂付近のアカマツの枯損木伐採搬出処理	217,728
望岳公園松・桜伐採処理業務	(株)井中工業	望岳公園内枯木(松・桜)伐採処理	29,800
臥竜公園内台風17号による倒木処理業務	(有)日新グリーン	台風17号による倒木した木の処理	470,880
南部地域公民館通路倒木伐採処理業務	(株)井中工業	南部地域公民館通路に倒木伐採した木の処理	88,000
臥竜公園桜整枝剪定業務	(有)日新グリーン	桜の整枝剪定(秋、冬)	959,200
臥竜山もみじ谷整備業務	(有)日新グリーン	事務所東側斜面の景観保全	440,000
弁天島等支障木等伐採業務	長野森林組合	弁天島等の支障木等伐採・処理	355,300
博物館付近杉等伐採業務	長野森林組合	博物館付近の杉等の支障木等伐採・処理	495,000
百々川緑地松整枝剪定業務	(有)日新グリーン	百々川緑地松の整枝剪定	1,785,520
臥竜公園内桜植樹	(有)日新グリーン	動物園内に桜を移植	16,500
合計			19,800,757

(3) 備品購入

物品名	数量	金額(円)
軽自動車(清掃ダンプ)	1	1,542,240

(4) 竜ヶ池の水の入れ替えを行った。(12月16日排水開始 2月24日入水開始)

■ 臥竜公園施設整備事業

単位：円

当初予算額	8,442,000	予算現額	945,000	決算額	749,808	前年度決算対比	皆増	前年度決算額	0
-------	-----------	------	---------	-----	---------	---------	----	--------	---

I 事業の目的

2031年の竜ヶ池開池100周年に向け、臥竜公園の市民憩いの場としての魅力ある環境整備を進める。

II 事業の成果等

- 1 臥竜公園の活性化(魅力アップ)対策として、長野県森林づくり県民税「県民協働による里山の整備・利用事業」及び、「みんなで支える里山整備事業」を活用し、臥竜公園里山整備利用推進協議会や須坂創成高等学校の皆様と本多静六博士設計の植栽計画を基本とした「臥竜公園里山整備利用促進基本構想」により里山整備を実施した。

- 2 緊急防災・減災事業債を活用し、動物園南園園内・園外公衆トイレについて和式トイレを洋式トイレに改修し、環境整備を実施した。

III 事業の実績

1 臥竜公園里山整備利用推進協議会活性化（魅力アップ）対策事業

(1) 県民協働による里山の整備・利用事業

ア	5月24日	2019年度総会	18人参加
イ	2月16日	第1回協議会	18人参加
ウ	2月23日	臥竜公園で野鳥を観察しよう	8人参加
エ	2月28日	キノコ駒打ち（自然体験講座）	65人参加
オ	3月14日	ツツジ植栽	7人参加

(2) みんなで支える里山整備事業（負担金：56,808円）

事業名	事業内容	事業費（円）
みんなで支える里山整備事業（補助率9/10）	マツノザイセンチュウ抵抗性松苗木植林900本・地拵え0.45ha	531,108
合計		531,108

2 臥竜公園の施設管理等の状況

(1) 施設整備

工事関係

事業名	事業内容	事業費（円）
臥竜公園南園駐車場南園トイレ洋式化工事	洋式トイレ改修工事	693,000

■ 動物園管理運営事業

単位：円

当初予算額	69,100,000	予算現額	73,264,000	決算額	72,027,440	前年度決算対比	130.6%	前年度決算額	55,152,319
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

動物園の管理運営を通じて、来園者が動物を見たり触れたりすることにより、動物への理解や関心を高め、生命の大切さや自然環境への理解を深める。

II 事業の成果等

- 「動物園代表動物選挙」や「動物園まつり」、「サタデー・ナイト・ズー」、「動物園でハッピーニューイヤー」等のイベントを実施するとともに、積極的なパブリシティを行い事業の充実と誘客宣伝を図った。
- 毎日「ふれあいタイム」や「動物の解説」等の定例イベントを実施し、来園者の満足度を向上させた。
- 小学生の夏休み自由研究の場を提供したり、中学校・高校等の体験学習や専門学校の実習を受入れる等、学習・教育の場としての動物園の機能向上が図れた。
- 障がいのある子どもとその家族が、気兼ねなく楽しいひと時を過ごせることを目的に「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を開催し、親子や動物とのふれあいの場を提供できた。
- 動物園の更なる活性化や、愛着心の向上及び愛護精神の高揚、地域の交流促進等を目的とし、長野県地域発元気づくり支援金を活用し、動物園内立入り防護柵の補修や動物園ガイド冊子作成事業等について、ボランティアと協働事業を実施した。

Ⅲ 事業の実績

1 動物の飼育状況 (2020年3月31日現在)

種類	種数	点数
哺乳類	23	129
鳥類	23	129
合計	46	258

2 傷病鳥獣保護収容の状況

鳥類 3件、獣類 0件

3 動物園体験学習等受入れの状況

団体	延べ日数	人数
市内中学校 (3回)	5日	5人
市外中学校 (7回)	13日	12人
市内高校 (2回)	2日	2人
市外高校 (3回)	7日	7人
専門学校 (1回)	13日	1人
大学 (1回)	7日	1人
異業種研修 (4回)	5日	9人

4 写生大会の開催

動物愛護及び描画教育のため、幼稚・保育園児、小・中学生を対象に実施

事業名	事業内容	実施日等	実施場所
第68回春の臥竜公園写生大会	応募 333点	5月12日	臥竜公園及び動物園
令和元年度中部ブロック写生コンクール出品	出品4点 入賞4点	〃	〃
春の臥竜公園写生大会入賞作品展	展示 160点	6月22日～6月30日	旧上高井郡役所
第68回秋の臥竜公園写生大会	応募 187点	9月8日	臥竜公園及び動物園
秋の臥竜公園写生大会入賞作品展	展示 123点	10月12日～10月20日	旧上高井郡役所

5 ドリームナイト・アット・ザ・ズーの開催

事業名	実施内容	実施日	参加者数 (人)
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	ぬり絵コーナー、スタンプラリー、ウサギ・モルモットのふれあい、ニワトリのふれあい、ペンギンのエサやり体験、ラマのエサやり体験、ルロちゃんのおさんぽタイム、トビの角さんふれあいさんぽ、ワオキツネザルのエサやり体験、ヒツジのエサやり体験、ツキノワグマ「ケン」のわんぱくガイド、カピバラのエサやり体験、ベンガルトラのディナータイム、おみやげプレゼント	7月27日	118名 (内招待者33)

6 動物園まつりの開催

事業名	実施内容	実施期間	入園者数 (人)
秋の動物園まつり	動物パレード、身近な生き物展、もってけ市、犬と遊ぼう、各種工作教室、動物ガイド・ふれあい・エサやり体験等	10月5日、6日	1,877
春の動物園まつり	春の動物園まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種イベントは中止。動物園代表動物選挙のみ実施した。	3月20日～22日	2,132

7 親しまれる動物園づくり

- (1) 動物園情報紙「すぎかしどうぶつえん」の発行
- (2) 動物園ホームページの更新
- (3) ブログ「動物園日記」、フェイスブック、ツイッター等による情報発信
- (4) 定例イベントの開催
 - ア 動物のガイド
 - イ 動物のエサやり体験
 - ウ 動物のぱくぱくタイム
 - エ うさぎ・モルモットのふれあいタイム
 - オ ポニーの乗馬体験
 - カ カピバラ温泉「華の湯」(冬期限定)

(5) その他のイベント

イベント名	開催日	入園者数等
飼育の日イベント	4月19日	541人
ゴールデンウィークだよ！ワクワクふれあいフェア	4月27日～5月6日	延17,739人
母の日イベント	5月11日、12日(母親の入園料無料)	延2,371人 (内無料476人)
オウム・インコデー	6月15日、16日	延985人
父の日イベント	6月15日、16日(父親の入園料無料)	延985人 (内無料131人)
家畜動物たちを学ぼう	7月13日～15日	延1,882人
土用うしの日イベント	7月27日、28日	延887人
夏休みの自由研究を動物園でしよう	7月26日～28日	申込者25人
サタデー・ナイト・ズー	8月毎週土曜日及び8月14日(午後9時まで延長)	延1,196人
ハッチのお墓参り	8月13日	44人
身近な生き物展	9月1日～9月29日	
ご長寿動物をお祝いしよう	9月14日～16日	延2,585人
ハロウィンZOO	10月26日、27日、31日(仮装者無料)	延1,459人 (内無料213人)
カピバラ温泉オープン	11月1日～4月10日	
いい夫婦の日	11月22日～24日	延2,467人 (内無料417組)
出張ふれあい動物園	12月～2月	3回実施(72人)
動物たちに年賀状を送ろう	12月15日～1月15日	
メリークリスマスZOO	12月21日、22日	延991人
冬至イベント	12月22日	500人
干支の引継ぎ式	12月22日	500人
動物園でハッピーニューイヤー	1月1日～3日	延2,047人
節分イベント	2月2日	1,048人
バレンタインZOO	2月9日、14日	延334人
野鳥を観察しよう	2月23日	8人

8 長野県 地域発 元気づくり支援金を活用した協働事業

- (1) 立入り防護柵の補修協働事業 (事業費: 23,700円(臥竜公園管理事業実施分含む))
 - ア 11月10日 動物園本園立入り防護柵ペンキ塗り 30人参加
- (2) 動物園ガイド冊子作成事業 (事業費: 3,080,000円)
 - ア 8月3日 編集会議(市民ボランティア・編集専門者等) 10人参加
 - イ 8月23日 編集会議(小山小学校4年生等) 35人参加

ウ	9月12日	編集会議（小山小学校4年生等）	35人参加
エ	9月14日	編集会議（市民ボランティア・編集専門者等）	10人参加
(3) 動物園ガイド冊子活用事業（事業費：0円）			
ア	12月～3月	動物園ガイドツアー事業	延300名参加
	12月3日		
イ	12月19日	出張ふれあい事業（市内介護・高齢者施設等）	延75人参加
	2月21日		

9 入園状況

区 分		入園者数（人）	入園料（円）
個人	一 般	52,414	10,482,800
	中学生以下	11,704	819,280
	計	64,118	11,302,080
団体	一 般	838	134,420
	中学生以下	1,417	89,033
	計	2,255	223,453
有 料 入 園 者		66,373	11,525,533
無 料 入 園 者		60,283	—
合 計		126,656 (前年度対比 93.9%)	11,525,533 (前年度対比 93.7%)

10 年間入園券（パスポート）の販売状況

区 分	単価(円)	販売枚数	販売額（円）
一 般	1,000	408	408,000
※10月1日から料金改定	1,040	396	411,840
中学生以下	300	75	22,500
※10月1日から料金改定	310	58	17,980
合 計		937 (前年度対比 113.4%)	860,320 (前年度対比 116.1%)

11 遊園地遊具の利用状況

区 分	1回当り単価(円)	回数	使用料（円）
バッテリーカー等	100	41,284	4,128,400
木 馬	30	4,221	126,630
合 計		45,505 (前年度対比 95.8%)	4,255,030 (前年度対比 101.5%)

12 動物園の施設管理等の状況

(1) 施設整備

ア 修繕関係

事業名	事業内容	事業費(円)
野菜裁断機用輪切プレート修繕	輪切プレートの修繕	45,360
飼育車両修繕	タイヤの修理	1,080
バッテリーカー車輪修繕	バッテリーカーの車輪破損による修繕	29,160
ヤギ舎囲幕修繕	ヤギ舎の囲幕破損による修繕	58,320
トラ舎スチールドア握玉錠修繕	トラ舎のスチールドア修繕	13,500
無線機基幹修理	無線機の通信障害による修繕	10,584
獣舎修繕	アライグマ舎フェンスの修繕	24,840
ミスト装置修繕	ミスト噴出口の修繕	11,880
ミスト装置修繕	ミスト装置の修繕	14,256

事業名	事業内容	事業費(円)
ふれん Z00 アルミサッシ修繕	アルミサッシの修繕	24,840
テント修繕	テントの破損による修繕	22,572
遊具雨トヨ取替え修繕	雨トヨ破損による修繕	68,850
テント修繕	テントの破損による修繕	98,280
南園大型遊具広場修繕	広場の段差解消修繕	429,000
南園物置アルミ引き戸修繕	アルミ引き戸の修繕	48,400
タヌキ舎入口、バッテリーカー修繕	タヌキ舎の扉、バッテリーカーの修繕	27,500
トラ舎床暖房修繕	トラ舎の床暖房の修繕	92,800
ハカリ修繕	ハカリの不具合による修繕	880
イベント用無線修理	イベント用無線機の修繕	1,045
無線機修理	無線機のアンテナ修繕	4,752
カピバラ舎給湯器作動不良修繕	給湯器の作動不良による修繕	49,500
トナカイ舎修繕	トナカイ舎の側溝修繕	1,210,000
園内排水管修繕	園内の排水管の修繕	1,023,000
ペンギン舎修繕	ペンギン舎給水・排水管修繕	957,000
ペンギン舎外部排水バルブ修繕	ペンギン舎外部排水バルブ調整取替	29,700
ロングシールド修繕	防護用盾修繕	55,000
獣舎鉄骨修繕	アライグマ舎の鉄骨修繕	142,450
バッテリーカー修繕	ちびっこ路線バスの修繕	140,470
バッテリーカー修繕	バッテリーカーF1の修繕	143,440
バッテリーカー修繕	バッテリーカー消防車の修繕	97,240
バッテリーカー修繕	バッテリーカーパンダの修繕	110,440
合計		4,986,139

イ 工事関係

事業名	事業内容	事業費(円)
フラミンゴ舎 PH 調整処理施設	フラミンゴ舎の PH 調整処理施設に関する電気設備・配管・機械器具設備工事	3,240,000

(2) 委託業務

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
動物園機械警備 (正面・南口)	(株)全日警	正面・南園の管理事務所の警報機械警備	366,240
動物園巡回警備	(株)全日警	動物園内の夜間の巡回警備	579,117
GW期間駐車場警備	アンゼン産業(株)	GW期間中の駐車場内の車両誘導、交通整理、駐車場警備	1,499,904
高圧ミストメンテナンス	(株)コウサカ	休憩所の高圧ミストメンテナンス及び設置	32,400
廃棄物処理収集運搬委託	(株)タケモト	医療廃棄物の収集、処理委託	21,800
庭球場駐車場トイレ清掃	(公社)須高広域シルバー人材センター	動物園南園の庭球場駐車場トイレ清掃	251,100
写生大会賞状等筆耕 (春・秋)	(公社)須高広域シルバー人材センター	写生大会の入賞者の賞状筆耕	106,974
動物園本園支障木伐採	長野森林組合	動物園網トンネル支障木の伐採	495,000
動物園正面事務所付近支障木伐採	長野森林組合	事務所付近の支障木伐採	330,000
動物園周辺危険木伐採	長野森林組合	動物園内の倒木の恐れがある支障木の伐採	171,600
合計			3,854,135

(3) 備品購入

物品名	数量	金額 (円)
バッテリー式定置型乗物	3	2,916,000
300mm/ゲージトレイン 機関車・客車連結型	1	6,912,000
合計	4	9,828,000

8-4-5 (目) まちづくり推進費

単位：円

当初 予算額	13,293,000	予算 現額	7,890,000	決算額	7,543,483	前年度 決算対比	95.2%	前年度 決算額	7,919,909
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ まちづくり推進事業

単位：円

当初 予算額	10,449,000	予算 現額	5,437,000	決算額	5,246,795	前年度 決算対比	96.4%	前年度 決算額	5,444,998
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

- 1 歴史的・文化的資産である蔵の町並みを活用した周辺環境の整備により、住みよい活力あるまちづくりを推進する。
- 2 市内に現存する貴重な市民の財産である歴史的建造物を活かしたまちづくりを推進する。

II 事業の成果等

- 1 須坂市歴史的建造物審査会の審査を経て、歴史的建造物の登録及び公表を行い、歴史的な景観や文化等を周知することができた。
- 2 須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金により歴史的建造物の活用が図られた。

III 事業の実績

1 須坂市歴史的建造物審査会

(1) 第11回

- ア 開催日 10月28日
- イ 場所 市役所306会議室
- ウ 内容 歴史的建造物登録審査、補助金審査

2 須坂市歴史的建造物の登録 3件

No.	名称	登録番号	登録数	登録年月日
38	山岸家(山岸ふとん店)(穀町)	第R1-001号	1	12月20日
39	鈴木家(鈴木養蜂場)(中町)	第R1-002号	1	
40	長峯家(新町)	第R1-003号	1	

3 須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金

- (1) 名称 小林家(東横町)
- (2) 交付決定日 11月15日
- (3) 決定額 5,000,000円
- (4) 交付額 5,000,000円

■ 街なみ施設管理事業

単位：円

当初 予算額	2,764,000	予算 現額	2,438,000	決算額	2,282,388	前年度 決算対比	92.7%	前年度 決算額	2,461,711
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

街なみ環境整備事業で整備した地区施設、生活環境施設等の管理業務の一部を地元のまちづくり推進協議会及び団体に委託し、施設の有効活用を図る。

II 事業の成果等

- ふれあい館まゆぐらでは、県内外からの観光客や住民同士の交流が促進された。
ふれあい館しらふじは、市内のグループやサークルの活動の場として活用された。

2 活用事業者公募

平成 14 年 4 月に開館したふれあい館しらふじは、まちづくりの活動や交流の拠点として活用されてきたが、年々利用者が減少してきたため、これまでの利用方法を見直し、歴史的建造物の魅力を活かした地域の活性化や観光客の誘致など、新たな賑わいや交流の創出を図る提案を含む活用事業者の公募を行った。

- 事業名 須坂市ふれあい館しらふじ活用事業者公募事業
- 応募事業者数 2 事業者
- 活用事業候補者 SHIRAFUJI321

III 事業の実績

1 ふれあい館まゆぐら

- 委託先 蔵の町中央通りまちづくり推進協議会
- 委託料 805,125 円
- 入館者数 8,361 人
- 企画展等の開催 信州須坂しあわせ雛祭り、サラエボ入賞作品展、布絵・焼物二人展、楽しむ書の会、うちわ展、和紙・絵画二人展

2 ふれあい館しらふじ

- 委託先 ふれあい館しらふじを守る会
- 委託料 446,063 円
- 入館者数 950 人（うち施設利用者数 567 人）

3 施設の管理委託

事業名	委託先	事業内容	委託料（円）
ふれあい館まゆぐら、しらふじ 消防用設備保守点検	三益消防機材(株)	消防用設備点検業務	30,240
ふれあい館まゆぐら植木剪定 業務委託	(公社)須高広域シルバー人材 センター	庭木の選定作業	51,756

■ 景観事業

単位：円

当初 予算額	80,000	予算 現額	15,000	決算額	14,300	前年度 決算対比	108.3%	前年度 決算額	13,200
-----------	--------	----------	--------	-----	--------	-------------	--------	------------	--------

I 事業の目的

須坂市景観計画に基づき、建築物や屋外広告物の事前届出や指導、景観に関する啓発活動等の事業を推進し、豊かな自然と歴史、文化を反映した良好な景観を保全、育成し、それらをより良い姿で後世に伝える。

II 事業の成果等

- 1 景観法・景観をいかしたまちづくり条例・景観計画に基づく届出制度により、地域特性をいかした景観行政に取り組むことができた。
- 2 須坂市景観育成推進委員会を通じて先進地研修等を実施し、各区の推進委員会相互の交流や情報交換をすることができた。
- 3 屋外広告物表示禁止物件の一斉点検を行い、適正な表示と良好な景観の維持に努めた。

III 事業の実績

1 景観計画関係

- (1) 景観法に基づく行為の事前届出件数 20件（うち変更届0件）

ア 地域別

一般地域	景観育成重点地区	計
17	3	20

イ 行為の種類別

行為の種類	件数	(うち特定外観意匠)
建築物	8	
工作物	3	(0)
開発行為	9	
土石の採取	0	
屋外における物件の堆積	0	
土地の形質の変更	0	
合計	20	(0)

2 まちづくり景観啓発関係

- (1) 景観育成推進委員会

ア 総会 5月29日

景観育成推進委員会は、平成22年にまちづくり推進協議会連絡会から移行し、協定締結団体のまちづくり及び景観づくりの活発な事業の推進を目的に活動を行ってきたが、2019年度をもって景観育成推進委員会としての活動を終了することとした。次年度以降は各団体において、引き続き景観の保全や町の美化活動を行うことが確認された。

- (2) 景観育成に向けた研修会（先進地視察）の開催

ア 景観育成推進委員会

- (ア) 開催日 11月12日
 (イ) 視察先 群馬県桐生市（重要伝統的建造物群保存地区）
 (ウ) 参加者数 17人

3 屋外広告物関係

(1) 屋外広告物適正化旬間 9月1日～9月10日

ア 屋外広告物表示禁止物件の一斉点検 9月9日実施

イ 違反広告物除去件数

はり紙	はり札	立看板等	計
0	0	0	0

(2) 屋外広告物の相談（随時）

設置方法等について、業者等から相談を受けた。

(3) 屋外広告物設置許可更新申請書の受付

ア 許可申請 1件

イ 更新申請 1件

8-5-1 (目)住宅管理費

単位：円

当初 予算額	108,400,000	予算 現額	89,890,000	決算額	89,170,384	前年度 決算対比	124.7%	前年度 決算額	71,486,942
-----------	-------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 市営住宅管理事業

単位：円

当初 予算額	49,760,000	予算 現額	51,919,000	決算額	51,588,124	前年度 決算対比	253.8%	前年度 決算額	20,325,910
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進を図り、入居者の良好な生活環境を確保するため、住宅の維持・管理を行う。

II 事業の成果等

1 公営住宅法による管理代行及び地方自治法に基づく指定管理者制度により、市営住宅及び特定公共賃貸住宅、コミュニティ住宅その他住宅の維持管理業務を長野県住宅供給公社へ委託した。

2 令和元年東日本台風被災者の仮住まいとして、市営住宅等の修繕を迅速に行い被災者に提供した。

III 事業の実績

1-1 市営住宅の管理状況（3月31日現在）

単位：戸

区分	木造	簡耐平屋	簡耐二階	中層耐火	高層	合計	備考
公営住宅	10	258	102	162	35	567	国庫補助住宅
特定公共賃貸住宅				2	3	5	〃
その他住宅	13		3			16	市単独住宅
合計	23	258	105	164	38	588	

1-2 コミュニティ住宅の管理状況（3月31日現在）

区分	構造	棟数	戸数
穀町コミュニティ住宅	中層耐火5階建	1	20
上町コミュニティ住宅	中層耐火3階建	1	9
合計		2	29

2 市営住宅の住宅使用料等収納状況

区 分	調定額(円)	収入済額(円)	不納欠損額(円)	収入未済額(円)	徴収率(%)	前年度 徴収率(%)
住宅使用料現年度分	112,682,400	110,271,000		2,411,400	97.9	96.3
〃 滞納繰越分	14,652,590	1,706,400	281,500	12,664,690	11.6	17.3
敷地使用料現年度分	10,009,442	9,870,922		138,520	98.6	97.8
〃 滞納繰越分	1,019,400	68,500	47,500	903,400	6.7	11.1
合 計	138,363,832	121,916,822	329,000	16,118,010	88.1	88.1

3-1 市営住宅の入退去状況

退去明渡戸数	募集戸数	申込者数	応募倍率
13	27	19	0.70

3-2 コミュニティ住宅の入退去状況

退去明渡戸数	募集戸数	申込者数	応募倍率
4	4	6	1.50

4-1 市営住宅の使用料減免状況

区 分	件 数	月 数	減免額(円)
60歳以上	114	1,289	6,324,000
障がい者等	33	355	2,063,400
母子家庭	37	416	2,828,800
合 計	184	2,060	11,216,200

4-2 コミュニティ住宅の使用料減免状況

区 分	件 数	月 数	減免額(円)
60歳以上	5	52	627,600
障がい者等	3	36	522,000
母子家庭	5	50	656,000
生活保護	4	40	220,300
合 計	17	178	2,025,900

5-1 市営住宅の修繕状況

区 分	件 数	事業費(円)
退去に伴う修繕等	174	13,512,702

5-2 コミュニティ住宅の修繕状況

区 分	件 数	事業費(円)
退去に伴う修繕等	17	546,205

6 退去に伴う修繕料立て替え分

区 分	件 数	金 額(円)	前年度	
			件 数	金 額(円)
当該年度中 返済分	1	150,000	3	115,087
年度末現在 残件数・残額	5	707,178	5	857,178

7 市営住宅管理に係る委託

業 務 名	委 託 先	業務内容	委 託 料(円)
市営住宅等管理業務	長野県住宅供給公社	市営住宅等管理業務	36,801,556
特定公共賃貸住宅等管理業務	〃	特定公共賃貸住宅等管理業務	647,460

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委 託 料 (円)
公営住宅システム管理業務	(株)電算	公営住宅システムソフトウェア保守	285,144
電気保安業務	(一財)中部電気保安協会	末広団地電気保安業務	132,108
合 計			37,866,268

8 指定管理に関する状況

(1) 事業の成果等

須坂市特定公共賃貸住宅等の管理運営を、指定管理者に委託した。

(2) 指定管理の状況

指定管理者 長野県住宅供給公社

指定の期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

管理委託料 647,460円

■ 住宅・建築物耐震改修事業

単位：円

当初 予算額	6,635,000	予算 現額	1,975,000	決算額	1,751,942	前年度 決算対比	7.7%	前年度 決算額	22,611,925
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	------	------------	------------

I 事業の目的

地震に強いまちづくりを推進するため、「須坂市耐震改修促進計画」に基づき、住宅・建築物の耐震改修を促進し倒壊等の被害防止を図る。

II 事業の成果等

1 耐震診断士を派遣し、木造住宅5戸の耐震診断を実施した。

2 耐震診断の結果、耐震改修（建替え）を希望する住宅1戸に対し耐震改修補助金を交付した。

3 ブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、道路及び市有施設に面するブロック塀等の撤去又は改修に対し補助金を交付した。

III 事業の実績

1 住宅の耐震診断

(1) 耐震診断実施戸数 5戸

(2) 委託料 321,000円

2 耐震診断結果

総合評価	判 定	判定結果(戸)	割合(%)
1.5以上	安全だと思われま	0	0
1.0以上1.5未満	一応安全だと思われま	0	0
0.7以上1.0未満	やや危険だと思われま	0	0
0.7未満	倒壊又は大破壊の危険があ ると思われま	5	100
合 計		5	100

3 耐震改修補助

市が実施した耐震診断士による耐震診断の結果、総合評点が1.0未満で耐震補強工事を行うことにより総合評点が0.7以上となり、かつ工事前の総合評点を上回る工事に対し補助を行った。

(1) 補助件数 住宅1件

(2) 補助額 1,000,000円

4 ブロック塀改修補助

- (1) 補助件数 4件
 (2) 補助額 387,000円

■ 多世帯同居・近居支援事業

単位：円

当初 予算額	5,002,000	予算 現額	2,002,000	決算額	2,000,000	前年度 決算対比	400.0%	前年度 決算額	500,000
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

子育て支援と高齢者が安心して暮らせる環境づくり及び本市への定住の促進を図る目的で、他市町村から転入し多世帯同居又は近居するための住宅の改修、建築、購入に係る経費の一部を補助する。

II 事業の成果等

広報須坂・市ホームページ等で広報し、4月から12月末まで申請を受け付け、補助金を交付した。

III 事業の実績

- 1 補助額 住宅の改修費の3分の1以内の額(上限50万円)
 住宅の建築・購入費(上限50万円)

- 2 補助件数 4件

3 補助実績

補助対象	補助額(円)	居住形態	転入元自治体	転入人数
住宅の改修費	500,000	同居	長野市	6
住宅の建築費	500,000	近居	長野市	3
住宅の改修費	500,000	同居	札幌市	4
住宅の建築費	500,000	近居	長野市	2
合計	2,000,000			15

■ 空家対策事業

単位：円

当初 予算額	68,000	予算 現額	29,000	決算額	9,750	前年度 決算対比	76.5%	前年度 決算額	12,750
-----------	--------	----------	--------	-----	-------	-------------	-------	------------	--------

I 事業の目的

適切な管理が行われていない空家等が防災・衛生・景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことから、空家等に関する施策を総合的に推進する。

II 事業の成果等

須坂市空家等対策協議会条例に基づき、市長を会長として、区長会・司法書士会・建築士会・宅建協会・社会福祉協議会・警察署・消防本部・県・市の有識者等を委員とする協議会を開催した。

III 事業の実績

- 1 須坂市空家等対策協議会の開催 (委員数 10人)

- (1) 第1回協議会 出席委員 8人

ア 開催日 7月31日

イ 内容

- (ア) 空家等に関する国の動向について
 (イ) 相続放棄等による所有者不在の空家等について
 (ウ) 今後の予定について

■ 住宅防災対策事業

単位：円

当初 予算額	20,754,000	予算 現額	20,754,000	決算額	20,702,531	前年度 決算対比	1827.9%	前年度 決算額	1,132,563
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	---------	------------	-----------

I 事業の目的

北相之島団地内の降雨及び水防壁横を流れる農業用水路の満水による浸水を防ぎ、安全・安心して生活できる住環境を保つ。

II 事業の成果等

水害等の緊急事態に備え、北相之島水防壁に係る排水施設の維持管理を行った。

III 事業の実績

- 1 北相之島団地水防壁に係る排水施設の維持管理のため、5月から11月の間定期点検を行った。
- 2 台風・大雨等による排水ポンプ運転 令和元年東日本台風 10月12日 17:00～24:00
- 3 水防施設の管理業務委託 富士工機株 249,000円
- 4 北相之島排水機場主ポンプ用原動機更新 富士工機株 19,990,800円

8-5-2(目)住宅建設費

単位：円

当初 予算額	50,764,000	予算 現額	50,764,000	決算額	50,763,609	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	50,763,607
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 市営住宅長寿命化事業

単位：円

当初 予算額	50,764,000	予算 現額	50,764,000	決算額	50,763,609	前年度 決算対比	100.0%	前年度 決算額	50,763,607
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

市営住宅の長寿命化と入居者の快適な生活環境を確保するため、長寿命化工事、環境整備工事を実施する。

II 事業の成果、実績等

市営住宅北旭ヶ丘団地及び旭ヶ丘団地のリフォーム事業に係る購入費 50,763,609円を支出した。

款 9 消 防 費

(款9) 消防費

単位：円

当初 予算額	1,041,340,000	予算 現額	1,015,519,000	決算額	1,011,600,576	前年度 決算対比	108.5%	前年度 決算額	932,177,846
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	-------------

9-1-1 (目) 常備消防費

単位：円

当初 予算額	523,511,000	予算 現額	508,078,000	決算額	506,216,608	前年度 決算対比	96.8%	前年度 決算額	522,857,265
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	56,537,000	予算 現額	56,536,000	決算額	54,878,309	前年度 決算対比	90.1%	前年度 決算額	60,911,113
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

各種研修を通じて専門知識を習得するとともに、技術及び資質の向上を図った。

防火対象物、危険物施設等の立入検査を実施し、法令違反に対する指摘及び是正を指導し安全対策を推進するとともに、住宅防火訪問により、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理を促し、広く市民に対し火災予防啓発を行った。

救急救命講習を開催し市民への応急手当の普及を図るなか、市内すべての小学校6年生を対象に救急救命に関する授業（命の教育）を行い、学齢期からの応急手当の普及啓発及び救急車の重要性の理解拡大に努めた。

III 事業の実績

1 消防職員委員会

(1) 開催日 7月23日 消防本部 小会議室

(2) 審議案件 15件

区分1 消防職員の勤務条件及び福利厚生 11件

区分2 消防職員の職務遂行上必要な被服及び装備品 2件

区分3 消防の用に供する設備、機械器具その他の施設 2件

2 須高広域消防運営協議会

(1) 幹事会 8月5日、11月13日、1月30日

(2) 協議会 2月12日 出席者27人

3 消防職員意見発表会

(1) 県消防職員意見発表会代表選考会 12月5日 消防本部大会議室 発表者6人

(2) 県消防職員意見発表会 2月6日 木曾町 1人 (優良賞)

4 職員研修

(1) 県消防学校

研修名	期	期 間	人数 (人)
操法指導員講習	23	4月4日～4月5日	3
初任科	62	4月9日～10月6日	1
山岳救助科	2	6月25日～6月28日	1
危険物科	36	10月28日～11月1日	3
火災調査科	47	11月20日～12月3日	3
救急科	23	1月8日～3月6日	1
予防査察科	52	2月12日～2月26日	1
救急高度化研修	19	3月9日～3月13日	2

(2) その他

研修名	期 間	人数 (人)
総務関係実務研修会及び消防財政実務研修会 (横浜市)	7月31日	1
消防大学校特別講習会	9月3日	1
消防実務講習会	9月11日	1
県救急活動研究会救急担当者研究会議 (上田市)	9月25日	4
ハラスメント等相談窓口相談員向け研修会 (東京都)	11月6日	1
全国消防長会関東支部消防長研修会 (横浜市)	11月6日	1
全国消防救助シンポジウム (東京都)	11月29日	1
消防団員等公務災害補償実務研修会 (安曇野市)	12月5日	1
県救急活動研究会解剖講習会 (上田市)	2月5日	1

5 庁舎管理

(1) 修繕等

ア 庁舎施設修繕 490,380円

イ 機器等修繕 29,700円

(2) 委託

ア 庁舎

業 務 名	委 託 先	業務内容	委託料 (円)
清掃業務委託	黒崎商会	床清掃	97,200
電気保安業務委託	(一財)中部電気保安協会	定期点検A (年6回)、定期点検B (年1回)	187,044
自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	定期点検 (年2回)	92,400
非常用自家用発電設備保守点検委託	ミツワヤンマー(株)	定期点検 (年2回)	85,040
冷暖房設備保守点検委託	(有)テラエンタープライズ	保守、点検	165,000
合 計			626,684

イ その他

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
階級昇任試験委託	(株)公職研	階級昇任試験(消防司令補6人・消防士長6人)	459,360

(3) 賃借等

ア 土地

内容	場所	面積(m ²)	賃借料(円)
消防本部庁舎	須坂市大字小山字屋部浦 1305 番地 1	685	1,392,000
	須坂市大字小山字屋部浦 1305 番地 2	960	
	須坂市大字小山字屋部浦 1341 番地 2	310	
	須坂市大字小山字屋部浦 1307 番地	747	531,000
	須坂市大字小山字屋部浦 1309 番地 1	77	648,000
	須坂市大字小山字屋部浦 1310 番地 2	833	
合計		3,612	2,571,000

イ その他

業務名	内容	賃借料(円)
電話機等賃借	電話機、複写機、印刷機	787,051
寝具等借上	寝具、清掃用具	241,544
合計		1,028,595

6 須坂市消防出初式 1月12日 須坂小学校グラウンド他 参加者 666人 (阿部県知事臨席)

7 須高地区山岳遭難防止対策協会

(1) 会議

ア 救助隊役員会議 4月11日、1月22日

イ 定期総会 5月23日

ウ 遭難防止対策五署並びに関係遭対協連絡会議 11月1日 (群馬県草津町開催)

エ 峰の原、菅平地区遭難防止対策連絡会議 11月20日

(2) 救助訓練

ア 夏季救助訓練 7月4日 参加者 34人

イ 冬季救助訓練 2月17日 参加者 30人

(3) 相談活動

地域の相談員が遭難防止に関する相談活動を随時行った。

(4) 遭難防止活動

高山地区でタケノコ採り入山者にチラシを配布し、遭難防止を啓発した。

第1回目 6月1日 参加者 28人

第2回目 6月10日 参加者 22人

(5) 研修会及び連絡会議への参加

長野県山岳遭難防止対策協会等主催の研修会並びに会議に参加し、救助隊員及び相談員の資質の向上と広域的な連携を行った。

(6) 遭難救助活動事例

発生日時	遭難者(人)	遭難場所	入山目的	出動人員(人)
6月15日	男性1人	高山村大字牧 県道大前須坂線第22号カーブ北方 の山林内	タケノコ採り	遭対協 25 消防 6 警察 26 高山村役場 8

発生日時	遭難者(人)	遭難場所	入山目的	出動人員(人)
6月17日	男性1人 (救助)	高山村大字奥山田 笠ヶ岳南側尾根 標高約2,000m付近の山林内	タケノコ採り	遭対協 7 消防 2 警察 13 高山村役場 2
6月20日	男性1人 (救助)	須坂市 小根子岳北側 標高約1,800m付近の山林内	タケノコ採り	遭対協 10 消防 4 警察 38

8 予防活動

(1) 防火対象物立入検査状況

須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

区分	令第10条 該当数	立入検査事業所		
		実施数	内是正指導数	内改修済数
劇場・映画館	1 (1)			
公会堂・集会場	139 (91)	16 (9)	8 (4)	7 (4)
遊技場・ダンスホール	2 (2)			
カラオケボックス	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
料理店	1 (1)			
飲食店	73 (53)	13 (10)	8 (6)	5 (4)
店舗	115 (93)	13 (9)	8 (6)	5 (3)
旅館・ホテル	107 (73)	24 (14)	22 (14)	4 (2)
寄宿舎・共同住宅	457 (393)	4	3	3
病院・診療所	50 (39)	6 (5)	2 (2)	2 (2)
自力困難者入所施設	24 (16)	4 (3)	2 (1)	2 (1)
老人・児童福祉施設	66 (50)	12 (7)	6 (4)	6 (4)
幼稚園	10 (10)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
小中高等学校	88 (73)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
図書館・博物館	15 (5)	3	3	1
公衆浴場	7 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
神社・寺院・教会	47 (34)	3 (1)	1	1
工場・作業場	692 (504)	30 (10)	15 (9)	12 (9)
自動車車庫・駐車場	25 (18)			
倉庫	333 (233)	5 (1)	1	1
前各項に該当しない事業場	232 (183)	7 (4)	2 (1)	1 (1)
複合用途の特定防火対象物	135 (101)	37 (23)	31 (18)	22 (11)
複合用途の非特定防火対象物	56 (41)	3 (3)	2 (2)	2 (2)
文化財建造物	30 (16)	5 (2)	2 (1)	2 (1)
合計	2,706 (2,032)	190 (105)	121 (72)	80 (47)

ア 特定防火対象物 劇場・映画館、公会堂・集会場、遊技場・ダンスホール、カラオケボックス、料理店、飲食店、店舗、旅館・ホテル、病院・診療所、自力困難者入所施設、老人・児童福祉施設、幼稚園、公衆浴場等の用途に該当する防火対象物

イ 非特定防火対象物 上記アに掲げる用途以外の防火対象物

ウ 複合用途 二つ以上の用途又は一部が用途以外（店舗と住宅など）

エ 令第10条 消防用設備等（消火器）を設置しなければならない防火対象物

(2) 防火対象物定期点検報告状況 須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

区 分	該 当 数	点検報告済数	特例認定報告免除数	点検未報告数
劇 場 ・ 映 画 館	1 (1)	1 (1)		
公 会 堂 ・ 集 会 場	55 (43)	33 (27)	16 (14)	6 (2)
遊技場・ダンスホール	1 (1)			1 (1)
料 理 店	1 (1)	1 (1)		
飲 食 店	4 (4)	1 (1)		3 (3)
店 舗	9 (8)	7 (6)	2 (2)	
旅 館 ・ ホ テ ル	12 (5)	6 (3)		6 (2)
病 院 ・ 診 療 所	4 (3)	3 (2)		1 (1)
自力困難者入所施設	2 (2)	1 (1)	1 (1)	
老人・児童福祉施設	2			2
複合用途の特定防火対象物	23 (18)	10 (8)	1 (1)	12 (9)
合 計	114 (86)	63 (50)	20 (18)	31 (18)

(3) 危険物施設立入検査状況 須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

区 分	施 設 数	立入検査施設		
		実 施 数	内 是正指導数	内 改修済数
製造所等				
屋 内 貯 蔵 所	27 (26)	9 (8)	3 (3)	3 (3)
屋外タンク貯蔵所	10 (8)	1 (1)		
屋内タンク貯蔵所	7 (4)	2 (1)	1 (1)	1 (1)
地下タンク貯蔵所	99 (71)	31 (24)	22 (14)	17 (11)
簡易タンク貯蔵所	7 (5)	2 (2)		
移動タンク貯蔵所	48 (44)	10 (8)	6 (6)	3 (3)
屋 外 貯 蔵 所	1 (1)			
給 油 取 扱 所	22 (17)	10 (7)	7 (7)	5 (5)
自家用給油取扱所	14 (11)	4 (3)	1 (1)	1 (1)
一 般 取 扱 所	41 (27)	18 (11)	8 (7)	7 (6)
合 計	276 (214)	87 (65)	48 (39)	37 (30)

(4) 危険物施設の許可等規制状況 須坂市、小布施町及び高山村の合計数、()は須坂市分

区 分	規 制 区 分 件 数					
	許 可		完 成		仮 使 用	廃 止
	設 置	変 更	設 置	変 更		
製造所等						
屋 内 貯 蔵 所	2 (2)		2 (2)			1 (1)
地下タンク貯蔵所		2 (2)		2 (2)	1 (1)	3 (3)
自家用給油取扱所	1 (1)					1 (1)
移動タンク貯蔵所		1		1		
給 油 取 扱 所		1 (1)		2 (2)	1 (1)	
一 般 取 扱 所						1
屋外タンク貯蔵所						
屋内タンク貯蔵所						
合 計	3 (3)	4 (3)	2 (2)	5 (4)	2 (2)	6 (5)

(5) 危険物タンク完成検査済証の交付状況 単位：件

政令タンク（危険物の規制に関する政令第8条の2）	18
条例タンク（須坂市火災予防条例第52条）	1

(6) 建築確認等同意件数

単位：件

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
新 築	須坂市	4	7	3	2	4	4	1	5	1	5	6	6	48
	小布施町		4	3	3	2		1	1	1		1	3	19
	高山村													
	計	4	11	6	5	6	4	2	6	2	5	7	9	67
増 築	須坂市			1				1						2
	小布施町						1	1						2
	高山村													
	計			1			1	2						4
その他	須坂市													
	小布施町													
	高山村													
	計													
合 計	須坂市	4	7	4	2	4	4	1	6	1	5	6	6	50
	小布施町		4	3	3	2		2	2	1		1	3	21
	高山村													
	計	4	11	7	5	6	4	3	8	2	5	7	9	71

(7) 消防用設備等検査済証の交付状況

単位：件

須 坂 市	小布施町	高 山 村	合 計
29	5	3	37

(8) 甲種防火管理新規講習会 6月27日、6月28日 88人修了証交付

(9) 甲種防火管理再講習会 11月19日 33人修了証交付

(10) 賃借等

業 務 名	内 容	賃借料 (円)
消防予防台帳等電子化システム ソフトウェア・リース	システムソフトウェアリース	330,480
同上ハードウェアリース (サーバ)	サーバリース	442,192
合 計		772,672

9 予防広報活動

(1) 火災予防運動等

ア 春の特別火災予防運動	4月18日～4月22日
イ 危険物安全週間	6月2日～6月8日
ウ 秋季火災予防運動	11月9日～11月15日
エ 危険物運搬車両立入検査	11月18日
オ 春季火災予防運動	3月1日～3月7日

(2) 住宅防火対策

防火訪問 (新町、常盤町、横町、東横町、南横町、北横町)

訪問世帯数 (戸)	在宅世帯数 (戸)	留守世帯数 (戸)
950	402	548

(3) 年末防火パトロール 12月1日～12月25日

10 火災発生状況

月	須坂市				小布施町				高山村				合計			
	件数	死者	傷者	損害額(千円)	件数	死者	傷者	損害額(千円)	件数	死者	傷者	損害額(千円)	件数	死者	傷者	損害額(千円)
4	2			2,701								2			2,701	
5	1			0	2			20				3			20	
6	2			3								2			3	
7	1			420	1			0				2			420	
8	2		1	1,564								2		1	1,564	
9																
10	2			2,085								2			2,085	
11					1			1,381				1			1,381	
12	3			700	1			235				4			935	
1	4	1	1	9,335	2			148				6	1	1	9,483	
2					1		2	11				1		2	11	
3	3	1		6,317								3	1		6,317	
合計	20	2	2	23,125	8		2	1,795				28	2	4	24,920	
前年度比	6	1	1	11,281	2		2	1,645	△7			△15,145	1	1	3	△2,219

11 警防活動

(1) 緊急通報覚知状況

119 専用	119 携帯	その他	合計 (件)
1,782	1,092	428	3,302

(2) 災害等に対する警戒

ア 大雨・台風警戒

大雨警報 (10月12日)、暴風警報 (10月12日)、大雨特別警報 (10月12日)

台風 (第17号 9月23日、第18号 10月3日、令和元年東日本台風(第19号) 10月11日から16日)

イ その他

歳末警戒 (12月26日～12月30日)

(3) 消防訓練

ア 春の特別火災予防運動山林火災防ぎょ訓練 4月20日 上八町 消防職員 32人

イ 消防団との合同消防訓練 8月24日、31日、9月1日 市内3か所 消防職員 28人

ウ 県消防相互応援隊合同訓練 10月20日 令和元年東日本台風災害対応により中止

エ 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練

10月28日、29日 令和元年東日本台風災害対応により中止

オ 秋季火災予防運動消防訓練 11月9日 令和元年東日本台風災害対応により中止

カ 春季火災予防運動消防訓練 3月1日 穀町及び上町の一部区域 消防職員 28人

(4) 訓練指導

ア 市内学校防災訓練指導 19件 参加者 6,809人

イ 市内公共施設防災訓練指導 20件 参加者 1,482人

ウ 自主防災組織防災訓練指導 64件 参加者 3,930人

(5) 長野地域メディカルコントロール協議会

ア 協議会 5月31日 長野市消防局中央消防署

11月15日 長野市消防局中央消防署

イ 専門部会、事後検証会議
 6月25日 信州医療センター
 9月20日 篠ノ井総合病院
 12月3日 千曲中央病院
 3月6日 長野赤十字病院

(6) 委託

業務名	委託先	内容	委託料(円)
消防緊急通信指令施設 保守点検業務委託	(株)富士通ゼネラル	年2回の定期点検 緊急時の対応(通年)	3,553,200
消防救急デジタル無線設備 保守点検業務委託	(株)富士通ゼネラル	年2回の定期点検 緊急時の対応(通年)	4,862,400
救急車搭載機器 保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	傷病者監視モニタ 除細動器等	565,099
	共栄医科器械(株)	自動心臓マッサージ器 人工呼吸器	212,300
救急車ストレッチャー 保守点検委託	日本船舶薬品(株)横浜支店	ストレッチャー2台	162,000
梯子車性能検査委託	(株)小林ポンプ防災	保守点検(年2回)	869,000
職員健康診断委託	小林医院	救急救命士免許申請健康診断	3,000
	松沢内科クリニック	QFT結核検査	7,500
救命士再教育病院実習委託	信州医療センター	病院実習	315,000
気管挿管実習委託	信州医療センター	病院実習	330,000
合計			10,879,499

(7) 賃借等

業務名	内容	賃借料(円)
発信地表示システム	119通報時、電話番号により発信地を表示するシステム	432,162
自動体外式除細動器	自動体外式除細動器(AED)1台	64,092
救急救助情報管理システム	救急救助事案に係る出動報告書を作成クラウド上でデータ管理し汎用統計や任意抽出にも対応	654,000
合計		1,150,254

12 各種統計

(1) 火災出動の状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
火災	2	2	2	1	1		2	1	4	4	1	3	23
前年度比	1		△2	△1	△3	△1	1	△1	4		1	2	1

(2) 調査出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
風 害		1				3							4
危 険 物	4	2	1	2	3	4	2	2	1		1	2	24
ベル鳴動	2	1		1		2		1	2	1		2	12
怪 煙	6	1	1	1	3	5	3	3	2	3		3	31
ガ ス					1		2						3
水 害							14						14
火気取扱							1						1
そ の 他	1	4		2		1	1		1			1	11
合 計	13	9	2	6	7	15	23	6	6	4	1	8	100
前年度比	6	4	△2	3	2	△1	12		1	1	△4	1	23

(3) 救急出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
急 病	118	121	117	126	152	106	118	115	148	114	108	102	1,445
交 通	10	11	6	15	11	9	11	11	12	4	12	13	125
一般負傷	33	26	20	28	30	38	42	19	27	31	28	30	352
加 害					1	1	1	1					4
自損行為	2	1		1			1	1		2	1	1	10
労働災害	2	2		3	8	3	1	3	2	2			26
運動競技		1	3	6	5	3	1	2					21
水 難					1								1
火 災					1								1
そ の 他 ()は 転院搬送	19 (17)	21 (21)	24 (19)	23 (22)	15 (13)	20 (19)	13 (12)	12 (10)	25 (25)	23 (21)	20 (20)	26 (26)	241 (225)
合 計	184	183	170	202	224	180	188	164	214	176	169	172	2,226
前年度比	14	△3	△12	△17	4	△3	△9	15	11	△46	△29	△27	△102

(4) 救助出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
交 通			1	4	2		1		1	1	3		13
そ の 他	2	2		1	3	1	2	1	2		1		15
合 計	2	2	1	5	5	1	3	1	3	1	4		28
前年度比		△3	△1	4	3		2	1			3		9

13 普及啓発活動

(1) 応急手当

ア 救命講習等

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
応急手当普及員講習	3	12
応急手当普及員再講習	3	22
普通救命講習 I	23	259

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
救命入門コース	1	15
救急講習	66	2,372
合計	96	2,680

イ 命の教育

市内全小学校 (11校) 6年生 6月24日～12月20日 11回 481人

(2) 救急広報

ア 救急医療週間 9月8日～9月14日

須坂市動物園写生大会場において救急車展示し応急手当普及広報実施 (9月8日)

イ 救急の日 9月9日

(3) その他

保育園防火指導 11月8日～11月28日 13園 13回

14 車両装備等整備状況

機械器具修繕 134,326円

15 備品購入状況

品名	数量 (式)	金額 (円)
上下式防火衣	10	2,538,000
組立水槽	2	410,400
庁舎床暖房用ボイラー	1	286,200
合計		3,234,600

■ 消防機械力整備事業

単位：円

当初 予算額	44,102,000	予算 現額	36,622,000	決算額	36,621,110	前年度 決算対比	94.6%	前年度 決算額	38,722,075
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

消防機械器具等の整備充実を図り、消防防災体制の向上を図る。

II 事業の成果等

経年老朽した救急車の更新を行い、複雑多様化かつ高度化する災害に対する消防機械力の強化と性能維持を図った。

III 事業の実績

1 備品購入状況

品名	数量 (台)	金額 (円)
救急車	1	36,520,000

9-1-2 (目) 非常備消防費

単位：円

当初 予算額	113,311,000	予算 現額	107,972,000	決算額	107,480,644	前年度 決算対比	126.4%	前年度 決算額	85,009,419
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

■ 消防団員人件費

単位：円

当初 予算額	58,846,000	予算 現額	51,857,000	決算額	51,855,900	前年度 決算対比	102.9%	前年度 決算額	50,406,559
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

消防の常備化が進化した今日であるが、地域の消防防災の中核として消防団の果たす役割は大きく、消火活動を始め大規模災害発生時における人命救助等、消防団ならではの活動を実施する一方、地域に密着した消防機関として火災予防啓発等に努める。

II 事業の成果等

地域特性に応じた消防団運営を進め、消防団活動への参加意欲の高揚を図り、消防団の活性化と団員の資質向上に努めた。

III 事業の実績

1 分団別消防団員数 (定数 881 人)

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

階級 職名 区分 (分団定数)	団		分団		副分団		部			班			団員		計 (人)				
	団 長	副 団 長	ラ ッ パ 長	音 楽 隊 長	分 団 長	副 ラ ッ パ 長	音 楽 副 隊 長	副 分 団 長	音 楽 部 長	分 団 部 長	分 団 ラ ッ パ 長	部 長	音 楽 副 部 長	音 楽 班 長		副 部 長	班 長	音 楽 隊 員	団 員
団本部 (5)	1	2	1																4
音楽隊 (32)				1			1	1					1	2				24	30
第1分団 (40)					1			1	1	1		2			2	5		27	40
第2分団 (42)					1			1	1	1		2			2	4		27	39
第3分団 (53)					1			1	1	1		3			3	6		37	53
第4分団 (55)					1			1	1	1		2			2	7		40	55
第5分団 (133)					1			1	1	1		4			4	16		105	133
第6分団 (90)					1			1	1	1		5			5	12		64	90

階級 職名 区分 (分団定数)	副団長		分団長			副分団長			部長				班長				団員		計 (人)
	副 団 長	副 団 長	ラ ッ パ 長	音 楽 隊 長	分 団 長	副 ラ ッ パ 長	音 楽 副 隊 長	副 分 団 長	音 楽 部 長	分 団 部 長	分 団 ラ ッ パ 長	部 長	音 楽 副 部 長	音 楽 班 長	副 部 長	班 長	音 楽 隊 員	団 員	
第7分団 (154)					1			1	1	1	7			7	17		119	154	
第8分団 (88)					1			1	1	1	4			4	12		62	86	
第9分団 (70)					1			1	1	1	3			3	10		49	69	
第10分団 (56)					1			1	1	1	3			3	7		37	54	
第11分団 (63)					1			1	1	1	2			2	6		45	59	
合計 (881)	1	2	1	1	11	0	1	11	1	11	11	37	1	2	37	102	24	612	866

2 消防団員報酬支払状況

階級	職名	年額(円)	支給総額(円)
団長	団長	176,000	176,000
副団長	副団長	121,100	242,200
分団長	ラッパ長	89,000	89,000
	音楽隊長		89,000
	分団長		979,000
副分団長	副ラッパ長	55,000	0
	音楽副隊長		55,000
	副分団長		605,000
部長	音楽部長	42,100	42,100
	分団部長		463,100
	分団ラッパ長		463,100
	部長		1,536,650
班長	音楽副部長	32,600	32,600
	副部長		1,206,200
	音楽班長	26,100	52,200
	班長		2,662,200
団員	音楽隊員	21,400	513,600
	団員		13,080,750
合計			22,287,700

3 消防団員退職報償金支給状況

在職年 階級	5年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上 20年未満		20年以上		支給人数 及び総額	
	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)	人数 (人)	支給 (千円)
団 長			1	344					1	344
分団長			4	1,272	1	413			5	1,685
部 長	1	204	9	2,547	1	358	5	2,442	16	5,551
班 長			1	283	6	2,148	3	1,314	10	3,745
団 員	4	800	2	528					6	1,328
合 計	5	1,004	17	4,974	8	2,919	8	3,756	38	12,653

■ 消防団運営事業

単位：円

当初 予算額	39,399,000	予算 現額	40,251,000	決算額	39,763,904	前年度 決算対比	193.1%	前年度 決算額	20,592,520
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

消防団の安定した運営と地域に根ざした防災活動を支援し、区及び自主防災組織との連携により、地域での防災体制の万全を期する。

II 事業の成果等

更新時期を迎えた活動服を、新基準に適合した活動服に更新し、団員の安全向上を図り消防活動を行うとともに、春及び秋季火災予防運動中における防災訓練及びラッパパレード等の地域に根ざした予防啓発活動を計画的に実施した。

III 事業の実績

1 消防団員研修、訓練等の状況

(1) 県消防学校研修

科 目	期	期 間	人数 (人)
訓練礼式科	95	11月8日～11月9日	3
女性団員科	18	8月31日	2
ラッパ科	99	12月13日～12月14日	3

(2) 消防技術大会等

ア 市消防技術大会 6月9日 681人 須坂小学校・常盤中学校グラウンド

小型ポンプ操法 優勝 第8分団

ラッパ吹奏 優勝 第1分団

イ 須高消防協会消防ポンプ操法・消防ラッパ吹奏大会 6月23日 84人 須坂市森上小学校グラウンド

小型ポンプ操法 須坂市 優勝

ラッパ吹奏 須坂市 優勝

(3) 訓練

ア ラッパ隊、音楽隊訓練 通年 延752人 各分団等

イ カラーガード隊訓練 定例会及び定例訓練(月2回)、事業前訓練

ウ 山林火災防ぎょ訓練 4月20日 76人 上八町

- | | | | | |
|-----|---------------------|------------------|---------------|-----------------|
| エ | 須高消防協会幹部研修 | 5月12日 | 196人 | 森上小学校グラウンド |
| オ | 須高消防協会水防工法実技講習会 | 5月26日 | 203人 | 小布施町総合公園臨時駐車場 |
| カ | 須坂市消防技術大会訓練 | 5月27日～6月8日 | 延866人 | 各分団 |
| キ | 須坂市総合防災訓練 | 8月25日 | 87人 | 相森中学校 |
| ク | 消防署との合同消防訓練 | 8月24日、8月31日、9月1日 | 延45人 | 市内3か所 |
| ケ | 秋季火災予防運動 | 11月9日～11月15日 | 延506人 | 各分団 |
| コ | 機械器具点検・取扱訓練 | 2月1日～3月11日 | 延258人 | 各分団 |
| サ | 春季火災予防運動 | 3月1日～3月7日 | 延819人 | 各分団 |
| (4) | 水火災出動 | 21件 | 延1,191人 | |
| (5) | その他出動 | | | |
| ア | 分団ラッパパレード | 第7分団管内ラッパパレード | 4月21日 | 64人 |
| イ | 管轄町内の特別警戒 | 通年 | 全分団 | |
| ウ | 須坂みんなの花火大会の煙火打ち上げ警戒 | 7月21日 | 60人 | 第3分団、第4分団、第10分団 |
| エ | 消防団音楽隊定期演奏会 | 11月10日 | 須坂市文化会館メセナホール | |
| オ | 歳末警戒 | 12月26日～12月30日 | 全分団 | |
| (6) | 親子写生大会 | 6月9日 | 須坂小学校 | 応募作品31点、入賞27点 |

2 防火成績優良表彰

- (1) 無火災区特別表彰
 - 10年 夏端町、中町、小山町、馬場町
- (2) 無火災区表彰
 - ア 4年 小島町、上町、中町、常盤町、立町、五閑町、野辺町
 - イ 3年 田の神町、村山町、明德町、南小河原町、東横町、村石町
 - ウ 2年 望岳台、坂田町、小山町
 - エ 1年 高梨町、相森町、春木町、北旭ヶ丘町、亀倉町、大谷町、馬場町、南原町、屋部町、旭ヶ丘町、塩川町、米持町、仁礼町、高橋町
- (3) 無火災分団表彰
 - 第11分団、第1分団、第6分団
- (4) 無火災部特別表彰
 - 第2分団1部
- (5) 無火災部表彰
 - ア 3年 第6分団4部、第7分団2部、第8分団1部、第9分団2部
 - イ 2年 第1分団1部、第2分団1部、第3分団1部、第5分団2部、第5分団3部、第6分団1部
第7分団6部、第8分団3部
 - ウ 1年 第1分団2部、第4分団2部、第5分団1部、第6分団2部、第10分団1部

3 消防団活性化推進の会議と事業

- (1) 都市消防長、消防団長、事務主任者会議 5月16日（飯山市）
- (2) 峰の原高原区との消防懇談会 5月22日（こもれびホール）
- (3) 消防団サポート事業 通年（33事業所）
- (4) 消防団協力事業所表示制度 通年（8事業所）
- (5) 消防団音楽隊交流会 10月6日（駒ヶ根市）

4 車両装備等整備の状況

- (1) 車両機械器具等修繕 59,040円
- (2) 器具置場等修繕 20,460円

5 活動服の更新 850 着 17,904,000 円

6 備品購入状況

品 名	数 量 (台)	金 額 (円)
チェーンソー (未配備分団用)	6	432,000
トランシーバー (副分団長階級)	13	702,000
合 計		1,134,000

7 消防コミュニティセンターの利用状況 79 件 延 379 人

■ 消防団機械力整備事業

単位：円

当 初 予算額	15,066,000	予算 現額	15,864,000	決算額	15,860,840	前 年 度 決算対比	113.2%	前年度 決算額	14,010,340
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

消防団業務を円滑に遂行するため、機械器具等の整備充実を図る。

II 事業の成果等

災害時に迅速に対応できる小型動力消防ポンプ付積載車及び小型動力消防ポンプを更新、令和元年東日本台風災害での使用等により損傷した小型動力消防ポンプ及びゴムボートを購入し災害対応力の強化を図った。

III 事業の実績

備品購入状況

品 名	配備先	数 量	金 額 (円)
小型動力消防ポンプ付積載車	6 分団 5 部、11 分団 1 部	2 台	12,166,000
小型動力消防ポンプ	5 分団 2 部、10 分団 2 部	2 台	2,127,600
小型動力消防ポンプ(令和元年東日本台風に係る)	5 分団 3 部	1 台	1,083,500
ゴムボート(令和元年東日本台風に係る)	7 分団	1 艇	437,800
合 計			15,814,900

9-1-3 (目) 消防施設費

単位：円

当 初 予算額	92,508,000	予算 現額	86,950,000	決算額	86,940,004	前 年 度 決算対比	269.1%	前年度 決算額	32,302,317
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	--------	------------	------------

■ 消防施設管理事業

単位：円

当 初 予算額	15,608,000	予算 現額	12,606,000	決算額	12,596,584	前 年 度 決算対比	53.5%	前年度 決算額	23,545,037
------------	------------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

消防施設の適正な維持管理と災害時への対応に万全を期する。

II 事業の成果等

老朽した消防施設等の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

Ⅲ 事業の実績

1 修繕

- (1) 消防庁舎施設・設備修繕 813,979 円
 (2) 防火水槽修繕 77,760 円

2 消防団器具置場及び防火水槽等の土地借上状況

借上用途	町名	面積(m ²)	契約年月日	借受期間	借上料(円)
警鐘楼敷地	本上町	13.2	1991.12.24	2011.1.1~2020.12.31	8,500
器具置場敷地	塩川町	56.0	1998.9.10	2018.9.10~2038.9.9	45,500
防火水槽敷地	相森町	26.0	1992.3.31	2012.4.1~2022.3.31	2,000
防火水槽敷地	仁礼町	15.0	1992.3.31	2012.4.1~2022.3.31	1,500
器具置場・警鐘楼敷地	坂田町	100.2	1991.3.16	2016.4.1~2020.3.31	54,000
器具置場・警鐘楼敷地	亀倉町	35.0	1998.3.31	2018.4.1~2029.3.31	4,000
防火水槽敷地	亀倉町	40.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
器具置場・警鐘楼敷地	塩野町	22.8	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	3,200
器具置場敷地	豊丘町	16.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	20.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	仁礼町	30.0	1991.5.8	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	25.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	小河原町	24.7	2007.2.15	2016.4.1~2026.3.31	1,700
防火水槽敷地	仁礼町	33.8	1997.11.10	2018.4.1~2028.3.31	1,500
器具置場・警鐘楼敷地	米子町	53.0	1990.3.26	2011.4.1~2021.3.31	10,400
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	1991.4.30	2010.4.1~2020.3.31	1,500
防火水槽敷地	豊丘町	30.0	1991.3.7	2011.4.1~2021.3.31	1,500
防火水槽敷地	仁礼町	30.0	1991.3.16	2011.4.1~2021.3.31	1,500
防火水槽敷地	小島町	27.4	1990.10.15	2010.10.1~2020.9.30	2,000
器具置場・警鐘楼敷地	豊丘町	62.5	1990.10.1	2010.10.1~2020.9.30	2,600
器具置場詰所敷地	本上町	41.5	1991.4.15	2018.4.1~2022.3.31	120,000
防火水槽敷地	相之島町	42.0	1993.10.1	2013.10.1~2023.9.30	1,500
器具置場敷地	仁礼町	21.7	1997.4.1	2018.4.1~2021.3.31	2,900
防火水槽敷地	坂田町	42.0	2000.12.7	2000.12.1~2020.11.30	3,000
防火水槽敷地	小河原町	9.6	1990.10.15	2010.10.1~2020.9.30	1,000
防火水槽敷地	塩野町	35.0	2015.12.18	2016.1.1~2026.12.31	1,500
合 計					281,800

3 備品購入費

品名	数量(基)	金額(円)
半鐘打鳴装置	5	982,800

4 消火栓設置及び維持管理負担金

- (1) 設置 15基 9,059,969 円
 (2) 維持管理(修繕) 6基 1,380,276 円

■ 消防施設整備事業

単位：円

当初 予算額	76,900,000	予算 現額	74,344,000	決算額	74,343,420	前年度 決算対比	848.9%	前年度 決算額	8,757,280
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

消防施設等の整備を図り、災害時の対応に万全を期する。

II 事業の成果等

消防団詰所の老朽化に伴い修繕工事を実施、防災基盤を強化した。
通信指令システム部分更新工事を行い、防災基盤を強化した。(6か年計画の1年目)

III 事業の実績

1 工事請負

工 事 名	工事場所	金額 (円)
消防団詰所修繕工事 (第8分団3部)	野辺町	903,420
消防緊急通信指令システム部分更新工事	消防本部・分署	73,440,000
合 計		74,343,420

9-1-4 (目)水防費

単位：円

当初 予算額	533,000	予算 現額	1,032,000	決算額	1,023,482	前年度 決算対比	198.3%	前年度 決算額	516,181
-----------	---------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

■ 水防対策事業

単位：円

当初 予算額	533,000	予算 現額	1,032,000	決算額	1,023,482	前年度 決算対比	198.3%	前年度 決算額	516,181
-----------	---------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

千曲川等の現地調査を行い重要水防箇所の把握及び水防活動方法を検討し、出水期を前に水防倉庫の点検及び管理委託を行うことにより水防資器材の整備をする。

II 事業の成果等

千曲川等重要水防箇所の現地調査を関係機関と実施し、水防活動時の協力体制を確認した。
水防資器材の備蓄状況の点検結果により適正な整備を行った。
令和元年東日本台風(台風第19号)の豪雨災害では、消防本部及び消防団が一体となり、関係機関との強固な協力体制や適正な備蓄品管理のもと、水防活動の初動から迅速かつ的確に事案対応できた。

III 事業の実績

1 委託

業 務 名	委 託 先	内 容	委託料 (円)
水防倉庫管理委託	須坂市消防団 第2.3.4.5.6.7.8.9.11分団	境沢町 外13か所 備蓄資材及び建物の点検管 理等 @1,900	26,600

2 工事請負費

なし

3 備品購入状況

なし

4 重要水防箇所現地調査

5月20日 参加者65人

5 水防活動用品購入

品名	数量	金額(円)
土のう用品(土のう袋、砂)	6,000枚、33m ³	571,320
水防原材料(ブルーシート、合板等)	ブルーシート34枚、合板28枚	195,892
合計		767,212

9-1-5(目)小布施分署費

単位:円

当初予算額	191,629,000	予算現額	190,124,000	決算額	189,299,766	前年度決算対比	108.5%	前年度決算額	174,547,773
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

■ 小布施分署運営事業

単位:円

当初予算額	55,923,000	予算現額	49,726,000	決算額	48,924,845	前年度決算対比	119.6%	前年度決算額	40,913,691
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

町民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

災害に対する対応力の向上と強化を図るため、自治会、事業所の消防訓練を実施した。

防火対象物、危険物施設等の立入検査を実施し、法令違反に対する指摘及び是正を指導し安全対策を推進するとともに、住宅防火訪問により、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理を促し、広く町民に対し火災予防を啓発した。

救急救命講習を開催し、町民への応急手当の普及を図るなか、町内小学校6年生を対象に救急救命に関する授業(命の教育)を行い、学齢期からの応急手当及び救急車の重要性の理解拡大に努めた。

III 事業の実績

1 研修

研修名	期日	人数(人)
県救急活動研究会救急担当者研究会議(上田市)	9月25日	1

2 庁舎管理

(1) 修繕等なし

(2) 委託

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
清掃業務委託	(株)岩野商会	床清掃	29,160

(3) 賃借等

業務名	内容	金額(円)
複写機等賃借	複写機、庁内電話機、自動体外式除細動器	371,155
寝具等借上	寝具、清掃用具	95,088
合 計		466,243

3 予防広報活動

(1) 火災予防運動等

- ア 春の特別火災予防運動 4月18日～4月22日
- イ 危険物安全週間 6月2日～6月8日
- ウ 秋季火災予防運動 11月9日～11月15日
- エ 春季火災予防運動 3月1日～3月7日

(2) 住宅防火対策

ア 防火訪問(伊勢町、横町、福原、中扇)

訪問世帯数(戸)	在宅世帯数(戸)	留守世帯数(戸)
468	318	150

イ 一人暮らし家庭防火訪問(65歳以上)(伊勢町、横町、福原、中扇)

訪問世帯数(戸)	在宅世帯数(戸)	留守世帯数(戸)
42	28	14

(3) 年末防火パトロール 12月1日～24日

4 警防活動

(1) 消防出初式兼検閲式 1月19日 松村公園駐車場他 参加者186人

(2) 消防訓練

- ア 小布施町総合防災訓練 6月2日 町内全域 参加者1,015人
- イ 県消防相互応援隊合同訓練 10月20日 令和元年東日本台風災害対応により中止
- ウ 消防団との合同消防訓練 10月27日 令和元年東日本台風災害対応により中止
- エ 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練 10月28日、29日
令和元年東日本台風災害対応により中止
- オ 春季火災予防運動消防訓練 3月1日 新型コロナウイルス対策により中止

(3) 訓練指導

区、事業所等への消防訓練指導 13件 参加者1,487人

(4) 保守点検委託

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
救急車搭載機器保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	傷病者監視モニタ 除細動器等	137,340
	共栄医科器械(株)	自動心臓マッサージ器 人工呼吸器	212,300
合 計			349,640

5 各種統計

(1) 火災出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
火 災		2		1	1		1	1	1	1	1	1	10
前年度比	△2	2	△1	1	△2		1	1	1	1	1		3

(2) 調査出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
危 険 物		1			1	1							3
ベル鳴動											1	1	2
怪 煙	1					1	3		2	1		1	9
水 害							3						3
火気取扱										1			1
電 気										1			1
そ の 他						1					1		2
合 計	1	1			1	3	6		2	3	2	2	21
前年度比	△1	△1		△1	△3	△2	6	△1		3	2	2	4

(3) 救急出動の状況

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
急 病	24	20	19	17	18	19	20	17	22	23	30	17	246
交 通	1	4	1	3	5	2	2	1	3	1	2	3	28
一般負傷	9	7	8	5	8	5	4	6	5	3	7	6	73
加 害				1									1
自損行為									1				1
労働災害					1								1
運動競技				1	1								2
火 災											1		1
そ の 他 ()は 転院搬送	7 (7)	1 (1)	7 (7)	8 (7)	12 (12)	9 (9)	7 (6)	5 (5)	7 (7)	9 (9)	6 (6)	9 (9)	87 (85)
合 計	41	32	35	35	45	35	33	29	38	36	46	35	440
前年度比	19	1	2	△11	△2	3	△4	△3	△7	△2	7		3

※ 出動件数 440 件のうち須坂市北部地域に救急第一出動した件数 10 件

6 普及啓発活動

(1) 応急手当

ア 救命講習等

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
応急手当普及員再講習	1	5
普通救命講習 I	2	16
救急講習	7	912
合 計	10	933

イ 命の教育

栗ガ丘小学校 6年生 1月16日 1回105人

(2) 救急広報

ア 救急医療週間 9月8日～9月14日

イ 救急の日 9月9日

(3) その他

ア 保育園防火指導 10月30日、11月7日、11月22日 3園 3回

イ 消防ふれあい広場 9月29日

7 車両装備等整備状況

救急車修繕 19,764円

8 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
タンク車 (600ℓ 水槽付ポンプ車)	1台	43,560,000
吹き流し	1式	46,440
蘇生法教育人体モデル	1式	168,156
合 計		43,774,596

9-1-6 (目) 高山分署費

単位：円

当初 予算額	119,848,000	予算 現額	121,363,000	決算額	120,640,072	前年度 決算対比	103.2%	前年度 決算額	116,944,891
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 高山分署運営事業

単位：円

当初 予算額	6,995,000	予算 現額	6,713,000	決算額	5,991,881	前年度 決算対比	98.6%	前年度 決算額	6,077,682
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

村民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害の軽減を図る。

II 事業の成果等

災害に対する対応力の向上と強化を図るため、自治会、事業所の消防訓練及び消防団との合同消防訓練を実施した。

防火対象物、危険物施設等の立入検査を実施し、法令違反に対する指摘及び是正を指導し安全対策を推進するとともに、住宅防火訪問により、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理を促し、広く村民に対し火災予防を啓発した。

救急救命講習を開催し、村民への応急手当の普及を図るなか、村内小学校5、6年生を対象に救急救命に関する授業（命の教育）を行い、学齢期からの応急手当及び救急車の重要性の理解拡大に努めた。

Ⅲ 事業の実績

1 研修

研 修 名	期 日	人 数 (人)
救急医学研修会	9月5日	14
県救急活動研究会救急担当者研究会議（上田市）	9月25日	1

2 庁舎管理

(1) 修繕等なし

(2) 委託

業 務 名	委 託 先	業務内容	委託料 (円)
清掃業務委託	(株)岩野商会	床清掃	21,600
自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	定期点検 (年2回)	46,200
合 計			67,800

(3) 賃借等

業 務 名	内 容	金 額 (円)
複写機等賃借	複写機、庁内電話機、印刷機、自動体外式除細動器	284,925
寝具等借上	寝具、清掃用具	73,638
合 計		358,563

3 予防広報活動

(1) 火災予防運動等

ア 春の特別火災予防運動	4月18日～4月22日
イ 危険物安全週間	6月2日～6月8日
ウ 秋季火災予防運動	11月9日～11月15日
エ 春季火災予防運動	3月1日～3月7日

(2) 住宅防火対策

ア 防火訪問 (12自治区)

訪問世帯数 (戸)	在宅世帯数 (戸)	留守等世帯数 (戸)
402	159	243

イ 一人暮らし家庭防火訪問 (65歳以上) 村内全域

訪問世帯数 (戸)	在宅世帯数 (戸)	留守等世帯数 (戸)
174	129	45

(3) 年末防火パトロール 12月1日～24日

4 警防活動

(1) 消防出初式兼検閲式 4月14日 高山村役場駐車場他 参加者130人

(2) 消防訓練

ア 高山村総合防災訓練 9月1日 高山村ふるさとふれあい広場 参加者344人

イ 消防団との合同消防訓練 10月5日 高杜神社周辺 参加者46人

ウ 県消防相互応援隊合同訓練 10月20日 令和元年東日本台風災害対応により中止

エ 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練 10月28日、29日

令和元年東日本台風災害対応により中止

(3) 訓練指導

区、事業所等への消防訓練指導 18件 参加者2,254人

(4) 保守点検委託

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
救急車搭載機器保守点検委託	日本光電工業(株)北関東支店	傷病者監視モニタ、除細動器、人工呼吸器等	191,230

5 各種統計

(1) 火災出動の状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
火災	1												1
前年度比	△1	△2	△1				△1	△1		△1		△1	△8

(2) 調査出動の状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
ベル鳴動	1												1
怪煙	1				1		1		1	1		2	7
水害							3						3
その他							1	1					2
合計	2				1		5	1	1	1		2	13
前年度比		△2		△1		△1	4	△2	1		△1	2	

(3) 救急出動の状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
急病	21	32	19	18	21	16	24	26	31	15	21	19	263
交通		1	2	2	1			2	1	1	2	1	13
一般負傷	5	1	5	1	4	7	7	4	3	9	6	5	57
自損行為	1	1			1	1					1	1	6
労働災害		2					1						3
運動競技											1		1
火災										1			1

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
その他 ()は 転院搬送	1 (1)	2 (2)	1 (1)		1 (1)	2 (2)	2 (2)		2 (2)		4 (4)	1 (1)	16 (16)
合 計	28	39	27	21	28	26	34	32	37	26	35	27	360
前年度比	1	10	△4	△7	△13	4	7	11	14	△4	3	9	31

6 普及啓発活動

(1) 応急手当

ア 救命講習等

講習種別	開催回数 (回)	受講数 (人)
応急手当普及員再講習	1	1
普通救命講習 I	3	24
救命入門コース	1	4
救急講習	6	200
合 計	11	229

イ 命の教育

高山小学校 5年生 11月27日 66人
6年生 11月28日 68人

(2) 救急広報

ア 救急医療週間 9月8日～9月14日

イ 救急の日 9月9日

(3) その他

ア 保育園防火指導 1園 11月12日、1月10日 2回

イ 広報紙発行 年3回隣組回覧 864部

7 車両装備等整備状況

(1) 高山1号車 (セルモーター) 修繕 33,264円

(2) 救急車搭載傷病者監視モニタ修繕 108,064円

8 備品購入状況

品 名	数 量	金 額 (円)
空気呼吸器用軽量ボンベ	2本	363,000
空気呼吸器 (A-12)	3器	761,400
仮眠室用エアコン	1台	280,800
合 計		1,405,200

款 10 教 育 費

(款10)教育費

単位：円

当初 予算額	2,559,476,000	予算 現額	3,387,796,000	決算額	3,086,803,301	前年度 決算対比	127.8%	前年度 決算額	2,414,903,510
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

10-1-1(目)教育委員会費

単位：円

当初 予算額	3,968,000	予算 現額	3,838,000	決算額	3,644,630	前年度 決算対比	96.5%	前年度 決算額	3,775,320
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 教育委員会運営費

単位：円

当初 予算額	3,968,000	予算 現額	3,838,000	決算額	3,644,630	前年度 決算対比	96.5%	前年度 決算額	3,775,320
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

教育行政に市民要望を反映させ、子どもたちや市民に豊かな教育を施すため、教育委員会の円滑な運営を図る。

II 事業の成果等

月1回の定例教育委員会及び2回の臨時教育委員会を開催し、教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の進展に資することができた。

III 事業の実績

1 教育委員会の開催

定例教育委員会 12回 臨時教育委員会 2回

2 審議の内訳

議題 55件 協議事項 14件 報告事項 51件 その他 58件 計 178件

3 教育委員会の人事

丸山浩恵委員の教育委員任期が令和元年9月30日に満了となり、新たに水上智恵氏が10月1日付けで教育委員に就任した。

令和2年3月31日現在

職名	氏名	就任	任期
教 育 長	小 林 雅 彦	平成30年4月1日	令和3年3月31日
教育長職務代理者	神 戸 要 子	平成28年10月1日	令和2年9月30日
委 員	土 屋 保 男	平成29年6月21日	令和3年6月20日
委 員	二ノ宮邦彦	平成30年10月1日	令和4年9月30日
委 員	水 上 智 恵	令和元年10月1日	令和5年9月30日

4 総合教育会議の開催

開催日 1月27日

主な内容 少子化に対応した小中学校のあり方について
地域と学校とのつながり
小学校通学用「標準かばん」について

5 総会・大会等への参加

- (1) 長野県市町村女性教育委員連絡協議会総会 6月18日
伊那市 丸山委員出席
- (2) 長野県市町村女性教育委員連絡協議会研修会 9月30日
小布施町 神戸教育長職務代理者・丸山委員出席
- (3) 長野県市町村教育委員会研修総会 10月11日 飯田市 教育委員全員出席

6 須高市町村教育委員会研究協議会

期 日 11月14日 須高3市町村教育委員全員
場 所 小布施町役場2階 第1会議室
研究内容 少子化対策について（教育活動の取り組み）
保育園と小学校の連携について
幼児教育・保育の無償化への対応と保育士確保策について
ICT支援機器導入の成果と課題
プログラミング教育への対応とPC・タブレット端末等ICT機器の充実について
令和元年東日本台風で被災した児童・生徒へのケアは？
全国学力テストや共通テスト結果の扱いと考察、家庭へのフィードバックについて
小中学校での、スマホ、ケータイ使用の指導の実態について
小中学校における時間外及び休日の留守電対応について
小学校での給食時間について

7 小・中・高等学校競技会等出場選手激励金の交付

全国的な競技会等に出場する児童・生徒に激励金を交付することにより、スポーツ・文化活動の振興を図った。

大会名	出場期間	区分	金額(円)
第35回 全国小学生陸上競技交流大会	8月9日～10日	1個人	3,000
第59回 全国中学校水泳競技大会	8月17日～19日	1個人	6,000
第35回 全国高等学校簿記コンクール	7月20日	1団体	12,000
第66回 全国高等学校珠算・電卓競技大会	8月1日	2個人	6,000
令和元年度 全国高等学校総合体育大会	8月4日～8日	2個人	6,000
第50回 全国中学校卓球大会	8月20日～23日	1個人	3,000
第70回 日本学校農業クラブ全国大会 クラブ員代表者会議	10月22日～24日	1個人	3,000
第70回 日本学校農業クラブ全国大会 農業鑑定競技会	10月22日～24日	1団体	15,000
2019年 全日本卓球選手権大会（カデットの部）	11月8日～10日	1個人	3,000
第33回 全国都道府県対抗中学校バレーボール大会	12月25日～28日	2個人	6,000
2020年 全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）	1月13日～16日	1個人	3,000
第46回 全国造園デザインコンクール	1月6日～16日	5個人	15,000
計			81,000

10-1-2(目)事務局費

単位：円

当初 予算額	119,485,000	予算 現額	118,105,000	決算額	112,070,439	前年度 決算対比	105.3%	前年度 決算額	106,392,855
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	27,791,000	予算 現額	27,818,000	決算額	21,830,437	前年度 決算対比	136.8%	前年度 決算額	15,955,024
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

教育委員会事務局としての事務を処理し、教育行政の円滑な推進を図る。

II 事業の成果等

教育委員会事務局としての事務を処理し、教育行政の円滑な推進に資することができた。

III 事業の実績

1 「須坂市の教育」平成30年度版の作成

教育委員会、教育財政、学校教育、社会教育、人権同和教育、社会体育等、当市の教育の全内容を網羅した「須坂市の教育」を作成し、須坂市のホームページに掲載した。

2 電気保安業務委託

小・中学校等の電気保安管理業務を委託した。 16施設 2,247,144円

3 中国四平市との親善交流事業

8月10日から13日まで、中華人民共和国四平市との友好都市締結25周年を記念し、須坂市友好訪問団の一員として中学生8人を四平市へ派遣した。

4 中高生海外研修事業

バランスの取れた国際感覚を持つ人材の育成を目的に、市内中高生がアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市に短期留学する事業を企画し、受託業者をプロポーザル方式により選定した。参加中高生は、公募の結果21人の応募があり、審査の結果14人の参加者を決定した。3月23日から30日までの海外研修に向けて、参加者対象の事前研修会を2回開催するなど準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2月28日に中止を決定した。

受託業者には契約に基づき契約額の20パーセントの委託料を支払った。

受託業者 (株)日本旅行長野支店 委託契約額5,968,000円 支出額1,193,600円

5 訴訟代理業務委託

事件名 東京高等裁判所 平成31年(ネ)第1512号 損害賠償請求事件

代理人 弁護士 藤原寛史氏、弁護士 北村純子氏

内容 須坂市を被告とする損害賠償請求事件の1審判決を不服として原告が控訴した控訴審に対し、令和元年7月1日の口頭弁論から令和元年9月11日の判決まで裁判対応
令和元年9月11日判決(控訴を棄却。控訴費用は控訴人の負担。)

控訴人は判決を違法として、最高裁判所に上告兼上告受理申立書を提出

最高裁判所は令和2年3月27日に次のとおり決定

上告を棄却。上告受理申立てを上告審として受理しない。上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。

代理人費用 控訴審 235,112円 上告審 386,943円 計622,055円

6 旧第2通学区の高校の将来像を考える協議会

長野県教育委員会による県内高等学校の再編の取り組みに関し、県教育委員会から旧通学区単位で「高校の将来像を考える地域の協議会」を設置し、旧通学区内の将来を見据えた高校の学びのあり方と具体的な高校の配置について意見・提案するよう依頼があったことから、旧第2通学区については須坂市、中野市、小布施町、山ノ内町、高山村の自治体の首長、教育長、産業界代表、地域代表、学識経験者等、計29人を構成員として協議会を設置した。会長は須坂市長、副会長は中野市長とし、須坂市教育委員会事務局、中野市教育委員会事務局、県教育委員会事務局高校教育課が事務局を担うこととした。

時 期	会 議	内 容	会 場
6月3日	第1回会議	①協議会の設置 ②会長・副会長の選出 ③県高校改革実施方針 ④旧第2通学区における少子化等の現状	須坂市中央公民館
7月23日	住民説明会	①県高校改革実施方針 ②旧第2通学区における少子化等の現状	須坂市中央公民館
8月6日	須高地区分科会	①須坂市内高等学校関係者からの意見聴取 ②意見交換・協議	須坂市役所
8月26日	中野・山ノ内地区分科会	①中野市内高等学校関係者からの意見聴取 ②意見交換・協議	中野市役所
11月18日	高等学校視察及び第2回会議	①中野立志館高等学校視察 ②須坂創成高等学校視察 ③意見交換・協議	中野立志館高等学校、 須坂創成高等学校
1月31日	第3回会議	①論点整理及び意見書構成案について ②今後の日程について	中野市市民会館
3月16日	第4回会議	①県教育委員会への提案書案について	須坂市中央公民館
3月23日 ～	パブリックコメント	①県教育委員会への提案書案についてパブリックコメントを実施（4月20日まで）	

7 新型コロナウイルス感染症対策のための小学校・中学校・特別支援学校における一斉臨時休業

新型コロナウイルスに関して、2月27日に内閣総理大臣による全国の公立小・中・高等学校・特別支援学校の一斉休校の要請が発表され、翌28日付けで文部科学省から一斉臨時休業の通知があったことから、須坂市教育委員会では、市校長会長、市中学校長会長に意見を聞いたうえで、3月2日から各校の卒業式の前日までを臨時休業とした。

10-1-3(目)教育奨励費

単位：円

当初 予算額	205,259,000	予算 現額	204,030,000	決算額	187,260,938	前年度 決算対比	100.2%	前年度 決算額	186,946,932
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 教育奨励事業

単位：円

当初 予算額	15,774,000	予算 現額	14,850,000	決算額	14,369,785	前年度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	13,388,785
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

地域に開かれた特色ある教育・学校づくりや、学校・家庭・地域が、それぞれ果たす役割を自覚し、ともに連携し、子どもたちの「生きる力」を育み、将来を見据えて、育て合い・生き合う教育を推進する。

II 事業の成果等

各小・中・支援学校における特色ある教育・学校づくり推進事業及び信州型コミュニティスクールの運営・学習活動により、地域に開かれた学校づくり、心豊かでたくましく、国際的視野をもち、主体性ある人材育成が一層進むとともに、総合学習への積極的な取り組みにより推進が図られた。

III 事業の実績

1 特色ある教育・学校づくり推進事業負担金

児童・生徒の「生きる力」を育むための事業と学校評議員制度に代わる信州型コミュニティスクールの運営・学習活動を核とした、特色ある教育・学校づくり推進のための活動に対して、各小学校に31万円、各中学校に61万円、須坂支援学校に23万円の負担金を交付した。

各学校の主な活動

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
須 坂 小 学 校	1 地域の人材をいかした活動 3～6年の書道学習、茶道クラブに地域の講師を招き、体験や示範を交えて専門的な力を活かして児童に指導をしていただき、専門的な知識や技術を教えていただく良い機会となり、充実した活動となった。
	2 安全で安心できる学校環境づくり 校地内整備のために重機をリースしたほか、校内の施設備品の修繕・清掃や校地内の樹木の管理等の環境整備を行い、児童の安全を図った。
	3 栽培及び環境整備活動 苗や肥料を購入し、学校菜園での八町きゅうり、さつまいもなどの栽培活動を行った。また、人権の花の取組みのほか、卒業式に向けての一人一鉢の花づくり（2、3年生）を行い、植物の成長について学習した。
	4 特別支援教育の推進 個別のつまずきに寄り添った学習を進めるため、特別支援教育の視点に沿った学習プリントを購入・活用することで、目当てをもって自主的に学習を進める姿や、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。
	5 学力向上 児童の家庭学習やドリル学習で使えるプリント集を更新した。また、新学習指導要領に対応した評価についての資料書籍を購入し研究を進め、教員のスキルアップに努めた。
	6 健康教育などの推進 歯科衛生士による歯科指導を実施し、適切な歯磨きの方法や、歯の大切さについて学習した。また、感染症予防のために、手指消毒剤や給食台専用バケツを購入し、感染症対策を行った。
	7 文化的活動 市の学芸展に児童の作品を出品した。
	8 学校運営委員会の運営 くぬぎの森学園運営委員会（信州型コミュニティスクール運営委員会）を3回開催し、地域との連携のみでなく、学校の活動についても幅広く意見交換ができた。
	9 学習環境支援 児童の教具が整理して置けるよう、材料を購入し、廊下に棚を作ったほか、学力調査やQU調査の結果を6年間通して整理・管理できるよう、ファイルを購入した。

特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容	
小山小学校	<p>1 児童の主体的・対話的な学習環境づくり 全学年にA2サイズのホワイトボードを導入し、児童が対話しながら考えを練り上げるツールとして活用し、児童同士が意見を交換しながら考えを深め、追及していく事例が見られ、主体的・対話的で深い学びへの手応えが感じられた。</p> <p>2 栽培及び環境整備活動 学校農園整備のためのマルチシート、稲作体験用の鎌を購入、児童が実際に農作業を体験することで、生産の手順を知ると共に、農業に従事している方の苦労や工夫を感じることができた。また、学校農園での収穫物を使っての調理や異学年間交流活動が広がった。</p> <p>3 地域の人材を活かした活動・特色ある教育振興活動 クラブ活動（囲碁将棋、ゲートボール、調理）に地域の講師を招き、専門分野でのご指導をいただき、専門的な知識や技術を教えていただく良い機会となり、充実した活動となった。また、書写指導、灯籠作り、本の読み語り、絵手紙指導、家庭科支援、戦争体験講話、雅楽・神楽鑑賞など、総合的な学習など様々な学習の場面で、地域の講師を招く学習活動を行った。合唱団の各種コンクール、ボーカルアンサンブルフェスティバル（1チームが金賞）への参加、外部講師を招いての合唱練習等を側面から支援することができた。また、信州型CS「栃木コミュニティスクール」の運営委員会の実施や、読み語りボランティア「とちのみ」の会の活動支援を行った。</p> <p>4 社会との豊かなふれあい事業 学芸展・あゆみ展の児童作品制作を通して児童の情操を育て多数出展することができた。また、地域の講師にご指導いただいた灯籠を、竜ヶ池の「灯籠流しの夕べ」で飾り、地域の方々とともにその風情を楽しんだほか、5年生のジュニアエコノミーカレッジ参加を支援し、キャリア教育の一環とすることができた。</p>
森上小学校	<p>1 生活科・総合的な学習の時間・生活単元学習推進 活動を充実させることで、主体的・対話的な深い学びを中核に据えた教育課程に寄与できるよう、各学年において、サツマイモの栽培、味噌作り、りんご収穫、親子食育学習、灯籠作り、須坂の歴史学習などを行い、それぞれの学年において、全校児童及び保護者の前で学びの成果を発信した。今後は、さらにカリキュラムマネジメントを意識して、他教科との関連を深めていく。</p> <p>2 教育振興活動 合唱コンクール、自転車大会等へ参加したほか、あゆみ展や学芸展に作品を出品した。また、手作りホワイトボードを用い、児童が対話しながら考えを練り上げるツールとして活用し、児童同士が意見を交換しながら考えを深め、追及していく事例が見られ、主体的・対話的で深い学びへの手応えが感じられた。</p> <p>4 環境教育・緑化栽培 正門周辺、あいさつ道路、体育館裏、校庭南側側溝の清掃を行い、奉仕の心や環境美化意識を磨いたほか、校地内の畑や花壇、池を利用しての花の栽培を行い植物の成長について学習した。</p> <p>5 勤労生産・飼育活動 さつまいもの栽培を通して、姉妹兄弟学級で交流した。うさぎの飼育、蛙や自生する植物類の観察を行った。</p> <p>6 情報教育活動 児童のための情報モラル学習、薬物防止教室、万引き防止、心の教育等の講演会を通じ、児童の情操教育の一助とすることができた。</p> <p>7 音楽教育・道徳教育 外部講師による音楽会のための指導や合唱コンクール参加のための伴奏者補助により、合唱表現に関しての理解が深まった。また、道徳科の教科化による資料整備を行った。</p>

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
日滝小学校	<p>1 地域の人材を生かした活動 外部講師による4つのクラブ活動を行った。また、書き初め指導や、朝の読み聞かせ等を通じて、書写や読書に興味・関心を持つことができた。なお、例年実施のお琴教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休校措置により実施できなかったが、次年度以降も継続して実施をしていく予定。</p> <p>2 子どもたちの健康を考える活動 歯科衛生士を招き、歯の健康教室を実施し、歯磨きの大切さや正しい磨き方を学習した。</p> <p>3 栽培活動及び環境整備活動 全校でさつまいもを栽培し、姉妹学級で焼き芋大会を行い交流したほか、大型水槽用に金魚を購入し、飼育を通して観察を行った。</p> <p>4 特色ある学校の中核活動 アサガオのつるを使ったリース作り、大豆からの味噌作りのほか、子どもやんしゃのパソコン事前学習、廃材から物を創る活動や、学級だよりを綴じこんだ思い出のアルバムを制作した。</p> <p>5 特別支援教育の推進 来年度からのMIM (Multilayer Instruction Model) 教材の作成のほか、特別支援教室に簡易型の遊具を設置した。</p> <p>6 学力向上 宿題用プリント冊子を購入したほか、年間指導計画策定用に到達目標と評価基準5冊セットを購入した。</p> <p>7 文化的活動 学芸展への参加費のほか、卒業証書授与式の花代として活用した。</p> <p>8 学校運営委員会の運営 年3回の信州型コミュニティスクールの開催、多くの地域の講師、ボランティアとともに、児童の育成ができた。</p>
豊洲小学校	<p>1 俳句学習 毎月、「俳句の日」の作品展示や、外部講師による俳句学習を行った。各種俳句大会へ応募し多数の児童が入選した。日々の生活の中で感じたり、思ったりしていることを俳句として表現する学習を通して豊かな感性や表現力の育成につながってきている。俳句集会では講師の講演のほか、俳句発表を行い、代表児童が大きな声で堂々と自分の作品を発表、児童相互に感想を伝え合った。児童の言葉による表現が、豊かで季節を感じられるものになってきている。</p> <p>2 JRC (ボランティア) 活動の充実 JRC登録式、朝のVS活動 (ごみ拾い、草取り、グラウンド整備、廊下や壁の汚れ落としなど) を行う中で、児童に奉仕の心の高まりが見られ、自分の事だけではなく、全校のこと、下級生のことを考えて行動できる姿が見られた。</p> <p>3 環境・栽培活動 各学年花壇の整備、学校農園で野菜 (さつまいも、じゃがいも、きゅうり、大根など) を栽培し、季節の野菜を使ったいろいろな料理に挑戦し、収穫を祝う活動ができた。 (被災で残念ながら収穫できない野菜もあったが、継続して取り組んでいきたい)</p> <p>4 生活科学習・総合的な学習 アサガオ学習、大豆栽培、りんごの栽培と収穫、福祉体験学習、豊洲フェスティバルの計画・準備や、カッタカタまつりへの参加を通して、自分の住む地域や社会とのかかわりに関心をもって、それらと主体的にかかわり、その中で安全で適切な行動ができるようになってきた。また、活動や体験を通じて、表現力や思考力が育まれた。</p> <p>5 学力定着 学習プリントを購入し、清掃後の全校一斉ドリルの時間や、水曜日を清掃不用日としたスーパードリルタイムを設け、英語の教科化に向けた国語 (漢字学習) のモジュール化を図った。また、児童の実態に応じたプリントなどを活用することで、目当てをもって自主的に学習を進める姿や、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。</p>

特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容	
日野小学校	<p>1 地域との融合及び環境教育 地域の講師から、ヨガ、カヌー、和太鼓、書初めを指導していただいた。 「いずみまつり」を日野地域づくり文化祭に合わせて開催した。「名人講座」では地域の方を名人として講師に迎え、16の講座（手芸、水・空気鉄砲、わりばし鉄砲、竹とんぼ等）でご指導いただいた。普段の授業とは違った雰囲気の中で児童は楽しみ、地域の良さを感じることができた。PTAも事業（出店等）を催した。 地域の書道会から講師を招聘し、書き初めの指導を受けた。</p> <p>2 校内環境・環境教育 地域の魚等の生き物を集めたアクアワールドの維持管理を行い、児童の環境教育に役立てた。また、児童会が中心となり、中庭中央花壇の手入れを行った。</p> <p>3 特別支援教育 特別支援学級拠点校として、児童の個々に応じた特色ある教育を進めたほか、登校支援の必要な児童の居場所や活動の場（相談室）を設け、活動を支援した。</p> <p>4 生活科、総合的な学習、特別活動 地域産業を学ぶ地域学習や村山早生ごぼう栽培体験、地域の郷土食など招聘した地域の講師を通して、地域学習の充実を図ることができた。また、特別支援学校に通っている校区の子どもを招き居住地交流を活発に行い、地域の子どもたちとのつながりを深めた。</p> <p>5 日野小コミュニティスクール運営 日野小コミュニティスクール運営委員会定例会の運営費補助、運営委員を運動会、他の学校行事や授業参観等に招待し、児童の様子をご覧いただき、広い見地からのご意見を頂くことができた。</p>
井上小学校	<p>1 地域の人材を活かした活動 月2回の学校便りを地域回覧用として地域に配布、地域の講師を招き、学校行事や体作り運動、書写、味噌作りなどの指導をしていただいた。地域ボランティアの協力により、5年生の田植え、稲刈り、脱穀、餅つきを体験した。</p> <p>2 安全で安心できる学校環境づくり 地域安全ネットワーク総会で地域の関係者とともに、児童の安全確保に向けた取り組みを進めている。図書館利用者のための環境改善として、畳の表替えを行った。</p> <p>3 栽培・環境づくり活動 5年生が井上保育園年長とさつまいもの栽培を行い、秋の収穫祭で交流した。「人権の花」運動に参加し、姉妹学級で土作りから花植えまで行った。</p> <p>4 特別支援教育の推進 特別支援学級において、生活単元学習や日々の授業に必要な消耗品（ファイル、バインダーなど）を購入した。</p> <p>5 学力向上 学力向上に向けた資料収集及び資料を作成した。 家庭科では、地域支援ボランティアが裁縫のお手本にお手玉を作り、児童は意欲的に学習に取り組んだ。</p> <p>6 特色ある課外活動の推進 クラブ（ゲートボール、手芸、かご作り、将棋、音楽）活動に地域の講師を招き、年6回指導をしていただいた。また、1年生は保育園年長児と学校のプールで交流学習を複数回行った。</p> <p>7 文化的活動 学校寄席で落語家と切り絵師の芸能に触れ、情操を養うことができた。また、市の学芸展に児童の作品を出品した。</p> <p>8 学校運営委員会の運営 学校運営委員会を開催し、意見交換、学校支援活動内容の検討や調整、学校関係者評価等を行った。</p>

特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容	
高甫小学校	<p>1 全校登山 全校登山をPTAと共催で実施し、児童・教職員のほか、地域の方々や保護者も多数参加した。</p> <p>2 地域交流活動 児童の健全育成として「高甫ふれあい委員会」では、児童の学習状況や地域における生活面及び安全面での情報交換を丁寧に行い、地域での指導協力をいただいた。また、毎月11日に高甫交通安全の日（お地藏さん供花）を設定し、お参りと清掃、交通安全の確認などの活動を行った。毎年、交通安全への意識向上のために交通安全標語を募集し、優秀作品への表彰のほか、高甫地域の全家庭に標語ポスターを配布した。クラブ活動では、8つのクラブ（生け花、お茶、手作りブローチ、手作りおもちゃ、郷土の料理、オカリナ、探検、スラックライン）の指導を地域の方にお願ひし、専門的な知識や技術を教えていただく良い機会となり、充実した活動となった。</p> <p>3 学芸交流活動 学芸展・あゆみ展などへの出品、合唱コンクール、ボーカルアンサンブル、陸上大会などに参加して多数入賞した。また、高学年を対象に、地域の講師に書き初めの指導をしていただき、見違えるような上達ぶりが見られた。</p> <p>4 栽培飼育活動 全学年で畑づくりを行い、様々な野菜を育て、特に3・4年生は地域の伝統野菜でもある八町きゅうりを育て、収穫したものを給食センターに卸し、須坂市内の小学校のメニューに取り入れてもらっている。また、3年生がヤマメの飼育に取組み、地域づくり推進委員の皆さんの協力を得て、4年生の4月に鮎川に放流した。</p> <p>5 特別支援教育活動 一人ひとりの興味関心や学習進度に合わせて指導ができるよう、iPadなどの教材の導入を進めた結果、活動の幅が広がり、子どもたちが落ち着いて学習できる環境が整ってきた。</p> <p>6 教育振興活動 プール学習で利用するワイヤレス電話を購入し、子どもたちの安全面に万全を期した水泳指導を行うことができた。また、学校での教育活動をビデオに録画保存し、次年度への引継ぎに役立てることができた。</p>
旭ヶ丘小学校	<p>1 栽培・飼育活動の充実 信州型コミュニティスクールでの取り組みの一環として、旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクトの方々の協力を得て、中庭花壇の整備を行った。フラワーブラボーコンクールで県知事賞を受賞した。育てた花の苗を地域に配付したり、プランターを地域の施設に設置したりし、協力いただいた方々を招待して「感謝の会」を開催した。 学級の活動として農園の土作り、さつまいもや大豆栽培を行った。また、マツバギクの苗を育て、旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクトの方々とイチヨウ並木に植栽した。環境委員会が中心になって校内美術サロンや職員玄関の水槽の魚のほか、うさぎの飼育に取り組んだ。</p> <p>2 ボランティア活動の充実 生活科で地域のお年寄り（すこやかさん）と、ふれあいプラザで交流を深め、学校行事にも招待して交流を深めた。クリーンデーは登校時のごみ拾い、回収したごみを展示し、地域でのマナーや資源の有効活用について児童会が児童に呼びかけ、環境学習に役立てた。また、アルミ缶回収の収益で新型の車椅子1台を購入し、やすらぎの園へ寄贈した。本年度の取組みで20年目の節目を迎えた。</p> <p>3 地域の人材を活かした活動 地域の方々の指導を受けながら、農作物の栽培、工場や商店の見学など様々な体験学習を行った。</p> <p>4 文化的活動 市内学芸展、あゆみ展、親善音楽会への参加、校内における版画展、描画展等の実施、音楽会は外部講師を迎え、よりよい歌声、音色で奏でることができるよう練習に励んだ。</p> <p>5 特色ある課外活動の推進 金管バンドでは楽器演奏への技能を高めながら、音楽会で演奏を披露した。保護者や地域の皆さまから熱い応援をいただき、吹奏楽の夕べにも参加した。</p> <p>6 学力・体力の向上、指導力向上のための活動 毎日の日課に20分の「つぼみの時間」を設定し、不得意分野等の克服、基礎的な内容の理解と定着を図るために個に応じた教材を準備、今年度は、学校独自に秋の総合学力調査を実施し、結果を補充・補充学習につなげている。</p> <p>7 安全・安心、健全育成活動の充実 PTAと協力して安全マップの作成や交通安全教室を実施したほか、昇降口傘立ての修理・ペンキ塗りについて、PTAを通じ親子で行った。また、インフルエンザ等の流行に合わせ、各学級にデジタル温湿度計を設置し、自分たちで健康維持の環境づくりを意識できるようにした。</p> <p>8 学校運営委員会の運営 信州型コミュニティスクール運営委員会を開催、継続的な地域交流・連携ができるよう打合せ、学校評価の関係者評価にも関わっていただいた。</p>

特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容	
仁礼小学校	<p>1 福祉・交流 自己表現や思いやりの気持ちを育むため、福祉施設（グリーンアルム、ぬくもり園）との交流を行った。豊丘小学校、仁礼保育園や須坂支援学校と交流を行った。</p> <p>2 栽培活動・環境整備活動 みどりの少年団活動で花壇づくりを行った。うさぎや金魚の飼育、農園でさつまいもや野菜づくりを行い、栽培活動を通じて、食物を育てる楽しさや働くことの喜びを味わうことができた。また、ウサギ・金魚、メダカ、ハムスターの飼育を通じて、命の大切さや尊さを学ぶことができた。</p> <p>3 学校環境づくり 音楽会では、昨年度修復したリードオルガンを業者（松本ピアノ）によって体育館へ運んでいただき、全校合唱の際に演奏を行った。</p> <p>4 読書活動支援事業 読書活動の振興に努めた（図書貸出数：一人あたり6.6冊/月）。ボランティアによる読み聞かせを9回実施した。また、年2回全校集会行事として読み聞かせスペシャルを行い、読書に親しんだ。</p> <p>5 特別支援教育の推進 子どもの困り感や危機回避の観点から特別支援教室の環境整備を行った。また、不登校傾向の児童のための個別学習教室を支援したほか、認知トレーニングや特殊音節のつまずきへの支援として、コグトレやMIM (Multilayer Instruction Model) を購入した。</p> <p>6 地域の方から学ぶ 地域の講師により、クラブ活動のうち、クラフト、囲碁将棋、土笛、英語、バスケットボール、卓球の指導のほか、おやき作りや食育事業の一環として行った味噌作りなど、専門的な知識や技術を教えていただく良い機会となり、充実した活動となった。</p> <p>7 課外活動 合唱部がNHKコンクール、ボーカルアンサンブルフェスティバル（金・銀賞）に参加した。陸上部は須高大会で多数入賞した。</p> <p>8 学力向上 外部講師を招き、教員の授業力向上研修を行ったほか、地域の方に放課後学習支援をお願いし、希望する児童が参加して、不得意分野の克服につなげた。</p>
豊丘小学校	<p>1 連学年、縦割り活動 低学年、中学年で班を作り遠足を実施した。縦割り班ごとに、校庭で飯ごう炊さんによるカレー作りを行い、片付けを含めて協力し合い取り組むことができた。年2回、縦割り清掃の期間を設定し、自分たちが使う学校を美しく保つ心を育むとともに、高学年はリーダーシップを発揮、低学年はそれに協力することで力を合わせて活動することの大切さを体感し、低学年が清掃の仕方を学ぶ良い機会ともなった。</p> <p>2 講座体験学習「園里っ子」 地域の方々の協力を得て、おやき、そば、やしょうまなど地域に伝わる食べ物づくりの他、羊毛フェルト、切り絵、絵手紙、豆本作り、木工、理科実験など9講座を開設し、講座を通じて交流を深めた。</p> <p>3 花づくり 中庭の花壇作りに取り組み、須坂市花のまちづくりコンクールで奨励賞を受賞した。この活動を通して、命の大切さにふれながら自然に親しむ環境教育の充実を図ることができた。</p> <p>4 豊丘の自然や地域の方々とのふれあい 栽培活動（だいこん、さつまいも、大豆など）、収穫祭、地域巡り等を実施した。地域の講師を招いて、味噌作り、書写学習、読み聞かせ・紙芝居を行った。</p> <p>5 各種大会参加 陸上競技大会（須高、北信、県）、須高自転車大会、ボーカルアンサンブルフェスティバル（銀賞）、金管バンドは豊丘ふれあいまつりに参加した。</p>

特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容	
常盤中学校	<p>1 教科指導、体験的・自主的な学習の充実と学力の向上 キャリア教育で3年生が高校の先輩の話を聴き、自分の進路実現の際の参考にして、将来の生き方を見つめる良い機会となった。また、ICT教育充実のため、パソコンとプロジェクターを接続するケーブルをワイヤレス化し、働き方改革の一助とすることができた。家庭科で浴衣の着付け学習を行い、貴重な経験となったことから生徒には好評であった。放課後学習用に英語教材を導入したほか、道徳の副教材として、長野県の先生方が独自に製作した「私の築く道しるべ」を導入し、生徒の情操教育に役立てた。</p> <p>2 特別支援教育の充実 特別支援学級の生徒たちが学習しやすい環境を整えたり、教材・材料等を購入したりして、自立活動や生活単元学習の充実を図った。生徒たちは生き生きと活動することができた。</p> <p>3 生徒指導、心の教育、保健教育・安全教育の充実 生徒指導の充実を図るためにハイパーQ-Uを実施、より客観的に学級集団の状況を把握したりして学級指導に生かしたほか、学級の合唱活動充実のために、1学年の学級に1台ずつCDラジカセを導入、生徒の活動意欲や技術の向上に役立てた。</p> <p>4 地域に学び、地域や保護者と協働する学校 年3回ある信州型コミュニティスクールでは、参加者に学校や生徒の様子を参観していただいたり、日頃の様子で感じたりしていることについて、学校運営に係るご意見をいただき、今後の学校運営、校友会活動など学校と地域の絆をより深めるためのご示唆をいただいた。</p>
相森中学校	<p>1 授業内容の充実と改善 学力向上に向けて授業づくり（改善）を推進し、自主的に授業に取り組む環境整備のために、技能教科で教具を準備した。また、特別支援教育の充実を図るため、コミュニケーション能力を向上させていく学習を効果的に進めていく上で有効な教具を準備した。</p> <p>2 特色ある学校行事の充実 校庭大運動会は、当日の天候は雨であったが、プログラムの進行順を変更し、生徒会役員を中心に生徒全員で作り上げて、これまでの練習の成果を十分に発揮するとともに、達成感と所属感を味わうことができ、生徒の自信を深めた。生徒会活動にて、全校でカンナ・プロジェクトに取り組み、NPO法人の協力のもと、カンナの花を育て、採れた種をNASAに送る活動を行った。また、将来につながるキャリア教育を展開し、特に2年生での職場体験学習、立志式等も取り入れ、様々な生き方に触れ、自分の進路実現の際の参考にして、自己の将来を見つめる良い機会となった。</p> <p>3 生徒指導の充実 生徒指導の充実を図るために年2回のQ-Uを実施し、他のアンケート結果とも合わせ、個別面談につなげる手立てとして活用した。また、学校生活のルールを理解していただくため、「よくわかる相森中学校」という掲示物を作成、全校に配布し、保護者に対してもルールの周知・徹底を図った。</p> <p>4 交流教育の充実 学芸展、あゆみ展に積極的に出品した。</p> <p>5 体験学習の充実 相森中コミュニティスクールの導入により、地域支援ボランティアの方々に、放課後学習会や家庭科の授業での学習支援をいただいたほか、校舎内花壇の手入れ方法について、園芸委員会の生徒を中心に支援をいただいた。</p> <p>6 専門部活動の充実 部活動への取り組みを充実させるため、可能な範囲内での環境整備及び備品補充を行った。</p> <p>7 学校環境の整備 生徒が安心して、気持ちよく生活できるよう、校舎内外の環境について、花壇の整備や修理が必要な箇所の補修及び清掃用具を補充した。</p> <p>8 学校運営委員会の運営 信州型コミュニティスクールを3回開催し、運営委員の方々から学校の運営面に関する貴重なご意見をいただくことができた。</p>

	特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容
墨坂中学校	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力向上に向けた授業の充実、改善 授業の中に協同的な学びの学習を位置付け、各クラス、特別教室にまなボードを用意し授業を行なった。また、ICT機器を活用した授業を意識し、デジタル教科書の活用を進めた。 2 心の学力の育成 3学年生徒が広島平和学習や中国四平市との交流体験学習に参加した経験を全校集会で発表し、平和を尊ぶ意識や国際理解の高まりを全校で共有することができた。また、家庭科では、和食料理人を招き一流の技を学んだほか、立志式に向け、講師の先生を招き、合唱指導を受けることで、立志への気持ちを高めることができた。 3 生徒指導の充実 専門の講師を招き、ネット社会でのメディアリテラシーについて学習し、情報モラル教育の一助とした。また、不登校生徒及び教室へ入ることに抵抗を感じている生徒に対して、学習室での交流会を実施し、生徒同士が意見を交換しながら考えを深め、交流を深めた。 4 特別支援教育の推進 墨坂中学校区特別支援学級の生徒・児童と交流活動を行ったほか、生活単元で育てた作物の収穫祭を行った。 5 総合的な学習の時間、体験学習の充実 キャリア教育の一環として、本校卒業生で世界水泳に出場した佐藤綾さんを招いて講演会を実施、講演を通して、佐藤さんの経験や考えから生徒は多くのことを学び、自己を見つめ直す良い機会となった。 6 部活動の充実 卓球、水泳、体操が北信越大会、水泳が全国大会へ出場した。 7 地域の人材を活かした活動 地元企業に向き職場体験学習を行い、生徒が地域や社会に貢献できることを学ぶことができた。また、地域の学習支援ボランティアにより、放課後の補充的学習サポートをしていただいた。 8 職員研修 インクルーシブ教育について職員研修のほか、非違行為防止研修を毎月1回実施した。指導力や専門的知識の向上を図るため、各種研修に参加した。 9 学校環境整備 緑化委員会が中心になって、潤いのある学校環境整備としての花壇づくりを行った。
東中学校	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力向上 インクルーシブ教育、UD推進の第一人者である特総研の久保山茂樹先生をお迎えし、UD化による職員の授業改善を図り、LDやLD傾向のある生徒、授業の理解が進まない生徒、学習への意欲が高まらない生徒への支援のあり方を学ぶことができた。また、外部講師を招き、1つの問いについて多面的に考える哲学対話のご指導をいただいた。外国の方々を招き、授業に参画していただくことで、ネイティブな英語、外国文化について学び、生徒が交流を深めた。道徳の副教材として、長野県の先生方が独自に製作した「私の築く道しるべ」を導入し、生徒の情操教育に役立てた。 2 キャリア教育の充実 現役高校生に高校の様子を聞いたり、ディスカッションをしたりした。また、職場体験見学を通じ、事業所の方々には働くことの意義をはじめ、その厳しさや楽しさ、やりがい、大切にしていることなどを学んだ。ハローワークに依頼し、今、求められる人材についてなどのお話をいただき、キャリア教育を充実させた。また、福祉学習として、手話交流会や全盲体験、県内小中学校唯一となる「あいサポート団体」として3年目を迎え、認定団体としての求められる姿やハンディをもつ方々への接し方等を講師の先生から教えられ、奉仕の心の育成につながっている。 3 信州型コミュニティスクール 運営に係る話し合い、学校評価アンケート結果からの活動の見直し等についてご意見をいただくことができた。併せて、学校支援ボランティアの活動保健に加入したほか、ボランティアルームを整備し、ボランティアの方に、気軽に斜面の点検をしていただいた。 4 地域体験 地域の講師を招き、伝統楽器（箏や尺八）の演奏や異文化交流、サバイバル炊き出し、地域の伝統食（やしょうま）作り等のさまざまな体験学習を行い、特色ある課外活動を充実させた。 5 防災教育・人権学習 東日本大震災や56災害で被災された方を講師に迎え、当時の状況や教訓、自然災害への備えや、先の令和元年東日本台風に絡めて私たちが忘れてはならないことを学んだ。 6 生徒指導 講師を招聘し、SNS利用に絡むトラブルや被害の事例を学び、情報モラル教育の一助とした。 7 部活動の充実など 各部活動の備品購入や大会参加費補助を行った。

特色ある教育・学校づくり推進事業に係る主な事業内容	
須坂支援学校	<p>1 地域における特別支援教育のセンター的役割の推進 地域の小中学校等からの要請による児童生徒の教育相談(年600件以上)、職員を対象とした摂食障害、発達障害と感情のコントロール、保護者との関係づくりなどの研修を実施した。特別支援教育に関する視察や研修に対応した。</p> <p>2 須坂ふれジョブ推進会議への連携 ふれジョブときわ事務局及び定例会を推進した。須坂ふれジョブ推進会議との連絡調整を行った。ふれジョブときわ・おおもり(中央公民館、西友須坂店、テクノエクセル、イオン須坂店等)へ生徒が参加した。</p> <p>3 須坂小学校、常盤中学校及び居住地校との交流及び共同学習の推進 併設校の須坂小学校、隣接校の常盤中学校や居住地校との日常的な交流や学校行事での交流、授業での交流及び共同学習を推進した。</p> <p>4 地域のイベントへの参加、地域の方々との交流の推進 PTA祭り、常盤祭、ふれあい広場、あゆみ展などに参加し、手作り品・作業学習製品等を出品したほか、製品の販売を通じてお客様とふれ合い、社会性が広がった。また、校歌作者の春畑セロリさんと、音楽を通じた交流を行い、本物の音に触れ、音楽の良さを味わうことができた。</p>

2 中学生平和学習事業

中学生代表8人(3年生)を8月5日から6日にかけて広島市に派遣し、平和学習を行った。平和記念式典参列、原爆ドーム・平和記念館等見学、被爆体験語り部のお話を拝聴。ここで学んだことを、各学校の平和学習で発表するとともに、平和学習感想文集を発行し各校へ配布した。代表2人は須坂市戦没者追悼式で報告した。

3 峰の原高原高等学校等生徒通学費補助金給付

峰の原高原の高校生の保護者に対し、通学に要する経費の負担を軽減するため補助金を交付した。
高校生2人 144,000円

4 防犯ブザーの配付

「SBCこども未来プロジェクト」の一環として、信越放送(株)から小学校1年生全員(413名)に防犯ブザーの無料配付が行われた。
小学校において毎月携帯調査を実施し、携帯率向上に努めた。(約91%)

5 ふれジョブへの支援

負担金を交付するとともに、定例会に出席し活動の支援を行った。(負担金10万円×4地区)

6 峰の原自然体験学習事業

市内小学校の5年生が、1泊2日の宿泊を伴う自然体験学習を経験し、地元の自然等、地域資源に目を向けるきっかけとなった。宿泊は、峰の原高原のペンションに分宿し、ペンションオーナーとクラフト作り、料理作り、キャンプファイヤー等で触れ合うことができた。

(1) 実施期間 6月25日～7月12日

(2) ペンション利用児童数 434人

■ 教育支援事業

単位：円

当初 予算額	790,000	予算 現額	655,000	決算額	638,135	前年度 決算対比	122.3%	前年度 決算額	521,746
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

須坂市教育支援委員会条例に基づき、心身に障がいのある来入児、児童・生徒の適切な就学に関する判断を行う。

II 事業の成果等

市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該来入児、児童・生徒の就学に関し協議、判断を行い、保護者への十分な説明に努めることにより、当該来入児、児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。

III 事業の実績

1 適切な就学を図るための相談事業の状況

区分	申込者数 (人)	辞退者数 (人)	相談実施者数 (人)	通常学級適当者 (人)	入級・入校適当者 (人)	左のうち入級・ 入校した者の数(人)
来入児	13	0	13	1	12	12
児童	64	0	64	19	45	45
生徒	4	0	4	2	2	2
計	81	0	81	22	59	59

※入級とは特別支援学級に入ること。入校とは特別支援学校(養護学校等)に入ること。

2 教育支援委員会の体制整備

知的障がい、情緒障がい、肢体不自由等児童・生徒の様態が多様化してきており、知能検査の結果分析や多種類の検査による総合判定をより適切に行うため、医師等の専門家を加えた教育支援委員会を開催した。

(1) 教育支援委員会の開催 9回

(2) 校内教育支援委員会の開催

小学校名	回数	中学校名	回数	須坂支援学校	回数
須坂小学校	4	常盤中学校	1	小・中学部	3
小山小学校	2	相森中学校	3		
森上小学校	7	墨坂中学校	1		
日滝小学校	3	東 中学校	3		
豊洲小学校	12				
日野小学校	2				
井上小学校	2				
高甫小学校	14				
旭ヶ丘小学校	4				
仁礼小学校	6				
豊丘小学校	2				

(3) 特別支援教育コーディネーター等連絡会全体会の開催 3回

3 通級指導教室

まなびの教室：須坂小学校 通級人数 29名(内須坂市内16名)

墨坂中学校 通級人数 11名(内須坂市内11名) ※2019年4月開設

ことばの教室：通級人数 20名(内須坂市内15名)

■ 不登校児童生徒支援事業

単位：円

当初 予算額	22,716,000	予算 現額	22,230,000	決算額	21,783,234	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	21,566,165
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

不登校や学級不適応などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員や中間教室適応指導員を配置し、問題解決に努める。

II 事業の成果等

不登校児童生徒支援員や中間教室適応指導員を配置し、不登校や学級不適応の原因の究明や不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し相談を行いながら、教職員や家庭と連携を図り、児童生徒の安心できる居場所づくりを行って、登校に向けた環境作りが行えた。

III 事業の実績

1 不登校児童生徒支援員等の配置

各中学校に不登校児童生徒支援員等計8名（県費3名・市費5名）を配置した。

相森中学校(中間教室)に中間教室適応指導員（市費1名）を配置した。

2 不登校児童生徒支援員の情報交換会

4月9日 平成30年度不登校の状況について
不登校対策に向けて

12月17日 登校支援・校区別取り組みと不登校の現状等について
各学校の実情について

3 登校支援会議の開催

児童生徒一人ひとりの「生きる力」を育み、不登校児童生徒の減少の成果を認識・共有するために開催した。

全体会 5月23日

2月3日

※校区別支援全体会議は必要に応じて校区別に開催。

4 中間教室（フレンドリールーム）活動状況

登校しづらくなっていたり、登校することができない状態が続いている児童生徒を対象に、通室者による集団生活を通して、人との交わりや共に生きることの喜び、勇気を持てるよう援助を行うとともに、保護者等からの相談に応じ、悩みや問題等の解消に努めた。

(1) 通室状況

学年	性別	月別通室人数及び日数												備考	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
小学校	男	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		通室 日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	人	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	2	0	
		通室 日数	15	19	19	20	13	33	35	39	37	38	33	0	
中学校	男	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		通室 日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
		通室 日数	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	1	0	
計	人数	1	1	2	2	2	2	2	2	2	4	3	0		
	開室日数	15	19	23	20	13	33	35	39	37	42	36	0		

(2) 相談状況

・保護者相談 7回 ・見学者 3名 ・通室者 4名

5 知能テストの実施

小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に実施した。

6 Q-U検査の実施

小中学校全学級を対象に、Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を年2回実施した。
アンケートの結果を、学級経営に活かしたり、児童生徒指導や個別相談に活用した。

7 笑顔で登校支援事業

(1) 不登校・ひきこもり講演会及び個別相談会（子育て支援セミナー）の開催状況

ア 場 所 旧上高井郡役所

イ 講 師 (特非)長野県子どもサポートセンター 飯田俊穂 氏

開催日	セミナー演題	参加人数	
		セミナー	個別相談
9月8日	不登校の要因を考える ～成長・発達・愛着の関連について～	25	5

(2) いじめ・不登校の状況（3月31日現在）

ア いじめ 小学校 147件（前年84件） 中学校 58件（前年47件）

イ 不登校 小学校 26件（前年30件） 中学校 62件（前年42件）

■ 教育活動支援事業

単位：円

当初 予算額	87,141,000	予算 現額	88,734,000	決算額	81,775,935	前年度 決算対比	103.5%	前年度 決算額	79,046,130
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

- 1 特別支援学級や通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒に対し教員補助員を配置し、学級担任のみでは支援しきれない個別に支援を必要とする児童生徒の支援に当たり、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行い、スムーズな学級運営を図る。
- 2 日本語の読み書きが十分でない外国籍等の児童生徒に対し外国籍児童生徒支援員を配置し、専門的な指導と支援を行い、授業の補助や保護者との意思疎通を図る。
- 3 教育委員会へ指導主事を配置し、小・中・支援学校への巡回、学校長や教頭との学級・学校運営に係る相談及び指導、問題を抱える児童生徒及び保護者や担任との懇談・指導・助言にあたり、円滑な学校・学級運営を図る。

II 事業の成果等

- 1 須坂支援学校への5名を含め、計43名の教員補助員を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における学級担任の補助を行うことで、教育活動の充実が図られた。
- 2 日本語の読み書きが十分でない外国籍等の児童生徒に対し日本語の指導を行うことにより、授業や保護者との意思疎通が図られた。
- 3 指導主事が学校への指導・助言を行うことにより、円滑な学校・学級運営が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 教員補助員の配置 配置人数 43名

(1) 配置校

学 校 名	人 員 (人)	賃金総額 (円)
須坂小学校	3	59,709,285
須坂支援学校	5	
小山小学校	3	
森上小学校	3	
日滝小学校	3	
豊洲小学校	2	
日野小学校	3	
井上小学校	3	
高甫小学校	1	
旭ヶ丘小学校	2	
仁礼小学校	3	
豊丘小学校	0	
常盤中学校	2	
相森中学校	4	
墨坂中学校	4	
東中学校	2	

(2) 教員補助員等研修会

- ア 日 時 8月8日
イ 場 所 消防本部大会議室
ウ 内 容
講 演 演題 配慮の必要な子どもたちへの支援
講 師 長野県教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事 今井 友陸 氏
エ 参加人数 42人

2 外国籍児童生徒支援員の配置

- タイ語支援 日野小学校・仁礼小学校・相森中学校 へ2名配置
ポルトガル語支援 森上小学校・豊洲小学校・旭ヶ丘小学校・相森中学校・須坂支援学校へ2名配置
中国語支援 相森中学校へ1名配置
ウルドゥー語支援 森上小学校へ2名配置
タガログ語支援 小山小学校へ1名配置
配置時間 1,249時間30分 謝礼総額 1,874,250円

3 指導主事の配置

学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導をするため、教育委員会に4名を配置した。

(1) 校長会・教頭会での指示伝達及び情報提供

校長会、教頭会に出席し、教育委員会の施策・方針の説明、各種調査の依頼と報告、学習指導、生徒指導、危機管理等学校運営に関する情報提供を行った。

(2) 教育委員会での報告

毎月、教育委員会に出席し、学校教育に関する諸問題について、調査結果や現状等を報告した。

(3) 学校訪問

校長・教頭との懇談及び授業参観を通して、学校運営全般及び授業改善に向けた指導助言を行った。

(4) 学習指導・学力向上・進路指導

- ア 進路状況のまとめ

- イ 小学校外国語活動担当者会議の実施
 - ウ 全国学力学習状況調査の考察、総合学力調査、Q-Uの分析と活用
 - エ 研究主任研修会の実施
 - オ 小学校外国語活動の授業参観、職員研修の実施
 - カ 中学校問題作成委員会の実施
- (5) 生徒指導
- ア 「いじめ」に関する調査の実施とまとめ (6月、11月)
 - イ 教頭会で毎月実施する「不登校」に関する調査の集計と解消への取り組み
 - ウ 「不登校・問題行動・家庭環境等」の状況把握 (各学期)
 - エ 校内支援会議・スクリーニング会議への参加
 - オ 実務担当者会議 (年3回)
 - カ スクールソーシャルワーカーの派遣と県への報告 (毎月)
 - キ スクールカウンセラーの状況把握
- (6) 学校・学級運営の指導・助言、諸帳簿の点検
- (7) 特別支援教育の指導・助言
- (8) 教育相談・就学相談・電話相談の実施
- (9) 研修会の企画運営、研修会等への参加

4 子どもの生活・学習支援

- (1) 委託先
マイサボ塾
- (2) 業務内容
ひとり親家庭の子どもの基本的な生活習慣の習得支援、学習支援に関する事業委託
- ア 生活習慣支援、生活指導
 - イ 学習支援
- (3) 委託料 615,670 円
- (4) 補助率 県 3/4

■ 奨学金事業

単位：円

当初 予算額	7,601,000	予算 現額	9,616,000	決算額	9,614,153	前年度 決算対比	85.5%	前年度 決算額	11,248,869
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

大学等（専修学校の4年制以上の専門課程を含む）、高等専門学校又は高等学校等（専修学校の高等課程を含む）に在学又は進学する者で、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。

II 事業の成果等

4人に対して奨学金を貸与し、修学を援助することができた。
奨学金を必要とする者への利用拡大を図るため、須坂市奨学金貸与条例の一部を改正した。

III 事業の実績

貸与・償還等の状況

貸 与		償 還	
人 数	金 額 (円)	人 数	金 額 (円)
4 (1)	1,848,000	26	7,848,000

※ () 内は、内数で2019年度新規貸与者

■ 教育相談事業

単位：円

当初 予算額	8,349,000	予算 現額	6,457,000	決算額	5,926,687	前年度 決算対比	80.6%	前年度 決算額	7,356,443
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

児童生徒及び保護者からの相談に応じ、健やかな成長のための方向付けや、悩みの解決により心の安定を図り、明るい生活ができるよう助言を行う。

II 事業の成果等

小学校に入学後、個別配慮・支援・継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添った継続支援ができた。

スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童生徒の悩みについて共感し助言や指導をすることにより、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。また、保護者や教職員を含めた相談事業により、相談者の悩みや訴えを聞きながら、指導助言を行った。

さらに、児童生徒だけでなく家庭支援の必要な家庭が増加していることから、県スクールソーシャルワーカーの派遣を要請し、学校や関係機関と連携した家庭支援等を行った。

また、いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する重大事態を疑う事案について、学校問題解決支援チーム会議を開催し、事実関係を調査した。

III 事業の実績

1 スクールカウンセラーによる相談

臨床心理士4名（県費・市費）をスクールカウンセラーに委嘱し、主に拠点校の常盤中学校・相森中学校・墨坂中学校・東中学校に設置した相談室で、悩みを抱える児童生徒及び保護者等との懇談や指導・助言を行った。

相談内容別・相談者別人員						
相談内容	児童生徒	教職員	母親	父親	その他	計
1. 不登校・不登校傾向	89	62	139	3	1	294
2. いじめ（被害・加害）	1	1	8	0	0	10
3. 暴力行為	0	0	0	0	0	0
4. 児童虐待	0	0	0	0	0	0
5. 友人関係	77	27	32	0	0	136
6. 貧困の問題	0	0	0	0	0	0
7. 非行不良行為	1	1	1	0	0	3
8. 家庭環境	27	23	41	1	0	92
9. 教職員との関係	1	4	4	0	0	9
10. 心身の健康状態	39	17	28	1	0	85
11. 学業進路	22	20	16	0	0	58
12. 発達障がい等	12	26	20	0	0	58
13. その他	8	10	17	0	2	37
相談者合計	277	191	306	5	3	782
その他の内容	・母親自身のこと（不安定さ、対人関係） ・子どもとの関わり方 ・強迫性神経障害 ・場面緘黙 ・今後の支援の方向 ・被災に関わる相談					

2 スクールソーシャルワーカーによる相談

スクールソーシャルワーカーは、不登校や不適応児童生徒等の相談や家庭支援、関係機関との連携等の指導・助言を行った。

訪問活動	回数	ケース会議			
		教職員とのケース会議		関係機関とのケース会議	
1. 学校	179				
2. 家庭	25	1. 開催回数	24	1. 開催回数	106
3. フレンドリールーム(中間教室)	4	2. 扱ったケース件数	153	2. 扱ったケース件数	792
4. 市教育委員会	36	3. 参加教職員数	71	3. 参加教職員数	385
5. その他関係機関	13			4. 参加関係機関の人数	286

3 心の教室相談員による相談

各中学校に心の教室相談員(司書員兼務)を1名配置し、生徒が時間や内容を問わず気軽に訪問し、話し相手や相談相手となることで、生徒の心の安定を図り、安定した学校生活を送れるよう支援を行った。

対応人数

(人/年)

常盤中学校	181	相森中学校	143	墨坂中学校	445	東中学校	266
-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----

計 1,035人

4 教育相談状況

内容	人数	回数
性向・生活習慣	29	34
知的発達遅滞	15	15
学校・園生活	327	329
非行	7	11
家庭関係	114	137
環境福祉	4	10
身体障がい	1	1
情緒障がい	3	3
その他	3	3
計	503	543

5 学校問題解決支援チーム会議

委員 7名

回数 年7回 (ほか部会 3回、聞取り調査 1回)

■ 就学援助事業

単位：円

当初予算額	62,888,000	予算現額	61,488,000	決算額	53,153,009	前年度決算対比	98.8%	前年度決算額	53,818,794
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

経済的に苦慮している保護者に就学援助を、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励費を支給し、教育の機会均等を図る。

II 事業の成果等

保護者からの申請に基づき認定作業を行い、対象者に就学援助費及び就学奨励費を支給することで、経済的負担の軽減が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 要保護及び準要保護の児童生徒に対する就学援助

学校名	学用品費等		給食費		医療費		修学旅行費 (小学校6年生及び中学校3年生)		計
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	金額(円)
須坂小学校	21	350,681	19	885,742	2	12,303	4	86,680	1,335,406
小山小学校	65	1,281,021	64	3,256,110	1	8,583	13	281,710	4,827,424
森上小学校	39	605,396	39	1,791,218	3	19,413	6	130,020	2,546,047
日滝小学校	39	743,047	40	1,951,968		0	10	216,700	2,911,715
豊洲小学校	41	486,325	24	1,271,556		0	5	108,350	1,866,231
日野小学校	38	767,017	41	1,949,662	1	1,890	11	238,370	2,956,939
井上小学校	26	481,074	26	1,320,176		0	5	108,350	1,909,600
高甫小学校	10	172,106	10	498,212		0	2	43,340	713,658
旭ヶ丘小学校	53	1,114,070	55	2,801,536	4	31,431	12	260,040	4,207,077
仁礼小学校	24	537,442	24	1,238,952	13	56,301	4	86,680	1,919,375
豊丘小学校	6	100,770	6	317,460	2	4,044	1	21,670	443,944
市外小学校	2	56,910	1	13,018	0	0	0	0	69,928
来入児	28	1,416,800	-	-	-	-	-	-	1,416,800
小学校計	392	8,112,659	349	17,295,610	26	133,965	73	1,581,910	27,124,144
常盤中学校	42	1,435,672	42	2,421,444	4	18,645	13	778,379	4,654,140
相森中学校	69	2,042,777	63	3,711,742	4	19,911	16	964,800	6,739,230
墨坂中学校	68	2,547,294	68	3,882,630	3	24,363	15	904,500	7,358,787
東中学校	21	817,542	21	1,244,150	0	0	7	422,100	2,483,792
市外中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来入生	28	1,607,200	-	-	-	-	-	-	1,607,200
中学校計	228	8,450,485	194	11,259,966	11	62,919	51	3,069,779	22,843,149
合計	620	16,563,144	543	28,555,576	37	196,884	124	4,651,689	49,967,293

※ 要保護とは、生活保護法により保護を必要とする状態にある児童生徒の世帯。2019年度の就学援助の該当世帯11世帯17人で医療費・修学旅行費のみ支給。

準要保護とは、要保護に準じる程度に生活が困窮しており、経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の世帯。

2 特別支援学級に在籍する児童生徒に対する就学援助

学校名	学用品費等		通学費		給食費		修学旅行費 (小学校6年生及び中学校3年生)		計
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	金額(円)
須坂小学校	3	14,234	0	0	2	52,624	0	0	66,858
小山小学校	3	19,355	0	0	4	80,652	2	21,360	121,367
森上小学校	3	10,701	0	0	3	73,212	1	10,680	94,593
日滝小学校	5	38,678	0	0	6	159,159	1	10,680	208,517
豊洲小学校	3	19,784	4	9,247	4	105,248	2	21,360	155,639
日野小学校	3	13,770	3	9,858	3	79,365	1	10,680	113,673
井上小学校	6	38,821	2	3,902	8	208,494	3	32,040	283,257
高甫小学校	3	18,908	3	53,553	3	77,506	0	0	149,967
旭ヶ丘小学校	1	3,856	5	10,732	1	25,740	1	10,680	51,008
仁礼小学校	2	12,720	2	4,163	2	54,054	0	0	70,937
豊丘小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来入児	1	25,300	0	0	0	0	0	0	25,300
小学校計	33	216,127	19	91,455	36	916,054	11	117,480	1,341,116

学校名	学用品費等		通学費		給食費		修学旅行費 (小学校6年生及び中学校3年生)		計
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	金額(円)
常盤中学校	2	47,896	0	0	4	111,723	0	0	159,619
相森中学校	5	95,133	0	0	8	244,989	2	57,140	397,262
墨坂中学校	5	89,141	0	0	8	237,641	5	142,850	469,632
東中学校	2	21,405	1	9,595	2	54,746	1	28,570	114,316
来入生	8	229,600	0	0	0	0	0	0	229,600
中学校計	22	483,175	1	9,595	22	649,099	8	228,560	1,370,429
合計	55	699,302	20	101,050	58	1,565,153	19	346,040	2,711,545

10-1-4(目)教員住宅費

単位：円

当初 予算額	600,000	予算 現額	600,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	216,540
-----------	---------	----------	---------	-----	---	-------------	------	------------	---------

■ 教職員住宅事業

単位：円

当初 予算額	600,000	予算 現額	600,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	216,540
-----------	---------	----------	---------	-----	---	-------------	------	------------	---------

I 事業の目的

教職員の住宅希望に応えるため、教職員住宅を確保するとともに維持管理を図る。

II 事業の成果等

教職員住宅5戸（春木町に2戸、小河原町、村石町、村山町に各1戸）の維持管理を行い、教職員の入居希望に対応することで、教職員の福利厚生に資することができた。

また、令和元年11月に春木町（2戸）、村山町教職員住宅を令和元年東日本台風による被災者の仮住宅とした（まちづくり課へ所管替え）。

III 事業の実績

1 教職員住宅整備の状況

修繕なし

10-1-5(目)教育奨励災害対策費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,547,000	決算額	1,366,106	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

■ 教育奨励災害対策事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,547,000	決算額	1,366,106	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により、経済的に就学困難な状況となった児童生徒の保護者に就学援助費を支給し、教育の機会均等を図る。

II 事業の成果等

保護者からの申請に基づき認定作業を行い、対象者に就学援助費を支給することで、経済的負担の軽減が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 要保護及び準要保護の児童生徒に対する就学援助

学校名	学用品費等		給食費		医療費		修学旅行費 (小学校6年生及び中学校3年生)		計
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	金額(円)
豊洲小学校	17	148,160	17	405,834	0	0	4	86,680	640,674
来入児	3	151,800	-	-	0	0	-	-	151,800
小学校計	20	299,960	17	405,834	0	0	4	86,680	792,474
相森中学校	8	117,580	8	226,452	0	0	0	0	344,032
来入生	4	229,600	-	-	0	0	-	-	229,600
中学校計	12	347,180	8	226,452	0	0	0	0	573,632
合計	32	647,140	25	632,286	0	0	4	86,680	1,366,106

10-2-1(目)学校管理費

単位：円

当初予算額	229,568,000	予算現額	775,639,000	決算額	670,922,237	前年度決算対比	306.1%	前年度決算額	219,154,832
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

■ 小学校管理運営事業

単位：円

当初予算額	183,568,000	予算現額	179,911,000	決算額	172,809,307	前年度決算対比	99.6%	前年度決算額	173,584,335
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	-------	--------	-------------

I 事業の目的

小学校における教育環境整備等の管理運営を行う。

信州少人数教育推進事業を活用することで、個に応じた細やかな指導による学習習慣・生活習慣の定着と、基礎学力の向上を図る。

II 事業の成果等

各小学校の規模及び設備の状況に応じた予算を配当し、学校毎の効率的な管理運営を図り、経費の節減に努めた。また、危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に、順次修繕を行なった。

全ての学年において30人規模学級編制を導入し、これにより、個に応じた細やかな指導と学習習慣の定着、基礎学力の向上を図ることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 小学校学年別学級数及び児童数（5月1日現在）

(通常学級)

学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計	
	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
須坂小学校	2	41	1	31	*2	39	1	29	1	34	2	43	9	217
小山小学校	2	56	2	56	2	48	2	59	2	57	2	69	12	345
森上小学校	2	47	2	55	2	43	2	52	*2	38	2	59	12	294
日滝小学校	2	57	2	56	2	58	2	56	2	44	2	56	12	327
豊洲小学校	1	27	1	26	1	24	1	24	1	20	1	29	6	150
日野小学校	2	46	2	52	2	47	2	70	2	69	2	62	12	346
井上小学校	2	41	1	29	2	43	2	46	1	33	2	42	10	234
高甫小学校	1	24	1	24	1	29	1	26	1	28	1	32	6	163
旭ヶ丘小学校	2	37	1	34	2	42	1	27	2	44	1	25	9	209
仁礼小学校	1	25	1	29	2	42	1	34	*2	40	1	34	8	204
豊丘小学校	1	9	1	9	1	14	1	9	1	13	1	12	6	66
計	18	410	15	401	19	429	16	432	17	420	17	463	102	2,555

*印は、30人規模学級編制実施

(特別支援学級)

学 校 名	知的障害学級		自閉症・情緒障害学級		肢体不自由学級		計	
	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
須坂小学校	1	3	1	4	—	—	2	7
小山小学校	1	2	1	6	—	—	2	8
森上小学校	1	1	2	10	—	—	3	11
日滝小学校	1	2	1	7	—	—	2	9
豊洲小学校	1	3	1	5	—	—	2	8
日野小学校	1	2	1	5	—	—	2	7
井上小学校	1	2	2	9	—	—	3	11
高甫小学校	1	1	1	3	—	—	2	4
旭ヶ丘小学校	1	3	1	4	—	—	2	7
仁礼小学校	1	1	1	4	—	—	2	5
豊丘小学校	—	—	0	0	—	—	0	0
計	10	20	12	57	—	—	22	77

2 学校用地借上状況

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
須坂小学校用地	9,681.23	8,163,119	2
日野小学校用地	33.00	1,500	1

3 峰の高原児童の教育事務委託

峰の高原の児童について、菅平小学校への区域外就学を上田市へ教育事務委託した。

2019年度負担金 641,000円

学 校 名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	
菅平小学校	0	0	1	1	0	1	3

4 小学校校舎施設等の修繕の状況

学 校 名	工 事 概 要	修 繕 費	
		件数 (件)	金額 (円)
須坂小学校	消防設備修繕 外	33	6,494,989
小山小学校	教室ドアガラス修繕 外	15	802,989
森上小学校	消防設備修繕 外	21	1,698,200
日滝小学校	消防設備修繕 外	60	3,662,562
豊洲小学校	消防設備修繕 外	38	7,291,570
日野小学校	受水槽修繕 外	24	2,139,760
井上小学校	消防設備修繕 外	18	1,704,192
高甫小学校	水道漏水修繕 外	12	308,402
旭ヶ丘小学校	消防設備修繕 外	22	2,234,084
仁礼小学校	雨漏り修繕 外	26	3,749,001
豊丘小学校	遊具修繕 外	14	2,882,830
計		283	32,968,579

うち大規模な修繕

修 繕 名	概 要	工 期	金 額 (円)
日滝小学校非常放送設備改修工事	非常用放送設備修繕一式	6月12日～ 7月31日	972,000
豊洲小学校防火シャッター修繕	玄関ホール等防火シャッター開閉装置修繕一式	4月1日～ 4月19日	1,134,000

5 児童用・学校用各種備品の購入状況

学 校 名	主 な 購 入 備 品	購入金額 (円)
須坂小学校	シューズケース、除雪機 外	2,090,846
小山小学校	折りたたみプールフロア、除雪機 外	517,943
森上小学校	指揮台、シュレッダー 外	426,951
日滝小学校	裁断機、身長計 外	138,132
豊洲小学校	刈払機、噴霧器 外	317,564
日野小学校	i Pad、ウインドエアコン 外	304,596
井上小学校	ポスタープリンター、事務机 外	456,430
高甫小学校	ワイヤレスマイク、会議用テーブル 外	317,309
旭ヶ丘小学校	ワンタッチテント、緞帳 外	553,694
仁礼小学校	ウインドエアコン、車いす 外	321,700
豊丘小学校	オーディオメーター、ジェットヒーター 外	609,930
計		6,055,095

■ 小学校施設整備事業

単位：円

当 初 予算額	46,000,000	予算 現額	595,728,000	決算額	498,112,930	前 年 度 決算対比	1,309.4%	前年度 決算額	38,040,840
------------	------------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	----------	------------	------------

I 事業の目的

児童が安全で快適に学校生活を送れるよう施設整備を行う。

II 事業の成果等

小学校における効率的かつ効果的な施設整備を計画的に進めるため、学校施設長寿命化計画策定業務を委託した。また、令和2年度に実施する7小学校の防災機能強化工事に向け設計業務を委託した。

平成30年度繰越事業として国の補正予算である特例交付金を活用した全小学校の空調設置工事を実施した。井上小学校のプールシート防水工事を実施して、経年劣化による不具合を解消した。

須坂小学校、森上小学校、豊丘小学校の放送設備を入替え校内放送の不具合を解消した。

III 事業の実績

1 小学校施設整備に係る業務委託の状況

業 務 名	金 額 (円)
市内7小学校防災機能強化工事設計業務委託	2,992,000
日野小学校プールシート防水工事設計業務委託	492,800
須坂市学校施設長寿命化計画策定業務委託	8,002,230
計	11,487,030

※2020年度への繰越し分

業 務 名	金 額 (円)
小学校5校校内通信ネットワーク整備工事設計業務委託	2,527,000

2 小学校校舎等施設の工事の状況

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
井上小学校プールシート防水工事	プールシート防水工事一式	7月18日～ 11月13日	23,925,000
計			23,925,000

平成30年度（繰越）

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
須坂小・日滝小・豊洲小学校空調設備設置工事	空調設備設置工事一式	4月17日～ 10月11日	129,360,000
小山小・井上小・旭ヶ丘小学校空調設備設置工事	空調設備設置工事一式	3月5日～ 8月30日	127,440,000
森上小・日野小学校空調設備設置工事	空調設備設置工事一式	5月17日～ 11月8日	94,545,000
高甫小・仁礼小・豊丘小学校空調設備設置工事	空調設備設置工事一式	6月5日～ 11月29日	107,800,000
計			459,145,000

※2020年度への繰越し分

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
小学校5校校内通信ネットワーク整備工事	校内無線LAN化工事一式	—	56,123,000

3 小学校備品購入の状況

業 務 名	金 額 (円)
須坂小学校、森上小学校、豊丘小学校校内放送設備入替	3,555,900
計	3,555,900

10-2-2(目)教育振興費

単位：円

当初予算額	94,788,000	予算現額	94,062,000	決算額	92,762,066	前年度決算対比	139.2%	前年度決算額	66,624,976
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

■ 小学校教育振興事業

単位：円

当初予算額	43,616,000	予算現額	43,886,000	決算額	42,801,164	前年度決算対比	203.8%	前年度決算額	21,001,883
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

教材備品の整備により教育効果を高めるとともに、児童の学力・学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善を図る。

II 事業の成果等

各種教材備品の整備により教育効果が高まった。また、2学年から6学年で標準学力テストを、6学年は併せて全国学力・学習状況調査を実施し、各学校において基礎・基本の学力定着が図れた。また、須高地区の教育委員会で採択した2020年度施行の新学習指導要領に基づく教科用図書等のほか、プログラミング教育用教材を購入し、2020年度に向けての授業準備を進めた。

III 事業の実績

1 教材備品の購入状況

学校名	主 な 購 入 備 品	一般教材備品(円)	理科設備備品(円)	計 (円)
須坂小学校	メタロフォン、顕微鏡テレビ 外	401,600	0	401,600
小山小学校	ドラム・グロッケン・アンプ、外	347,004	0	347,004
森上小学校	電子ピアノ、ステレオ 外	294,408	0	294,408
日滝小学校	ミュージックベル、オルガン 外	326,160	0	326,160

学校名	主な購入備品	一般教材 備品(円)	理科設備 備品(円)	計(円)
豊洲小学校	プールフロア、iPad 外	359,677	0	359,677
日野小学校	ドラム、ティンパニ 外	357,896	0	357,896
井上小学校	ミシン、ドラム 外	342,930	0	342,930
高甫小学校	カラーマット 外	313,995	0	313,995
旭ヶ丘小学校	カラーマット、アルミテント 外	723,448	609,552	1,333,000
仁礼小学校	電子ミシン、カラー大玉 外	306,432	0	306,432
豊丘小学校	オルガン、カラーマット 外	286,342	96,660	383,002
計		4,059,892	706,212	4,766,104

2 図書費購入費及び図書蔵書率 (※学級数は文部科学省基準、特別支援学級含む)

学校名	学級数	標準冊数(冊)	蔵書冊数(冊)	蔵書率(%)	図書購入費(円)
須坂小学校	10	7,000	7,096	101.4	404,447
小山小学校	14	8,760	10,030	114.5	422,000
森上小学校	14	8,760	11,311	129.1	427,000
日滝小学校	14	8,760	9,337	106.6	422,000
豊洲小学校	8	6,040	9,374	155.2	388,000
日野小学校	14	8,760	8,876	101.3	422,000
井上小学校	13	8,360	8,353	99.9	415,207
高甫小学校	8	6,040	6,235	103.2	383,897
旭ヶ丘小学校	11	7,480	9,560	127.8	404,999
仁礼小学校	9	6,520	11,187	171.6	398,999
豊丘小学校	6	5,080	8,816	173.5	376,782
計	121	81,560	100,175	122.8	4,465,331

3 標準学力テストの実施

小学校1年生を除く学年で実施した。

小学校2～6年生 国語・算数・意識調査 2,183人 2,423,130円

4 全国学力・学習状況調査の実施

児童の学力・学習状況を把握・分析し、各校の教育の成果と課題、教育指導や学習状況の改善に役立てるため、小学校6年生を対象に、全国学力・学習状況調査を実施した。

実施日 4月18日

実施教科 国語・算数・理科・生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

■ 小学校情報教育事業

単位：円

当初 予算額	41,154,000	予算 現額	40,158,000	決算額	39,943,806	前年度 決算対比	111.9%	前年度 決算額	35,697,165
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

小学校の教育用パソコンや校務用パソコンを整備することで情報教育を推進する。

II 事業の成果等

情報教育をより一層推進するため、小学校11校のパソコン教室にパソコンを継続配置し、授業で有効活用した。また、校務処理の効率化と教育活動の質の向上を図るため、校務用パソコンも継続配置した。

III 事業の実績

1 ケーブルインターネットの利用

情報教育を一層推進するため、前年度に引き続き、高速インターネット回線を利用した。
ケーブルインターネット利用料 2,191,772 円

2 パソコンの配置及び保守点検

パソコン教室のパソコンを各校 36 台、教職員用として校務用パソコン約 220 台を配置し、校務や授業等において活用を図った。

小学校 11 校の機器賃借料 27,979,145 円 (パソコン教室、校務用)

センターサーバ賃借料 3,377,349 円 (光ファイバー芯線含む)

事務機器保守点検委託料 4,401,818 円 (校務用パソコン、センターサーバ保守)

3 情報教育支援業務委託による ICT 支援員の派遣

現在ある ICT 環境、今後導入される機器・ソフトウェア等を学校現場で有効に活用できるよう、情報教育支援業務委託により、ICT 支援員を小学校へ派遣した。

情報教育支援業務委託料 847,000 円

■ 小学校国際化教育推進事業

単位：円

当初 予算額	10,018,000	予算 現額	10,018,000	決算額	10,017,096	前年度 決算対比	100.9%	前年度 決算額	9,925,928
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市内小学校に国際化教育推進のため外国語指導助手 (ALT) を派遣する。児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。

新しい学習指導要領による小中学校での外国語教育に対応するため、外国語教育に精通しているアドバイザーから、英語学習指導計画策定のアドバイス、教員研修、授業指導等を受ける。

II 事業の成果等

全小学校に外国語指導助手 (ALT) を派遣し、担任教師と外国語指導助手のチーム・ティーチングを行い、多くの小学生が直接外国人と接することで、外国の言語や文化に触れて親しみ、文化の違いを通して自国の文化についても理解を深められた。外国語の音声や基本的な表現に親しみ、コミュニケーション能力を育むことができた。

アドバイザーによる教員研修、授業指導等を計 4 回実施し、英語教育の充実に向け積極的な取り組みを推進することができた。

III 事業の実績

1 外国語指導助手の派遣

ALT 2 名を、市内小学校へ派遣した。各学校への派遣日数は以下のとおり。

須坂小	小山小	森上小	日滝小	豊洲小	日野小	井上小	高甫小	旭ヶ丘小	仁礼小	豊丘小
31 日	42 日	40 日	40 日	26 日	41 日	36 日	27 日	31 日	27 日	26 日

2 外国語指導計画策定等アドバイザーによる指導研修の実施

アドバイザー：信州大学学術研究院教育学系言語教育グループ教授 酒井 英樹 氏

日 時	場 所	内 容
6 月 7 日	日野小学校	授業参観
7 月 12 日	日野小学校	英語教育指導
8 月 6 日	上高井教育会館	須坂市外国語教育推進委員会
11 月 6 日	仁礼小学校	英語教育指導

10-3-1(目)学校管理費

単位：円

当初 予算額	340,083,000	予算 現額	622,810,000	決算額	529,764,549	前年度 決算対比	194.8%	前年度 決算額	271,888,443
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 中学校管理運営事業

単位：円

当初 予算額	106,976,000	予算 現額	105,685,000	決算額	100,022,500	前年度 決算対比	105.5%	前年度 決算額	94,848,303
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

中学校における教育環境整備等の管理運営を行う。

信州少人数教育推進事業を活用することで、個に応じた細やかな指導による学習習慣・生活習慣の定着と、基礎学力の向上を図る。

II 事業の成果等

各中学校の規模及び設備の状況に応じた予算を配当し、学校毎の効率的な管理運営を図り、経費の節減に努めた。また、危険箇所や傷みの著しい箇所を優先的に、順次修繕を行った。

全ての学年において30人規模学級編制を導入し、個に応じた細やかな指導と学習習慣の定着、基礎学力の向上を図ることができた。

中学校部活動に部活動指導員制度を導入することで、中学校教員の時間外勤務を削減し、教員が生徒と向き合う時間を増やすとともに、部活動指導の充実を図った。

III 事業の実績

1 中学校学年別学級数及び生徒数（5月1日現在）

(通常学級)

学 校 名	1 年 生		2 年 生		3 年 生		計	
	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
常盤中学校	4	123	*4	115	3	104	11	342
相森中学校	3	100	3	105	3	92	9	297
墨坂中学校	*5	160	*5	152	4	135	14	447
東中学校	2	52	2	45	2	53	6	150
計	14	435	14	417	12	384	40	1,236

*印は、30人規模学級編制実施

(特別支援学級)

学 校 名	知的障害学級		自閉症・情緒障害学級		肢体不自由学級		計	
	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
常盤中学校	1	3	1	6	—	—	2	9
相森中学校	1	4	2	12	—	—	3	16
墨坂中学校	1	6	2	12	—	—	3	18
東中学校	1	1	1	3	—	—	2	4
計	4	14	6	33	—	—	10	47

2 峰の原高原生徒の教育事務委託

峰の原高原の生徒について、菅平中学校への区域外就学を上田市へ教育事務委託した。

2019年度負担金 1,328,000円

学 校 名	1 年 生	2 年 生	3 年 生	計
	生徒数	生徒数	生徒数	
菅平中学校	1	0	1	2

3 中学校校舎施設等の修繕の状況

学校名	工事概要	修繕費	
		件数(件)	金額(円)
常盤中学校	教室ドアガラス修繕 外	24	1,158,585
相森中学校	玄関ポーチタイル修繕 外	33	5,273,626
墨坂中学校	防火設備修繕 外	31	4,553,213
東中学校	灯具修繕 外	35	3,451,805
計		123	14,437,229

うち大規模な修繕

修繕名	概要	工期	金額(円)
東中学校防火設備修繕工事	校内防火設備装置修繕一式	2月12日～ 3月30日	1,287,000

4 生徒用・学校用各種備品の購入状況

学校名	主な購入備品	購入金額(円)
常盤中学校	ジェットヒーター、加湿器 外	766,212
相森中学校	ウインドエアコン、iPad 外	1,018,950
墨坂中学校	回転書架、除雪機 外	1,390,811
東中学校	回転式黒板、加湿器 外	795,368
計		3,971,341

5 部活動指導員制度の導入

中学校教員の負担軽減と部活動指導の充実を図るため、部活動の顧問を教員以外が担うことができる部活動指導員制度を導入した。

導入部活動 常盤中学校：剣道部、男子バスケットボール部

相森中学校：女子バスケットボール部

墨坂中学校：女子バスケットボール部、ソフトテニス部、サッカー部

※女子バレー部で試行した合同部活動の指導も部活動指導員が行った。

報酬 2,734,800円

■ 中学校施設整備事業

単位：円

当初予算額	226,000,000	予算現額	509,994,000	決算額	422,625,670	前年度決算対比	248.6%	前年度決算額	169,997,400
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

I 事業の目的

生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう施設整備を行う。

II 事業の成果等

中学校における効率的かつ効果的な施設整備を計画的に進めるため、学校施設長寿命化計画策定業務委託を実施した。また、墨坂中学校及び東中学校の防災機能強化工事により、トイレ改修等による避難場所としての機能強化を図った。

平成30年度繰越事業として国の補正予算である特例交付金を活用した全中学校の空調設置工事を実施した。その他、相森中学校の放送設備を入替え校内放送の不具合を解消した。

III 事業の実績

1 中学校施設整備に係る業務委託の状況

業務名	金額(円)
須坂市学校施設長寿命化計画策定業務委託	2,909,770
計	2,909,770

※2020年度への繰越し分

業 務 名	金 額 (円)
中学校4校内通信ネットワーク整備工事設計業務委託	2,076,000

2 中学校校舎等施設の工事の状況

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
墨坂中学校防災機能強化工事	トイレ改修工事一式	4月26日～ 11月15日	111,155,000
東中学校防災機能強化工事	トイレ改修工事一式	4月26日～ 11月15日	73,480,000
計			184,635,000

平成30年度（繰越）

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
常盤中・東中学校空調設備設置工事	空調設備設置工事一式	3月29日～ 9月27日	98,280,000
相森中・墨坂中学校空調設備設置工事	空調設備設置工事一式	3月20日～ 9月13日	135,615,600
計			233,895,600

※2020年度への繰越し分

工 事 名	概 要	工 期	金 額 (円)
中学校4校校内通信ネットワーク整備工事	校内無線LAN化工事一式	—	47,534,000

3 中学校備品購入の状況

業 務 名	金 額 (円)
相森中学校校内放送設備入替	1,185,300
計	1,185,300

10-3-2(目)教育振興費

単位：円

当初 予算額	47,434,000	予算 現額	47,912,000	決算額	46,794,041	前年度 決算対比	94.9%	前年度 決算額	49,283,536
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 中学校教育振興事業

単位：円

当初 予算額	12,905,000	予算 現額	13,445,000	決算額	12,389,066	前年度 決算対比	80.6%	前年度 決算額	15,378,567
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

教材備品の整備により教育効果を高めるとともに、生徒の学力・学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善を図る。

II 事業の成果等

各種教材備品の整備により授業等が円滑に行われ教育効果が高まった。また、全学年で標準学力テストを、3学年は併せて全国学力・学習状況調査を実施し、各学校において基礎・基本の学力定着が図られた。

Ⅲ 事業の実績

1 教材備品の購入状況

学校名	主な購入備品	一般教材 備品(円)	理科設備 備品(円)	計(円)
常盤中学校	ビデオカメラ、ミシン 外	740,050	56,052	796,102
相森中学校	ティンパニ、ミシン 外	1,071,460	68,256	1,139,716
墨坂中学校	i Pad、ポータブルステージ 外	1,261,132	75,600	1,336,732
東中学校	エバーマット、キーボード 外	583,030	0	583,030
計		3,655,672	199,908	3,855,580

2 図書購入費及び図書蔵書率 (※学級数は文部科学省基準、特別支援学級含む)

学校名	学級数	標準冊数(冊)	蔵書冊数(冊)	蔵書率(%)	図書購入費(円)
常盤中学校	12	10,720	12,008	112.0	798,000
相森中学校	12	10,720	10,732	100.1	791,000
墨坂中学校	15	12,160	13,619	112.0	826,000
東中学校	8	8,480	10,840	127.8	762,999
計	47	42,080	47,199	112.2	3,177,999

3 標準学力テストの実施

中学校1年生	国語・数学・社会・理科・意識調査	436人
中学校2年生	国語・数学・英語・社会・理科・意識調査	418人
中学校3年生	国語・数学・英語・社会・理科	384人 2,444,960円

4 全国学力・学習状況調査の実施

生徒の学力・学習状況を把握・分析し、各校の教育の成果と課題、教育指導や学習状況の改善に役立てるため、全国学力・学習状況調査を、中学3年生を対象に実施した。

実施日 4月18日

実施教科 国語・数学・英語・生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

■ 中学校情報教育事業

単位：円

当初 予算額	24,591,000	予算 現額	24,529,000	決算額	24,467,879	前年度 決算対比	101.7%	前年度 決算額	24,059,041
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

中学校の教育用パソコンや校務用パソコンを整備することで情報教育を推進する。

II 事業の成果等

情報教育をより一層推進するため、中学校4校のパソコン教室にパソコンを継続配置し、授業で有効活用した。また、校務処理の効率化と教育活動の質の向上を図るため、校務用パソコンも継続配置した。

Ⅲ 事業の実績

1 ケーブルインターネットの利用

情報教育を一層推進するため、昨年度に引き続き、高速インターネット回線を利用した。

ケーブルインターネット利用料 797,008円

2 パソコンの配置及び保守点検

パソコン教室のパソコンを各校36台、教職員用として校務用パソコン約150台を継続配置し、校務や授業等において活用を図った。

中学校4校の機器賃借料	20,231,952円 (パソコン教室、校務用)
センターサーバ賃借料	1,175,029円 (光ファイバー芯線含む)
事務機器保守点検委託料	1,817,676円 (校務用パソコン、センターサーバ保守)

■ 中学校国際化教育推進事業

単位：円

当初 予算額	9,938,000	予算 現額	9,938,000	決算額	9,937,096	前年度 決算対比	100.9%	前年度 決算額	9,845,928
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。生徒が直接外国人に接し、英語を聞いたり話したりすることで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション能力の育成、4技能（聞く、話す、読む、書く）の基礎能力向上を図る。

II 事業の成果等

全中学校に語学指導を行う外国語指導助手（ALT）を配置し、日本人英語教師とのチーム・ティーチングにより、「聞くこと・話すこと」の質と語学力の向上及び国際理解の向上が図れた。

III 事業の実績

1 外国語指導助手の派遣

ALT 2人を市内中学校へ派遣した。

常盤中学校	相森中学校	墨坂中学校	東中学校	須坂支援学校
80日	78日	98日	84日	3日

10-4-1(目)特別支援学校費

単位：円

当初 予算額	8,245,000	予算 現額	10,775,000	決算額	10,138,103	前年度 決算対比	129.8%	前年度 決算額	7,810,534
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

■ 特別支援学校管理運営事業

単位：円

当初 予算額	8,245,000	予算 現額	10,775,000	決算額	10,138,103	前年度 決算対比	129.8%	前年度 決算額	7,810,534
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

「地域の子どもは地域で育てる」の理念の実現に向け、平成23年度に開校した県内初の市立特別支援学校として須高地域全体の特別支援教育の充実を図る。また、特別支援学校における教育環境整備等の管理運営を行う。

II 事業の成果等

障がいのある子どもも障がいのない子どもも、地域でともに生活し、ともに育ち、ともに学ぶ環境づくりが進んだ。

学校の規模及び設備の状況に応じた予算を配当し、効率的な管理運営が図られた。

1 須坂支援学校の学級数及び児童生徒数（5月1日現在）

小学部（単式学級）

1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計	
学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	6	9

小学部（複式学級）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	児童数	学級	児童数
3	1	1	1	0	1	3	7

中学部（単式学級）

1年生		2年生		3年生		計	
学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
1	1	1	1	1	4	3	6

中学部（複式学級）

1年生	2年生	3年生	計	
生徒数	生徒数	生徒数	学級	生徒数
2	3	2	3	7

2 学校備品・教材備品・図書等の購入状況

備品区分	主な購入備品	購入金額（円）
学校備品	プロジェクター 外	338,756
教材備品	マット 外	199,584
図書	教材用図書	191,648

3 ケーブルインターネットの利用

情報教育を一層推進するため、高速インターネット回線を利用した。

ケーブルインターネット利用料 196,200 円

4 パソコンの配置及び保守点検

情報教育推進のため、教職員用として校務用パソコン約 20 台を継続配置し、校務や授業等において有効活用を図った。

機器賃借料 686,400 円

センターサーバ賃借料 199,893 円

10-5-1(目) 幼稚園費

単位：円

当初予算額	124,127,000	予算現額	130,466,000	決算額	126,281,764	前年度決算対比	120.0%	前年度決算額	105,244,999
-------	-------------	------	-------------	-----	-------------	---------	--------	--------	-------------

■ 幼稚園助成事業

単位：円

当初予算額	5,364,000	予算現額	18,516,732	決算額	16,527,836	前年度決算対比	476.9%	前年度決算額	3,465,525
-------	-----------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

幼児教育の振興を図るため、幼稚園事業に要する経費のうち、給料、職員手当、社会保険料、報酬、賃金に要する経費に対して補助する。また、令和元年 10 月施行された国による幼児教育・保育の無償化により、幼稚園等に通園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図った。

II 事業の成果等

市内の 2 私立幼稚園と 2 認定こども園及び市外 4 私立幼稚園の運営の安定化が図れた。また、特別支援保育対策事業補助金を交付して特別に支援が必要な児童の受け入れの促進を図った。

施設等利用給付費や副食費補足給付により、幼稚園等に通園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 私立幼稚園補助金	1,678,800 円
2 特別支援保育対策事業補助金	549,115 円
3 施設等利用給付費	12,689,360 円
4 副食費補足給付費	1,610,561 円

■ 幼稚園就園援助事業

単位：円

当初 予算額	18,763,000	予算 現額	6,620,000	決算額	6,557,900	前年度 決算対比	40.8%	前年度 決算額	16,057,920
-----------	------------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

幼稚園教育の振興に資するため、私立幼稚園の設置者が徴収する入園料・保育料を、幼児の属する世帯の所得の状況に応じて減免する事業に要する経費に対して補助する。

II 事業の成果等

保護者の経済的負担の軽減が図れた。

Ⅲ 事業の実績

幼稚園就園奨励費補助金 6,557,900 円

■ 施設型給付等事業

単位：円

当初 予算額	100,000,000	予算 現額	105,329,268	決算額	103,196,028	前年度 決算対比	120.4%	前年度 決算額	85,721,554
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園や認定こども園への教育認定を受けた児童の受け入れに対して施設型給付を行う。また、令和元年10月施行された国による幼児教育・保育の無償化により、幼稚園等に通園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図った。

II 事業の成果等

市内2認定こども園、市外3認定こども園、2幼稚園へ施設型給付を行い、幼児期における学校教育と保育の総合的な提供に資することができた。また、施設等利用給付費により、幼稚園等に通園し、預かり保育を利用する児童の保護者の経済的負担の軽減を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 施設型給付の状況 102,513,288 円

委託先	定員 (人)	令和2年3月対象児童 (人)	延児童数 (人)	施設型給付費 (円)
マリアこども園	90	65	784	35,091,310
双葉幼稚園	90	110	1,274	59,099,498
長野市(認3・幼2)		11	124	8,322,480
計	180	186	2,182	102,513,288

2 施設等利用給付費 682,740 円

委託先	定員 (人)	令和2年3月対象児童 (人)	延児童数 (人)	施設型給付費 (円)
マリアこども園	90	10	52	177,600
双葉幼稚園	90	2	41	126,800
豊幼稚園	210	11	66	132,730
長野市(認3・幼4)		11	68	245,610
計	390	34	227	682,740

10-6-1(目)社会教育総務費

単位：円

当初 予算額	106,078,000	予算 現額	106,061,000	決算額	105,840,841	前年度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	98,640,558
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	7,370,000	予算 現額	6,502,000	決算額	6,371,601	前年度 決算対比	1,352.7%	前年度 決算額	471,013
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----------	------------	---------

I 事業の目的

第五次須坂市総合計画に掲げる、「生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進」を図る。

II 事業の成果等

生涯学習推進センターや公民館等をはじめとする社会教育施設と連携し、生涯学習の普及推進を図ることで生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進をした。

各種大会や研修に参加することで、社会教育委員の見識を高めるとともに、今後の社会教育委員の活動の参考となった。

III 事業の実績

1 社会教育委員関係

委員 8人(任期 令和元年6月1日～令和3年5月31日)

(1) 会議 3回開催

開催日	議 題	出席
7月5日	第1回定例会 生涯学習・社会教育部門の組織の見直しについて 須坂市立博物館基本計画について 当該年度社会教育関係事業等について	7人
12月19日	第1回臨時会 須坂市教育委員と社会教育委員との懇談のテーマについて 北信地区社会教育委員連絡協議会活動報告書の執筆について 生涯学習・社会教育部門の組織の見直しについて	8人
2月21日	第2回定例会 来年度の予定について 長野県社会教育研究大会について	7人

(2) 総会・研究大会等への参加

ア 県社会教育委員連絡協議会総会及び講演会

6月19日 県総合教育センター 委員4人、事務局1人参加

イ 北信地区社会教育委員連絡協議会総会・地区研修会

7月2日 坂城町文化センター 委員4人、事務局1人参加

ウ 県社会教育研究大会

9月19日 県総合教育センター 委員4人、事務局1人参加

エ 地域ぐるみの共有フォーラム兼北信地区社会教育研究大会

11月2日 中野市豊田文化センター 委員3人、事務局1人参加

(3) 視察

9月13日 須坂支援学校 委員5人、事務局1人参加

11月18日 蓼科保養学園 委員4人、事務局1人参加

(4) 須坂市教育委員との懇談

2月21日 第2回定例会同日開催 委員7人、事務局3人参加

2 公益信託駒沢嘉須坂生涯学習振興基金による助成

(1) 運営委員会の開催

6月21日 書面決議

3月24日 信託管理人、運営委員5人、事務局3人参加

(2) 助成の状況

8団体へ総額 783,000 円を助成することで、生涯学習の推進を図った。

3 旧長野県須坂青年の家

旧長野県青年の家施設改修費補助金を活用し、次年度に実施する施設等の解体撤去に向けて必要な事業を委託により実施した。

業務名	委託先	委託内容	金額(円)
旧長野県須坂青年の家建物等解体撤去工事实施設計業務委託	宮島建築設計事務所 須坂事務所	建物等の解体撤去の実施設計	5,665,000
危険物地下タンク内清掃作業	(株)公害技術センター	地下タンク2基の残油を抜き取り、タンク内を洗浄	356,400

■ 文化活動振興事業

単位：円

当初予算額	26,429,000	予算現額	26,382,000	決算額	26,361,641	前年度決算対比	103.3%	前年度決算額	25,521,840
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動等を支援し、豊かな市民生活を実現する。

II 事業の成果等

ボランティア団体等との共催事業である「第21回 信州岩波講座2019」においては、3回の講座と高校生編の4講座を開催し、市内外に広くアピールしながら、市民が中心となり地域社会の日常に根ざした文化活動としての取組みが図れた。

子どもの読書活動を推進するため、子ども読書活動支援研究会の活動を支援するとともに、「すざか子ども読書ちゃれんじ(乳幼児版、ビブリオトーク含む)」を実施し、幅広い子どもの読書活動支援を行った。

また、(一財)須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援し、市民に文化芸術鑑賞・発表の場を提供することから文化意識を高め、市民による文化活動の促進が図れた。

III 事業の実績

1 第21回 信州岩波講座2019の開講

須坂から文化的情報の発信をめざし、岩波書店、信濃毎日新聞社、(特非)ふおらむ集団999等と実行委員会を組織して講座を開講したほか、高校生編を市内3高等学校の行事の一環として行い、多くの生徒の参加となった。

負担金 2,500,000円

(1) 《基本テーマ》あすへ繋ぐ学び

会場	開催日	内 容	聴講者数(人)
講座Ⅰ 須坂市文化会館 メセナホール	8月17日	講演 「本の世界 読書のすすめ」 出口治明氏	491
講座Ⅱ 須坂市文化会館 メセナホール	8月24日	講演 「AIと人間」 福岡伸一氏	645
講座Ⅲ 須坂市文化会館 メセナホール	9月21日	講演 「日本を考える私」 姜尚中氏	1,003

(2) 高校生編

会場	開催日	内 容	聴講者数(人)
須坂市文化会館 メセナホール	12月10日	講演 「本当はカレー屋になるはずだった 案外と知られていない翻訳の裏話」 金原瑞人氏	951

2 文化芸術活動の支援および育成

(1) 文化振興事業団自主事業活動の支援

市民の自主的な文化活動を支援し、優れた芸術鑑賞活動を行う(一財)須坂市文化振興事業団の自主事業に対し補助金 20,000,000 円を交付した。

ア 公演事業

「リアル脱出ゲーム×アニメ逆転裁判 人気よしもと芸人殺人事件」ほか10公演を実施。

イ 育成事業・支援事業等

メセナホール友の会、メセナ少年少女合唱団、メセナジュニアオーケストラ、メセナ市民交響楽団、メセナ・ゴスペルクワイア、メセナ・ウインドオーケストラ、メセナ・ビッグバンドを支援した。

「メセナの風」、「森の中のクラフトフェア2019」等を開催した。

(2) 公共ホール音楽活性化事業

(一財)地域創造による同事業を導入し、市内の小学校4校で小学生に身近なリコーダーによるミニコンサート(アウトリーチ)を実施し、クラシック音楽の魅力に触れる場を作ることができたほか、須坂市文化会館メセナホールでのリコーダーコンサートでは、リコーダーワークショップも行い、リコーダーやクラシック音楽の魅力を発信することができた。

ア 出演アーティスト 江崎浩司氏、横田朱乎氏

イ アクティビティ 10月3日 豊丘小学校(48人)、小山小学校(60人)

10月4日 井上小学校(44人)、豊洲小学校(50人)

ウ コンサート 10月5日 須坂市文化会館メセナホール小ホール(206人)

3 「須坂市子ども読書活動推進計画」の推進

(1) 須坂市子ども読書活動支援研究会の活動支援

読書支援団体による効果的かつ具体的な推進方法を研究するとともに、研究会が支援活動に資する事業を行い読書環境の整備・促進を図った。また、子どもの読書力を高めることにより、感性と表現力を磨き、人とつながる力の成長を支援することを目的に行なった活動を支援した。

ア 参加団体数 17団体

イ 研究会開催状況 12回開催

ウ 各種読み聞かせ等の実施

学校(読書旬間)等での読み聞かせ、図書館や地域公民館等のイベントでおはなし会を行った。

5月4日 図書館おたのしみ会

- 12月14日 図書館クリスマスおたのしみ会
- 1月6日 新春お話の広場（高甫地域公民館）
- 3月11日 すざか子ども読書ちゃれんじ表彰式おはなし会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

エ 各種講演会の企画・開催

駒澤嘉須坂生涯学習振興基金 76,000 円及び(特非)ふおらむ集団 999 より古本市の売上及び協力金 50,000 円の助成を受け、読み聞かせスキルアップ講演会（連続2回）を企画開催した。

10月6日 講師 清水千秋氏
 演題 読み聞かせの基本～子どもと絵本をたのしむために～
 場所 旧上高井郡役所
 参加者 65人

11月16日 講師 内藤直子氏
 演題 子どもの心を育てる昔話～その魅力と語り～
 場所 旧上高井郡役所
 参加者 55人

オ 読み聞かせ勉強会等への参加

- 8月31日 上高井教育研究集会 分科会「子どもと本」内ビブリオトーク
- 10月19日 豊かな心を育む教育フォーラム（令和元年東日本台風被災のため中止）
- 2月2日 第45回信濃子どもの本と読書の集い

カ 研究会文庫の管理・活用

信州岩波講座寄贈図書及び安心子ども基金の活用による図書を、湯つ蔵んど1階市民ギャラリーと旧上高井郡役所1階市民交流室に設置し、絵本等を自由に手に取って読み聞かせられる場を提供した。

キ すざか子ども読書ちゃれんじ協力

すざか子ども読書ちゃれんじコメントカードの選考およびコメントカード紹介コーナーの設置に協力した。「やってみよう！聞いてみよう！ビブリオトーク」に関わる取り組みに協力した。

(2) すざか子ども読書ちゃれんじ（幼児版、ビブリオトーク含む）の実施

子どもの読書活動を推進し、よりよい読書環境づくりと継続的な読書活動を支援することを目的に継続実施している。

ア すざか子ども読書ちゃれんじ（対象：市内在住小学生及び須坂支援学校小中学部）

読書冊数に応じて認定証を交付し、殿堂級達成者には市長から親子表彰を行った。小学生の認定基準（冊数）を3つに分けることで、学年に適した文字数・厚みの本が読める環境を目指している。学年ごとにポイントカードのデザインを変えることで次年度への参加意欲向上に努め、認定時には学校掲示用一覧表を配布し認定者の紹介をし、更に季節のおすすめ本紹介を掲示し読書を促した。また、各認定者には「しおり」を配布し意欲向上に努めた。

コメントカード募集を秋の読書週間（10月27日～11月9日）に行い、読んだ本の数だけでなくコメントの内容も求めた。応募されたコメントは、須坂市子ども読書活動支援研究会会員で選考しホームページで紹介したほか、市立須坂図書館ではコメントカード紹介コーナーを設置し、本の帯にして紹介した。掲示期間終了後、本の帯は学校を通して児童に贈呈した。

(ア) 実施期間 4月23日（子ども読書の日）から2月15日

(イ) 認定者数

学 年	認定基準		
	名人級 (人)	達人級 (人)	殿堂級 (人)
小学1・2年生	(40冊) 103	(100冊) 40	(200冊) 16
小学3・4年生	(30冊) 130	(75冊) 65	(150冊) 39
小学5・6年生	(20冊) 56	(50冊) 31	(100冊) 28
須坂支援学校小学部	(40冊) 0	(100冊) 0	(200冊) 0
須坂支援学校中学部	(30冊) 0	(75冊) 0	(150冊) 0

※須坂支援学校は参加を見送った。

(ウ) 表彰日 3月11日 166人（対象児童83人、保護者83人）表彰（新型コロナウイルス対策のため中止）

イ すざか家族で読書ちやれんじ（対象：市内乳幼児のいる家庭）

家族で楽しく読書活動に取り組み、読書に対するモチベーションを引き上げ、親子で本を読む環境づくりと継続的な読書活動を支援する。また、小学校から実施する「すざか子ども読書ちやれんじ」へのスムーズな移行を目指した。

(ア) 実施期間 4月23日（子ども読書の日）から3月10日

(イ) 参加家族数 5家族

(ウ) 賞状 郵送で送付

ウ やってみよう！聞いてみよう！ビブリオトークーすざか子ども読書ちやれんじ版ー

（発表対象：市内在住の小・中学生、市内在学の高校生）

ゲーム感覚で読書の楽しさを発信しあう場所の提供及び、読書力の向上・読書の内容を深めることを目的に行った。

(ア) 開催日時 11月2日

(イ) 会場 市立須坂図書館1階児童室

(ウ) 参加者 発表者0名、見学者17名（大人も含む）小中学生の参加希望がなかったため、須坂高校生徒6名の協力によりビブリオトークデモンストレーションを実施した。

(3) すざかしどうぶつえんかるた、すざかしどうぶつえんえほん「トットト」の活用・販売

10-6-2(目)公民館費

単位：円

当初 予算額	173,203,000	予算 現額	168,261,000	決算額	163,167,722	前年度 決算対比	100.2%	前年度 決算額	162,899,549
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 公民館管理事業

単位：円

当初 予算額	37,770,000	予算 現額	38,230,000	決算額	35,957,357	前年度 決算対比	102.3%	前年度 決算額	35,155,602
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

公民館を学習の場、交流の拠り所として使用する地域住民や団体が、より安全安心で快適な環境で学習できるよう施設、設備等の維持管理に努める。

II 事業の成果等

使用団体による積極的な利用を促し、施設の維持修繕等に心掛ける事により、使用者の利便を図る事ができた。小中学生の夏季休暇に際しては学習室として施設を開放し、公民館が身近な施設であることを周知できた。

III 事業の実績

1 施設の管理等

(1) 施設等の修繕

施設名	事業内容	事業費(円)
中央公民館	3階給湯室タイル張替え修繕 外14件	446,940
南部地域公民館	放送設備音量調整器修理 外1件	67,760
日滝地域公民館	廊下手摺修繕 外1件	11,880
豊洲地域公民館	誘導灯修理 外4件	87,830
旭ヶ丘ふれあいプラザ	自動扉開閉装置修繕 外6件	507,182
日野地域公民館	テニスコート人工芝修繕 外5件	867,774
井上地域公民館	印刷機（リコーDD4450P）修繕 外5件	66,670
高甫地域公民館	2階大広間アコーディオンカーテン改修 外2件	629,224
仁礼コミュニティセンター	印刷機（リコーDD4450P）修繕	21,054
豊丘地域公民館	除雪機燃料漏れ修理	48,400
計	48件	2,754,714

(2) 施設管理の手数料

施設名	事業内容	事業費(円)
中央公民館	公用車法定24ヶ月・車検に伴う点検整備 外5件	178,692
南部地域公民館	受水槽清掃及び水質分析 外4件	192,940
日滝地域公民館	アシナガ蜂駆除	5,400
豊洲地域公民館	台風19号災害施設内漏電調査/エアコン運転確認	11,000
旭ヶ丘ふれあいプラザ	産業廃棄物収集処分(2回) 外1件	23,330
日野地域公民館	敷地内プラタナス伐採処分 外2件	254,140
高甫地域公民館	1階大広間畳表替え 外3件	173,550
豊丘地域公民館	除雪機バッテリー充電	1,320
中央公民館及び地域公民館	消防用設備点検(年間2回) 外2件	989,000
計		1,829,372

(3) 施設管理の委託

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
中央公民館 南部地域公民館 カーペット等床清掃業務委託	(株)ティーオーピー 川中島営業所	年1回	264,000
中央公民館電話保守点検委託料	石田通信機株	定期点検年5回	63,360
中央公民館、旭ヶ丘ふれあいプラザ自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	定期点検年3回	124,300
中央公民館エレベーター保守点検委託	日本オーチス・エレベータ(株)	定期点検毎月	758,640
中央公民館 事務機器保守点検委託	(資)カミヤ長張商店	電子コピー機保守点検	203,940
中央公民館、南部地域公民館 電気保安業務委託	(一財)中部電気保安協会	電力デマンド監視業務	487,884
中央公民館看板等作成業務委託	(有)吉池看板企画	中央公民館 案内表示板作成・修繕委託	330,550
中央公民館、各地域公民館 襖張替え、草刈り等委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	草刈り、襖張替え等	79,296
計			2,311,970

(4) 施設管理の機器賃借

施設名	事業内容	事業費(円)
中央公民館及び地域公民館	コピー機等賃借 コピー機:11台 印刷機:10台	2,812,968
中央公民館及び地域公民館(仁礼 コミュニティーセンターを除く)	AED賃借 9台	589,908
計		3,402,876

(5) 備品購入の状況

施設名	物品名	数量	金額(円)
中央公民館	西館エアコン	1	626,400
中央公民館	舞台用照明器具	1	56,851
南部地域公民館	プロジェクター	1	139,860
日滝地域公民館	チェアポーター	1	40,500
日滝地域公民館	モバイルスクリーン	1	48,600
豊洲地域公民館	ブルーヒーター	1	74,736
日野地域公民館	事務室エアコン	1	141,588
計			1,128,535

2 用地の借上げ

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
中央公民館、西館、駐車場	4,468.53	4,253,300	6

3 小中学生への施設開放（夏休み中の学習のため） 期間：7月25日～8月20日

施設名	利用者数 (人)	
中央公民館	小学生 2	中学生 16
仁礼コミュニティセンター	小学生 22	中学生 8
井上地域公民館	小学生 55	中学生 1
南部地域公民館	小学生 7	中学生 5
豊洲地域公民館	小学生 3	中学生 0
日滝地域公民館	小学生 63	中学生 0
高甫地域公民館	小学生 10	中学生 4
豊丘地域公民館	小学生 106	中学生 14
日野地域公民館	小学生 46	中学生 44
旭ヶ丘ふれあいプラザ	小学生 23	中学生 5
計	小学生 337	中学生 97

4 大掃除

使用団体の代表者により清掃を実施した。

第1回 6月7日 83人

第2回 11月12日 70人

5 公民館使用料

- (1) 施設等の冷暖房使用料 1,225,100円 (中央公民館及び地域公民館)
- (2) 白布クリーニング料 14,678円 (中央公民館)
- (3) 施設等の照明使用料 256,840円 (日野地域公民館)
- (4) ホール使用料 40,950円 (中央公民館)

■ 公民館整備事業

単位：円

当初 予算額	5,561,000	予算 現額	5,476,000	決算額	5,425,200	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

学習の場、交流の場づくりを推進している公民館として、施設機能の充実、利便性、安全性を高め、災害等の際は避難所としても活用できる施設整備に努める。

II 事業の成果等

公民館の施設を整備することにより、市民や各種団体に、より快適で安全な環境で学習や交流を深める場を提供できた。あわせて災害時の避難所としての機能を高めることができた。

III 事業の実績

1 施設の委託

業務名	委託先	業務内容	工期	金額 (円)
緊急防災・減災事業 南部地域公民館・臥竜山公会堂トイレ改修工事設計業務委託	宮島建築設計事務所 須坂事務所	設計業務	5月9日 ～ 7月26日	475,200

2 施設の工事

工 事 名	請 負 先	概 要	工 期	金額 (円)
緊急防災・減災事業 南部地域公民館・臥竜山公会堂トイレ改修工事	西田管業(株)	トイレ洋式化	11月27日 ～ 3月19日	4,950,000

■ 公民館活動事業

単位：円

当初 予算額	75,431,000	予算 現額	75,356,000	決算額	72,702,713	前年度 決算対比	102.5%	前年度 決算額	70,917,958
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため事業を推進する。

II 事業の成果等

- 34人の新入生を迎えた「須坂市民学園」では、「郷土の良さを知り、この地に生まれ育ったこと、住んでいることに誇りの持てる人づくり」を目標に、公開講演会・学級会活動・自治会活動・クラブ活動を通して活発な学習・交流が図られた。
- 11年目を迎えた須坂市文化芸術協会との連携による「文化芸術講座」では、「謡曲」や「日本舞踊」など6講座を開講し、伝統ある文化芸術へのきっかけ作りの更なる提供をおこない、文化芸術の継承と後継者の育成に寄与することができた。
- 成人式のアトラクションについて、新成人自ら企画運営し、思い出に残る成人式の演出や仲間づくりをすることができた。

III 事業の実績

- 公民館運営審議会 委員数17人
第1回 7月17日 13人出席
2019年度事業計画、事業実施状況について協議した。

2 講座開設（学習支援）の状況

(1) 階層別講座開催

ア 少年の講座

21世紀を担う子どもたちの「生きる力」を育てるため、学校、家庭、地域の連携により実施した。

事業名	学習内容	開催期日	参加人数 (人)
水生生物を採集し育ててみよう	水の少なくなったプールからヤゴなどを採集し育てる 講師 田中裕義氏	5月26日	26
せせらぎサイエンス（生活環境課と共催）	鮎川水系に住む水生生物の観察を親子で行った。 講師 杉本淳氏	7月27日	17
夏休み子どもウィーク	① ペットボトル風車で電気をつくろう 講師 須坂創成高等学校	8月5日	19
	② お昼ご飯をつくろう 講師 須坂市食生活改善推進協議会	8月6日	12
	③ 夏休み帳学習会 講師 須坂中央地域づくり推進委員会	8月6日	9
	④ 和紙絵のうちわづくり 講師 若草会	8月7日	11
	⑤ 絵手紙体験 講師 萩の会	8月8日	12

事業名	学習内容	開催期日	参加人数(人)
夏休み子どもウィーク	⑥ 親子映画会 「行ってきます」「絵からとびだしたねこ」「ミッキーマウス」	8月9日	57
親子料理教室	豆腐クリームのパングラタン、豚スライスのロールキャベツ 他3品 講師 須坂市食生活改善推進協議会	12月1日	11
高校生のみなさん料理をしよう!	焼きそば、プリン 他3品 講師 須坂市食生活改善推進協議会	12月5日	6
親子で楽しもう!	かわいいリース&ミニアレンジづくり 講師 須坂創成高等学校	12月8日	11
オリジナルはにわ作り	蔵の町並みキャンパス推進協議会「わくわく!!はにわクラフト～粘土でつくるオリジナルはにわ」事業との共催 講師 清泉女学院大学	12月8日	30

イ 青年の講座

同世代との交流の機会を提供し、健全な仲間づくりや連帯感を育んだ。

事業名	学習内容	開催期日	参加人数(人)
アロマワックスサシェ&ハーバリウムディフューザー講座	ハーバリウムの花材を利用してアロマワックス(香り付ロウ)にデコレーション、特別なオイルを使いハーバリウムを製作 講師 宮崎弘美氏	7月17日	7
アイシングクッキーデコレーション教室	クッキーにアイシングクリームでデコレーションをするコツを学ぶ 講師 岡田望氏	9月3日	8

ウ 成人の講座

「郷土の良さを知り、この地に住んでいることに誇りを持つ人づくり」を目標に須坂市民学園を開講したほか、生涯学習時代の地域課題に対応し、明るい地域づくりに関わる講座・高齢化社会に向けた講座・地域課題に取り組む学習活動・支援を通して、地域相互・住民相互の連帯感を深め、情操豊かな人間形成を図った。

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人)
須坂市民学園	学園生 85人 自治会活動、学級会活動、クラブ活動、学園祭、館外学習等自主的な活動を通して交流と仲間づくりを行った。 公開講演会	4月～3月 12回 (クラブ活動は随時)	延663 (内一般 延75)
	① 「子どもは宝! どの子も豊かに伸びる須坂をめざして」 講師 須坂市教育長 小林雅彦氏	5月18日	120 (内一般 80)
	② 「コウノトリのげんきくん」 講師 山岸哲氏	6月15日	200 (内一般 126)
	③ 「戦争と花火～令和の慰霊の季節に～」 講師 小林照幸氏	8月17日	120 (内一般 70)
	④ 「須坂と江戸 ー激動の幕末をきたる人びとー」 講師 横山百合子氏	9月14日	150 (内一般 73)
	⑤ 「正岡子規『かけはしの記』」 講師 堀井正子氏	12月14日	200 (内一般 69)

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人)
須坂市民学園	⑥ 「島崎藤村と須坂」 講師 田子修一氏	1月25日	180 (内一般 78)
	⑦ 「きりえが描く健康長寿への道」 講師 柳沢京子氏	2月15日	150 (内一般 79)
「原田要 平和への祈り」上映会及び講演会	元ゼロ戦パイロット 原田要氏の波乱に満ちた生涯を描いた映画の上映会と本作品の映画監督の講演会 講師 宮尾哲雄氏	5月29日	100
おでかけパソコン講座(委託事業)	ゆっくりパソコン入門 ワード入門 エクセル入門 ワード&エクセル 講師 (特非)信州SOHO支援協議会	8月 5回	4 延20
		8月 5回	6 延29
		9月 5回	5 延23
		9月 5回	5 延23
うちエコ講座	① 「なべ帽子」を活用したエコ調理体験 ② 「なべ帽子」を作る 講師 須坂友の会	9月25日	6
		10月 2回	7 延14
筆ペン講座	筆ペンを使ってきれいな文字を書くコツを学ぶ 講師 吉池芳葉氏	10月 4回	15 延54
年忘れ！元気はつらつ落語会	古典落語を2題聞く ① 「芝浜」 講師 理髪家文正氏 ② 「文七元結」 講師 飲々亭冷奴氏	12月 6日	100
ちりめんでおひな様	ちりめん(生地)を使っておひな様をつくろう 講師 ひな細工の会	2月 3回	7 延21
すぎかマイノート活用講座(高齢者福祉課共催)	すぎかエンディングノートの書き方講座 講師 高齢者福祉課・地域包括支援センター	2月14日	11
郷土料理講座	郷土食「やしょうま」をつくってみよう 講師 須坂市食生活改善推進協議会	2月19日	19

(2) 教養講座開催

市民の学習参加への意欲の高揚を図るため、社会教育団体等と連携し開催した。また、新しい仲間づくりのきっかけづくりとなった。

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人)
おとなのピアノ教室	「もしもピアノが弾けたなら」と思っている大人向け、超初心者講座 講師 田所恵美子氏	5月～9月 10回	9 延81
文化芸術講座 (須坂市文化芸術協会との連携による講座)	仲間づくり謡曲塾(宝生流) 講師 宮澤正幸氏	6月～9月 8回	2 延10
	ザ・尺八 講師 南澤汎山氏	6月～9月 17回	2 延25
	楽しいいけ花 講師 下村敦子氏	6月～9月 6回	11 延58
	観世流さわやか謡曲講座 講師 村石武志氏	6月～9月 8回	3 延18
	茶席入門(石州流) 講師 北原勲氏	6月～8月 6回	2 延12
気軽に楽しむ日本舞踊(藤間流) 講師 藤間千勢津氏	7月～10月 8回	7 延45	

(3) 国際化講座開催

国際化社会に対応して、様々な国の文化や習慣等の理解を深める講座を開催した。また、市民の国際交流の機会と国際感覚の向上を図るため、講座等の企画運営を市民ボランティアの参画を得て実施した。

事業名	学習内容	開催期日・回数等	参加人数(人)
オリンピック・パラリンピックホストタウン事業	中央「現在(いま)の中国を知ろう」 講演会と中国文化に触れる 講師 西堀正司氏、 須坂市日中友好協会会員	9月8日	41
	南部「かんたんな太極拳講座」 音楽に合わせてカンフー体操 講師 山崎優子氏	6月27日 9月12日	12 8
	高甫「水墨画教室」 水墨画に親しむ 講師 南澤廣江氏	5月～6月 4回	7 延28
国際交流パーティー(支援)	市内外の在住外国人との交流を通して、互いの文化への理解を深めることを目的に、市民ボランティアの実行委員会が主体となって行った。	11月16日	220
日本語教室(支援)	日本語ボランティア主体の外国人のための日本語学習支援	11月～2月 5回	2 延7

3 文化活動の実績

視聴覚教育の一環として、公民分館を始めとする社会教育団体の学習機会に利用してもらうため、映画等の映像作品を購入し、年間を通して貸し出しを行った。

(1) 購入作品

3作品(DVD) 107,730円(「いってきます」「絵からとびだしたねこ」「ミッキーのゴルフ」)

(2) 活用事業

事業名	学習内容	回数	参加人数(人)
映像作品の貸し出し	親子映画会等に対する貸し出し 「いってきます」「ごんぎつね」ほか	地域公民館 9回 公民分館・育成会等 2回	延426

4 公民分館・ブロック活動支援の状況

(1) 研修会等開催の実績

生涯学習時代の中にあって、魅力ある公民分館活動を支援するために、公民分館長・主事等を対象に研修を行った。

事業名	活動及び学習内容	開催期日	出席者数(人)
公民分館長会総会	平成元年度公民館事業計画について等	4月15日	81
	令和2年成人式について等	12月9日	87
	正副会長の選出等	1月27日	84
公民分館長会役員会	公民分館長会総会について	1月20日	16
公民分館報編集研修会	公民分館報を作成するコツ・ポイントを学ぶ	2月5日	70

(2) 分館交付金の交付状況

公民分館活動の一層の充実を図るため、69公民分館及び12ブロックに次のとおり交付金を交付した。

区分	1期概算払(円)	2期精算払(円)	計(円)
交付金額	6,871,060	2,530,000	9,401,060
69公民分館	6,580,060	2,475,000	9,055,060
12ブロック	291,000	55,000	346,000

5 広報活動の状況

生涯学習の啓発と公民館事業及び各種学習会等の講座内容を周知するため、次の広報活動を行った。

- (1) 公民館だより 毎月1回発行（4月～3月号 5頁） 19,700部
公民館だよりスタッフ編集会議 月1回 スタッフ 10人
- (2) ホームページ、まなび一歩情報等を活用し、公民館活動の啓発に努めた。
- (3) 「広報須坂」モニター会議（政策推進課） 4月23日、 モニター 10人

6 社会教育団体等支援の状況

- (1) 公民館使用団体代表者会議

3月19日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- (2) 須坂市連合婦人会、須坂市文化芸術協会への支援

補助金の交付とともに、各団体の活動に対する相談等の支援を行った。

団体名	補助額（円）
須坂市連合婦人会	450,000
須坂市文化芸術協会	450,000

- (3) 地域づくり須坂未来塾への支援

魅力と活力ある地域づくりに寄与することを目的に活動する地域づくり須坂未来塾の将来的な自立に向けて支援を行った。

学 習 内 容	開催期日	参加人数（人）
ファミリー電波教室 （生涯学習推進員会中央分会共催）	6月16日	23
第13回すざかのこども七夕まつり （生涯学習推進員会中央分会共催）	7月28日	5
第13回もちつき大会 （須坂中央地域づくり推進委員会共催）	12月8日	60
第13回須坂発地域づくりリレー講演会 講演会「本音で語る須坂の魅力?!」 講師 マイク・シュゲディン氏、早川航紀氏、 宮島麻悠子氏	2月23日	25
バルーン教室（出前講座）	5回	延392

7 成人式開催の状況

- (1) 期 日 1月12日
- (2) 場 所 須坂市文化会館メセナホール
- (3) 内 容 オープニングセレモニー（須坂高等学校吹奏楽部）
式 典

アトラクション（新成人スタッフによる企画運営 思い出のビデオ上映・抽選会・恩師紹介）

- (4) 新成人該当者 553人（男286人、女267人）
- (5) 新成人参加人員 404人 出席率73.1%（H30 72.9%、H29 73.8%）
- (6) 新成人20年のあゆみパンフレットを作成し配布した。

8 その他事業の実施状況

- (1) ロビー、展示スペースの提供

各団体の活動を紹介するスペースを提供

ア 中央公民館ロビー

期 間 等	内 容	団 体 名	来館者数 (人)
4月16日	コンサート	シニアアンサンブル須坂	21
5月5日～5月31日	絵画展	絵の会	—
6月17日～7月4日	教科書展示会	長野県教育委員会(北信教育事務所)	—
6月24日～7月31日	男女共同参画週間啓発展示	男女共同参画課	—
8月18日～9月1日	絵画作品展	竜画会	—
8月19日～9月24日	人権啓発パネル展	人権同和教育課	—
10月15日～10月26日	写真展	写真クラブ光影・光遊会	—
10月27日～10月31日	小学生絵画・版画・書展	MOA美術館須高児童作品展	—
11月20日～12月4日	絵画展	傘寿グループ	—
12月5日～12月26日	書道展	竹水会	—
1月4日～1月30日	須高書道大会作品展	須坂新聞社	—
3月9日～3月24日	写真展	彩クラブ	—

イ 市民ギャラリー臥竜公園

期 間	内 容	団 体 名	来館者数 (人)
4月11日～4月24日	写真展示「四季の瞬き」	日本風景写真協会長野支部	661
8月2日～8月11日	写真展示「山の写真展」	写真愛好家	148

(2) 新生活運動の推進

新生活運動の申合せ事項の徹底を図るため、中央公民館・各地域公民館等にポスターを掲出し周知をはかり、香典袋等を販売した。

9 地域事業の活動状況

身近な生活課題や地域の学習ニーズに応えるため、地域特性を考慮し、次の事業を実施した。

(1) 少年の講座

地 域 公民館名	学 習 内 容	講 師 等	回数	参加人数 (人)
中 央	須坂小学校学習支援	寺子塾、にこにこすざか食、常盤町神楽保存会、田中裕義氏、西村直利氏、今井彰氏、中村道夫氏 生涯学習まなび一号(隊)インストラクター、社会福祉協議会 ほか	60	延1,580
仁 礼	仁礼地区子育て広場、夏休み映画会、おやきづくり教室、仁礼小学校学習支援	保健補導員、坪井栄氏 ほか	13	延370
井 上	子育て支援「あそびの広場」、夏休み親子映画会、井上小学校学習支援(史跡めぐり・地域学習) ほか	保健補導員、子育て支援センター、市川寛一氏、成田正道氏 ほか	20	延557
南 部	親子エコ体験教室、夏休み親子読み聞かせ&映画会、マジック体験教室	駒村敏明氏、須坂あかりの会、すいせんマジックサークル	3	延185
豊 洲	子育て広場、夏休み親子映画会、漢字deトランプ(低学年、高学年)、夏休み理科工作教室、福祉施設と児童の交流会	保健補導員、子育て支援センター、中島弘氏、ワークハウスわらしべ ほか	6	延211

地域 公民館名	学 習 内 容	講 師 等	回数	参加人数 (人)
日 滝	こどもフェスタ in ひたき、こどもやんしゃ2019	安野悦子 氏、地域づくり推進委員 ほか	4	延 191
高 甫	高甫っこ広場、子育て広場、夏休み子ども映画会、お菓子作り教室、お話し広場、しめ縄学習会、高甫小学校支援 ほか	稲葉智子 氏、保健補導員、村石后恵 氏、ハッピーお話し届け隊、樋口正男 氏 ほか	53	延 1,599
豊 丘	簡単空気の工作、親子映画会、囲碁教室、子どもお茶教室(お茶ごっこ)、子ども夏・冬のお楽しみ会、豊丘小学校支援 ほか	常長虎徹 氏、長谷部貞夫 氏、戸松陽子 氏、小山秀司 氏 ほか	14	延 234
日 野	初心者箏教室、初心者太鼓教室、親子映画会、日野小学校支援 ほか	南澤雅尚 氏、田村憲雄 氏、松井弘 氏、佐藤利彦 氏、 ほか	25	延 503
旭ヶ丘	読み聞かせ&おむすびづくり	アップルパイ、松川敬子 氏	1	延 44
合 計			199	延 5,474

(2) 女性の学習支援

地域 公民館名	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
中 央	穀町女性学級	12	延 102
井 上	きりのさと女性学級	5	延 80
南 部	クラフトバッグづくり教室、編み物教室	6	延 71
日 滝	ひまわり女性学級	3	延 37
豊 丘	中田女性学級、女性学級五味の会、明光寺女性学級	9	延 99
日 野	盆花アレンジ、正月盛花講座	2	延 24
旭ヶ丘	光ヶ丘女性学級、松川女性学級、旭ヶ丘女性学級	29	延 286
合 計		66	延 699

(3) 成人の講座

地域 公民館名	講座数	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
仁 礼	10	パソコン、初夏の寄せ植え、大笹街道石仏めぐり、オープンガーデン散策、地域史めぐり、きのこ教室、陶芸、縄づくり、冬の寄せ植え、やしょうま作り	22	延 203
井 上	15	おやき作り、パソコン、健康教室、和菓子づくり、和紙ちぎり絵、そば打ち体験、箏の音色にふれてみよう、木曾漆器工芸学習、奈良井宿散策、映画上映会、陶芸教室、箱膳体験、クリスマスフラワーアレンジメント、編み物、恵方巻きづくり、干支づくり	28	延 296
南 部	6	映画上映会、富岡製糸場視察研修、義民学習会、きのこ教室、妙徳山登山教室、パソコン	16	延 206
豊 洲	6	健康教室、大人のための漢字教室、パソコン、名画鑑賞会、トールペイント、やしょうまづくり	17	延 167
日 滝	6	料理、花づくり、ウクレレ、スポーツ教室、パソコン、そば打ち	27	延 438
高 甫	6	ヨガ、俳句、歌声喫茶、パソコン、北信流、避難所づくり	21	延 311
豊 丘	6	そのさと切り絵の会、音楽教室、パソコン、太極拳、麻雀教室、健康教室	41	延 383

地域 公民館名	講座数	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
日 野	3	郷土史、スポーツ吹き矢体験、ソーセージづくり	51	延 220
旭ヶ丘	4	パソコン、ストレッチ教室、健康教室、成年後見制度	7	延 82
合 計	62		230	延 2,306

(4) 高齢者の学習支援

地域 公民館名	学 習 内 容	回数	参加人数 (人)
仁 礼	ブロック高齢者学級	2	延 55
南 部	ブロック高齢者学級、健康長寿あれこれ講座	10	延 146
豊 洲	豊洲サロン（脳活性、軽運等）、豊洲サロン（東山魁夷館へ行こう）、エンディングノート	24	延 166
日 滝	パソコン教室	22	延 220
高 甫	ブロックシニアクラブ「ことぶき学級」	2	延 64
日 野	落語鑑賞	1	40
旭ヶ丘	木曜会、高齢者学級、松川ひまわり学級	68	延 837
合 計		129	延 1,528

(5) 文化・体育・レクリエーション活動

地域 公民館名	事 業 内 容	回数	参加人数 (人)
仁 礼	球技大会、文化祭、どろんこソフトバレー、懐かしの名画上映会	9	延 878
井 上	球技大会、文化祭	2	延 206
南 部	球技大会、文化祭、須坂市民ギャラリー絵画展	4	延 1,409
豊 洲	球技大会	1	延 200
日 滝	球技大会、文化祭、チャリティーコンサート、歌とお話コンサート	4	延 945
高 甫	球技大会、文化祭、「平和の願い」学習会、大人の工場見学	4	延 447
豊 丘	組別球技大会、三町球技大会、三町卓球大会	4	延 529
日 野	球技大会	2	延 460
旭ヶ丘	球技大会	1	延 100
合 計		31	延 5,174

10 地域づくり事業支援

生涯学習の成果を生かして行う、地域の活性化、地域に根ざした歴史・文化・体育・ボランティア活動及び地域で子どもを育てる事業等の地域づくり事業を支援するとともに、地域課題の発見と解決に向けた活動が自らできるよう地域づくり推進委員会に対して支援を行った。また、信州型コミュニティースクールへ事業の支援を行った。

地区名	事 業 内 容
須坂中央	須坂小職場体験学習、町並み小散歩、歴史映画会、県立信州医療センター見学体験ツアー、郷土食作り、キッズヨガ、ボイストレーニング講座&交流会等
仁 礼	仁礼小花壇支援、史跡説明板設置
井 上	マップ作製委員会、ふれあい教室、井上小クラブ支援、水稻づくり等
南 部	竜ヶ池灯籠流し、臥竜公園フェスティバル等
豊 洲	飯山視察研修、地域づくり講演会、カシス事業、推進委員会だより発行等
日 滝	こどもフェスタ、こどもやんしゃ、健康教室、チャリティーコンサート等
高 甫	ヤマメ放流、しめ縄学習会、ホテル観察会、鮎川で遊ぼう等
豊 丘	観桜会ひんのべ祭り、豊丘ダムまつり、豊丘ダム環境整備、新そば祭り、上越研修視察等
日 野	地区卓球大会、地域づくり講演会、いずみの里事業等
旭ヶ丘	地域づくり推進プロジェクト、ふれあいミニコンサート、プラザ食堂、農地活用プロジェクト等

11 事業の委託

業務名	委託先	業務内容	金額(円)
世代間情報格差是正事業 「おでかけパソコン教室」 委託業務	(特非) 信州SOHO支援協議会	中央公民館及び地域公民館 との調整によって決定する、 初級者に対するICT講座	2,090,000

12 施設の使用状況

(1) 公民館及び各地域公民館使用実績

公民館名	登録 団体数	使用回数	使用人数 (人)	公民館名	登録 団体数	使用回数	使用人数 (人)
中央	278	5,845	63,718	日 滝	64	837	11,136
仁 礼	82	964	12,199	高 甫	60	631	7,947
井 上	50	545	7,388	豊 丘	57	462	5,701
南 部	76	938	10,148	日 野	95	1,536	21,840
豊 洲	48	367	3,948	旭ヶ丘	70	1,188	12,412
				合 計	880	13,313	156,437

(2018年度 170,633人)

(2017年度 173,100人)

(2) 図書の貸出実績

地 域 公民館名	登録者数 (人)	貸出冊数	地 域 公民館名	登録者数 (人)	貸出冊数
仁 礼	196	133	高 甫	227	184
井 上	314	3,059	豊 丘	305	1,740
豊 洲	157	756	日 野	129	3,501
日 滝	76	84	旭ヶ丘	175	1,031
			合 計	1,579	10,488

(3) 旧園里学校入館の実績(開館日数 254日)

入館者内訳(人)	一 般	団 体	合 計
	220	217	437

13 備品の購入

施設名	購 入 品 目	事業費(円)
中央公民館	映画等作品3本	107,730

10-6-3(目)図書館費

単位：円

当 初 予算額	54,884,000	予算 現額	53,604,000	決算額	52,522,667	前年度 決算対比	95.5%	前年度 決算額	54,986,741
------------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 図書館管理運営事業

単位：円

当 初 予算額	46,603,000	予算 現額	45,462,000	決算額	44,382,462	前年度 決算対比	95.0%	前年度 決算額	46,740,871
------------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

市民に親しみをもって利用される公共図書館として、地域に求められる多様な資料の収集と適切な提供により、読書相談やイベントの充実、ボランティア団体の育成等に努め、市民の生涯学習に役立つ図書館事業を推進する。

II 事業の成果等

乳幼児が親子で参加する「わらべうた遊びと絵本講座」、子ども読書のつどい、おとなのための朗読会、文学講座、「野菜づくりのコツと裏ワザ講座」等、さまざまな世代に向けたイベントを開催し、市民が図書館に足を運ぶ機会を提供できた。

前年度までの改修工事で、閲覧コーナーや休憩コーナー等、館内でゆったり過ごす素地が整ったため、自習等が目的の来館者向けに「読書室パス」(入室整理券)を設けてルールとマナーを呼びかける等、きめ細かなサービスの充実に努めた結果、長時間滞在する利用者の混雑の緩和と利便性の向上が図られた。

III 事業の実績

1 図書館協議会の開催状況 委員 7人

(1) 第1回協議会 7月31日 6人出席

前年度事業報告並びに当該年度事業計画について協議した。

(2) 第2回協議会 11月14日 6人出席

当該年度上半期事業報告並びに下半期事業計画について協議した。

2 蔵書冊数

(単位 本:冊 ソフト等:点)

	分類	前年度末	購入	寄贈	計	除籍	総冊数
本館用 図書 蔵書冊数	一般図書	90,103	2,382	10	92,495	677	91,818
	小説	12,984	572	7	13,563	4	13,559
	参考図書	5,138	71	6	5,215	2	5,213
	郷土資料	6,356	11	6	6,373	2	6,371
	一般小計	114,581	3,036	29	117,646	685	116,961
	児童図書	32,225	730	1	32,956	473	32,483
	絵本	16,668	456	2	17,126	2	17,124
	紙芝居	1,717	11	0	1,728	0	1,728
	児童小計	50,610	1,197	3	51,810	475	51,335
	雑誌	5,253	1,040	29	6,322	947	5,375
	ビデオテープ	26	0	0	26	0	26
	CD	2,000	3	0	2,003	1	2,002
	テープ図書	395	0	0	395	0	395
	DVD	1,865	77	0	1,942	0	1,942
	行政資料	1,668	0	3	1,671	0	1,671
	その他小計	11,207	1,120	32	12,359	948	11,411
	本館用合計	176,398	5,353	64	181,815	2,108	179,707
	配本室用	30,192	231	0	30,423	0	30,423
	図書総数	206,590	5,584	64	212,238	2,108	210,130

3 図書館の利用状況

(1) 図書館等の登録者数 (2019年度新規)

区分	図書館(人)	地域館(人)	計(人)	団体(団体)
登録者数	661	1,579	2,240	18

(2) 図書貸出状況

単位:冊

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
本館	個人	22,479	21,109	20,410	21,335	24,743	21,507	21,232	21,698	21,385	21,512	24,726	22,575	264,711
	団体	286	332	405	517	262	394	472	510	781	615	424	188	5,186

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
配本室 地域公民館等	778	637	763	1,038	826	988	764	892	1,240	874	953	735	10,488
計	23,543	22,078	21,578	22,890	25,831	22,889	22,468	23,100	23,406	23,001	26,103	23,498	280,385

(前年度貸出合計 275,640 冊)

(3) 本館の分類別図書貸出状況

分類	貸出冊数(冊)	分類	貸出冊数(冊)	分類	貸出冊数(冊)
一般・総記	2,283	児童・総記	897	雑誌	13,896
一般・哲学	3,646	児童・哲学	1,309	ビデオテープ	38
一般・歴史	10,181	児童・歴史	4,704	CD	4,911
一般・社会	8,467	児童・社会	1,705	テープ図書	1
一般・自然	6,674	児童・自然	6,403	DVD	3,623
一般・技術	16,025	児童・技術	2,468	行政資料	0
一般・産業	5,409	児童・産業	1,039	その他	0
一般・芸術	13,182	児童・芸術	5,736		
一般・言語	1,246	児童・言語	444		
一般・文学	14,146	児童・文学	23,055		
小説	52,901	絵本	59,927		
参考図書	62	紙芝居	5,302		
郷土資料	15	児童・参考	202		
一般小計	134,237	児童小計	113,191	その他小計	22,469
				合計	269,897

4 開館日数及び利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数 (日)	25	26	20	22	26	24	26	25	23	23	24	25	289
利用者数 (人)	8,467	9,280	7,775	8,834	11,645	8,967	8,964	9,037	7,831	8,265	9,649	7,452	106,166

(前年度利用者合計 113,260 人)

5 図書館利用状況推移 (本館のみ)

年度	年度末蔵書数 (冊)	登録者数		貸出冊数 (冊)	市民1人当たり	
		団体(団体)	個人(人)		貸出冊数(冊)	蔵書冊数(冊)
25	188,698	242	22,399	287,103	5.48	3.60
26	192,659	247	22,909	271,600	5.21	3.70
27	196,220	253	23,414	266,323	5.15	3.79
28	200,730	265	24,414	264,340	5.13	3.90
29	203,850	282	23,956	254,783	4.97	3.98
30	206,590	287	23,582	265,330	5.21	4.05
2019	210,130	305	24,243	269,897	5.32	4.14

※人口は、毎年度4月1日現在を基準とし、2019年度は4月1日現在50,725人

6 蔵書整理の実施

図書の除籍基準により、保存期間の経過、紛失、破損等による蔵書を整理し除籍した。

除籍した図書はブックリサイクル市等で、学校図書館、どこでも図書館、市民等に提供した。

(1) 整理期間 6月24日～7月4日

(2) 除籍図書の内訳

本館用図書 2,108 冊 配本室用図書 0 冊 計 2,108 冊

7 「すざかびとの本」コーナーの充実

須坂市在住者、出身者及びゆかりのある人の著作を積極的に収集し、市民等が、著者を知り、郷土に興味を持てるよう、展示・貸出を行った。

著者 205人(団体も含む) 347冊

8 講座の開催

講座等名	学習内容	開催時期 回数等	参加(人)
わらべうた遊びと絵本講座	親子等で手遊び、わらべうたを学ぶ 1回を前編「わらべうた」、後編「絵本」 に分けて行った 講師 佐藤月子氏	5月～6月 4回	延121
ラベンダースティック講座	図書館の庭で収穫したラベンダーで、香り を楽しむラベンダースティックを作成した 講師 西沢朋子氏	6月20日 1回	11
古典文学講座 古典を読み須坂を知る	「万葉集」や「土佐日記」等、古典文学の 中に出てくる郷土にゆかりのある作品を 学ぶ 講師 田子修一氏	6月～8月 5回	延92
やさしい朗読講座	音読の基礎について学ぶ 講師 今井理恵子氏	11月7・14・21日 3回	延26
おとなのための朗読会	7人の出演者の競演 文学作品を耳から 楽しむ ゲスト 今井理恵子氏	11月30日 1回	70
野菜づくりのコツと裏ワザ講座	データベース「ルーラル」を活用し、野菜 づくりのコツと裏ワザを学ぶ 講師 三浦渉氏	2月20日 1回	25

9 読書感想文コンクール(須高図書館協会として小布施町立図書館・高山村公民館と共催)

(1) 応募作品数

小中学生の部 199編(小学生 139編 中学生 60編)

(2) 入選作品数

小中学生の部 73編(小学生 49編 中学生 24編)

(3) 入選作品は、作品集「心のふれあい」として須高図書館協会より180部発刊

10 子ども読書のつどい

(1) おはなしの会

ボランティアグループの協力を得て、毎週土曜日 午前10時30分から開催

小学校低学年以下の児童(親子)対象 41回開催 延参加者 764人

(2) 春のおたのしみ会

期日 5月4日(こども読書週間中)

内容 音楽紙芝居「三びきのこぶた」(メセナの風コンサート)

参加者 38人

(3) 夏休みこどものつどい親子たなばたまつり

期日 8月3日

内容 パネルシアター、うた、たなばたかざりづくり、手品

参加者 24人

(4) こどもクリスマス会

期日 12月14日

内容 人形劇、うた、手品、サンタさんからのプレゼント、ハンドベル演奏

参加者 79人

11 テーマコーナーの設置（展示と貸出）

季節や行事、時流に合わせた、タイムリーなコーナーを設置して、利用者に提供した。

時期	テーマ	内容
4月	平成文学賞受賞作 新元号「令和」関連 県歌「信濃の国」制定50周年	改元直前の時期に合わせた。 また、「信濃の国」関連本やCDを展示した。
4月～5月	年齢別おすすめの本	こどもの読書週間(4月23日～5月12日)に毎年更新し配布している年齢別のリストに掲載した本を展示し貸出した。
5月	平成ミステリー賞受賞作 本で振り返る平成	改元に合わせ、平成の時代を象徴する出来事等の関連本を展示した。
6月	長編・シリーズ小説	蔵書点検に合わせ、読みごたえのある本を集めた。
7月	夏こそ元気に熱い小説	「暑さ」には「熱さ」で！青春小説やスポーツ小説を特集した。
7月～8月	読書感想文コンクール課題図書 まちゼミ 信州岩波講座	全国及び長野県で選ばれた課題図書を一堂に集めた。 須坂商工会議所のまちゼミを後援し、ゼミの内容に関連する本を特集した。 信州岩波講座講師の著作本等を展示した。
8月	戦争 夏に読みたい怖い話	毎年8月は、戦争をテーマに広く特集。 読んで「ゾクッ」となるような小説を特集した。
9月	敬老の日おすすめの本 防災月間	「敬老の日」や「防災の日」に合わせた本を集めた。
10月	としよメシ 1年以上貸出のない本	食欲の秋にちなんで、食べ物に関する本を特集した。 また、貸出のなかった残念な本にスポットを当てた。
10月～11月	ぶっくるーブック	信州須坂図書館まつり2019に合わせて、図書館職員おすすめの本を幅広く集めた。
11月	芸術の秋に読みたい本	音楽・美術・伝統芸等の本を特集した。
12月	時代小説 障害者週間(12月3日～9日)	主に、明治以前の時代背景の小説を特集した。
1月	笑う門には… 郷土の底力！～One Nagano～	新年にふさわしく「にんまり」「ゲラゲラ」笑える本を集めた。 地元産業や長野県ゆかりの作家の本を展示した。
1月～2月	すざか子ども読書ちゃれんじ	コメントを本の帯に巻いて展示した。
2月	あま～い話(sweet&bitter 恋愛・お菓子)	バレンタインデーにちなんだ恋愛や菓子に関する本を特集した。
2月～3月	まちゼミ	須坂商工会議所との連携コーナー。今年度2回目。
3月	別れと出会い 心に響く本	卒業・人事異動・入学・入社シーズンに合わせて特集した。 自殺対策強化月間に合わせ、読んで心がいやされる本や心の病に関する本等を展示した。

12 信州須坂図書館まつり2019（秋の読書週間）

子どもから高齢者まで誰もが読書に親しめるよう、読書週間にあわせて行事を行った。

(1) 期 間 10月26日～11月9日

(2) 内 容

ア おはなしびっくり箱

期 日 11月2日

内 容 小学校低学年以下の児童（親子）を対象にした、子ども向けのメインイベント。

毎週土曜日に開催している「おはなしの会」の登録団体の育成を兼ね、ボランティア同士の交流と研鑽を積む場として開催。全団体が実行委員会を組織して、発表しあった。

場 所 中央公民館ホール(3階)

参加者 101人

イ 信濃毎日新聞データベースの活用講座

期 日 11月4日

内 容 新聞にまつわる雑学講座（現在の新聞・瓦版について等）
データベースの使い方講座

参加者 8人

ウ ブックリサイクル市の開催

期 日 10月26日～27日

内 容 図書館の除籍本と、市民から受け入れた不要本を来場者等に配布し、資料の循環に努めた。

本の受入 10月26日受入れ数 1,675冊

図書館に常時設置のブックリターンポストでの受入れ数 2,550冊（年間）

本の配布 学校図書館、地域公民館、どこでも図書館への配布数 192冊（15施設）

10月27日配布数 3,502冊

場 所 須坂市剣道場

来場者 307人

エ 展示特集「ぶっくるーブック」

期 日 10月26日～11月9日

内 容 好きな本のジャンルから利用者が楽しみながら本を選べるチャートを作成し、貸出につなげた。

オ その他

閲覧コーナーにて、「ほのぼの川柳ほくしん流」1年間の優秀賞を掲示した。

来館者の投票によって、年間大賞を決定した。

13 職場体験学習等の受入れ

小中学生及び高校生を受入れ、書架整理・カウンター業務等を体験してもらった。

期日	学校	体験者数（人）
4月～9月（18回）	須坂支援学校（ふれジョブ）	1
5月22日・23日	常盤中学校	2
5月29日・30日	相森中学校	2
8月21日・22日	須坂高等学校	12

17人 延24日

14 小中学校との連携

須坂小学校の「くぬぎの時間」（信州型コミュニティスクール）に協力した。

15 地域との連携

- 「ほのぼの川柳ほくしん流」を須坂新聞社と共催し、3か月に1度お題を決めて川柳を募集した。選評会を開いて優秀賞を決定し、須坂新聞紙上で発表するとともに館内にも掲出した。
- 須坂商工会議所の「まちゼミ」の後援
年に2回、まちゼミコーナーを設けて関連図書を展示、支援した。

16 広報活動

図書館事業（行事・講座等）の内容を周知し、参加を呼びかけるとともに、読書意欲を高めるため広報活動を行った。

- 広報須坂に「図書館だより」を掲載した。
- 館内での催し物案内用に「としょかんだより」（児童・一般統合版）を毎月発行し、館内掲示や公民館、小中学校への配布、市ホームページへの掲載などを行った。
- ホームページなどを活用し、図書館事業の広報に努めた。

17 配本活動

地域公民館の図書室の利用者や障がい者等、図書館に来館が難しい人の利便を図るため次の事業を行った。

- (1) 地域公民館等 実施8館の配置冊数 19,127冊 貸出冊数 10,488冊
- (2) その他の施設 上高井教育研究集会、きのこ展、手話サークルへの協力・配本・展示

18 調査相談活動（レファレンス）

利用者の調べものの補助や、資料や図書の探し方等を案内するサービスを行った。

随時実施 3,026件

19 図書の確保

サービス名	内容	件数等
予約	貸出中などにより図書がない場合は予約を受け付け、返却されたい連絡し、貸出を行った。	3,671件（内、インターネットによるもの 1,367件）
リクエスト	所蔵していない図書の利用希望があるときはリクエストができる。他館からの借用または購入により対応し貸出をした。	491件
相互貸借	貸出の希望に対し、当館に所蔵がないときは、県立長野図書館、信州大学図書館及び他市町村の図書館から図書を借り、申込者に貸出をした。また逆に、他の図書館からの依頼にも対応した。	他市町村から借用した件数 47件 91冊 他市町村に貸出した件数 20件 29冊

20 各種サービス

サービス名	内容	件数等
インターネット利用サービス	情報検索、調査研究のため、インターネットを無料で利用できる。	703件
複写サービス	著作権法により、その目的が調査研究で図書館資料に限る等の制約の中で、図書の一部の複写サービスを行った。 1枚 10円	598件 3,081枚
障がい者サービス	音訳ボランティア「須坂あかりの会」の協力により、須坂新聞、社協報などの音訳CDを作成し、視覚障がい者9人へ送付した。	72回

21 信州須坂どこでも図書館の実施

参加状況 店舗等 41か所 行政機関等 29か所 計 70か所

22 信濃毎日新聞データベースの活用 使用料 457,800円 延147人（1,399件）
（文化財係及び文書館の使用含む）

23 機器の賃借状況

機器名	金額（円）
図書検索返却システム賃借	4,432,320
複写機・パソコン・印刷機賃借	442,584
図書検索用ソフト賃借	261,600
発注管理データ・典拠ファイル賃借	359,700
AED賃借	61,476

24 土地の借上げ状況

使用目的	面積（㎡）	金額（円）	地権者数
利用者駐車場	473.91	359,702	1

25 備品購入状況

品名	数量 (点)	金額 (円)
図書、雑誌、DVD、CD、紙芝居等	5,584	10,489,739

26 業務の委託

(1) 施設管理関係の委託

業務名	委託先	業務内容	金額 (円)
館内清掃委託(床清掃・ワックスがけ)	黒崎商会	館内床清掃	159,775
冷暖房設備保守点検委託(室内機フィルター)	黒崎商会	エアコン室内機フィルター保守点検	103,950
警備保障委託	新日本警備保障(株)	警備委託	313,920
リフト装置保守点検委託	クマリフト(株)	荷物専用エレベータ保守点検	150,600
自動扉保守点検委託	(株)長野ナブコ	自動ドア保守点検	70,400
電気保安業務委託	(一財)中部電気保安協会	電気保安管理	120,336
冷暖房設備保守点検委託	三菱重工冷暖(株)	エアコン保守点検	126,500
電動書架保守点検業務委託	(株)蔦友	電動書架保守点検	352,990
清掃業務委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	館内トイレ清掃	401,220

(2) その他の委託

業務名	委託先	業務内容	金額 (円)
図書検索返却システム・機器保守委託	アネックスインフォメーション(株)	システム保守点検	977,076
図書マーク作成委託	(株)図書館流通センター	マーク作成業務	514,435
書架整理業務委託	(社福)すこう福祉会	書架整理	27,000
配本作業委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	配本作業	73,062

27 工事・修繕等

(1) 修繕

内容	金額 (円)
書籍返却ポスト収納BOX修繕	390,420
漏電改修修繕	43,200
照明器具・エアコン修繕	36,936
事務室照明器具修繕	55,440
令和元年東日本台風による雨漏り修繕	50,600
駐輪場防犯灯修繕	77,616

28 西館講習室使用状況

図書館主催の講座や会議で使用したほか、図書館事業に関わるボランティア団体や読書活動団体、図書館の講座をきっかけに活動している団体に貸し出した。また、土・日曜日や夏休み等の長期休業期間は、学習室として学生等に開放した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用団体数 (件)	6	10	14	11	12	8	10	14	7	7	7	4	110
冷暖房使用料 (円)				100	100			100		200	100		600

(前年度利用合計 13件 ※2月から貸出開始)

10-6-4(目)博物館費

単位：円

当初 予算額	35,995,000	予算 現額	32,738,000	決算額	32,155,218	前年度 決算対比	174.6%	前年度 決算額	18,420,381
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 博物館管理運営事業

単位：円

当初 予算額	15,010,000	予算 現額	14,202,000	決算額	13,647,536	前年度 決算対比	104.6%	前年度 決算額	13,048,156
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

生涯学習の総合的な推進体制の確立が求められているなか、市民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資する立場から、資料の収集及び調査研究、収蔵品の保管に努めたうえ、展示活動・博物館講座等を通じて、市民の学習活動に役立つこと基本とした事業を推進する。

II 事業の成果等

博物館は、平成30年1月15日から休館しているが、館外企画展として、博物館収蔵品の能面を活用する「能面多種多様～豊かな面の表情を見る～」を開催し、大人だけでなく子どもたちが日本独自の古典芸能または舞台芸術の一端に触れることにより、日本の伝統文化について理解を深めることができた。また、展示に合わせて長野県能楽連盟と協力し「能面かけ体験コーナー」を実施し、市民等が「能面」に実際に触れることで日本の歴史文化への関心を高め、学ぶことができた。

講座活動では、能面展示に併せて「ギャラリートーク」を開催し、展示内容について理解を深めることができた。また、文化財保存活用倉庫に保管されている大型製糸機械や民具・農機具等の収蔵品を公開し、製糸業や昔の人々の暮らしについて学ぶことができた。「臥竜山たんけん」では、臥竜公園の自然や文化財等を学ぶことができた。

III 事業の実績

1 博物館協議会の開催の状況

委員 6人

(1) 第1回協議会 7月29日 出席人数 5人

前年度事業報告及び当該年度事業執行状況と今後の計画について研究協議した。また、まるごと博物館構想の推進及び機能分散型総合博物館の構築等について研究協議した。

(2) 第2回協議会 12月20日 出席人数 5人

当該年度事業執行状況、次年度事業計画について研究協議した。また、まるごと博物館構想及び機能分散型総合博物館の進捗状況について報告した。

2 特別展示活動

名 称	開 催 期 間	入館者数	事業内容による効果等
館外企画展 「能面多種多様～豊かな面 (おもて)の表情を見る～」	9月16日～ 10月27日 開館日数42日	1,264人 平均30人	博物館収蔵品の能面を活用する企画展。大人だけでなく子どもたちが日本独自の古典芸能または舞台芸術の一端に触れ、「能文化」を後世へ伝承していくことをねらいとした。ギャラリートークに合わせて、長野県能楽連盟と協力し「能面かけ体験コーナー」も実施した。 会場 旧小田切家住宅(3号土蔵)
館外企画展 「第50回記念須坂きのこ 展」	10月5日・6日	467人	北信地方一帯の野生きのこの実物および生態写真等を展示し、きのこの生態や自然界での役割を学んだ。また、50回記念として、きのこ料理の展示やきのこ名前あてクイズを行った。 採集・展示きのこ 140種 主催 須坂きのこ展実行委員会 会場 勤労青少年ホーム創造の家

3 講座活動

(1) 博物館講座

名 称	期 日	参加者数	事業内容による効果等
紙芝居および語りと箏・尺八による堀直虎の生涯	4月14日	250人	臥竜公園さくらまつりに併せて、公園内親水広場で紙芝居および語りと箏・尺八による堀直虎の生涯を上演し、須坂藩第13代藩主堀直虎について周知を図った。 口演 蔵の町すざか昔を語る会 演奏 南澤汎山氏、南澤雅尚氏 他
文化財保存活用倉庫公開（大型製糸機械等公開）	7月6日・7日	31人 25人	文化財保存活用倉庫（須坂市大字小山507-1）内に収蔵されている元北村製糸使用の自動繰糸機械等を特別公開し、製糸業で栄えた須坂についておよび製糸の過程について解説を行った。また、旧田中製糸迎賓館の特別公開も行った。 解説 生涯学習スポーツ課職員、博物館学芸員
臥竜公園フェスティバル 紙芝居の口演	7月28日	40人	臥竜公園フェスティバルに際し、「臥竜山」、「善兵衛さんの善光寺参り」等の紙芝居口演を行った。 口演 蔵の町すざか昔を語る会
館外企画展 展示解説 「ギャラリートーク」	9月16日 10月12日	37人 20人	館外企画展「能面多種多様～豊かな面（おもて）の表情を見る～」について、博物館学芸員が解説を行った。 会場 旧小田切家住宅（3号土蔵）
館外企画展 関連企画 きのこ現地学習会	9月28日	36人	きのこ狩りを行い、実際に野生きのこが自生する状況を観察し、採集したきのこを鑑別することで、きのこへの知識を深めた。 講師 須坂きのこの会 会場 カヤの平高原（木島平村）
館外企画展 記念講演会 「きのこのはなし」	10月5日	42人	第50回記念須坂きのこ展に合わせて、より深くきのこについて学ぶ機会とした。 講師 ペンションきのこ 小宮山勝司氏 会場 勤労青少年体育センター
館外講座 「八丁鎧塚古墳ガイド ポイント講座」	10月24日	中止	「八丁鎧塚まつり」に向けた八丁鎧塚まつり実行委員を対象とした学習会。古墳の概要と出土品について、ガイドのポイントを学ぶ。令和元年東日本台風災害のため中止。 講師 博物館学芸員
展示資料活用事業 「第10回八丁鎧塚まつり」	10月26日	中止	八丁鎧塚古墳を地域の歴史文化資源ととらえ、地域と一体となって活用を図る。令和元年東日本台風災害のため中止。 主催 八丁鎧塚まつり実行委員会 内容（予定） 古墳ガイド、ワークショップ、ステージイベント（紙芝居・コーラス等）、吟行俳句大会、物産販売 他
連携事業 「市民総合大学」公開必修講座 歴史文化講座（講演会） 「須田満親の生涯」	3月20日	中止	須坂市本郷出自で上杉景勝の重臣として活躍した須田満親の生涯について学ぶ。文書館、旧上高井郡役所、市立須坂図書館、生涯学習推進センターと連携して開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 講師 長野県立歴史館 専門主事兼学芸員 村石正行氏 会場 中央公民館（3階ホール）

(2) 臥竜山たんけん

名 称	期 日	参加者数	事業内容による効果等
臥竜山たんけん (1) 「夜明けの観察会」	4月27日	中止	夜明けに臥竜山を散策し、普段見ている昼間の様子とは違った須坂の自然について学ぶ。雨天のため中止。 講師 長野自然観察の会
臥竜山たんけん (2) 「臥竜山の岩石」	5月25日	午前38人 午後46人	臥竜山で岩石や化石の観察をしたり、砂鉄の採取を行うことで、多様な須坂の地質を学んだ。今年度は午前午後の2回実施した。 講師 長野自然観察の会
臥竜山たんけん (3) 「草花で遊ぼう」	7月6日	20人	臥竜公園内の草花や木の実を使用し工作を行い、地域の自然への理解を深めた。 講師 コープながのいんぷり連絡会グループ やまならし
臥竜山たんけん (4) 「みんなで！昆虫採集」	7月27日	48人	坂田山で昆虫等を採集し観察することで、地域に生息する生物について理解を深めた。 講師 蝶の民俗館館長 今井彰氏、昆虫研究家 田中裕義氏、長野自然観察の会
臥竜山たんけん (5) 「臥竜山のセミ」	8月10日	18人	臥竜公園でセミの抜け殻を集め、種類・雌雄の分類集計を通してセミの生態を学んだ。 講師 長野自然観察の会
臥竜山たんけん (6) 「アサギマダラのマーキング」	9月21日	15人	坂田山・フジバカマ園にて長距離移動する大型の蝶「アサギマダラ」の捕獲とマーキングを行い、自然や生物生態への理解を深めた。 講師 蝶の民俗館館長 今井彰氏、昆虫研究家 田中裕義氏
臥竜山たんけん (7) 「臥竜山ウォークラリー」	11月16日	44人	タイムを競いながら臥竜公園や博物館の収蔵品等に関するクイズに答えることで、動植物や文化財について学んだ。 講師 長野自然観察の会、コープながのいんぷり連絡会グループやまならし
臥竜山たんけん (8) 「生きもののフィールドサインかんさつ会」	2月2日	22人	足跡や食跡、羽毛など野生生物の痕跡を探し、身近な生き物の生態について学んだ。 講師 長野自然観察の会

4 「博物館ボランティア会」支援事業

「姦譜ポストカード」等のオリジナルグッズ販売、須坂市出自の戦国武将 須田満親をテーマにしたオリジナルカレンダーの製作など、須坂市の自然・文化・歴史を広く紹介する博物館ボランティア会会員の活動を支援した。

また、小学校の社会科単元「昔の暮らし」での体験学習や「糸取り体験出前講座」ではボランティア会会員が講師を行い、「臥竜山たんけんウォークラリー」「臥竜公園フェスティバル」などの博物館関連事業にも積極的に関わった。

あわせて、会員の資質向上のため、各種学習会を開催した。

(1) 会員数 (3月31日現在) 17人

(2) 学習活動

ア 7月13日 学習会

市内遺跡からの出土品について説明を聞き、土器の拓本と勾玉づくりを行った。

イ 10月9日 研修視察

龍岡城跡 (五稜郭)・旧中込学校・佐久市立近代美術館等を研修視察した。

5 収蔵品整理

令和3年度に予定している機能分散型総合博物館の開館に向けて、博物館収蔵品の整理および台帳化を進めた。

6 笠鉾会館ドリームホール転用事業（設計・施工一括発注）公募型プロポーザル

須坂市立博物館基本計画（平成30年12月策定）に基づき、笠鉾会館ドリームホールを機能分散型総合博物館の「分館」とするため、設計・施工一括発注による展示制作等工事に係る公募型プロポーザルを実施した。

- (1) 第1回募集 7月3日～7月22日 参加申込なし
- (2) 第2回募集（募集要項変更） 8月1日～8月23日 参加申込なし
- (3) 第3回募集（募集要項変更） 8月27日～9月6日 申込1者（共同企業体）
- (4) 審査委員会 10月1日

株式会社電弘・株式会社エーシーエ設計共同企業体を契約候補者として選定

(5) 基本協定書

- | | |
|---------------|---|
| ア 受注者 | 株式会社電弘・株式会社エーシーエ設計共同企業体 |
| イ 契約日 | 11月29日 |
| ウ 内容 | 展示制作等工事の設計業務、工事監理及び施工 |
| エ 概算契約金額（上限額） | 設計業務 5,260,000円、工事（工事監理を含む） 52,600,000円 |
| オ 履行期限 | 令和元年11月29日から令和3年3月19日まで（ただし、設計業務委託は令和2年3月19日まで） |

(6) 設計業務委託

- | | |
|---------|-------------------------|
| ア 受注者 | 株式会社電弘・株式会社エーシーエ設計共同企業体 |
| イ 契約日 | 12月10日 |
| ウ 契約金額 | 5,258,000円 |
| エ 完了年月日 | 令和2年3月19日 |

7 まるごと博物館構想の具現化に向けた取り組み

須坂市立博物館基本計画に示した「まるごと博物館構想」を具現化するため、地方創生交付金事業として『まるごと博物館構想』を核とした『人』『地域資源』で紡ぎだすまちの賑わい創出事業』を、庁内関係課で検討した。

庁内会議 7月8日、8月9日～19日

8 「八丁鎧塚まつり」の総括及び今後の方針の検討

「八丁鎧塚まつり」は、平成22年度から県元気づくり支援金を活用して開催が始まり、当初は3年程度を目安に地域が主体となる取り組みへ移行する予定であったが、博物館が継続して実行委員会事務局を担当してきた。実行委員会の中では、「いつまで継続するのか」との意見もあり、10回までは開催し、その後については実行委員会で検討することで継続してきた。

2019年度で第10回となることから、実行委員会で総括及び今後の方針について検討を行った。市民等の認知度の向上、「八丁鎧塚」を対象とした生涯学習講座や小学校の社会科見学の増加等の一定の成果があったが、今後、規模を縮小しても地域主体の取り組みとして開催することは、地域負担が大きく困難であること等から、令和2年度から当面、休止することとした。

実行委員数 40人

- | | | |
|---------------------------------|--------|----------|
| (1) 今後の「八丁鎧塚まつり」に係る検討会（構成団体代表者） | 10月29日 | 出席人数 15人 |
| (2) 第10回八丁鎧塚まつり反省会（実行委員会） | 11月19日 | 出席人数 28人 |

9 職場体験学習等の受入れ

中学校職場体験学習の生徒を受入れ、博物館周辺清掃、埋蔵文化財（出土品）整理作業等を通じて博物館業務の一端を学んだ。

受入数 2件

5月22日、23日 常盤中学校 2学年 5人

7月17日 墨坂中学校 2学年 4人

10 協力事業

第5回叡譜の杜桜まつり及び信州須坂紙芝居のさとプロジェクトに協力した。

(1) 第5回「叡譜の杜 桜まつり」 4月27日

(2) 信州須坂紙芝居のさとプロジェクト

ア 塩崎源一郎 氏寄贈紙芝居「山中鹿之助」等複製作成協力

11 研修・学習活動等の受入れ

名称	期 日	受 講 者 名	人数	講 座 名
出張 出前 講座	5月10日	生涯学習出前講座	28人	古墳のはなし
	6月4日	井上小学3年生	50人	八丁鎧塚、米持天神1号墳見学
	6月10日	須坂手話サークル	17人	まゆぐら見学
	7月26日	生涯学習出前講座	32人	須坂 いま・昔
	7月26日	須坂市教職員会学年会	20人	収蔵品の出前展示
	8月8日	生涯学習出前講座	22人	須坂 いま・昔
	9月1日	高甫地域公民館第10ブロック	23人	公民館第10ブロック学習会
	9月1日	あすなる会	12人	須坂から出土した土器
	9月5日	生涯学習出前講座	32人	大型自動製糸機械を見てみよう
	9月7日	生涯学習出前講座	62人	古墳のはなし
	9月20日	松代公民館海洋学園郷土史科	55人	まゆぐら見学
	10月6日	あすなる会	9人	土器を作った人々
	10月8日	井上小学3年生	47人	まゆぐら見学、糸取り体験
	10月22日	中高生海外研修事業	17人	館外企画展「能面多種多様」展示解説
	10月31日	相森中学校1年生	18人	臥竜山、臥竜公園の説明
	11月1日	信州大学寄付講義	152人	須坂市の古墳
	11月12日	日滝小学校6年生	60人	八丁鎧塚見学
	12月6日	須坂小学校2年生	33人	まゆぐら見学
	1月5日	あすなる会	9人	発掘調査とは～須坂市の埋蔵文化財調査
	1月21日	須坂小学校4年生	32人	まゆぐら見学、糸取り見学
2月3日	森上小学3年生	45人	昔の道具	
2月18日	日野小学校3年生	45人	昔の道具	
2月20日	井上小学3年生	44人	昔の道具	
2月22日	須坂学舎11期生	14人	博物館収蔵品の概観	

12 入館者数と入館料

月	大人			小人	本館 博物館 計	分館 まゆぐら 入館者	合計	入館料 (円)	開館 日数	館外企画展 及び講座 参加者数
	一般	団体	減免等							
4	0	0	0	0	0	1,162	1,162	0	0	250
5	0	0	0	0	0	749	749	0	0	122
6	0	0	0	0	0	605	605	0	0	67
7	0	0	0	0	0	447	447	0	0	308
8	0	0	0	0	0	425	425	0	0	40
9	0	0	0	0	0	675	675	0	0	969
10	0	0	0	0	0	732	732	0	0	1,201
11	0	0	0	0	0	1,622	1,622	0	0	256
12	0	0	0	0	0	228	228	0	0	33
1	0	0	0	0	0	183	183	0	0	41
2	0	0	0	0	0	760	760	0	0	170
3	0	0	0	0	0	773	773	0	0	0
計	0	0	0	0	0	8,361	8,361	0	0	3,457
博物館事業参加者 総合計										11,818

13 資料頒布代

月別収入金額(円)											
4月	3,000	5月	5,300	6月	2,850	7月	4,600	8月	2,100	9月	6,100
10月	5,600	11月	2,000	12月	0	1月	4,500	2月	0	3月	12,950
合計										49,000	

14 業務委託

業務名	委託先	業務内容	委託料 (円)
博物館警備保障委託	新日本警備保障(株)	館内機械警備	388,800
博物館大型製糸機械模 型等解体運搬委託	協同組合建匠須高	大型製糸機械等解体運搬	365,200

15 備品購入状況

該当なし

16 工事

該当なし

■ 博物館施設整備事業

単位：円

当初 予算額	15,500,000	予算 現額	12,971,000	決算額	12,944,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

消防法に不適合な状態にあるため、平成30年1月15日から休館している市立博物館について、入館者の安全確保や施設の長寿命化を図るため、大規模改修等工事を行う。

II 事業の成果等

須坂市立博物館基本計画（平成30年12月策定）に基づき、現博物館を機能分散型総合博物館の「本館」（「分館」機能も備える）として整備するため、緊急防災・減災事業債、公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）を活用し、耐震補強及び大規模改修等工事を行うための設計業務委託を行った。

III 事業の実績

1 業務委託

業務名	委託先	業務内容	委託料（円）
市立博物館大規模改修等工事設計業務委託	(有)中野設計事務所	工事实施設計	12,903,000

10-6-5(目)文化財保護費

単位：円

当初予算額	42,480,000	予算現額	38,214,000	決算額	29,718,185	前年度決算対比	70.2%	前年度決算額	42,356,593
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

■ 文化財調査研究事業

単位：円

当初予算額	28,456,000	予算現額	25,091,000	決算額	17,384,773	前年度決算対比	56.1%	前年度決算額	31,008,552
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

文化財のよりよい保存と活用施策を講じるために、各種調査及び研究を行う。

II 事業の成果等

埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施し、適切な保護が図れた。

また、歴史的な町並みを後世に伝えるため、須坂地区の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境の保存対策調査を実施し、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて、調査報告書の作成を進めた。これにより伝統的建造物の現存数や建築年代等、歴史的な町並みの具体的な状況が明らかとなった。

歴史的な建造物について、1件を市指定文化財に指定した。

III 事業の実績

1 文化財審議委員会の開催（委員5人）

(1) 第1回審議委員会（委員4人）

ア 期日 4月24日

イ 場所 防災活動センター 活動室1

ウ 協議事項

(ア) 臥竜公園里山整備利用促進基本計画について

(イ) 報告

a 須坂市立博物館基本計画について

b 須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査について

(2) 第2回審議委員会（委員4人）

ア 期日 8月2日

イ 場所 須坂市役所 305 会議室

ウ 協議事項

(ア) 市指定文化財解除候補物件について

a 別府のオニグルミ

- (イ) 現地視察
- (ウ) 報告
 - a インター周辺開発に伴う対応について
- (3) 第3回審議委員会（委員5人）
 - ア 期日 11月8日
 - イ 場所 防災活動センター 活動室1
 - ウ 協議事項
 - (ア) 市指定文化財「小坂神社社叢」保存管理計画の変更について
 - (イ) 市指定文化財の候補物件について
 - a 旧上高井郡役所
 - (ウ) 現地視察
 - (エ) 報告
 - a 「別府のオニグルミ」市指定解除について
 - b 令和元年東日本台風による指定文化財等の被害状況について
- (4) 第4回審議委員会（委員3人）
 - ア 期日 1月29日
 - イ 場所 人権交流センター 2階会議室
 - ウ 協議事項
 - (ア) 市指定文化財候補物件の諮問について
 - (イ) 市指定文化財候補物件について

2 文化財の指定等

- (1) 市指定有形文化財「旧上高井郡役所」の指定
 - ア 須坂市文化財審議委員会会長宛に文化財の指定について諮問 12月2日
 - イ 須坂市文化財審議委員会より教育委員会へ答申 1月29日
 - ウ 指定 3月6日
- (2) 市指定天然記念物「別府のオニグルミ」の指定解除
 - ア 須坂市文化財審議委員会会長宛に文化財の指定解除について諮問 7月26日
 - イ 須坂市文化財審議委員会より教育委員会へ答申 8月2日
 - ウ 指定解除 8月30日

3 文化財看板作成設置業務委託

文化財等の保存と活用を図るため案内看板等を設置した。

業務名	委託先	業務内容	金額(円)
井上氏居館跡説明看板塗装及び張替え業務委託	(有)吉池看板企画	井上氏居館跡看板塗装・設置	108,000
井上氏城跡・居館跡指定文化財看板塗装及び張替え業務委託	(有)吉池看板企画	井上氏城跡看板塗装・設置	86,400

4 埋蔵文化財の保護措置

周知の埋蔵文化財包蔵地内で土木工事等を実施する開発事業者からの文化財保護法第93条又は94条の届出等を、長野県教育委員会に意見を付して進達し、取扱いの決定通知に従って埋蔵文化財の保護措置を図った。

- (1) 文化財保護法第93条の届出及び94条の通知の進達と取扱いの状況 49件
 - ア 慎重工事 2件（道路2件）
 - イ 工事立会い 37件（個人住宅29件、その他8件）
 - ウ 試掘・発掘調査 10件（宅地造成4件、その他6件）

5 伝統的建造物群保存対策調査の実施

歴史的な町並みを後世に伝えるために重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指し、建築や歴史などの専門的な知識を持つ学識経験者や地元関係者からなる調査委員会による、学術上及び文化財上必要な助言及び指導のもと、必要な調査を行った。また、調査報告書の刊行に向け、整理作業・執筆作業を進めた。

(1) 委員会の開催（委員 15 人）

ア 第 4 回須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催（委員 12 人）

- (ア) 期日 6月6日
- (イ) 場所 須坂市消防本部 3階大会議室
- (ウ) 協議事項
 - a 2019 年度調査について
 - b 2019 年度スケジュールについて
 - c 調査報告書の章立てについて

イ 第 5 回須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催（委員 13 人）

- (ア) 期日 12月10日
- (イ) 場所 防災活動センター 活動室 1
- (ウ) 協議事項
 - a 調査報告書の執筆について
 - b 伝統的建造物群保存地区保存地区の範囲について

ウ 第 6 回須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催（委員 13 人）

- (ア) 期日 1月29日
- (イ) 場所 中央公民館 204 会議室
- (ウ) 協議事項
 - a 調査報告書の執筆について
 - b 伝統的建造物群保存地区の想定について

(2) 調査委託

ア 須坂市須坂地区伝統的建造物群保存対策調査委託

- (ア) 委託期間 4月1日～3月27日
- (イ) 委託金額 2,000,000 円
- (ウ) 受託者 国立大学法人 信州大学
- (エ) 委託内容 伝統的建造物の実測など詳細調査、所有者及び地域住民への聞き取り、工作物・環境物件の調査

(3) 企画展示「写真と絵で見るあの頃の須坂」の開催

- ア 期日 8月10日～9月23日
- イ 場所 笠鉾会館ドリームホール 3階
- ウ 内容 市民より借用した古写真及び吉田博の風景画、丸山武彦「信州須坂の町並み」、東山魁夷「馬車よゆっくりはしれ」の展示
- エ 参加者 2,833 人

6 修繕工事等

(1) 修繕関係

- ア 発掘調査用オートレベル調整修理 16,524 円
- イ 埋蔵文化財整理室引き違いサッシ修繕 8,250 円
- ウ 旧園里学校東面雨樋修繕 24,310 円

■ 文化財保存活用事業

単位：円

当初 予算額	8,961,000	予算 現額	8,535,000	決算額	7,794,681	前年度 決算対比	82.8%	前年度 決算額	9,412,141
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

文化財を本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び指定文化財の公開を行い、その情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。

II 事業の成果等

市内の文化財についてウェブサイト「信州須坂のおたから」等により情報発信を行うことで、文化財保護に関わるイベントへの参加を促し、文化財への興味関心の醸成に資することができた。

また、文化財保存活用倉庫の一般公開等により文化財の保存と活用をすすめることができた。

III 事業の実績

1 第5回叢譜の杜桜まつりの共催及び「須坂藩時の鐘をついてみよう」の開催

- (1) 主催 叢譜の杜桜まつり実行委員会・奥田神社
- (2) 期日 4月27日 午前9時～午後7時
- (3) 場所 奥田神社
- (4) 共催イベント 「須坂藩時の鐘をついてみよう」
 - ア 内容 市指定有形文化財「時の鐘の『鐘楼』」を一般に開放し、市民が正午、午後2時、午後4時に時刻の数だけ鐘をうつ体験を開催した。
 - イ 参加人数 延べ42人

2 県天然記念物「ベニヒカゲ」「ミヤマモンキチョウ」(高山蝶)の保護

- (1) 保護対象種及び地域 「ベニヒカゲ」(破風高原・峰の原高原)、「ミヤマモンキチョウ」(峰の原高原)
- (2) 保護対策会議の開催
 - ア 第1回保護対策会議 5月20日(パトロール員5人)
 - イ 第2回保護対策会議 10月10日(パトロール員3人)
- (3) パトロール(パトロール員15人委嘱)の実施
 - ア 峰の原高原 6月29日～8月31日(計14回)
 - イ 破風高原 7月24日～9月5日(計8回)
 - ウ 合同パトロール(市、パトロール員、須坂警察署)
 - (ア) 峰の原高原 7月1日(雨天のため中止) 予備日7月3日(蝶の発生遅れにより中止)
 - (イ) 破風高原 8月1日
- (4) 自然観察会「破風高原の大自然と高山蝶ベニヒカゲに会おう」の開催
 - ア 主催 須坂市・須坂市豊丘財産区(共催：須坂市観光協会)
 - イ 期日 8月10日
 - ウ 講師 永田栄一氏、高山蝶パトロール員
 - エ 場所 上信越高原国立公園 五味池破風高原自然園
 - オ 参加人数 10人

3 旧越家住宅の管理及び活用

- (1) 旧越家住宅管理業務の一部委託
 - ア 委託期間 4月1日～3月31日
 - イ 委託金額 883,430円
 - ウ 受託者 旧越家ふれあいクラブ
 - エ 委託内容 旧越家住宅の貸出、清掃、見学者の対応、施錠及び開錠等
 - オ 入館者数 2,451人

(2) 「ふれあい講座」の開催

- ア 主催 須坂市・旧越家ふれあいクラブ（蔵の町並みキャンパス推進協議会 共催）
- イ 期日 7月23日
- ウ 講師 信州大学工学部 建築学科 准教授 梅干野 成央 氏
- エ 内容 旧越家住宅を通してみる「須坂の民家」
- オ 参加者 44人

4 旧園里学校の活用等

(1) 展示施設としての活用

- ア 使用者 豊丘地域活性化連絡協議会
- イ 使用目的 豊丘地域の郷土資料展示
- ウ 使用期間 4月1日～3月31日
- エ 使用面積 56.2 m²
- オ 使用料 全額減免

(2) 旧園里学校の臨時開館及び管理業務の一部委託

- ア 委託期間 4月27日～5月6日の土・日・祝日（10日間）
- イ 委託金額 29,225円
- ウ 受託者 豊丘地域活性化連絡協議会
- エ 委託内容 旧園里学校の貸出、見学者の対応、施錠及び開錠等

5 文化財管理等業務委託

(1) 文化財施設等管理業務委託

- ア 委託金額 460,740円
- イ 受託者 (公社)須高広域シルバー人材センター
- ウ 場所 旧越家住宅、ポケットパーク、八丁鎧塚史跡公園、天神1号墳史跡公園、文化財保存活用倉庫
- エ 委託内容 植栽剪定、消毒、除草

(2) 県天然記念物枕状溶岩整備委託

- ア 委託金額 81,000円
- イ 受託者 長野森林組合
- ウ 場所 須坂市大字井上 県指定天然記念物「枕状溶岩」
- エ 委託内容 除草、樹木伐採等整備

(3) 旧越家住宅高木剪定業務委託

- ア 委託金額 242,670円
- イ 受託者 (株)第一緑地
- ウ 場所 旧越家住宅
- エ 委託内容 松等の高木剪定

(4) 延命地藏堂の桜ワイヤーワーク養生業務委託

- ア 委託金額 195,210円
- イ 受託者 (株)第一緑地
- ウ 場所 須坂市大字豊丘 市指定天然記念物「延命地藏堂の桜」
- エ 委託内容 桜ワイヤーワーク養生業務

6 国指定文化財の現状変更等の届出・進達等

(1) 国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護

- ア 滅失処理 2件
- イ 生息区域帰還処理 0件

(2) 国特別天然記念物「カモシカ」	現状変更許可申請届	進達	1件
(3) 国指定名勝「米子瀑布群」	現状変更許可申請		4件
		うち文化庁進達	0件
		市許可	4件
	き損届		2件

7 ウェブサイトによる情報発信

記録写真等をデジタルアーカイブとして保存するとともに、市ホームページ「信州須坂のおたから」において市内の各種文化財等を紹介して活用を図った。

- (1) 「信州須坂のおたから」及び「須坂市文化財等台帳管理システム」の加除・修正
- (2) デジタルアーカイブシステムの使用
 - ア システム使用料 95,688円
 - イ システム提供者 カシヨ(株)
- (3) デジタルアーカイブ情報更新業務委託
 - ア 委託金額 220,320円
 - イ 受託者 カシヨ(株)
 - ウ 委託内容 元号切替及び旧小田切家県宝指定関係情報更新業務

8 福井敬一作品展示

シルキーホール2階展示ギャラリーにおいて展示を行った。

期 日	タイトル	展示作品数
8月17日～12月15日	福井敬一絵画展「木の生命」	8
12月21日～令和2年4月19日	福井敬一絵画展「乾いた世界」	8

9 笹本恒子写真展の開催

- (1) 笹本恒子展～ファイナダーからみつめた時代～
 - ア 期日 7月27日～9月8日
 - イ 会場 笠鉾会館ドリームホール 2階
 - ウ 展示内容 35点
 - エ 来館者数 2,360人

10 小林創映画コレクションの展示

須坂市旧上高井郡役所1階展示スペースにおいて小林創氏寄贈の映画ポスター等の展示を行った。

期 日	タイトル	展示数
4月18日～8月18日	ありがとう平成、こんにちは令和 映画特集	38
8月22日～12月15日	今年度公開予定の旧作をしてみよう！映画特集 2020年東京オリンピックカウントダウン映画特集	46
12月19日～令和2年4月19日	トップガン2公開記念 トム・クルーズ出演作品 特集 追悼 井上真樹夫(声優)特集	38

11 文化財の用地借上げ

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
「井上枕状溶岩」見学用地	110.00	15,000	1
時の鐘「鐘楼」用地	66.25	62,790	1
計	176.25	77,790	2

12 文化財保存活用倉庫の管理及び活用

(1) 業務委託

業務名	委託先	業務内容	金額 (円)
警備保障業務委託	新日本警備保障株	監視機械及び巡回による警備	176,580

(2) 公開事業「文化財保存活用倉庫公開」

期 日	参加者数	内 容
7月6・7日	56人	大型製糸機械、映写機、民具・米子鉦山関係資料等の展示 市内撮影映画「アルビノの木」衣装等の展示 須坂映劇映画ポスターコレクション等の展示「日本の女優・男優」 倉庫公開限定ツアー（旧田中製糸迎賓館内部見学、大型製糸機械の等についての説明など） 街頭紙芝居「信州須坂紙芝居のさとプロジェクト」による口演

13 蔵の町並みと歴史・文化を核とした地域活性化に係る意見交換会の開催

蔵の町並み整備を進めてきた中で、市ではクラシック美術館始め7施設を取得し、美術館、観光交流施設等として供用している。重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指す中で、これら施設について須坂の歴史・文化を背景に、周辺住民との一層の活用と、蔵の町並みの魅力向上を図るため意見交換会を開催した。

(1) 参集範囲

市（商業観光課、農林課、まちづくり課、中央公民館、生涯学習スポーツ課）、（一財）須坂市文化振興事業団、須坂市観光協会、まちづくり活動団体（3団体）、中央地区地域づくり推進協議会、関係商店会（6団体）、博物館ボランティア会

(2) 意見交換会の開催状況

期 日	内 容
11月8日	博物館について 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取り組みについて 開催予定のイベントについて 緑の一鉢運動について 信州須坂 蔵のまち銀座通りうまいもん市2019について

14 修繕工事等

(1) 修繕関係

ア 旧上高井郡役所カーテン修理・増設、木製建具修繕	181,954円
イ 米子瀑布群説明看板修繕	118,800円
ウ 文化財保存活用倉庫火災報知設備受信機移設修繕	151,200円
エ 鎧塚古墳公園境界柵杭修繕	162,000円
オ 旧越家住宅玄関建具修繕	5,500円

■ 米子瀑布群保存活用計画策定事業

単位：円

当初予算額	5,063,000	予算現額	4,588,000	決算額	4,538,731	前年度決算対比	234.5%	前年度決算額	1,935,900
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

平成28年10月3日に官報告示をもって指定された国の名勝「米子瀑布群」について、保存活用計画を策定し、適切な保存と活用を図る。

II 事業の成果等

専門家及び地権者からなる名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会を平成29年度に設置し、引き続き関係行政機関等のオブザーバーを加えた計画策定委員会を開催した。今後、名勝米子瀑布群をよりよく保存し、観光、体験学習、自然とのふれあいなどに有効に活用していくための指針となる保存活用計画を策定することができた。

Ⅲ 事業の実績

1 保存活用計画策定に係る専門委員会の開催（委員 6 人）

- (1) 第 6 回名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会の開催 出席人数 8 人（委員 4 人 オブザーバー 4 人）
 ア 期日 7 月 12 日
 イ 場所 防災活動センター 2 階 活動室 1
- (2) 第 7 回名勝米子瀑布群保存活用計画策定委員会の開催 出席人数 9 人（委員 5 人 オブザーバー 4 人）
 ア 期日 10 月 30 日
 イ 場所 防災活動センター 2 階 活動室 1

2 計画策定に係る業務委託

(1) 米子瀑布群保存活用計画策定業務委託

- ア 委託期間 4 月 19 日～3 月 16 日
 イ 委託金額 4,115,100 円
 ウ 受託者 ㈱KRC
 エ 委託内容 会議運営支援、計画作成等の支援、保存活用計画概要版の作成

(2) 米子不動寺奥ノ院建物調査及び現状図作成業務委託

- ア 委託期間 6 月 10 日～9 月 30 日
 イ 委託金額 226,800 円
 ウ 受託者 (有)信濃伝統建築研究所
 エ 委託内容 建物調査及び現状図作成業務

10-6-6 (目) 児童青少年総合対策費

単位：円

当初 予算額	19,101,000	予算 現額	18,319,000	決算額	17,503,996	前年度 決算対比	103.1%	前年度 決算額	16,983,016
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

■ 健全育成推進事業

単位：円

当初 予算額	14,890,000	予算 現額	14,804,000	決算額	14,365,976	前年度 決算対比	104.0%	前年度 決算額	13,815,887
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーや「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。

II 事業の成果等

少年・ジュニアリーダー養成研修会を行い、次年度の各町子ども会のリーダー（子ども会の役員など）になる子どもたちを養成することができた。

また、「子どもの手による子ども会活動」を実践する場として、各町の子ども会長が中心になって企画運営した「すざか子どもフェスティバル」では、大勢の子どもと大人が来場し、地域一体となって盛大に開催した。企画運営した子どもたちも達成感を味わい、自己肯定感の醸成を図った。

「すざか子どもスポーツフェスティバル」では、「ドッジビー交流会」を開催し、小学校低学年から高学年まで、勝敗をつけないゲーム形式で一緒に参加し、親睦・交流を図った。

各町育成会・保育園・幼稚園・認定こども園、各種団体で「子育てセミナー」を多数開催し、地域の皆さんや乳幼児の保護者が現在の子育てを振り返るきっかけとなった。

Ⅲ 事業の実績

1 子ども会育成連絡協議会

各町育成会長で組織し、各町育成会相互の連絡提携を図り、子ども会の活動を助成し育成する。

- (1) 総会 4月12日 シルキー第1ホール
- (2) 役員会 5月16日 市役所305会議室 (児童青少年育成委員会との合同役員会)
- (3) 新旧役員会 3月12日 防災活動センター ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

2 研修会等への参加

- (1) 長野地方子ども会育成指導者研修会(長野県子ども会指導者講習会)
4月20日 日野地域公民館 育成会長等22人、須坂リーダーズクラブ4人(運営補助)
- (2) 長野県子ども会育成研究協議会
5月25日 長野市バスターミナル会館 子ども会連絡協議会会長
- (3) 長野地方子ども会ジュニアリーダー養成研修会
8月6日・7日 千曲市大池自然の家
須坂リーダーズクラブ5人、須坂リーダーズクラブ6人(運営補助)
- (4) 長野県青少年健全育成県民大会
11月2日 東御市文化会館 育成委員等17人

3 子育てセミナー

子育てに関する問題や課題の解決に向けて、親が自ら研鑽できる場となるよう、昨年度から引き続き、全体テーマを「今、親力をみがく」とした。

- (1) 育成会関係 46町ほか3団体 37回 1,447人
- (2) 幼稚園・保育園・認定こども園関係 14園 14回 452人
- (3) 入学に備える子育て講座
ア 期日・場所 6月2日 中央公民館3階ホール
イ 参加者 保護者等 32人
ウ 演題・講師 「小学生へのキャリアアップ～家族は何を支えるか～」日野小学校教頭 塩澤真千子氏

4 青少年健全育成合同研修会

- (1) 期日・場所 10月2日 中央公民館3階ホール
- (2) 参加者 育成会長、児童青少年育成委員、小・中学校関係者及びPTA等 60人
- (3) 演題・講師 「子どものインターネット依存」北信こころの相談室精神保健福祉士 小巻佳人氏

5 子ども会長会

「子どもの手による子ども会活動」の推進及び第16回すぎか子どもフェスティバルの準備運営のため開催した。

- (1) 期日 7月21日、8月25日、9月8日、9月22日、9月23日
(9月23日は、すぎか子どもフェスティバルの運営)
- (2) 場所 森上小学校体育館
- (3) 参加者 各町の子ども会長 70人

6 子ども会少年・ジュニアリーダー養成研修会

「子どもの手による子ども会活動」推進のため、子ども会運営の中心となる少年リーダー(小学4・5年生)と子ども会活動をサポートするジュニアリーダー(小学6年生)を養成する研修を行った。

- (1) 期日 6月8日、7月7日、8月24日、10月26日、11月23日
- (2) 場所 臥竜山公会堂大広間ほか
- (3) 参加者 少年リーダー21人、ジュニアリーダー13人

7 須坂リーダーズクラブ

市子ども会育成連絡協議会に所属する組織で、子ども会リーダーとしての資質向上を目指すとともに、須坂市の子ども会活動の活性化に寄与すること及び将来にわたって地域で活躍するリーダーを育成する目的で、年間をとおして活動している。

(1) 会 員 中学生以上 24 人

(2) 活動内容

- ア 三浦市親善交流事業への協力（訪問・受入）
- イ 須坂市子ども会会長会・リーダー養成研修会への協力（企画・運営）
- ウ すざか子どもフェスティバルの運営協力
- エ 単位子ども会行事への協力（派遣活動） 北横町・亀倉町へ派遣
- オ 各種研修会（長野地方子ども会育成連絡協議会等主催）への参加
- カ 会報の発行 「Smile（スマイル）」第17号発行
- キ 会議 総会（4月27日）、役員会（4回）、定例会（28回）

8 第16回すざか子どもフェスティバル

子どもたちが運動や遊びを通じて自主性と連帯意識を高めるために開催した。子ども会長が中心となって運営し、地域の皆さんや大学生の協力を得ることにより、世代間交流ができた。

(1) 期日・場所 9月23日 森上小学校体育館

(2) 参加者 子ども・保護者等あわせて約300人

(3) 内 容

- ア すざかフレンドパーク
やかんカーリング、ストラックアウト等（全8種類の手づくりゲーム）
- イ 昔あそび体験 押し花、お手玉、折り紙、だいこん鉄砲等
- ウ ロボットショー（信州大学工学部ロボット研究会の協力）
- エ 工作コーナー、自由遊び

9 「家庭の日」普及実践活動

(1) 作文・ポスターの募集 8月23日～30日

(2) 応募総点数 作文589点、ポスター323点

(3) 応募点数（学校審査を経て、市へ応募があった点数） 作文113点、ポスター105点

(4) 作文・ポスター審査会 9月9日 審査結果：作文29点・ポスター35点入選

(5) 一席入選者表彰式 10月19日 防災活動センター 16人出席

(6) ポスターの展示会 11月1日～10日 旧上高井郡役所

(7) 入賞者及び代表作品の紹介 12月～2月 須坂新聞・(株)Goolight

(8) カレンダー作成 ポスター入選作品及び作文入賞者名を掲載したカレンダーを作成し、小中学校及び市施設等へ配布した。

10 第4回子どもスポーツフェスティバル

スポーツの楽しさをあじわい、互いに交流を深めるとともに、心美しい人間性とたくましい身体をつくることを目的として、ニュースポーツのドッジビーによる交流会を開催した。

(1) 参加チーム代表者会議 7月4日 中央公民館3階ホール

(2) 審判団（スポーツ推進委員）事前打ち合わせ会 8月21日 市民体育館

(3) 子どもスポーツフェスティバル（ドッジビー交流会）

9月1日 市民体育館・北部体育館 37町42チーム 685人

11 育成会活動の支援

各地域において子どもたちの様々な体験と交流の場となる各町の育成会活動の費用を助成した。

67町 7,322,101円

12 須坂市児童青少年育成市民会議 総会

児童青少年の健全育成を目的に、情報交換等を行い関係機関・団体の連携を図った。 委員 33人

7月2日 中央公民館3階ホール

■ 親善交流事業

単位：円

当初 予算額	1,444,000	予算 現額	1,126,000	決算額	1,107,182	前年度 決算対比	115.3%	前年度 決算額	960,316
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

姉妹都市である神奈川県三浦市の児童・生徒との交流を通して、須坂の良さを再認識するとともに、互いの市の文化や生活への理解を深め、交流の中から新しい友人をつくり、豊かな心を育む。

II 事業の成果等

三浦市との交流に参加した児童・生徒は、民泊した家庭・生徒、同じ班で活動した三浦市、須坂市の児童・生徒との友情を育み、互いの市の良いところを教えあうなど、交流をとおして地域に目を向けることができた。

積極的な参加者の減少や民泊協力家庭の確保が困難といった課題を解消するため、対象を小学4年生まで引き下げ、三浦市の児童生徒の民泊受け入れができることを条件に参加者を募った。積極的に学習・交流しようという意欲のある児童が参加し、民泊についても、初めて知らない家庭に泊まらせていただく機会として、児童・生徒や受け入れた家庭にとって貴重な経験となり、両市の参加者がより深く交流することができた。

また、須坂リーダーズクラブも三浦市の青年リーダーの積極的な行動に刺激を受け、受入の際は小・中学生をまとめリーダーシップを発揮できた。

III 事業の実績

1 三浦市親善交流

(1) 三浦市へ訪問 7月31日～8月2日（2泊3日）

小学4年生から中学3年生までの児童生徒及び引率者 26人

（小学生15人、中学生6人、引率教頭1人、須坂リーダーズクラブ1人、職員3人）

(2) 三浦市から来須 8月9日～11日（2泊3日）

小学4年生から中学3年生までの各地区子ども会等の児童生徒及び引率者 29人

（小学生19人、中学生3人、三浦ジュニアリーダーズクラブ2人、引率者5人）

2 会議の開催

(1) 引率者打ち合わせ会 7月13日 引率教頭、須坂リーダーズクラブ 防災活動センター

(2) 児童生徒事前研修会 7月13日 児童生徒、引率教頭、須坂リーダーズクラブ 防災活動センター

7月28日 児童生徒、引率教頭、須坂リーダーズクラブ 防災活動センター

(3) 民泊受入家庭説明会 7月28日 児童生徒の保護者 防災活動センター

■ 児童青少年育成センター事業

単位：円

当初 予算額	1,962,000	予算 現額	1,702,000	決算額	1,360,842	前年度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	1,268,212
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

児童・青少年の非行防止、健全育成への市民の理解を深め、児童青少年育成委員会を中心とする街頭巡視補導活動を通して児童・青少年が非行に走らないよう予防活動に努める。

また、環境浄化活動の一環として、有害図書等自動販売機、酒類・たばこの販売方法等児童・青少年に有害な環境のチェックを行い、商店等に対し改善をお願いする中で、地元の住民の不買・撤去活動の支援を行う。

II 事業の成果等

各区及び市内小中高の学校長から推薦された 83 人に委嘱している須坂市児童青少年育成委員（任期2年）による、下校時間や休日、夜間等の街頭巡視補導活動では、子どもたちへ「愛の声かけ」を積極的に行い子どもたちを見守るとともに、非行の未然防止に努めた。

また、県単位での研修会への参加や自主開催の研修会を開催し、子どもたちを取り巻く現状や接し方などを学び活動に繋げた。

「善行賞」は2件の表彰を行い、地域の子どもたちが取り組んでいる善い行い（活動）に対して大人がしっかりと褒めることで、子どもたちの自己肯定感の高揚と活動意欲向上にも繋がった。

III 事業の実績

1 児童青少年育成センター・同育成委員会運営に関する会議の開催

- (1) 総会 4月16日 シルキー第1ホール
- (2) 役員会 5月16日、8月22日、1月22日 市役所305会議室ほか
- (3) 児童青少年育成委員会・子ども会育成連絡協議会役員合同会議 5月16日 市役所305会議室
- (4) 臨時総会 3月25日 中央公民館 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面による開催

2 研修会等への参加

- (1) 第44回長野県青少年補導活動推進大会
7月11日 佐久市佐久平交流センター 育成委員9人、育成センター所長
- (2) 長野県青少年補導センター・同補導委員会両連絡協議会合同理事会
5月10日、6月12日 佐久市 育成委員会会長、育成センター所長
2月12日 中野市 育成委員会会長、育成センター所長
- (3) 長野県青少年補導センター所長及び同補導委員会会長等研修会
10月10日～11日 中野市 育成委員会会長、育成センター所長
- (4) 北信ブロック青少年補導委員会正副会長・事務局担当者合同会議
10月4日 須坂市 育成委員会正副会長、育成センター所長
- (5) 長野県青少年補導委員会会長・事務局担当者会議
8月19日 中野市 育成委員会会長

3 児童青少年育成委員会「善行賞」表彰

- (1) 9月表彰
 - ア 相之島町支部生徒会（長年にわたり町内のカーブミラー清掃活動に参加） 地域貢献賞
 - イ 南小河原町子ども会（長年にわたり神楽活動に参加） 学芸賞

4 街頭巡視補導活動

児童・青少年の非行防止（非行の早期発見・未然防止）のため、児童青少年育成委員による街頭巡視補導活動を行った。

(1) 年間巡視活動回数（ブロック単位で活動） 104回 延べ558人

(2) 夜間合同巡視補導活動 7月20日カッタカタまつり後・21日みんなの花火大会後 延べ55人

5 有害環境チェック活動

青少年の健全育成にとって有害と思われる出版物、酒又はタバコ自販機等の有無と配慮状況についてチェック活動を行った。

8月・11月・1月または2月の年3回 実施件数 延べ67件

6 有害環境浄化活動支援

高甫地区に設置されている有害図書等自動販売機の撤去運動は、地元地区が独自に行っている。

児童青少年育成センターとしても、有害環境浄化活動の一環として地元地区と相互に連携・協力を図るとともに、児童青少年育成委員会と子ども会育成連絡協議会との連名で有害図書等自動販売機の設置業者に撤去要望書を送付した。また、「高甫地域健全育成に係わる有害環境を排除する会」の活動費について一部を補助し運営面での支援をした。 青少年環境浄化事業補助金 12,000円

7 啓発事業

(1) 育成センターだよりの発行 11回（5月～3月） 育成委員及び各町区長等へ配布

(2) 青少年の非行・被害防止全国強調月間に伴う早朝街頭啓発活動（啓発物品配布）

7月1日 須坂駅前 育成委員会正副会長、須坂警察署、長野地域振興局

(3) 子ども・若者育成支援強調月間に伴う早朝街頭啓発活動（啓発物品配布）

11月1日 須坂駅前 育成委員9人、須坂警察署、長野地域振興局

(4) 「有害自動販売機NO」チラシ隣組回覧 11月（さらに高甫地区は7月に全戸配布）

(5) 全県で推進する「信州あいさつ運動」を早朝街頭啓発活動や子ども会長会等の事業の開催時にあわせて、7月と11月に行った。

8 各ブロック児童青少年健全育成協議会

各小学校通学区単位で、児童青少年育成委員が中心となり、地域の育成会やPTA、民生児童委員、区役員、学校関係者など青少年を取り巻く大人たちを横断的にした組織を立ち上げ活動を行っている。地域の子どもたちは地域で守り育てる活動に対し活動費の一部を補助した。 9ブロック 65,000円

■ 農業小学校運営事業

単位：円

当初 予算額	805,000	予算 現額	687,000	決算額	669,996	前年度 決算対比	71.4%	前年度 決算額	938,601
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

農業小学校は、子どもたちの健やかな成長に欠かせない、自然・体験活動不足の現状を考慮し、子どもたちがたくましい精神力・創造力等を身につけ、また、異年齢の子どもたちや保護者、地域の大人（主に高齢者）とふれあうことにより、相互の仲間づくりや世代間交流、地域連帯感を養い豊かな人格形成を図ることとともに、地域の文化に触れることにより、ふるさと須坂の良さを再発見する機会とする。

II 事業の成果等

農業体験を通じ、食べ物の大切さや伝統食などを学ぶことができた。子どもたちと地域の大人（主に高齢者）、保護者等とのふれあいを促進させるとともに、高校生も指導に加わるなど、異年齢の子ども同士の間づくりと心の絆を深めさせ、ふるさと須坂の良さを再発見することができた。また、教える農家先生方も、この農業小学校を通じ、子どもとのふれあい、生きがいを感じてもらった。さらに、収穫した作物（白菜、大根など）を保育園給食に提供し、地域のイベントで販売するなど地産地消（賞）の実践ができた。

また、参加児童だけでなく保護者も一緒に作業に取り組み、家族のコミュニケーション形成を図った。

Ⅲ 事業の実績

1 農業小学校の概要

- (1) 参加者 児童 19 人（小学校 1 年生～6 年生 市内 17 人、市外 2 人）及び保護者、農家先生 15 人
 (2) 場 所 豊丘地域活性化施設そのさとホール及び周辺の田畑
 (3) 授業等の内容

回数	月 日	内 容	参加 児童数 (人)
1	5月11日	入校式、じゃがいも・長ねぎ植付け、とうもろこし種まき	19
2	5月18日	みそ仕込み、レタス植付け	16
3	5月26日	田植え（モチヒカリ：もち米）、灰野神社豊作祈願	18
4	6月9日	豆種まき、さつまいも植付け、新玉ねぎ収穫、じゃがいも花摘み、離山散策	14
5	7月6日	玉ねぎ収穫、園里郷土資料館見学	17
6	7月27日	じゃがいも収穫、稲観察、鳥よけづくり、田網掛け	17
7	9月7日	大根・野沢菜種まき、白菜定植、カレーづくり	15
8	9月21日	稲刈り、ほげかけ、落穂ひろい、枝豆・かぼちゃ収穫	14
9	10月5日	さつまいも収穫（約 175 kg）、稲脱穀（約 460 kg）	15
10	11月2日	大豆・くらかけ・小豆刈り取り、玉ねぎ苗植付け、焼きいも大会	14
11	11月3日	「うまいもん祭り」で収穫物の販売体験	2
12	11月16日	大根・白菜・ねぎ収穫、おやきづくり、豆脱穀（大豆 5.4 kg・小豆 1.6 kg・くらかけ 3.4 kg）	13
13	11月23日	「豊丘新そばまつり」で収穫物の販売体験	4
14	12月14日	もちつき大会、薪割り、修了式	18
計			196

2 農家先生との会議の開催

- (1) 職員会議 3月27日 豊丘地域公民館
 (2) 役員会議 4月18日、6月26日、9月11日、10月29日、2月3日 そのさとホールほか
 (3) 中間反省会 7月17日 豊丘地域公民館
 (4) 視察研修 7月17日 安曇野市（国営アルプスあづみの公園・大王わさび農場）

3 農地管理運営委託料

委託先 信州すざか農業小学校豊丘校
 業務内容 信州すざか農業小学校豊丘校の管理運営
 委託金額 500,000 円

10-6-7(目)臥竜山公会堂費

単位：円

当初 予算額	1,567,000	予算 現額	1,422,000	決算額	1,324,397	前年度 決算対比	90.7%	前年度 決算額	1,460,401
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 臥竜山公会堂管理事業

単位：円

当初 予算額	1,567,000	予算 現額	1,422,000	決算額	1,324,397	前年度 決算対比	90.7%	前年度 決算額	1,460,401
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

利用者が安心安全で快適な環境の中で使用できるよう施設、設備等の維持管理に努める。

II 事業の成果等

施設等の点検整備に努め、利用者の利便を図ることができた。

III 事業の実績

1 施設の管理等

(1) 施設等の修繕

施設名	事業内容	事業費(円)
臥竜山公会堂	カーテン修繕	880
計		880

(2) 施設管理の委託

業務名	委託先	業務内容	委託料(円)
植木剪定業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	松の剪定	23,328

2 施設の使用状況

区分	松1号	松2号	松3号	あやめ	舞台	2部屋以上	合計
使用回数	5 (0)	0 (0)	7 (3)	4 (0)	0 (0)	31 (21)	47 (24)
使用人数(人)	168 (0)	0 (0)	267 (93)	40 (0)	0 (0)	2,448 (1,265)	2,923 (1,358)

()内は減免件数

3 使用料合計 211,755 円 (施設使用料 160,555 円 冷暖房費 51,200 円)

10-6-8(目)生涯学習推進費

単位：円

当初予算額	8,769,000	予算現額	9,001,000	決算額	8,838,226	前年度決算対比	100.6%	前年度決算額	8,782,813
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

■ 生涯学習推進事業

単位：円

当初予算額	8,769,000	予算現額	9,001,000	決算額	8,838,226	前年度決算対比	100.6%	前年度決算額	8,782,813
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

市民の生涯学習を啓発、生涯学習情報の収集・提供・相談、講座の開設などにより多面的に支援し、併せて各自の学習活動を高めながら、自己の学習の成果を地域や社会に活かす「生涯学習のまちづくり」が展開できるよう各種の事業を推進する。

II 事業の成果等

市民の生涯学習に対する理解を一層深め、学習の実践を促すための啓発活動や学習情報等の提供は、各種講座などの積極的な開催と、生涯学習推進委員会などの学習ボランティアとの協働、共創により、一定の成果をあげることができた。また、各種講座においては幅広い年代の市民の積極的参加により、生涯学習への関心と学ぶ意欲の高まりがみられた。

「生涯学習のまちづくり」の展開については、長野県の地域発元気づくり支援金を活用した、まちづくり実践講座(須坂市民総合大学講座を兼ねる)を全3回で実施、子どもや大人の参加により世代を超えたまちづくり活動の実践ができた。

Ⅲ 事業の実績

1 生涯学習の啓発

(1) 生涯学習推進センターだよりの発行 No. 230～No. 241

生涯学習推進センターだよりを広報須坂に掲載し生涯学習の啓発に努めたほか、各種主催事業などの参加者及び受講者募集や、生涯学習推進委員会による生涯学習実践団体の紹介などの情報を提供した。

(2) 「生涯学習推進期間」の設定と啓発

日常生活上でのあらゆる分野で学ぶ行為が、生涯学習である。既存の生涯学習関連のイベントを大きく束ね、そこに参加する市民全てが、生涯学習実践者であると認識してもらうため、9月から11月を「生涯学習推進期間」とし、「周知用ポスター」や「まなびーず情報」により啓発活動を行った。

ア ポスター作成部数 150 枚 93,312 円

2 生涯学習情報の収集・提供

(1) 生涯学習ボランティアの登録

生涯学習の講師等で活躍できる人材を募り、登録するとともに必要に応じて紹介し、出前講座の講師への活用を図った。

ア 年度末登録者累計 16 団体、10 個人、27 企業

(2) 「まなびーず情報」の発行

民間を含めた団体などが市内で開催する生涯学習情報をまとめ、3回（4、9、12月）発行、「広報須坂」へ挟み込み全戸配布した。

特に9月発行号は、生涯学習推進期間に合わせ積極的に広報するため特別号として発行した。

作成部数 59,100 部 1,191,810 円

3 生涯学習相談

市民の求める講座・講師等について必要に応じて紹介するとともに各種生涯学習の相談に応じた。

相談内容 学習相談 1件

生涯学習まちづくり出前講座の相談と紹介 随時

4 生涯学習講座

(1) 生涯学習須坂学舎11期生の1年次継続実施

「ふるさと須坂」を学習材にし、講義と現地学習をまじえて「須坂のよさ」をより深く学び、体系的に深めながら、文化継承について進んで語れる「地域学」「地元学」からの拡がりのある「まちづくり活動」や、「地域づくり活動」へ参加できる「まちづくり」の一環としての各自のボランティア活動や実践的活動ができる人材育成を目的に、より一層の活動内容を充実させてアプローチしてきた。

ア 受講生 17人（男10人 女7人） 修学年限2年の1年次 延受講者数 337人

イ 講座数 24講座（うち信州岩波講座3講座）

月 日	学 習 内 容	講 師	受講人数 (人)
4月27日	開講式・オリエンテーション	学長・副学長・センター職員	17
5月11日	先輩に学ぶ・須坂市域の変遷	石田秀明氏・返町以登江氏 藤澤袈裟一氏	16
5月25日	須坂市の地理①	渡辺敏泰氏	17
6月8日	大笹街道に学ぶ/山城に学ぶ①	馬場廣幸氏	14
6月22日	臥竜山の植物観察	堀米富平氏	15
7月6日	須坂市の地理②	渡辺敏泰氏	14
7月27日	四阿山信仰と米子不動信仰①	涌井二夫氏	15
8月10日	町並みを学ぶ①	水越正和氏	16

月 日	学 習 内 容	講 師	受講人数 (人)
8月17日	信州岩波講座Ⅰ	出口治明氏	4
8月24日	絵図から読む須坂藩史①	丸山文雄氏	17
8月24日	信州岩波講座Ⅱ	福岡伸一氏	7
9月7日	絵図から読む須坂藩史②	丸山文雄氏	16
9月21日	信州岩波講座Ⅲ	姜尚中氏	10
9月28日	大笹街道に学ぶ②	馬場廣幸氏	11
10月12日	町並みを学ぶ②	水越正和氏	13
10月26日	山城に学ぶ②	馬場廣幸氏	15
11月9日	須坂市の治水・利水	一色修治氏	15
11月16日	寺社建築と彫刻	藤澤袈裟一氏	14
12月7日	碑が語る庶民信仰	涌井二夫氏	16
12月20日	高齢者福祉を考える	中澤茂氏	15
1月11日	幕末維新期の須坂藩	丸山文雄氏	16
1月25日	吉向焼と須坂	石田秀明氏	15
2月8日	須坂市の産業	商業観光課職員・産業連携推進課職員	15
2月22日	博物館収蔵品の概観	博物館職員	14

(2) 生涯学習「須坂市民総合大学」の開講

須坂を“まるごと”学びの場として、「まなび一ず情報」「広報須坂」に掲載された講座や講演会、イベントに参加し、「須坂人(すざかびと)手形」に、学習の成果を記録することで、その学習履歴や学習目標達成度を振り返りながら、須坂を知り、誇りに思う人＝「須坂人」になることを目指して学習意欲を高めている。

また、必修10講座を含む50講座(年度をまたいでも可)受講者を「須坂人」に認定し、表彰することにより一層学習する意欲が高揚し、学習成果を生かす場を広げることができる。

「須坂人手形」新規所有者 0人 所有者数 135人(男74人、女61人)

「須坂人」新規認定者 0人 認定者数 9人

ア 自由共通講座 「広報須坂」「まなび一ず情報」等に掲載された講座・講演会・イベント等

イ 必修講座(9講座)

月 日	講 座 名 ・ 内 容 (会 場)	講 師	受講人数 (人)
5月18日	第1回 公開必修講座 子どもは宝! どの子ども豊かに伸びる須坂をめざして (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	小林雅彦氏	120
5月29日	第2回 公開必修講座 原田要「平和への祈り」映画上映会&講演会 (中央公民館3階ホール) ※中央公民館共催	宮尾哲雄氏	100
6月15日	第3回 公開必修講座 コウノトリのげんきくん (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	山岸哲氏	200
8月17日	第4回 公開必修講座 戦火と花火 令和の慰霊の季節に (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	小林照幸氏	120

月 日	講 座 名 ・ 内 容 (会 場)	講 師	受講人数 (人)
8月 4日	第5回 公開必修講座 (長野県地域発元気づくり支援金活用事業) まちづくり実践講座 (全3回) ～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～ ①スザッピー探検隊Ⅰ 「光の輪を広げ、まちづくりの夢を実現させよう」& 「郷土食材を使った箱膳体験」 (旧小田切家住宅・須坂市内)	蜂屋大八 氏	52
8月 24日	②スザッピー探検隊Ⅱ 「ランプシェードを手作りしよう」 (中央公民館西館)		48
9月 7日	③スザッピー探検隊Ⅲ 「光の輪と願いを届けに、まちへ飛び出そう」 (須坂市内)		29
9月 14日	第6回 公開必修講座 須坂と江戸―激動の幕末を生きた人びと― (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	横山百合子 氏	150
12月 14日	第7回 公開必修講座 正岡子規「かけはしの記」 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	堀井正子 氏	200
1月 25日	第8回 公開必修講座 島崎藤村と須坂 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	田子修一 氏	180
2月 15日	第9回 公開必修講座 きりえが描く健康長寿への道 (中央公民館3階ホール) ※須坂市民学園共催	柳沢京子 氏	150

5 生涯学習指導者の養成

生涯学習指導者の養成を図るため、通信講座「生涯学習支援実践講座／生涯学習コーディネーター新支援技法研修」の受講希望者を募集したが、受講希望者がなかった。

6 生涯学習まちづくりの推進

(1) 生涯学習まちづくり出前講座

市や各種機関が行っている業務の内容と、団体・個人が有する知識・技能を講座として出前することにより、地域の人材の活用と市民の多様な学習ニーズに応えるための取り組みとして実施した。

市民の学習機会の提供を充実するため、市民自らの学習成果を生かし、まちづくりに貢献する市民の団体・個人が講師となる講座、さらに市内企業の協力を得て、市民が地元企業への関心を高めるための製品、製作工程を知る工場見学の講座を揃えて「生涯学習まちづくり出前講座」を開設した。

ア 講座開設数 140 講座を開設した。

イ 「出前講座パンフレット」の発行

小中学生向けの講座を充実し、市民に対する利便性を図るため、講座メニューを掲載した冊子を発行し全戸配布した。

作成部数 19,700部 426,899円

ウ 実施件数 209件 延受講者数 5,990人

(2) 「生涯学習市内見学まなび一号・まなび一隊」の実施

市民対象に、生涯学習の一環として須坂市の自然、歴史、文化などのすばらしさを再発見してもらうため、ボランティア・インストラクター運営委員がインストラクターとなって、内容の検討からガイド企画・運営を行った。市内の施設や史跡等を市のバスで案内し、後世への文化の伝承と継承を担うため「生涯学習市内見学まなび一号・一隊」を結成し、実践活動の内容充実を図った。

ア 市内見学実施回数等

月 日	見学コース (内容)	インストラクター (敬称略)	参加人数 (人)
4月20日	須坂扇状地を歩いて探検①	田中定勝・石田秀明・高橋新勝・佐藤政世・田所とみ枝・高橋典子・岡沢和子・和田みゆき・荻原勇二・久保敬公・橋本洋子	14
5月18日	須坂扇状地を歩いて探検②	高橋新勝・高橋典子・久保敬公・橋本洋子	12
6月1日	扇状地の里巡り (小河原方面)	岡沢和子・高橋新勝・佐藤政世・田所とみ枝	15
6月29日	須田氏の里巡り	石田秀明・田所とみ枝・田中定勝・和田みゆき・久保敬公	11
9月21日	初秋の大笹街道巡り	石田秀明・中條京子・荻原勇二・和田みゆき	21
9月23日	親子歴史文化教室(中央地域づくり推進委員会と共催)		21

イ 運営委員会・学習会の開催

月 日	運営委員会・学習会内容	学習会講師他	参加人数 (人)
4月9日	活動方針と内容について	センター職員	7
5月14日	戸隠・中社のインストラクター研修会	宮下健司氏	33
12月17日	まなび一号隊の反省	センター職員	8
2月6日	次年度の活動計画・ワークショップ①	センター職員	8
2月19日	次年度の活動計画・ワークショップ②	センター職員	8

(3) まちづくり実践講座の実施 (長野県地域発元気づくり支援金活用事業)

子どもから大人まであらゆる世代を対象に、須坂のまちを歩いて魅力を再発見してもらうとともに、須坂のまちづくりを皆で考えるため、「まちづくり実践講座」～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～を全3回で実施した。

月 日	内 容・会 場	講 師	受講人数 (人)
8月4日	スザッピー探検隊Ⅰ 「光の輪を広げ、まちづくりの夢を実現させよう」& 「郷土食材を使った箱膳体験」 (旧小田切家住宅・須坂市内)	蜂屋大八氏	52
8月24日	スザッピー探検隊Ⅱ 「ランプシェードを手作りしよう」 (中央公民館西館)		48
9月7日	スザッピー探検隊Ⅲ 「光の輪と願いを届けに、まちへ飛び出そう」 (須坂市内)		29

7 その他生涯学習の推進

(1) 生涯学習推進員の委嘱等

4月8日、任期(2年間)満了に伴う生涯学習推進員(1期生1人、3期生3人、5期生4人、7期生2人、9期生3人、11期生1人、13期生3人、15期生1人、17期生4人)と新規委嘱者(18期生2人)合計24人の委嘱を行った。

生涯学習推進員 44 人（上記のほか2期生2人、4期生1人、6期生3人、8期生2人、10期生2人、12期生2人、14期生4人、16期生4人）は、「地域の文化を知り語りつなぐ」をテーマにした活動や、まちづくり実践講座（生涯学習推進員会連携講座）等の各種イベントの企画・運営を行った。

(2) 生涯学習推進員会議等の開催

- ア 定期総会（5月9日） 推進員 37人
- イ 臨時総会（3月26日） 推進員 39人
- ウ 総務会（会長・副会長・書記） 11回
- エ 幹事会 9回
- オ 全体会 10回（交流会含む）

カ 企画部会活動

須坂市内の史跡めぐり学習会の開催や、市内の小・中学校に須坂市文化財のパネルを巡回展示するなど、地域の文化を語りつなぐための活動を推進した。

キ 研修部会活動

須坂の味噌について研修会や調理実習などで学習を深めた。

ク 広報部会活動

中央・地域公民館等、公民分館などで学習するサークル・団体などを「生涯学習推進センターだより」で市民に紹介するため取材訪問した。

(3) 各分会の活動

ア 中央分会

月	学 習 内 容
8	区秋葉社祭礼イベント参加
12	地域づくり須坂未来塾主催 もちつき大会
1	書初めを書こう（小・中学生を対象に書初め学習）
通年	須坂中央地域づくり推進委員会事業に参加、地域づくり須坂未来塾の活動に協力参加

イ 南部分会

月	学 習 内 容
6	第15回竜ヶ池灯籠流し実行委員会
7	森上小学校3年生灯籠づくり教室指導
7	小山小学校2年生灯籠づくり教室指導
8	第15回竜ヶ池灯籠流し

ウ 旭ヶ丘分会

月	学 習 内 容
4	旭ヶ丘地域づくり推進委員会に出席
6	旭ヶ丘地域づくり推進委員会に出席
8	旭ヶ丘地域づくり推進委員会に出席
8	打合せ、練習
8	旭ヶ丘夏休み子供会 読み聞かせ会、おにぎり作り
9	読み聞かせボランティア
11	ふれあいコンサート協力
通年	毎月第一月曜日 旭ヶ丘小学校へ読み聞かせ参加

エ 井上分会

月	学 習 内 容
11	井上地域づくり推進委員会（収穫祭 井上小5年生と餅つき大会）
12	フラワーアレンジメント教室開催（講師：小森推進員クリスマスのフラワーアレンジ）
12	井上分会会議
2	手芸教室開催（講師：山岸芳江氏 干支の子の制作）
2	井上ブロック文化祭 干支人形出品・推進員の作品出品（アレンジフラワー・書道・絵手紙等）
3	井上地域づくり推進委員会 会計監査

オ 高甫分会

月	学 習 内 容
5	高甫地域公民館運営委員会 令和元年度事業計画ほか
6	高甫小学校クラブ活動支援事業① 料理実習を担当
7	高甫小学校クラブ活動支援事業② 料理実習を担当
8	高甫小学校クラブ活動支援事業③ 料理実習を担当
9	高甫小学校クラブ活動支援事業④ 料理実習を担当
10	高甫小学校クラブ活動支援事業⑤ 料理実習を担当

カ 仁礼分会

月	学 習 内 容
4	須坂荘ひな壇片付けボランティア
4	第1回仁礼地域づくり推進委員会に出席
5	第1回仁礼分会総会 郷土食実習、懇親会
7	せせらぎサイエンスのボランティア
8	文化学園大学との交流会 郷土料理指導、交流会
8	仁礼ブロック市民会議に出席
9	仁礼ブロック文化祭準備委員会に出席
10	仁礼ブロック文化祭参加（展示、農産物販売、ステージ発表紙芝居）
11	仁礼町文化祭参加（紙芝居）
3	第2回仁礼分会総会

キ 豊丘分会

月	学 習 内 容
8	仁礼分会との合同、文化学園大学との交流会
通年	ずくなしガーデン（豊丘地域の花壇手入れ活動）

10-6-9 (目)文化施設管理費

単位：円

当初 予算額	202,452,000	予算 現額	233,129,000	決算額	233,077,968	前年度 決算対比	118.5%	前年度 決算額	196,730,899
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

■ 文化施設管理事業

単位：円

当初 予算額	195,498,000	予算 現額	195,607,000	決算額	195,555,968	前年度 決算対比	99.9%	前年度 決算額	195,846,379
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

市民による文化活動推進、文化意識の向上のため、芸術文化関連施設の適切な維持管理を行う。

II 事業の成果等

須坂市文化会館メセナホール、須坂クラシック美術館、旧小田切家住宅、須坂版画美術館、歴史的建物園、世界の民俗人形博物館、笠鉾会館ドリームホールの管理運営は、指定管理者の(一財)須坂市文化振興事業団が行い、「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、各館連携事業の推進並びに地域文化の振興等に努めることにより、芸術文化施設の充実が図られた。

III 事業の実績

1 須坂市文化会館メセナホール

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日

指定管理委託料 95,750,000円

(2) 管理の状況

入場者数 81,170人 (対前年度比 102.4%)

利用料等収入 12,243,523円 (対前年度比 133.6%)

(3) 土地借上料

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
文化会館案内板設置用地	1.00	1,300	1
文化会館用地	19,227.93	13,995,000	3
計	19,228.93	13,996,300	4

2 美術館等文化施設の管理運営

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日

指定管理委託料 49,600,000円

(2) 各施設の管理状況

ア 須坂版画美術館・平塚運一版画美術館

(ア) 入館者数 16,908人 (対前年度比 74.9%)

(イ) 観覧料等収入 2,885,941円 (対前年度比 78.2%)

(ウ) 土地借上料

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
駐車場用地	3,221.00	853,000	1

イ 須坂クラシック美術館

(ア) 入館者数 6,741人 (対前年度比 127.8%)

(イ) 観覧料等収入 902,945円 (対前年度比 98.0%)

ウ 世界の民俗人形博物館

(ア) 入館者数 17,549人 (対前年度比 76.7%)

(イ) 利用料等収入 2,709,347円 (対前年度比 74.0%)

(ウ) 土地借上料

使用目的	面積 (㎡)	金額 (円)	地権者数 (人)
管理道路用地	1,210.00	148,000	3

3 笠鉾会館ドリームホール

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日

指定管理委託料 16,670,000円

(2) 管理の状況

入館者数 17,350人 (対前年度比 97.5%)

利用料等収入 239,447円 (対前年度比 106.7%)

4 旧小田切家住宅

(1) 指定管理者の状況

指定管理者 (一財)須坂市文化振興事業団

指定の期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

指定管理委託料 14,830,000円

(2) 管理の状況

入館者数 6,873人 (対前年度比 56.8%)

利用料等収入 1,887,031円 (対前年度比 74.0%)

5 業務委託関係

業 務 名	委託先	委託内容	金額 (円)
人形博物館敷地倒木処分 業務委託	協同組建匠須高	倒木の処分	159,500
須坂アートパーク倒木等 処分業務委託	協同組建匠須高	倒木の処分	180,400

6 修繕関係

(1) 須坂市文化会館タイルカーペット張替工事	120,960 円
(2) 須坂市文化会館大ホール舞台機構設備 引割1幕地補修	291,600 円
(3) 須坂クラシック美術館屋根瓦修繕	117,450 円
(4) 須坂市文化会館大ホールステージ搬入口舗装復旧修繕	477,360 円
(5) 須坂市文化会館大ホールステージ搬入口舗装クラック修繕	131,760 円
(6) 世界の民俗人形博物館 誘導灯修繕工事	457,050 円
(7) 須坂市歴史的建物園板倉家1階展示場所自動火災報知設備修繕	29,700 円
(8) 須坂市歴史的建物園武家屋敷自動火災報知設備総合盤位置不適解消工事	173,800 円
(9) 旧小田切家住宅濡縁塗裝修繕	73,700 円
(10) 旧小田切家住宅回廊仕切りシート修繕	65,450 円
(11) 須坂市文化会館空調機修繕	513,700 円
(12) 世界の民俗人形博物館 誘導灯修繕工事	141,900 円
(13) 笠鉾会館ドリームホール腰板塗裝修繕	439,310 円
(14) 須坂市文化会館小ホール音響調整卓用無停電電源装置更新	151,360 円

7 備品購入費

青木甚九郎肖像画軸等の購入	50,000 円
---------------	----------

■ 文化施設整備事業

単位：円

当初 予算額	6,954,000	予算 現額	37,522,000	決算額	37,522,000	前年度 決算対比	4,242.1%	前年度 決算額	884,520
-----------	-----------	----------	------------	-----	------------	-------------	----------	------------	---------

I 事業の目的

文化環境の向上、芸術文化施設の充実のため、文化施設の整備を行う。

II 事業の成果等

須坂市文化会館メセナホールの非構造部材の耐震化と施設の長寿命化を図るための実施設計を行ったほか、笠鉾会館ドリームホールを博物館分館に転用するための設計を実施し、工事に向けて準備ができた。避難場所に指定されているアートパーク駐車場のトイレを洋式化し、利用者の利便性が向上した。

III 事業の実績

1 業務委託関係

業 務 名	委託先	委託内容	金額 (円)
2019年度 緊急防災・減災事業 公共施設等適正管理推進事業 須坂市文化会館非構造部材耐震化・長寿命化工事 実施設計業務委託	(株)幸建築設計須坂支店	非構造部材耐震化・長寿命化工事 実施設計	31,130,000

業 務 名	委託先	委託内容	金額 (円)
2019年度 公共施設等 適正管理推進事業 笠鉾 会館ドリームホール転用 事業 (設計・施工一括発 注) 設計業務委託	株式会社電弘・株式会社 エーシーエ設計共同企業 体	転用事業 (設計・ 施工一括発注) 設 計	5,258,000

2 工事請負関係

工 事 名	金額 (円)
アートパークトイレ改修工事	1,134,000

10-6-10(目)旧上高井郡役所費

単位：円

当 初 予算額	8,901,000	予算 現額	8,918,000	決算額	8,572,092	前 年 度 決算対比	95.8%	前年度 決算額	8,946,234
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

■ 旧上高井郡役所管理事業

単位：円

当 初 予算額	8,901,000	予算 現額	8,918,000	決算額	8,572,092	前 年 度 決算対比	95.8%	前年度 決算額	8,946,234
------------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	---------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

歴史的建造物である旧上高井郡役所を、市民交流のための施設として広く活用する。

II 事業の成果等

市民ギャラリーや交流施設として、市民が気軽に利用できる施設の運営に努めるとともに、歴史的建造物としての適切な維持管理及び環境設備を図り、市民の交流の場として位置付けることができた。

III 事業の実績

1 主催事業

(1) 高校生への施設開放 (夏休み中の学習の場)

- ア 期 日 7月26日～8月25日
- イ 場 所 市民交流室1
- ウ 利用者 27人

(2) ひな人形展 (七段飾り)

- ア 期 日 令和2年2月10日～4月5日
- イ 場 所 市民交流室1
- ウ 展示品 昭和50年代の七段飾りのひな人形を展示
- エ 見学者 30人 (2月10日～14日分)

(3) 谷本美代子 氏作ミニ和紙人形展

- ア 期 日 令和2年2月15日～4月5日
- イ 場 所 市民交流室1
- ウ 展示品 谷本美代子 氏作ミニ和紙人形 (ひな人形・大奥・童謡シリーズ・オリンピック他)
- エ 見学者 572人

2 共催事業

(1) 歴史文化講座（文書館、市立博物館、市立図書館、生涯学習推進センターとの連携事業）

開催日	講座内容	講師名	参加人数(人)
3月20日	須田満親の生涯 (会場：中央公民館3階)	長野県立博物館専門主事 兼学芸員 村石正行氏	中止

(2) ウォーム*ハーツとの共催事業

開催日	内 容	参加人数(人)
4月28日	市民演奏会 第56回	24
5月26日	市民演奏会 第57回	29
6月16日	市民演奏会 第58回	24
7月20日	市民演奏会 第59回	20
8月4日	市民演奏会 第60回	17
10月14日	市民演奏会 第62回	中止
2月9日	市民演奏会 第63回	30

(3) コスライとの共催事業

開催日	内 容	参加人数(人)
6月15日	コスプレ撮影会	80
12月15日	コスプレ撮影会	90

(4) ハナウタとの共催事業

開催日	内 容	参加人数(人)
9月20日	Hana uta VOL17 清水まなぶコンサート	50

3 使用状況

(1) 部屋別使用状況

区 分	市民 交流室1	市民 交流室2	多目的 ホール1	多目的 ホール2	会議室	合 計
使用団体数	98 (72)	3 (3)	590 (441)	150 (125)	360 (182)	1,201 (823)
使用人数	3,421	51	10,502	1,536	1,858	17,368

()内は減免件数

※市民交流室2を文書館の一部として利用（4月1日～3月31日 一部期間を除く）

(2) 使用料合計 1,149,555円（施設使用料金：942,855円 冷暖房費：206,700円）

4 委託関係

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	委 託 料(円)
日直業務委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	日直、平日夜間、休日	3,784,220
除草等業務委託	(公社)須高広域シルバー人材センター	草取り、植木剪定、 床ワックス掛け	83,574
計			3,867,794

5 工事、修繕等の状況

事 業 内 容	金 額 (円)
外壁塗装工事	400,000
軒樋修繕工事 外2件	53,500
計	453,500

10-6-11(目)文書館費

単位：円

当初 予算額	8,639,000	予算 現額	8,573,000	決算額	8,232,908	前年度 決算対比	191.1%	前年度 決算額	4,308,093
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

■ 文書館管理運営事業

単位：円

当初 予算額	8,639,000	予算 現額	8,573,000	決算額	8,232,908	前年度 決算対比	191.1%	前年度 決算額	4,308,093
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

須坂市の歴史的資料として重要な非現用公文書や古文書等を収集・保存し、市民の財産として後世に伝えるとともに公開して、文化の振興に資する。

II 事業の成果等

須坂市文書館所蔵文書等を一般の利用に供した。

また、閲覧等の申請に必要な各種文書目録の作成を行うとともに、個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化を進めることにより、資史料の散逸防止等が図れた。

所蔵文書等の展示紹介(もんじょ紹介)や関係団体への展示協力、情報発信により文書等に関する知識の普及・啓発に努めた。

これにより各区や個人が所有する古文書や地図、写真などの重要性に対する認識が深まり、よりよい資史料の保存が進んだほか、資史料を使った市民の学習の促進に資することができた。

III 事業の実績

1 文書館運営に係る体制づくり

例規に対する職員意識の平準化に向け、閲覧等許可に係る手順、利用制限の基準、文書目録の作成と考え方、文書等の寄贈及び寄託に関する要綱などの基本ルールの研修、検討を行い、運営体制の整備に努めた。

また、閲覧申請対応の効率化と閲覧等可能(公開)文書の特定による事務の定型化、閲覧等許可通知等の発行期間短縮のため、閲覧等許可検討会を定期的に開催し利用者サービスに努めた。

2 閲覧に係る目録の作成等

古文書等については、既存の「須坂市域の史料目録」をベースに、各種の閲覧申請用目録を整備作成した。

また、行政文書についても閲覧申請用目録を整備作成した。

(1) 古文書等の閲覧申請用目録

文書館資料目録、文書館複製文書目録

(2) 行政文書等の閲覧申請用目録

旧町村別行政文書目録、移管行政文書目録、文書館蔵書台帳目録等

(3) 蔵書点数(閲覧申請用目録点数 2019年度末)

蔵書の名称	点数等
移管文書(非現用公文書)	5,751点
所蔵文書(古文書)	19,314点
寄託文書(古文書)	6,280点
複製文書(古文書)	6,910点
蔵書図書	4,806点
合計	43,061点

3 閲覧コーナーと開架図書の充実等

一般利用者の閲覧場所とし設置した閲覧コーナーと、自由に閲覧できる開架図書の充実を図った。
開架図書 約 970 冊

4 文書館の利用状況

利用者 152 人
うち閲覧申請者 10 人
行政等関係機関利用 7 件
計 159 人 (件)

5 古文書等の情報収集と目録化

(1) 古文書等史料の目録化

市誌編さん事業から継続して、個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理、「須坂市域の史料目録」等の作成を進め、資史料の散逸防止等を図った。

名 称 等(須坂市域の史料目録)	点数等
山岸孝爾家文書(平成 30 年度からの継続)	902 点
旧丸田医院文書(平成 30 年度からの継続)	581 点
神尾經子家文書(追加分)	49 点
市川幸夫家文書(追加分)	11 点
亀倉町区有文書(追加分)	10 点
牧久雄家文書(追加分)	424 点
坂田近右衛門家文書(追加合冊)	76 点
南原町区有文書	361 点
丸山家文書	98 点
西貝佳雄家文書	27 点
金子修慈家文書	334 点
新町区有文書	23 点
坂本康之家文書(2 年度目録化継続中)	
山上茂明家文書(2 年度目録化継続中)	

(2) 移管行政文書収集と目録化

2019 年度移管行政文書 221 点・・・目録化

6 寄贈の受入

名 称 等	点数等
神尾經子家文書(追加分)	49 点
市川幸夫家文書	1,037 点
信州須坂町並みの会文書	(未整理)
田中駒治家文書	(未整理)

7 寄託の受入

名 称 等	点数等
亀倉町区有文書	953 点
南原町区有文書	361 点
西貝佳雄家文書	27 点
新町区有文書	23 点

8 関係機関との連携と普及・啓発事業

(1) 博物館・図書館・旧上高井郡役所・文書館連携事業「歴史文化講座(講演会)」

文書館及び生涯学習スポーツ課、市立博物館、市立須坂図書館、旧上高井郡役所と共催で「歴史文化講座」を 3 月 20 日に開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の予防対応により中止した。

(2) 関係団体への展示協力

- ア 旧小田切家住宅への展示協力
小田切幸一家文書から延べ 66 点を貸出
- イ 園里郷土資料館への展示協力
市川幸夫家文書から延べ 208 点を貸出

(3) 文書等の紹介展示

- 吉池一彦家文書 2019年2月1日～
「江戸時代の村の暮らし」
- 小田切幸一家文書 2019年2月1日～
「小田切家の山林」

(4) 刊行物の発行等

- ア 須坂市域の史料目録第 10 集の発行
2月 「仁礼会文書目録」
- イ もんじょ紹介の作成
4月 もんじょ紹介No.21 市川幸夫家文書
5月 もんじょ紹介No.22 小田切幸一家文書(追加分 I・II)
- ウ 文書館年報の作成
10月 平成 30 年度の文書館の概要・事業内容等

9 広報関係

文書館の事業紹介と、文書の散逸防止に向けて「広報すぎか」やホームページ等で広報を行なうとともに、関係機関、マスコミへの情報提供等を行った。

- (1) 「広報すぎか」10月号及び須坂市ホームページへの掲載
文書館の現況・展示紹介等
文書館年報のホームページ掲載
日本マネジメント協会 IM2020 3・4月号掲載記事のホームページ掲載
- (2) 国立公文書館 全国公文書館関係資料集への情報提供
- (3) 日本マネジメント協会への取材協力及び情報提供
IM2020 3・4月号掲載記事の取材及びお宝紹介の情報提供
- (4) マスコミによる情報発信
須坂新聞 7月 市川幸夫家文書の寄贈と文書の紹介
8月 文書館の一般利用開始から 10 か月・所蔵文書等の紹介

10 業務の委託

(1) 施設管理関係の委託

業務名	委託先	業務内容	金額 (円)
警備保障業務委託	新日本警備保障株	監視機械及び巡回による警備	307,380

11 機器の賃借状況

機器名	金額 (円)
フルカラーコピー機賃借	21,384

10-7-1(目)保健体育総務費

単位：円

当初 予算額	66,030,000	予算 現額	61,796,000	決算額	60,835,393	前年度 決算対比	96.2%	前年度 決算額	63,262,687
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 健康管理事業

単位：円

当初 予算額	25,376,000	予算 現額	23,870,000	決算額	23,427,492	前年度 決算対比	99.3%	前年度 決算額	23,581,743
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

児童・生徒・学校職員の健康管理の増進を図る。

II 事業の成果等

児童・生徒・学校職員の疾病の早期発見及び健康管理の増進が図られた。

III 事業の実績

1 定期健康診断の実施

学校保健安全法に基づき、内科、眼科、耳鼻科、歯科等の学校医による定期健康診断を行い、異常がある者には治療を促すとともに、経過観察、保健指導を行った。

内科健診時に結核健診を同時に行い、長野地区市町村教育委員会合同結核対策委員会を開催し、結核の早期発見とそれに基づく指導を行うことができた。

結核健診実施状況（小・中学生全員）

受診者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）	※ 以下の表において「要精検」とは、「要精密検査」のこと。
3,902	3	0	

2 各種検診の実施

(1) 尿検査実施状況（小・中学生全員）

区 分	受診者数 （人）	第1次陽性者			第2次陽性者		
		蛋白（人）	糖（人）	潜血（人）	蛋白（人）	糖（人）	潜血（人）
児 童	2,639	32	3	33	9	1	13
生 徒	1,286	51	4	38	13	1	13
学校職員	307	1	9	13	1	3	5
計	4,232	84	16	84	23	5	31

(2) 貧血検査（小学校5年生、中学生全員）

受検者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
1,707	26	7

(3) 心臓検診（小学校1・4年生、中学1年生）

受診者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
1,314	19	7

(4) 生活習慣病検査（小学5年生、中学2年生）

受検者数（人）	要精検者数（人）	うち要医療（人）
861	77	5

※検査項目：血糖、総コレステロール、中性脂肪等7項目

指導が必要な児童・生徒には、養護教諭が食事・運動・生活等の指導を行っている。

3 自動体外式除細動器（AED）の配備

小・中学校 15校にAED各1台を継続配備し、支援学校にAED1台を新規配備した
 機器賃借料 393,463円

4 インフルエンザ発生に伴う、閉鎖措置の状況（4月1日～3月31日）

	学校閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖
小学校	なし	2学年	21学級
中学校	なし	なし	5学級

5 心の健康チェック事業

市内 小・中・支援学校の県費教職員を対象にストレスチェックを実施

実施期間 第1回 7月22日～8月4日、第2回 11月18日～12月1日

実施者数

小学校	202人
中学校	102人
支援学校	23人

■ 学校保健事業

単位：円

当初 予算額	8,701,000	予算 現額	8,544,000	決算額	8,093,912	前年度 決算対比	101.4%	前年度 決算額	7,978,787
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

学校において、児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を行う。

II 事業の成果等

児童・生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施することができた。

III 事業の実績

1 プールの水質管理

学校保健安全法に基づく環境衛生検査として、プール水質検査を実施した。また、プール用消毒薬品を購入し、小・中学校のプールの水質管理に努めた。

プール水質検査（PH値、大腸菌等） 489,240円

消毒薬品購入（次亜塩素酸ソーダ等） 1,304,766円

2 災害共済の状況

児童・生徒の学校における事故等の災害に伴う負担の軽減を図るため、日本スポーツ振興センター災害共済に加入し、共済金の給付を行った。

(1) 共済掛金

一般世帯 @935円×3,433人＝ 3,209,855円

準要保護世帯 @935円×495人－（控除額）@230円×106人＝ 438,445円

要保護世帯 @55円×16人－（控除額）@10円×16人＝ 720円

前年度途中加入者 @945円×12人＝ 11,340円

信州大学附属長野特別支援学校通学生徒世帯 @460円×1人＝ 460円

信州大学附属長野小学校通学児童世帯 @460円×23人＝ 10,580円

信州大学附属長野中学校通学生徒世帯	@460円× 33人＝	15,180円
菅平小中学校通学児童・生徒世帯	@460円× 5人＝	2,300円
学校法人長野日本大学学園	@455円× 27人＝	12,285円
計	4,045人	3,701,165円
(2) 災害共済金給付件数と給付額	554件	3,067,307円

10-7-2(目) 体育施設費

単位：円

当初予算額	87,520,000	予算現額	81,705,000	決算額	76,970,189	前年度決算対比	55.8%	前年度決算額	137,885,383
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	-------------

■ 体育施設管理事業

単位：円

当初予算額	72,608,000	予算現額	69,189,000	決算額	64,455,039	前年度決算対比	109.3%	前年度決算額	58,987,383
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	--------	--------	------------

I 事業の目的

市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸出し及び施設の維持修繕・定期的な点検等を行い、施設使用により、社会体育の振興と健康・体力づくりの向上を図り、健康で豊かな生活を送れるように努める。

II 事業の成果等

体育施設の適正な貸出しと、施設の修繕や整備、備品・機器類の定期的な点検等により、安全・快適にスポーツができる環境が整えられた。また、これにより市民の体育振興と健康増進・体力づくりに対するニーズに応えられた。

III 事業の実績

1 体育施設使用状況及び使用料

施設名	①開館(場)日数	②使用日数	③使用率 ②/①(%)	使用者数	使用料 (円)	維持管理費 (円)
市民体育館	360	349	96.9	34,937	2,781,455	10,179,100
北部体育館	343	311	90.7	30,770	2,469,245	7,830,773
勤労青少年体育センター	360	292	81.1	7,926	808,255	2,279,507
卓球場	360	337	93.6	6,399	588,105	468,655
柔道場	360	270	75.0	4,791	80,040	481,791
剣道場	360	251	69.7	5,265	51,815	210,053
弓道場	363	358	98.6	6,023	190,275	352,008
臥竜公園庭球場	360	350	97.2	19,791	1,603,075	7,614,607
墨坂庭球場	—	92	—	3,751		120,788
県民須坂運動広場	—	112	—	10,739	166,880	1,166,771
北部運動広場	—	52	—	3,722	91,195	12,524
野球場	—	126	—	9,752	353,345	2,951,507
須坂小学校・常盤中学校 夜間照明	—	142	—	11,334	732,826	351,004
米持マレットゴルフ場	—	154	—	2,145	0	2,032,437
松川マレットゴルフ場	—	80	—	734	0	803,196
福島スポーツ広場(芝生広場)	—	50	—	5,630	66,870	8,838,155
〃 (クイ広場)	—	33	—	454	14,950	2,937
〃 (マレットゴルフ場)	—	123	—	1,580	0	1,425,081
百々川緑地マレットゴルフ場	—	238	—	10,244	0	95,057
マレットゴルフ用具使用料					27,000	
全施設に係る維持管理費 (消耗品費、燃料費、修繕料、手数料、委託料、借上料、原材料費)						2,376,906
合計	—	3,720	—	175,987	10,025,331	49,592,857

2 施設修繕

(1) 野球場内野修繕	1,265,000 円
(2) 福島スポーツ広場水道メーター修繕	480,600 円
(3) 臥竜公園庭球場コートライン押さえ修繕	359,524 円
(4) 県民須坂運動広場漏水修繕	348,408 円
(5) 北部体育館バスケットゴール修繕	291,600 円
(6) 臥竜公園庭球場砂入り人工芝コート定期整備	280,800 円
(7) 市民体育館床修繕	253,000 円
(8) 須坂小学校運動場照明施設修繕	217,800 円
(9) 市民体育館バレーボールコートライン修繕	209,000 円
(10) 弓道場の場照明修繕	182,412 円
(11) 柔道場照明修繕	157,486 円
(12) 県民須坂運動広場外グラウンド整備用トラクター修繕	148,500 円
(13) 市民体育館卓球台修繕	140,400 円
(14) その他修繕 50 件	1,488,882 円
計	5,823,412 円

3 委託関係

(1) 除雪関係

業務名	委託先	金額 (円)
社会体育施設駐車場除雪業務	藤沢電気工業(株)	89,733

(2) 福島スポーツ広場関係

業務名	委託先	金額 (円)
除草等業務	福島町区	100,000
管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	1,894,479
芝生広場 エアレーション作業業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	794,880
芝生広場 施肥及び除草剤散布業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	3,504,000
芝生広場 芝張替業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	1,950,000
マレットゴルフ場 倒木枝折れ処理業務	(株)あかね苑	285,120

(3) マレットゴルフ場関係

業務名	委託先	金額 (円)
米持マレットゴルフ場 赤松整枝剪定業務	(株)あかね苑	495,000
松川マレットゴルフ場 支障木伐採業務	(株)長原電設	489,500
松川マレットゴルフ場 樹木剪定業務委託	(株)長原電設	495,000
松川マレットゴルフ場 マツカレハ防除業務	(株)アグロ信州	49,680

(4) その他

業務名	委託先	金額 (円)
市民体育館・北部体育館・庭球場 管理業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	14,230,656
市民体育館・北部体育館・体育センター 清掃業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	1,337,141
北部運動広場・県民須坂運動広場 除草剤散布業務	(公社)須高広域シルバー人材センター	492,388
県民運動広場及び野球場 整備業務	野球協会	122,000
県民運動広場 折れ枝除去業務	(株)長原電設	54,000
勤労青少年体育センター 警備(火災監視)業務	新日本警備保障(株)	200,124
勤労青少年体育センター 枯れ赤松伐採業務	(株)長原電設	29,700
勤労青少年体育センター周辺 赤松剪定・枯損木伐採業務	(株)あかね苑	376,200
弓道場周辺 マツカレハ防除作業	(株)あかね苑	83,160
電気工作物保安管理業務	(一財)中部電気保安協会	346,152
柔道場・剣道場耐震診断業務委託	(株)宮本忠長建築設計事務所 須坂営業所	6,325,000

4 土地借上料

種別	面積(m ²)	借上料(円)	使用目的
雑種地・山林	7,964	1,448,010	米持マレットゴルフ場
原野・保安林	17,181	154,629	松川マレットゴルフ場
雑種地	59,414	800,000	福島スポーツ広場
宅地	2	264	福島スポーツ広場(飲料施設用地)
計	84,561	2,402,903	

5 機器賃借料

AED(自動体外式除細動器) 8台 282,344円
 (市民体育館、北部体育館、勤労青少年体育センター、卓球場、
 柔道場、臥竜公園庭球場、県民須坂運動広場、野球場)

6 備品購入状況

(1) 市民体育館 バレーボール審判台 1台 431,989円
 (2) 市民体育館 事務室エアコン 1台 143,424円
 計 575,413円

■ 体育施設整備事業

単位：円

当初 予算額	14,912,000	予算 現額	12,516,000	決算額	12,515,150	前年度 決算対比	15.9%	前年度 決算額	78,898,000
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

老朽化した体育施設の調査・測量設計及び施設整備を計画的に行う。

II 事業の成果等

老朽化した体育施設の改修を行うことにより、使用者の利便性向上と施設の長寿命化が図られた。

III 事業の実績

1 施設工事関係

(1) 改修工事[単独事業]

臥竜公園庭球場クレイコート改修工事(荒木田土補充及び天地返し) 4,104,000円

(2) 改修工事[緊急防災・減災事業]

体育施設トイレ改修工事(北部体育館トイレ洋式化) 1,393,150円

2 委託関係

(1) 測量設計業務委託[緊急防災・減災事業]

勤労青少年体育センター耐震補強工事設計業務委託 7,018,000円

10-7-3(目) 体育振興費

単位：円

当初 予算額	52,903,000	予算 現額	49,723,000	決算額	48,628,524	前年度 決算対比	95.2%	前年度 決算額	51,070,997
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	5,429,000	予算 現額	5,391,000	決算額	5,130,415	前年度 決算対比	162.6%	前年度 決算額	3,155,139
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

須坂市スポーツ推進委員は、市民に対してスポーツの実技指導や助言指導を行い、地域スポーツの振興や健康づくりのための重要な担い手であるため、資質の向上に努めるとともに、市主催のスポーツ大会や事業の企画・運営に参画する。

II 事業の成果等

長野県スポーツ推進委員協議会及び須高スポーツ推進委員協議会の研修会や、長野県体育センター及び北信教育事務所の研修会への出席を通じて資質の向上が図れた。

III 事業の実績

1 会議等

諸事業を企画、推進するため会議を開催したほか、市の体育大会等に参画した。

- (1) スポーツ推進委員会 6回 4月3日・4月20日・8月7日・10月8日・1月15日・2月6日
- (2) スポーツ推進委員役員会議 5回 4月20日・8月7日・10月8日・1月15日・2月6日
- (3) 体育担当者会議 1回 4月24日
- (4) 参画した体育大会等 ゲートボールフェスティバル&ニュースポーツ体験、壮年ソフトボール大会、女性ソフトバレーボール大会、町別卓球大会、信州須坂ハーフマラソン（令和元年東日本台風災害の影響により中止）

2 研修等

(1) 長野県体育センター

研修名	人数	開催日	実施場所
みんなで気軽にはじめるニュースポーツ	13	5月25日	長野県体育センター (スカイパーク体育館)
いざという時の応急手当・普通救命講習	3	6月20日	
スポーツパフォーマンス向上とスポーツ障害予防	4	8月3日	
ピラティスで体と心をエクササイズ!	9	8月24日	
スポーツへ応用できる古武術的な身体操作法	1	10月26日	長野県総合教育センター
体験!体感!メンタルトレーニング入門	2	11月26日	

(2) 長野県スポーツ推進委員協議会

研修名	人数	開催日	実施場所
長野県スポーツ推進委員女性研修会	9	6月15日	飯山市 (飯山市文化交流館なちゅら他)
長野県スポーツ推進委員研究協議会	14	11月9日	上田市(菅平高原アリーナ)

(3) 須高地区スポーツ推進委員協議会

研修名	人数	開催日	実施団体及び場所
須高地区スポーツ推進委員協議会研修会	14	1月26日	須高地区スポーツ推進委員協議会 (高山村公民館)

(4) 北信教育事務所

研修名	人数	開催日	実施団体及び場所
第2回わくわくスポーツセミナー	1	8月3日	北信教育事務所 (長野県障がい者福祉センター サンアップル)

3 備品購入状況

軽自動車(車両の更新) 1台 1,144,800円

■ 生涯スポーツ事業

単位:円

当初 予算額	34,791,000	予算 現額	31,649,000	決算額	30,854,191	前年度 決算対比	87.5%	前年度 決算額	35,261,858
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

スポーツ大会の開催や学校施設開放等により、市民のだれもがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図ることを目的とする。

II 事業の成果等

市民がスポーツを通じて楽しみながら親睦が図れる諸事業を主催、共催、委託したほか、小・中学校の体育施設の開放により、競技力の向上と生涯スポーツの振興が図れた。

第五次須坂市総合計画後期基本計画の目標値である「日頃からウォーキングや競技スポーツ、スポーツ観戦、大会ボランティアなどのスポーツ活動をしている人の割合65%」の達成をめざし、ニュースポーツ用具の貸し出しや、スポーツ指導者を派遣したほか、冬季スポーツ振興等のため、菅平高原スノーリゾートのリフト利用負担を行ったが、前年度に比べ利用者数等は減少傾向となった。

また、スポーツ競技の全国大会等への出場に激励金を交付することにより、スポーツ競技の振興が図れた。

III 事業の実績

1 スキー場リフト券負担

小中学生が家族と共にウィンタースポーツに親しむ機会の提供と、ウィンタースポーツ振興を図るため、峰の原高原スキー場のリフト券を負担していたが、今シーズンは営業をしないことから、菅平高原スノーリゾートの一日リフト券利用者に対し市が負担した。

種別	利用者数(人)	金額(円)	備考
大人(一部負担)	326	489,000	一人あたり1,500円
中学生(全額負担)	59	200,600	一人あたり3,400円
小学生(〃)	293	732,500	一人あたり2,500円
合計	678	1,422,100	

(前年度 789 1,415,000)

2 ニュースポーツの普及

(1) 地域別スポーツ教室

ニュースポーツの普及と体力の向上を図るため、地域からの要望に応じ随時スポーツ教室を開催する。
開催なし(要望した地域が無かったため)

(2) スポーツリーダーバンク

シニアクラブ、小学校からの要請に対して指導者を派遣した。

ニュースポーツ 2回 延4人

(3) 用具貸出

使用団体	使用件数	使用人数	貸出用具
市内の小・中学校、高等学校	6	166	囲碁ボール、スマイルボウリング、ドッジビー、ディスクッター9、スポーツガラッキー、シャッフルボード、ワンバウンドふらば〜るバレー等
市内各区の公民分館	11	583	
その他	24	1,124	
合計	41	1,873	

3 学校体育施設開放使用状況及び使用料

小・中学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で開放し、地域のスポーツ振興を図った。

学校名	体育館（下段は武道場）					運動場				
	開放 日数A	使用 日数B	使用率 B/A(%)	使用 回数	使用料 (円)	開放 日数A	使用 日数B	使用率 B/A(%)	使用 回数	使用料 (円)
須坂小	312	257	82.4	476	177,260	250	97	38.8	261	5,005
小山小	294	255	86.7	482	137,210					
森上小	328	277	84.5	417	81,940	273	24	8.8	38	5,235
日滝小	318	225	70.8	484	49,230	274	37	13.5	114	7,600
豊洲小	304	109	35.9	262	28,430	266	6	2.3	104	6,650
日野小	301	253	84.1	456	38,930	253	38	15.0	79	600
井上小	350	295	84.3	555	108,230	272	35	12.9	91	5,605
高甫小	305	218	71.5	336	70,990	274	2	0.7	23	400
旭ヶ丘小	304	171	56.3	306	34,940	268	30	11.2	129	12,215
仁礼小	323	200	61.9	346	48,570	275	10	3.6	11	2,000
豊丘小	317	117	36.9	189	41,710	273	7	2.6	15	1,400
常盤中	342	315	92.1	344	79,070	269	86	32.0	197	0
	342	101	29.5	129	69,720					
相森中	341	283	83.0	760	187,840	236	12	5.1	31	4,400
	341	281	82.4	333	12,820					
墨坂中	319	228	71.5	366	135,750	241	15	6.2	58	5,205
	239	93	38.9	179	35,130					
東 中	319	239	74.9	508	101,380	29	0	0.0	0	0
	323	216	66.9	247	119,910					
合計	6,022	4,133	68.6	7,175	1,321,480 237,580	3,453	399	11.6	1,151	56,315

延使用者数 101,820人、使用料合計 1,615,375円

(前年度 延使用者数 110,780人、使用料合計 1,041,160円)

4 主催した大会・行事

次の大会を開催し、各種スポーツの普及発展と、市民の明るい交流と健康増進・相互の親睦を図った。

大会・行事名	開催日	参加状況
ゲートボールフェスティバル&ニュースポーツ体験（新・体力運動能力調査）	5月19日	369人 ゲートボール 35チーム（新・体力運動能力調査 45人）
第48回壮年ソフトボール大会	8月18日	24チーム423人
第35回女性ソフトバレーボール大会	8月18日	21チーム281人
第50回須坂市町別卓球大会	2月16日	32チーム480人

5 キッズスポーツ教室開催委託

子ども向けスポーツ教室（アクティブ・キッズ・プログラム）を（一社）須坂市スポーツ協会に委託した。

(1) 教室開催委託料 1,460,000円

(2) 開催内容

教室名	開催日	回数	受講人数	延参加人数
バスケットボール	5月18日～7月27日	6	25	103
カンフー	5月7日～6月25日	8	9	71
ドッジボール	4月27日～8月24日	8	29	173
サッカー	4月21日～9月15日	8	21	121
バレーボール	5月19日～6月30日	4	24	77
ティーボール	5月18日～7月13日	4	10	27
陸上	5月11日～7月28日	4	31	96
たいそう	9月28日～12月7日	8	21	140
卓球	9月7日～11月16日	8	26	156
インドアソフトテニス	9月10日～11月19日	8	17	129
バドミントン	10月10日～12月12日	8	22	149
チアダンス	11月11日～12月2日	4	14	54
スキー	1月5日	1	34	32
特別講座（低学年）動ける体4 スタンス理論	2月22日	1	25	16
特別講座（高学年）動ける体4 スタンス理論	2月22日	1	13	12
計		81	321	1,356

6 備品購入状況

アルミバレーボール支柱

1組2本

174,960円

7 共催した大会・教室

次の大会・教室を共催し、競技力の向上とスポーツ振興を図った。

(1) (一社)須坂市スポーツ協会主催

大会名	開催日及び期間	参加状況
須坂市長杯春季高校野球大会	4月6、7日	3チーム 100人
須坂市長杯秋季高校野球大会	7月28日	8チーム 200人
第54回空手道須坂市長杯大会	4月14日	929人
第59回弓道須坂大会（一般の部）	4月14日	59人
第59回弓道須坂大会（高校の部）	8月24日	412人
豊丘そばウオーク	4月14日	24人
第42回壮年ナイターリーグ大会	5月11日～9月11日	28チーム 485人
第23回須坂市長杯争奪テニス大会兼 第46回須坂市民テニス大会	5月12日	46人
須坂市長杯争奪ゲートボール大会	6月5日	20チーム 140人
第65回須坂市長杯争奪ソフトテニス大会	7月7日	137組 274人
第50回須高陸上競技選手権大会	7月7日	350人
第43回須坂市民水泳大会	8月25日	145人
第65回須坂市民ソフトテニス大会	9月1日	140組 280人
第49回須坂市長旗争奪ソフトボール大会	9月1、8日	24チーム 470人
第51回須坂市民(区対抗)バスケットボール大会	9月8日	9チーム 112人
区対抗マレットゴルフ大会	9月8日	33チーム 132人
第13回竜の里須坂ダンススポーツ大会	9月16日	550人
第11回臥龍杯ジュニアサッカー大会(U12)	9月21日、22日	28チーム 420人
第23回須坂市長杯争奪軟式野球大会	9月22日	5チーム 100人
第52回須坂市長杯争奪バスケットボール大会	9月28日	10チーム 150人
須坂市9人制ソフトバレーボール大会	9月29日	3チーム 50人

大会名	開催日及び期間	参加状況
第12回須高小中学校クロスカントリー駅伝競走大会	9月29日	35チーム172人
第29回須坂市長杯争奪マレットゴルフ大会	10月5日	114人
第43回須坂市少年少女サッカーフェスティバル	10月6日	14チーム180人
第51回須坂市長杯争奪卓球大会	10月14日、3月15日	中止
第46回須坂市長杯争奪サッカー大会	10月27日	中止
第61回須坂市長杯争奪高校男女6人制バレーボール大会	10月27日	中止
第14回須坂市長杯争奪ママさんバレーボール秋季大会	10月27日	中止
第52回須坂市柔道大会	11月4日	154人
第13回須坂市長杯太極拳交流会	11月9日	65人
第3回北信ロードレース須高大会	11月10日	中止
第53回須坂市剣道大会	11月10日	中止
第48回須坂市少年軟式野球大会	11月11日	4チーム60人
第68回長野県縦断駅伝競走	11月16、17日	59人
須坂市民スキー教室	1月19日	28人
第27回須坂市長杯中学生バレーボール大会	2月1日	29チーム350人
第49回須坂インドアソフトテニス大会	2月2日	96人
第42回須坂市長杯争奪バドミントン大会	3月8日	中止

(2) (一社)須坂市スポーツ協会加盟団体主催・主管 43大会

(3) 信州須坂ハーフマラソン

第31回 信州須坂ハーフマラソン

10月20日(日) ※令和元年東日本台風災害のため中止

(スポーツ振興くじ助成金(見込み) 2,720,000円) ※令和2年度確定入金予定

8 スポーツ競技全国大会等出場激励金

出場者氏名・団体	大会名	激励金(円)
倉嶋 皇平	Nations Cup Volleyball mixed 4+2 2019(混合バレーボール)	10,000
倉嶋 美空	〃	10,000
保科 美結	全農杯2019年度全日本卓球選手権大会(ホープスの部)	3,000
藤澤 里帆	〃 (バンビの部)	3,000
須坂JTC	ロート製菓杯 第37回全国ホープス卓球大会	9,000
田中 広翔	J A 共済トーナメント日本リトルシニア第10回林和男旗杯国際野球大会兼東北連盟創立45周年記念全国選抜野球大会	3,000
田中 知輝	〃	3,000
青木 翔夢	〃	3,000
中村 奏哉	〃	3,000
矢野 咲良	第19回全日本中学生女子ソフトボール大会	3,000
松田 大和	第39回全日本バレーボール小学生大会	3,000
吉澤 藍	〃	3,000
大峽 碧	第19回全日本少年少女空手道選手権大会	3,000
佐藤 綾	第18回世界水泳選手権大会	10,000
青木 寛	2019年度 全日本卓球選手権大会(マスターズの部)	3,000
小出 小百合	〃	3,000
南澤 重子	〃	3,000
原山 八重美	〃	3,000
須坂卓翔会	第38回全日本クラブ卓球選手権大会	18,000
水野 早苗	第18回全日本エルデストソフトボール大会	3,000

出場者氏名・団体	大会名	激励金(円)
原山 恭子	第18回全日本エルデストソフトボール大会	3,000
尾田 智恵子	〃	3,000
鈴木 綾乃	日本スポーツマスターズ2019 岐阜清流大会	3,000
山岸 あかね	ワールドカップ2019(バレーボール)	10,000
坂田 和広	第32回全国ラージボール卓球大会	3,000
中島 拓哉	アルゼンチンオープン(コパタンゴ2019)	10,000
小川 莉央	第11回全国高等学校ダンスドリル大会冬季大会	3,000
須坂コルツ(フェアリー)	オールジャパンアリーディング&ダンスチャンピオンシップUSA ナショナルズ2020	50,000
須坂コルツ(スパーク)	オールジャパンアリーディング&ダンスチャンピオンシップUSA ナショナルズ2020	50,000
合 計		237,000

*須坂コルツについては、全国大会が中止となったため令和2年度に返金予定

9 地域スポーツ振興のための支援

(1) AC長野パルセイロ

須坂市をはじめ北信地域を中心に県内16市町村をホームタウンとするプロサッカーチーム「AC長野パルセイロ」の活動を支援した。(AC長野パルセイロホームタウン自治体連絡協議会)

8月11日(日)須坂市のPR活動を長野Uスタジアムで実施

(2) 長野ガロンズ

須坂市をホームタウンとするプロバレーボールチーム「長野ガロンズ」の活動を支援した。ホームゲーム開催場所の優先確保、サポーター会員募集の広報や試合等活動の広報協力、地域貢献活動(子どもたちへのバレーボール教室等)への協力・市報などでの活動紹介

■ 体育団体等助成事業

単位：円

当初予算額	12,683,000	予算現額	12,683,000	決算額	12,643,918	前年度決算対比	99.9%	前年度決算額	12,654,000
-------	------------	------	------------	-----	------------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

体育団体の活動に対し助成し、社会体育の振興を図る。

II 事業の成果等

体育団体の活動を支援したほか、駅伝大会への参加を通じて、競技力の向上と市民の体力向上が図れた。

III 事業の実績

- (一社)スポーツ協会に補助し、加盟競技団体の育成や大会の開催、競技者の養成を図った。
補助金 6,254,918円
- 競技団体への行政連絡業務・市民の体力向上及び競技者の競技力向上等、スポーツ振興に関する業務等について(一社)スポーツ協会へ委託した。
委託料 6,039,000円
- 第29回長野県市町村対抗駅伝競走大会及び第15回市町村対抗小学生駅伝競走大会へ須坂陸上競技協会と協力して選手を派遣した。
市町村対抗駅伝 49チーム中10位 市町村対抗小学生駅伝競走大会 60チーム中14位
負担金 150,000円
- 第68回長野県縦断駅伝競走大会へ須高地区の教育委員会、(一社)スポーツ協会と協力して「須坂上高井チーム」として選手を派遣した。15チーム中8位
負担金 200,000円

10-7-4(目)学校給食費

単位：円

当初 予算額	500,094,000	予算 現額	489,334,000	決算額	441,601,309	前年度 決算対比	86.7%	前年度 決算額	509,464,345
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 学校給食センター管理事業

単位：円

当初 予算額	441,866,000	予算 現額	441,328,000	決算額	408,467,278	前年度 決算対比	99.1%	前年度 決算額	412,285,021
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

I 事業の目的

安全でおいしく、できるだけ手作りで、真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。

II 事業の成果等

「須坂市学校給食センター食育活動」の計画を策定し、学校と連携して児童生徒の食育指導を計画的に進めることができた。今年度は、国の委託を受け仁礼小学校、東中学校をモデル校に食育推進事業を実施した。

また、地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や伝統文化などを考える機会を提供することができた。給食を提供するために必要な修繕を行い、安全な給食を提供することができた。

III 事業の実績

学校給食摂取基準にもとづいた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や、体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を身に付けることを目標として、学校給食を実施した。

1 学校給食の実施状況

小学校・支援学校(小・中学部)2,659人、中学校1,282人、教職員等417人、合計4,358人(令和元年5月1日現在)の給食を実施した。

(1) 学校別給食日数

小学校名	給食日数	中学校名	給食日数	支援学校	給食日数		
須坂小学校	190	常盤中学校	188	須坂支援学校	189		
小山小学校	190	相森中学校	189				
森上小学校	189	墨坂中学校	185				
日滝小学校	191	東中学校	184				
豊洲小学校	190						
日野小学校	189						
井上小学校	190						
高甫小学校	188						
旭ヶ丘小学校	191						
仁礼小学校	191						
豊丘小学校	189						
平均	189.8	平均	186.5				

(給食センター給食実施日数 197日)

(2) 延べ給食数

単位：食

小学校	中学校	試食	センター	合計
540,842	252,846	217	8,707	802,612

※須坂支援学校は小学校の給食数に含む。

(3) 配送車(7台所有)稼働台数 1日6台 延べ1,159台

2 会議開催状況

- (1) 須坂市学校給食センター運営委員会 1回 委員12人
納入業者や給食費の見直しなど、学校給食センターの運営に関して必要な事項を調査、審議をした。
- (2) 献立作成委員会 11回 委員17人
学校給食の献立内容等について検討した。
- (3) 衛生管理研究会 1回
講師：(元)文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課学校給食調査官 田中延子先生
- (4) 食物アレルギー講演会(須高学校保健会総会) 1回
講師：昭和大学医学部教授 今井孝成先生
- (5) 学校現場食物アレルギー対応マニュアル研究会 1回
食物アレルギー対応マニュアルの修正

3 食育・啓発事業

学校や家庭、地域との連携を深め、楽しく豊かで魅力ある学校給食を推進しながら、食に関心を持ちバランスよく食べることのできる児童生徒の育成のため、「須坂市学校給食センター食育活動」の計画に基づく事業を行った。また、国のモデル事業「つながる食育推進事業」を実施した。

(1) つながる食育推進事業

- 5月31日 県教委との委託契約締結：事業期間 6月1日～令和2年2月14日
指定校(仁礼小学校・東中学校)で食育事業を実践
- 6月12日 つながる食育推進委員会
- 7月5日 食育講演会 参加者600人
講師：東北大学加齢医学研究所 川島隆太氏
- 7月12・16日 東中学校データ測定
- 8月27日 長野県立大学との委託契約締結
ワーキンググループ会議 4回
- 11月22日 東中学校3年1組特別活動公開授業
- 12月5日 仁礼小学校6年生家庭科公開授業
- 2月4日 つながる食育推進委員会

(2) 学校との連携づくり

- ア 学校保健委員会・講演会 1校1回
- イ 学校からの依頼で全校、学年集会時等 1回
- ウ 教室訪問(指導+給食) 10校82回
- エ 中学食育学年集会 4校7回
- オ 授業(+給食) 12校51回
- カ 授業+親子給食講話 7校11回
- キ 親子給食講話(リーフレット配付のみも含む) 9校9回
- ク 施設見学受入れ 9回
- ケ 中学生職場体験受入れ 3校9日18人
- コ 学校給食センターだより発行 4月～3月 毎日
- サ 希望献立実施 8回

月	学校名	月	学校名
6	須坂小学校	11	旭ヶ丘小学校
7	須坂支援学校	12	仁礼小学校
9	小山小学校	1	東中学校
10	墨坂中学校	2	豊丘小学校

シ 行事献立実施 24回

月	献立名	月	献立名
4	入学進級お祝い、お花見	10	ハロウィン、目の愛護デー、十三夜
5	子どもの日、新年号記念	11	和食の日
6	むし歯予防、入梅、食育の日、 応援（中学校のみ）	12	冬至、クリスマス、お年取り
7	七夕、土用の丑	1	新春、大寒、給食記念日
9	十五夜、がんばれ	2	節分、応援

ス ゆっくりしっかり噛んで食べる「かみかみすざかつ子の日」（毎月）

セ 県産食材を使用した「地域食材の日」（9～11月 毎月1回実施）

「地域食材週間」（中学校6月・11月）

(3) 家庭との連携づくり

ア 献立表配布 毎月各家庭へ配布

イ 市ホームページに掲載するとともに、ケーブルテレビで翌日の献立を放映

(4) 地域との連携づくり

ア 地域食材の活用（通年）

イ 郷土食の実施

4 食物アレルギーを有する児童生徒への対応

(1) 希望する児童生徒の保護者に対して、使用食材がわかる献立表と材料表を毎月事前に学校を通して配布するとともに、学校と連携し対応を図った。

(2) 令和2年2学期からのアレルギー対応食の提供に向け、提供希望者の保護者と学校と学校給食センター職員とで面談を実施。

5 地産地消の推進

(1) 良質で安全・安心な地元農産物を学校給食に取り入れた。

単位：kg

区分 種別	全体購入量(%)	県外産(%) (%・前年度比較)	県内産(%)	
			(%・前年度比較)	うち市内産(%)
野菜類	111,108.60(100)	70,780.60(63.7) (1.5)	40,328.00(36.3) (△1.5)	11,797.80(10.6) (△3.6)
果物類	6,916.50(100)	4,016.00(58.1) (8.2)	2,900.50(41.9) (△8.2)	2,709.50(39.2) (5.2)
合計	118,025.10(100)	74,796.60(63.4) (1.8)	43,228.50(36.6) (△1.8)	14,507.30(12.3) (△2.8)

品目	購入量(kg)
米(風さやか) 須坂産	36,468

(税抜き) 単位：円

区分 種別	全体購入額(%)	県外産(%) (%・前年度比較)	県内産(%)	
			(%・前年度比較)	うち市内産(%)
野菜類	21,506,625(100)	12,001,420(55.8) (△0.1)	9,505,205(44.2) (0.1)	4,032,768(18.8) (2.0)
果物類	4,340,080(100)	2,428,800(56.0) (7.6)	1,911,280(44.0) (△7.6)	1,816,310(41.8) (5.8)
合計	25,846,705(100)	14,430,220(55.8) (0.8)	11,416,485(44.2) (△0.8)	5,849,078(22.6) (3.5)

学校給食における県内産農産物利用率（全県・食品数ベース）

単位：％

区 分	前年度	当該年度
須 坂 市	74.2	77.9
県 平 均	46.8	45.8
目標値（長野県食育推進計画）	46.0	46.5

(2) 学校給食における地産地消の打ち合わせ会議

ながの農協職員、市農林課職員、学校給食センター職員で地産地消の推進に関する打ち合わせを行った。

6 学校給食費の納入状況

単位：円

区 分	調 定 額	収 入 済 額	還付未済額	収入未済額	収 納 率 (%)
現年度分	242,405,816	242,290,996	0	114,820	99.9
過年度分	371,387	271,877	0	99,510	73.2
計	242,777,203	242,562,873	0	214,330	99.9

7 施設等の修繕状況（10万円以上）

(1) 調理場壁天井塗装修繕	178,200 円
(2) 調理場天井修理足場設置	251,640 円
(3) 洗浄機・オートミックス等蒸気漏れ修繕	110,160 円
(4) マイコンスライサー（押え）修繕	369,360 円
(5) オートミックス（蓋スプリング）修繕	140,400 円
(6) オートミックス（減速機）修繕	132,000 円
(7) 警備用機器設置工事	220,000 円

8 委託業務の状況

(1) 調理業務等委託	㈱東洋食品	102,351,000 円
(2) 給食配送業務委託	長野タクシー(株)	11,497,320 円
(3) 施設警備委託	新日本警備保障(株)	431,640 円
(4) 汚泥処理業務委託	㈱環境クリエイション	1,835,064 円
(5) 生ごみ処理委託	ながの農協	82,495 円
	高山村	337,712 円

9 備品の購入状況

品 名	数 量 (台)	金 額 (円)
カラープリンター	1	294,800

■ 学校給食センター施設整備事業

単位：円

当 初 予算額	39,575,000	予算 現額	29,357,000	決算額	14,519,242	前年度 決算対比	18.4%	前年度 決算額	78,909,780
------------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業目的

安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。

II 事業の成果等

学校給食センターは昭和51年建設の施設であり、現在の衛生基準に則した新しいセンターの建設にあたり、PFI手法での整備事業を進めた。また新たに開始するアレルギー対応食の提供等の先進地への視察、関連事業として周辺市道の舗装・隣接水路改修等の工事を行った。

Ⅲ 事業の実績

1 新学校給食センター建設

(1) 先進地視察	長野市第2学校給食センター	5月20日 (アレルギー対応)
	松本市西部学校給食センター	5月31日 (")
	松本市東部学校給食センター	6月26日 (")
	金沢市東部共同調理場	8月30日 (建設関連)

(2) 関連する業務委託・工事

(新) 学校給食センター隣接水路改修工事設計業務委託 498,960円

工期：5月13日～8月31日

市単独事業 (新) 学校給食センター隣接水路改修工事 6,072,000円

工期：12月27日～令和2年11月30日

市単独事業 (新) 学校給食センター隣接舗装工事 9,944,000円

工期：令和2年2月26日～5月29日

(上記の市単独事業 16,016,000円のうち9,996,000円はR2年度へ繰越明許)

2 新学校給食センターPFI事業

(1) 委託関係

(新) 須坂市学校給食センター整備運営事業に係るPFIモニタリング業務委託

業務期間：H30年10月1日～R2年8月31日 (契約額 28,728,000円)

(2) 事業の説明会等

6月13日 学校給食センター建設工事地元説明会

6月27日 学校給食センター建設工事安全祈願祭

(3) 会議の開催状況

ア (新) 須坂市学校給食センター整備運営事業に係るPFIモニタリング業務 打合せ会議 9回実施

(業務期間内19回実施)

イ (新) 須坂市学校給食センター整備運営事業

設計協議会 4回

建設工事総合定例会 8回

開業準備協議会 6回

3 小中学校コンテナ室等整備工事状況

(1) 須坂小学校コンテナ室改修 (壁・床・天井)	1,285,200円
(2) 旭ヶ丘小学校コンテナ室改修 (扉・棚撤去)	1,058,400円
(3) 豊洲小学校コンテナ室改修 (手洗い・扉撤去)	248,400円
(4) 墨坂中学校コンテナ室改修 (棚撤去)	280,800円
(5) 小山小学校コンテナ室改修 (棚撤去)	280,800円
(6) 相森中学校コンテナ室改修 (棚撤去)	394,200円
(7) 常盤中学校コンテナ室改修 (棚・手洗い撤去)	360,720円
(8) 井上小学校コンテナ室改修 (棚撤去)	189,540円
(9) 相森中学校コンテナ室壁塗装修繕	226,800円
(10) 墨坂中学校コンテナ室プラットホーム床塗装	242,000円
(11) 日滝小学校コンテナ室床長尺シート修繕	181,962円
(12) 仁礼小学校コンテナ室改修 (壁)	165,550円
(13) 豊洲小学校コンテナ室建具改修	203,500円

4 備品の購入状況

品名	数量 (台)	金額 (円)
常盤中学校コンテナ室棚	2	193,320
小山小学校コンテナ室棚 (主食用)	3	276,480
相森中学校コンテナ室棚	2	193,320
小山小学校コンテナ室棚 (牛乳用)	1	111,240

10-8-1(目)人権同和教育総務費

単位：円

当初 予算額	11,406,000	予算 現額	11,338,000	決算額	11,160,411	前年度 決算対比	99.6%	前年度 決算額	11,208,135
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

■ 一般管理事務費

単位：円

当初 予算額	3,367,000	予算 現額	3,369,000	決算額	3,252,646	前年度 決算対比	101.0%	前年度 決算額	3,220,110
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

人権問題の解決のために、学校人権教育と社会人権教育との連携を図り、市民が自主的に学習できるような環境を整える。

II 事業の成果等

須坂市人権政策推進基本方針及び須坂市人権教育推進計画に基づき事業を進め、学習会・研修会等へ指導員を派遣し、さまざまな人権問題の解決に向けて人権教育の推進が図られた。

III 事業の実績

町別人権問題学習会(68町)、学校・団体・市職員の研修会(25回)に指導員を派遣し助言・指導を行った。

10-8-2(目)学校人権同和教育費

単位：円

当初 予算額	1,775,000	予算 現額	1,771,000	決算額	1,736,930	前年度 決算対比	93.7%	前年度 決算額	1,854,492
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 学校人権教育推進事業

単位：円

当初 予算額	1,775,000	予算 現額	1,771,000	決算額	1,736,930	前年度 決算対比	93.7%	前年度 決算額	1,854,492
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

部落差別をはじめあらゆる差別や偏見を具体的に取り上げ、正しく理解するとともに、差別意識の解消に向け日々実践できる力を育成するため、各小・中・須坂支援学校の計画に基づいて、児童・生徒と教職員が積極的に人権教育に関わり、学校間や地域社会と連携して推進する。

II 事業の成果等

各学校では、平成22年度に須坂市が作成した「人権同和教育指導計画(改訂版)」や長野県同和教育推進協議会編集の副読本「あけぼの」を活用して、カリキュラムを作成し指導している。また、新任教職員人権教育研修会等を開催し、学校人権教育の充実と指導力の向上を図ることができた。学校人権主任会では、同和問題の進め方や課題について共通理解をはかり、指導力の向上を図った。

学校・PTA人権教育推進校の2校において、学校とPTAが連携した人権教育の取り組みを「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」等で発表し、学校人権教育の理解を深めることができた。

Ⅲ 事業の実績

1 学校人権教育教材の購入(あけぼの)

学校では、「あけぼの」を活用し人権教育の推進を図っている。そのため、「あけぼの」を補充配布した。
小学生低学年用 12冊 小学生中学年用 12冊 小学生高学年用 11冊 小学生指導手引 3冊
中学生指導手引 5冊

2 学校・PTA人権教育推進校の指定

東中学校は「他者とのかかわりから自分や相手のよさを認め合おう」をテーマに、日野小学校は「自他共に大切にし、共に生きる心を育てる人権教育」をテーマに、それぞれ、学校・PTAの人権教育の取り組みを実践し人権意識を高め、「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」及び「人権を考える市民のつどい」において実践発表をした。

3 教職員人権教育研修

人権教育主任会	5月 7日	21人	人権交流センター
	10月 7日	21人	人権交流センター
小・中・須坂支援学校長との懇談会	6月 17日	21人	人権交流センター
新任教職員人権教育研修会	8月 1日	33人	人権交流センター
研修Ⅰ	須坂市人権教育の推進について～地域ぐるみの人権教育に向けて～		
研修Ⅱ	講演「差別解消に向けた新3法について」 講師 人権交流センター指導員 畠山信重		
研修Ⅲ	DVD「コール&レスポンス-ハラスメント」視聴と意見交換 講師 人権交流センター指導員 丸山和男		

4 学校人権教育活動費交付金及び中学校ブロック人権教育研修費交付金

学校人権教育の均衡ある発展と内容の充実を図るため、小・中・須坂支援学校に交付金を交付した。

(1) 学校人権教育活動費交付金一覧表

	教員数 (人)	平均割 (円)	教職員数割 (円)	地区校 (円)	推進校 (円)	合計 (円)
須坂小学校	19	65,000	10,000			75,000
小山小学校	20	65,000	10,600			75,600
森上小学校	21	65,000	11,100			76,100
日滝小学校	20	65,000	10,600	10,000		85,600
豊洲小学校	12	65,000	6,300			71,300
日野小学校	21	65,000	11,100		30,000	106,100
井上小学校	19	65,000	10,000	10,000		85,000
高甫小学校	12	65,000	6,300			71,300
旭ヶ丘小学校	15	65,000	8,000			73,000
仁礼小学校	14	65,000	7,400			72,400
豊丘小学校	11	65,000	5,800			70,800
常盤中学校	22	65,000	11,600	10,000		86,600
相森中学校	24	65,000	12,700			77,700

	教員数 (人)	平均割 (円)	教職員数割 (円)	地区校 (円)	推進校 (円)	合計 (円)
墨坂中学校	32	65,000	16,900	10,000		91,900
東中学校	19	65,000	10,000		30,000	105,000
須坂支援学校	22	65,000	11,600			76,600
合計	303	1,040,000	160,000	40,000	60,000	1,300,000

(2) 中学校ブロック人権教育研修費交付金

4中学校 1校 交付金額 50,000円 計 200,000円

5 人権教育啓発標語・ポスター

(1) 標語・ポスターの募集

<小中学生> 応募数 標語 92点 ポスター 50点

<高校・一般> 応募数 標語 89点

(2) 人権教育啓発資料の作成

須坂市人権のまちづくり推進会議及び須坂市企業人権教育推進会議と合同で、標語・ポスターの最優秀作品で人権教育啓発標語・ポスターを作成し、学校や区、企業等に配布し啓発を図った。

(3) 学校巡回

市内小・中・須坂支援学校児童生徒の作成による人権教育啓発標語・ポスターの巡回展示を通して、人権教育への関心を高め、人権感覚を磨き、差別をなくすことを図った。

10-8-3(目) 社会人権同和教育費

単位：円

当初 予算額	2,576,000	予算 現額	2,559,000	決算額	2,480,905	前年度 決算対比	97.2%	前年度 決算額	2,553,099
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 人権教育推進事業

単位：円

当初 予算額	2,111,000	予算 現額	2,105,000	決算額	2,072,763	前年度 決算対比	97.8%	前年度 決算額	2,119,213
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市民一人ひとりが人権問題を共通の課題として理解し、すべての家庭、地域、職場において、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす必要性を、社会生活や歴史・文化等に関連して学び、あらゆる差別を許さない意識の高揚を図る。

II 事業の成果等

町別人権問題学習会への支援、人権を考える市民のつどい等の開催、ポスター・標語の募集など、さまざまな機会をとらえて学習し啓発することにより、家庭、地域、職場において人権教育を推進することができた。

III 事業の実績

1 人権教育推進員の活動

(1) 町別人権問題学習会

学習会推進協力者として町別人権問題学習会の開催を支援した。

(2) 人権教育連絡会議及び人権教育推進員連絡会議

人権教育推進員 17 人、人権同和教育課、人権交流センター、中央公民館、地域公民館等が連携し、各町の人権問題学習会等の開催を支援するため、連絡会議を開催した。

人権教育連絡会議及び人権教育推進員連絡会議 4月10日、2月25日開催

(3) 人権教育研修

【須坂市】人権教育リーダー研修会 4月18日 参加者 17人

内容 須坂市人権教育の推進について
町別人権問題学習会の開催に向けて
講演「今、知っておきたい人権課題」

【長野県】人権教育実践力スキルアップ講座① 6月7日 参加者 8人

内容 講演 「同和問題から学ぶ-かわり、理解し続けようとする事」
講座1 基礎講座「見直されてきた部落史」
講座2 応用講座「わたしからはじまる人権・同和教育」

北信地区人権教育研修会 7月9日 参加者 7人

内容 分科会 第1「学校における人権同和教育の取組」
第2「企業におけるダイバーシティの取組」
第3「女性の人権の取組」
第4「外国人の人権の取組」
第5「ワークショップ『語り合い気づこう人権』」
講演「みんな違ってみんないい～性の多様性を考える～」

人権教育リーダー研修会 8月29日 参加者 8人

内容 講演「女性の人権を考える～女性に対する暴力のない社会をめざして～」
分科会 第1「同和教育が目ざしてきたもの 人権教育が目ざすもの」
第2「共生社会の実現にむけて～高水福祉会の取り組みから～」
第3「『拉致問題』解決のために私たちができること」
第4「参加体験型学習（ワークショップ）」

人権教育実践力スキルアップ講座② 10月8日 参加者 9人

内容 同和問題に関する現地学習 ①須坂市本郷町の歴史概要（部落差別）について
②フィールドワーク（満龍寺～本郷解放子ども会）

第56回長野県部落解放研究集会 12月25日 参加者 4人

内容 講演「差別のない社会システムを創造するために
～『部落差別解消推進法』を踏まえ～」
実践報告「それはお母さんのこと～部落を伝える、あれから～」
講演「部落問題とは-近現代の歴史をふり振り返りながら-」

人権教育実践力スキルアップ講座③ 1月16日 参加者 7人

内容 講演「多文化共生の社会～外国人とコミュニケーションをとるために～」
実践発表と情報交換

ネットワーク整備会議 2月6日 参加者 7人

内容 講演「お年寄りはずよい人～守り守られる関係づくりのために～」

2 町別人権問題学習会

区、公民分館主催 69町中68町 延べ131回

人権同和教育課指導員、人権交流センター館長・指導員を助言者として派遣し、町別人権問題学習会の充実に努めた。

3 人権教育リーダー研修会

実施日	場所	内容	講師等	人数 (人)
4月18日	須坂市 文化会館 メセナホール 小ホール	・須坂市人権教育の推進について ・町別人権問題学習会の開催に向けて ・講演「今、知っておきたい人権課題」	人権同和教育課長 人権同和教育課係長 北信教育事務所生涯学習課 指導主事 小島豪氏	233

4 人権を考える市民のつどい

部落解放同盟須坂市協議会と共催し「第14回人権を考える市民のつどい」を開催した。

実施日及び場所 1月25日 須坂市文化会館メセナホール大ホール 参加者 520人

内容 学習発表「自他共に大切にし、共に生きる心を育てる人権教育」

日野小学校児童・PTAのみなさん

講演「人権回復は叶ったか - ふるさとに住む私たちは・・・」

講師 (特非)人権センターながの専任スタッフ 中本佳代子 氏

展示 市内小・中・須坂支援学校児童生徒の作成による人権教育啓発標語・ポスター、人権啓発パネル及び人権教育促進事業活動作品

5 人権教育強調月間の実施

(1) 期間 11月15日～12月14日

(2) 内容 啓発活動の実施

ア 小・中・須坂支援学校、中央公民館・各地域公民館に、人権教育強調月間の立て看板を掲出した。また、企業人権教育推進会議会員企業にのぼり旗を掲出した。

イ 第47回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会を開催

11月16日 須坂市文化会館メセナホール大ホール 参加者 500人

(ア) 人権教育啓発標語・ポスター最優秀作品の表彰

(イ) 学習発表「他者とのかかわりから自分や相手のよさを認め合おう」

東中学校生徒・PTAのみなさん

(ウ) 講演「忘れえぬ人たち～残留婦人との出会いから～」

講師 舞台女優 神田さちこ 氏

(エ) 展示 市内小・中・須坂支援学校児童生徒が作成した人権教育啓発標語・ポスター、人権啓発パネル及び人権教育促進事業活動作品

6 人権教育啓発資料の作成

(1) 人権教育啓発用DVD解説を作成し、学習会等に活用した。

(2) 須坂市人権のまちづくり推進会議及び須坂市企業人権教育推進会議と合同で、人権に関する法律制定の意義や実際の人権問題と今後に向けた課題について事業を紹介し、多くの市民や団体が互いに連携を図り人権尊重のまちづくりを目指すことの大切さ及び標語・ポスターの最優秀作品等を掲載した人権教育啓発資料を作成し、全戸配布し啓発及び周知を図った。

7 備品購入

町別人権問題学習会等で視聴し人権意識を高めるため、啓発用DVDを購入した。

「認知症と向き合う」 67,716円

8 須坂市人権のまちづくり推進会議の活動支援

部落差別をはじめあらゆる差別をなくすために行う活動に対し、負担金を交付した。また、事務局として理事会、総会、現地研修会(事前学習含む)、人権教育講座(3回)、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会の開催を支援し、人権のまちづくりの意識を高めることができた。

負担金 800,000円

9 須坂市企業人権教育推進会議の活動支援

会員企業の人権教育推進のために行う活動に対し、補助金を交付した。また、事務局として、理事会、総会、現地研修会(事前学習含む)、経営者研修会、指導者養成講座(2回)の開催を支援し、人権が尊重される職場づくりのための取り組みを進めることができた。

補助金 150,000円

■ 解放子ども会等推進事業

単位：円

当初 予算額	465,000	予算 現額	454,000	決算額	408,142	前年度 決算対比	94.1%	前年度 決算額	433,886
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	-------	------------	---------

I 事業の目的

対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と力の育成を図る。

II 事業の成果等

解放子ども会を開催、指導者を派遣し基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。

III 事業の実績

1 解放子ども会

開催場所		本郷学習センター	
児童・生徒数 (人)	小学生	1	
	中学生	1	
指導者		日滝小・常盤中学校教諭他	

		基礎学習	解放学習等	担当教員活動謝礼
指導回数 (回)	小学生	31	18	—
	中学生	31		
指導者謝金 (円)		186,000	54,000	80,000 (2人)

2 解放子ども会活動事業

解放子ども会保護者会が行う自主活動に対し、補助金を交付した。
補助金 48,000円

3 高校生等学級

高校生以上を対象に、解放子ども会の解放学習等の開催にあわせて学習を行い、さらに差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めた。
参加者 2人

10-8-4(目)公民館人権同和教育費

単位：円

当初 予算額	1,546,000	予算 現額	1,546,000	決算額	1,430,547	前年度 決算対比	94.4%	前年度 決算額	1,516,064
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

■ 公民館人権教育推進事業

単位：円

当初 予算額	1,546,000	予算 現額	1,546,000	決算額	1,430,547	前年度 決算対比	94.4%	前年度 決算額	1,516,064
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

地域住民一人ひとりが人権問題を共通の課題として理解し、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす意識の高揚を図る。

II 事業の成果等

市内68町で学習会を実施し、同和問題を初め、様々な人権問題についての学習を行い、延べ3,633人(内、初めて参加した者516人)が参加し、学習を深めることができた。

III 事業の実績

各町の分館に対して、町別人権問題学習会の年2回以上実施を依頼し、この活動を推進するため、交付金(68町1,320,000円)を交付した。

事業名	参加対象	開催回数(回)	参加人数(人)
町別人権問題学習会	各町区民	132	延3,633

款 11 公 債 費
款 12 予 備 費

(款11) 公債費

単位：円

当初 予算額	1,894,853,000	予算 現額	1,884,225,000	決算額	1,883,224,309	前年度 決算対比	95.1%	前年度 決算額	1,979,775,396
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

11-1-1(目)元金

単位：円

当初 予算額	1,805,324,000	予算 現額	1,806,730,000	決算額	1,806,729,766	前年度 決算対比	95.9%	前年度 決算額	1,884,047,803
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

11-1-2(目)利子

単位：円

当初 予算額	89,529,000	予算 現額	77,495,000	決算額	76,494,543	前年度 決算対比	79.9%	前年度 決算額	95,727,593
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

(款12) 予備費

単位：円

当初 予算額	20,000,000	予算 現額	1,842,869	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	-----------	-----	---	-------------	------	------------	---

12-1-1(目)予備費

単位：円

当初 予算額	20,000,000	予算 現額	1,842,869	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	------------	----------	-----------	-----	---	-------------	------	------------	---

I 事業の目的

予算編成のときには予期しなかった、予算外の支出に対応する。

II 事業の成果等

緊急を要する事案において、早期に対応することができた。

III 事業の実績

充当先(款)	事業名	予算科目(節)	充当額(円)
総務費	防災危機管理事業	需用費	654,500
総務費	市民支援事業	負担金補助及び交付金	2,000,000
民生費	一般管理事務費(高齢者対策費)	備品購入費	267,840
民生費	通常保育事業	備品購入費	4,620,000
民生費	児童クラブ運営事業	賃金外	750,311
衛生費	ごみ処理施設管理事業	委託料外	798,680
農林水産業費	農道・水路補修事業	工事請負費	2,754,000
農林水産業費	排水機場維持管理事業	工事請負費	1,045,000
土木費	臥竜公園管理事業	委託料	5,266,800
合 計			18,157,131

款 13 災 害 復 旧 費

(款 13) 災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	2,416,182,000	決算額	533,927,923	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	---------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

13-1-1 (目) 民生施設災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,773,000	決算額	1,674,975	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

■ 児童福祉施設災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,773,000	決算額	1,674,975	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風で床上浸水被害を受けた豊洲地域児童クラブの復旧

II 事業の成果等

必要な施設修繕・備品購入等を行い、豊洲地域児童クラブを復旧した。

III 事業の実績

1 施設修繕等の状況

コンセント修繕 17,512 円

2 備品購入状況（5万円以上）

冷蔵庫	283,250 円
F F式温風ヒーター	299,200 円
ロッカー	142,230 円
エアコン	547,800 円
渡り廊下防風シート	104,500 円

13-2-1 (目) 農業用施設災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	453,051,000	決算額	15,060,540	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

■ 農業用施設災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	385,100,000	決算額	5,291,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被害を受けた農業用施設等の復旧を行う。

II 事業の成果等

1 令和元年東日本台風により被災した農業用施設等の復旧工事を行った。

- 2 水没するなどして使用不能となった個人等が所有する農業用機械や農業施設に対し、国の補助制度を活用して復旧に要する費用の一部を補助した。

III 事業の実績

1 災害復旧設計委託

災害復旧事業に伴う災害査定及び実施設計書の作成を行った。

日滝原土地改良区第一揚水機場災害復旧工事査定・実施設計書作成業務委託 3,850,000 円
出来形設計業務委託 1,000,000 円 (2020 年度へ繰越)

2 災害復旧工事

(1) 農業用施設災害復旧事業

災害復旧事業 (国庫補助) を活用し、農業用施設災害復旧工事を行った。

日滝原土地改良区第一揚水機場災害復旧工事 141,614,000 円 (2020 年度へ繰越)

(2) 鳥獣被害防止電気柵修繕工事

鳥獣被害防止電気柵の災害復旧工事を行った。

豊丘上町電気柵修繕工事 1,441,000 円

3 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

被災した農業用機械、農業施設の復旧に対する補助

申請者数 63 件

交付決定額 137,000,000 円 (2020 年度へ繰越)

■ 農道・水路災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	8,546,000	決算額	770,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	---------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被災した農道・水路施設等の復旧を図る。

II 事業の成果等

12 月に国の災害査定を受け実施したが、工事については年度内の工期が短く完了が見込めないため、復旧工事を令和 2 年度に繰越し実施する。

III 事業の実績

1 復旧工事の実施状況

事業名		事業内容	事業費 (円)
委託	相之島団地東排水樋門災害関係設計書作成業務 (北相之島町)	災害関係設計書作成業務 一式 770,000 円	770,000
工事	令和元年東日本台風に伴う相之島団地東排水樋門応急工事	排水樋門災害復旧 一式 7,546,000 円 (株富士工機) (うち、R 2 年度への繰越明許 7,546,000 円)	0
合計			770,000

■ 排水機場災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	59,405,000	決算額	8,999,540	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被災した排水機場等の復旧を図る。

II 事業の成果等

12月に国の災害査定を受け実施したが、一部の工事については年度内の工期が短く完了が見込めないため、復旧工事を令和2年度に繰越し実施する。

III 事業の実績

1 復旧事業の実施状況

事業名		事業内容	事業費(円)
委 託	測量設計等委託	令和元年東日本台風に伴う相之島排水機場災害査定設計書業務委託外2件 災害査定設計書作成業務委託 一式 (長野県土地改良事業団体連合会)	3,245,000
	ごみ処理委託	令和元年東日本台風に伴う相之島排水機場ごみ処理委託外1件 相之島機場ごみ処理委託 一式 (株信東産業)	1,639,000
	排水作業委託	相之島排水機場排水補助業務委託 排水補助業務委託 一式 (株北條組須坂支店)	803,000
合 計			5,687,000

事業名		事業内容	事業費(円)
工 事	令和元年東日本台風に伴う相之島排水機場応急工事	排水機場機械災害復旧 一式 4,675,000円 (うち、R2年度への繰越し明許 4,675,000円)	0
	令和元年東日本台風に伴う相之島排水機場遊水池復旧工事	排水機場遊水池浚渫 一式 26,125,000円 (うち、R2年度への繰越し明許 26,125,000円)	0
	福島北排水機場堤外ゲート操作盤修繕工事	排水機場機械災害復旧 一式 154,000円	154,000
	福島排水機場遊水池浚渫工事	遊水池浚渫 一式 803,000円	803,000
	福島排水機場排水路浚渫工事	排水路浚渫 一式 693,000円	693,000
	相之島排水機場応急工事に伴う冷却水用揚水管修繕工事	修繕工事 一式 605,000円	605,000
合 計			2,255,000

13-2-2(目)農地災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,628,027,000	決算額	344,302,700	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	---------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

■ 農地災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	1,628,027,000	決算額	344,302,700	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	---------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被害を受けた農地の復旧を行う。

II 事業の成果等

- 1 農地に堆積した土砂や流入ゴミ等の堆積物の撤去及び、崩落した畦畔や法面の修復を行い、農地の復旧を行った。
- 2 農業者が自ら農地の復旧を行った場合に補助金を交付した。

III 事業の実績

1 災害復旧測量設計委託

災害復旧事業に伴う災害査定及び災害査定の計画変更を行うため、設計書の作成を行った。

査定設計書作成業務委託 5,423,000 円

実施設計書作成業務委託 10,557,000 円 (2020年度へ繰越)

2 排土等処理委託

災害復旧事業（国庫補助）を活用し、農地災害復旧事業を行った。

農地排土等業務委託 336,000,000 円（前払金）

1,083,029,000 円（2020年度へ繰越）

3 農地災害復旧工事（小災害復旧事業）

国庫補助の災害復旧事業に該当しない、崩落した畦畔や法面の修復といった小規模な農地災害復旧事業（1か所の工事の費用が13万円以上40万円未満）を行った。

8か所 2,420,000 円

4 農地災害復旧事業補助金

農業者が自ら農地の復旧を行った場合に、補助金を交付した。

12件 412,700 円

9,587,300 円（2020年度へ繰越）

5 農地復旧等に関する地元説明会

農地に堆積した土砂撤去等事業について説明を行った。

11月30日 福島町公会堂

12月3日 村山町公会堂

4日 中島町公会堂

6日 相之島町第一公会堂

10日 九反田町公会堂

6 災害ボランティア活動

J Aながのと共催で畑の清掃ボランティアを呼びかけ、千曲川河川敷内のりんご、桃畑等に流入した災害ゴミの撤去作業を実施した。

千曲川河川敷 12月15日 参加者数 約600人

13-2-3 (目) 林業施設災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	47,031,000	決算額	14,725,700	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

■ 林道災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	47,031,000	決算額	14,725,700	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被災した林道施設の復旧を図る。

II 事業の成果等

12月に国の災害査定を受け実施したが、工事については年度内の工期が短く完了が見込めないため、復旧工事を令和2年度に繰越し実施する。小規模災害箇所については実施済み。

III 事業の実績

1 復旧工事の実施状況

事業名		業者名	事業内容	事業費(円)
委託	林道米子不動線他3路線 測量設計(概要書用)業務委託(災害復旧)(亀倉外2町)	(一社)長野県林業コンサルタント協会	測量・設計業務一式	5,804,700
	地すべり対策事業 林道米子不動線地すべり調査業務委託(災害復旧)(亀倉町)	日本工営株式会社	地すべり調査業務1式	484,000
	地すべり対策事業 林道米子不動線地盤伸縮計測業務委託(災害復旧)(亀倉町)	日本工営株式会社	地盤伸縮計測業務1式	1,518,000
合計				7,806,700

事業名		事業内容	事業費(円)
工事	林道施設災害復旧事業 林道大谷不動線 災害復旧工事(仁礼町)	復旧延長 L=140m	0 (25,162,000 全額 R2年度へ繰越明許)
	林道施設災害復旧事業 林道タカオチバ線 災害復旧工事(仁礼町)	復旧延長 L=78m	0 (5,769,000 全額 R2年度へ繰越明許)
	林道花田線道路補修工事(災害復旧)(八町)	道路補修工 一式	3,267,000
	林道下八町線崩落土撤去工事(災害復旧) 外4件	崩落土砂撤去工	1,683,000
	林道うつくし線崩落道路補修工事(災害復旧) 外7件	崩落道路補修工 一式	1,969,000
合計			6,919,000

13-3-1(目)道路橋梁災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	262,683,000	決算額	149,589,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

■ 道路災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	262,683,000	決算額	149,589,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-------------	-----	-------------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被災した道路橋梁施設等の復旧を図る。

II 事業の成果等

12月及び1月に国の災害査定を受け実施したが、一部工事については年度内の工期が短く完了が見込めないため、復旧工事を令和2年度に繰越し実施する。

令和元年東日本台風による市道等の小規模な被災箇所について、早期に復旧した。

III 事業の実績

1 補助災害復旧事業の実施状況

事業名	事業箇所	事業内容	事業費(円)
市道中灰野線	豊丘上町	測量設計業務委託 一式 委託先 (株)東洋設計東京本社	2,167,000円 2,167,000
		復旧工事 L=30.0m	2,376,000円 2,376,000
市道内山周回線	豊丘町	測量設計業務委託 一式 委託先 (株)東洋設計東京本社	2,981,000円 2,981,000
		復旧工事 L=127.8m (うちR2年度への繰越し明許 4,254,900円)	4,837,900円 583,000
市道中田中灰野下原線	豊丘上町	測量設計業務委託 一式 委託先 (株)東洋設計東京本社	3,080,000円 3,080,000
		復旧工事 L=129.5m (全額R2年度への繰越し明許 5,844,400円)	5,844,400円 0
市道西原舟入線	仁礼町	測量設計業務委託 一式 委託先 (株)地域総合計画	3,355,000円 3,355,000
		復旧工事 L=74.6m (全額R2年度への繰越し明許 29,770,000円)	29,770,000円 0
市道南原上野地線	坂田町	測量設計業務委託 一式 委託先 (有)須高測量	2,156,000円 2,156,000
		復旧工事 L=135.0m (うちR2年度への繰越し明許 5,483,300円)	5,483,300円 0
市道園芸高校井上線 (米持橋)	米持町	測量設計業務委託 一式 委託先 (有)光コンサルタント	1,694,000円 1,694,000
		復旧工事 根固工 一式 (うちR2年度への繰越し明許 58,672,000円)	59,563,000円 891,000
委託費計			15,433,000
工事費計			3,850,000

2 単独災害復旧工事の実施状況

事業名	件数	事業か所	事業内容	事業費(円)
道路修繕工事	小規模工事等 27件	市内一円	路肩・土留め修繕等	86,551,300
側溝修繕工事	小規模工事等 1件	市内一円	側溝修繕等	330,000
水路修繕工事	小規模工事等 36件	市内一円	水路修繕等	27,366,900
舗装修繕工事	小規模工事等 10件	市内一円	舗装打換工事等	16,057,800
計	74件			130,306,000

13-3-2 (目)住宅施設災害復旧費

単位：円

当初予算額	0	予算現額	3,100,000	決算額	1,650,000	前年度決算対比	皆増	前年度決算額	0
-------	---	------	-----------	-----	-----------	---------	----	--------	---

■ 住宅防災対策施設災害復旧事業

単位：円

当初予算額	0	予算現額	3,100,000	決算額	1,650,000	前年度決算対比	皆増	前年度決算額	0
-------	---	------	-----------	-----	-----------	---------	----	--------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被災した住宅防災対策施設等の復旧を図る。

II 事業の成果等

令和元年東日本台風により被災した住宅防災対策施設を早期に復旧した。

III 事業の実績等

1 災害復旧事業の実施状況

事業名		事業箇所	事業内容	事業費(円)
工事	北相之島排水機場応急工事 (災害復旧)	北相之島町	機場エンジン災害復旧一式 1,650,000円	1,650,000

13-4-1 (目)公立学校施設災害復旧費

単位：円

当初予算額	0	予算現額	650,000	決算額	601,700	前年度決算対比	皆増	前年度決算額	0
-------	---	------	---------	-----	---------	---------	----	--------	---

■ 公立学校施設災害復旧事業

単位：円

当初予算額	0	予算現額	650,000	決算額	601,700	前年度決算対比	皆増	前年度決算額	0
-------	---	------	---------	-----	---------	---------	----	--------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風で浸水被害を受けた豊洲小学校グラウンド及び空調設備室外機の復旧

II 事業の成果等

必要な整備・修繕を行い、豊洲小学校グラウンド及び空調設備室外機の機能を復旧した。

III 事業の実績

1 施設修繕等の状況

空調設備室外機修繕 280,500 円

2 消耗品購入状況

グラウンド整備用山砂 321,200 円

13-4-2(目)社会教育施設災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	4,867,000	決算額	3,964,308	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

■ 社会教育施設災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	4,867,000	決算額	3,964,308	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	-----------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により豊洲地域公民館1階が床上浸水となり、地域公民館としての施設の機能を大きく損ねたため復旧を行う。

II 事業の成果等

浸水被害により損壊した建具やエアコン等の修繕・入れ替えなどを行い、各種団体が快適で安全な環境で学習や交流を深める場としての施設機能を復旧することができた。

III 事業の実績

1 施設等の修繕

業 務 名	委 託 先	業 務 内 容	工 期	金 額 (円)
豊洲地域公民館修繕 工事 (災害復旧)	(資)大栗工業	床下消毒 襖・建具修繕 畳・調理台入れ替え 女子トイレ便器交換	11月21日 ～ 1月22日	1,267,970

2 備品購入の状況

物 品 名	金 額 (円)
業務用掃除機	33,770
エアコン	2,508,000
木製パンフレット棚	71,500
計	2,613,270

3 消耗機材等の購入

料理実習室用ストーブ他 83,068 円

13-4-3(目) 体育施設災害復旧費

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	15,000,000	決算額	2,359,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

■ 体育施設災害復旧事業

単位：円

当初 予算額	0	予算 現額	15,000,000	決算額	2,359,000	前年度 決算対比	皆増	前年度 決算額	0
-----------	---	----------	------------	-----	-----------	-------------	----	------------	---

I 事業の目的

令和元年東日本台風により被災した福島スポーツ広場の復旧を図る。

II 事業の成果等

被災箇所の測量を行い、災害復旧工事に着手することができた。

III 事業の実績

1 施設工事関係

(1) 災害復旧工事[市単独事業]

福島スポーツ広場災害復旧工事（芝生広場・マレットゴルフ場・クレー広場） 1,380,000 円
 （全体事業費 14,000,000 円、うち翌年度への繰越事業費 12,620,000 円）

2 委託関係

(1) 測量設計業務委託[市単独事業]

福島スポーツ広場災害復旧測量業務委託 979,000 円

2 国民健康保険特別会計

2 国民健康保険特別会計

単位：円

当初 予算額	5,326,700,000	予算 現額	5,281,782,000	決算額	5,205,691,495	前年度 決算対比	99.2%	前年度 決算額	5,249,684,479
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	-------	------------	---------------

(款1)総務費

単位：円

当初 予算額	30,871,000	予算 現額	27,060,000	決算額	25,387,832	前年度 決算対比	90.5%	前年度 決算額	28,063,523
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

国民健康保険制度に関する事業全般の事務及び国民健康保険税の徴収事務を行う。

II 事業の成果等

資格や給付等の管理、国民健康保険税の賦課徴収、各種申請手続きや周知のための広報等を実施し、事業全般の事務を円滑に実施することができた。

III 事業の実績

1 一般管理事務費

(1) 委託料

国民健康保険資格・給付運用サポート	(株電算)	248,520円
国民健康保険資格アウトソーシング	(株電算)	1,654,620円
国保実績報告システム保守	(株電算)	217,782円
高齢受給者証封入封緘名寄せ業務委託	(株電算)	51,300円
旧被扶養者減免見直し対応システム改修	(株電算)	627,480円
国保総合システムPC設定業務	(株電算)	55,000円
マイナンバー情報連携に伴うシステム改修	(株電算)	282,700円
国保情報集約システム連携項目追加改修	(株電算)	101,200円
国保保険者事務電算共同処理事業手数料	(国保連合会)	2,058,840円
第三者行為損害賠償求償給付事務共同事業手数料	(国保連合会)	49,023円
国保情報集約システム運用手数料	(国保連合会)	1,753,825円
被保険者証兼高齢受給者証作成プログラム開発	(国保連合会)	30,000円
国民健康保険税計算業務等委託料	(株電算)	3,784,044円

2 国民健康保険税

(1) 課税状況(現年課税分)

区分	医療分(円)	支援金分(円)	介護分(円)	計(円)		
所得割額 ①	494,648,287	193,847,251	55,484,367	743,979,905		
資産割額 ②	0	0	0	0		
均等割額 ③	206,967,000	65,358,000	26,704,000	299,029,000		
平等割額 ④	121,234,250	38,284,500	19,621,000	179,139,750		
総課税額 ⑤ ⑤=①+②+③+④	822,849,537	297,489,751	101,809,367	1,222,148,655		
軽減額	均等割	7割軽減	30,629,900	9,672,600	4,261,600	44,564,100
		5割軽減	18,249,500	5,763,000	1,888,000	25,900,500
		2割軽減	5,696,200	1,798,800	624,000	8,119,000
	平等割	7割軽減	22,191,050	7,007,700	3,410,400	32,609,150
		5割軽減	9,274,375	2,928,750	1,372,000	13,575,125
		2割軽減	2,779,700	877,800	435,400	4,092,900
計 ⑥	88,820,725	28,048,650	11,991,400	128,860,775		

区 分	医療分 (円)	支援金分 (円)	介護分 (円)	計 (円)
限度超過額 ⑦	33,186,949	18,009,345	5,675,099	56,871,393
減 免 額 ⑧	5,705,100	1,978,100	628,900	8,312,100
月割増減額 ⑨	△ 8,223,686	△ 3,218,762	△ 510,639	△ 11,953,087
減額分 計 ⑩ ⑩=⑥+⑦+⑧-⑨	135,936,460	51,254,857	18,806,038	205,997,355
年税額 計 ⑪ ⑪=⑤-⑩	686,913,077	246,234,894	83,003,329	1,016,151,300
遡及課税分 ⑫	11,703,413	4,253,486	2,081,501	18,038,400
現年調定額 ⑬ ⑬=⑪+⑫	698,616,490	250,488,380	85,084,830	1,034,189,700

(2) 国民健康保険税の減免状況

申請減免 220件 8,859,700円
 条例減免 0件 0円 ※30年度より廃止

(3) 滞納処分執行停止状況

当該年度中		当該年度末 累計	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
2,521	21,870,002	3,990	50,674,535

(4) 不納欠損処分の状況

地方税法第15条の7		地方税法第18条		計	
件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
1,000	14,278,535	755	9,548,180	1,755	23,826,715

(5) 国民健康保険税の徴収状況

区分	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	還 付 未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)	前年度 収納率 (%)
現年分	1,034,189,700	988,921,105	100,300	100,600	45,268,895	95.62	94.90
滞繰分	202,930,261	61,425,047	23,726,415	0	117,778,799	30.27	28.06
計	1,237,119,961	1,050,346,152	23,826,715	100,600	163,047,694	84.90	82.79

(6) 短期被保険者証交付状況 193世帯 (3月末)

(7) 被保険者資格証明書交付状況 21世帯 (3月末)

3 国民健康保険の被保険者異動届出状況

増 減 内 訳	年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		269	1,331	27	34	0	230	1,891
年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
		217	1,085	17	66	592	223	2,200

4 国民健康保険運営協議会開催状況

(1) 第1回開催 8月21日 12人出席

ア 2018年度須坂市国民健康保険特別会計決算(案)について

イ 2019年度須坂市国民健康保険特別会計9月補正予算(案)について

ウ その他

(ア) 2018年度須坂市国民健康保険医療費の動向について

(イ) 特定健康診査・特定保健指導について

(ウ) 国民健康保険運営協議会委員等研修会について

- (2) 第2回開催 2月13日 10人出席
- ア 国民健康保険事業費納付金について
 - イ 2020年度須坂市国民健康保険特別会計当初予算(案)について
 - ウ 須坂市国民健康保険医療費等の動向について
 - エ 特定健康診査・特定保健指導実施報告等について
 - オ 2021年度国民健康保険の制度改正について
 - (ア) 応益割に係る旧被扶養者減免の減免期間の見直しについて
 - (イ) 賦課限度額及び低所得者に係る軽減判定所得の見直しについて
- (3) 委員研修
- ア 長野県と長野県国民健康保険団体連合会が主催する国民健康保険運営協議会委員研修会の参加
 - 時期 10月30日
 - 研修先 安曇野市 穂高公民館
 - 令和元年東日本台風の影響により中止

5 医療費適正化特別対策事業

- (1) レセプト点検の充実
- ア 長野県国民健康保険団体連合会へ業務委託 1,610,344円
 - 委託内容 レセプトの単月点検・縦覧点検・突合点検
 - レセプト点検件数 一般・退職 201,293件
 - イ (株)ニチイ学館へ業務委託 981,000円
 - 委託内容 入院レセプトを中心とした縦覧点検・突合点検
 - レセプト点検件数 一般・退職 5,362件
 - ウ 再審査状況

区分	再審査請求		決定金額 (円)	効果額 (円)
	件数	金額 (円)		
原審	292	24,465,943	24,465,943	0
査定	517	34,059,729	32,419,590	1,640,139
返戻	24	672,944	0	
計	833	59,198,616	56,885,533	

- (2) 紙レセプト検算 355件

(款2) 保険給付費

単位：円

当初 予算額	3,744,709,000	予算 現額	3,671,519,000	決算額	3,609,792,826	前年度 決算対比	100.5%	前年度 決算額	3,592,379,040
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

I 事業の目的

被保険者の疾病、負傷、出産、死亡等に関して国民健康保険の給付を行う。

II 事業の成果等

被保険者に対し国民健康保険の給付として療養の給付、療養費、高額療養費、葬祭費、出産育児一時金等を支給し、社会保障及び国民保健の向上に寄与することができた。

Ⅲ 事業の実績

1 国保加入状況

(1) 全被保険者

区 分		前年度末 現 在	当該年度 中 増 減	当該年度末 現 在	年間平均
世 帯 数		6,852	△99	6,753	6,823
被 保 険 者 数	総 数 A	11,217	△309	10,908	11,100
	退職被保険者等 B	38	△34	4	18
	一般被保険者 (A-B) C	11,179	△275	10,904	11,082
介 護 2 号 被 保 険 者 数		3,422	△75	3,347	3,418

(2) 退職被保険者分 (再掲)

区 分		前年度末 現 在	当該年度 中 増 減	当該年度末 現 在	年間平均
世 帯 数	単 独 世 帯	16	△ 15	1	8
	混 合 世 帯	21	△ 18	3	11
退 職 被 保 険 者 等 数	退 職 被 保 険 者	38	△ 34	4	18
	被 扶 養 者	0	0	0	0
	計	38	△ 34	4	18

(3) 未就学児被保険者、70歳以上被保険者分 (再掲)

当該年度末現在

区 分		未就学児被保険者	70歳以上 一般	70歳以上 現役並み所得者
一 般 被 保 険 者		264	2,858	198
退 職 被 保 険 者 等		0	0	0
	退 職 被 保 険 者	0	0	0
	被 扶 養 者	0	0	0
計		264	2,858	198

2 保険給付状況

(1) 一般被保険者分

ア 医療給付の状況

区 分		件 数	費 用 額 (円)	保険者負担分 (円)	一部負担金 (円)	他法負担分 (円)
療養の給付等		199,009	4,149,568,316	3,057,497,515	1,023,823,019	68,247,782
療 養 費 等	食事療養・生活療養	102		569,900	△569,900	0
	診 療 費	155	6,662,647	5,421,806	1,240,841	0
	補 装 具	96	2,852,400	2,132,943	719,457	0
	柔道整復師	5,298	41,352,291	30,373,800	10,974,723	3,768
	アロマ・マッサージ	226	5,424,060	4,032,297	1,391,763	0
	ハリ・キュウ	510	5,099,550	3,803,782	1,295,768	0
	そ の 他	4	54,570	△441,207	495,777	0
	小 計	6,289	61,445,518	45,323,421	16,118,329	3,768
移 送 費		0	0	0	0	0
計		205,400	4,211,013,834	3,103,390,836	1,039,371,448	68,251,550

イ 高額療養費の状況

区 分	世帯合算分		多数該当	長期疾病	入院分	その他	他法併用分	合計	
	多数該当	その他							
総 数	件 数	475	2,800	840	942	1,323	882	408	7,670
	高額療養費 (円)	9,608,867	24,330,512	84,245,387	59,030,176	181,990,269	33,703,884	44,233,934	437,143,029
(再掲) 前期高齢者	件 数	358	2,687	304	420	940	812	140	5,661
	高額療養費 (円)	6,139,205	21,331,792	39,070,080	23,055,861	125,020,588	28,097,150	5,593,964	248,308,640
(再掲) 70歳以上 一般	件 数	212	2,584	73	185	609	726	116	4,505
	高額療養費 (円)	2,421,956	18,396,800	12,228,606	10,896,752	67,900,752	22,063,559	4,305,684	138,214,109
(再掲) 70歳以上 現役並み 所得者	件 数	11	21	13	41	12	3	0	101
	高額療養費 (円)	99,375	569,920	1,823,640	1,842,914	2,754,885	402,194	0	7,492,928
(再掲) 未就学児	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0
	高額療養費 (円)	0	0	0	0	0	0	0	0

※長期高額疾病該当者数(年間平均) 37人

ウ その他保険給付の状況

区 分	出産育児一時金	葬 祭 費	計
件 数	39	58	97
給付額(円)	13,017,796	2,900,000	15,917,796

エ 療養の給付等内訳

区 分	件 数	日 数	費 用 額 (円)
診 療 費	入 院	2,812	44,449
	入 院 外	105,728	154,103
	歯 科	20,287	34,961
	小 計	128,827	233,513
調 剤	70,016	(81,703) 枚	802,514,550
食事療養・生活療養	(2,724)	(119,033) 回	78,567,988
訪 問 看 護	166	1,007	10,854,600
合 計	199,009	234,520	4,149,568,316

注：()は合計に含めない。

オ 高額介護合算療養費の状況

件数	給付額(円)
18	406,051

(2) 退職被保険者分

ア 医療給付の状況

区 分		件 数	費 用 額 (円)	保険者負担分 (円)	一部負担金 (円)	他法負担分 (円)	
療養の給付等		443	8,255,210	5,729,358	2,160,210	365,642	
療 養 費 等	食事療養・生活療養	1		500	△500	0	
	療 養 費	診 療 費	0	0	0	0	0
		補装具	0	0	0	0	0
		柔道整復師	22	108,590	76,013	32,577	0
		アム・マッサージ	0	0	0	0	0
		ハ・キョウ	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	小 計	22	108,590	76,013	32,577	0	
移 送 費	0	0	0	0	0		
計		466	8,363,800	5,805,871	2,192,287	365,642	

イ 高額療養費の状況

区 分	世帯合算分		多数該当	長期疾病	入院分	その他	他法 併用分	合計
	多数該当	その他						
総 数	件 数	7	2	14	0	2	0	25
	高額療養費 (円)	77,910	134,016	1,208,688	0	96,987	0	1,517,601

※長期高額疾病該当者数（年間平均）0人

ウ 療養の給付等内訳

退 職 被 保 険 者 分	区 分		件 数	日 数	費 用 額 (円)
	診 療 費	入 院		5	83
入 院 外			225	299	3,196,710
歯 科			43	89	525,330
小 計			273	471	6,456,850
調 剤		170	(202) 枚	1,641,890	
食 事 療 養		(5)	(238) 回	156,470	
訪 問 看 護		0	0	0	
計 A			443	471	8,255,210
被 扶 養 者 分	診 療 費	入 院	0	0	0
		入 院 外	0	0	0
		歯 科	0	0	0
		小 計	0	0	0
	調 剤		0	(0) 枚	0
	食 事 療 養		(0)	(0) 回	0
	訪 問 看 護		0	0	0
計 B			0	0	0
合 計 A+B			443	471	8,255,210

注：()は合計に含めない。

エ 高額介護合算療養費の状況

件数	給付額 (円)
0	0

3 高額医療費資金貸付基金運用状況 単位：円

貸付金額	回収金額	年度末現在
1,788,156	1,788,156	30,000,000

貸付件数 4件

4 出産費資金貸付基金運用状況

貸付件数 0件

5 納付金・返納金・徴収金・加算金

(1) 事故給付に対する加害者納付金

一般被保険者 請求額 5,085,140 円、納付済額 4,777,837 円、収入未済額 307,303 円 (21 件)
 退職被保険者等 請求額 0 円、納付済額 0 円、収入未済額 0 円

(2) 保険給付費返納金

一般被保険者 請求額 2,464,565 円、納付済額 1,803,449 円、収入未済額 658,750 円 (69 件)
 不納欠損額 2,366 円 (1 件)
 退職被保険者等 請求額 0 円、納付済額 0 円、収入未済額 0 円

6 令和元年東日本台風に伴う一部負担金の免除

区 分		一部負担金免除分	一部負担金還付分	合計
総 数	件 数	963	77	1,040
	免除額 (円)	7,477,500	173,950	7,651,450
(再掲) 前期高齢者	件 数	619	48	667
	免除額 (円)	4,319,698	111,710	4,431,408
(再掲) 70 歳以上 一般	件 数	450	37	487
	免除額 (円)	2,528,302	58,330	2,586,632
(再掲) 70 歳以上 現役並み 所得者	件 数	2	0	2
	免除額 (円)	4,059	0	4,059
(再掲) 未就学児	件 数	2	0	2
	免除額 (円)	2,200	0	2,200

(款3) 国民健康保険事業費納付金

単位：円

当初 予算額	1,464,662,000	予算 現額	1,464,662,000	決算額	1,464,659,371	前年度 決算対比	104.7%	前年度 決算額	1,398,889,508
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

I 事業の目的

平成 30 年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等、国保運営の中心的な役割を担い、制度の安定化を図るため、国民健康保険事業費納付金を納付する。

II 事業の成果等

国保事業費納付金は、医療費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分にそれぞれ算定され、保険者負担金として長野県へ納付することにより、安定的な財政運営や効率的な事業等を確保し、制度の安定化を図ることに寄与することができた。

Ⅲ 事業の実績

一般被保険者医療給付費分	1,027,392,935 円
退職被保険者等医療給付費分	437,018 円
一般被保険者後期高齢者支援金等分	322,994,321 円
退職被保険者等後期高齢者支援金等分	143,841 円
介護納付金分	113,691,256 円

(款4) 保健事業費

単位：円

当初 予算額	73,080,000	予算 現額	69,323,000	決算額	61,189,677	前年度 決算対比	93.0%	前年度 決算額	65,779,034
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

保健事業を実施し被保険者の健康づくり、健康保持を図る。
平成20年度から特定健康診査及び特定保健指導を実施し、生活習慣病の発病や重症化を予防する。
国保保健指導事業は、受診が必要な方に重点的に保健指導を行い生活習慣病予防及び重症化予防を図る。

II 事業の成果等

保健センターを拠点に保健事業を推進し、被保険者の健康づくり、健康保持の向上に寄与した。
第2期保健事業実施計画と第3期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査と保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防につなげた。

須高地域で糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、特定健診受診者のうち糖尿病性腎症等による治療中で重症化するリスクの高い者に対して、主治医と連携し保健指導実施した。プログラム参加者の翌年の血液データから維持・改善された者が多く、事業の効果が見られた。

Ⅲ 事業の実績

1 特定健康診査

受診場所は、個別健診と集団健診の選択制とし、個別健診は、須高医師会の協力を得て医療機関で、集団健診は、長野県厚生農業協同組合連合会へ委託し公会堂等10会場（9日間）で実施した。うち1日は、休日の午後に実施した。

- (1) 対象者 40歳～74歳の国民健康保険加入者
- (2) 実施期間 6月～1月
- (3) 受診内容 【基本健診】 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、聴打診
【詳細健診】 心電図検査、眼底検査
(前年度の検査結果、当日の検査値および医師の判断により実施)
- (4) 受診者・受診率
対象者数（40歳～74歳の国保加入者） 9,194人
受診者数 4,150人 受診率 45.1%
受診者の内訳 ア 個別健診 2,916人 イ 集団健診 330人 ウ 人間ドック 904人
- (5) 詳細健診受診者数
ア 心電図検査 1,769人
イ 眼底検査 552人
- (6) 委託料 31,946,652円

2 特定保健指導

特定健康診査の結果、肥満・血圧・脂質・血糖と問診の結果から、生活習慣改善の必要がある者に対して、対象者自身で自分の健康を見直し目標を設定し行動変容できるよう支援した。

(1) 前年度保健指導利用者の6か月後の評価実施結果

	支援レベル	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	終了者数 (人)	終了率 (%)
40～64歳	動機づけ	80	29	36.3	24	30.0
	積極的	88	30	34.1	13	14.8
65～74歳	動機づけ	343	185	53.9	167	48.7
全 体		511	244	47.7	204	39.9

(2) 当該年度保健指導実施結果

	支援レベル	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	終了者数 (人)
40～64歳	動機づけ	84	30	35.7	5
	積極的	103	41	39.8	3
65～74歳	動機づけ	252	140	55.6	36
全 体		439	211	48.1	44

(3) 集団運動実践

- ア 対象者 特定保健指導、国保保健指導対象者
- イ 実施内容 健康運動指導士による運動指導
- ウ 実施結果 実施回数 46回 参加実人員 43人 参加延人員 364人
- エ 委託料 175,490円

(4) 個別支援担当者会議

- 保健指導の内容の統一と質向上のために開催
- 6回開催 参加者 延 112人

3 全自動血圧計の利用状況

- 市民ホール等に設置した全自動血圧計により、市民の生活習慣病予防に対する意識の高揚を図った。
- 全自動血圧計年間利用延人員 (本 庁) 1,534人 (1か月平均 127人)
- 〃 (中央公民館) 1,653人 (1か月平均 137人)

4 健康づくり広報の発行

- 広報すざかに健康だより(6回)を掲載し、市民に対し健康に関する啓発を行った。
- 支出額 134,899円

5 保健事業の推進役である保健補導員会に活動費を負担した。

(1) 保健補導員会研修費負担金

- 研修活動に対する負担金 3,113,896円
- 保健補導員 1人12,000円 現役会員263人分

(2) 保健補導員会広報費負担金

- 広報活動に対する負担金 200,000円
- 保健補導員会だよりの発行
- ア 発行部数 年2回(9月8,100部、2月7,800部発行)
- イ 配布先 隣組回覧、保健補導員経験者、現役保健補導員
- 保健補導員経験者研修費補助金 1件75,000円

6 医療費適正化対策

- (1) 受診者全員に医療費通知を送付。該当受診月 11月～10月
- 該当通知件数 28,191件 委託料 564,400円
- (2) 先発薬と後発薬の1レプトの差額が100円以上の服薬者全員に、ジェネリック(後発)医薬品利用差額通知を送付。該当調剤月 4月、10月 該当通知件数 616件 委託料 35,728円

(3) 重複多受診

重複服薬者 該当者 18 人 相談者数 15 人 (内訳 訪問 9 人 面接 1 人 電話 5 人)
関係機関等へ確認 1 人 レセプト確認 2 人

7 70 歳健康教室

国民健康保険高齢受給者証の交付に併せ、医療制度の説明、健康相談、健康教室を実施した。

開催回数 11 回 参加者 153 人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月 19 日は中止

8 国保被保険者の健康増進のため、人間ドックを受診した 35 歳以上の被保険者に対し受診補助を行った。

対象人間ドック	上限補助額 (円)	人数	補助額総計 (円)
半日又は 1 日	15,000	856	12,840,000
1 泊 2 日又は 2 日間通院	30,000	130	3,900,000
計		986	16,740,000

9 国保保健指導事業

心筋梗塞等の心血管疾患、脳梗塞等の脳血管疾患、人工透析を必要とする腎不全などへの進展や重症化を予防するために医療機関へ受診が必要な基準値に該当された方へ、受診勧奨と保健指導を実施した。

(1) 保健指導の実施 (人)

対象者	対象者数	利用者数
血圧、血糖等の検査項目が受診勧奨値の者	525	317

(2) 集団運動実践 (特定保健指導事業と同時に実施)

ア 対象者 特定保健指導、国保保健指導対象者

イ 実施内容 健康運動指導士による運動指導

ウ 実施結果 実施回数 46 回 参加実人員 46 人 参加延人員 364 人

エ 委託料 175,490 円

(3) 糖尿病性腎症重症化予防の取組み

特定健診受診者で、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者に対し、主治医との連携のもと、栄養士、保健師による保健指導 (個別支援) を実施した。

対象者 53 人

支援開始者 11 人

(款 5) 基金積立金

単位：円

当初予算額	118,000	予算現額	452,000	決算額	452,000	前年度決算対比	0.6%	前年度決算額	75,265,000
-------	---------	------	---------	-----	---------	---------	------	--------	------------

I 事業の目的

基金を積み立て国民健康保険事業の健全な運営を図る。

II 事業の成果等

国民健康保険事業の健全な運営のため積み立てた。

III 事業の実績

積立金 452,000 円

(款6) 諸支出金

単位：円

当初 予算額	10,260,000	予算 現額	45,766,000	決算額	44,209,789	前年度 決算対比	49.5%	前年度 決算額	89,308,374
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の実績

- 1 被保険者の前年度以前の資格喪失等に伴い国民健康保険税を還付した。

区分	還付金		還付加算金		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般分	399	4,144,600	72	49,600	471	4,194,200
退職分	0	0	0	0	0	0
合計	399	4,144,600	72	49,600	471	4,194,200

- 2 保険給付費等交付金等を前年度精算により国へ返還した。また、一般会計へ繰出金を支出した。

保険給付費等交付金償還金	36,063,589 円
一般会計繰出金	3,952,000 円

(款7) 予備費

単位：円

当初 予算額	3,000,000	予算 現額	3,000,000	決算額	0	前年度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
-----------	-----------	----------	-----------	-----	---	-------------	------	------------	---

3 井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計

3 井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計

単位：円

当初 予算額	7,811,000	予算 現額	8,117,000	決算額	7,931,387	前年度 決算対比	97.2%	前年度 決算額	8,162,916
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

1-1-1 (目) 財産管理費

単位：円

当初 予算額	7,811,000	予算 現額	8,117,000	決算額	7,931,387	前年度 決算対比	97.2%	前年度 決算額	8,162,916
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

財産区財産の適正な管理及び有効活用を図る。

II 事業の成果

長びく景気低迷により厳しい経営環境の中、経費節減及び資産の有効活用を図った。

III 事業の実績

- 1 財産区管理会 2回 7月12日・1月23日
- 2 財産区有地下草刈、枝打 4回 7月7日・7月21日・9月22日・11月10日
- 3 有権者研修会 9月26日 参加者 55人
- 4 研修視察受入れ 10月11日 白山市湊財産区 委員6人、随員2人
- 5 視察研修 11月14日～16日 富山県および石川県 委員6人、随員1人
- 6 財産の状況
 - (1) 山林 1,449,750 m²
 - (2) 宅地・その他 183,286 m²
 - (3) 長野森林組合出資金 20,500 円
 - (4) 基金の状況

単位：円

基金名	前年度末現在高	当該年度		当該年度末現在高
		積立額	取崩し額	
井上、幸高、九反田、 中島財産区基金	204,929,000	3,572,000	0	208,501,000

7 財産の貸付状況

- (1) 裏太郎駐車場用地

契約の相手方	(株)ハーレスキーリゾート
期間	平成29年8月1日～令和2年7月31日 (自動更新)
貸付面積	5,812 m ²
貸付料	3,111,633 円

契約の相手方	(有)菅平サンホテル
期間	平成29年7月1日～令和2年6月30日 (自動更新)
貸付面積	2,200 m ²
貸付料	350,196 円 (駐車場部分) 32,926 円 (通路部分)

(2) 太郎スキー場用地	契約の相手方	(株)ハーレスキーリゾート
	期 間	平成29年12月1日から令和2年11月30日 (自動更新)
	貸付面積	129,208 m ²
	貸付料	年額 1,870,540 円 (ゲレンデ部分) 年額 102,300 円 (保護管理部分)
(3) ラクビー・サッカー グラウンド用地	契約の相手方	峰村山荘
	期 間	平成28年9月1日から令和3年8月31日 (自動更新)
	貸付面積	9,856 m ²
	貸付料	年額 1,000,000 円
(4) クロスカントリーコー ス・グラウンド用地	契約の相手方	(有)山光館
	期 間	平成29年6月1日から令和2年5月31日 (自動更新)
	貸付面積	9,860 m ²
	貸付料	年額 1,000,000 円
(5) その他	個人、法人貸付及び電柱・電話柱貸付料等 (5件)	
	貸付料 合計	214,002 円

4 介護保険特別会計

4 介護保険特別会計

単位：円

当初 予算額	4,457,257,000	予算 現額	4,521,538,000	決算額	4,405,969,867	前年度 決算対比	103.2%	前年度 決算額	4,270,044,223
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

(款1) 総務費

単位：円

当初 予算額	54,156,000	予算 現額	57,922,000	決算額	55,259,820	前年度 決算対比	93.8%	前年度 決算額	58,899,616
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

介護保険制度に関する事業全般の事務及び介護保険料の賦課徴収事務の円滑な遂行。

II 事業の成果等

第7期介護保険事業計画の中間年度として、広報をはじめ、資格・給付等の管理や認定調査を実施したほか、介護保険料の賦課と適正な徴収に努めた。

III 事業の実績

1 第1号被保険者の状況（年度末現在）

年 齢 区 分	平成31年3月（人）	令和2年3月（人）
65歳以上75歳未満	7,589	7,451
75歳以上	8,367	8,606
（再掲）外国人被保険者	19	25
（再掲）住所地特例被保険者	84	83
計	15,956	16,057

2 第1号被保険者の増減（年間）の状況

区 分	計（人）
増	715
転 入	57
職権復活	0
65歳到達	634
適用除外	0
その 他	24
区 分	計（人）
減	614
転 出	83
職権喪失	1
死 亡	527
適用除外	0
その他	3

※その他は、住所地特例者による増減者

3 介護保険料

(1) 所得段階別第1号被保険者の状況（年度末現在）

所得段階	被保険者数（人）	構成比（%）	当該年度保険料（円）
第1段階	1,640	10.21	21,160
第2段階	1,164	7.25	28,720
第3段階	1,129	7.03	37,800
第4段階	2,009	12.51	53,520
第5段階	3,111	19.38	60,480
第6段階	1,891	11.78	73,780
第7段階	1,230	7.66	77,410
第8段階	997	6.21	83,460
第9段階	912	5.68	86,480
第10段階	662	4.12	96,760
第11段階	496	3.09	99,790

所得段階	被保険者数(人)	構成比(%)	当該年度保険料(円)
第12段階	276	1.72	102,810
第13段階	540	3.36	127,000
計	16,057	100.00	

※基準額(第5段階)・・・本人が住民税非課税で前年の課税年金収入等が80万円超の者

(2) 賦課等の状況

区分	特別徴収(円)	普通徴収(円)	現年分合計(円)	滞納繰越分 普通徴収(円)	年度総合計(円)
調定額累計	936,796,390	62,406,980	999,203,370	6,836,539	1,006,039,909
収納額累計	937,082,870	59,602,420	996,685,290	3,201,490	999,886,780
還付未済額	286,480	9,500	295,980	0	295,980
不納欠損額	0	0	0	754,214	754,214
未納額	0	2,814,060	2,814,060	2,880,835	5,694,895
減免額	5,432,930	438,500	5,871,430	0	5,871,430
収納率	100.00%	95.49%	99.72%	46.83%	99.36%

※収納率の算定は、(収納額累計－還付未済額)÷調定額累計

※滞納者数 159人(前年度 104人)

(3) 不納欠損処分の状況

件数	金額(円)	人数
229	754,214	28

(4) 減免の状況

減免事由	対象者(人)	減免額(円)
災害	219	5,782,250
その他	3	89,180

4 要介護認定等

(1) 申請件数の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
申請件数	195	170	182	172	188	180	171	175	170	234	148	153	2,138
取下件数	3	8	10	6	5	6	2	7	5	6	4	11	73
却下件数	2	2	1	0	1	1	2	0	1	1	0	1	12

(2) 要介護認定調査件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市	162	172	163	182	155	160	167	165	159	166	157	158	1,966
委託	13	14	11	10	8	14	13	8	13	13	11	14	142
計	175	186	174	192	163	174	180	173	172	179	168	172	2,108

※市については、調査員7名(嘱託2名、臨時5名)・地域包括支援センター職員により対応

※委託については、事業所・管外の官公庁により対応

5 要介護(要支援)認定者数の状況

区分	平成31年3月(人)	令和2年3月(人)
要支援1	168	204
要支援2	305	284
要介護1	534	580
要介護2	332	320
要介護3	321	326
要介護4	362	334
要介護5	200	219
計	2,222	2,267

6 委託料の状況

- (1) 介護保険システム保守・アウトソーシング委託料 (株電算) 2,082,336 円
- (2) 介護保険負担割合証作成業務委託料 (株電算) 282,960 円
- (3) 介護保険制度改正に係るシステム改修委託料 (株電算) 1,120,900 円
 〃 (ニッセイ情報テクノロジー(株)) 86,400 円
- (4) 介護保険標準レイアウト改版対応に伴うシステム改修委託料 (株電算) 1,734,160 円
- (5) 第三者行為損害賠償求償事務共同事業委託料 (長野県国民健康保険団体連絡会へ委託) 0 円
- (6) 要介護認定調査委託料

委 託 先	認定調査委託件数			委 託 料 (円)
	在 宅	施 設	計	
(福)睦会 須坂やすらぎの園	42	0	42	122,080
長野広域連合特別養護老人ホーム須坂荘	1	0	1	3,024
(福)グリーンアルム福祉会	82	0	82	256,368
市外委託先	2	15	17	72,110
計	127	15	142	453,582

7 手数料の状況

- (1) 介護保険料口座振替手数料 72,731 円
- (2) 主治医意見書作成手数料 9,661,392 円

8 認定調査員研修の状況

認定調査に従事する者が、要介護認定調査における公平、公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識技能を習得・向上させるため、県等の研修会へ出席した。

県認定調査員新規研修	4月17日	参加者	5人
県認定調査員新規研修(臨時)	10月8日	参加者	1人
県認定調査員現任研修会	12月14日	参加者	11人

9 須坂市地域密着型サービス運営委員会

開催日	7月31日
場 所	須坂市消防本部大会議室
出席委員	17人中 15人
議事内容	(1) 地域密着型サービス事業所の指定状況について (2) 地域密着型サービス事業所への運営指導の実施について

10 広報等の状況

毎月 65歳到達予定者への介護保険制度説明会の開催 総対象者 640名(新型コロナウイルス感染症対策の為2月3月は中止)

説明会実施対象者 534名 出席者 193名 (36.1%)

- 4月 「安心を支える介護保険」パンフレットを作成し、介護サービス利用者等に随時配付
- 10月 「須坂市の介護保険事業の運営状況」について広報すざかに掲載

(款2) 保険給付費

単位：円

当初 予算額	4,136,975,000	予算 現額	4,044,405,000	決算額	3,954,801,032	前年度 決算対比	101.4%	前年度 決算額	3,900,686,769
-----------	---------------	----------	---------------	-----	---------------	-------------	--------	------------	---------------

I 事業の目的

被保険者に適正な介護サービスの提供を図る。

II 事業の成果等

要介護、要支援と認定した被保険者に対し、保険給付を行った。

III 事業の実績

1 居宅介護（予防）サービス受給者の状況（3月審査分）

区 分	平成31年3月（人）	令和2年3月（人）
計	1,357	1,394

2 地域密着型（予防）サービス受給者の状況（3月審査分）

区 分	平成31年3月（人）	令和2年3月（人）
計	413	433

3 施設介護サービス受給者の状況（3月審査分）

区 分	平成31年3月（人）	令和2年3月（人）
介護老人福祉施設	213	213
介護老人保健施設	193	198
介護療養型医療施設	24	13
介護医療院	0	0
計	430	423

4 食費、居住費に係る負担限度額認定件数（年度末現在）

区 分	平成31年3月（件）	令和2年3月（件）
利用者負担第3段階	241	231
利用者負担第2段階	102	92
利用者負担第1段階	8	12
計	351	335

5 介護老人福祉施設旧措置入所者に係る減額、免除認定件数（年度末現在）

区 分	特定負担限度額（件）		利用者負担（件）	
	食費	居住費	減額	0
利用者負担第3段階	0	0	免除	0
利用者負担第2段階	1	1	計	0
高齢福祉年金受給者等	0	0		
合 計	1	1		

※介護保険制度前の費用徴収額を上回らないようにしているため食費と居住費の段階が異なる場合がある。

6 保険給付の状況

(1) 介護給付費

単位：円

区 分	当該年度	前年度
居宅介護サービス	1,289,665,311	1,264,097,496
地域密着型介護サービス	829,963,240	796,968,525
施設介護サービス費	1,350,982,098	1,366,470,769
介護老人福祉施設	632,930,824	629,468,800
介護老人保健施設	654,165,986	635,160,671
介護医療院	0	0
介護療養型医療施設	63,885,288	101,841,298
福祉用具購入費	3,224,458	3,608,317
住宅改修費	8,896,301	7,849,281
居宅介護サービス計画給付費	167,206,175	176,298,131
合 計	3,649,937,583	3,900,686,769

(2) 介護予防給付費

単位：円

区 分	当該年度	前年度
介護予防サービス	69,656,646	65,082,673
地域密着型介護予防サービス	1,825,380	779,544
介護予防福祉用具購入費	740,921	942,522
介護予防住宅改修費	5,056,311	3,560,030
介護予防サービス計画給付費	14,989,483	13,902,413
合 計	92,268,741	84,267,182

(3) 高額介護（予防）サービス給付費（ ）内は予防分

単位：円

区 分	当該年度	前年度
利用者負担第5段階	0	
利用者負担第4段階	19,534,908 (31,621)	14,147,794 (2,959)
年間高額・年間事業 高額サービス費	628,011	558,347 (5,257)
利用者負担第3段階	10,308,921 (54,855)	9,576,917 (25,118)
利用者負担第2段階	47,706,512 (252)	46,977,132
利用者負担第1段階	1,404,476	1,063,148
合 計	78,954,817 (86,728)	71,764,991 (28,077)

(4) 高額医療介護（予防）合算サービス費（ ）内は予防分

単位：円

区 分	当該年度	前年度
現役並み所得者（上位所得者）	775,889 (1,739)	0
一般	1,656,229 (345)	173,803 (7,712)
低所得者Ⅱ	2,997,675 (5,306)	1,618,115
低所得者Ⅰ	5,740,266	1,951,563
計	11,170,059 (7,390)	3,743,481 (7,712)

(5) 特定入所者介護（予防）サービス費 （ ）内は予防分 単位：円

区 分	当該年度	前年度
特定入所者介護サービス	118,788,181 (251,605)	122,048,413 (221,260)

7 手数料の状況 （ ）内は前年度

審査支払手数料 3,335,928 円 (3,313,134 円)

8 利用料の減免（令和元年東日本台風災害による）

228 件 (34 人) 3,105,515 円

9 地域密着型サービス事業所の指定、更新、指導

新規指定 なし

更 新 3 事業所

実地指導 5 事業所（地域密着型通所介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護）

10 居宅介護支援事業所の指定、更新、指導

新規指定 1 事業所

更 新 5 事業所

実地指導 6 事業所

(款3) 地域支援事業費

単位：円

当初 予算額	255,439,000	予算 現額	244,148,000	決算額	230,910,708	前年度 決算対比	93.9%	前年度 決算額	245,947,751
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	-------	------------	-------------

■ 介護予防・生活支援サービス事業

単位：円

当初 予算額	156,037,000	予算 現額	147,636,000	決算額	144,919,757	前年度 決算対比	107.3%	前年度 決算額	135,010,772
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

要支援認定を受けた者・基本チェックリスト該当者（事業対象者）を対象に適切な介護予防サービスを提供し、活動的な生活が送れるように支援する。

II 事業の成果等

事業対象者については、基本チェックリストにより訪問型サービス・通所型サービスを受けることができるようになり、スムーズなサービスの実施につながっている。通所型サービスについては、指定事業者による実施や委託事業での実施のほか、新たに通所型サービス B を実施するなど多様なサービスの提供を行った。

III 事業の実績

1 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者の状況

基本チェックリスト実施者数 192 人（うち総合事業対象者数 192 人）

2 事業者指定によるサービス事業

区 分	件数	支 給 額 (円)
訪問介護 (従前相当)	987	17,261,235
訪問型サービスA (緩和した基準)	398	5,733,919
通所介護 (従前相当)	2,714	67,733,151
通所型サービスA (緩和した基準)	664	12,533,605
通所型サービスB	1	124,729
合 計	4,763	103,503,896

3 委託による通所型サービス事業

委託料 25,575,920 円

要支援認定を受けている者及び事業対象者で運動器の機能向上、認知機能低下予防、閉じこもり予防、うつ予防及び支援が必要な者へ、各教室等を委託しサービスを提供した。

事業名	委託先	金額(円)	開催場所	実施回数	実人数	延人数
はつらつ若返り教室	(福)睦会 総合福祉施設 須坂やすらぎの園	2,485,920	日滝地域公民館	46	14	419
			旭ヶ丘ふれあいプラザ	46	16	435
	(株)ケアネット長野サービスセンター	1,304,160	ケアネット長野第1サービスセンター	46	9	232
	(福)グリーンアルム福祉会	2,287,480	高甫地域公民館	42	11	281
			グリーンアルム	42	17	396
	ながでんスイミングスクール須坂	2,407,200	人権交流センター(2回)	92	23	568
筋力向上トレーニング「いきいき教室」	(株)ケアネット長野サービスセンター	1,503,600	ケアネット長野第1サービスセンター	46	12	184
認知症予防「脳げんき教室」	(福)睦会 総合福祉施設 須坂やすらぎの園	2,485,920	中央公民館	46	9	235
			やすらぎふれあいセンター	46	8	206
	(福)須坂市社会福祉協議会	1,203,360	仁礼コミュニティセンター	46	9	300
	NPO 法人 良風来	1,207,280	日野地域公民館 NPO 法人 良風来	44 2	10	305
生きがい活動支援通所事業「ミニデイサービス」	(福)須坂市社会福祉協議会	10,691,000	くつろぎ荘	188	51	1,198
合 計		25,575,920		732	189	4,759

4 委託の教室における担当者会議の出席及び個別計画書の作成

委託料 479,923 円

担当者会議の出席 実数 116 件
個別計画書の作成 実数 119 件

5 訪問型サービス

事業名	従事職員	実人員(人)	延人員(人)
短期集中型訪問指導	作業療法士	3	28
訪問指導	保健師、看護師等	40	131
合 計		43	159

6 介護予防ケアマネジメント業務	委託料	4,674,610 円
介護予防・生活支援サービス事業利用者のケアプラン作成件数	実数	435 件
(居宅介護支援事業所への委託分を含む)	延数	3,996 件

委託内訳

事業所名	延件数	金額 (円)
総合福祉施設 須坂やすらぎの園	120	519,000
居宅介護支援事業所 須坂荘	90	389,930
須坂市社会福祉協議会居宅介護支援事業部	35	150,630
須坂市社会福祉協議会ぬくもり園居宅介護支援事業部	128	553,490
ケアネット長野サービスセンター	65	297,350
グリーン在宅介護支援センター	326	1,430,900
轟居宅介護支援事業所	52	223,820
居宅介護支援事業所 たのし家	43	190,120
居宅介護支援事業所 豊洲	78	348,370
居宅介護支援事業所 STARS	31	138,440
居宅介護支援事業所 かえですぞか	12	51,660
居宅介護支援事業所 しらかば	33	149,560
居宅介護支援事業所 かえで	24	103,320
こもれび指定居宅介護支援事業所	26	116,900
居宅介護支援事業所 リリーフライフ	2	11,120
合計	1,065	4,674,610

7 その他のサービス費

(1) 高額サービス費 (86 件)、年間高額サービス費 (1 件)	213,583 円
(2) 高額医療合算サービス費 (6 件)	68,078 円

■ 介護予防ケアマネジメント事業

単位：円

当初予算額	10,252,000	予算現額	9,028,000	決算額	7,831,146	前年度決算対比	117.9%	前年度決算額	6,643,431
-------	------------	------	-----------	-----	-----------	---------	--------	--------	-----------

I 事業の目的

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が維持できるように、要介護状態になることをできる限り予防するため、ケアマネジメント作成業務を行う。

II 事業の成果等

介護支援専門員、保健師の確保ができ、在宅介護支援システムを活用し適切な給付管理事務を行うことができた。

III 事業の実績

- 在宅介護支援システムの保守点検業務委託
 - 委託業者 (株) 電算
 - 委託料 210,588 円

■ 一般介護予防事業

単位：円

当初予算額	8,556,000	予算現額	8,136,000	決算額	7,431,211	前年度決算対比	67.8%	前年度決算額	10,961,990
-------	-----------	------	-----------	-----	-----------	---------	-------	--------	------------

I 事業の目的

高齢者の介護予防に関する理解を深めるとともに、介護予防に関するボランティアの育成及び活動支援を行うことにより、高齢者になっても生きがいや役割をもって生活できる地域を目指す。

II 事業の成果等

地域リハビリテーション活動支援事業をリハビリテーション専門職が関与し実施することで、地域における介護予防の取り組みの強化を図った。また、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業を実施することにより、介護予防（ロコモティブシンドロームや認知症予防等）に関する知識の普及と参加者の生活の質の向上を図った。

III 事業の実績

1 介護予防把握事業

区 分	基本チェックリスト 実施者数（人）	介護予防が必要な 支援者数（人）
教室・相談等	983	636

2 介護予防普及啓発事業

(1) 教室関係

事業名	開催場所	回数	延人数
さわやか貯筋教室 65歳以上の方を対象に転倒予防の体操や介護予防に関する講話などを実施 【ながでんスイミングスクール須坂へ委託 委託料 2,901,980円】	老人福祉センター 人権交流センター シルキーホール 中央公民館 井上地域公民館	65	1,344
65歳健康教室	保健センター等	10	190
高齢者健康教室	保健センター等	11	507
老人会等健康講座	各町公会堂等	40	1,087
ひとり暮らし高齢者交流会食会健康教育	老人福祉センター等	2	94
すこやかふれあい広場	旭ヶ丘ふれあいプラザ	89	1,183
合 計		217	4,405

(2) 相談等

事業名	開催場所	回数	延人数
健康相談	各町公会堂等	11	130

3 地域介護予防活動支援事業

事業名	回数	実人数	延人数
介護予防サポーター養成教室	6	15	84
パワーアップ研修	5	63	154

4 地域リハビリテーション活動支援事業

区 分	実施回数	延人数
住民運営の通いの場への関与	18	233

■ 総合相談事業

単位：円

当初 予算額	12,060,000	予算 現額	13,342,000	決算額	12,046,203	前年度 決算対比	102.9%	前年度 決算額	11,710,486
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	--------	------------	------------

I 事業の目的

高齢者が住み慣れた地域で生活をするために必要な介護保険サービス、医療サービス、生活援助サービス、地域のインフォーマルなサービス等について情報を提供する。また、相談、訪問、関係機関との連絡調整を通して総合的な支援を行う。

II 事業の成果等

介護に関する総合的な相談に応じ、各種サービスの連絡調整を図るとともに、様々な機関と連携しながら、問題解決へ向けての取り組みをした。

III 事業の実績

1 総合相談

(1) 総合相談内容別状況

(件)

	内 容	件 数		対応方法(再掲)
相 談	実態把握	2,766	4,737	来 所 794 電 話 3,224 訪 問 1,510 その他 469
	在宅サービス利用	818		
	介護相談	256		
	疾病・医療	239		
	施設・病院関係	120		
	心理的問題	3		
	経済的・生活問題	37		
	介護支援専門員支援	82		
	虐待・権利擁護	74		
	認知症関係	163		
	地域ケア会議	2		
	その他	177		
	連 絡 調 整	本人・家族		
病院・施設関係		127		
民生児童委員		26		
介護予防・地域支え合い事業		131		
各地域在介等		182		
居宅介護支援事業所		470		
その他		152		
対 応 総 件 数			5,997	

(2) 施設別相談状況

市内3か所の在宅介護支援センター等に、介護相談受付、訪問調査、後期高齢者実態調査等、地域からの相談受付窓口としての業務を委託した。

施設名	委託先	件数	構成比 (%)	金額 (円)
地域包括支援センター		5,659	94.4	
在宅介護支援センター須坂 やすらぎの園	(福)睦会総合福祉施設 須坂やすらぎの園	56	0.9	2,444,445
長野広域連合特別養護老人 ホーム須坂荘	長野広域連合特別養護 老人ホーム須坂荘	195	3.2	2,444,445
グリーン在宅介護支援セン ター	(福)グリーンアルム福 社会	87	1.5	2,444,445
合 計		5,997	100.0	7,333,335

(3) 地域包括支援センター業務連絡会

開催回数	出席人数
10	延 105

2 須坂市地域包括支援センター運営協議会

- 開催日 7月31日
 場 所 須坂市消防本部大会議室
 出席委員 17人中 15人
 議事内容 (1) 2018年度事業報告について
 (2) 2019年度事業計画について
 (3) 2018年度地域支援事業決算及び2019年度地域支援事業予算について

3 地域ケア個別会議

開催日	出席人数	内 容	場 所
10月30日	7	認知症高齢者と知的障がい者を抱える世帯への支援について	須坂市役所
12月2日	18	高次脳機能障がいがある高齢者の支援について	須坂市役所
2月6日	4	厚生労働大臣が定める回数以上の訪問介護を位置づけた居宅介護サービス計画の届け出に係る検討会議	須坂市役所

※その他個別ケースの会議 7回開催（出席者延人数 71人）

■ 権利擁護事業

単位：円

当初 予算額	638,000	予算 現額	300,000	決算額	13,342	前年度 決算対比	21.6%	前年度 決算額	61,767
-----------	---------	----------	---------	-----	--------	-------------	-------	------------	--------

I 事業の目的

高齢者の人権擁護に関する啓発に努めるとともに、高齢者に対する虐待の防止や早期発見のために関係機関と連携を図る。成年後見制度についての情報提供及び高齢者の権利擁護の支援を行う。

II 事業の成果等

処遇困難ケースや虐待・権利擁護に関するケースに関わり支援をした。

III 事業の実績

1 虐待に関する相談・支援（件）※相談等の分類のため実際に虐待ありと判断した数ではない

相談・支援	実件数	虐待の類型（重複あり）				
		身体的	放棄	心理的	性的	経済的
新規相談・通報件数	18	9	3	7	0	1
継続支援件数	5	5	0	0	0	0

2 権利擁護に関する相談・支援（件）

相談・支援	実件数	相談内訳
新規相談件数	4	成年後見制度関係2、金銭管理1、相続関係1
継続支援件数	2	成年後見制度関係2

- 3 高齢者虐待防止研修会（兼介護支援専門員研修会）
 開催日 11月18日
 場 所 中央公民館
 参加者 71人
 内 容 講演会 「高齢者虐待対応と早期発見について」
 講師 公益社団法人 長野県社会福祉士会
 佐藤 裕子 氏

- 4 成年後見制度利用支援事業
 市長申立 0件

■ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

単位：円

当初 予算額	382,000	予算 現額	446,000	決算額	425,984	前年度 決算対比	196.2%	前年度 決算額	217,126
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の目的

介護支援専門員や主治医等との多職種協働や、地域の関係機関との連携を通じてケアマネジメントの支援を行う。介護支援専門員のネットワークをつくり、専門職としての質の向上を図る。

II 事業の成果等

地域の介護支援専門員に対して、日常的個別支援や相談、支援困難事例への助言等を行った。また、介護支援専門員研修会、介護支援専門員業務連絡会を定期的に開催し、専門職としての知識及び技術の向上、情報交換等を行った。

III 事業の実績

1 介護支援専門員研修会

開催日	内容	講師	出席人数
6月18日	脳血管疾患に関する疾患の理解～在宅支援と医療との連携について～	長野市民病院 脳神経外科 医師 草野義和 氏	47
7月29日	介護支援専門員に求められる地域づくりネットワークづくり～認知症になってもその人らしく暮らせるまちづくり～	神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川竜也 氏	48
8月23日	対人援助技術やコミュニケーションスキルについて学ぶ	新潟医療福祉大学 教授 河野聖夫 氏	42
9月17日	事例を通して自立支援に向けたプラン作成を学ぶ		32
11月18日	高齢者虐待対応と早期発見について (高齢者虐待防止研修会)	公益社団法人 長野社会福祉士会 佐藤裕子 氏	42
2月4日	災害時におけるケアマネジメントについて	びわこ学院大学 教授 烏野 猛 氏	53
延出席人数			264

2 介護支援専門員業務連絡会

開催回数	出席人数
10	延 247

3 介護支援専門員個別支援 82回

■ 任意事業

単位：円

当初 予算額	55,700,000	予算 現額	53,823,000	決算額	48,334,918	前年度 決算対比	66.4%	前年度 決算額	72,747,779
-----------	------------	----------	------------	-----	------------	-------------	-------	------------	------------

I 事業の目的

地域の実情に応じた様々な事業を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で安心した暮らしを継続することを支援する。

II 事業の成果等

- 1 おおむね 65 歳以上の寝たきり及び認知症のある高齢者及び重度の心身障がい者を在宅で介護している者を対象に、介護体験、健康相談、介護技術、各種保健福祉等の知識・技術の取得、学習機会を提供するとともに介護者同士の交流を図った。
- 2 介護相談員派遣事業では、4名の介護相談員が市内の特別養護老人ホーム5施設、老人保健施設2施設、グループホーム5施設を月2回、2人1組で訪問し利用者等との面談や施設サービスの現状把握を行った。また、毎月1回介護相談員全体会議を開催して、活動状況報告と意見交換を実施し、活動に伴う助言や情報提供を行うことができた。
- 3 居宅介護支援事業所7事業所のケアプラン点検を行い、ケアプランの質の向上と介護給付費の適正化を図った。
- 4 緊急通報システム事業や「食」の自立支援事業等を行うことにより、ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活できるための支援を行った。
- 5 要介護認定を受けた寝たきり及び認知症の方を対象に、おむつ給付券を給付した。

III 事業の実績

- 1 家族介護者交流事業（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託） 委託料 183,220 円
家族を介護している介護者の孤独感の解消や交流の場を設ける。また、相談業務を行い介護者の負担を軽減する。

実施日	内 容	参加人数
7月10日	湯っ蔵んどに於いて、紙芝居および講演「高齢者の健康づくり」	8
11月6日	湯田中温泉「ホテル椿野」へ（昼食会、入浴）	12

- 2 介護教室 委託料 122,220 円

実施日	内 容	主催	参加人数	金額 (円)
5月23日	嚥下のメカニズム・口腔ケアを学び、誤嚥を予防しよう！ 会場：県立信州医療センター	県立信州医療センター	16	/
6月28日	何歳になってもおいしく食べたい～簡単にできる「介護食」の調理法を紹介します 会場：中央公民館	(福)睦会総合福祉施設 須坂やすらぎの園	5	
7月19日	高齢者に多い夏の皮膚トラブル 会場：県立信州医療センター	長野広域連合 特別養護老人ホーム須坂荘	19	20,370

実施日	内 容	主催	参加人数	金額 (円)
8月24日	おむつに伴う皮膚トラブル・おむつの正しい使い方を学ぼう！ 会場：県立信州医療センター	県立信州医療センター	12	
9月11日	がんばらなくていい。 頭痛、腰痛、膝痛体操 会場：仁礼コミュニティセンター	(福)グリーンアルム福祉会	13	20,370
11月29日	冬場に気をつけたい 高齢者の感染症 会場：県立信州医療センター	(福)睦会総合福祉施設 須坂やすらぎの園	16	20,370
12月21日	リビングウィル（生前の意思表示） ～“もしもの時”の話をしませんか～ 会場：保健センター	須坂市地域包括支援センター	31	
1月20日	薬との付き合い方 会場：保健センター	(福)グリーンアルム福祉会	16	20,370
2月21日	高齢者の耳の聞こえ方と補聴器について 会場：県立信州医療センター	長野広域連合 特別養護老人ホーム須坂荘	17	20,370
		計	145	122,220

※ 在宅介護支援センター等3か所へ委託

※ 県立信州医療センターは共催事業として開催

3 高齢者住宅等安心確保事業(シルバーハウジング生活援助員派遣事業)

シルバーハウジングの入居者に対して生活指導・相談・安否の確認、緊急時の対応を必要に応じて提供する。

((福)須坂市社会福祉協議会へ委託)

委託料 2,181,000円

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) シルバーハウジング入居者 (18戸) | 19人 |
| (2) ふれあいサロンの開催 (延べ参加人数60人) | 10回 |
| (3) 緊急システム作動件数 (電話対応0件、水センサー5件、誤報2件) | 7件 |
| (4) 支援事業 | |

支援内容	件数・回数
安否確認	0件
生活指導・相談	2回
一時的家庭援助	0件
家族へ連絡	1回
関係機関等との連絡	4回

4 介護相談員派遣事業

4月～2月 4人の相談員による訪問活動と毎月1回の全体会議を開催、延べ訪問回数117回

8月 介護相談員現任研修(全国研修カリキュラム)3人参加

5 介護給付等費用適正化事業

居宅介護支援事業所に対し、ケアプランの質の向上と介護給付費の適正化を図るため指導を行った。事業を適切に実施するため、本事業に精通した長野県介護支援専門員協会に講師派遣を依頼した。

訪問事業所 7事業所 講師謝礼 120,000円

トリトンモニターを活用し、誤りのある事業所の請求について自己点検を促した。

1事業所 延べ12件

6 緊急通報システム事業

ひとり暮らし高齢者等の急病・災害等、緊急における連絡及び日常生活における相談を行い、救急及び救助活動を円滑に進め、高齢者等の福祉の増進を図った。

設置台数 34 台、撤去台数 43 台 (累計設置台数 252 台)

保守点検委託料 3,860,343 円 (富士通ソーシャルライフシステムズ(株)へ委託)

通報件数 (誤報・連絡通報を除く) 緊急ボタン・無線ペンダントによる通報 12 件
生活リズムセンサーによる通報 1 件

7 「食」の自立支援事業

委託料 24,880,838 円

65 歳以上の高齢者等で、虚弱、心身の障がい、傷病等の理由により食事の調理が困難な方に、配食サービスを行い栄養の偏りがちな食生活の改善を図り、併せて安否確認を行う。

事業の内容	委託先	金額 (円)
配食数		
ご飯とおかず 1食 410 円 19,770 食	(福)須崎市社会福祉協議会	配達委託 11,061,218
おかずのみ 1食 360 円 15,872 食	若松屋	給食製造委託 6,838,550
計 35,642 食	共同組合須坂給食センター	6,981,070
利用実人数 153 人		

8 おむつ券給付事業

要介護認定を受けた寝たきり及び認知症の方を対象に、おむつ給付券を給付した。(上限 年 48 枚)

(要介護 3 1,050 円、要介護 4・5 で市民税非課税世帯 1,500 円)

申請者数 529 人 利用数 13,024 枚

事業費 14,613,838 円

■ 在宅医療・介護連携推進事業

単位：円

当初 予算額	4,064,000	予算 現額	3,958,000	決算額	3,552,799	前年度 決算対比	89.0%	前年度 決算額	3,992,848
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

市町村が主体となり須高医師会等と連携し、住民が安心して医療・福祉・介護サービスを受けられるための在宅医療・介護連携の推進に取り組む。

II 事業の成果等

リビング・ウィル、アドバンス・ケア・プランニング (人生会議) の普及啓発、須高地域医療福祉を考える集いにて初めての在宅介護、看取り経験のあるご家族、医療介護関係者によるパネルディスカッションを開催、医療・福祉・介護等の多職種連携の推進、住民への普及啓発、在宅療養 24 時間サポート体制の運用等に取り組んだ。

III 事業の実績

1 在宅医療福祉介護の推進

(1) 第 2 専門委員会 (在宅医療福祉介護) の定例開催 11 回開催 県立信州医療センター講堂
4 月 18 日 5 月 16 日 6 月 27 日 7 月 18 日 8 月 19 日 9 月 19 日 11 月 21 日

12 月 19 日 1 月 16 日 2 月 20 日 3 月 19 日 ※10 月 17 日は災害対応のため中止

(2) 須高地域医療福祉を考える集い 9 月 28 日 須崎市文化会館メセナホール 参加者 200 人
テーマ 「在宅で看取りができる地域をめざして」

ア 講演 「より自分らしく生きるために ～笑って学ぼう！自分の最期の迎え方～」

講師 行政書士・社会人落語家 生島清身 氏

イ パネルディスカッション「在宅療養・介護、看取りの経験から ～私が感じたこと、伝えたいこと～」

- (3) 「リビング・ウィル～生前の意思表示～」(携帯カード付)、アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)、看取りに関する普及啓発
- ア 須高地域の病院、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、市役所等を通じリーフレット配布エンディングノート活用講座(地域包括支援センターと公民館の共催)での紹介
「須高地域医療福祉を考える集い」でのパネルディスカッションによる紹介、希望者への配布
 - イ 須高三市町広報誌への特集掲載による普及・啓発(広報須坂は9月号)
 - ウ 訪問看護ステーション、居宅介護事業所等職員の学習会等で配付
- (4) 医療・介護関係者の研修(各種研修会の実施等)
- ア 多職種研修会
 - (ア) リビング・ウィル、アドバンス・ケア・プランニングについて考える多職種研修会
8月2日 須坂市保健センター 出席者 88人
講演 「もしバナゲームで縁起でもない話をしよう ～リビング・ウィルと人生会議～」
講師 医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック 院長 白山宏人 氏
グループワーク(もしバナゲーム体験と話し合い)
 - (イ) 食支援(口腔・栄養・摂食嚥下)に関する多職種研修会
2月5日 県立信州医療センター講堂 出席者 83人
講演 「食を食べること 生きること ～地域で行う食支援～」
講師 ふれあい歯科ごとう代表、新宿食支援研究会代表 五島朋幸 氏
取組発表 「施設における食支援の取組について」高山おんせん朝日ホーム看護師、朝日ホームおんせんリハビリテーションセンター言語聴覚士
グループワーク(食支援を地域に広げる取組について)
- (5) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- ア 須高地域医療・福祉施設栄養関係職員連絡会
1月22日 県立信州医療センター講堂 出席者 15人
内容 各施設の取組・課題等について
須高地域栄養サマリー、食形態一覧・栄養剤一覧について
 - イ 須高地域リハビリテーション連絡会
 - 第1回 7月3日 県立信州医療センター講堂 出席者 24人
内容 全体会議、グループ討議
 - 第2回 2月13日 新生病院会議室 出席者 19人
内容 指示書の共通化について、研修会について、情報交換・意見交換
 - 研修会 3月11日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- (6) 在宅療養24時間サポート体制(須高在宅ネットワーク)
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進と医療・介護関係者の情報共有の支援
情報共有システム(在宅医療安心ネット)を活用した在宅療養の24時間サポート体制の運用
- (7) 在宅医療安心ネット運用状況
参加機関: 須高地域の3病院、18診療所、7訪問看護事業所、11居宅介護支援事業所、3行政
登録者: 102人(うち須坂市47人)

2 その他

- (1) 「地域医療福祉ネットワークの窓」の掲載(再掲)
広報須坂に「地域医療福祉ネットワークの窓」を掲載し、須高地域の医療・福祉・介護情報等を紹介(9月)

■ 生活支援体制整備事業

単位：円

当初 予算額	3,953,000	予算 現額	3,798,000	決算額	2,991,701	前年度 決算対比	138.7%	前年度 決算額	2,157,221
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

地域の資源を活用し、地域の活性化及び互助によるコミュニティの構築を促進するため、生活支援コーディネーターを配置し、地域の中で支え合いによるサービスを提供できる体制を整備する。

II 事業の成果等

地域ニーズと担い手を把握し、必要なサービスをマッチングさせるため、地域のサロンへ出向き、ニーズ調査等を行った。

サロン情報などを含む「地域助け合い情報」の更新を行った。

III 事業の実績

- 生活支援基盤整備業務の委託（(福)須坂市社会福祉協議会へ委託） 委託料 2,985,836 円
高齢者の介護予防・生活支援体制の整備を推進することにより、高齢者に限らず生活支援が相互になされる地域づくりを図るため、地域ニーズと担い手を把握し、必要なサービスをマッチングさせることができるよう、生活支援コーディネーターを設置し、基盤整備を行った。

2 須坂市生活支援ネットワーク会議

開催日 2月13日

場 所 須坂市消防本部大会議室

参加者 38人

内 容 情報共有「これまでの生活支援ネットワーク会議の振り返り」
「現状の移動関係サービスについて」
グループワーク「高齢者の移動について考える」

3 地域ケア個別会議へ参加 5回

4 地域包括支援センター業務連絡会へ参加 8回

5 地域ニーズと担い手を把握するため、地域のサロンへ出向き、ニーズ調査等を行った。

実施日	サロン名	会場
4月3日	てらすサロン	茶房てらす
4月10日	やぶかけはしの会	屋部町公会堂
4月11日	相之島ふれあいサロン	相之島町公会堂
4月12日	豊丘ふれあいサロン	旧JA豊丘支所
4月25日	峰の原リンクの会	小布施橋周辺
5月14日	八重森町ふれあいサロン	八重森町公会堂
6月26日	亀倉町サロン	亀倉町公会堂
7月11日	立町サロン	立町公会堂
9月11日	明德サロン	明德町公会堂
9月12日	八重森サロン	八重森町公会堂
9月13日	豊丘ふれあいサロン	旧JA豊丘支所
9月26日	豊島サロン	豊島町公会堂
9月27日	春木町ふれあいサロン	春木町公会堂

6 社会福祉協議会支部総会へ参加し、ニーズ調査を行った。

開催日	支部名	会場
4月12日	旭ヶ丘 総会	旭ヶ丘ふれあいプラザ
4月12日	東部 総会	春木町公会堂
5月21日	日野 総会	日野地域公民館
5月25日	豊丘 総会	豊丘地域公民館
5月26日	上部 総会	穀町公会堂
5月29日	井上 総会	井上地域公民館
6月8日	南部 総会	臥竜山公会堂
6月10日	日滝 総会	高橋町公会堂
6月21日	西部 総会	馬場町公会堂
9月6日	東部 役員会	春木町公会堂
11月26日	東部 反省会	春木町公会堂
11月29日	旭ヶ丘 総会	旭ヶ丘ふれあいプラザ
12月3日	日滝 総会	高橋町公会堂

■ 認知症総合支援事業

単位：円

当初 予算額	3,797,000	予算 現額	3,681,000	決算額	3,363,647	前年度 決算対比	137.6%	前年度 決算額	2,444,331
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	--------	------------	-----------

I 事業の目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わるための相談支援体制の構築と、正しい知識の普及により本人や家族を見守る地域づくりをすすめる。

II 事業の成果等

- 1 「認知症家族のつどい」を開催し、介護者同士の交流を図った。
- 2 認知症サポーター養成講座を、一般市民、銀行、民生児童委員やシルバー人材センターなど各種団体を対象に開催し、認知症に対する正しい知識の普及を図った。また、講師役であるキャラバン・メイトの増員のため、キャラバン・メイト養成講座を開催した。
- 3 毎月第4水曜日を「もの忘れ相談日」として実施した。
- 4 認知症初期集中支援チーム員会議を開催し、市内認知症サポート医、社協との間で地域の認知症支援の取り組みについて情報交換と個別のケース相談を実施した。
- 5 安心みまもるシール事業により、徘徊のおそれのある認知症高齢者等の見守り支援を行った。
- 6 認知症安心サポートガイド（須坂市認知症ケアパス）を作成し、認知症に関する相談時に活用いただくよう市内医療機関や民生児童委員等に配布を行った。
- 7 認知症を考える市民講座を開催し、認知症について理解し支援について考える機会とした。

Ⅲ 事業の実績

1 認知症家族のつどい

開催回数	延参加人数
3	31

2 認知症サポーター養成講座

開催回数	延参加人数
13	330

3 キャラバン・メイト養成講座

開催回数	参加人数
1	32

4 認知症関係相談

区 分		もの忘れ相談日	相談日以外
実施回数		12	随時
相談件数		5	74
相談者	本人・家族からの相談 (件)	5	53
	その他(施設・警察等) (件)	0	21
相談後の対応 (重複あり)	医療受診が必要 (件)	1	7
	経過観察 (件)	4	42
	介護保険・総合事業 (件)	0	25

5 認知症初期集中支援チーム員会議

初期集中支援ケース 10件(実件数)

(1) A会議

開催回数 6回

内容 市職員(高齢者福祉課、地域包括支援センター職員)による支援等の検討

(2) B会議

開催回数 5回

内容 市職員(高齢者福祉課、地域包括支援センター職員)、認知症サポート医、社協職員による検討会議

6 「安心みまもるシール」事業

須坂警察署と協定を締結し、徘徊のおそれのある認知症高齢者等の見守り支援のためアイロンシール、および反射シールを配布した。

申請者 12人(配布枚数 アイロンシール131枚、反射シール69枚)

事業費 28,875円

7 徘徊高齢者家族支援助成事業

徘徊高齢者を介護している家族に、民間サービスの人物探索装置を利用するにあたり必要な費用を助成する事業

対象者数 1人 支給額(初期費用)7,000円

8 認知症安心サポートガイド(須坂市認知症ケアパス)の作成

認知症についての不安や悩みを抱え込まず、理解を深めてもらうことを目的に、認知症の進行状況に応じて必要となる医療や受けられるサービスをまとめ、相談先や医療機関等について掲載したパンフレットを作成した。相談時に活用いただくよう市内医療機関や民生児童委員等に配布した。

作成数 3,000部 129,600円

9 認知症を考える市民講座

須坂市認知症の人と家族の会「まゆの会」、(特非)長野県宅老所・グループホーム連絡会と共催し、講座を開催した。

開催日 12月15日

場 所 中央公民館

参加者 114人

内 容 講演会「認知症でも笑顔のまままで」

講師 おれんじドアも〜やっこなごや 代表 山田 真由美 氏

名古屋市認知症相談支援センター 若年認知症相談支援担当 鬼頭 史樹 氏

(款4)基金積立金

単位：円

当 初 予算額	77,000	予算 現額	126,585,000	決算額	126,585,000	前 年 度 決算対比	540.4%	前年度 決算額	23,423,000
------------	--------	----------	-------------	-----	-------------	---------------	--------	------------	------------

(款5)諸支出金

単位：円

当 初 予算額	610,000	予算 現額	38,478,000	決算額	38,413,307	前 年 度 決算対比	93.5%	前年度 決算額	41,087,087
------------	---------	----------	------------	-----	------------	---------------	-------	------------	------------

I 事業の実績

- 1 被保険者の前年度以前の資格喪失等に伴い介護保険料を還付した。
第1号被保険者保険料還付金 738,130 円
- 2 前年度精算等により、国へ返還した。
国庫支出金返還金（介護給付費分） 20,128,675 円
- 3 前年度精算等により、社会保険診療報酬支払基金へ返還した。
社会保険診療報酬支払基金交付金返還金（介護給付費分） 53,572 円
" (地域支援事業分) 281,461 円
- 4 前年度精算等により、県へ返還した。
県支出金返還金（介護給付費分） 4,184,417 円
- 5 前年度繰入金精算により、一般会計へ返還した。
介護給付繰入金分 12,457,153 円
地域支援事業費繰入金分 △ 601,235 円
事務費繰入金分 1,171,134 円

(款6)予備費

単位：円

当 初 予算額	10,000,000	予算 現額	10,000,000	決算額	0	前 年 度 決算対比	0.0%	前年度 決算額	0
------------	------------	----------	------------	-----	---	---------------	------	------------	---

5 後期高齢者医療特別会計

5 後期高齢者医療特別会計

単位：円

当初 予算額	651,730,000	予算 現額	680,545,000	決算額	678,460,029	前年度 決算対比	104.4%	前年度 決算額	649,617,519
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

(款1) 総務費

単位：円

当初 予算額	4,565,000	予算 現額	4,660,000	決算額	4,571,373	前年度 決算対比	69.3%	前年度 決算額	6,595,680
-----------	-----------	----------	-----------	-----	-----------	-------------	-------	------------	-----------

I 事業の目的

後期高齢者医療制度に関する窓口事務及び後期高齢者医療保険料の徴収事務を行う。

II 事業の成果等

後期高齢者医療制度を長野県後期高齢者医療広域連合と協力して円滑に運営するため、後期高齢者医療保険料の徴収、各種申請、届け出の受付や制度に関する広報を行った。

III 事業の実績

1 被保険者の状況

単位：人

年 齢 区 分	前年度末	当該年度末	年間平均 (3-2)
75歳以上	8,316	8,544	8,428
65歳以上75歳未満で障害認定を受けた者	55	62	65
(再掲) 一般 (負担割合1割)	7,884	8,083	7,988
(再掲) 現役並み所得者 (負担割合3割)	487	523	506
(再掲) 被扶養者であった者	783	74	138
計	8,371	8,606	8,493

2 各種申請・届出の受付送付の状況

資 格 関 係 区 分	件数	給付・保険料関係区分	件数
障害認定申請書	8	葬祭費支給申請書	448
負担区分等証明書交付申請	10	高額療養費支給申請書	457
被保険者証等再交付申請書	358	療養費支給申請書	2,141
基準収入額適用申請	66	振込口座変更届	44
特定疾病認定申請書	13	誓約書兼振込口座届	455
限度額認定申請書	245	高額介護合算療養費支給申請書	338
送付先変更届	86	第三者行為による被害届	1
一部負担金等免除申請書	105	保険料減免申請書	109
一部負担金等還付申請書	35		
その他	10		

3 後期高齢者医療保険料

(1) 被保険者均等割額の軽減区分の状況

区 分	被保険者数 (人)	構成比 (%)
8割軽減	1,433	15.78
8.5割軽減	1,830	20.15
5割軽減	1,138	12.53
2割軽減	954	10.51
被扶養者	64	0.70

区 分	被保険者数 (人)	構成比 (%)
上記以外	3,662	40.33
計	9,081	100

※保険料の徴収対象者のため、1の被保険者数と一致しない。

(2) 徴収等の状況

単位：円、%

区 分	特 別 徴 収	普 通 徴 収	現年分合計	滞納繰越分	年度総合計
調定額累計	359,653,100	192,991,900	552,645,000	1,245,870	553,890,870
収納額累計	360,585,800	192,494,700	553,080,500	467,370	553,547,870
還付未済額	932,700	5,800	938,500	0	938,500
不納欠損	0	0	0	65,500	65,500
未納額	0	503,000	503,000	713,000	1,216,000
収 納 率	100.00	99.74	99.91	37.51	99.77

※収納率の算定は、(収入額累計－還付未済額) ÷ 調定額累計

(3) 不納欠損処分の状況

件数 30件(7名) 不納欠損額 65,500円

4 医療費の状況 (2019年3月～2020年2月診療分)

区 分	件 数	日 数	費 用 額 (円)
療養給付費	入 院	5,658	91,407
	入 院 外	136,523	222,448
	歯 科	17,669	31,626
	小 計	159,850	345,481
調 剤	96,283	—	1,249,857,200
食事療養・生活療養	5,401	232,827	154,738,080
訪 問 看 護	312	1,702	20,224,010
療 養 費	7,153	—	89,895,005
計			6,961,014,085

※ 諸 率

- | | |
|---------------------------|----------|
| (1) 年間平均対象人数 | 8,493人 |
| (2) 受診率(100人当たり件数：医科・歯科分) | 1,882.1 |
| (3) 1件当たり費用額 (医科・歯科分) | 34,071円 |
| (4) 1人当たり費用額 (全体) | 819,618円 |

5 委託料の状況

- | | |
|-------------------------------|----------|
| (1) 後期高齢者医療システム運用サポート (株電算) | 91,560円 |
| (2) 後期高齢者医療システムアウトソーシング (株電算) | 969,228円 |

6 手数料の状況

後期高齢者医療保険料口座振替手数料 144,736円

7 後期高齢者医療制度説明会

75歳到達予定者へ被保険者証の交付に併せ、後期高齢者医療制度の説明、健康相談、健康教室を実施した。

開催回数 11回 参加者 177人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月19日は中止

8 広報等の状況

広報須坂に後期高齢者医療制度について掲載し広報を行った。

7月 「後期高齢者医療保険料及び保険証更新」について

10月 「後期高齢者医療の決算状況」について

(款2) 後期高齢者医療広域連合納付金

単位：円

当初 予算額	646,805,000	予算 現額	675,200,000	決算額	673,539,836	前年度 決算対比	104.8%	前年度 決算額	642,760,831
-----------	-------------	----------	-------------	-----	-------------	-------------	--------	------------	-------------

I 事業の目的

後期高齢者医療の費用負担のため、後期高齢者医療保険料及び保険料の軽減分を納付する。

II 事業の成果等

後期高齢者医療の費用に充てるため、徴収した後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定事業で繰り入れた保険料軽減分を、後期高齢者医療広域連合へ納付した。

III 事業の実績

後期高齢者医療広域連合納付金 673,539,836円

(款3) 諸支出金

単位：円

当初 予算額	360,000	予算 現額	685,000	決算額	348,820	前年度 決算対比	133.6%	前年度 決算額	261,008
-----------	---------	----------	---------	-----	---------	-------------	--------	------------	---------

I 事業の実績

1 所得更正等に伴い、過年度分の保険料額が変更となり過誤納金が発生し、被保険者に保険料を還付した。

(1) 過誤納還付金 25件 214,500円

(2) 還付加算金 0件 0円

2 事務費の前年度精算に伴い、一般会計へ繰出した。

一般会計繰出金 134,320円

II 参 考 资 料

1 一般会計決算の状況

(1) 決算収支の状況

単位:千円、%

	当該年度	前年度	増減
歳入総額 A	25,370,008	21,962,436	3,407,572
歳出総額 B	24,742,456	21,134,931	3,607,525
歳入歳出差引 C (A-B)	627,552	827,505	△ 199,953
翌年度へ繰越すべき財源 D	462,178	207,665	254,513
実質収支 E (C-D)	165,374	619,840	△ 454,466
単年度収支 F	△ 454,466	△ 54,356	△ 400,110
財政調整基金積立金 G	1,168,900	588,960	579,940
繰上償還金 H	0	0	0
財政調整基金取崩し金 I	1,040,773	612,172	428,601
実質単年度収支 J (F+G+H-I)	△ 326,338	△ 77,568	△ 248,770
標準財政規模	12,007,368	12,002,427	4,941
財政力指数	0.581	0.572	0.009
積立金現在高	5,785,016	5,244,577	540,439
地方債現在高	16,614,537	16,442,367	172,170
債務負担行為現在額	709,126	408,429	300,697
実質収支比率 (普通会計)	1.4	5.2	△ 3.8
経常収支比率 (")	91.7	92.8	△ 1.1
健全化判断比率	実質赤字比率	-	-
	連結実質赤字比率	-	-
	実質公債費比率	9.5	9.0
	将来負担比率	20.1	28.6

(2) 自主財源と依存財源

単位:千円

自主財源		依存財源	
項目	決算額	項目	決算額
市税	6,362,846	地方譲与税	199,514
分担金及び負担金	413,798	利子割交付金	5,610
使用料及び手数料	336,865	配当割交付金	24,694
財産収入	49,221	株式等譲渡所得割交付金	14,192
寄附金	1,384,694	地方消費税交付金	938,501
繰入金	1,997,991	ゴルフ場利用税交付金	4,008
繰越金	827,505	自動車取得税交付金	27,189
諸収入	2,145,886	環境性能割交付金	6,599
		地方特例交付金	182,671
		地方交付税	4,972,661
		交通安全対策特別交付金	6,953
		国庫支出金	2,182,017
		県支出金	1,307,693
		市債	1,978,900
計	13,518,806	計	11,851,202
構成比(%)	53.29	構成比(%)	46.71

(3) 歳入の状況

区 分	当該年度		前年度		増 減	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	増減率 (%)
市 税	6,362,846	25.08	6,249,214	28.45	113,632	1.82
地 方 譲 与 税	199,514	0.78	193,680	0.88	5,834	3.01
利 子 割 交 付 金	5,610	0.02	12,164	0.06	△ 6,554	△ 53.88
配 当 割 交 付 金	24,694	0.10	20,678	0.09	4,016	19.42
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	14,192	0.06	17,365	0.08	△ 3,173	△ 18.27
地 方 消 費 税 交 付 金	938,501	3.70	990,766	4.51	△ 52,265	△ 5.28
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	4,008	0.02	4,235	0.02	△ 227	△ 5.36
自 動 車 取 得 税 交 付 金	27,189	0.11	45,984	0.21	△ 18,795	△ 40.87
環 境 性 能 割 交 付 金	6,599	0.02	0	0.00	6,599	皆増
地 方 特 例 交 付 金	182,671	0.72	39,828	0.18	142,843	358.65
地 方 交 付 税	4,972,661	19.60	4,535,425	20.65	437,236	9.64
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,953	0.03	7,460	0.03	△ 507	△ 6.80
分 担 金 及 び 負 担 金	413,798	1.63	471,448	2.15	△ 57,650	△ 12.23
使 用 料 及 び 手 数 料	336,865	1.33	371,053	1.69	△ 34,188	△ 9.21
国 庫 支 出 金	2,182,017	8.60	1,932,408	8.80	249,609	12.92
県 支 出 金	1,307,693	5.15	1,135,417	5.17	172,276	15.17
財 産 収 入	49,221	0.19	25,384	0.12	23,837	93.91
寄 附 金	1,384,694	5.46	493,865	2.25	890,829	180.38
繰 入 金	1,997,991	7.88	1,328,254	6.05	669,737	50.42
繰 越 金	827,505	3.26	681,843	3.10	145,662	21.36
諸 収 入	2,145,886	8.46	1,921,465	8.75	224,421	11.68
市 債	1,978,900	7.80	1,484,500	6.76	494,400	33.30
合 計	25,370,008	100.00	21,962,436	100.00	3,407,572	15.52

(4) 歳出の状況 (性質別)

区 分	当該年度		前年度		増 減	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	増減率 (%)
人 件 費	3,521,875	14.23	3,674,952	17.39	△ 153,077	△ 4.17
物 件 費	3,980,193	16.09	3,396,902	16.07	583,291	17.17
維 持 補 修 費	165,493	0.67	238,047	1.13	△ 72,554	△ 30.48
扶 助 費	3,742,365	15.13	3,640,062	17.22	102,303	2.81
補 助 費 等	2,908,660	11.76	2,487,896	11.77	420,764	16.91
普 通 建 設 事 業 費	2,601,523	10.51	1,788,339	8.46	813,184	45.47
補 助 事 業	814,057	3.29	449,528	2.13	364,529	81.09
単 独 事 業	1,713,045	6.92	1,329,898	6.29	383,147	28.81
県 営 事 業 負 担 金	74,421	0.30	8,913	0.04	65,508	734.97
災 害 復 旧 事 業 費	552,868	2.23	0	0.00	552,868	皆増
補 助 事 業	379,524	1.53	0	0.00	379,524	皆増
単 独 事 業	173,344	0.70	0	0.00	173,344	皆増
公 債 費	1,883,224	7.61	1,979,776	9.37	△ 96,552	△ 4.88
積 立 金	2,521,067	10.19	1,109,223	5.25	1,411,844	127.28
投 資 及 び 出 資 金	26,594	0.11	29,915	0.14	△ 3,321	△ 11.10
貸 付 金	1,125,424	4.55	1,127,912	5.34	△ 2,488	△ 0.22
繰 出 金	1,713,170	6.92	1,661,907	7.86	51,263	3.08
合 計	24,742,456	100.00	21,134,931	100.00	3,607,525	17.07

(5) 地方交付税

ア 普通交付税

単位：千円

区 分	当該年度	前年度	増 減 額
基準財政需要額	9,871,177	9,761,030	110,147
基準財政収入額	5,801,157	5,648,827	152,330
交付基準額	4,070,020	4,112,203	△ 42,183
普通交付税交付額	4,061,326	4,112,203	△ 50,877

イ 特別交付税

単位：千円

区 分	当該年度	前年度	増 減 額
特別交付税交付額	911,335	423,222	488,113

2 市債の状況

(1) 年度末起債残高（一般会計）

単位：千円

区 分	前年度末現在高	当該年度		当該年度末現在高
		借入額	償還額	
(1) 普通債	7,617,033	1,273,900	1,194,410	7,696,524
ア 総務	511,324	0	10,091	501,233
イ 民生	598,727	1,600	118,561	481,766
ウ 保健衛生	571,623	0	112,470	459,154
エ 水道	18,100	10,600	0	28,700
オ 清掃	1,400	5,200	0	6,600
カ 労働	3,831	0	952	2,879
キ 農林	298,440	37,700	67,829	268,311
ク 商工	36,200	134,800	0	171,000
ケ 土木	3,070,280	183,400	507,816	2,745,864
コ 消防	283,323	35,500	61,278	257,545
サ 教育	1,457,257	619,400	230,325	1,846,332
シ 公営住宅	355,446	0	59,749	295,697
ス 辺地	411,082	245,700	25,339	631,443
セ 同和対策(新築資金等貸付金)	0	0	0	0
(2) 災害復旧	700	126,000	0	126,700
ア 農林	700	9,400	0	10,100
イ 土木	0	116,600	0	116,600
(3) その他	8,824,634	579,000	612,320	8,791,313
ア 市民税等減税補てん債	139,041	0	32,636	106,405
イ 臨時財政対策債	8,685,593	579,000	579,684	8,684,908
合計	16,442,367	1,978,900	1,806,730	16,614,537

(2) 当該年度の借入状況（一般会計）

事業名	借入額 (千円)	資金区分	借入利率 (%)	交付税算入率等 (%)
1 公共事業等	166,800			
(1) 県営農村地域防災減災事業負担金(繰越)	800	財政融資	0.003	普通交付税 50
(2) 社会資本整備【防災・安全】(繰越)	9,100	銀行等	0.30~0.395	
〃 (繰越・財対分)	7,200	〃		〃
(3) 社会資本整備【県街路事業】(繰越)	8,200	〃	0.32	
〃 (繰越・財対分)	6,500	〃	〃	〃
(4) 社会資本整備【国土強靱化】(繰越)	25,000	金融機構	0.003	〃
(5) 県営土地改良事業	4,800	財政融資	0.005~	
〃 (財対分)	4,000	銀行等	0.385	〃

事業名		借入額 (千円)	資金区分	借入利率 (%)	交付税算入率等 (%)
(6)	基盤整備促進事業	2,300	財政融資	0.005	
	〃 (財対分)	1,900	〃	〃	普通交付税 50
(7)	豊丘ダム整備事業	5,900	〃	〃	
	〃 (財対分)	4,700	〃	〃	〃
(8)	排水機場整備事業	3,900	〃	〃	
	〃 (財対分)	3,000	〃	〃	〃
	〃 (補正予算債)	7,700	〃	〃	〃
(9)	社会資本整備【防災・安全】	27,100	銀行等	0.385	
	〃 (財対分)	21,600	〃	〃	〃
(10)	社会資本整備【県街路事業】	8,200	〃	0.35	
	〃 (財対分)	6,500	〃	〃	〃
(11)	社会資本整備【道路整備交付金】	4,700	〃	〃	
	〃 (財対分)	3,700	〃	〃	〃
2	公共施設等適正管理推進事業	72,400			
(1)	福祉会館整備事業	700	銀行等	0.327	普通交付税 30～50
(2)	博物館施設整備事業	9,000	金融機構	0.005	〃
(3)	文化施設整備事業	19,200	〃	〃	〃
(4)	道路維持補修事業	43,500	銀行等	0.327	〃
3	一般廃棄物処理事業	5,200			
(1)	ごみ処理施設運営事業	5,200	銀行等	0.35	普通交付税 30
4	学校教育施設等整備事業	369,100			
(1)	小学校施設整備事業 (繰越・補正予算債)	199,900	財政融資	0.003	普通交付税 50
	中学校施設整備事業 (繰越・補正予算債)	105,800	〃	〃	〃
(2)	小学校施設整備事業 (繰越・単独)	45,600	振興協会	0.01	〃
	中学校施設整備事業 (繰越・単独)	17,800	〃	〃	〃
5	一般単独事業債	4,500			
(1)	給食センター施設整備事業	4,500	銀行等	0.35	
6	緊急自然災害防止対策事業債	19,900			
(1)	住宅防災対策事業	19,900	金融機構	0.003	普通交付税 70
7	緊急防災・減災事業	390,300			
(1)	観光施設整備事業 (繰越)	7,500	金融機構	0.003	普通交付税 70
(2)	福祉会館整備事業	600	〃	〃	〃
(3)	老人福祉センター管理事業	300	〃	〃	〃
(4)	文化施設整備事業	15,800	〃	〃	〃
(5)	体育施設整備事業	6,300	〃	〃	〃
(6)	公民館整備事業	5,400	〃	〃	〃
(7)	中山間施設整備事業	900	〃	〃	〃
(8)	臥竜公園施設整備事業	600	〃	〃	〃
(9)	小学校施設整備事業	2,900	〃	〃	〃
(10)	観光施設整備事業	73,400	振興協会	0.1	〃
(11)	中学校施設整備事業	184,600	銀行等	0.29	〃
(12)	消防機械力整備事業	24,400	振興協会	0.1	〃
(13)	消防団機械力整備事業	11,100	銀行等	0.35	〃
(14)	シルキーホール整備事業	53,900	金融機構	0.005	〃
(15)	博物館施設整備事業	2,600	〃	〃	〃
8	辺地対策事業	245,700			
(1)	小規模水道施設整備事業 (繰越)	43,200	財政融資	0.002	普通交付税 80
(2)	小規模水道施設整備事業	202,500	〃	0.003	〃
9	農林水産業施設災害復旧債	9,400			
(1)	農道・水路災害復旧事業	300	財政融資	0.005	普通交付税 47.5～85.5

事業名		借入額 (千円)	資金区分	借入利率 (%)	交付税算入率等 (%)
(2)	排水機場災害復旧事業	1,100	財政融資	0.005	普通交付税 47.5~100
(3)	林道災害復旧事業	4,900	〃	0.003~0.005	〃
(4)	農地災害復旧事業	1,300	〃	0.003	〃
(5)	農業用施設災害復旧事業	1,800	〃	0.005	〃
10	公共土木施設等災害復旧債	116,600			
(1)	道路災害復旧事業	112,800	財政融資	0.005	普通交付税 47.5~85.5
(2)	住宅防災対策施設災害復旧事業	1,600	〃	〃	〃
(3)	公立学校施設災害復旧事業	200	〃	〃	〃
(4)	市民支援事業	2,000	〃	〃	〃
11	臨時財政対策債	579,000			
(1)	臨時財政対策債	579,000	財政融資	0.005	普通交付税 100
合 計		1,978,900			

(3) 実質公債費比率等の状況

単位:千円、%

項 目	当該年度	前年度	比 較
標準税収入額等	7,366,359	7,167,280	199,079
普通交付税額	4,061,326	4,112,203	△ 42,183
臨時財政対策債発行可能額	579,683	722,944	△ 143,261
災害復旧等財政需要額	936,714	915,896	20,818
事業費補正等財政需要額	156,576	215,114	△ 58,538
実質公債費比率	9.5	9.0	0.5

3 基金の運用状況

(1) 積立金

ア 基金残高の状況

単位:円

基金名	前年度末現在高	当該年度		当該年度末現在高
		積立額	取崩し額	
財政調整基金	2,483,878,000	1,168,900,000	1,040,773,000	2,612,005,000
減債基金	56,691,000	58,000	0	56,749,000
公共施設等整備基金	1,314,878,000	585,107,000	112,000,000	1,787,985,000
職員退職手当基金	55,851,000	57,000	0	55,908,000
社会福祉基金	39,022,000	5,571,000	0	44,593,000
商工業振興基金	5,554,140	1,000	600,000	4,955,140
文化財取得基金	4,608,000	1,000	0	4,609,000
村石母子、父子家庭 特別奨学金給付基金	10,397,000	8,000	500,000	9,905,000
文化振興資金積立基金	460,000,000	0	460,000,000	0
ふれあい地域福祉基金	340,500,000	0	0	340,500,000
中山間ふるさと・水と土保全基金	10,050,000	0	0	10,050,000
森林環境譲与税基金	0	5,200,000	0	5,200,000
奨学金積立基金	17,504,500	7,765,000	1,848,000	23,421,500
高梨兵左衛門奨学金積立基金	682,138	0	0	682,138
動物園みんなの夢基金	1,513,000	159,000	0	1,672,000
蔵の町並みキャンパス事業基金	121,000	0	0	121,000
信州須坂ふるさと応援基金	442,542,000	747,992,716	364,907,000	825,627,716
新エネルギー発電事業基金	785,468	246,674	0	1,032,142
小 計	5,244,577,246	2,521,066,390	1,980,628,000	5,785,015,636

基金名	前年度末現在高	当該年度		当該年度末現在高
		積立額	取崩し額	
国民健康保険基金	581,300,000	452,000	142,078,000	439,674,000
井上、幸高、九反田、中島財産区基金	204,929,000	3,572,000	0	208,501,000
介護給付費準備基金	419,619,000	126,585,000	0	546,204,000
合計	6,450,425,246	2,651,675,390	2,122,706,000	6,979,394,636

イ 基金の管理状況

単位：円

区分		前年度末現在高	当該年度増減額	当該年度末現在高
基金合計		6,450,425,246	528,969,390	6,979,394,636
内訳	現金・預金	6,350,425,246	528,969,390	6,879,394,636
	有価証券	100,000,000	0	100,000,000
	ふれあい地域福祉基金	100,000,000	0	100,000,000

(2) 用品調達基金

損益計算書(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで) 単位：円

費用の部	金額	収益の部	金額
期首商品棚卸高	353,033	期末商品棚卸高	382,328
仕入	385,770	売上	613,910
当期純利益	257,435		
計	996,238	計	996,238

貸借対照表(令和2年3月31日)

単位：円

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
現金預金	945,397	未払金	367,950
未収金	97,660	資本金	800,000
商品	382,328	当期純利益	257,435
計	1,425,385	計	1,425,385

(当期純利益 257,435 円 一般会計へ繰入)

(3) 長野県収入証紙及び郵便切手類等購買基金

基金の設置年月日	昭和49年4月1日		
基金額	1,500,000 円		
基金の目的	長野県収入証紙及び郵便切手類等の売り捌き事務を行い、市民の便宜をはかるため		
運用した額	合計	うち県収入証紙分	うち郵便切手類分
	10,358,174 円	6,808,000 円	3,550,174 円
売り捌き手数料 (一般会計へ繰入)	合計	うち県収入証紙分	うち郵便切手類分
	574,337 円	223,295 円	351,042 円

(4) 高額医療費資金貸付基金

単位：円

区分	前年度末現在高	当該年度増減額	当該年度末現在高
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	30,000,000	0	30,000,000

(5) 出産費資金貸付基金

単位：円

区分	前年度末現在高	当該年度増減額	当該年度末現在高
国民健康保険 出産費資金貸付基金	3,600,000	0	3,600,000

(6) 生活支援金貸付基金

単位：円

区分	前年度末現在高	当該年度増減額	前年度末現在高
生活支援金貸付基金	500,000	0	500,000

(7) 福祉医療費資金貸付基金

単位：円

区 分	前年度末現在高	当該年度増減額	当該年度末現在高
福祉医療費資金貸付基金	2,000,000	0	2,000,000

4 貸付金の状況

単位：円

区 分	前年度末現在高	当該年度		当該年度末現在高
		貸付額	返済額	
奨 学 金 貸 付 金	37,189,000	1,848,000	7,848,000	31,189,000
住宅新築資金等貸付金	13,387,905	0	362,645	13,025,260
社会福祉法人貸付金	9,642,858	0	714,284	8,928,574
須坂温泉貸付金	194,259,959	0	1,000,000	193,259,959

5 負担金及び補助金等に関する調

(1) 負担金

ア 一般会計 1,979,931,385 円

総務課 17,020,072 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額 (円)	目的及び根拠
02. 01. 01. 02	県安全運転管理者協会負担金	17,000	長野県安全運転管理者協会会費 均等割 100 円、車両割 6,900 円、 安管協会費 10,000 円
	児童手当特例給付負担金	1,720,000	水道局職員の児童手当特例給付に係る負担金 対象職員 8 人 3 歳未満の児童 児童手当額の 8/15 3 歳以上中学校修了前の児童 10/10
	平和首長会議負担金	2,000	1 都市 2,000 円
	県派遣職員人件費負担金	9,377,817	長野県からの派遣職員に係る人件費負担金 1 人
	連携中枢都市圏職員人材確保事業負担金	1,623	共同選考費用負担金 受験者数 1 人
	災害派遣職員負担金	2,448,239	災害復旧のための派遣職員に係る人件費等負担金 1 人
	会議等出席負担金	31,500	安全運転管理者等講習受講料
02. 01. 01. 03	会議等出席負担金	1,186,870	職員研修事業 出席負担金 24 件
02. 01. 01. 04	先遣隊携帯無線機電波利用負担金	800	長野県市町村災害時相互応援協定に基づき配備された無線機 @400 円×2 台 (長野県市長会)
	県防災行政無線保守管理経費負担金	20,611	県と市を結ぶ県防災行政無線の維持管理を実施し、非常時の通信体制確保を図る。 県と市で折半
	無線局電波利用負担金	64,700	須坂市防災行政無線 (同報系・移動系) の電波利用料負担金
	台風 19 号災害受援経費負担金	458,101	台風 19 号災害時の応援救助の受援に係る負担金 (下諏訪町、塩尻市、新発田市、越前市、敦賀市、福井市、福井県)
	会議等出席負担金	20,520	第三級陸上特殊無線技士養成講習会負担金 (1 人 日本無線協会信越支部)
02. 01. 01. 06	須高危険物・防火管理協会負担金	6,000	事業所等における災害防止並びに防火及び安全管理の研修並びに会員相互の協調を図る。 会員割 3,000 円+危険物割 3,000 円
	長野県冷凍空調保安協会負担金	32,000	冷凍・空調のための高圧ガス製造所における事故災害を防止し、自主保安を促進する。 均等割 10,000 円+能力割 22,000 円
	会議等出席負担金	24,700	危険物取扱者保安講習外 3 件
02. 01. 08. 01	特定健診受診者負担金	48,591	個人で人間ドックを受診した場合でも、特定健診費用相当額は事業主負担 5 人分
02. 01. 08. 02	19 市職員体育大会参加負担金	402,000	19 市職員体育大会参加負担金 事業費×1/2×0.95 (構成団体における事業費人数案分)
	職員体育活動負担金	379,000	クラブ育成費、水曜エクササイズ 事業費×1/2×0.95 (構成団体における事業費人数案分)

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.08.02	職員文化活動負担金	49,000	クラブ育成費 事業費×1/2×0.95(構成団体における事業費人数案分)
	職員厚生事業負担金	729,000	食堂運営費等 事業費×1/2×0.95(構成団体における事業費人数案分)

政策推進課 46,598,627円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.09.01	中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会負担金	12,800	太平洋と日本海を結び、各地域の産業経済の発展と地域振興を図る。 通過市均等割 12,800円
	信州まつもと空港利用促進協議会負担金	20,000	松本空港の利用促進を図り、空港の発展に寄与する。 均等割(県・松本市・塩尻市を除く) 20,000円
	長野県地方自治研究センター負担金	20,000	地方自治の推進に関する調査研究を行う。 定額 5,000円×4口
	全国市長会負担金	357,000	全国各市の相互連帯を密にし、行政全般の調査研究を行う。 均等割 50,000円 人口割 307,000円
	県市長会負担金	751,000	県内各市の相互連帯を密にし、行政全般の調査研究を行う。 均等割 349,000円 人口割 402,000円
	矯正施設所在自治体会議負担金	10,000	矯正施設の所在市町村が矯正施設と一緒に地域における再犯防止策等を推進し、安全・安心で活力ある地域づくりを進める。 定額 10,000円
	会議等出席負担金	176,500	北信越市長会出席負担金外6件
02.01.09.02	長野広域連合総務管理費負担金	12,660,000	老人福祉施設の運用、介護認定審査、広域のごみ処理対策、ふるさと市町村圏計画等について長野広域圏内市町村の事務を共同処理する。 均等割 1,484,000円 人口割 11,176,000円
	須高行政事務組合議会費・総務費負担金	14,050,000	火葬場、休日診療所、し尿処理場、サマーランドの設置及び経営の事務を共同処理する。 保健衛生費割 3,004,000円 清掃費割 8,423,000円 教育費割 2,623,000円
02.01.09.03	長野県世論調査協会負担金	60,000	協会主催事業への参加による広聴活動 定額 60,000円
	日本広報協会負担金	24,000	協会主催事業への参加による広報活動 市(人口10万人未満) 24,000円
02.01.09.04	2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン長野県実行委員会負担金	90,000	実行委員会負担金(県1/2、構成市町人口割)須坂市3/18 総事業費1,080,000×1/2×3/18

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.14.01	長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業負担金	156,000	長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業に係る負担金 事業費(2,497,000-国交付金852,000)×人口比率按分0.09540=156,000円
02.01.14.02	地域おこし協力隊活動負担金	2,241,067	地域おこし協力隊に係る活動負担金 実績額 豊洲地区321,297円、峰の原高原観光協会1,919,770円
	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会負担金	30,000	移住・交流人口の拡大を図り、地域の活性化に資する。 定額 30,000円
	移住促進事業負担金	430,000	連携中枢都市圏に伴う移住支援事業及び全国地域おこしフェア等に参加し、須坂市をPRし移住者を増やす取り組みを行う。 実績額(連携中枢都市圏移住促進事業負担金159,000円、地域おこしフェア負担金110,000円、ひとり親移住支援推進協議会負担金81,000円、信州で働くフェア負担金80,000円)430,000円
	会議等出席負担金	37,000	移住・定住アドバイザースキルアップ研修
02.01.15.02	電子申請システムサービス利用負担金	307,347	県と市町村の共同構築により「ながの電子申請サービス」を行う。 均等割・人口割 307,347円
	情報ブロードウェイながの利用負担金	1,644,064	県と県内市町村を接続するネットワークにより効率的なシステム運用を行う。 市役所200Mbps利用料 データセンター100Mbps利用料
	県自治体情報セキュリティクラウド負担金	4,238,218	県と市町村の共同構築により長野県自治体情報SCを運用する。 基本メニュー(人口割・均等割)1,452,386円 インターネット接続費用(人口割・均等割)77,085円 オプションメニュー 2,708,747円
	仮想端末共同調達事業負担金	9,075,454	県と関係団体の共同構築により長野県共同VDIを運用する。 利用料 9,035,454円(利用端末数割) 運営管理費 40,000円(利用端末数割)
	電子自治体推進事業負担金	208,177	電子自治体の推進に関する事務を共同処理する。 人口割 208,177円

税務課

4,662,824円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.02.01.02	会議等出席負担金	125,760	NOMA行政管理講座 69,760円 土地評価実務研修会 40,000円 東京税務協会セミナー 16,000円
02.02.02.01	資産評価システム研究センター負担金	90,000	評価方法等に関する資料の提供を受け、適正な資産評価の資料・研究を行う。 人口割(5~20万人) 90,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.02.02.01	県税政研究会負担金	4,700	税務行政について、県と市町村の連絡を緊密にするとともに、課税・徴収事務の向上を図る。 人口割(5~20万人) 4,700円
	長野税務署管内地区 税務協議会負担金	23,600	国税及び地方税の連絡協調を図るため、職員研修及び租税教育の推進を支援する。
	地方税共通共同機構 負担金	1,004,765	e L T A X会費 61,000円 e L T A X運用関係費負担金 650,000円 e L T A X次期更改準備資金 34,000円 国税連携関係費負担金 145,000円 経由機関システム運用関係費分担金 113,000円 給与所得者の扶養親族申告書等統合様式 作成等負担金 1,765円 ※地方税共同機構負担金規程による。
	県地方税滞納整理機構 負担金	3,186,000	徴収が困難な滞納案件について、長野県地方税滞納整理機構に移管し、専門的・集中的な滞納整理により収納率の向上を図る。 基本負担額 50,000円 処理件数割額 1,920,000円 徴収実績割額 1,297,000円 負担金還付額 △81,000円
	軽自動車検査情報市区町 村提供サービス利用 負担金	227,999	軽自動車の新規取得・移転・抹消等の「更新情報」等、「経年車重課」「グリーン化特例(軽課)」課税事務に必要な検査情報提供にかかわる負担金 @11.2円/件(サービス利用約款による) 内訳 第1期 48,963円 第2期 54,939円 第3期 57,151円 第4期 66,946円

福祉課

5,854,481円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.01.01.03	民生委員協議会 活動費負担金	1,926,500	民生委員活動費負担金 基本 @13,500×119人=1,606,500円 研修 @4,000×0人= 0円 (令和元年東日本台風災害により中止) 退任慰労 @4,000×80人= 320,000円
	会議等出席負担金	11,000	民生児童委員協議会 第3ブロック協議会出席 負担金ほか
03.01.01.08	就労準備支援事業 負担金	1,200,000	県と市が共同実施する就労準備支援事業負担金 県事業費(長野・北部地域)定員割 定員総数19人 須坂市3人
03.01.02.01	長野地区障害者スポーツ 大会負担金	60,000	障がい者の社会参加等を目的とするスポーツ大会 参加市町村割
	会議等出席負担金	1,000	あかりの会交流会出席負担金 須高はげみ会総会出席負担金
03.01.02.02	須高地域自立支援 協議会負担金	744,456	障害者総合支援法に基づき、須高地区内で協議会を設置する。 人口割 368,645円 障害者手帳所持者割 375,811円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.01.02.02	認定審査会共同設置負担金	1,080,000	障害支援区分認定審査会共同設置負担金 (長野広域連合) 審査判定実績割 937,000円 均等割 143,000円
	長野地域連携中枢都市圏事業負担金	69,203	地域移行支援コーディネーター設置負担金 人口割
	地域生活支援拠点整備事業空床確保負担金	759,322	障がい者の地域生活で生じる緊急事態に対応するため、短期入所の空床を確保する。 人口割 376,007円 障害者手帳所持者割 383,315円
03.02.07.01	母子自立支援員連絡協議会負担金	3,000	県母子自立支援員連絡協議会負担金 支援員割

高齢者福祉課 13,146,500円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.01.03.01	会議等出席負担金	5,500	長野圏域介護保険事業者連絡協議会須高地区部会出席負担金(4,500×1名)外1件
03.01.03.04	県シルバー人材センター連合会賛助会員負担金	19,000	長野県シルバー人材センター連合会賛助会員負担金 均等割(15,000円)に、前年度に交付された国庫補助金(14,408千円)の1000分の1の額(1,000円未満切り捨て)を加え、負担比率(0.6564)を乗じた額 (15,000円+14,000円)×0.6564
03.01.03.05	長野広域連合特別養護老人ホーム負担金	13,122,000	施設管理費負担金 1,637,000円 ※人口割90%、均等割10% 老人ホーム入所判定委員会費負担金 5,000円 ※人口割90%、均等割10% 養護老人ホーム松寿荘運営費負担金 1,241,000円 ※H26～R5年度負担金額 養護老人ホームはにしな寮運営費負担金 2,600,000円 ※H29～R8年度負担金額 特別養護老人ホーム松寿荘負担金 614,000円 ※H31～R6年度負担金額 特別養護老人ホーム小布施荘負担金 7,025,000円 ※H31～R6年度負担金額

健康づくり課

551,351,983 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.01.10.01	後期高齢者医療 広域連合負担金	15,693,472	広域連合の運営費を負担する。 均等割 892,682 円 人口割 7,493,536 円 御歳入割 7,307,254 円
	後期高齢者医療 療養給付費負担金	519,789,871	後期高齢者医療費の1/12を負担する。
04.01.01.03	須高行政事務組合 診療所費負担金	4,979,000	休日の緊急患者のため、須高行政事務組合が、県立信州医療センター内に休日緊急診療室を運営する。 人口割 4,979,000 円
	日本赤十字社 長野県支部須坂市地区 負担金	76,000	献血の推進を図るため、須坂市地区負担金を負担する。 人口割 76,000 円
	県包括医療協議会 須高地区協議会 負担金	712,502	須高の医療関係団体及び関係機関が健康増進、保健予防を推進するため、協議会を設置する。 人口割 712,502 円
	病院群輪番制病院運営 事業負担金	3,169,408	休日及び夜間の救急患者の治療確保のため、長野市ほかの7病院が輪番制で運営する。 人口割 1,477,790 円 利用割 1,691,618 円
	峰の原高原住民医療 負担金	300,000	菅平診療所の負担金を負担する。 定額(内規による) 300,000 円
04.01.03.01	会議等出席負担金	8,500	子育て支援者養成セミナー 5,500 円 栄養士研修会 3,000 円
04.01.03.02	須坂健康まつり 実行委員会負担金	484,829	「第26回須坂健康まつり」開催のための実行委員会負担金 実費負担 484,829 円
	信州須坂健康スミージー 推進協議会負担金	5,633,672	市民の健康増進、須坂産農産物の消費拡大を図るため、信州須坂健康スミージー推進協議会を設立する。 実費負担 5,633,672 円
	会議等出席負担金	6,000	長野県栄養士会生涯教育研修会負担金 3,000 円 長野県栄養改善学会出席者負担金 3,000 円
04.01.03.03	長野精神保健福祉連絡 協議会負担金	24,900	長野圏域の精神保健福祉関係機関が資質向上及び普及啓発を推進するため、協議会を設置する。 人口割 9,900 円 均等割 15,000 円
	須高精神保健福祉連絡 協議会負担金	473,829	須高の精神保健福祉の向上を図るため、協議会を設置する。 人口割 473,829 円

市民課

51,638,851 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.11.01	須坂市交通安全協会 負担金	580,000	交通事故のない安全で快適な交通社会づくりを推進する活動団体の事業に要する経費を負担する。定額
	会議等出席負担金	4,000	須坂市交通安全協会総会出席負担金 2,000 円×2人=4,000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.11.02	公共交通確保事業負担金	49,143,501	すざか市民バス・すざか乗合タクシーを運行する須坂市地域公共交通会議の事業に要する経費を負担する。 すざか市民バス 38,940,480円 (費用単価×運行距離-運賃収入-国庫補助金) すざか乗合タクシー 4,730,920円 (日数×単価+4便を超えた便数×単価+予約受付日数×単価-運賃収入) その他事業 1,693,101円 長電バス須坂屋島線負担金 3,779,000円 (経常費用-経常収益-国・県補助金+乗務員育成教育費用)
	地域連携長野電鉄長野線活性化協議会負担金	20,000	長野電鉄長野線沿線地域の活性化を図るため、協議会の事務費を長野電鉄㈱と沿線自治体で負担する。 均等割 20,000円
02.01.11.03	須高防犯協会連合会負担金	1,724,000	犯罪のない安全な地域社会づくりを推進する活動団体の事業に要する経費を負担する。 人口割 @34円×50,731人=1,724,000円
	長野県暴力追放県民センター負担金	50,000	暴力のない安全で住みよい社会づくりのため、暴力団による不当要求等を防ぐ。 @10,000円/年間×5口=50,000円
02.01.12.01	会議等出席負担金	2,850	(独)国民生活センター消費生活相談員研修専門・事例講座 受講料 2,850円×1人
02.01.13.01	長野行政相談委員協議会負担金	12,000	相談事例の研究を通じ委員間での連携を深め、委員活動の充実を図る。 6,000円×2人=12,000円
02.03.01.02	長野県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	8,500	戸籍住民基本台帳に関する法令の研究と事務の統一を図る。 均等割 2,000円 人口割 6,500円
	長野地方法務局直轄管内戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	4,000	長野地方法務局直轄管内における戸籍住民基本台帳に関する法令の研究と事務の統一を図る。 均等割 市 4,000円
	地方公共団体情報システム機構負担金	90,000	地方公共団体情報システム機構会費 人口割(人口5万人以上) 90,000円

生活環境課 297,087,714円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
04.01.05.02	須高食品衛生協会負担金	15,000	食品の安全性確保と食中毒防止のため、衛生管理の向上を図る。 規模割 15,000円
	環境衛生推進協議会負担金	700,000	環境衛生の向上を図るため、自主的かつ積極的な活動を行う環境衛生団体の活動事業に要する経費を負担する。 定額 700,000円
	全国都市清掃会議負担金	92,000	廃棄物処理事業を実施している市町村等が共同して、効率的な運営及び技術改善のため、調査、研究等を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 年会費(人口割) 92,000円
	会議等出席負担金	2,000	全国都市清掃会議北陸東海地区協議会総会 2,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
04.01.05.04	ペットボトル売却収入 負担金	486,814	ペットボトル売払い代金のうちの高山村分 8,340kg 486,814円
04.01.05.06	須高飼犬管理 対策協議会負担金	45,500	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する条例 の徹底を図り、犬による危害を防止し、公衆衛生 の向上と社会生活の安全を確保する。登録頭数 ×@20円(100円未満切捨て)
04.01.05.08	須高行政事務組合 清掃費負担金	66,879,000	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、施設 維持管理費を負担する。 均等割(10%)、投入実績割(90%)
04.01.05.09	須高行政事務組合 火葬場費負担金	14,446,000	火葬場施設維持管理 構成市町村人口割(100%)
04.01.05.10	長野広域連合 環境推進費負担金	207,613,000	長野広域(8市町村)におけるごみ処理の広域化 を図る。ごみ量割、均等割、人口割
04.01.06.01	信濃川を守る協議会 負担金	6,000	信濃川水系の関係市町村で連携して、環境を守る ための活動を行う。 10万人未満市6,000円
	高山植物等保護対策 協議会北信地区協議会 負担金	5,000	高山植物等の自然環境保全のため、北信地区の関 係市町村の連絡調整を行う。 一律5,000円
	国立公園関係都市 協議会負担金	20,000	国立公園の環境保全のため、関係都市相互の連絡 調整を行う。一律20,000円
04.01.06.02	長野県浄化槽推進 協議会負担金	41,000	県内の関係市町村により合併処理浄化槽の普及 促進のための活動を行う。 5万人以上市41,000円
04.02.02.02	会議等出席負担金	136,400	小型車両系建設機械運転業務特別教育受講負担 金 33,000円 廃棄物処理施設技術管理者講習会受講料 破砕・リサイクル施設コース 103,400円
04.03.01.02	上水道工事費積算 負担金	6,600,000	小規模水道施設等更新工事業務に係る積算監理 業務負担金(須坂市水道局)

生涯学習スポーツ課 28,424,231円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.06.01.02	長野県社会教育委員 連絡協議会負担金	9,000	社会教育委員相互の連携と、資質の向上に努め、 社会教育の振興発展に寄与する。 均等割 3,000円 人口割 6,000円(3万~5万人)
	北信地区社会教育委員 連絡協議会負担金	12,000	北信地区の社会教育委員が相互に連絡提携し、そ の資質の向上を図り北信地区の社会教育の振興 発展に寄与する。 均等割 5,000円 人口割 7,000円(4.5万~5万人)
10.06.01.03	共催事業負担金	2,500,000	信州岩波講座共催事業負担金 事業に要する経費の一部を負担
10.06.03.02	県公共図書館部会 負担金	13,000	県内の公共図書館が相互連携を密にし、図書館業 務の調査を行う。 均等割 3,000円 人口割 10,000円(5万~10万人)

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.06.03.02	須高図書館協会負担金	295,000	須高図書館協会事業として行う読書感想文コンクールの負担金 (平成30年4月1日現在人口割) 須坂市 295,000円 小布施町 63,000円 高山村 42,000円
	県図書館協会須高支部負担金	5,000	須高地区の小中学校と図書館の相互連携を密にし図書館業務の円滑化を図る。 1施設 5,000円
	日本図書館協会負担金	23,000	日本図書館協会が相互連携を密にし図書館業務の調査研究を行う。 施設会員C 23,000円
	会議等出席負担金	9,000	長野県図書館大会参加負担金外2件
10.06.04.02	日本博物館協会負担金	15,000	博物館振興のための調査・研究開発並びに指導・援助を行う協会の会員負担金 維持会員 15,000円
	北信越博物館協議会負担金	3,000	北信越地区の博物館と相互連携を密にし、事業の充実を図るための協議会負担金 1施設 3,000円
	長野県博物館協議会負担金	5,000	県内の博物館と相互連携を密にし、事業の充実を図るための協議会負担金 公共施設 1施設 5,000円
	きのこ展共催負担金	130,000	きのこ展共催負担金 事業費相当額を負担
10.06.05.01	県文化財保護協会負担金	2,000	県内の文化財保護情報交換のための協会負担金 会費一律 2,000円
	県史跡整備等市町村協議会会費	3,000	史跡整備を促進するための県内市町村協議会会費 会費(市) 3,000円
10.06.05.02	八丁鎧塚まつり共催負担金	62,431	県指定史跡「八丁鎧塚」を地域資源として活用するための「第10回八丁鎧塚まつり」共催負担金 準備等事前事業費相当分
10.06.11.01	県史料保存活用連絡協議会負担金	3,000	史料保存活用に係る調査・研究・指導を連携して推進するための協議会負担金 機関会員 3,000円
10.07.03.01	会議等出席負担金	205,700	令和元年度 長野県スポーツ推進委員研究協議会出席負担金外11件
10.07.03.02	須高行政事務組合教育費負担金	19,957,000	須高広域総合プール運営費及び起債償還に係る負担金 3市町村合計額の15%を均等割 3市町村合計額の85%を各市町村の1月1日現在の人口割
	信州須坂ハーフマラソン負担金	3,400,000	大会準備に要した経費の一部を負担 (看板作成・設置、大会プログラム・チラシ・ポスター印刷)
	峰の原高原スキー場リフト利用負担金	1,422,100	菅平高原スノーリゾートリフト券の利用に係る負担金 大人 326枚 489,000円 中学生 59枚 200,600円 小学生 293枚 732,500円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.07.03.03	市町村対抗駅伝競走大会及び市町村対抗小学生駅伝競走大会参加負担金	150,000	第29回市町村対抗駅伝競走大会及び第15回市町村対抗小学生駅伝競走大会への参加負担金
	長野県縦断駅伝競走大会参加負担金	200,000	第68回長野県縦断駅伝競走大会への参加負担金 均等割 20,000円 人口割 180,000円

中央公民館 183,800円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.06.02.04	公民館運営協議会負担金	134,300	県内の公民館活動の情報交換を行い、研修会等を実施する。 長野県公民館運営協議会負担金 均等割 3,300円 人口割 75,000円 北信公民館運営協議会負担金 均等割 600円 人口割 5,400円 須高公民館運営協議会負担金 均等割 0円 人口割 50,000円
	会議等出席負担金	45,500	日滝地域公民館「高橋町天寿会総会」外27件
10.08.04.01	会議等出席負担金	4,000	公民分館第2ブロック役員会出席負担金外1件

人権同和政策課 556,628円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.04.01.02	長野犯罪被害者支援センター負担金	80,000	認定特定非営利活動法人長野犯罪被害者支援センターへ活動助成を行い、犯罪被害者の人権を守る活動を進める。 人口割 @2円×40,000人=80,000円
	会議等出席負担金	36,000	部落差別をはじめあらゆる差別問題解消のための活動等に際し、職員の資質向上と課題解決のため講座等に出席した。 人権リーダー養成・部落問題講座出席負担金外1件
03.04.01.03	部落解放・人権政策確立要求須坂市実行委員会負担金	100,000	部落差別をはじめあらゆる人権問題解決のため、人権侵害救済法制定及び人権政策確立の活動を進める。 定額 100,000円
03.04.01.04	長野人権擁護委員協議会負担金	167,628	長野地域内の人権擁護委員との連絡を密にし、人権擁護活動を推進する。 委員割 @2,500円×6人=15,000円 人口割 @3円×50,876人=152,628円
	人権擁護委員活動負担金	72,000	人権擁護委員の資質向上のための活動を支援し、あらゆる人権問題の解消を進める。 委員数 @12,000円×6人=72,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.04.02.02	県隣保館連絡協議会 負担金	98,000	県内隣保館相互の連絡と、隣保事業の効果的な推進を図る。 指導員配置館 98,000円 (長野県隣保館連絡協議会会則の規定による)
	会議等出席負担金	3,000	部落解放同盟須高地区協議会合同旗びらき出席負担金

男女共同参画課 109,018円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.16.01	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会 負担金	109,018	「スマイル・ママ・フェスタ in 須坂」開催のための実行委員会負担金(実費負担分)

農林課 6,166,633円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.07.01	長野森林組合賦課金	43,190	長野森林組合運営賦課金 組合員割 200円 面積割 42,990円
06.01.02.02	全国山村振興連盟 負担金	40,000	全国山村振興事業の推進 普通会費(市町村定額)
	水利組合負担金	90,000	北の沢水利施設維持管理の推進 50,000円 城ヶ鼻水利施設維持管理の推進 40,000円 水利施設維持管理に要する経費を一部負担
06.01.03.01	県営特定農業用管水路等 特別対策事業負担金	196,668	土地改良事業の推進 地域割、組合員割、面積割、 平均割 25%×20%×54.63%
	そば栽培振興事業 負担金	188,800	須坂市農業再生協議会が実施するそば栽培振興 事業に対する負担金 そば栽培振興事業に要する経費を一部負担
	須高農業振興会負担金	40,000	須高地区の農業後継者育成の推進 40,000円 構成団体割
	農業振興事業負担金	88,080	連携中枢都市農業振興事業負担金 地場産品直売所活用事業 28,080円 農業イベント開催事業 60,000円
06.01.03.02	市有害鳥獣駆除対策 協議会負担金	2,330,275	有害鳥獣駆除の推進(緩衝帯整備等) 経費の全額
06.01.03.04	農地情報管理負担金	105,000	長野県農地情報管理センター負担金 面積割、平均割、システム構築割
	会議等出席負担金	13,400	職業紹介責任者講習会出席負担金
06.01.03.05	地域農政特別対策事業 負担金	200,000	市民農園の維持管理、利用申込の受付等 1/2以内 200,000円上限
06.01.03.06	地産地消イベント 実行委員会負担金	254,380	地産地消の推進 須坂の農産物と郷土料理のP R うまいもん祭り実行委員会 300,000円以内
	市グリーンツーリズム 研究会負担金	100,000	グリーンツーリズムの推進 須坂グリーンツー リズムの活動に対する一部負担
	県農産物等輸出事業者 協議会負担金	40,000	県産農産物輸出の推進 自治体会費(市町村定額)
	農産物販路開拓推進事業 負担金	100,000	都市農村交流の推進 信州豊洲連携協議会の活 動に対する一部負担

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
06.01.03.06	会議等出席負担金	139,502	県輸出協議会主催 海外マーケティング研修参加費負担金(内69,751円県輸出協議会より助成)
06.01.04.01	須高家畜防疫協議会負担金	171,000	家畜防疫事業の推進 頭羽数割外
	北信食肉センター管理運営負担金	238,700	(株)北信食肉センターの管理運営費負担金 11市町村保有株式数割
	家畜診療所運営費負担金	1,468,000	家畜診療所設置事業 市町村割 頭数割
06.02.01.09	農林漁業資金償還負担金	78,438	土地改良事業負担金の償還負担金 償還期間24年の24年目分
06.03.01.01	県治山林道協会負担金	1,000	県治山林道事業の推進会費 会員割
	県治山林道協会賦課金	179,200	治山事業費割(事業費の1.8/1,000、1.4/1,000、1.0/1,000) 154,900円 林道事業費割(事業費の1.4/1,000) 24,300円
	千曲川下流域流域林業活性化センター負担金	50,000	北信地域材の生産、流通加工の供給体制整備の促進 市町村割 50,000円
	須高共有林経営改善協議会費	1,000	共有林経営改善の推進 会員一律
	長野県造林協会費	10,000	適正な森林整備の拡大強化に関する対策の推進 会員一律

産業連携開発課 21,121,900円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
05.01.02.02	会議等出席負担金	2,000	須高地区労働者福祉協議会総会
05.01.02.03	須坂職業安定協会負担金	50,000	市内及び北信地区の高校等の進路指導担当者を対象に企業視察及び事業主と情報交換を行い市内企業への就職促進を図る。 人口規模に応じて負担 50,000円
	企業ガイドブック作成負担金	100,000	企業ガイドながの事務局が連携し新規学卒者へ市内企業の求人情報の提供を行う。 人口規模に応じて負担 100,000円
	長野地域若者就職促進協議会負担金	1,032,000	長野地域連携中枢都市圏9市町村が連携し、地域企業の魅力と長野地域で働く魅力を発信。都市圏からUJIターン就職、移住・定住を目的に各種イベントを行う。 事業所数に応じて負担 1,032,000円
	会議等出席負担金	19,400	(公社)全国民間職業紹介事業協会職業紹介責任者受講料 外1件
07.01.02.01	県中小企業振興センター負担金	10,000	中小企業の受注開拓支援を行う。 製造業500企業以下の市 10,000円
	県産業環境保全協会負担金	10,000	環境に配慮した循環型社会の実現に向けて、環境の保全を図る。 賛助会員 10,000円
	会議等出席負担金	40,500	旭豊会総会外7件
07.01.02.05	産業フェア in 信州実行委員会負担金	1,422,000	市内産業を県内外に発信し産業の活性化を図る。 事業所数割472,554円+製造品出荷額割949,691円=1,422,245円(千円未満四捨五入)

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
07.01.02.05	須坂工業ブランド化事業負担金	100,000	ものづくり都市須坂PR事業 産業フェア in 信州出展料 100,000円
	信州須坂フルーツエール推進協議会負担金	18,200,000	須坂産の果実を使用したフルーツエールの製造販売による新規雇用の創出、須坂産の果実のPRによる果樹振興、市内飲食店、温泉施設等での販売による賑わい創出に寄与するため、フルーツエール製造に伴う費用、コンサルタント業務等の費用等を負担する。(事業費の1/2は地方創生推進交付金)
	会議等出席負担金	10,000	産業フェア in 信州実行委員会
07.01.02.06	日本立地センター賛助会費	126,000	(一財)日本立地センターからの情報資料の入手により、企業誘致の促進を図る。 人口5万人以上 140,000円(10%縮減)

商業観光課 185,827,204円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
07.01.02.03	県中小企業団体中央会長野支部負担金	50,000	県中小企業団体中央会長野支部負担金(市町村定額)
	全国まちの駅連絡協議会負担金	102,000	全国まちの駅連絡協議会に参画し誘客を図る。 年会費100,000円(定額:入会金40,000円+年会費60,000円) 新規加入登録料2,000円(@2,000円×1か所)
	地域おこし協力隊活動費負担金	1,000,000	地域おこし協力隊の活動費に対する負担金
	信州須坂まちの駅ネットワーク負担金	27,000	信州須坂まちの駅ネットワーク参加公共施設の活動費負担金 @3,000円×9か所
	会議等出席負担金	20,500	商工会議所新年賀詞交歓会出席負担金外3件
07.01.02.04	プレミアム付商品券事業負担金	82,015,500	使用されたプレミアム付商品券を須坂商工会議所で換金手続きした枚数分負担金 @500円×164,031枚
07.01.03.01	温泉協会賛助会費	4,000	関谷温泉の保護と適正利用を図るため、協会会員との情報交換、調査研究を行う。 (定額)
	県温泉協会負担金	25,000	関谷温泉源泉の管理のための情報交換、調査研究を行う。 (入湯税徴収額に基づく算出基礎額)
	市民無料入浴負担金	8,988,300	市民無料入館券による入浴料並びに福祉浴室の利用料相当分を負担し、市民の健康増進を図る。 市民無料入館券負担分 湯っ蔵んど利用分 6,173,800円 須坂温泉利用分 1,367,500円 湯っ蔵んど福祉浴室利用負担分 1,447,000円
07.01.03.02	観光農業振興事業負担金(信州フルーツ王国振興会)	50,000	観光農業振興事業の推進を図る。 (構成会員と同額)
	上信越ふるさと街道協議会負担金	10,000	当該街道に関係する地域の観光・産業の振興を図る。(市町村定額)
	日本さくらの会賛助会費	10,000	桜の愛護、普及、研究を行う。 (市区定額(賛助会員規定による))

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
07.01.03.02	上田駅観光案内所負担金	278,000	新幹線上田駅観光案内所の運営に参画し、観光案内の充実を図る。 (負担金総額 10,407,000×2.67%)
	須坂みんなの花火大会負担金(実行委員会)	2,000,000	須坂みんなの花火大会の実施により誘客を図る。大会に要する経費の一部を負担。
	須坂カッタカタまつり負担金(実行委員会)	2,657,000	須坂カッタカタまつりの実施により誘客を図る。まつりに要する経費を負担。
	信州須坂大菊花展負担金(実行委員会)	2,000,000	信州須坂大菊花展の実施により誘客を図る。大会に要する経費の一部を負担。
	信州須坂・シルクと蔵のまちツーデーウォーキング負担金(実行委員会)	1,000,000	信州須坂・シルクと蔵のまちツーデーウォーキングの実施により誘客を図る。大会に要する経費の一部を負担。
	恋人の聖地プロジェクト参画負担金(NPO法人地域活性化支援センター)	162,000	恋人の聖地プロジェクトに参画し誘客を図る。 (加盟団体一律定額)
	信州シルクロード連携協議会負担金	10,000	信州シルクロード連携協議会に参画し誘客を図る。 (市町村定額)
	会議等出席負担金	51,500	須坂菊愛好会総会 外8件
地域おこし協力隊須坂温泉負担金	999,679	地域おこし協力隊の活動費に対する負担金	
07.01.03.03	須坂温泉指定避難所整備負担金	73,440,000	指定避難所(須坂温泉古城荘)の耐震補強等工事に係る負担金(前払金相当金額)
07.01.03.60	須坂温泉指定避難所整備負担金(繰越)	7,560,000	指定避難所(須坂温泉古城荘)の耐震補強等工事設計業務に係る負担金
07.01.04.01	共用管理費負担金	2,749,450	シルキー市民プラザに係る共用管理費負担金(面積按分による管理組合請求額)
	暖房料負担金	617,275	シルキー市民プラザに係る暖房料負担金(面積按分による管理組合請求額)

道路河川課 77,827,580円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
04.03.01.05	豊丘ダム整備負担金	38,648,000	豊丘ダム管理に関する協定書に基づく負担金 堰堤改良事業費×13% 1期分 20,322,000円 2期分 18,326,000円
06.02.01.04	土地改良施設維持管理適正化事業費拠出金	1,260,000	40期 塩野ため池施設 720,000円 41期 相之島用水 540,000円 事業費×30%×1/5 計 1,260,000円
	県土地改良連合会賦課金	110,700	適正化事業費割 相之島用水 事業費×1.23% 9,000,000×1.23%=110,700円
06.02.01.05	県土地改良連合会賦課金	104,000	農業基盤整備促進事業 59,000円 土地改良事業割 事業費/1.1×5/1,000 13,000,000/1.1×5/1,000 ≒ 59,000円 農地耕作条件改善事業 45,000円 土地改良事業割 事業費/1.1×5/1,000 10,000,000/1.1×5/1,000 ≒ 45,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
06.02.01.06	県土地改良連合会 賦課金	137,500	市町村割 9,500円 農道台帳管理 19,000円 県営農道整備事業 19,000円 県営事業割 事業費×0.5/1,000 (37,741,000×0.5/1,000≒19,000円) 県営事業割 事業費×0.5/1,000 (200,000,000/1.1) ×0.5/1,000≒90,000円
	県営農村地域防災減災 事業負担金	16,050,000	千曲川沿岸地区相之島地区100,000,000×7.75% =7,750,000円 野下原ため池2号 5,000,000×11%=550,000 千曲川沿岸地区相之島地区100,000,000×7.75% =7,750,000円
	県事業負担金	9,435,250	一般農道整備事業(須高地区) 事業費37,741,000×25%=9,435,250円
06.02.01.07	土地改良施設維持管理 適正化事業費拠出金	240,000	41期 福島北排水機場 240,000円 事業費×30%×1/5 = 240,000円
06.02.01.08	土地改良施設維持管理 適正化事業費拠出金	792,000	43期 福島排水機場 792,000円 事業費×30%×1/5 = 792,000円
06.02.01.60	県営農村地域防災減災 事業負担金	880,000 (繰越)	野下原ため池2号 8,000,000×11%=880,000円
08.01.01.02	長野県道路整備期成 同盟会負担金	44,500	須坂建設事務所管内市町村の土木事業の一部を 共同処理、会員相互の連携、土木事業の促進 会費 2,500円 事業費割 42,000円 計 44,500円
	関東国道協会負担金	36,000	関東甲信地域の国道等の早期整備促進 会費 36,000円
	県用地対策連絡協議会 負担金	3,000	公共用地の取得に関し、関係機関の相互の連絡を 図り用地取得の促進、損失補償に関する調整等 会員割 3,000円
	ラウンドアバウト 普及促進協議会負担金	30,000	ラウンドアバウト(環状交差点)の普及促進活動 会員割 30,000円
	会議等出席負担金	15,000	積算マネジメント研修3名分 参加費 15,000円
08.01.01.03	国道403号(中野・千曲 間)整備促進期成 同盟会負担金	14,000	国道403号(中野・千曲間)の早期整備促進 会員割 4,000円 人口割 1,681円 延長割 7,818円 計 ≒ 14,000円
	千曲大橋(長野市長沼・須 坂市豊洲間)県道建設促 進期成同盟会 負担金	24,000	千曲川の村山橋と小布施橋の中間地に橋梁建設 の早期実現 須坂市40% [60,000×0.4]
	嬭恋高山須坂間県道 整備促進期成同盟会 負担金	30,000	群馬県嬭恋村と須坂市を結ぶ県道の整備促進 会員割 30,000円
	豊野南志賀公園線改良 促進期成同盟会負担金	5,000	豊野南志賀公園線の早期整備促進 会員割 5,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
08.01.01.03	国道406号(白馬・小川・長野・須坂・上田間)整備促進期成同盟会負担金	28,400	国道406号整備促進の早期実現 均等割 7,000円 延長割 21,395円 計 ≒ 28,400円
08.01.02.01	県国土調査推進協議会負担金	28,000	長野県国土調査推進協議会負担金 均等割15,000円 事業費割13,000円
08.02.03.04	県事業負担金	8,545,500	県施行の道路改良事業に対する負担金 工事費×15% 県単道路改築事業(国)406号(仁礼町) 8,545,500円
08.03.01.02	千曲川改修期成同盟会負担金	109,000	千曲川沿岸の高水及び低水護岸の改修促進 会員割 13,750円 人口割 15,153円 受益面積割 10,776円 事業費割 69,394円 計 ≒ 109,000円
	長野県治水砂防協会負担金	221,000	治水砂防事業の推進 均等割 10,000円 事業費割 201,000円 全国治水砂防協会費 10,000円 計 221,000円
	千曲川堤防対策期成同盟会負担金	150,000	千曲川沿岸の本堤防及び低水護岸の早期強化改修の促進 須坂市100%
	長野県河川協会負担金	14,000	河川事業の推進 会員割 2,000円 事業費割 12,000円 計 14,000円
08.03.01.03	県事業負担金	862,730	急傾斜崩壊対策事業(大谷町) 事業費×5% = 862,730円
08.04.02.01	全国街路事業促進協議会負担金	10,000	街路事業の速やかな整備・充実を図る 人口割(人口5万人以上~10万人未満)

まちづくり課 10,417,888円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
08.04.01.02	都市計画協会負担金	123,000	都市計画に係る知識の普及と都市計画事業の推進を図るため 基本額(人口5万人~10万人) 114,000円 補正額(道路延長等による) 9,000円
	長野県都市施設協会会費及び事業割負担金	32,000	都市計画事業に関する調査研究と事業推進を図るため 基本会費2,500円 (まちづくり課750円・水道局1,750円) 750円 人口割(1人0.75円) 37,300円×1/2(下水道と折半) 18,650円 事業割負担金 街路区画整理事業 12,600円
	会議等出席負担金	15,600	第71回都市計画全国大会出席負担金
08.04.01.04	蔵の町並みキャンパス事業負担金	900,000	蔵の町並みキャンパス事業の推進を図るため
08.04.03.01	会議等出席負担金	29,300	遊具の日常点検講習会出席負担金他2件

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
08.04.03.02	全日本花いっぱい連盟 負担金	8,000	花と緑のまちづくり事業の推進を図るため 法人会費一律 8,000円
	日本花の会負担金	50,000	桜の保護、保全のため 法人会費一律 50,000円
	ゆるキャラグランプリ 出展負担金	49,940	基本ブース代 35,000円 追加パス 550円×8枚=4,400円 駐車券 1,500円×4枚=6,000円 消費税 4,540円
08.04.04.02	会議等出席負担金	15,800	都市公園等における遊具の日常点検講習会出席 負担金他2件
08.04.04.03	みんなで支える里山整備 事業負担金	56,808	長野県森林づくり県民税みんなで支える里山整 備事業の負担金 事業費 531,108円-補助金 474,300円(補助率 9/10) =負担金 56,808円
08.04.04.04	日本動物園水族館協会 負担金	240,000	動物園・水族館の相互連携を密にし、管理運営等 の調査研究を行うため 正会員(定額) 240,000円
	会議等出席負担金	51,000	日本動物園水族館協会中部ブロック園館長会議 出席負担金外7件
	水道事業分担金	484,000	口径変更に伴う水道分担金(25mmから40mmへ変 更)
08.05.01.02	水道事業分担金	8,362,440	市営住宅屋部団地Y棟の水道分担金

会計課 2,401,400円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.05.01.02	被災者無料入浴負担金	2,401,400	被災者及びボランティアが無料で入浴ができる よう入浴料金相当額を負担金として支出 須坂温泉 987,000円 被災者 延 1,651人 ボランティア 延 323人 湯つ蔵んど 1,414,400円 被災者 延 1,978人 ボランティア 延 821人

学校教育課 20,487,481円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.02.06.03	会議等出席負担金	24,500	児童厚生員等基礎研修会 @24,500×1人
10.01.01.01	県都市教育委員会 連絡協議会負担金	31,000	県内各市の教育行政に関する教育委員会の連絡 調整 人口5万人以上10万人未満
	県市町村教育委員会 連絡協議会負担金	110,220	県内市町村の教育行政に関する教育委員会の連 絡調整 人口割 80,000円 教委割 28,000円 時報市町村割 2,220円
	女性教育委員連絡 協議会負担金	10,000	県内女性教育委員連絡協議会負担金 @ 5,000×2人=10,000円
	会議等出席負担金	11,000	県市町村教育委員会連絡協議会負担金外2件

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.01.02.02	県自家用自動車協会負担金	7,900	健全な車社会の発展に寄与する事業及び会員の利益利便を図る施策を推進するための県自家用車自動車協会負担金 平等割 100円 車輛割 1,800円 安全協会費 6,000円
	郡市PTA研究集会開催後援負担金	20,000	上高井郡市PTA連合会研究集会開催に伴う負担金(市20,000円、町村各10,000円)
	須高危険物・防火管理者協会負担金	3,000	危険物・防火管理者協会負担金
	会議等出席負担金	58,400	安全運転管理者講習会負担金外8件
10.01.03.01	県へき地教育振興協議会負担金	4,300	山間地の教育の充実と振興を図るための協議会負担金
	市教職員研修負担金	130,000	教職員会研修の講演会経費の負担金
	特色ある教育・学校づくり推進事業負担金	6,080,000	各学校が独自性をもって取り組む、信州型CSの運営・学習活動の他、学校環境づくり、課外活動等の事業を計画し、特色ある教育・学校づくりを推進するための負担金 @310,000×小学校11校=3,410,000円 @610,000×中学校4校=2,440,000円 @230,000×支援学校1校=230,000円
	ふれジョブ活動負担金	400,000	@100,000×4地区=400,000円
	自然体験学習宿泊費負担金	2,164,000	小学校5年生峰の原高原自然体験学習の際のペンション利用負担金 児童434人 @5,000円×432人+@2,000×2人
	児童・生徒平和学習事業負担金	514,957	生徒8人 引率教諭1人(広島)
	学校寄席事業負担金	200,000	日滝小学校、旭ヶ丘小学校、須坂小学校(須坂支援学校含)、豊洲小学校で、落語家と切り絵芸者の2人による学校寄席を開催するための負担金 @50,000×4校=200,000円
10.01.03.07	峰の原高原児童生徒通学費負担金	111,491	児童3人、生徒2人 (燃料単価@136×距離×通学日数)
10.02.01.01	教科研究会負担金外	1,675,292	小学校長会負担金 @76,900×11校+7,000=852,900円 県視覚・放送教育研究会負担金 @14×2,632人=36,848円 教科研究会負担金 @2,500×177人=442,500円 上高井視聴覚教育協議会負担金 @90×2,632人=236,880円 須高地区教科用図書採択研究協議会負担金 106,164円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.02.01.01	上田市委託児童負担金	641,000	2019年度分 @313,016×3人=939,000円 2018年度精算分(不足額) @△74,500×4人=△298,000円
10.03.01.02	教科研究会負担金外	1,135,532	中学校長会負担金 @128,300×4校=513,200円 教科研究会負担金 @2,500×93人=232,500円 県視覚・放送教育研究会負担金 @14×1,283人=17,962円 県中学校体育連盟負担金 @200×1,282人=256,400円 上高井視聴覚教育協議会負担金 @90×1,283人=115,470円
	上田市委託生徒負担金	1,328,000	2019年度分 @701,229×2人=1,402,000円 2018年度精算分(不足額) @△37,000×2人=△74,000円
10.04.01.01	教科研究会負担金外	115,116	特別支援学校長会負担金 @62,100×1校=62,100円 教科研究会負担金 @2,500×20人=50,000円 県視覚・放送教育研究会負担金 @14×29人=406円 上高井視聴覚教育協議会負担金 @90×29人=2,610円
10.07.01.02	学校医会負担金	20,000	須高学校医会負担金 20,000円
	長野地区市町村合同結核対策委員会負担金	10,000	長野地区市町村合同結核対策委員会負担金 10,000円 事務局：千曲市
	ストレスチェック負担金	33,858	教職員ストレスチェック負担金 327人分
10.07.01.03	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	3,701,165	学校の管理下における災害に対し、医療費等を給付するための共済掛金 一般世帯 @935×3,433人=3,209,855円 準要保護世帯 @935×495人-控除24,380円=438,445円 要保護世帯 @55×16人-控除160円=720円 前年度途中加入者 @945×12人=11,340円 市外学校通学世帯(信大附属、菅平) @460×62人=28,520円 学校法人長野日本大学学園 @455×27人=12,285円
	県都市学校保健会負担金	58,000	長野県学校保健会負担金 18,000円 須高学校保健会負担金 40,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.07.04.02	県学校栄養士部会 負担金	16,000	全国栄養士協議会負担金 @6,000×2人=12,000円 県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会負担金 @2,000×2人=4,000円
	つながる食育推進事業 関連研修会負担金	16,000	「食育の評価につなげるための調査方法」 研修会参加者負担金 @4,000×4名=16,000円
10.07.04.03	下水道 受益者負担金	1,856,750	下水道事業受益者分担(負担)金

子ども課 600,775,548円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
03.02.01.05	県家庭児童相談員 連絡協議会負担金	3,000	県家庭児童相談員連絡協議会負担金 @1,000×3人=3,000円
03.02.02.01	保育所運営費負担金	472,820,050	市内7私立保育園、市外の公立・私立保育園等 11園への保育実施に係る負担金
	施設等利用給付費	120,000	幼児教育・保育無償化に係る認可外保育施設への 給付費
03.02.03.02	日本スポーツ振興 センター共済掛金 負担金	358,050	保育中の園児の怪我等に対する補償のための保 険料 一般会員 @365×913人=333,245円 (人数:令和元年5月1日の園児数) 要保護会員 @55×1人=55円 前年度追加会員 @375×66人=24,750円 (人数:平成30年度途中入所園児数)
	保育園連盟負担金	145,800	須坂市保育園連盟負担金 施設割 @5,000×10園=50,000円 県社協会費 @500×10園=5,000円 園児割 @100×908人(4/1現在) =90,800円
	会議等出席負担金	167,000	新任保育士研修会負担金外9件
03.02.03.04	病児等保育事業負担金	11,847,000	さかた山風の子保育園及びやすらぎ病児保育園 に委託している病児・病後児保育実施に係る負担 金(国庫補助単価額)
03.02.04.02	会議等出席負担金	30,000	ファミリーサポートネットワーク全国講習会負 担金 30,000円
10.05.01.01	施設等利用給付費	12,689,360	幼児教育・保育無償化に係る幼稚園等への教育認 定児童の施設への給付費
10.05.01.03	施設型給付負担金	102,513,288	市内2認定こども園、市外4認定こども園、2幼 稚園への教育認定児童の施設型給付施設に係る 負担金
10.06.06.03	県青少年補導委員会 連絡協議会負担金	30,000	県内16市補導委員会の連携を図るための協議会 負担金 18,000円 県青少年補導センター所長・同補導委員長等研 修会参加負担金 @6,000×2人=12,000円
	県青少年補導センター 連絡協議会負担金	12,000	県内19市補導センターの連携を図るための協議 会負担金 12,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.06.06.03	会議等出席負担金	40,000	北信ブロック青少年補導委員会正副会長・事務局担当者合同会議負担金 @5,000×8人=40,000円

人権同和教育課 835,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
10.08.01.02	会議等出席負担金	35,000	人権リーダー養成・部落問題講座外3件
10.08.03.01	人権のまちづくり推進会議負担金	800,000	人権のまちづくり推進会議の活動支援を図る(所属団体33団体)

議会事務局 712,500円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
01.01.01.03	全国市議会議長会負担金	421,000	地方自治の本旨に沿い、都市の興隆発展を図る。 均等割 261,000円 人口割 160,000円(5万人以上10万人未満)
	北信越市議会議長会負担金	52,000	北信越5県(新潟・長野・富山・石川・福井)の市議会議長をもって組織し、地方自治の本旨に沿い、都市行財政の各般にわたり調査研究し、北信越各市の伸長発展に寄与するとともに各市相互の意思の疎通を図る。 人口割 52,000円(5万人以上15万人未満)
	北信越市議会議長会慶弔基金負担金	2,000	会員相互の親睦を図るため、会員の慶弔及び震災等の際し、規定により金品を贈る。
	長野県市議会議長会負担金	40,000	市政に関する調査研究を行い、各市が協力して都市の興隆を図り、もって地方自治の健全な発達を期する。 人口割 40,000円(5万人以上10万人未満)
	全国広域連携市議会協議会負担金	15,000	広域連携を推進するとともに、要望事項の実現を図るため、政府並びに国会に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行う。(175市加盟 2019.4.1現在) 均等割
	北信3市議会正副議長会開催市負担金	30,000	北信3市に関する調査研究を行い、3市の伸長発展に寄与するとともに、相互の意思疎通を図る。(年2回開催のうち1回を須坂市で開催) 支出額から出席者負担金を除いた額(66,000円-36,000円)
	須高市町村議会正副議長会開催市負担金	20,000	須高3市町村に関する調査研究を行い、3市町村の伸長発展に寄与するとともに、相互の意思疎通を図る。(年2回開催のうち1回を須坂市で開催) 支出額から出席者負担金を除いた額(55,000円-35,000円)
	会議等出席負担金	132,500	北信越市議会議長会定期総会出席負担金外7件

消防本部

34,522,393 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
09.01.01.02	全国消防長会負担金	163,400	全国消防の融和協調を図り、消防制度及び技術の総合的研究を行い発展に資する。 平等割 27,000 円 定員割 12,000 円 人口割 124,400 円
	全国消防協会負担金	51,200	(公財) 全国消防協会は災害防除に関する研究及び防災思想の普及を推進し、消防職員の教養を高める。 都市割 32,600 円 会員割 18,600 円
	全国消防長会関東支部負担金	24,000	全国消防長会関東支部として関東地区における消防本部の相互連携を図る。 平等割 10,000 円 定員割 8,000 円 人口割 6,000 円
	県消防長会負担金	335,920	県内消防の連絡協調を図り、採長補短、もって消防の育成強化発展に資する。 均等割 8,000 円 職員数割 13,020 円 人口割 5,000 円 救助大会負担金 30,000 円 緊急消防援助隊負担金 20,000 円 熱傷学会負担金 2,000 円 合計 78,020 円 第 48 回救助技術関東地区指導会(陸上の部)開催に伴う分 基本割 50,000 円 定員制 207,900 円 合計 257,900 円
	県高速道路消防連絡協議会負担金	8,000	道路管理者、消防及び警察が、高速道路上における災害に迅速的確な対応連携を図る。 関係各消防本部平等割 8,000 円
	県自家用自動車協会須高支部負担金	12,200	陸運行政・警察行政と連携し、交通道德の普及高揚を図る。 平等割 100 円 車両割 2,100 円 安全運転管理者割 10,000 円
	県消防学校入校負担金	651,370	県消防学校への研修を通して高度専門的な消防関係技術等の修得を目指すもの。 各科入校負担金 8 科 15 人
県消防防災航空隊派遣職員人件費負担金	1,350,800	長野県消防防災航空隊へ派遣する職員に係る人件費分を県内各市町村で負担する。 基準財政需要額割 610,900 円 人口割 739,900 円	
長野地域メディカルコントロール協議会負担金	128,300	病院前救護に係る医療機関との連絡調整、指示体制の整備検証を支援する。 本部数割 12,000 円 委員、検証医等人数割 99,800 円 救急出動件数割 16,500 円	

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠	
09.01.01.02	須高地区山岳遭難防止対策協会負担金	617,000	上信連峰における山岳入山者の遭難防止を図る。 (事業費 930,000 円に対する隊員割) 隊員割 350,000 円 装備品 267,000 円	
	無線中継施設共同利用経費負担金	553,048	長野市との無線設備等の共同利用に関する協定書に基づく按分率、使用実績等により算出した負担額。 保守・障害対応 471,951 円 電気料・施設維持 81,097 円	
	県防災行政無線保守管理負担金	20,611	県により設置されている設備の保守管理に係る負担金(2分の1負担) パソコン・プリンタ等整備 13,981 円 保守点検費用 6,630 円	
	出動経費負担金	186,456	小布施分署から須坂市北部地域に救急第一出動した経費に対する負担金(出動件数 10 件)	
	多言語コールセンター負担金	20,000	県で設置している外国人との3者通話を可能としたコールセンター利用負担金 1 消防本部あたり 20,000 円	
	会議等出席負担金	223,520	安全運転管理者講習出席負担金 外 3 件	
	09.01.02.01	退職消防団員報償負担金	16,915,200	消防団員の退職報償支給に係る掛金 @19,200×881 人 16,915,200 円
09.01.02.02	須高消防協会負担金	799,400	須高地区の防災思想を普及徹底し、消防施設の改善と防災活動の強化を図るとともに、消防団員の福祉増進に寄与する。 団員数割 173,818 円 世帯数割 521,559 円 均等割 104,000 円 合計 799,377 円 (負担金額は合計額 100 円未満を四捨五入)	
	消防団員等公務災害補償負担金	1,851,437	消防団員の損害補償に係る掛金 非常勤消防団員に係る分 @1,900×881 人 1,673,900 円 消防作業従事者等に係る分 @2×50,725 人 101,450 円 水防従事者に係る分 @1.5×50,725 人 76,087 円	
	県消防学校入校負担金	33,670	県消防学校への研修を通して高度専門的消防関係技術等の修得を目指す。 3科8人	
	消防用設備等設置負担金	4,029	消防団第1分団1部器具置場・穀町公会堂(同一棟)の自動火災報知設備の維持管理負担金 4,029 円	
	無線局電波利用料金負担金	20,587	活動上の指揮命令統制及び情報収集用無線局の電波利用 @450×36 台 (@450×13 台) /12月×9月	
	会議等出席負担金	112,000	長野県都市消防長消防団長事務主任者会議負担金 外 1 件	
	09.01.03.01	消火栓設置維持管理負担金	10,440,245	消火栓設置維持管理負担金 設置 15 基 9,059,969 円 維持管理(修繕) 6 基 1,380,276 円

農業委員会事務局 275,000 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額 (円)	目的及び根拠
06.01.01.03	19 市農業委員会協議会負担金	10,000	県内 19 市の農業委員会相互の連携を密にし、調査研究を行なう。 均等割 10,000 円
06.01.01.04	須高地区農業委員会協議会負担金	212,000	須高地区の農業委員会相互の連携を密にし、委員研修等を行なう。 均等割 28,500 円 農家戸数割 96,700 円 耕作面積割 86,800 円
	会議等出席負担金	53,000	19 市農業委員会協議会通常総会 会議出席負担金@5,000×6 人=30,000 円 宿泊費負担金@10,000×2 人=20,000 円 長野県農業委員会女性協議会 負担金@1,500×2 人=3,000 円

選挙管理委員会事務局 1,804,529 円

款・項・目・事業	負担金名	決算額 (円)	目的及び根拠
02.04.01.02	全国市区選挙管理委員会連合会負担金	27,600	全国各市区の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 19,000 円 人口割 8,600 円 (0.17 円×50,878 人)
	全国市区選挙管理委員会連合会北信越支部負担金	9,300	北信越各市の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 5,000 円 有権者割 4,300 円 (0.10 円×42,570 人)
	長野県選挙管理委員会連合会負担金	6,100	県内各市町村の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 1,000 円 有権者割 5,100 円 (0.12 円×42,570 人)
	長野県 19 市選挙管理委員会連合会負担金	11,400	県内各市の相互連携を図り、選挙の執行管理の適正化に努める。 均等割 5,000 円 有権者割 6,400 円 (0.15 円×42,570 人)
	長野県 19 市選挙管理委員会連合会総会開催市負担金	100,000	長野県 19 市選挙管理委員会連合会総会開催に係る事務費等
	会議等出席負担金	30,000	長野県 19 市選挙管理委員会連合会総会出席者負担金外 2 件
02.04.02.04	選挙運動用はがき郵送料負担金	964,152	令和 2 年 1 月 19 日執行の須坂市長選挙における選挙公営 ・選挙運動用はがき郵送料負担金 2 人 964,152 円 公職選挙法第 142 条
	選挙運動用自動車使用公営費負担金	294,482	令和 2 年 1 月 19 日執行の須坂市長選挙における選挙公営 ・選挙運動用自動車借上負担金 2 人 187,460 円 ・選挙運動用自動車燃料使用負担金 2 人 37,022 円 ・選挙運動用自動車運転手雇用負担金 1 人 70,000 円 須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.04.02.04	選挙運動用ポスター作成公費負担金	361,495	令和2年1月19日執行の須坂市長選挙における選挙公営 ・選挙運動用ポスター作成負担金 1人 128,535円 須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例 ・選挙運動用ビラ作成負担金 2人 232,960円 須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例

監査委員事務局 33,000円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.06.01.02	全国都市監査委員会負担金	23,000	全国各自治体の相互連携を密にし、監査行政の適正化と委員の資質向上を図る。 均等割 10,800円 人口割 12,600円 調整額 △400円 23,000円
	東海地区都市監査委員会負担金	4,000	東海地区各自治体の相互連携を密にし、監査行政の適正化と委員の資質向上を図る。 均等割と人口割額の計
	会議等出席負担金	6,000	東海地区都市監査委員会総会・研修会出席者負担金外1件

公平委員会事務局 88,600円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
02.01.10.01	全国公平委員会連合会負担金	31,000	全国各自治体の相互連携を密にし、公平委員会の適正化と委員の資質向上を図る。 人口段階別
	全国公平委員会連合会北信越支部総会・研究会開催県連負担金のうち須坂市の負担分	12,100	人口割 4,200円 均等割 7,900円
	会議等出席負担金	45,500	長野県公平委員会連合会総会・研究会出席者負担金外3件

イ 特別会計 691,103,547円

国民健康保険特別会計 5,370,095円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
01.01.01.01	長野県国保地域医療推進協議会会費	7,000	(社)長野県国保地域医療推進協議会への会費 1会員 7,000円
01.01.02.01	連合会負担金	1,972,199	長野県国民健康保険団体連合会一般負担金 平等割 112,000円 被保険者数割 1,222,020円 事業割 638,179円
04.01.01.01	保健補導員会研修費負担金	3,113,896	保健補導員会の研修活動に対する負担金 12,000円×263人(42,104円返金)
	保健補導員会広報費負担金	200,000	保健補導員会の広報活動に対する負担金 保健補導員だより 100,000円×2回分

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
04.01.01.01	保健補導員経験者 研修費負担金	75,000	保健補導員経験者の研修に対する負担金 各町OB会 75,000円×1回
	会議等出席 負担金	2,000	長野県国保地域医療学会出席負担金

井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計 1,030,490円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
01.01.01.01	須坂市観光協会負担金	20,000	観光振興のため(定額)
	長野森林組合賦課金	10,490	組合員割 200円 面積割 200円×51.42ha 10,290円
	井上、幸高、九反田、 中島共有山林 管理委員会負担金	1,000,000	造林事業費等負担金(定額)

介護保険特別会計 11,163,126円

款・項・目・事業	負担金名	決算額(円)	目的及び根拠
01.02.01.01	保険料特別徴収に係る 経由機関業務負担金	111,706	特別徴収業務負担金 第1号被保険者15,958人×単価7.00円
01.03.02.01	長野広域連合負担金	10,615,000	介護認定審査に係る負担金 審査件数割(90%) 均等割(10%)
03.03.01.01	全国地域包括・在宅介護 支援センター運営協議会 負担金	20,000	全国地域包括・在宅介護支援センター協議会会費 (一律) 20,000円
	県高齢者福祉協議会 負担金	15,000	県高齢者福祉事業協会会費(一律) 15,000円
	会議等出席負担金	9,000	全国地域包括・在宅介護支援センター研修会負担 金(1名分) 9,000円
03.03.03.01	会議等出席負担金	215,940	介護支援専門員再研修受講料(1名分) 41,600円 主任介護支援専門員研修受講料(1名分) 47,200円 介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ)受講 料(1名分) 34,060円 主任介護支援専門員更新研修受講料(1名分) 56,400円 介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)受講 料(1名分) 18,340円 介護支援専門員更新研修受講料(1名分) 18,340円
03.03.04.01	会議等出席負担金	60,480	介護相談員現任研修参加費(2名分) 60,480円

款・項・目・事業	負担金名	決算額 (円)	目的及び根拠
03.03.07.01	会議等出席負担金	116,000	認知症初期集中支援チーム員研修受講料 (1名分) 40,000円 認知症地域支援推進員研修受講料 (2名分) 76,000円

後期高齢者医療特別会計 673,539,836円

款・項・目・事業	負担金名	決算額 (円)	目的及び根拠
02.01.01.01	後期高齢者医療 広域連合納付金	673,539,836	徴収した後期高齢者医療保険料及び保険基盤安 定事業繰入金を納付する。 後期高齢者医療保険料 554,459,270円 保険基盤安定事業繰入金 119,080,566円

(2) 補助金・交付金

ア 一般会計 1,843,790,366 円

総務課 57,070 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
02.01.01.03	職員自己啓発研修助成金	57,070

政策推進課 7,148,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
02.01.14.01	結婚新生活支援事業補助金	1,835,000 (交付件数8件)
02.01.15.01	自治体中間サーバー運営交付金	5,313,000

財政課 4,569,537 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04.03.01.04	水道事業会計補助金	4,569,537

福祉課 171,601,642 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03.01.01.02	生活福祉資金償還金利子補給金	13,855
03.01.01.03	社会福祉協議会活動事業補助金	48,620,601
	福祉のまちづくり推進事業補助金	3,988,844
	福祉輸送サービス事業補助金	4,382,068

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
職員の自己啓発能力と資質の向上に寄与するため、職員が自主的に資格を取得するための経費に対し、助成金を交付する。 (須坂市職員自主学習促進助成金交付要綱) 5人 日商 PC 検定データ活用3級 1人 (1/2) 2,570円 Cubic ハステル・アート ファシリテーター 1人 (1/2) 20,000円 キャリアコンサルタント 1人 (1/2) 10,000円 小型移動式クレーン運転技能講習・玉掛け技能講習 1人 (1/2) 20,000円 ファイナンシャルプランニング技能士3級 1人 (1/2) 4,500円			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
結婚に伴う新生活を支援して少子化対策を推進するため、補助金を交付する。 須坂市結婚新生活支援事業補助金交付要綱			
地方公共団体情報システム機構の特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金 地方公共団体情報システム機構法第33条及び地方公共団体情報システム機構定款第37条第1項第3号による費用負担			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
峰の原水道事業で借り入れた辺地対策事業債の償還金補助 地方交付税措置分 (元利償還金の80%)			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
低所得世帯等の生活の安定を図るため、生活福祉資金の借入金の償還者に対して、補助する。 補助率 1/2 以内 対象者 6人 13,855円 須坂市生活福祉資金利子補給金交付要綱			
民間社会福祉事業の育成と公的社会福祉事業の補完を図るため補助金を交付する。 須坂市社会福祉協議会活動事業補助金交付要綱	78,082,509	74,853,557	65.0
社会福祉協議会のボランティア活動の育成、充実を図るため補助金を交付する。 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	4,394,414	4,394,414	90.8
須坂市社会福祉協議会が実施する福祉輸送サービス事業の適正な事業運営のために補助金を交付する。 須坂市福祉輸送サービス事業補助金交付要綱	4,928,968	4,928,968	88.9

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
03.01.01.03	保護司会活動事業補助金	80,000
	社会事業授産施設運営事業補助金	8,088,000
	社会事業授産施設通所費等補助金	469,430
	民生児童委員等交付金	7,824,340
03.01.02.01	心身障害者扶養共済加入掛金補助金	188,424
	障害者にやさしい住宅改好事業補助金	936,000
	手話通訳上級講座受講費補助金	23,289
	福祉車両購入費補助金	120,000
	希望の旅事業補助金	100,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
保護司会の活動の充実を図るため補助金を交付する。 須坂市保護司会活動事業補助金交付要綱	102,000	102,000	78.4
授産施設を運営する事業に要する経費のうち、対象経費の実支出額から施設事務費その他の収入の金額を控除した額又は人件費のいずれか低い額を限度とし補助する。 (福) 夢工房福社会 8,088,000円 須坂市授産施設運営事業補助金交付要綱	15,240,189	15,240,189	53.1
授産施設利用者の経済的負担軽減と自立促進のため、授産施設への通所に要する公共交通機関の通所経費に対して補助金を交付する。 6人 469,430円 須坂市授産施設通所費補助金交付要綱			
民生児童委員活動費及び地区協議会活動費等の交付 地区民生児童委員協議会運営費 665,210円 @ 5,590(年額) × 119人 = 665,210円 民生児童委員活動費 7,016,090円 @59,000(1人当たり年額) 再任委員 39人 = 2,301,000円 退任委員 80人 = 3,147,200円 新任委員 80人 = 1,567,890円 地区会長活動費 143,040円 @11,920(年額) × 12人 = 143,040円 民生委員児童委員交付金取扱要領(長野県)			
長野県重度心身障害者扶養共済制度の加入者に、補助金を交付する。 市民税非課税世帯 共済掛金の5/10 2人 38,400円 市民税均等割課税世帯 共済掛金の2/10 1人 43,008円 2人以上給付世帯 共済掛金の2/10 1人 18,816円 その他の世帯 共済掛金の1/10 3人 88,200円 須坂市中心身障害者扶養共済掛金給付金支給要綱			
重度身体障害者の福祉の増進を図るため、住宅整備に要する経費に対し、補助金を交付する。 @630,000円 × 1件 @306,000円 × 1件 須坂市障害者にやさしい住宅改良事業補助金交付要綱			
(福) 長野県聴覚障害者協会が主催する手話通訳養成講座の受講に要する経費の内、受講料・テキスト代の全額、交通費の半額を補助する。 受講者 1名 須坂市手話通訳者等養成事業補助金交付要綱			
下肢、体幹機能障害1級または2級の障害児者で、車いすの給付判定を受けた者が乗り降りしやすい車両の購入に対し補助する @60,000 × 2人 = 120,000円 須坂市身体障害者福祉車両購入費補助金交付要綱			
重度心身障害者希望の旅事業補助金 10月29日 新潟県新潟市 参加者 22人 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	310,400	310,400	32.2

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
03.01.02.01	心身障害児(者)通園費等補助金	643,791
	軽度・中等度難聴児補聴器購入費補助金	88,000
03.01.02.02	身体障害者用自動車改造費補助金	100,000
	身体障害者自動車運転免許取得助成事業補助金	100,000
03.02.07.01	母子・父子家庭親子の集い補助金	460,000
03.05.01.01	被災者生活再建支援金	95,375,000

高齢者福祉課

33,165,521 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
03.01.03.03	宅老所緊急宿泊支援事業補助金	44,000
	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	86,120
	介護保険社会福祉法人軽減事業補助金	167,478

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
県内の心身障害児・者施設に通園、通所又は入所している児・者及びその介護者等が通園、通所等に要する経費に対し補助する。 共同作業訓練施設等通所対象者 33人 538,259円 精神障害者授産施設等通所対象者 15人 105,532円 須坂市心身障害児・者通園費等補助金交付要綱			
補装具支給制度に該当しない軽度・中等度難聴児の補聴器の購入に要する経費の一部を補助する。 @12,000×1人= 12,000円 @53,000×1人= 53,000円 @23,000×1人= 23,000円 須坂市軽度・中等度難聴児補聴器購入費等補助金交付要綱			
身体障害者が運転する自家用車にバリアフリー対応の改造工事に対して補助する。 @100,000×1人= 100,000円 須坂市身体障害者用自動車改造費補助金交付要綱			
身体障害者の運転免許取得に対して補助する。 @100,000×1人= 100,000円 須坂市身体障害者自動車運転免許取得助成事業補助金交付要綱			
母子家庭及び父子家庭における親と子、家庭どうしの交流を目的として、東京ディズニーリゾートへのバス旅行を実施するにあたって補助する。 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	936,600	936,600	49.1
自然災害によりその居住する住宅に著しい被害を負った世帯のうち、被災者生活再建支援法に基づく被災者生活再建支援金の支給対象とならない世帯の生活の早期再建を支援するため、支援金を支給する 単身世帯 @375,000×53世帯 = 19,875,000円 複数世帯 @500,000×151世帯 = 75,500,000円 須坂市被災者生活再建支援金支給要綱			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
介護者の急病等緊急な理由で、家庭で介護を受けることができない場合に、宅老所に宿泊した費用の一部を補助し、経済的負担の軽減と福祉の増進を図る。 宿泊費（食事代、入浴費用、送迎費用除く）の80%、 限度額4,000円 須坂市宅老所緊急宿泊等支援事業実施要綱			
住宅等の改良に要する経費を補助し、寝たきり老人等の日常生活の利便を図る。 須坂市高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金交付要綱 補助率9/10 対象経費70万円限度			
介護保険で社会福祉法人等が行う生活困難者に対する利用者負担の軽減事業に助成し、円滑利用を図る。 須坂市社会福祉法人等による利用者負担軽減事業補助金交付要綱			

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
03.01.03.03	特別地域加算軽減措置事業補助金	25,696
03.01.03.04	シニアクラブ連合会活動費交付金	745,000
	老人クラブ活動費交付金	1,336,000
	老人福祉センター運営費補助金 (永楽荘)	16,222,227
	シルバー人材センター運営費補助金	14,408,000 (うち、須坂市分 9,458,000)
	高齢者自動車燃料費補助金	131,000

健康づくり課 8,338,738 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
04.01.02.04	後期高齢者人間ドック受診補助金	7,800,000
04.01.03.01	妊婦健康診査補助金	459,738
	産婦健康診査補助金	79,000

市民課 94,419,900 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
02.01.11.01	県民交通災害共済組合加入事務交付金	728,900

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
介護保険で社会福祉法人等が行う振興山村等地域における訪問介護の特別地域加算に係る利用者負担の減額事業に助成し、円滑利用を図る。 特別地域加算に係る訪問介護利用者負担減額に対する助成事業実施要綱			
シニアクラブ連合会の活動を助成し、老人福祉の向上を図る。 須坂市単位老人クラブ等活動交付金交付要綱	1,515,157	1,262,795	59.0
老人クラブの活動を助成し、老人福祉の向上を図る。 1クラブ 15,000円～87,000円 9ランク (25クラブ) 須坂市単位老人クラブ等活動交付金交付要綱	13,146,209	9,569,483	14.0
高齢者の憩いの場として、相互の交流を深め、生きがいと健康づくりを図る。 須坂市ふれあい地域福祉事業補助金交付要綱	18,022,051	18,022,051	90.0
高齢者の労働能力活用と社会参加による生きがいの充実を図る。 須坂市シルバー人材センター運營業務補助金交付要綱	342,073,739	339,313,115	4.2
峰の原高原に居住する高齢者が使用する自家用車の燃料の一部を助成し、社会活動の範囲を広め福祉の増進を図る。 年間1人3,000円 (44人) 須坂市峰の原高原高齢者自動車燃料費助成事業実施要綱			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
後期高齢者の人間ドック受診を補助 半日又は1日 15,000円×386人=5,790,000円 1泊2日又は2日間通院 30,000円×67人=2,010,000円 須坂市人間ドック受診補助金交付要綱			
妊婦一般健康診査の適切な受診を促し、母子の健康保持増進を図るため、里帰り出産等により長野県外の病院及び診療所並びに長野県内外の助産所で受診する妊婦健診に要する経費に対し補助 里帰り出産 延111人 須坂市里帰り出産等妊婦健診受診補助金交付要綱			
産婦健康診査の適切な受診を促し、産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、里帰り出産等により長野県外の病院、診療所及び助産所で受診する産婦健診に要する経費に対し補助 里帰りにて産婦健診受診 延16人 須坂市里帰り出産等産後健診受診補助金交付要綱			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
県民交通災害共済加入にかかる事務費を各区及び幼稚園等に交付し、加入の促進を図る。 一般会員 加入数 24,130人×30円= 723,900円 団体会員 " 500人×10円= 5,000円			

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
02.01.11.02	鉄道軌道輸送対策事業補助金	13,000,000
02.01.11.02	屋代線代替交通補助金	8,950,000
02.01.11.03	防犯灯設置補助金	2,983,000
02.01.13.02	事務機器等設置事業補助金	669,000
02.01.13.02	公会堂建設事業補助金	17,978,000
02.01.13.02	一般コミュニティ助成事業補助金	4,700,000

目 的 及 び 根 拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収 入 (円)	支出B (円)	
長野電鉄株式会社が実施する鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 に要する費用を助成する。 須坂市補助金等交付規則 事業費 533,276,330 円 (内訳) 国 121,608,273 円 県 60,790,000 円 (A)市 13,000,000 円 他市町村 47,790,000 円 事業者 290,088,057 円	533,276,330	533,276,330	2.4
屋代線代替バス運行事業に要する費用を助成する。 須坂市屋代線代替交通事業費等補助金交付要領 事業費 155,808,770 円 (内訳) 国 10,292,500 円 県 10,292,500 円 (A)市 8,950,000 円 他市 63,818,414 円 収益他 62,455,356 円	155,808,770	155,808,770	5.7
区が行う防犯灯設置事業に要する経費を助成する。 須坂市防犯灯設置要綱 沼目町外 57 町 224 灯 補助率 1/2 以内	2,983,000	8,416,173	35.4
区の事務機器の購入により区の行政効率を高める。(9町9件) 須坂市事務機器等設置事業補助金交付要領 ・複写機 補助率 1/3 以内 上限額 10 万円 ・印刷機 補助率 1/3 以内 上限額 20 万円 ・パソコン 補助率 1/3 以内 上限額 6 万 6 千円 ・エアコン 補助率 1/5 以内 上限額 20 万円 ・情報連絡機器 補助率 1/3 以内 上限額 25 万円 複写機 塩川町、新町 パソコン 八幡町、新田町 エアコン 大谷町、米子町、小山町、村山町、東横町	(補助額)	(事業費)	
	112,000	427,060	26.2
	127,000	402,850	31.5
	430,000	2,314,280	18.6
公会堂の建設等に係る住民負担の軽減を図る。(11町11件) 須坂市公会堂建設事業補助金交付要領 ・新築、改築又は増築 補助率 1/3~1/2 以内 上限額(150世帯以上~50世帯未満)、 1,200万円~750万円 ・補強・改装工事 補助率 2/10 以内 上限額 100 万円 ・公共下水道等接続工事 補助率 1/3 以内 上限額 50 万円 ・敷地購入 補助率 3/10 以内 上限額 360 万円 新築、改築又は増築 西町 補強又は改装 米持町外 6 町 公共下水道接続 村石町、横町 敷地購入 屋部町、上町	(補助額)	(事業費)	
	7,500,000	17,600,000	42.6
	3,659,000	9,851,179	37.1
	862,000	3,237,220	26.6
	5,957,000	20,554,045	29.0
(公財)長野県市町村振興協会の助成金の決定を受け、コミュニ ティ活動に必要な設備を整備する。(2町2件) 一般コミュニティ助成事業(補助率 10/10 2,500,000 円限度) 須坂市補助金等交付規則 ① 高梨町 ② 南原町	(補助額)	(事業費)	
	2,500,000	2,524,360	99.0
	2,200,000	2,201,256	99.9

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
02.01.13.02	須坂市区長会・自治会活動交付金	38,500,000
02.03.01.02	社会保障・税番号制度カード交付関連事務交付金	6,911,000

生活環境課 3,740,900 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
04.01.05.02	猫繁殖制限手術助成事業補助金	914,000
04.01.05.03	ごみ集積施設・設備整備事業補助金	200,000
	家庭用生ごみ処理機及び生ごみ堆肥化処理容器補助金	642,900
04.01.05.07	新エネルギー導入設備設置費補助金	1,470,000
	ペレットストーブ等設備導入費補助金	100,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
区長会及び自治会活動に係る事務費を交付し、区長会及び自治会活動（市報・回覧板配布、行政事務に係る活動等）を支援する。 須坂市補助金等交付規則 ① 自治会活動交付金 33,476,180 円 51,000 円×69 町区 1,530 円×17,088 世帯 1,580 円×2,413 世帯（旧東村地区） ② 区長会活動交付金（区長事務費分） 3,240,000 円 各町世帯数に応じた区分 44,000 円～54,000 円 ③ 区長会活動交付金（区長会事務費分） 1,783,820 円 38,000 円×69 町区（ただし予算額を上限）			
地方公共団体情報システム機構の通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金 地方公共団体情報システム機構法第 32 条による費用の負担			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
人と猫の調和のとれた共生社会の実現と市民の快適な生活環境の保持を図るため、飼い猫又は飼い主のいない猫の繁殖制限手術費用の一部を助成する。 去勢手術 補助額 3,000 円 88 件 264,000 円 不妊手術 " 5,000 円 130 件 650,000 円 合 計 218 件 914,000 円 須坂市猫繁殖制限手術助成事業実施要綱			
地域の生活環境を保全するため、区が行うごみ集積施設の設置費を助成する。 補助率 1/2 以内 5 万円以内、4 町、4 基、 200,000 円 4/5 以内 20 万円以内、0 町、0 基、 0 円 須坂市ごみ集積施設・設備整備費補助金交付要綱			
電動生ごみ処理機及び生ごみ堆肥化処理容器の購入に要する経費の一部を助成し、ごみの減量化を図る。 補助率 1/2 以内 電動（手動）生ごみ処理機 1 世帯 1 台、限度額 30,000 円 24 基 587,300 円 生ごみ堆肥化処理容器 1 世帯 2 台まで、限度額 5,000 円 27 基 55,600 円 須坂市環境整備施設設置奨励に関する補助金交付要綱			
住宅に太陽光発電を設置し、それに伴う太陽電池モジュール等の付属器具及び配線器具等の購入及び据付工事に要する経費を助成する。 補助額 1 万円/kW（限度額：3 万円） 49 件 1,440,000 円 住宅に太陽熱利用システムを設置し、それに伴う集熱器等の付属器具及び配線器具等の購入及び据付工事に要する経費を助成する。 補助額 対象経費の 5 分の 1 の額（限度額：3 万円） 1 件 30,000 円 須坂市新エネルギー導入設備設置費補助金交付要綱			
ペレットストーブ又はペレットボイラーの導入に要する費用の一部を助成する。 補助額 対象経費の 10/10 以内（限度額 10 万円） 1 件 100,000 円 須坂市ペレットストーブ等設備導入費補助金交付要綱			

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
04.01.06.02	小型合併処理浄化槽設置事業補助金	414,000

生涯学習スポーツ課 26,811,918 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
10.06.01.03	文化振興事業団自主事業補助金	20,000,000
10.06.05.02	文化財保存活用事業補助金	557,000
	小坂神社社叢 (樹木医による樹木診断調査)	(246,000)
	弁天さんのしだれ桜 (枯れ枝の除去及び腐敗防止の養生)	(30,000)
	長妙寺の桜 (樹木養生のための剪定)	(48,000)
	田中本家博物館水車蔵 (剥落した土蔵土壁の修繕)	(233,000)
10.07.03.03	体育協会補助金	6,254,918

中央公民館 14,238,899 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
10.06.02.04	社会教育の振興に関する事業補助金	900,000
	須坂市連合婦人会	(450,000)
	須坂市文化芸術協会	(450,000)
	交付金	12,018,899
	分館交付金	9,401,060
	69 分館へ交付	(9,055,060)
	12 ブロックへ交付	(346,000)

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
公共下水道計画区域外において、し尿および生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止を図る 補助件数 1件 補助額 414,000円 (6人以上7人以下) 須坂市小型合併処理浄化槽設置事業補助金交付要綱			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
市民の自主的な文化活動を支援し、優れた芸術鑑賞活動を行う一般財団法人須坂市文化振興事業団の自主事業に対する補助。 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	49,456,510	51,141,966	39.1
指定文化財の保存活用事業に対し、所有者等の負担軽減を図る。 須坂市文化財の保存及び活用事業補助金交付要綱	1,322,780	1,322,780	42.1
	(492,480)	(492,480)	50.0
	(50,000)	(50,000)	60.0
	(80,300)	(80,300)	59.8
	(700,000)	(700,000)	33.3
(一社)須坂市スポーツ協会の運営に対し補助した。 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	28,834,600	28,116,156	22.2

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
社会教育に関する事業実施に要する経費補助 社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	(1,265,548) (1,233,475)	(1,191,738) (1,173,373)	(37.8) (38.4)
分館・ブロック事業に対する交付金 公民館規則 固定経費 均等割 世帯割 1世帯 分館長手当 年額 主事手当 (1分館2名まで) 年額 変動経費 分館報発行費 業者印刷1回につき 1頁 2頁以上 (業者印刷は、年4回まで) 印刷機等カラー 1回 印刷機等 1回 文化・体育・レクリエーション活動費 1分館 年間 学習活動費 講師謝金支払基準による まちづくり事業費 1分館 年間 地域づくり事業費 1分館 年間	48,624,739	38,848,212	23.3
固定経費 ブロック運営費 1分館当 ブロック長手当 年間 変動経費 学習活動助成費 年間 ブロック文化・体育・レクリエーション活動費 1回	2,428,885	1,551,810	22.3

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
10.06.02.04	9 地域づくり推進委員会へ交付	2,617,839
10.08.04.01	人権教育公民分館活動費交付金	1,320,000

人権同和政策課 1,637,000 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
03.04.01.03	須坂市部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 部落解放同盟須坂市協議会 部落解放同盟須高地区協議会	1,221,000 416,000

農林課 230,616,223 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
06.01.02.02	田の神農用地水利整備組合補助金	739,000
	農家組合交付金	233,500
06.01.02.03	農業近代化資金融資利子補給金	98,688
	認定農業者機械化資金融資利子補給金	179,758
	農業経営基盤強化資金融資利子補給金	559,915
	平成 26 年雪害対策資金利子補給金	20,565
	2019 年災害対策資金利子補給金	180
06.01.02.07	下水道事業会計補助金	108,500,000
06.01.03.01	水田排水特別事業補助金	1,800,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
須坂市地域づくり推進事業交付金交付要領 300,000円×8地域づくり推進委員会 217,839円×1地域づくり推進委員会	5,275,979	4,349,683	60.2
町別人権問題学習会交付金 2回実施 20,000円×64町 1回実施 10,000円×4町	1,320,000	1,320,000	100.0

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
人権が尊重され、差別のない明るい社会を実現するため、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことを目的に活動する団体が行う、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための事業に要する経費に対して補助する。 須坂市部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金交付要綱 (部落解放同盟須高地区協議会に係る交付団体等の決算額の収入には、小布施町、高山村の補助金を含む。)	2,072,394	1,859,150	65.7
	954,543	864,396	48.1

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
深井戸揚水により田の神地区の農業用水を確保し、地区の安定生産を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 電気料の30%	4,158,583	2,537,989	29.1
農業行政協力に対する支部交付金 須坂市補助金交付規則 均等割126,000円・戸数割107,500円			
農業近代化資金の融資利子の助成をし、負担軽減を図る。 須坂市農業近代化資金融資利子補給金交付要綱 補給率1.5%以内			
農業機械化資金の融資利子の助成をし、負担軽減を図る。 須坂市認定農業者機械化資金融資あっせん要綱 補給率2.0%以内			
認定農業者の農業経営基盤強化の融資利子の助成をし、負担軽減を図る。 須坂市農業経営基盤強化融資利子補給金交付要綱 補給率1.5%以内			
平成26年2月の雪害により被害を受けた農業者の農業経営の安定を図る。 平成26年雪害対策資金融資利子補給金交付要綱 補給率1.0%以内			
2019年10月の水害により被害を受けた農業者の農業経営の安定を図る。 2019年災害対策資金融資利子補給金交付要綱 補給率0.5%以内			
下水道事業会計の健全な運営のための補助金 幹線水路の浚渫及び護岸の草刈等の河川管理に対して助成する。 須坂市補助金等交付規則 定額	3,730,140	3,730,140	48.3

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
06.01.03.01	果樹共済掛金補助金	1,510,936
	経営所得安定対策推進事務費補助金	600,000
	農地荒廃化防止事業補助金	193,500
	環境保全型農業直接支払交付金	335,500
	多面的機能支払交付金	44,794,228
	水産多面的機能発揮対策交付金	16,752
06.01.03.02	狩猟免許取得奨励補助金	9,100
	猟友会活動事業補助金	26,150
06.01.03.03	農業次世代人材投資資金交付金	30,614,728
	須坂市新規就農研修給付金	6,720,000
	新規就農者支援事業補助金	545,200
	樹園地貸付事業補助金	7,723,000
06.01.03.05	遊休農地解消対策事業補助金	1,490,600
	中山間地域直接支払制度交付金	4,475,323

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
農家の果樹共済掛金の負担を軽減し、農業経営の安定を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 果樹共済掛金の2/10以内	7,555,373	7,555,373	20.0
経営所得安定対策事業の実施に必要な要件確認等の活動を推進する。 須坂市経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱 補助率10/10	600,000	600,000	100.0
市が定める作物の栽培を支援し、農地の荒廃化を防止する。2件 須坂市農地荒廃化防止事業補助金交付要綱 そば 1kgあたり200円			
環境保全型農業に取り組む農業者の取組を支援する。2団体 須坂市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱 国1/2 県1/4 市1/4			
地域共同で行う農地、農業用水等の資源の日常管理及び水路、農道等の施設の長寿命化のための活動を支援する。12団体 須坂市多面的機能支払交付金交付要項 国1/2 県1/4 市1/4			
地域の漁業者等が行う環境保全に大きな影響を及ぼす内水面の生態系の維持・保全・改善活動を支援する。 国7/10 市3/10	55,837	55,837	30.0
狩猟免許所持者の増と有害鳥獣駆除体制の維持 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 免許受験手数料 わな猟・銃猟5,200円、所持免許以外の免許取得3,900円			
猟友会活動を支援し、会員の有害鳥獣駆除のための技術向上を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 対象経費の1/2以内 5万円上限	2,062,694	1,823,544	1.4
就農直後の所得確保を目的に給付する。 須坂市農業次世代人材投資資金交付要綱 1人年額150万円・夫婦年額225万円			
新規就農に向けた研修を受ける者に対し、研修期間中における生活費の助成をする。 須坂市新規就農研修給付金給付要綱 1人月額2万円(農業次世代人材投資資金対象者は1万5千円、農業次世代人材投資資金が対象外の者で研修を受けるために住居が新たに必要である場合は8万円加算)			
新規就農する者に対し、営農に必要な農業機械等の購入に係る負担を軽減し、農業経営の安定を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 対象経費の1/2、上限20万円	1,540,504	1,540,504	35.4
営農に必要な農業施設の整備に係る負担を軽減し、農業経営の安定を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 対象経費の1/2	15,455,517	15,455,517	50.0
遊休農地を解消し、活かした農地に復活させる。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 果樹8万円/10a上限 果樹以外4万円/10a上限			
東地区の農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産活動に関する不利を補正し、多面的機能を確保するため支援する。 中山間地域等直接支払交付金等交付要綱			

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
06.01.03.06	新農業創生活動補助金	300,000
	園芸産地育成振興対策事業補助金	1,500,000
06.01.03.50	担い手確保・経営強化支援事業補助金	14,403,000 (繰越)
06.01.05.01	台風被害農業用薬剤購入費補助金	124,800
	台風被害改植等苗木購入費補助金	189,100
06.03.01.04	間伐対策事業補助金	2,500,000
13.02.02.01	農地災害復旧事業補助金	412,700

産業連携開発課 85,642,667 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
05.01.02.02	連合長野須高地域協議会補助金 (連合長野高水地域協議会須高地区連合会)	200,000
	須坂市勤労者協議会補助金	50,000
	須高地区労働者福祉協議会補助金	470,000
	勤労者住宅建設資金融資利子補給金 (46件)	523,369
	須坂市勤労者互助会補助金	413,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
地産地消、販路拡大、伝統野菜の復活など、新しい農業にチャレンジする団体を支援する。 3団体 (沼目越瓜の会・八町きゅうり研究会・村山早生ごぼう生産組合) 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 1/2以内 10万円上限			
ながの農業協同組合が認めた地域振興品種の育成の推進を図る。 須坂市農業振興に関する補助金交付要綱 1/2以内 150万円	5,000,000	5,000,000	30.0
地域農業の担い手に対して、経営規模の拡大等の取り組む際に必要となる農業用機械又は施設の導入等に要する経費に対し支援する。 須坂市担い手確保・経営強化支援事業補助金交付要綱 補助率 1/2以内	33,655,248	33,655,248	42.8
冠水被害を受けた果樹園地における病害まん延防止の取組みとして、薬剤購入費の助成 須坂市補助金等交付規則 補助率 1/2以内			
冠水被害を受けた千曲川流域の堤外地において、台風リスクの少ない早生種への改植及び補植に係る苗木購入費の助成 須坂市補助金等交付規則 補助率 1/2以内			
森林が持つ水源涵養機能などの公益的機能の維持増進を図る。 須坂市林業振興に関する補助金交付要綱 県単価の10%嵩上げ			
令和元年東日本台風により被災した農地の復旧を支援する。 須坂市農地復旧事業補助金交付要綱 補助率 1/2以内	1,075,885	1,075,885	38.4

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
労働団体の育成及び労働者の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の2分の1以内の額	466,063	466,063	42.9
労働団体の育成及び労働者の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の2分の1以内の額	194,448	194,448	25.7
労働団体の育成及び労働者の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の2分の1以内の額	1,379,159	1,379,159	34.1
勤労者に対して住宅の建設を奨励し、もって金利負担の軽減を図る。 勤労者住宅建設資金融資利子補給金交付要綱 対象資金 長野県労働金庫から融資を受けた額 (限度額新築200万円、増改築100万円) 補給額 5年分の利子20% (5年以下の場合は10%)			
未組織事業所の勤労者及び事業主の福利厚生を増進を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の2分の1以内の額	1,173,475	1,173,475	35.2

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
05.01.02.02	勤労者資金融資保証料補給金 (10 件)	59,589
	中小企業退職金共済加入奨励補助金 (124 事業所、488 人)	1,544,400
	勤労者生活資金融資利子補給金 (21 件)	1,147,309
05.01.02.03	障害者雇用促進奨励金 (有)クラール、(株)M. I. T)	80,000
	U I J ターン就業・創業移住支援金 (1 世帯)	1,000,000
05.01.02.04	技術情報センター指定管理者自主事業補助金 ((特非) 信州 SOHO 支援協議会)	1,560,000
	人材能力開発事業補助金 (株)広田製作所)	47,000
	人材育成支援事業補助金 (株)前田鉄工所)	35,000
	次世代産業人材育成支援事業補助金 (須坂商工会議所青年部)	200,000
07.01.02.01	受注開拓事業補助金 (有)丸源鋸工場、(株)マルヤマキャンパス、(有)NP ウォンツ、信拓工業(株)、(株)中條製缶、信光工業(株)、エーフィールズ(株)	565,000
	商工業団体等に対する補助金 (商工業振興対策事業) (須坂工業振興会)	172,000
07.01.02.05	新技術・新製品開発事業補助金 (株)倭技術研究所、(株)ソーラージャパン)	2,000,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
未組織事業所に働く勤労者の信用力を増強し、経済的地位の向上を図る。 勤労者生活資金融資保証料補給金交付要綱 長野県労働金庫から融資を受けた36月分の保証料の全額			
中小企業従業員の退職金共済加入の奨励を図る。 中小企業退職金共済加入奨励補助金交付要綱 1人、3年間・月額400円			
勤労者の生活安定を図り、福祉の向上に資するため、勤労者生活資金借入者の金利負担の軽減を図る。 勤労者生活資金融資利子補給金交付要綱 対象資金 勤労者生活資金融資要綱の規定に基づく資金 補給率 年1.0%			
障害者の雇用の促進を図る。 障害者雇用促進奨励金交付要綱 1人1回に限り 20,000円			
市内の企業等の担い手不足の支援及び移住の促進を図る。 UIJターン就業・創業移住支援金交付要綱 世帯 1,000,000円 単身 600,000円			
須坂市技術情報センターの指定管理者が行う自主事業（パソコン、語学、簿記等の講座、創業支援セミナーの開催）を支援し、受講者の負担軽減を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 経費の総額から他の収入総額を控除した額 200万円限度	1,725,488	1,725,488	90.4
中小企業者が自ら又はその従業員の能力開発のために受講する研修の費用の一部を補助し、人材育成を図る。 商工業振興条例(1人年1回) 研修受講料(1万円以上)の2分の1以内の額 3万円限度	95,000	95,000	49.5
企業者が自ら又はその従業員の能力の開発のため、研修を実施した経費の一部を補助し、人材育成を図る。 商工業振興条例 対象経費の2分の1以内の額、5万円限度	70,400	70,400	49.7
次世代の科学やものづくりを支える創造性豊かな子ども、学生又は若手技術者を育成するため、講習会等の開催に要した費用の一部を補助し、次世代の産業人材の育成を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の3分の2以内の額 20万円限度	649,911	649,911	30.8
県内、県外で開催される展示会等の出展費用の一部を補助し、販路拡大を図る。 商工業振興条例 対象経費の2分の1以内の額 10万円限度	1,945,058	1,945,058	29.0
工業団体の育成及び工業の振興を図る。 商工業団体等に対する補助金交付要綱 対象経費の2分の1以内の額	351,890	351,890	48.9
新技術・新製品開発にかかる費用の一部を補助し、企業体質の強化を図る。 商工業振興条例 対象経費の2分の1以内の額 100万円限度	5,470,080	5,470,080	36.6

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
07.01.02.06	企業立地振興事業補助金 (株コヤマ、(株)角藤、(株)鈴木)	75,576,000

商業観光課 61,640,134 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
07.01.02.02	金融保証料及び利子補給金 (223 件)	42,498,454
07.01.02.03	中心市街地活性化事業 (商工業振興事業補助金)	140,680
	商店会連合会企画事業 (商工業振興事業補助金)	983,000
	街路灯電気料補助事業 (商工業振興事業補助金)	444,000
	わざわざ店等開設支援事業 (商工業振興事業補助金)	5,860,000
	商店街環境整備事業補助金	1,914,000
	商工業振興対策事業 (商業団体強化育成事業補助金) (小規模経営)	6,500,000
07.01.03.02	峰の原高原観光協会補助金	3,300,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
工場等の立地に係る初期費用の負担を軽減し工業の振興を図る。 商工業振興条例 用地取得に対する補助金 （日滝原産業団地）用地取得価格－4,000万円×3/10以内 1億2,000万円限度 （インター須坂流通産業団地）取得面積×3,100円/㎡以内 1億2,000万円限度 建物等設置に対する補助金 当該建物等に対する固定資産税相当額 2,000万円限度	4,339,967,543	4,339,967,543	1.7

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
中小企業者の資金借入れ時の負担を軽減し、商工業の振興を図る。 中小企業振興資金融資あっせん要綱			
市が策定した中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の活性化を図る。（補助率 10/10） 中心市街地活性化事業補助金交付要綱 信州須坂蔵のまち春まつり実行委員会(新型コロナウイルス感染症予防対策による中止)	204,780	204,780	68.7
商工業団体の育成及び商工業の振興を図る。（補助率 1/2） 商工業団体等に対する補助金交付要綱	2,991,639	2,937,199	33.5
街路灯電気料の一部を補助し、商店街団体等を支援する。 （補助率 1/5） 商工業振興条例施行規則 青木新道商盛会 ほか 23 団体	2,268,966	2,268,966	19.6
空き店舗等を創業用店舗として改修等した経費及び家賃の一部を補助し、活性化を図る。（改修補助率 1/5、家賃補助率 2/3） 商工業振興条例施行規則 創業用店舗改修費補助 美容室 I.D. ほか 1 件 創業用店舗家賃補助 居酒屋千幸ほか 5 件 既存店舗改修費補助 焼肉居酒屋 みのり ほか 1 件	30,371,752	30,371,752	19.3
街路灯の設置費や LED 化工事費等を補助し、商店街団体等を支援する。（補助率 1/2） 商工業振興条例施行規則 北原町商盛会、駅前末広会、要町新生会、金井原通り商店会	4,213,371	4,213,371	45.4
商工業団体の育成及び商工業の振興を図る。（補助率 1/2） 商工業団体等に対する補助金交付要綱 須坂商工会議所 ほか 1 団体	162,023,453	140,722,244	4.6
峰の原高原の誘客対策、誘客宣伝の推進を図る。（補助率 1/2） 商工業団体等に対する補助金交付要綱 峰の原高原観光協会	7,338,996	6,711,731	49.2

道路河川課 29,607,577 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
04.03.01.03	水道事業会計補助金	29,187,577
08.03.01.02	松川排水施設管理組合補助金	380,000
	千曲川漁業協同組合補助金	40,000

まちづくり課 994,887,000 円

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
08.04.01.05	下水道事業会計補助金	986,500,000
08.04.05.01	歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金	5,000,000
08.05.01.03	須坂市住宅・建築物耐震改修事業補助金	1,000,000
	ブロック塀等改修事業補助金	387,000
08.05.01.04	須坂市多世帯同居・近居支援事業補助金	2,000,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
豊丘ダム建設負担金に対する水道事業債の償還金補助			
排水施設の維持管理に要する費用 松川町排水管理組合補助金交付基準 2分の1 (予算の範囲内)	1,462,114	1,462,114	26.0
河川環境保全・利活用補助 2分の1 (予算の範囲内)	5,463,400	3,715,002	1.1

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
下水道事業会計における処理施設の維持管理経費の不足分を負担することにより、同会計の健全性を確保し、処理施設の適切な維持管理に資する。			
貴重な市民の財産である歴史的建造物を活かしたまちづくりを行うため、建造物を活用してその所有者等が維持、保存する事業に要する経費に対して補助する。(1件に対し補助) 須坂市補助金等交付規則 須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金交付要綱 国の登録有形文化財または須坂市歴史的建造物に登録された建造物で全部又は一部について不特定多数のものが利用できるものであること。 補助率5分の3以内で、500万円を限度とする。	8,370,000	8,370,000	59.7
市が実施した耐震診断士による耐震診断の結果、木造住宅は、総合評点が1.0未満で耐震補強工事を行うことにより総合評点が0.7以上となり、かつ工事前の総合評点を上回る工事に対し補助することにより、耐震性の高いまちづくりを行う。 (住宅1件に対し補助) 須坂市補助金等交付規則 須坂市住宅・建築物耐震改修事業補助金交付要綱 既存木造住宅 補助率2分の1以内で、100万円を限度。	4,532,576	4,532,576	22.1
危険なブロック塀等の倒壊による通行人の被害を未然に防止し、その安全を確保するため、その所有者が行う道路及び市有施設の隣地境界に面するブロック塀等の撤去又は改修を実施する事業に対して補助する。(4件に対し補助) 須坂市補助金等交付規則 須坂市ブロック塀等改修事業補助金交付要綱 補助率10分の2以内で、10万円を限度とする。	2,402,304	2,402,304	16.1
子育て支援と高齢者が安心して暮らせる環境づくり及び本市への定住の促進を図る目的で、他市町村から転入し多世帯同居又は近居をするための住宅の改修、建築・購入に要する経費に対して補助する。(住宅の改修2件、建築2件に対し補助) 須坂市多世帯同居・近居支援事業補助金交付要綱 住宅の改修費の3分の1以内(上限50万円) 住宅の建築・購入費(上限50万円)	60,093,622	60,093,622	3.3

学校教育課

149,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10.01.03.01	峰の原高原高等学校等生徒通学費補助金	144,000
10.03.01.02	合同部活動交通費補助金	5,000

子ども課

68,235,617 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03.02.01.04	私立保育所通常保育事業補助金	5,332,500
	保育士配置基準緩和補助金	6,804,000
	特別支援保育対策事業補助金	9,837,000

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
03.02.01.04	私立保育所整備資金利子補給金	209,000
	一時預かり事業補助金	10,483,040
	子ども・子育て支援事業補助金	15,152,600
	子育て支援総合助成金事業補助金	2,040,000
	保育対策総合支援事業費補助金	63,000
03.02.03.03	保育園通園費補助金	187,000
10.05.01.01	私立幼稚園補助金	1,678,800

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)																														
	収入 (円)	支出B (円)																															
社会福祉法人が公立保育所に代わる私立保育所を新設するために、金融機関から資金を借り入れた場合の利子に対し、予算の範囲内で利子補給金を交付する。(千円未満切捨て) 社会福祉法人 わらべ福祉会 (さかた山風の子保育園) 上半期 (H31.3~R1.8月) 215,695円×1/2=107,000円 下半期 (R1.9~R2.2月) 204,328円×1/2=102,000円 須坂市私立保育所整備資金利子補給金交付要綱																																	
一時的保育に要する経費に対して補助する。 上高井保育園 一時的保育 (基本額) 1,600,000円 やすらぎ保育園 一時的保育 (基本額) 2,983,040円 マリア保育園 一時的保育 (実額) 2,900,000円 双葉幼稚園 一時的保育 (実額) 3,000,000円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																	
延長保育に要する経費に対して補助する。 延長保育 (基準額 300,000円~5,524,000円) 上高井保育園 2,431,800円 豊洲保育園 1,234,200円 みつばち保育園 3,797,700円 やすらぎ保育園 1,722,000円 さかた山風の子保育園 3,629,400円 マリアこども園 1,720,400円 双葉幼稚園 617,100円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																	
低年齢児保育を実施する場合に要する経費に対して補助する。 乳児保育支援事業 年額 510,000円 上高井保育園 510,000円 みつばち保育園 510,000円 やすらぎ保育園 510,000円 さかた山風の子保育園 510,000円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																	
国の保育環境改善事業 (安全対策事業 (新型コロナウイルス感染症対策)) に要する経費に対して補助する。 みつばち保育園 38,000円 さかた山風の子保育園 25,000円 須坂市私立保育所等補助金交付要綱																																	
上田市立すがだいら保育園に通園する児童の保護者が送迎に要する通園費に対して補助する。(燃料単価×距離×日数) 対象世帯数 5世帯 須坂市保育所通園費補助金交付要綱																																	
私立幼稚園の事業に要する経費のうち、給料、職員手当、社会保険料、報酬、賃金に要する経費に対して補助する。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>園名</th> <th>園児数 (人)</th> <th>園児割 @2,700</th> <th>施設割 @510,000</th> <th>計 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マリア</td> <td>69</td> <td>186,300</td> <td>0</td> <td>186,300</td> </tr> <tr> <td>豊</td> <td>44</td> <td>118,800</td> <td>510,000</td> <td>628,800</td> </tr> <tr> <td>泉園</td> <td>26</td> <td>70,200</td> <td>510,000</td> <td>580,200</td> </tr> <tr> <td>双葉</td> <td>105</td> <td>283,500</td> <td>0</td> <td>283,500</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>244</td> <td>658,800</td> <td>1,020,000</td> <td>1,678,800</td> </tr> </tbody> </table> 須坂市私立幼稚園補助金交付要綱	園名	園児数 (人)	園児割 @2,700	施設割 @510,000	計 (円)	マリア	69	186,300	0	186,300	豊	44	118,800	510,000	628,800	泉園	26	70,200	510,000	580,200	双葉	105	283,500	0	283,500	計	244	658,800	1,020,000	1,678,800			
園名	園児数 (人)	園児割 @2,700	施設割 @510,000	計 (円)																													
マリア	69	186,300	0	186,300																													
豊	44	118,800	510,000	628,800																													
泉園	26	70,200	510,000	580,200																													
双葉	105	283,500	0	283,500																													
計	244	658,800	1,020,000	1,678,800																													

款・項・目・事業	補助金名	補助額 A (円)
10.05.01.01	特別支援保育対策事業補助金	549,115
	副食費補足給付費	1,610,561
10.05.01.02	幼稚園就園奨励費補助金	6,557,900

目的及び根拠		交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)			
		収入(円)	支出B(円)				
障がいのある児童を受け入れるために加配した職員の雇用に要する経費に対して補助する。(基準額を上限とする実支出額) 延月数6(1人) 実支出額 549,115円 須坂市私立幼稚園補助金交付要綱							
国による幼児教育・保育無償化により低所得者の副食費を免除した幼稚園等に免除した副食費分を給付する。 須坂市補助金等交付規則							
私立幼稚園の設置者が徴収する入園料、保育料を幼児の属する世帯の所得状況に応じて減免する事業に要する経費に対して補助する。							
園名		市民税非課税・市民税所得割非課税の世帯	市民税所得割額77,100円以下の世帯	市民税所得割額211,200円以下の世帯	左記以外の世帯	計	
豊	第1子	人数	2	2	9	39人 3,246,100円	
		金額	240,000	187,200	279,900		
	第2子	人数	1	5	13		5
		金額	120,000	603,500	1,202,500		385,000
	第3子	人数	1				
		金額	108,000				
特例給付	人数		1				
	金額		120,000				
泉園	第1子	人数	3		9	24人 1,814,900円	
		金額	370,000		279,900		
	第2子	人数		3	5		3
		金額		360,000	454,000		231,000
	第3子	人数					
		金額					
特例給付	人数	1					
	金額	120,000					
昭和	第1子	人数	2	1	6	18人 1,282,000円	
		金額	152,400	93,600	186,600		
	第2子	人数		2	3		1
		金額		213,600	238,400		77,000
	第3子	人数			2		
		金額			213,600		
特例給付	人数	1					
	金額	106,800					
長野	第1子	人数				2人 183,800円	
		金額					
	第2子	人数					1
		金額					77,000
	第3子	人数					1
		金額					106,800
特例給付	人数						
	金額						
ルンビニ	第1子	人数			1	1人 31,100円	
		金額			31,100		
計		人数 11 金額 1,217,200	14 1,577,900	48 2,886,000	11 876,800	84人 6,557,900円	

須坂市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10.06.06.01	児童青少年健全育成運動施設整備事業補助金	332,000
	育成会活動交付金	7,322,101
10.06.06.03	児童青少年健全育成ブロック連絡協議会補助金	65,000
	青少年環境浄化事業補助金	12,000

人権同和教育課 1,698,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
10.08.02.01	学校人権教育活動費交付金	1,300,000
	中学校ブロック人権教育研修費交付金	200,000
10.08.03.01	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 須坂市企業人権教育推進会議	150,000
10.08.03.02	部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金 解放子ども会保護者会	48,000

議会事務局 2,805,823 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
01.01.01.03	須坂市議会政務活動費交付金 (新風共創会)	725,000
	同 上 (輝創会)	721,749
	同 上 (日本共産党)	300,000
	同 上 (無所属クラブ)	54,927
	同 上 (新政会)	1,004,147

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
育成会等地域の自主活動により運動施設を設置する事業に要する経費に対して補助する。 高梨町卓球場修繕 166,000円(対象経費500,000円) 高橋町卓球場修繕 166,000円(対象経費500,000円) 須坂市児童青少年健全育成運動施設整備事業補助金交付要綱		2,745,157	12.1
各町育成会の活動に要する経費に対して補助する。 平均割 28,000円、世帯割 180円、児童生徒数割 500円 須坂市育成会活動交付金交付要綱	30,899,083	23,979,745	30.5
児童青少年健全育成に係わる育成会等で組織する、小学校単位のブロック協議会の運営に要する経費に対して補助する。 町割 1町当たり 1,000円 平均割 1ブロック当たり 1,000円 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	514,260	203,659	31.9
有害図書自動販売機の撤去活動等を行う団体の事業遂行に要する経費に対して補助する。 高甫地域健全育成に係る有害環境を排除する会 12,000円 須坂市社会教育の振興に関する事業補助金交付要綱	59,429	33,072	36.3

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
学校人権教育の推進を図る。 学校人権教育活動費交付金等交付要綱	1,368,381	1,368,381	95.0
学校人権教育の推進を図る。 学校人権教育活動費交付金等交付要綱	200,168	200,168	99.9
企業人権教育推進会議の活動支援を図る。 (会員企業83事業所) 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金交付要綱	680,541	541,064	27.7
解放子ども会活動の推進を図る。 部落差別をはじめあらゆる差別をなくす事業補助金交付要綱	52,540	48,000	100.0

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入(円)	支出B(円)	
市議会会派が行う市政に関する調査研究を推進するための経費の一部を交付 須坂市議会政務活動費の交付に関する条例 議員1人当り年額 150,000円×4人 = 600,000円 150,000円×1人×10/12 = 125,000円	725,000	725,370	99.9
同上 議員1人当り年額 150,000円×5人 = 750,000円 不用額 28,251円	721,749	721,749	100.0
同上 議員1人当り年額 150,000円×2人 = 300,000円	300,000	402,566	74.5
同上 議員1人当り年額 150,000円×1人 = 150,000円 不用額 95,073円	54,927	54,927	100.0
同上 議員1人当り年額 150,000円×7人 = 1,050,000円 不用額 45,853円	1,004,147	1,004,147	100.0

消防本部

2,779,200 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
09.01.01.02	消火栓放水器具等設置事業補助金	235,780
09.01.02.02	消防団運営交付金	2,543,420

イ 特別会計 16,747,000 円

国民健康保険特別会計 16,740,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
04.01.01.02	人間ドック受診補助金	16,740,000

介護保険特別会計

7,000 円

款・項・目・事業	補 助 金 名	補助額 A (円)
03.03.07.01	徘徊高齢者家族支援事業補助金	7,000

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
区又は区民による自主防災組織が消火栓放水器具等とその区域内に設置する事業に要する経費に対し、補助金を交付し経費の軽減を図る。 補助金額 設置に要した額の2分の1以内 限度額 50,000円 6区10件に交付 須坂市消火栓放水器具等設置事業補助金交付要綱	235,780	497,920	47.4
消防団の円滑な運営と活動を支援するために交付する。 分団割 1分団当り 50,000円×10分団 1分団当り 70,000円×2分団 部割 1部当り 15,000円×18部 1部当り 20,000円×16部 1部当り 25,000円×4部 団員割 団員当り 410円×862人 特別交付金 本部分団 820,000円 (ラッパ隊、鼓隊分の50,000円含む) 分団長会 40,000円	2,543,420	2,543,420	100.0

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
35歳以上の被保険者の人間ドック受診を補助 半日又は1日 15,000円×856人=12,840,000円 1泊2日又は2日間通院 30,000円×130人=3,900,000円 須坂市人間ドック受診補助金交付要綱			

目的及び根拠	交付団体等の決算額		支給率 A/B (%)
	収入 (円)	支出B (円)	
徘徊高齢者を介護されている家族が、民間でサービスを提供している探索装置を利用するにあたり、必要な費用を助成することにより、その家族の経済的負担の軽減を図り、徘徊高齢者の早期発見、身の安全と在宅生活の向上を図る。 初期費用 加入料金、付属品代金 (充電器、ACアダプター) 助成率100% 助成限度額7,000円 探索費用 (1回当たり) 現場急行サービス料 助成率90% 助成限度額9,000円 須坂市徘徊高齢者家族支援助成事業実施要綱			

6 統計資料・基本計画等の作成状況

資料名・計画名	内容・計画期間	公表時期	担当課	備考※	
				ホ	冊
須坂市公共施設等総合管理計画個別計画	R7年度まで	R2. 5	総務課	○	
須坂市の統計 2019年版（令和元年版）	2019年度現在	R2. 3	政策推進課	○	○
平成30年度事業実績並びに主要施策成果説明書	H30年度現在	R元. 9	財政課	○	○
平成31年度市税のあらまし	2019年度現在	R元. 10	税務課	○	
2019年度社会福祉統計のあらまし	2019年度現在	R元. 12	福祉課	○	○
須坂市の国保	2019年度現在	R2. 3	健康づくり課		○
第2期須坂市母子保健計画	R2～R7年度	R2. 3	健康づくり課	○	○
国名勝米子瀑布群保存活用計画	R2. 3～R12. 3. 31まで	R2. 3	文化スポーツ課	○	○
平成30年度須坂市の教育	H30年度現在	R元. 8	学校教育課	○	
2019年度須坂市学校施設長寿命化計画	R2. 3現在	R2. 3	学校教育課	○	○
第2期須坂市子ども・子育て支援事業計画	R2～R6年度	R2. 3	子ども課	○	○
平成31年度市議会要覧	H31. 4. 1現在	H31. 5	議会事務局		○

※ ホ＝ホームページに掲載 冊＝冊子を作成